取扱説明書

FOMA® N700i

’05.3

お詫びと訂正

「FOMA N700i 取扱説明書」に記載誤りがございました。
お詫びして訂正させていただきます。

訂正箇所	誤	正
P.297 FOMA端末のメール機能を設定する 操作２下 メール設定画面 1/2 表中 8 受信表示設定の設定項目	1 通知優先 （お買い上げ時） 2 操作優先	1 通知優先 2 操作優先 （お買い上げ時）
P.297 FOMA端末のメール機能を設定する 操作２下 メール設定画面 1/2 表中 0 添付ファイル設定の説明文	「画像有効」を「□」（チェックを外した状態）にしていても、大容量画像は受信します。	左記記載を削除

MDT-000057-JHA0

ドコモ
W-CDMA方式

- **このたびは、FOMA N700iをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。**
- **ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、FOMA N700iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。**

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を 負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

取扱説明書（本書）のご使用にあたって

●目次から引く
まず「目次」（P.2）を見てみましょう。操作説明などのヒントとなる項目が記載されていますので、ここを読んでいくと知りたい情報のページを見つけることができます。

●索引から引く
知りたい項目のキーワードが分かっている場合は、「索引」（P.582）からすばやく目的のページを探すことができます。

●インデックスから引く
カテゴリーごとに検索する場合は、「インデックス」（表紙）から探すことができます。扉（各章の最初のページ）には機能が引ける目次を記載しています。

●特徴から引く
機能名やFOMA端末のメニュー項目名があらかじめ分かっている場合は、「メニュー機能一覧」（P.548）からも探すことができます。

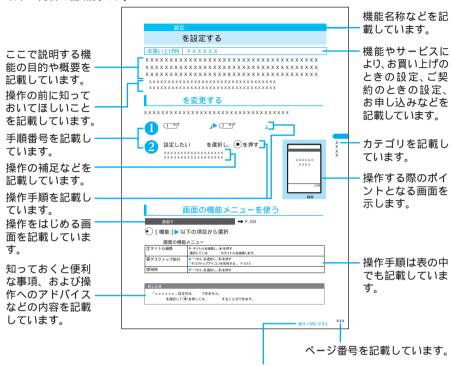
●クイックマニュアルを利用する
巻末にクイックマニュアルを記載しています。本書から切り離して利用できます。

●この『FOMA N700i取扱説明書』の本文中においては、『FOMA N700i』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

●本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
miniSDメモリーカードについて→P.394

●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

本書の記載について

以下の内容は記載例です。

ディスプレイの表示について

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書は、主にお買い上げのときの設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

クイックマニュアルでは、基本的な操作や表示について記載しています。→P.588

目　次

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

FOMA N700iの特徴

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

スタイルプラスTM

お買い上げのときに付いているスタイルプラスのほか、別売品のスタイルプラスをFOMA端末に取り付けることができます。気分に合わせて洋服を着替えるように、お好みのスタイルプラスを選べます。

iモードだからスゴイ！

iモードはiモード端末のディスプレイを利用して、iモードメニューサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

P.197

最大384kbpsのパケット通信、快適なデータ通信に対応

● FOMA端末にパソコンなどの外部機器を接続して、受信最大384kbpsの快適なパケット通信が可能です。64Kデータ通信にも対応しています。
- データ通信を行うには、パソコンなどの外部機器が必要になります。

iモードに対応、メールサービスも充実

● 受信最大384kbpsのパケット通信対応により、サイト（番組）接続サービスやインターネット接続、iアプリやiモーションが快適にご利用いただけます。また、お申し込み不要なSMS（無料）とインターネット経由でe-mailとしてもご利用いただけるiモードメールに対応しています。
- iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

マルチアクセス、マルチタスク機能でより便利に

● 音声電話とパケット通信を同時に利用できるマルチアクセスによって、iモード中に通話をしたり、通話中にメールの送受信を行ったりすることができます。また、複数のアプリケーションを同時に使用できるマルチタスク機能も搭載しています。
- iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。
- マルチアクセスとは別にSMSも同時に使用できます。

FOMAカードに対応

● FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数の端末を使い分けることができます。

あんしん設定

暗証番号やパスワードを利用してプライバシーを保護したり、紛失時に離れた場所からロックをかけて不正使用を防止するロック／セキュリティ機能などのあんしん設定をご利用いただけます。

P.141

テレビ電話

テレビ電話に対応している端末どうしで、相手の顔を見ながら通話できます。ハンズフリーでは相手の音声をスピーカから再生させることができます。自画像をキャラ電に切り替えて操作すると、さまざまなアクションを使っての通話も楽しめます。
外出先から室内のペットの様子を確認したり、工場現場や操業状況の管理などを離れた場所から確認したりなど、カメラ機能を利用した遠隔監視にも対応しています。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側／着信側の両方に使用できます。

P.75

カメラ機能
内側と外側の2つのカメラで静止画、連続撮影、動画を撮影できます。外側カメラは有効画素数103万画素のCCDカメラを搭載し、最大1160×870ドットの画像が撮影可能です。
大切な場面を逃さずに撮影できるように、撮影を終了した時点からさかのぼって動画を記録する「チャンスキャプチャ」機能や、撮影した静止画に音声を追加する「ピクチャボイス」機能を搭載しています。これらの機能で撮影した動画は、iモーションに保存され、iモードメールに添付して送信することができます。
P.159

スピードフォトメール
音声通話中に撮影した静止画を通話中の相手に簡単な操作で送信できます。本機能では、その場で撮影した静止画だけでなく、FOMA端末に保存されている画像を送信することもできます。
P.254

デコメール
メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
P.256

赤外線通信／赤外線リモコン
赤外線を利用してほかのFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、赤外線リモコンに対応したテレビなどに利用することもできます。
P.412

バーコードリーダー
カメラ機能を利用してバーコードおよびQRコードを読み取り、読み取った情報によって電話帳登録、iモードメール作成などができます。また、画像データやメロディデータのQRコードを読み取ることもできます。
P.184

キャラ電
テレビ電話中に、自分の映像の代わりに内蔵キャラクタやダウンロードしたキャラクタを表示させることができます。ボタン操作によりキャラクタに表情や動きを付けられます。
P.83

iアプリ、iアプリDX対応
iアプリを待受画面に設定したり、通信を利用してリアルタイムに情報を入手し、FOMA端末内のデータなどにアクセスするなど、iアプリの楽しみかたが大幅に広がりました。
P.319

iモードメール
待受画面表示中に◉[MAIL]を押すだけでメールのメニューが呼び出せます。FOMA端末では受信メールを最大1,000件、送信メールを最大400件まで保存できます。
P.239

iモーション
サイトやインターネットから映像や音楽を取り込んで楽しむことができます。保存したiモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定することもできます。
P.337

iモーションメール
内蔵カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取り込んだiモーションをiモードメールに添付して送れます。
P.264

豊富なネットワークサービス

デュアルネットワークサービス（有料）
● お申し込みが必要となります。
P.471

留守番電話サービス(有料)
● お申し込みが必要となります。
P.464

転送でんわサービス(無料)
● お申し込みが必要となります。
P.468

ショートメッセージサービス(SMS)(無料)
● お申し込みは不要です。
P.311

FOMA N700iを使いこなす!

■FOMA N700iのビジュアル・コミュニケーション

テレビ電話スタンプで感情豊かなコミュニケーション

「デコレーションテレビ電話」

●感情を表現するスタンプで、テレビ電話の自分に顔の動きに合わせて装飾できます。
→P.86

相手の表情を見ながらメッセージでコミュニケーション

「プチメッセージ」

●テレビ電話中に文字を入力して相手に伝えることができます。
→P.87

テレビ電話中に自分の顔をチェックしてコミュニケーション

「ビジュアルチェック」

●急なテレビ電話でも、テレビ電話中に自分側の画像を確認できます。
→P.85

英数字+日本語対応でより便利になった

「アクセスリーダー」

●各種機能との連携を強化し、さらに便利になりました。
→P.189

名刺を読み込んで電話帳登録したり、わからない単語を読み込んで辞書検索することができます。

テレビ、ビデオ、DVDプレーヤーのリモコンとして利用できる

「Gガイド番組表リモコン」

●赤外線リモコン機能→P.418

FOMA端末の赤外線機能を利用してテレビのリモコンとして利用することができます。
また、電子番組表(EPG)にも対応しています。

これから放送される8日先までの番組の内容や指定した番組の詳細情報を通信により取得して表示します。

※画像はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

安全上のご注意 必ずお守りください。

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック N08　卓上ホルダ N06　FOMA ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01　データ通信アダプタ N01
FOMA海外兼用ACアダプタ01

その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

2.FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。
道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末は折り畳み式のため、閉じた状態を検出するために磁石を使用しています。FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用しますと、磁石の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

ハンズフリーを「ON」に設定してスピーカで通話する際は、FOMA端末を耳から離してください。
聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えることがあります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

⚠注意

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

水濡れ禁止

FOMA端末を濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

miniSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

miniSDメモリーカードを取り付け、取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

禁止

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

禁止

ライトを目に近づけた状態で点灯しないでください。また、ライト点灯時は、照明部分に目を近づけて直接見ないようにしてください。
視力低下など、目に影響を与える場合があります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

ライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。
約30秒間操作しないとライトは消灯しますので、カメラ撮影以外の用途（懐中電灯など）に使用すると、急に暗くなり事故の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。
※使用箇所：材質

フロントケース（表示面）：
　マグネシウム合金
外側カメラと着信・充電ランプの間の銀色部分：
　スズ

3.電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
リチウムイオン	リチウムイオン電池

⚠危険

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックを濡らさないでください。
電池パックに水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

⚠警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠警告

禁止

直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。
漏液、発熱、性能や寿命を低下させる原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

4.アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠危険

FOMA海外兼用ACアダプタ01に使用するAC電源コードは、付属のAC電源コード、およびドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。また、海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。
FOMA ACアダプタ01：
　AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：
　DC12V・24V（マイナスアース車専用）

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

分解、改造をしないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、ふろ場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、コンセントやソケットからプラグを抜いてから、行ってください。
感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

5.FOMAカードの取扱いについて

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

指示

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

分解禁止

FOMAカードを分解、改造しないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

水濡れ禁止

FOMAカードを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止

ICを傷つけないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。
故障の原因となります。

指示

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取扱いについて

■ 本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会［旧不要電波問題対策協議会］）に準ずる。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
・病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
・自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

水をかけないでください。
・FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
・お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、染みになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
・端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
・急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
・多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

極端な高温、低温は避けてください。
・温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

使用中や充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
・万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
・故障の原因となります。

ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
・故障、破損の原因となります。

通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。
・ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

電池パックについてのお願い

電池パックは消耗品です。
・使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

・不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

次のような場所では、充電しないでください。

・周囲の温度が５℃以下または３５℃以上になるところ
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

・車のバッテリーを消耗させる原因となります。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

FOMAカードについてのお願い

IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。

極端な高温・低温は避けてください。

miniSDメモリーカードについてのお願い

miniSDメモリーカードの使用中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。

・データの消失や、故障の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「iモード」「iアプリ／アイアプリ」「iアプリDX」「WORLD CALL／ワールドコール」「WORLD WING／ワールドウィング」「ドライブモード」「XWave／エックスウェーブ」「iメロディ／アイメロディ」「iエリア／アイエリア」「クイックキャスト」「マルチアクセス」「iモーション／アイモーション」「mopera／モペラ」「iモーションメール／アイモーションメール」「着モーション」「デコメール／デコレーションメール」「キャラ電」「iアニメ／アイアニメ」「iアプリサーチ／アイアプリサーチ」「iショット／アイショット」「sigmarion／シグマリオン」「musea／ミュゼア」「DoPa／ドゥーパ」「ショートメール」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「M-stage Vライブ」「セキュリティスキャン」「スタイルプラス」および「FOMA」「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- LCフォント/LC FONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- フェイススタンプは、N-VisionのVirtual Accessoryエンジンを利用しています。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- NetFrontおよび NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- IrFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- © Disney
- © 2004 DEVILROBOTS
- Gガイドモバイル、G-GUIDE Mobile、Gガイドモバイルロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における商標、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、およびGコード、G-Codeは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
- AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

その他

・本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。
・本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
　・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
　・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
　・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
　プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
・下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
　Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
　4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501
　5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239
　5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338
　5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
　5,710,784 5,778,338
・本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
　NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。
・本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能としてIrFront®を搭載しています。
　IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。
・本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
・本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
・本製品は抗菌加工を施しております。
　SIAAマークはJIS Z 2801に適合し、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報管理された製品に表示されています。

　抗菌対象箇所：携帯電話ボディー（ディスプレイ、各種ボタン、端子部を除く）

Windowsの表記について

・Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
・Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
・Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
・Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
・Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
・本書では、Windows® 98とWindows® 98SEをWindows 98と記載しています。
・本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
・本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

FOMA N700i
（保証書、リアカバー N06含む）

FOMA N700i用CD-ROM

FOMA N700i取扱説明書
（本書）

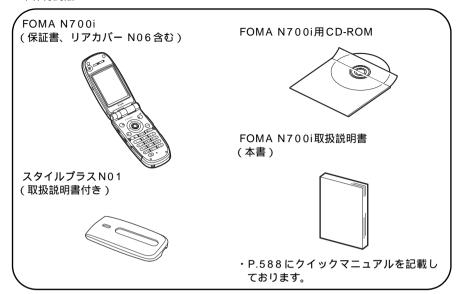
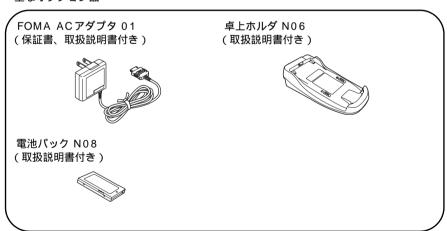
スタイルプラスN01
（取扱説明書付き）

・P.588にクイックマニュアルを記載しております。

＜主なオプション品＞

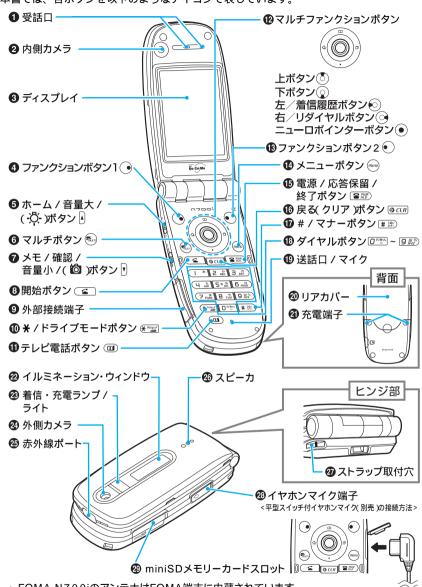
FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ N06
（取扱説明書付き）

電池パック N08
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.558

ご使用前の確認

各部の名称と機能

本書では、各ボタンを以下のようなアイコンで表しています。

・FOMA N700iのアンテナはFOMA端末に内蔵されています。
・FOMA N700iにはお買い上げのときにスタイルプラスが付属しています。スタイルプラスについて詳しくはスタイルプラスの取扱説明書をご覧ください。

サイズ(mm)※1	幅48×高さ102×奥行き25
質量(g)※2	約109

※1: 高さ、奥行きは折り畳んでいるときのものです。
※2: 電池パックを装着しているときのものです。
※1※2: スタイルプラスは含まれておりません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

■ 機能について

❶ 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。

❷ 内側カメラ
- 静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手側に自分の映像を送信するときに使用します。

❸ ディスプレイ

❹ ファンクションボタン１
- 画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.26

❺ ホーム／音量大／（　）ボタン
- 設定したサイトへ簡単に接続できます。→P.227
- FOMA端末を折り畳んだまま押すと、イルミネーション・ウィンドウのバックライトが点灯します。
- 通話中に受話音量を上げます。→P.65
- 文字を入力中に同じボタンに割り当てられた１つ前の読みに戻します。→P.522
- カメラ撮影のときにライトを点灯します。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。

❻ マルチボタン
- タスクメニューを表示します。→P.430

❼ メモ／確認／音量小／（　）ボタン
- 着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.71
- 伝言メモを再生します。→P.72
- FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メールを確認します。→P.69
- 通話中に受話音量を下げます。→P.65
- カメラ撮影をします。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。

（本書では[ホーム]と[メモ／確認]を合わせてサイドボタンと呼びます）

❽ 開始ボタン
- 音声電話をかけます。→P.48
- 音声電話に出ます。→P.60
- テレビ電話に代替画像で出ます。→P.81
- 入力した文字を小文字／大文字に切り替えます。→P.532

❾ 外部接続端子
- 各種オプション類を接続するときに使用する端子です。

❿ ＊／ドライブモードボタン
- 「＊」や「http://」などの文字列を入力します。→P.524
- ポーズ（p）を入力します。→P.53

⓫ テレビ電話ボタン
- テレビ電話をかけます。→P.77
- テレビ電話に出ます。→P.81
- テレビ電話中に、カメラ映像と代替画像を切り替えます。→P.82

⓬ マルチファンクションボタン

上ボタン
- カーソルまたは反転表示を上方向（逆方向）へ移動させます。押し続けると連続スクロールになります。
- 表示内容を上方向へスクロールさせます。
- 電話帳メニュー画面を表示します。
- 入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。

下ボタン
- カーソルまたは反転表示を下方向（逆方向）へ移動させます。
- 表示内容を下方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
- 電話帳検索メニュー画面を表示します。
- 入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。

左／着信履歴ボタン
- カーソルを左方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。
- 着信履歴を表示します。→P.62

右／リダイヤルボタン
- カーソルを右方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。
- リダイヤルを表示します。→P.50

ニューロポインターボタン
- ニューロポインターの使いかた→P.26

⓭ ファンクションボタン２
- 画面右下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.26

⓮ メニューボタン
- メインメニューを表示します。→P.32

⓯ 電源／応答保留／終了ボタン
- １秒以上押して電源を入れます。→P.43
- ２秒以上押して電源を切ります。→P.43
- 通話を終了します。→P.48
- 応答を保留します。→P.66

⓰ 戻る（クリア）ボタン
- 操作を１つ前の状態に戻します。
- 通話を保留します。→P.50
- 入力した電話番号や文字を削除します。→P.50、535

⓱ ＃／マナーボタン
- 「#」や記号を入力します。→P.524
- 着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.71

⓲ ダイヤルボタン　～
- 電話番号を入力します。→P.48
- 文字や数字を入力します。→P.530

⓳ 送話口／マイク
- 自分の声をここから伝えます。通話中に送話口をふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえにくくなります。
- カメラで動画を撮影するときや、「ピクチャボイス」で音声を録音するときにマイクになります。

⓴ リアカバー

㉑ 充電端子

㉒ イルミネーション・ウィンドウ
- FOMA端末の状態をメッセージやアイコン、アニメーションで表示します。

㉓ 着信・充電ランプ
- 音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、メールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときに点滅します。充電中は赤色に点灯します。

ライト
- カメラ撮影するときに使用します。

㉔ 外側カメラ
- 静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信するときに使用します。

㉕ 赤外線ポート
- 赤外線を送受信する窓です。→P.412

㉖ スピーカ
- 着信音や、ハンズフリー中の相手の声などがここから聞こえます。

㉗ ストラップ取付穴

㉘ イヤホンマイク端子
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込むと、ハンズフリーでご利用になれます。イヤホンジャック変換アダプタを使用すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイクなどもご利用になれます。

㉙ miniSDメモリーカードスロット
- miniSDメモリーカードを差し込みます。→P.394

ボタンの長押し操作について

ボタンを1秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ	ボタン	機能	参照ページ
	iモード問い合わせ(待受画面表示中)	P.231、271		「+」の入力(電話番号を入力する画面)	P.56
	iアプリのソフト一覧表示(待受画面表示中)	P.324		バックライトの点灯/消灯の切替	P.126
	タスクの切替(マルチタスク中)	P.430		ドライブモードの設定(待受画面表示中)	P.68
	待受画面の表示(マルチタスク中)	P.429		サイドボタンの設定(メインメニュー表示中)	P.151
	受信アドレス一覧の表示(待受画面表示中)	P.294		マナーモードの設定(待受画面表示中、通話中、着信中)	P.117
	送信アドレス一覧の表示(待受画面表示中)	P.294	[メモ/確認]	音声メモの録音(通話中)	P.447
	受話音量の調節(待受画面表示中、通話中)	P.65			

ソフトキーの使いかた

表示されたソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押します。

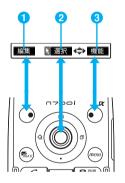
■ 1 のソフトキーを実行する場合

を押すと、1 に表示されたソフトキーを実行します。
1 には[文字]、[編集]、[登録]、[完了]、[デモ]、[ ]などが表示されます。

■ 2 のソフトキーを実行する場合

を押すと、2 に表示されたソフトキーを実行します。
2 には[選択]、[確定]、[再生]、[切替]などが表示されます。

■ 3 のソフトキーを実行する場合

を押すと、3 に表示されたソフトキーを実行します。
3 には[機能]、[閉]などが表示されます。[機能]が表示されているときに を押すと、機能メニューが表示されます。
→P.35

■ ソフトキーの表記について

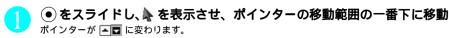
本書では、ソフトキーの選びかたを以下のように表記します。

操作するファンクションボタン　対応するソフトキーの内容

ニューロポインターの使いかた

ディスプレイの最下段に が表示されているときにニューロポインターをスライドすると、ポインター( )が表示されます。ニューロポインターをスライドしてポインターを移動させると、アイコンや項目をすばやく選択することができます。また一覧画面や機能メニューなど、表示している画面が複数のページにまたがる場合は、ニューロポインターを使って前後のページを切り替えることができます。

●ニューロポインターで前後の画面を切り替える

1 ◉をスライドし、を表示させ、ポインターの移動範囲の一番下に移動

ポインターが に変わります。

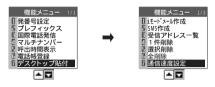
■ 一番上に移動させた場合

ポインターが に変わります。

2 ◉を押す

次のページが表示されます。

■ 前のページを表示させる場合

◉を左方向にスライドし、 を に変え、◉を押す

ディスプレイの見かた

ディスプレイおよびイルミネーション・ウィンドウに表示されるマーク（、、など）をアイコンといいます。

●ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.123

●アイコンの名称は、menu 3 6 を押して確認できます（ただし、すべてのアイコンの名称を確認することはできません）。

■ ディスプレイ

アイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
	電池残量表示→P.42		ダイヤル発信制限とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.148、151
	オールロック設定中→P.145		ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中→P.150、151
	シークレットモード中、シークレット専用モード中→P.148	（青色）	未読メールあり→P.268
	PIMロック設定中→P.150	（赤色）	受信BOX満杯→P.268
	ダイヤル発信制限設定中→P.151		FOMAカードのSMS満杯→P.317

次ページにつづく

アイコン	アイコンの内容
（青色）	未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.317
（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.268、317
（緑色）	未読メッセージリクエストあり→P.229
（赤色）	メッセージリクエスト満杯→P.229
（紫色）	未読メッセージフリーあり→P.229
（赤色）	メッセージフリー満杯→P.229
（青色）	iモードセンターにメールあり→P.270、271
（赤色）	iモードセンターのメール満杯→P.271
	「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときにiモードセンターにメールあり→P.270
（緑色）	iモードセンターにメッセージリクエストあり→P.231
（赤色）	iモードセンターのメッセージリクエスト満杯→P.231
（紫色）	iモードセンターにメッセージフリーあり→P.231
（赤色）	iモードセンターのメッセージフリー満杯→P.231
	電波の受信レベル→P.43
圏外	サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示→P.43
self	セルフモード設定中→P.157
	iモード中→P.204
	iモード通信中→P.204
	パケット通信中→P.490
	パケット通信中（発信）→P.490
	パケット通信中（着信）→P.490
	パケット通信中（データ送信中）→P.490
	パケット通信中（データ受信中）→P.490
SSL	SSL対応ページを表示中→P.208

アイコン	アイコンの内容
	USBケーブル接続中、通信モード中→P.479
	USBケーブル接続中、miniSDモード中→P.407
	ハンズフリー対応機器接続中→P.59
	ハンズフリー対応機器接続中、通信モード中→P.59
	ハンズフリー対応機器接続中、miniSDモード中→P.59
Ir	赤外線通信中→P.412
	赤外線リモコン操作中→P.418
	miniSDメモリーカード取り付け時→P.395
	miniSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.395
	miniSDリーダライタ使用中→P.407
	音声通話中→P.48
	64Kデータ通信中→P.490
／	テレビ電話中の通信速度を表示→P.77
	複数の機能を使用中→P.429
	1つの機能を使用中→P.429
	バイブレータ設定中→P.114
	着信音量を「消去」に設定中→P.66 メール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中→P.116
	マナーモード設定中→P.117
	遠隔監視設定中→P.87
	ドライブモード設定中→P.68
／	アラーム通知機能を設定中→P.431
〜	伝言メモ設定中→P.70
〜	留守番電話の伝言メッセージあり→P.466
	バックライトを「OFF」に設定中→P.126
SIDE	サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中→P.151

デスクトップアイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容
	貼り付けたデスクトップアイコン→P.135

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

タスクアイコン／時計表示エリア

アイコン	アイコンの内容
	タスクアイコン→P.138
時計表示	時刻を表示→P.44

ソフトキー表示エリア

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
MAIL	ファンクションボタン1◉に対応するソフトキーの内容を表示→P.26		マルチファンクションボタンのそれぞれのボタンが使えるときに表示
	ニューロポインター使用可能→P.26	imode	ファンクションボタン2◉に対応するソフトキーの内容を表示→P.26
選択	ニューロポインターボタン◉に対応するソフトキーの内容を表示→P.26		

ニューロポインター表示

アイコン	アイコンの内容
	ポインター（青色）→P.132
	ポインター（白色）→P.132
／	ポインターのページスクロール→P.27

■ イルミネーション・ウィンドウ

アイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
	電池残量表示→P.42		未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.317
	オールロック設定中→P.145		受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.268、317
	シークレットモード中、シークレット専用モード中→P.148		iモードセンターにメールあり→P.270、271
	PIMロック設定中→P.150		iモードセンターのメール満杯→P.271
	ダイヤル発信制限設定中→P.151		「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときにiモードセンターにメールあり→P.270
	ダイヤル発信制限とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.148、151		iモードセンターにメッセージリクエストあり→P.231
	ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中→P.150、151		iモードセンターのメッセージリクエスト満杯→P.231
	未読メールあり→P.268		iモードセンターにメッセージフリーあり→P.231
	受信BOX満杯→P.268		iモードセンターのメッセージフリー満杯→P.231
	FOMAカードのSMS満杯→P.317		

次ページにつづく

アイコン	アイコンの内容
	電波の受信レベル→P.43
	サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示→P.43
	セルフモード設定中→P.157
	iモード中→P.204
	iモード通信中→P.204
	パケット通信中→P.490
	パケット通信中（発信）→P.490
	パケット通信中（着信）→P.490
	パケット通信中（データ送信中）→P.490
	パケット通信中（データ受信中）→P.490
	SSL対応ページを表示中→P.208
	サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中→P.151
	miniSDメモリーカード取り付け時→P.395
	miniSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.395
	miniSDリーダライタ使用中→P.407

アイコン	アイコンの内容
	USBケーブル接続中、通信モード中→P.479
	USBケーブル接続中、miniSDモード中→P.407
	ハンズフリー対応機器接続中→P.59
	ハンズフリー対応機器接続中、通信モード中→P.59
	ハンズフリー対応機器接続中、miniSDモード中→P.59
	赤外線通信中→P.412
	赤外線リモコン操作中→P.418
	音声通話中→P.48
	64Kデータ通信中→P.490
64 32	テレビ電話中の通信速度を表示→P.77
	マナーモード設定中→P.117

おしらせ

● 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

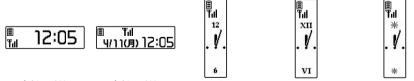
イルミネーション・ウィンドウ（背面ディスプレイ）の見かた

イルミネーション・ウィンドウには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージや画像、アニメーションで表示されるので、FOMA端末の状況をすぐに確認できます。

● イルミネーション・ウィンドウの表示のしかたを設定する→P.125

表示について

■時計表示

待受中に時計を表示します。以下の5種類または「OFF（表示しない）」から選択できます。

デジタル時計1　デジタル時計2　アナログ時計1　アナログ時計2　アナログ時計3

■着信中表示

電話がかかってきたときに電話番号を表示します。相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は相手の名前などの情報が表示されます。相手が電話番号を通知してこない場合はその理由が表示されます。

相手が電話番号を通知している場合

戸田俊司

相手が電話帳に登録されている場合

非通知設定

相手が電話番号を通知してこない場合

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

■通話中表示

通話中に通話の種類を表示します。FOMA端末を開いているときに表示されます。

Talking	Talking on video-phone	Remote observation
音声通話中	テレビ電話中	遠隔監視中

■発信中表示

FOMA端末を開いているときに表示されます。

Connecting

■アラーム通知のとき

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知では、機能に応じたアラーム通知アニメーションが表示されます。

「めざまし時計」のとき

「スケジュール」／「ToDo」のとき

■新しいメールを受信したとき

メール表示を「ON」に設定しているときは、「受信完了しました」が表示された後に送信日時、送信元と題名が表示されます。

受信完了しました
メールが届いています

■パケット通信中／64Kデータ通信中表示

パケット通信中または64Kデータ通信中に、通信の種類を表示します。

★パケット通信中★	★データ通信中★
パケット通信中	64Kデータ通信中

■カメラ動作中表示

カメラ動作中	カメラ撮影中
カメラ動作中	動画撮影中

■FOMA端末データ交換（赤外線通信、OBEX）使用中表示

★赤外線通信中★	★USB通信中★
赤外線送信中	OBEX通信中

電話やメールの相手を確認するとき

［ホーム］を押すと、3件まで内容を確認できます。

●「不在着信履歴」を表示するか、「不在着信あり」のデスクトップアイコンを消すと、イルミネーション・ウィンドウの不在着信表示は消えます。

●ツールグループの機能（P.429）を操作している場合は、イルミネーション・ウィンドウで不在着信を確認できません。

■不在着信表示

すべて確認すると時計表示に戻ります。

次ページにつづく

■新着メール表示

[ホーム]

4/11(月)11:32
送信元：戸田俊司　題

メール表示を「ON」に設定しているときは、送信日時、送信元と題名が表示されます。

すべて確認すると時計表示に戻ります。

おしらせ

- FOMA端末を閉じた状態で［ホーム］を押すと、バックライトが点灯します。暗い場所で時刻を確認するときなどに便利です。
- 省電力モードに入ると、イルミネーション・ウィンドウの表示が消えます。[ホーム]を押すと、再びイルミネーション・ウィンドウが表示されます。

メニューの選択方法

メインメニューまたはオリジナルメニューから、各機能を設定および確認するための画面を表示できます。

- menuを押して各種機能を実行、設定、確認する方法は、メインメニューから機能を選択する方法と、メニュー番号（P.548）を押して機能を呼び出す方法があります。この「取扱説明書」ではメニュー番号を押す方法で操作の説明をしています。
- メニュー操作を途中でやめる場合は PWR/HLD を押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、メニューによっては設定中の内容を破棄するかどうかのメッセージが表示される場合があります。そのような場合は、CLR を押すと操作をメッセージの前の状態に戻すことができます。

メインメニューから機能を選択する

＜例：「通話中イルミネーション」機能の点滅色を設定する場合＞

 で（各種設定）を選択し、 「通話」

■ 連続移動させる場合

を押し続ける

■ ニューロポインターを利用する場合

ニューロポインターの使いかた→P.26

■ メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合

メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

ご使用前の確認

2 で「通話中イルミネーション」を選択し、を押す

おしらせ

●「メニュー画面設定」でメインメニューのガイダンスを表示しないように設定できます。→P.128

● 選択する項目が複数ページにわたる場合

1 で設定したい項目を選択する

ページ単位でスクロールさせる場合は、（または[ホーム]）を押すと前のページに、（または[メモ／確認]）を押すと次のページに切り替わります。

現在のページ数／全体のページ数

2 を押す

選択した項目が設定されます。

3 操作が終わったらを押す

メニュー操作を終了して元の画面に戻ります。

● ダイヤルボタンで項目を選択する

1 ～を押し、項目を選択する

ダイヤルボタンに対応している番号

●「YES／NO」や「ON／OFF」を選択する場合

で「YES」（または「ON」）または「NO」（または「OFF」）を選択し、を押す

選択した項目が設定されます。

●端末暗証番号の入力

機能によっては詳細画面が表示される前に、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。機能の詳細画面を表示するには、端末暗証番号を入力してください。→P.142

4～8桁の端末暗証番号を入力し、を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

●数値を入力する場合

～を押して数値を入力し、を押す

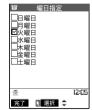
入力した数値が設定されます。
指定された桁数分の数字を入力すると自動的に確定する場合もあります。

■ 2桁の数値入力画面で1桁の数値を入力する場合

最初にを押してから数値を入力する
3桁の数値入力画面で2桁、1桁の数値を入力する場合は、最初にそれぞれを1回、2回押してから数値を入力します。

●チェックマークを付ける場合（複数選択）

で□（チェックボックス）を選択し、を押す

チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。を押すたびに、□と☑が切り替わります。
ソフトキーに「完了」が表示されている場合は、［完了］を押すと選択した項目が決定されます。
ソフトキーに「機能」が表示されている場合は、［機能］を押すと「全選択」や「全選択解除」などができます。

オリジナルメニューから機能を選択する

オリジナルメニューを使うと、機能を簡単に呼び出せます。

- オリジナルメニューの内容は、「オリジナルメニュー登録」で変更できます。→P.130
- オリジナルメニューは「一覧表示」で表示されます。

menu ▶ menu を押す

menu を押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

menu
➡
⬅
menu

おしらせ

- オリジナルメニューから待受画面に戻った場合、またはオリジナルメニューから機能を呼び出して操作した後に待受画面に戻った場合は、次に menu を押すとオリジナルメニューが表示されます。
- オリジナルメニューに機能が1件も登録されていない場合は、オリジナルメニューを登録するかどうかのメッセージが表示されます。

機能メニューについて

登録や編集、削除などができる機能を操作している場合、ソフトキーに「機能」が表示されます。◉［機能］を押すと機能メニューが表示されます。◎を押して実行したい機能メニューを反転表示させ◉を押して選択してください。

◉
➡

- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニューの右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。機能メニューの一番上の項目を選択しているときに◎を押すと前のページを、一番下の項目を選択しているときに◎を押すと次のページを表示します。ページ単位でスクロールさせる場合は、◎（または▲［ホーム］）を押すと前のページに、◎（または▼［メモ／確認］）を押すと次のページに切り替わります。
- 操作中の機能によって、表示される機能メニューの内容は異なります。
- 設定状態などにより、機能メニューを選択できない場合があります。選択できない機能メニューはグレーで表示されます。

FOMAカードを使う

FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

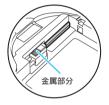
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。

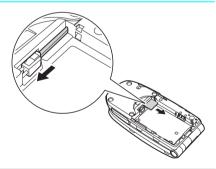
●取り付けかた

1 FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでFOMAカード挿入口に差し込む

2 FOMAカードが固定されるよう奥まで差し込む

ロックの金属部分が下図のように左端にあることを確認してください。

正しく取り付けられた状態

●取り外しかた

1 FOMAカードを固定しているロックをスライドさせる

2 FOMAカードが少し出てくるので、まっすぐ静かに引き抜く

おしらせ

- 無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
PIN1コードとは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたびに入力させる4～8桁の暗証番号です。
PIN2コードとは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

●PIN1コードおよびPIN2コードは、ご契約時は「0000」に設定されています。
●PIN1コードおよびPIN2コードは変更できます。→P.144
●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。

FOMAカード動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能とは、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能です。サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、iモードメールに添付されているデータやファイルを取得すると、FOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。
別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルには「」が表示されます。

●FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたiアプリ／メロディ／画像／キャラ電／ダウンロード辞書
- サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーション
- メロディ／画像／iモーション／キャラ電／ダウンロード辞書が含まれている画面メモ
- 受信BOX内のiモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像）
- 送信BOX／保存BOX内のiモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／iモーション。ただし、本FOMA端末で作成または撮影したデータは除く）
- ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージリクエスト、メッセージフリー
- デコメール本文中に挿入されている画像

●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、別のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
●赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能、miniSDメモリーカードを使って受信したデータ、編集された画像（ファイル制限無し）、内蔵カメラで撮影した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。

おしらせ

●FOMAカード動作制限機能が設定されると、ほかの人のFOMAカードに差し替えたときは、「画面表示設定」や「着信音選択」などで本機能が設定されたデータやファイルを設定することができません。
●FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの設定で動作します。
●あらかじめ登録されているiアプリでも、一度削除して再度サイトからダウンロードしたりバージョンアップすると、本機能の対象になります。
●FOMAカード動作制限機能が設定されていると、iモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択してiアプリを起動することはできません。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMA端末でFOMAカードをご使用になる場合、以下のような機能差分があります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

WORLD WINGのご利用にはお申し込みが必要です。お申し込みについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

●電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

電池パックの取り付けかた

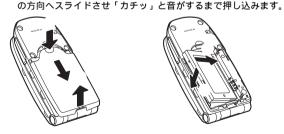
1 リアカバーを取り外す

リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外します。

2 電池パックを取り付ける

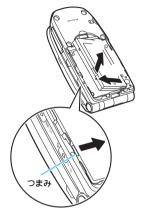
電池パックの注意書き面を上にして、電池パックとFOMA端末（本体）の金属端子が合うように④の方向に取り付けてから、⑤の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける

リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑥の方向へ押し付けながら⑦の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

電池パックの取り外しかた

1 **リアカバーを取り外す**

2 **電池パックを取り出す**

電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、③の方向に取り外します。

おしらせ

- 無理に付けようとするとFOMA端末（本体）の金属端子が壊れることがあります。
- 詳しくは電池パックNO8の取扱説明書をご覧ください。

電池の上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、FOMA端末専用の電池パック N08をご利用ください。

■ 電池の寿命

- 電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使うことのできる時間が、使いはじめたときに比べ半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
- 電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■ 充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に付けた状態でないと充電できません。
- 充電中でも FOMA 端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度取り付けし直してください。

次ページにつづく

電池の使用時間の目安

（電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります）

連続通話時間	連続待受時間
音声電話　：約140分 テレビ電話：約90分	静止時：約430時間 移動時：約350時間

・連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
・連続待受時間とは FOMA 端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やiモード通信をしなくても、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
・静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
・移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
・miniSDメモリーカードを取り付けているとき、データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラやライトを使用したときも、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

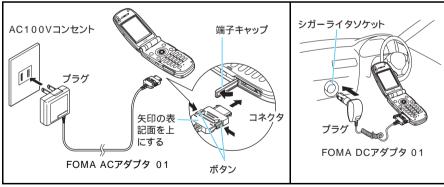
おしらせ

● 電池残量がなくなったときや電池パックを外したときは、静止画や動画の保存などができない場合があります。

携帯電話を充電する

●別売りのACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダで充電できます。

AC アダプタ／DCアダプタで充電する

■ **ACアダプタの場合**　　■ **DCアダプタの場合**

1 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける**

2 **ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む**

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

3 **ACアダプタのプラグをコンセントに／DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む**

充電がはじまります。

充電時間の目安
約120分

4 **充電が終わったら、ボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタを FOMA端末から引き抜き、ACアダプタのプラグをコンセントから／DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く**

5 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる**

卓上ホルダで充電する

1 **ACアダプタのコネクタを卓上ホルダ背面の端子に差し込む**

2 **ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む**

3 **上図のようにFOMA端末を卓上ホルダにしっかりと取り付ける**

充電がはじまります。

充電時間の目安
約120分

4 **充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の両側を持って矢印の方向へ持ち上げ、FOMA端末を卓上ホルダから外す**

次ページにつづく

おしらせ

- FOMA端末は卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です。
- 電源を入れておくと、充電中でも電話を受けることができます（充電時間は長くなります)。
- 電源を入れておくと、充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。
- ACアダプタはAC100Vのみに対応しています。
- 電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- 電池が切れた状態や、電話帳などのデータがいっぱいで電源を切っている場合、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。
- DCアダプタのヒューズは、2A を使っています。万一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

残量の確認は目安としてご利用ください。

電池残量表示で確認する

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。

(緑色）：十分残っています。
(緑色）：少なくなっています。
(赤色）：ほとんど残っていません。

音と表示で確認する

電池残量を音と表示でお知らせします。

1 menu 7 1 **を押す**

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒たつと電池残量のグラフィックは消えます。

「ピッピッピッ」：十分残っているとき
「ピッピッ」：少なくなっているとき
「ピッ」：ほとんど残っていないとき

おしらせ

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は音が鳴りません。

電池が切れたときは？

電池充電してください

電池切れアラームとともに左のような画面を点滅表示します。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームをとめる場合は▲[ホーム]、▼[メモ／確認]以外のいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

- 通話中に電池が切れた場合は、電池切れ画面と「ピッピッピッ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。
- マナーモード設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合、または「低電圧アラーム」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」の場合、電池切れアラームは鳴りません。

電源を入れる／切る

●お買い上げ後はじめてお使いになる場合（または長時間お使いにならなかった場合）は、必ず充電してからお使いください。また、充電には必ず専用のACアダプタやDCアダプタ（別売）をお使いください。

●お買い上げのときは、日付・時刻は設定されていません。「時計設定」で設定してください。→ P.44

電源を入れる

PWR/HLD を1秒以上押す

待受画面

待受画面または初期値設定画面が表示されます。
電池パックを取り付けたり、電源を切ってすぐに電源を入れると、しばらくの間「Wait a minute」と表示されることがあります。

■「圏外」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルの目安は以下のようになります。

（強い） ➡ ➡ （弱い）

■PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると待受画面が表示されます。→ P.143

■初期値設定画面が表示された場合

初期設定を行います。「初期設定を行う」→P.43

電源を切る

PWR/HLD を2秒以上押す

終了画面が表示され、電源が切れます。

おしらせ

●移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が切れることがあります。できるだけ「」が表示されている状態で使用することをおすすめします。
●電源を切った後は、しばらくたってから電源を入れてください。

〈初期値設定〉

初期設定を行う

電源を入れた後に初期値設定として「時計設定」、「端末暗証番号の変更」、「ボタン確認音」、「ニューロポインター設定」（簡易設定のみ）を設定することができます。

●それぞれの機能をすでに設定しているときは、その機能の設定画面は表示されません。

●すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期値設定の画面は表示されません。また、初期値設定の画面が表示されない状態で「設定リセット」を行っても、初期値設定の画面は表示されません。

次ページにつづく

1 初期値設定の画面で「YES」を選択し、◉を押す

初期値設定画面

2 時計を設定する

時計設定について→P.44

3 端末暗証番号を変更する

端末暗証番号はお買い上げのときは「0000」に設定されています。
端末暗証番号を変更する→P.143

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音について→P.115

5 ニューロポインターの速度を設定する

ニューロポインター設定の簡易設定のみを行います。
ニューロポインター設定について→P.132

おしらせ

- 「オールロック」、「ダイヤル発信制限」設定中は初期値設定できません。
- 設定中に電話がかかってきたり、[PWR HLD]または[CLR]を押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- それぞれの機能を個別に設定することもできます。

〈時計設定〉

日付・時刻を合わせる

お買い上げのときは日付・時刻が設定されていません。「時計設定」で日付・時刻を設定すると待受画面やイルミネーション・ウィンドウなどに日付・時刻が表示されるようになります。

- 設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。日付・時刻の表示は2037年12月31日23時59分以降進みません。
- 時計を設定すると、「めざまし時計」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。

<例：2005年4月11日、12時05分に設定する場合>

1 [menu][3][1]を押す

2 年（西暦）、月、日、時刻（24時間表示）を入力し、◉を押す

[十字キー]を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。
ここでは[2]、[0]、[0]、[5]、[0]、[4]、[1]、[1]、[1]、[2]、[0]、[5]と押します。

おしらせ

- 設定範囲外の日付・時刻を入力した場合、日付・時刻は設定されません。もう一度入力し直してください。
- 通話中でも日付・時刻を設定することができます。
- 日付・時刻を設定しないと、SSL通信（認証）機能、iアプリ自動起動機能やiアプリDXなどの機能が使用できなかったり、再生期限・再生期間のあるiモーションの取得ができません。
- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外していると保持されない場合があります。そのような場合は、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、バックアップ電池は電池パックを充電すると、同時に充電されます。

〈発信者番号通知〉

相手に自分の電話番号を通知する

ご契約時：通知しない	お申し込み：不要	月額使用料：無料

FOMA端末は電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- 「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
- 発信者番号通知は相手の電話機が発信者番号表示に対応しているときだけご利用いただけます。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、いったん電話を切って発信者番号を「通知する」に設定してかけ直せば相手に電話がかかります。

 ▶ **以下の項目から選択**

項目	操作	
1 発信者番号通知設定	▶ 以下の項目から選択 ネットワーク暗証番号について→P.142	
	1 通知する	▶ ネットワーク暗証番号を入力し、◉を押す
	2 通知しない	▶ ネットワーク暗証番号を入力し、◉を押す
2 発信者番号通知設定確認	▶ 発信者番号の通知設定を確認し、◉を押す	

おしらせ

- 電話番号をダイヤルしたときや、「電話帳」、「リダイヤル」または「着信履歴」で電話番号を表示させたときに、発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→ P.49

〈自局番号表示〉

自分の電話番号を確認する

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認できます。

●お買い上げのときは、自局番号のみ表示されます。

1 を押す

おしらせ

- お客様の個人データ（名前、自宅などの電話番号や住所、メールアドレスなど）を登録することもできます。→ P.445
- 個人データを登録している場合、を押して確認できます。
- iモードのメールアドレスは、iモードメニューから「Menu」を選択し、▶「オプション設定」を選択し、▶「メール設定」を選択し、▶「アドレス確認」を選択し、の順に操作すると確認できます。

●電話のかけかた／受けかた

■電話のかけかた

■電話の受けかた

■電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

電話番号をダイヤルして音声電話をかけます。

相手の市外局番からダイヤルする

「電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 － 市内局番 － 電話番号

■ **携帯電話にかける場合**

090－××××－××××
または
080－××××－××××

■ **PHSにかける場合**

070－××××－××××

電話番号入力画面

2 または を押す

電話番号が一度消えた後、右端から表示されて電話がかかります。
発信中は「 」が点滅し、通話中は点灯します。
「通話中画面」が表示されます。

■ **「ツーツー」という話中音が聞こえる場合**

相手が話し中です。 を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■ **電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合**

相手の携帯電話またはPHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。 を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■ **電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合**

相手が番号通知お願いサービスを「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直しください。

通話中画面

3 お話しが終わったら を押す

おしらせ

- iモード中またはメールの送受信中でも電話をかけることができます。
- 64Kデータ通信中、テレビ電話中には音声電話はかけられません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることができます。→P.455
- 通話中に通話中画面以外の画面を表示させた場合、 を押すと通話中画面に戻ります。
- 発信中または通話中に ［ ］を押すとハンズフリーに切り替わります。ハンズフリーに設定すると、相手の音声をスピーカから流して通話できます。ただし、ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。再度 ［ ］を押すとハンズフリーを解除します。
- 通話中の相手に内蔵カメラで撮影した静止画を送信すること（スピードフォトメール）もできます。→P.254
- 操作1と2が逆でも電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは を押して表示を消してからかけ直してください。
- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。
- 電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に静止画が登録されていても、静止画は表示されません。
- 「PIMロック」、シークレットモード、シークレット専用モード設定中に登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

電話番号入力画面の機能メニューを使う

電話番号入力画面で ➡ P.48

◉［機能］▶以下の項目から選択

電話番号入力画面の機能メニュー 1/2

項目	操作・説明	
1 発番号設定	▶以下の項目から選択 相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。	
	1 通知しない	通知しません。
	2 通知する	通知します。
	3 発番号設定消去	通知しない／通知するの設定を消去します。
2 プレフィックス	▶付加したいプレフィックスの登録名を選択 「プレフィックスを設定する」→P.54	
3 国際電話発信	■「＋」がついている（国番号がついている）場合 ▶◉を押す ■「＋」がついていない（国番号がついていない）場合 ▶国番号を選択し、◉▶◉を押す 市外局番が「0」ではじまる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。	
4 マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.475	
5 電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93	
6 iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.247	
7 通信速度設定	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。	
	1 64K	「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
	2 32K	「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。

電話番号入力画面の機能メニュー 2/2

項目	操作・説明	
1 テレビ電話画像選択	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの画像を設定します。	
	1 自画像	自画像に設定します。
	2 キャラ電	キャラ電を設定します。
	3 設定解除	自画像／キャラ電の設定を解除します。

通話中画面の機能メニューを使う

通話中画面で ➡ P.48

◉［機能］▶以下の項目から選択

通話中画面の機能メニュー画面

通話中画面の機能メニュー

項目	説明
1 スピードフォトメール	「通話中に撮影した静止画を送信する」→P.254
2 スピードフォトメール表示	受信したスピードフォトメールを表示します。
3 iモード問い合わせ	iモード問い合わせをします。→P.231、271

電話番号の入力を間違えたとき

■ **番号を挿入する場合**

 を押して挿入したい位置の１つ右の番号にカーソルを移動して番号を入力します。

■ **番号を削除する場合**

 を押して削除したい番号にカーソルを合わせて CLR を押します。
CLR を１秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその右側にあるすべての番号が削除されます。

■ **番号をすべて訂正する場合**

カーソルを番号の先頭か最後に合わせて CLR を１秒以上押します。

通話中に保留にする＜通話中保留＞

通話中の電話を保留にできます。

1 通話中に CLR を押す

相手に保留音が流れます。

■ **保留中に電話を切る場合**

PWR/HLD を押す

■ **保留中に相手が電話を切った場合**

通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら CLR、 または ● を押す

おしらせ

- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に流れる保留音は「保留音設定」で設定できます。
- 「クローズ動作設定」を「終話」以外に設定している場合は、FOMA端末を閉じても通話を保留にできます。
- 「通話中イルミネーション」を「OFF」以外に設定している場合、通話を保留している間もイルミネーションが点滅します。

〈リダイヤル／発信履歴〉

前にかけた相手にかけ直す

リダイヤル／発信履歴を利用する

- リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。発信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件、合計60件まで記憶できます。
- 同じ電話番号にかけたときは、リダイヤルには１件として最新のものが記憶されます。発信履歴には別の１件として記憶されます。
- リダイヤル／発信履歴が最大件数を超えた場合は、それぞれ古いものから順に上書きされます。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたときは、リダイヤル／発信履歴に記憶されません。

1 を押す

「リダイヤル画面（一覧）」が表示されます。

■ 発信履歴を表示する場合

待受画面で ▶ を選択し、 ▶ 「発信履歴」
「発信履歴画面（一覧）」が表示されます。

例: リダイヤル画面（一覧）

2 確認したいリダイヤル／発信履歴を選択し、 を押す

「リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）」が表示されます。
画面右上には「現在の番号／全体の件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かけた電話番号となります。

■ 前後のリダイヤル／発信履歴を確認する場合

を押すと前（新しい）の番号に、 を押すと次（古い）の番号に切り替わります。

■ 電話帳に登録した電話番号の場合

名前が登録されていると、その名前も一緒に表示されます。

例:リダイヤル画面（詳細）

3 または を押す

■ テレビ電話をかける場合

を押す

4 お話しが終わったら を押す

おしらせ

- 電源を切っても、リダイヤル／発信履歴は削除されません。発信した電話番号をほかの人に見られたくない場合は、リダイヤル／発信履歴を削除するか、「履歴表示設定」の「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定してください。
- 待受画面で （ ）を押して を押すと最新のリダイヤルに音声電話（テレビ電話）をかけることができます。
- 64Kデータ通信の発信履歴は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用した場合のみ記憶されます。
- 「PIMロック」設定中は、電話帳に名前が登録されている相手への発信でも、電話番号だけが記憶されます。
- 「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、日付・時刻は記憶されません。
- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル／発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話はリダイヤル／発信履歴に記憶されます。
- テレビ電話中は、リダイヤル／発信履歴を表示できません。

リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニューを使う

- リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニューは、一覧画面と詳細画面で共通です。

リダイヤル画面（一覧／詳細）／発信履歴画面（一覧／詳細）で ➡ P.51

1 ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニュー 1/2

1 発番号設定※	▶ 以下の項目から選択 相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。	
	1 通知しない	通知しません。
	2 通知する	通知します。
	3 発番号設定消去	通知しない／通知するの設定を消去します。

次ページにつづく

2 プレフィックス※	▶付加したいプレフィックスの登録名を選択 「プレフィックスを設定する」→P.54
3 国際電話発信	■「+」がついている（国番号がついている）場合 ▶◉を押す ■「+」がついていない（国番号がついていない）場合 ▶国番号を選択し、◉▶◉を押す 市外局番が「0」ではじまる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。
4 マルチナンバー※	「マルチナンバー」→P.475
5 電話帳登録	「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.96
6 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
7 iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.247

※：詳細画面のときのみ操作できます。

リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニュー 2/2

1 SMS作成	「SMSを作成して送信する」→P.311	
2 送信アドレス一覧	送信アドレス一覧を表示します。	
3 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す	
4 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す	
5 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す リダイヤルと発信履歴をすべて削除します。端末暗証番号について→P.142	
6 通信速度設定※	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。	
	1 64K	「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
	2 32K	「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
7 テレビ電話画像選択※	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの画像を設定します。	
	1 自画像	自画像に設定します。
	2 キャラ電	キャラ電を設定します。
	3 設定解除	自画像／キャラ電の設定を解除します。

※：詳細画面のときのみ操作できます。

おしらせ

- 「iモードメール作成」は電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、メールアドレスを宛先としたメールを作成します。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
- 「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。発信履歴を削除するときは、発信履歴画面から削除してください。

■表示されるリダイヤル／発信履歴のアイコンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
電話	音声電話の発信	INT'L 電話	国際テレビ電話の発信
INT'L 電話	国際電話の発信	パケット	パケット通信の発信
電話	テレビ電話の発信	64k	64Kデータ通信の発信

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話機が発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

機能名	機能内容	参照ページ
発信者番号通知	電話をかけたときに、お客様の電話番号を通知するかどうかを一括して設定します。	P.45
「186」/「184」ダイヤル	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを「186」/「184」をダイヤルして設定します。	P.53
発番号設定	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを機能メニューから設定します。	P.49

相手の電話番号の前に「186」/「184」をつけてダイヤルする

電話をかけるたびに、電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。

■ **電話番号を通知する場合**

音声電話　：186－［相手先の電話番号］－

テレビ電話：186－［相手先の電話番号］－

■ **電話番号を通知しない場合**

音声電話　：184－［相手先の電話番号］－

テレビ電話：184－［相手先の電話番号］－

おしらせ

- 「186」の代わりに「＊31＃」、「184」の代わりに「＃31＃」をつけてダイヤルしても同じ機能となります。
- 電話番号の通知をお願いするガイダンスが流れた場合は、「186」または「＊31＃」をつけてダイヤルし直すと通話できます。

〈ポーズダイヤル〉

プッシュ信号を手早く送り出す

FOMA端末からプッシュ信号を送って、ポケットベル＊へのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

- 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、＃、＊、ポーズ（p）です。
- ポーズ（p）をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

1 **menu 8 4 を押す**

「ポーズダイヤル画面」が表示されます。

■ **すでにダイヤルデータが登録されている場合**

登録されているダイヤルデータが表示されます。

2 **● ［編集］ ▶ ダイヤルデータを入力し、● を押す**

0 ～ 9、#、＊ を押してダイヤルデータを入力してください。

■ **ポーズ（p）を入力する場合**

＊ を1秒以上押す

ポーズダイヤル画面

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

ポーズダイヤル画面の機能メニューを使う

ポーズダイヤル画面で ➡ P.53

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

ポーズダイヤル画面の機能メニュー

1 編集	▶ダイヤルデータを編集し、◉を押す
2 ポーズダイヤル送信	▶送信先の電話番号を入力し、◉▶◉を押す ◉を押すたびに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。
3 削除	▶「YES」を選択し、◉を押す

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信する

1 menu 8 4 を押す

2 ◉▶送信先の電話番号をダイヤルする

■ **電話帳やリダイヤルなどから電話番号を入力する場合**

電話番号の一部をダイヤルして◎を押して検索する
◎を押して電話帳検索画面から検索方法を選択して検索する
◎を押してリダイヤルまたは◎を押して着信履歴から検索する

3 ☎または◉を押す

入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のポーズ（p）までのダイヤルデータが表示されます。ポーズ（p）は表示されません。

4 ☎または◉を押してダイヤルデータを送信する

☎または◉を押すたびに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

■ **ダイヤルデータをまとめて送出する場合**

◎（1秒以上）▶ 2「一括送出」
相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- 音声通話中にポーズダイヤル画面を表示させて◉を押すと、通話中の相手にダイヤルデータを送信できます。
- テレビ電話中は、ポーズダイヤルを送信できません。

〈プレフィックス設定〉

プレフィックスを設定する

お買い上げ時	「WORLD CALL」（009130010）

よく使用する特定の番号（プレフィックス）をあらかじめ設定します。設定した番号は「ダイヤル入力」、「電話帳」、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話をかけるときに電話番号の前につけてダイヤルできます。「発信者番号通知」などの番号を設定しておくと便利です。
- プレフィックスは7件まで登録できます。
- 番号に登録できる文字は0～9、#、*、＋です。

1 menu ▶ 各種設定を選択し、● ▶ ◎ ▶ 1 「その他」▶「プレフィックス設定」を選択し、●を押す

「プレフィックス設定画面」が表示されます。

プレフィックス設定画面

2 「<未登録>」を選択し、● ［編集］を押す

■ **すでに登録されているプレフィックスの内容を変更する場合**

変更したい登録名のプレフィックスを選択し、● ［編集］を押す

■ **すでに登録されているプレフィックスの内容を確認する場合**

確認したい登録名のプレフィックス番号を押す

3 登録名を入力し、●を押す

登録名は全角で８文字、半角で16文字まで入力できます。
文字を入力する→P.522

4 番号（プレフィックス）を入力し、●を押す

番号は10桁まで入力できます。

プレフィックス設定画面の機能メニューを使う

プレフィックス設定画面で ➡ P.55

1 ● ［機能］▶ 以下の項目から選択

プレフィックス設定画面の機能メニュー

1 編集	プレフィックスを編集します。「文字を入力する」→P.522
2 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す
3 全削除	▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、●を押す 端末暗証番号について→P.142

〈WORLD CALL〉

国際電話を利用する

お申し込み：不要	月額使用料：無料

WORLD CALLとはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に合わせて「WORLD CALL」もご契約いただいております（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

●通話先は世界約220の国と地域です。
●「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。

次ページにつづく

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 009130－010－国番号－市外局番－相手先電話番号の順にダイヤルする

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 [発信]を押す

3 お話しが終ったら[終話]を押す

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後に[テレビ電話]を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

「＋」を利用して国際電話をかける

「＋」を利用すれば、009130-010などの国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げのときには「国際ダイヤル設定」（P.57）の「自動付加設定」が「自動付加」に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1 待受画面表示中に、＋（[0]を1秒以上押す）－国番号－市外局番－相手先電話番号の順にダイヤルする

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 [発信]または[●]▶[1]「発信」

国際電話がかかります。

■「＋」を国際アクセス番号に変換しないでかける場合

[2]「元の番号で発信」を押す

■ 電話をかけるのをやめる場合

[3]「中止」を押す

国際電話の発信を簡単な操作でできるようにする<国際ダイヤル設定>

お買い上げ時	自動付加設定：自動付加　国際電話設定：「WORLD CALL」（009130010） 国番号設定：「アメリカ」（国番号：1）

国際電話をかけるときの設定内容を変更したり、新しく国番号を登録することができます。設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目	内容
自動付加設定	国内から国際電話をかけるときには、入力した「＋」を、本機能で設定した国際アクセス番号に自動的に置き換えます。
国際電話設定	国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。
国番号設定	国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を登録します。

● 自動付加について設定する

国際電話をかけるときの「＋」の自動付加について設定します。

1. menu ▶ 各種設定を選択し、● ▶ ◎ ▶ 1「その他」▶「国際ダイヤル設定」を選択し、● を押す

2. 1「自動付加設定」▶ 1「自動付加」

   ■ 付加しない場合
   2「付加なし」を押す

3. 国名を選択し、● を押す

おしらせ

● 緊急通報番号（110番、119番、118番）や、「＋」の後に81（日本の国番号）を入力した場合は国際アクセス番号を付加しません。

● 国際アクセス番号の登録を変更する

国際アクセス番号に登録できる番号は1件です。

1. menu ▶ 各種設定を選択し、● ▶ ◎ ▶ 1「その他」▶「国際ダイヤル設定」を選択し、● を押す

2. 2「国際電話設定」を押す
   登録されている国際アクセス名と国際アクセス番号が表示されます。

3. ●［編集］▶ 国際アクセス名を入力し、● を押す
   文字を入力する→P.522

4. 国際アクセス番号を入力し、● を押す
   国際アクセス番号は10桁まで入力できます。

● 国番号を登録する

国番号は3件まで登録できます。

次ページにつづく

1 [menu]▶[各種設定]を選択し、●▶[方向キー]▶[1]「その他」▶「国際ダイヤル設定」を選択し、●を押す

2 [3]「国番号設定」を押す

「国番号設定画面」が表示されます。

国番号設定画面

3 「<未登録>」を選択し、●［編集］を押す

■ すでに登録されている項目を変更する場合

すでに登録されている項目を選択し、●［編集］を押す

4 国名称を入力し、●を押す

文字を入力する→P.522

5 国番号を入力し、●を押す

国番号は5桁まで入力できます。
国番号についてはドコモのホームページをご覧ください。

国番号設定画面の機能メニューを使う

国番号設定画面で ➡ P.58

1 ●［機能］▶以下の項目から選択

国番号設定画面の機能メニュー

項目	説明
1 編集	項目を編集します。「文字を入力する」→P.522
2 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す
3 全削除	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

●「自動付加設定」で設定されている国番号は削除できません。

〈サブアドレス設定〉

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識するように設定できます。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「M-stageVライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 [menu]▶[各種設定]を選択し、●▶[方向キー]▶[1]「その他」▶「サブアドレス設定」を選択し、●▶[1]「ON」または[2]「OFF」

おしらせ

●以下のような場合、「＊」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「＊」も含めて普通の電話番号として認識されます。

・電話番号の先頭に「＊」がある場合
・電話番号の先頭に「186」、「184」、「＊31＃」、「＃31＃」があり、その直後に「＊」がある場合
・「プレフィックス」で入力した番号の直後に「＊」がある場合

〈再接続機能〉
再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時	アラームなし

FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定できます。
- ●ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。
- ●急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

menu 7 7 ▶ 1「アラームなし」、2「アラーム高音」または3「アラーム低音」

おしらせ
- ●再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。
- ●電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

〈ノイズキャンセラ〉
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、音声電話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくすることができます。

menu 7 6 ▶ 1「ON」または2「OFF」

おしらせ
- ●テレビ電話中は常にノイズキャンセラが有効となります。

〈車載ハンズフリー〉
車の中で手を使わずに話す

ハンズフリー対応機器（カーナビゲーションなど）とFOMA端末を接続することで、ハンズフリー対応機器から音声電話やテレビ電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。本機能は、ハンズフリー対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。2005年2月現在、ハンズフリー対応機器はリリースされておりません。
- ●ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。→P.407
- ●着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ●ハンズフリー対応機器を接続し、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、音声電話／テレビ電話やメールなどの着信時にはハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ●ドライブモード設定中の着信動作は、ドライブモードの設定に従います。
- ●「伝言メモ」設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- ●ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、通信速度はハンズフリー対応機器の設定に従います。設定されていない場合、通信速度は「64K」になります。
- ●ハンズフリー対応機器を接続し、FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。

電話を受ける

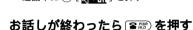
1 電話がかかってきたら［着信］または●を押して、電話を受ける

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信ランプが点滅し、「着信中画面」が表示されます。
「バイブレータ」を「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。

着信中画面

■ ハンズフリーに切り替える場合

通話中に◉［］を押す

2 お話しが終わったら［PWR HLD］を押す

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。
これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声が歪んで聞こえたりする場合があります。

着信中画面の機能メニューを使う

着信中画面で ➡ P.60

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

着信中画面の機能メニュー

1 着信拒否	意図的に電話を切ります。
2 転送でんわ	電話を転送します。 「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。 「転送でんわサービス」→P.468
3 留守番電話	電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」→P.464

おしらせ

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定すると、[発信]、[●]以外に[0]～[9]、[*]、[CLR]、[マルチ]、[◎]、[▲][ホーム]のいずれかのボタンを押しても電話を受けることができます。ただし、FOMA端末を閉じた状態で[▲][ホーム]を押したときには、通話中保留の状態になります。また、「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定すると、ボタンを押して着信音だけをとめることができます。
- 着信中に[#]または[▼][メモ／確認]を押すと、マナーモードになり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録音できます。
- 電話帳に登録されている相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話番号と相手の名前が表示されます。また、電話帳に画像が登録されている場合は、その画像が表示されます。ただし、シークレットデータとして登録されている場合は名前や画像は表示されず、電話番号のみが表示されます。また、電話番号を通知してこない相手の場合は、その理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。
- 電話の着信は「着信履歴」に30件まで記憶されます。相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。
- 「キャッチホン」をご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に、「キャッチホン」を「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴り、以下の動作が可能です。
  - ・通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。
  - ・「留守番電話サービス」をご契約されている場合は、留守番電話サービスセンターへ転送できます。
  - ・「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、転送先へ転送できます。

  詳しくはP.467を参照してください。
- ドライブモード設定中は、着信音は鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。
- 電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。→P.157
- 電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、着信があった時点から呼び出し動作を開始する（着信を知らせる）までの無音時間を設定できます。→P.156
- 「指定着信拒否」に設定した電話番号からの着信は受けることはできません。また、「指定着信許可」に設定した電話番号以外の着信は受けることはできません。→P.153
- 相手の電話番号が通知されなかったときは非通知理由が表示されます。→P.155

〈着信アンサー設定〉

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時	エニーキーアンサー

電話がかかってきたとき、いずれかのボタンを押すとすぐに電話に出るか、着信音をとめるかの設定をすることができます。クイックサイレントに設定すると、周囲に迷惑がかかるような場所で電話がかかってきた場合などに便利です。

[MENU][5][8] ▶ **以下の項目から選択**

1 **エニーキーアンサー**	音声電話がかかってきたとき、[発信]、[●]以外にも[0]～[9]、[*]、[CLR]、[マルチ]、[◎]、[▲][ホーム]のいずれかのボタンを押すと、すぐに電話に出ることができます（FOMA端末を閉じた状態で[▲][ホーム]を押すと保留状態になります）。 ただしテレビ電話の場合は無効になります。
2 **クイックサイレント**	音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、[0]～[9]、[*]、[CLR]、[マルチ]、[◎]、[▲][ホーム]のいずれかのボタンを押すかFOMA端末を開くと、着信音およびバイブレータがとまります。着信音をとめても相手には呼び出し音が鳴ったままです。音声電話の場合は、[発信]または[●]を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は、[テレビ電話]を押すとカメラ映像で、[発信]または[●]を押すと代替画像で電話に出ることができます。
3 **OFF**	音声電話がかかってきた場合は、[発信]または[●]を押したときのみ電話に出ることができます。 テレビ電話がかかってきた場合は、[テレビ電話]、[発信]、[●]のいずれかのボタンを押したときのみ電話に出ることができます（[発信]、[●]を押したときは代替画像でテレビ電話に出ます）。

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
- 「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」に設定中でも、[5]を1秒以上押すとバックライトのON／OFF切り替えとなり、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は働きません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」にかかわらず、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押しても電話を受けることができます。
- 「サイドボタン操作」を「無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じている状態では[▲][ホーム]を押しても、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は働きません。

〈クローズ動作設定〉

FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する

お買い上げ時	終話

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定できます。

menu 1 8 ▶以下の項目から選択

1 ミュート	通話を保留（通話中保留）にします。音声電話の場合、音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、音声をミュートして相手側に「代替画像」を送信します。保留音は流れません。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。ただし、通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合、音声電話のときは通話中の状態になり、テレビ電話のときは保留中のままになります。
2 保留	▶以下の項目から選択 通話を保留（通話中保留）にします。音声電話の場合、折り畳んでいる間相手に「保留音設定」で設定した保留音が流れます。また、自分のFOMA端末のスピーカからも保留音を流す／流さないを設定できます。テレビ電話の場合、「保留音設定」で設定した保留音が流れ、相手側に通話中保留画像を送信します。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。ただし、通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合は、通話中の状態になります。 1 鳴動する：相手に保留音が流れ、スピーカからも保留音が流れます。 2 鳴動しない：相手にのみ保留音が流れます。
3 終話	通話を終了します。PWR/HLDを押す操作と同じです。

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。
- 「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。

〈着信履歴〉

着信履歴を利用する

かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は着信履歴として記憶されます。

- 着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件、合計60件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

menu 2 4 ▶以下の項目から選択

1 全着信	すべての着信履歴を表示します。
2 不在着信	不在着信履歴だけを表示します。 「未確認件数」とは、詳細を確認していない不在着信履歴の件数です。

2 着信履歴の一覧を確認する

「着信履歴画面（一覧）」が表示されます。

着信履歴画面（一覧）

3 確認したい着信履歴を選択し、◉を押す

着信履歴画面（詳細）

「着信履歴画面（詳細）」が表示されます。
画面右上には「現在の履歴番号／全体の履歴の件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かかってきた電話番号となります。

■ 前後の着信履歴を確認する場合

◎を押すと前（新しい）の履歴に、◎を押すと次（古い）の履歴に切り替わります。

■ 電話帳に登録した電話番号の場合

名前が登録されていると、その名前も一緒に表示されます。

4 ☎または◉を押す

■ テレビ電話をかける場合

📺を押す

5 お話しが終わったら☎ PWR/HLD を押す

おしらせ

- 電源を切っても、着信履歴は削除されません。着信した電話番号をほかの人に見られたくない場合は、着信履歴を削除するか、「履歴表示設定」の「着信履歴」を「OFF」に設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で呼出動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示しないように設定した場合、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信は、着信履歴に表示されません。→P.156
- 着信履歴は待受画面で◎を押しても呼び出すことができます。
- 待受画面で☎（📺）を押して◎を押すと最新の着信履歴に音声電話（テレビ電話）をかけることができます。
- 「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、日付・時刻は記憶されません。
- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの着信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後に受けた電話は着信履歴に記憶されます。
- 「PIMロック」設定中は、電話帳に名前が登録されている相手からの着信でも電話番号だけが記憶されます。
- 「指定発信制限」設定中、指定発信制限に指定されている電話帳以外の相手から電話がかかってきた場合は、電話番号だけが記憶されます。
- 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
- テレビ電話中は、着信履歴を表示できません。

■ 表示される着信履歴／不在着信履歴のアイコンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
電話／不在／不在	音声電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	パケット／不在／不在	パケット通信の着信／不在着信／未確認の不在着信
INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際音声電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	64k／不在／不在	64Kデータ通信の着信／不在着信／未確認の不在着信
電話／不在／不在	テレビ電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	遠隔	遠隔監視の着信
INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際テレビ電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	伝言	伝言メモに用件が録音されている

着信履歴画面の機能メニューを使う

●着信履歴画面の機能メニューは、一覧画面と詳細画面で共通です。

着信履歴画面（一覧／詳細）で ➡ P.63

◉［機能］▶以下の項目から選択

着信履歴画面の
機能メニュー画面

着信履歴画面の機能メニュー 1/3

<table>
<tr><td rowspan="4">1 発番号設定※</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。</td></tr>
<tr><td>1 通知しない</td><td>通知しません。</td></tr>
<tr><td>2 通知する</td><td>通知します。</td></tr>
<tr><td>3 発番号設定消去</td><td>通知しない／通知するの設定を消去します。</td></tr>
<tr><td>2 プレフィックス※</td><td colspan="2">▶付加したいプレフィックスの登録名を選択
「プレフィックスを設定する」→P.54</td></tr>
<tr><td>3 国際電話発信</td><td colspan="2">■「＋」がついている（国番号がついている）場合
▶◉を押す
■「＋」がついていない（国番号がついていない）場合
▶国番号を選択し、◉▶◉を押す
市外局番が「0」ではじまる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。</td></tr>
<tr><td>4 マルチナンバー※</td><td colspan="2">「マルチナンバー」→P.475</td></tr>
<tr><td>5 呼出時間表示</td><td colspan="2">不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。</td></tr>
<tr><td>6 電話帳登録</td><td colspan="2">「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.96</td></tr>
<tr><td>7 デスクトップ貼付</td><td colspan="2">▶「YES」を選択し、◉を押す
「デスクトップアイコンを利用する」→P.135</td></tr>
</table>

※：詳細画面のときのみ操作できます。

着信履歴画面の機能メニュー 2/3

<table>
<tr><td>1 iモードメール作成</td><td colspan="2">「iモードメールを作成して送信する」→P.247</td></tr>
<tr><td>2 SMS作成</td><td colspan="2">「SMSを作成して送信する」→P.311</td></tr>
<tr><td>3 受信アドレス一覧</td><td colspan="2">受信アドレス一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>4 1件削除</td><td colspan="2">▶「YES」を選択し、◉を押す</td></tr>
<tr><td>5 選択削除</td><td colspan="2">▶◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す</td></tr>
<tr><td>6 全削除</td><td colspan="2">▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す
端末暗証番号について→P.142</td></tr>
<tr><td rowspan="3">7 通信速度設定※</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 64K</td><td>「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。</td></tr>
<tr><td>2 32K</td><td>「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。</td></tr>
</table>

※：詳細画面のときのみ操作できます。

着信履歴画面の機能メニュー 3/3

1 テレビ電話画像選択※	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの画像を設定します。	
	1 自画像	自画像に設定します。
	2 キャラ電	キャラ電を設定します。
	3 設定解除	自画像／キャラ電の設定を解除します。

※： 詳細画面のときのみ操作できます。

おしらせ

- 「iモードメール作成」は電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、メールアドレスを宛先としたメールを作成します。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
- パケット通信および64Kデータ通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールを作成することはできません。

〈受話音量〉

相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	レベル4

通話中の相手の声の大きさを「レベル1」(最小)～「レベル6」(最大)の6段階で調節できます。
- 通話中や待受中に調節した音量は調節が終わっても設定は保持されます。

通話中に相手の声の音量を調節する

＜例：音声通話中の場合＞

1 通話中に[▲][ホーム]または[▼][メモ／確認]▶[▲][ホーム]または[▼][メモ／確認]で音量を調節

[上]または[下]を1秒以上押しても同じように調節できます。
受話音量調節中に[▲][ホーム]または[▼][メモ／確認]を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、通話中の画面に戻ります。

おしらせ

- テレビ電話中やハンズフリーのときも調節できます。
- テレビ電話中は、[上]または[下]を押して調節します。受話音量調節中に[▲][ホーム]または[▼][メモ／確認]を1秒以上押しても音量を連続的に調節できません。

待受中に相手の声の音量を調節する

1 待受中に[上]または[下](1秒以上)▶[上]または[下]で音量を調節

[上]または[下]を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、待受画面に戻ります。

〈着信音量〉

着信音の音量を調節する

お買い上げ時	レベル4

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節できます。また、着信音を消したり、次第に音を大きくする（ステップトーン）こともできます。

- 着信中は調節できません。
- 本機能で設定した「電話」の着信音量は、「メロディ」、音声電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「ToDo」のアラーム音、サイトからダウンロードしたメロディの再生音量などに反映されます。
- 本機能で調節した音量は調節が終わっても設定は保持されます。

MENU 5 0 ▶ **以下の項目から選択**

1 電話	▶ ↑または↓を押す 音声電話、64Kデータ通信などの着信音量を調節します。
2 テレビ電話	▶ ↑または↓を押す テレビ電話の着信音量を調節します。
3 メール	▶ ↑または↓を押す iモードメールやSMSの着信音量を調節します。
4 チャットメール	▶ ↑または↓を押す チャットメールの着信音量を調節します。
5 メッセージリクエスト	▶ ↑または↓を押す メッセージリクエストの着信音量を調節します。
6 メッセージフリー	▶ ↑または↓を押す メッセージフリーの着信音量を調節します。

■ ステップトーン（次第に音を大きくする）に設定する場合

レベル6のときに↑を押す

ステップに設定しているときに着信すると、3秒ごとに無音、レベル1～6の順で着信音量が大きくなります。

■ 着信音を消すように設定する場合

レベル1のときに↓を押す

消去に設定すると、着信音が鳴らなくなります。

待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。

:電話／テレビ電話を「消去」に設定したことを示します。

:メール／チャットメール／メッセージリクエスト／メッセージフリーを「消去」に設定したことを示します。

:電話／テレビ電話とメール／チャットメール／メッセージリクエスト／メッセージフリーを「消去」に設定したことを示します。

おしらせ

- 音声が含まれるiモーションを着信音や着信画面に設定した場合、着信音量が「ステップ」のときは「レベル2」で再生されます。
- 「電話」を「ステップ」または「消去」に設定しているときは、「メロディ」やサイトからダウンロードしたメロディの再生音量は「レベル2」になります。

〈応答保留〉

すぐに電話に出られないときに保留にする

着信中、すぐに電話に出られないときは、応答保留にして相手にしばらく待ってもらうことができます。

- 応答保留中でも、相手に通話料金がかかります。

1 着信中に[PWR/HLD]を押す

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。
応答保留中に流れるガイダンスは「保留音設定」で設定できます。

■ 応答保留中に電話を切る場合
[PWR/HLD]を押す

■ 応答保留中に相手が電話を切った場合
通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら[通話]または[●]を押す

「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は[i]、[0]～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[方向キー]、[◀]、[▶]、[▲][ホーム]または[▼][メモ／確認]を押しても電話に出ることができます。
テレビ電話の場合→P.81

おしらせ

- 「着信音量」の「電話」を「消去」に設定している場合（テレビ電話着信の場合は「着信音量」の「テレビ電話」を「消去」に設定している場合）やマナーモード設定中は、応答保留にしたときの「ピッピッピッ」という音は鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴ります。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、着信中に機能メニューから「留守番電話」または「転送でんわ」を選択すると、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます。

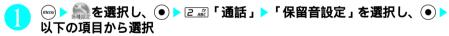
〈保留音設定〉

保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音：応答保留音１　通話中保留音：エリーゼのために

音声電話やテレビ電話の応答を保留にしたときや、通話中の電話を保留したときに流れるガイダンスを設定できます。

1

[MENU]▶[各種設定]を選択し、[●]▶[2]「通話」▶「保留音設定」を選択し、[●]▶以下の項目から選択

項目		
1 応答保留音	▶以下の項目から選択 応答を保留にするときのガイダンスを設定します。	
	1 応答保留音１	以下のガイダンスが流れます。 「ただいま電話に出ることができません。このままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」
	2 応答保留音２	以下のガイダンスが流れます。 「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください」
	3 おしゃべり１※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.448
	4 おしゃべり２※	
2 通話中保留音	▶以下の項目から選択 通話中の保留音を設定します。	
	1 エリーゼのために	「エリーゼのために」が流れます。
	2 おしゃべり１※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.448
	3 おしゃべり２※	

※：「おしゃべり機能」で録音されていない場合は設定できません。

おしらせ

- ガイダンスの選択画面で[◀]［デモ］を押すと、選択しているガイダンスを確認することができます。

〈ドライブモード〉
運転中に電話を受けないようにする

ドライブモード（運転中ガイダンス機能）は、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、相手に運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

● ドライブモードの設定／解除ができるのは、待受画面表示中のときのみです。画面に「圏外」が表示されているときも設定／解除はできます。
● ドライブモード設定中でも電話をかけることができます。

待受画面で＊を１秒以上押す

ドライブモードに設定したことを通知するメッセージが表示され、待受画面に「」が表示されます。

■ ドライブモードを解除する場合

操作１を再度行う
ドライブモードが解除されて「」の表示が消えます。

おしらせ

● 「伝言メモ」を「ON」に設定していてもドライブモードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。
● マナーモードを設定していてもドライブモードが優先され、マナーモードは無効となります。
● ドライブモード設定中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ音声電話をかけると、ドライブモードが解除されます。
● ドライブモード設定中には、以下の音が鳴りません。
- 音声電話／テレビ電話着信音
- メッセージリクエスト、メッセージフリー着信音
- めざましのアラーム音
- ToDoのアラーム音
- 充電確認音
- メール着信音
- チャットメールのお知らせ音
- スケジュールのアラーム音
- 電池切れアラーム音
- iアプリのソフトの鳴動

● ドライブモード設定中でも遠隔オールロックをかけることができます。

● ドライブモード設定中の着信動作

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
また、メールを受信したときや64Kデータ通信を着信したときも着信音は鳴りません。音声電話をかけてきた相手には運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、画面に運転中のため電話に出られないことを通知するメッセージが表示されて通話を終了します。ただし、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、運転中の通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

● 各ネットワークサービスとドライブモード設定中の着信動作

ドライブモードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、伝言メッセージをお預かりします。※1	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。相手に運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、転送先に転送します。※2	テレビ電話でも転送でんわサービスを利用できます。転送でんわサービスが優先され、かかってきたテレビ電話をすぐに転送先に転送します。※3

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
迷惑電話ストップサービス	・ 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・ それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。	テレビ電話でも迷惑電話ストップサービスを利用できます。 ・ 迷惑電話拒否登録している電話番号の場合は、迷惑電話ストップサービスが優先され、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに通話を終了します。 ・ それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・ 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・ 相手が電話番号を通知している場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。	テレビ電話でも番号通知お願いサービスを利用できます。 ・ 相手が電話番号を通知していない場合は、番号通知お願いサービスが優先され、相手に番号通知お願いガイダンスを流さずに通話を終了します。 ・ 相手が電話番号を通知している場合は、相手に運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。

※1 ： 留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。
※2 ： 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。
※3 ： 転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

〈確認機能設定〉

不在着信を確認する

FOMA端末を折り畳んだままで、不在着信や新着メールがあるかどうかを、音や振動、着信ランプの点灯／点滅で確認できます。

●本機能は待受画面に「不在着信あり」または「新着メールあり」や「新着チャットメールあり」のデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。

●以下のような場合、本機能で不在着信や新着メールを確認できません。
・オールロック設定中
・PIMロック設定中
・サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合
・確認機能設定を「OFF」に設定している場合

確認結果のお知らせのしかたを設定する

お買い上げ時	電子音

MENU 6 5 ▶ 1「電子音」、2「ボイス」または3「OFF」

不在着信または新着メールや新着チャットメールがあるか確認する

FOMA端末を折り畳んだ状態で▼［メモ／確認］を押すと、不在着信または新着メールや新着チャットメールを確認できます。

確認動作は以下のとおりです。

確認機能設定	不在着信または新着メールや新着チャットメールがある場合		不在着信または新着メールや新着チャットメールがない場合	
	音と振動	着信ランプの色	音と振動	着信ランプの色
電子音	「ピピ、ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動します。※1	「着信イルミネーション」の「電話」、「メール」、「チャットメール」でそれぞれ設定されている色が約5秒間点灯します。 不在着信、新着メール、新着チャットメールが複数あるときは、それぞれの色※2が1秒ずつ点滅します。	「ピピピ」という音が鳴り、約0.2秒間振動します。※1	着信ランプが「色12」で約5秒間点滅します。
ボイス(ボイスモニター)	「ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動し※1、「新着チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」と声で知らせます。			

※1：「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合、振動でもお知らせします。
※2：「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」、新着チャットメールは「色3」で点滅します。

次ページにつづく

おしらせ

- 「ボイス」の音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量になります。「消去」に設定されている場合は音が鳴りません。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」に設定している場合は振動しません。
- マナーモード設定中は音が鳴らず、振動でお知らせします。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴り、「バイブレータ」を「OFF」に設定している場合は振動しません。
- iモードセンターに保管されている新着メールを本機能で確認することはできません。
- お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。
- FOMA端末を開いた状態では確認できません。開いた状態で[メモ／確認]を押すと「メモの再生／消去」になります。

〈伝言メモ〉
電話に出られないときに用件を録音する

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答メッセージ：標準　呼出時間：8秒

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音しておくことができます。

- 録音できる件数は5件、録音時間は1件につき約20秒間です。

伝言メモを設定する

menu 5 5 ▶ 以下の項目から選択

1 ON	▶以下の項目から選択 応答メッセージの種類を選択します。	
	1 標準	「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」と流れます。
	2 プライベート	「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。テレビ電話のときも声しか入らないの。ごめんね。」と流れます。
	3 英語	「I can't take your call now. Please leave the message. When you call by video phone, you can leave a voice message.」と流れます。
	4 おしゃべり1※	「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.448
	5 おしゃべり2※	
2 OFF	伝言メモの設定を解除します。	

※：「おしゃべり機能」で録音されていない場合は設定できません。

呼出時間を000～120秒の範囲で入力する

3桁の時間を入力すると、自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「 」が表示されます。

■ 表示されている時間をそのまま設定する場合

時間を入力しないで●を押す

おしらせ

- 応答メッセージの選択画面で[デモ]を押すと、選択している応答メッセージを確認することができます。
- 伝言メモの呼出時間は「遠隔監視設定」の応答時間や「オート着信」の呼出時間と同じ時間に設定することはできません。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- ドライブモード設定中は、伝言メモは無効となります。
- 「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。
- 「電話帳便利機能」で電話番号ごと、「グループ便利機能」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。→P.107

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが開始され、相手には設定した応答メッセージが流れます。テレビ電話の場合は「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録音中 Recording Voice Only」画像を送信し録音を開始します。

伝言メモの録音がはじまると、録音中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。録音時間にかかわらず、録音がはじまると録音件数として数えられます。

■音声電話に出る場合

またはを押す

■テレビ電話に出る場合

カメラ映像で出るときはを押し、代替画像で出るときはまたはを押す

音声電話の場合

録音が終了すると元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認することができます。→P.138
デスクトップアイコンの選択について→P.136
1件録音されると「」が「」の表示に変わり、2件録音されると「」、3件録音されると「」・・・と表示されます。

おしらせ

- テレビ電話がかかってきたときも、音声のみの伝言メモとして録音されます。
- 伝言メモの録音中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。
- マナーモード設定中は、録音中の相手の声は聞こえません。
- 「伝言メモ」を「ON」に設定していなくても、「伝言メモ」を「ON」に設定している「オリジナルマナー」でマナーモードに設定しておけば、伝言メモで相手の用件を録音できます。ただし、伝言メモがすでに5件録音されているときは、マナーモードで設定した動作で着信します。
- 録音件数が5件になると、次にかけてきた相手の用件を伝言メモで録音することはできません。
- 伝言メモがすでに5件録音されているときは、「留守番電話サービス」を「開始」に設定していると留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 「PIMロック」設定中は、本機能の設定は「OFF」となり、「伝言メモあり」のデスクトップアイコンは表示されません。

■ お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

〈クイック伝言メモ〉

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを「ON」に設定していなくても、着信中にボタン1つで伝言メモを起動することができます。

着信中にまたは[メモ／確認]を押す

伝言メモの録音が開始され、同時にマナーモードに設定されます。

次ページにつづく

おしらせ

- 本機能では「伝言メモ」を「ON」に設定することはできませんので、用件を自動的に録音するには「伝言メモ」で設定を行ってください。
- マナーモード設定中の動作が「オリジナルマナー」で「伝言メモ」を「OFF」に設定していても、伝言メモに移ります。
- すでに5件録音されている場合は、「伝言メモ」には移らずに「マナーモード選択」で設定したマナーモード設定中の動作になります。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。マナーモードを解除するには[#]を1秒以上押してください。
- 「PIMロック」設定中は、着信中にマナーモードに設定しても伝言メモには移りません。

伝言メモや音声メモを再生／消去する

「伝言メモ」や「音声メモ」で録音した内容を再生したり消去したりできます。

- 「履歴表示設定」の「着信履歴」を「OFF」に設定中は、伝言メモ、音声メモを再生できません。

再生する

音声電話からの伝言メモは「[電話]」、テレビ電話からの伝言メモは「[テレビ電話]」が表示されます。
また音声メモが録音されている場合は「★」が表示されます。

- 相手が電話番号を通知してきた伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。
  また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。

1 [menu] ▶ [ツール]を選択し、[●] ▶ [? PQRS] 「メモの再生／消去」

「メモの再生／消去画面」が表示されます。

2 再生する項目番号を押す

「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

■ 次のメモを再生する場合

[メモ／確認]を押す
[メモ／確認]を押すごとに、新しい順でメモが再生されます。
音声メモは最後に再生されます。

■ 再生を途中でとめる場合

[●]または[CLR]を押す

■ 再生中に表示されている電話番号に電話をかける場合

[発信]を押す

■ 再生中に表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

[テレビ電話]を押す

■ 再生中のメモを消去する場合

[消去] ▶ 「YES」を選択し、[●]を押す

メモの再生／消去
1 伝言メモ1
2 伝言メモ2
3 伝言メモ3
4 伝言メモ4
5 伝言メモ5
6 音声メモ
12:05
再生 機能

メモの再生／消去画面

おしらせ

- 待受画面表示中に[メモ／確認]を押しても、メモを再生できます。

メモの再生／消去画面の機能メニューを使う

メモの再生／消去画面で ➡ P.72

1 [機能] ▶ 以下の項目から選択

メモの再生／消去画面の機能メニュー

1 再生	再生します。「再生する」→P.72
2 1件消去	▶「YES」を選択し、◉を押す
3 伝言メモ全消去	▶「YES」を選択し、◉を押す 伝言メモをすべて消去します。
4 全消去	▶「YES」を選択し、◉を押す 伝言メモ、音声メモをすべて消去します。

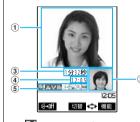
■ お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

●機種が違っていてもドコモのテレビ電話対応端末どうしならテレビ電話機能を利用できます。
●ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
※2：3G-324M
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
●テレビ電話は、64K／32Kの通信速度で行います。
・64K：通信速度64kbpsで通信をします。
・32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話画面の見かた

①親画面です。お買い上げのときは相手側のカメラ映像が表示されます。
②子画面です。お買い上げのときは自分側のカメラ映像が表示されます。
③通話時間を示します。
④現在の時刻を示します。
⑤テレビ電話の各種機能の設定内容を示します。

- 64K：64Kテレビ電話通信中
- 32K：32Kテレビ電話通信中
- A：音声送受信中
- A×：音声送受信失敗
- V：映像送受信中
- V×：映像送受信失敗
- ：カメラ映像送信中
- ：「画像選択」で設定した代替画像送信中
- ：キャラ電送信中
- ：ハンズフリー OFF
- ：ハンズフリー ON
- ：顔の動きに追従できている状態→P.86
- ：顔の動きに追従できていない状態→P.86
- ：ビジュアルチェック中
- ：撮影モード／ポートレート
- ：撮影モード／風景
- ：レンズ切替／マクロ
- 123：キー操作／DTMFモード※
  ※：DTMFについて→P.81
- ：キー操作／全体アクションモード
- ：キー操作／パーツアクションモード

操作ボタン	テレビ電話の動作
●	外側カメラ／内側カメラの切り替え
●（1秒以上）	親画面表示の切り替え
○（[ホーム]）、○（[メモ／確認]）	音量調節
○	倍率の調節
○	ハンズフリーの切り替え
○	機能メニューの表示
CLR	保留

テレビ電話をかける

●ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。→P.55

1 相手の市外局番からダイヤルする

「テレビ電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

テレビ電話番号入力画面

■ **携帯電話にかける場合**
090－××××－××××
または
080－××××－××××

■ **PHSにかける場合**
070－××××－××××

2 ▶テレビ電話がつながったら●［ハンズフリー］を押してハンズフリーに切り替える

「テレビ電話通話中画面」が表示されます。
ハンズフリーにすると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。「ハンズフリーを利用するときは」→P.60

この画面からデジタル通信料がかかります。

テレビ電話通話中画面

■ **外側カメラの映像を送信する場合**
●を押す
●を押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

■ **通話中のテレビ電話を保留にする場合**
CLRを押す
相手に保留音が流れ、相手側のテレビ電話映像には「保留Holding」の画像が表示されます。
保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るにはを、代替画像で出るにはまたはCLRを押します。

■ **平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合**
ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

■ **テレビ電話がかからなかった場合→P.77**

3 お話しが終わったらPWR HLDを押す

■ **テレビ電話がかからなかった場合**
テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由を示すメッセージが表示されます。ただし、状況によっては接続できなかった理由を示すメッセージが表示されない場合があります。また、接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

次ページにつづく

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	電話番号を間違えた場合
お話中です	お話し中、iモード通信中、パケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
ドライブモード中です	相手がドライブモード設定中の場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）
転送致しますのでお待ちください	転送中の場合
接続できませんでした	発信者番号非通知で接続した場合 ・発信者番号を「通知」に設定の上、おかけ直しください。 （上記以外の場合にも表示されることがあります）

おしらせ

- テレビ電話発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。「32K」の通信速度で発信した場合は「」が点滅します。
- ハンズフリー通話中は「」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。もう一度 を押すと、ハンズフリーはOFFになり「」が「」に変わります。
- ハンズフリー通話中は必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に傷害を与えたりする可能性があります。
- 「音声自動再発信」が「ON」に設定されているときに「64K」の通信速度でテレビ電話がかからなかった場合は、自動的に「32K」の通信速度に切り替わります。それでもテレビ電話がかからなかった場合は、音声電話に切り替わります。テレビ電話がかからなかったときの通信速度の自動切り替えと「音声自動再発信」の動作は以下のようになります。

	通信速度を「64K」に設定している場合	通信速度を「32K」に設定している場合
「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、音声電話に切り替えます。	音声電話に切り替えます。
「音声自動再発信」を「OFF」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、テレビ電話を切ります。	テレビ電話を切ります。

- テレビ電話に対応していない電話機にテレビ電話をかけたときや、相手がテレビ電話に対応していても圏外や電源が入っていないときは接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけたときに「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合は、テレビ電話接続前に相手から切断され、自動的に音声電話でかけ直します。ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話等（2005年2月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。
- 本FOMA端末でテレビ電話をかけ、転送されているときには転送中であることを通知するメッセージが表示されます。
- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。
- テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。
- 相手側の設定により映像が送信されてこない場合は、代替画像が表示されます。
- テレビ電話中にiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーは受信できません。いったんiモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中でもSMSは受信できます。
- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話番号を入力してテレビ電話をかけることはできません。

テレビ電話番号入力画面の機能メニューを使う

テレビ電話番号入力画面で ➡ P.77

［機能］▶ 以下の項目から選択

テレビ電話番号入力画面の機能メニュー 1/2

項目		操作・説明
1 発番号設定	▶以下の項目から選択 相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。	
	1 通知しない	通知しません。
	2 通知する	通知します。
	3 発番号設定消去	通知しない／通知するの設定を消去します。
2 プレフィックス	▶付加したいプレフィックスの登録名を選択 「プレフィックスを設定する」→P.54	
3 国際電話発信	■「＋」がついている（国番号がついている）場合 ▶◉を押す ■「＋」がついていない（国番号がついていない）場合 ▶国番号を選択し、◉▶◉を押す 市外局番が「0」ではじまる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。	
4 マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.475	
5 電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93	
6 iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.247	
7 通信速度設定	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。	
	1 64K	「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
	2 32K	「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。

テレビ電話番号入力画面の機能メニュー 2/2

項目		操作・説明
1 テレビ電話画像選択	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの画像を設定します。	
	1 自画像	自画像に設定します。
	2 キャラ電	キャラ電を設定します。
	3 設定解除	自画像／キャラ電の設定を解除します。

おしらせ

- 「通信速度設定」が変更されるのは1回の通話（発信）のみです。リダイヤル、発信履歴にも通信速度は記憶されません。また、「通信速度設定」を設定した後に音声電話をかけると、設定は無効になります。
- テレビ電話に対応したFOMA端末にテレビ電話をかける場合、通信速度は64Kでかけることをおすすめします。
- 「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。ただし、「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。
- 通信速度の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ① テレビ電話発信時に機能メニューから選択した通信速度設定
  ② 電話帳便利機能の通信速度設定
  ③ グループ便利機能の通信速度設定

テレビ電話通話中画面の機能メニューを使う

テレビ電話通話中画面で ➡ P.77

◉［機能］▶以下の項目から選択

テレビ電話通話中画面の機能メニュー画面

次ページにつづく

テレビ電話通話中画面の機能メニュー 1/2

項目	設定項目	選択肢	説明
1 テレビ電話設定			**▶以下の項目から選択** テレビ電話の画面について設定します。
	1 画像品質設定※1		**▶以下の項目から選択** 相手に送信する映像と相手から受信する映像について設定します。
		1 **標準**(お買い上げ時)	画質、動き共に標準の設定です。
		2 **画質優先**	きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
		3 **動き優先**	動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。
	2 明るさ調節		**▶ を押して明るさを調節し、 を押す** 画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。
	3 ホワイトバランス設定		**▶以下の項目から選択** 画像の色あいを設定します。 設定内容はカメラの同機能にも反映されます。→P.179
		1 **オート**(お買い上げ時)	自動的に色あいを補正するときに選択します。
		2 **晴天**	晴れている野外のときに選択します。
		3 **曇天**	曇っている野外や日陰のときに選択します。
		4 **電球**	白熱電球の明かりのときに選択します。
		5 **蛍光灯**	蛍光灯の明かりのときに選択します。
	4 色調切替※1		**▶以下の項目から選択** 画像の効果を設定します。
		1 **通常**(お買い上げ時)	通常の画像に設定します。
		2 **セピア**	セピア調の画像に設定します。
		3 **白黒**	白黒（モノクロ）の画像に設定します。
	5 撮影モード選択		**▶以下の項目から選択** 撮影する場面に合ったモードを設定します。 内側カメラのときは操作できません。
		1 **ポートレート**(お買い上げ時)	人物などを撮影するのに適したモードです。
		2 **風景**	風景などを撮影するのに適したモードです。
		3 **クローズアップ**	マクロで近くのものを撮影するときのモードです。
2 キャラ電設定			「キャラ電を設定する」→P.81 カメラ映像を送信しているときは操作できません。
3 照明設定			**▶以下の項目から選択** バックライトの点灯を設定します。
	1 **常時点灯**(お買い上げ時)		バックライトを点灯します。
	2 **15秒点灯**		15秒間のみバックライトを点灯します。
4 画面サイズ設定			**▶以下の項目から選択** 画面のサイズを設定します。
	1 **等倍表示**		画像を等倍サイズで表示します。
	2 **画面サイズで表示**(お買い上げ時)		画像を画面サイズに合わせて表示します。
5 外側カメラ※2			外側カメラと内側カメラを切り替えます。
6 親画面表示切替			親画面の表示を切り替えます。 切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側のカメラ映像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側のカメラ映像のみを表示」の順で画面が切り替わります。

7 通話中時間表示（お買い上げ時：1 ON）	▶ 1「ON」または 2「OFF」

※1：通話中のみ設定が保持されます。
※2：外側カメラのときは「5 内側カメラ」になります。

テレビ電話通話中画面の機能メニュー 2/2

1 DTMF送信※1	キャラ電表示中のプッシュ信号送信モードを設定／解除します。 キャラ電表示中以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号送信モードになります。
2 自局番号表示	テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。
3 プチメッセージ	「テレビ電話中（カメラ映像送信中）にメッセージを送信する」→P.87
4 デコレーションテレビ電話	「テレビ電話の顔に装飾を施し表情豊かにする」→P.86
5 メッセージ・装飾消去	表示したメッセージやスタンプを消去します。
6 ビジュアルチェック※2	「テレビ電話中に自分の顔を確認する」→P.85
7 レンズ切替(マクロ)※3	外側カメラでの撮影時に、レンズを標準またはマクロに切り替えます。マクロに切り替えると、外側カメラとの距離が約9cmの被写体にピントが合います。 内側カメラのときは操作できません。

※1：DTMF送信のときは「1 DTMF解除」になります。
※2：ビジュアルチェックをしているときは「6 ビジュアルチェック終了」になります。
※3：「マクロ」のときは「7 レンズ切替（標準）」になります。テレビ電話開始時は「標準」です。

● キャラ電を設定する

テレビ電話通話中画面の機能メニュー画面で ➡ P.79

2「キャラ電設定」▶以下の項目から選択

1 キャラ電切替	▶**キャラクタを選択し、●を押す** 表示するキャラクタの種類を選択します。
2 アクション一覧	▶**アクションとボタンを確認** 操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンを確認できます。 ＊を押してもアクション一覧を表示できます。
3 アクション切替	アクションモードを切り替えます。
4 静止画切替	相手側の画面に自作の画像を表示します。→P.84

テレビ電話を受ける

かかってきたテレビ電話を受けます。テレビ電話にすぐに出られないときは、自分側のカメラ映像を相手側に表示させないで代わりの画像（代替画像）でテレビ電話に出ることもできます。

テレビ電話がかかってきたら [テレビ電話ボタン] を押して、電話を受ける

テレビ電話着信中画面

■ 代替画像で出る場合

[通話ボタン] または●を押す
相手側の画面には代替画像が表示されます。
代替画像で出た後でも、[テレビ電話ボタン] を押してカメラ映像に切り替えることができます。

■ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す
代替画像で出ることができます。「オート着信」を「ON」に設定している場合は、設定した呼出時間経過後、自動的に代替画像で出ることができます。

次ページにつづく

■ カメラ映像と代替画像を切り替える場合

[カメラ]を押す
スイッチ付イヤホンマイク接続中も同じように操作できます。

■ 着信中のテレビ電話を応答保留にする場合

[PWR/HLD]を押す
相手側のテレビ映像に「応答保留中」の画像が表示されます。応答保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには[カメラ]を、代替画像で出るには[通話]または[●]を押します。

2 テレビ電話がつながったら[●][ハンズフリー]を押してハンズフリーに切り替える

ハンズフリーにすると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。「ハンズフリーを利用するときは」→P.60

■ 外側カメラの映像を送信する場合

[●]を押す
[●]を押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

■ 通話中のテレビ電話を保留にする場合

[CLR]を押す
相手に保留音が流れ、相手側のテレビ電話映像には「保留Holding」の画像が表示されます。保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには[カメラ]を、代替画像で出るには[通話]または[CLR]を押します。

■ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合

ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

3 お話しが終わったら[PWR/HLD]を押す

テレビ電話着信中画面の機能メニューを使う

テレビ電話着信中画面で ➡ P.81

[●]［機能］▶以下の項目から選択

テレビ電話着信中画面の機能メニュー

1 着信拒否	意図的に電話を切ります。
2 転送でんわ	電話を転送します。 「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。 「転送でんわサービス」→P.468

おしらせ

- 「留守番電話サービス」を「開始」に設定していても、かかってきたテレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
- 「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、転送先を3G-324M（P.76）に準拠したテレビ電話対応機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信拒否のガイダンスは流れず、切断されます。
- ドライブモード設定中は、着信音は鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。

キャラ電を利用する

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。
キャラ電のキャラクタは音に反応して口が動いたり、ボタン操作で手足を動かしたり表情をつけたりすることができます。

- 「キャラ電とは」→P.383
- キャラ電を楽しむにはあらかじめ「代替画像選択」を「キャラ電」に設定しておいてください。また、電話帳や電話帳便利機能にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用することができます。
- カメラ映像からキャラ電に切り替えるには［カメラ］を押します。

1 テレビ電話がかかってきたら［テレビ電話］を押して、電話を受ける

2 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを表現します。

■ アクションモードを切り替える場合

機能メニューから「全体アクション」と「パーツアクション」を切り替えることができます。→P.81
「全体アクション」とは感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。［1］～［9］または［#］［1］～［#］［9］を押して表現します。
「パーツアクション」とは顔や手足などキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。［1］［1］～［9］［9］を押して表現します。

■ アクションを確認する場合

［＊］を押すとアクション一覧を表示できます。
［↕］でアクションを選択してそのアクションを実行することもできます。

相手側に送信する映像について設定する

1 ［menu］▶［各種設定］を選択し、［●］▶［3］「テレビ電話」

「テレビ電話設定画面」が表示されます。

テレビ電話設定画面

次ページにつづく

以下の項目から選択

テレビ電話設定画面メニュー

<table>
<tr><td rowspan="4">画像品質設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
テレビ電話中の画質を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 標準（お買い上げ時）</td><td>画質、動き共に標準の設定です。</td></tr>
<tr><td>2 画質優先</td><td>きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。</td></tr>
<tr><td>3 動き優先</td><td>動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">発信時自画像送信</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
テレビ電話中に相手に送信する映像を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 ON（お買い上げ時）</td><td>カメラ映像を送信します。</td></tr>
<tr><td>2 OFF</td><td>代替画像を送信します。</td></tr>
<tr><td>画像選択</td><td colspan="2">「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.84</td></tr>
<tr><td rowspan="3">音声自動再発信</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
テレビ電話に接続できなかった場合の動作を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 ON</td><td>テレビ電話に接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけます。</td></tr>
<tr><td>2 OFF（お買い上げ時）</td><td>テレビ電話に接続できなかったメッセージが表示され、待受画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>遠隔監視設定</td><td colspan="2">「外出先から室内の様子などを確認する」→P.87</td></tr>
<tr><td>テレビ電話画面設定</td><td colspan="2">「テレビ電話中に表示される映像について設定する」→P.86</td></tr>
</table>

おしらせ

<画像品質設定>
- テレビ電話中に機能メニューから設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。
- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になるときがあります。

<発信時自画像送信>
- 本機能の設定にかかわらず、テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。
- 送信する代替画像は「画像選択」で変更できます。

<音声自動再発信>
- 音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、音声電話の通話料になります。
- 再発信が行われたとき、「発信履歴」には最後の発信だけが1件として記憶されます。
- テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が電波の届かない場所にいるときや話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

● テレビ電話中に送信する画像を設定する

お買い上げ時	応答保留選択、通話保留選択：内蔵　代替画像選択：キャラ電 伝言メモ選択、伝言メモ準備選択、音声メモ選択：内蔵

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定できます。
- 本機能で設定できる画像は、VGAサイズ（640×480ドット）以下のJPEG形式の画像です。ただし、メール（大）サイズ（176×144ドット）以上の大きさの画像を設定した場合は、メール（大）サイズ（176×144ドット）に縮小されます。
- テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

テレビ電話設定画面で ➡ P.83

「画像選択」を選択し、◉▶以下の項目から選択

1 応答保留選択	応答保留のときに送信する画像を設定します。
2 通話保留選択	通話中保留のときに送信する画像を設定します。

テレビ電話のかけかた／受けかた

3 代替画像選択	代替画像のときに送信する画像を設定します。
4 伝言メモ選択	伝言メモ録音中に送信する画像を設定します。
5 伝言メモ準備選択	伝言メモ準備中に送信する画像を設定します。
6 音声メモ選択	音声メモ中に送信する画像を設定します。

2 送信する画像を選択

1 内蔵	メッセージのみを送信します。
2 自作	画像とメッセージを送信します。 ■設定内容を変更する場合 ▶ ［機能］▶ 「設定内容変更」▶画像を選択
3 キャラ電	「代替画像選択」を選択したときにのみ表示されます。 「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。「キャラ電一覧画面の機能メニューを使う」→P.385 ■設定内容を変更する場合 ▶ ［機能］▶ 「設定内容変更」▶キャラ電を選択

■ 送信されるメッセージについて

送信されるメッセージは以下のとおりです。

応答保留の場合　：「応答保留中　On Hold」
通話中保留の場合　：「保留　Holding」
代替画像を送信の場合　：「カメラオフ　Camera Off」
伝言メモ録音中の場合　：「伝言メモ録音中　Recording Voice only」
伝言メモ準備中の場合　：「伝言メモ準備中　Preparing」
音声メモ録音中の場合　：「音声メモ録音中　Recording Voice only」

おしらせ

- 画像を確認するときは、確認したい項目を反転表示して ［デモ］を押します。
- 「自作」から「内蔵」、「キャラ電」へ設定を変更しても登録した静止画は削除されません。
- 設定した静止画は自分のFOMA端末と相手の電話機の双方に表示されます。ただし、伝言メモの応答メッセージは相手側にのみ送信されます。
- 「自作」の静止画は削除できません。変更する場合は「イメージ貼付」で上書き登録してください。貼付元の静止画を削除しても、相手には静止画が表示（送信）されます。
- 「PIMロック」設定中は「内蔵」の代替画像を送信します。
- 代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、設定したキャラ電の代替画像が表示できない場合は、「ブンブン（Dimo）」を送信します。「ブンブン（Dimo）」が削除されている場合は「内蔵」の代替画像を送信します。
- キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①テレビ電話画像選択→P.79
  ②電話帳便利機能のキャラ電設定→P.107
  ③グループ便利機能のキャラ電設定→P.108
  ④電話帳に登録したキャラ電→P.93
  ⑤画像選択の代替画像選択

テレビ電話中に自分の顔を確認する<ビジュアルチェック>

テレビ電話通話中画面の機能メニュー画面で ➡ P.79

1 ▶ 6 「ビジュアルチェック」

内側カメラの映像で確認することができます。
ビジュアルチェック中は「」が表示されます。
相手には代替画像が送信されます。

2 を押す

ビジュアルチェックが終了し、相手には内側カメラの画像が送信されます。
機能メニューから「ビジュアルチェック終了」を選択しても終了できます。

送信する画像を拡大する

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信できます。

●ズームは、内側カメラのときは1倍、約2倍の2段階に調節できます。外側カメラのときは1倍～約5倍までを8段階に調節できます。
●テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切替などを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。
●代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。
●相手側の映像を拡大することはできません。

テレビ電話中に を押して倍率を調節する

自分側の映像が
拡大された状態

テレビ電話中に表示される映像について設定する

親画面に表示される映像や映像のサイズについて設定する<テレビ電話画面設定>

お買い上げ時	親画面表示：親画面対局表示　画面サイズ設定：画面サイズで表示

テレビ電話設定画面で ➡ P.83

「テレビ電話画面設定」を選択し、 ▶ 以下の項目から選択

項目	選択肢	説明
1 親画面表示	▶ 以下の項目から選択 テレビ電話の親画像を設定します。	
	1 親画面対局表示	親画面に相手側のカメラ映像を表示します。
	2 親画面自局表示	親画面に自分側のカメラ映像を表示します。
	3 対局表示のみ	ディスプレイに相手側のカメラ映像のみを表示します。
	4 自局表示のみ	ディスプレイに自分側のカメラ映像のみを表示します。
2 画面サイズ設定	▶ 以下の項目から選択 テレビ電話の画面サイズを設定します。	
	1 画面サイズで表示	画像を画面サイズに合わせて表示します。
	2 等倍表示	画像を等倍サイズで表示します。

テレビ電話の顔に装飾を施し表情豊かにする<デコレーションテレビ電話>

テレビ電話の画面（自分側のカメラ映像）をスタンプやフレームで装飾することができます。また、顔の動きに追従するスタンプを貼り付けることができます。

●顔の動きに追従するフェイススタンプは、内蔵しているスタンプのほかに「みんなＮらんど」からダウンロードすることができます。「みんなＮらんど」について→P.205
●送信する画像によっては、フェイススタンプが動きに追従できない場合があります。

テレビ電話通話中画面の機能メニュー画面で ➡ P.79

◎ ▶ 4 「デコレーションテレビ電話」 ▶ 以下の項目から選択

1 フレーム／スタンプ	▶以下の項目から選択 テレビ電話の画面に固定の装飾を付けます。	
	1 フレーム	▶フレームを選択し、◉を押す テレビ電話の画面にフレームを付けます。
	2 スタンプ	▶スタンプを選択し、◉▶位置を決め、◉を押す テレビ電話の画面にスタンプを付けます。
2 フェイススタンプ	▶スタンプを選択し、◉を押す テレビ電話の画面に追従するスタンプを付けます。 追従できているときは「 」、追従できていないときは「 」が表示されます。	

■ フレームやスタンプを消す場合

「テレビ電話通話中画面の機能メニューを使う」テレビ電話通話中画面の機能メニュー2/2「5 メッセージ・装飾消去」→ P.81

おしらせ

● 選択画面で◎［デモ］を押すと、選択しているフレーム、スタンプやフェイススタンプを確認できます。
● 自分側のカメラ映像は鏡像で表示されるため、フレームやスタンプも反転して表示されます。

テレビ電話中（カメラ映像送信中）にメッセージを送信する<プチメッセージ>

テレビ電話通話中画面の機能メニュー画面で ➡ P.79

◎ ▶ 3 「プチメッセージ」 ▶ メッセージを入力し、◉を押す

メッセージが表示されます。メッセージは約15秒で自動的に消えます。
メッセージは全角16文字まで入力できます。
文字を入力する→P.522

■ メッセージの入力を中止する場合

入力した文字をすべて消去し、CLRを押す

■ 手動でメッセージを消す場合

CLRを1秒以上押す
機能メニューから「メッセージ・装飾消去」を選択してもメッセージを消すことができます。

おしらせ

● 自分側のカメラ映像は鏡像で表示されるため、入力した文字も反転して表示されます。

外出先から室内の様子などを確認する

お買い上げ時	対局番号登録：無　応答時間設定：5秒　設定：OFF

遠隔監視できるのは3G-324Mに準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

● 遠隔監視を受ける側が監視する側の電話番号をあらかじめ登録していて、遠隔監視設定が「ON」に設定されている場合のみ、遠隔監視を行うことができます。

着信側の準備をする

遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号（対局番号）や遠隔監視を開始するまでの時間（応答時間）を設定します。

●対局番号は５件まで登録できます。
●マナーモード、ドライブモード設定中は遠隔監視を受けることはできません。

テレビ電話設定画面で ➡ P.83

1 **「遠隔監視設定」を選択し、◉▶端末暗証番号を入力し、◉▶1「対局番号登録」**

「対局番号登録画面」が表示されます。
端末暗証番号について→P.142

対局番号登録
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
12:05
選択　機能

対局番号登録画面

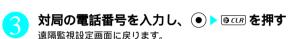
2 **「〈未登録〉」の項目を選択し、◉を押す**

■ **すでに登録されている対局番号を変更する場合**
変更したい対局番号を選択し、◉を押す

3 **対局の電話番号を入力し、◉▶CLRを押す**

遠隔監視設定画面に戻ります。

4 **2「応答時間設定」▶応答時間（００３～１２０秒）を入力**

時間は３桁で入力します。３桁の時間を入力すると、応答時間が設定されます。

■ **表示されている時間をそのまま設定する場合**
時間を入力しないで◉を押す

5 **3「設定」▶1「ON」**

■ **遠隔監視を受けない場合**
2「OFF」を押す

6 **FOMA端末を設置する**

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。
着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。
閉じたまま設置した場合は、遠隔監視着信は無効となり、着信を拒否します。

おしらせ

- 遠隔監視を設定すると、待受画面に「 」が表示されます。
- 遠隔監視設定の応答時間は､「伝言メモ」の呼出時間や「オート着信」の呼出時間と同じ時間に設定することはできません。
- 着信側の「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「転送でんわ」が優先されます。遠隔監視を優先させるには、「転送でんわサービス」より短い応答時間に設定してください。
- 「転送でんわサービス」を利用して遠隔監視を行う場合は、発信元の電話番号を対局番号に登録し、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定してください。

対局番号登録画面の機能メニューを使う

対局番号登録画面で ➡ P.88

⊙［機能］▶以下の項目から選択

1 宛先参照入力	▶以下の項目から選択 宛先の番号を設定します。	
	1 電話帳	電話帳に登録されている番号を登録します。「電話帳から電話をかける」→P.98
	2 発信履歴	発信履歴の番号を登録します。「前にかけた相手にかけ直す」→P.50
	3 着信履歴	着信履歴の番号を登録します。「着信履歴を利用する」→P.62
2 1件削除	▶「YES」を選択し、⊙を押す	
3 全削除	▶「YES」を選択し、⊙を押す 対局番号をすべて消去すると、「設定」は「OFF」となります。	

おしらせ

- 「指定発信制限」設定中は、指定発信制限に指定されている電話番号のみを呼び出すことができます。
- 「履歴表示設定」の「着信履歴」や「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定している場合は、「着信履歴」や「発信履歴」を呼び出すことができません。

遠隔監視を行う

- 遠隔監視を行うには、必ず着信側で対局番号として登録されたFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。
- 本FOMA端末を着信側に使用した場合、発信側の映像が表示され、音声がスピーカから流れます。

着信側へテレビ電話をかける

着信側

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、音声が流れます。⊙［ ］を押してハンズフリーに切り替えると、着信側の音声をスピーカから流すことができます。平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用している場合は、ハンズフリーに切り替えることなく、着信側の音声をイヤホンから聞くことができます。

■ 着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話に出る場合

応答時間が経過する前に、カメラ映像で出る場合は を、代替画像で出る場合は を押す

次ページにつづく

おしらせ

- 遠隔監視中は発信側、着信側のどちらも音声電話やテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 着信側で対局番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、または対局番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合は、着信が拒否され、遠隔監視はできません。また、着信側で「登録外着信拒否」が設定され、対局番号が電話帳に登録されてない場合にも遠隔監視はできません。

＜遠隔監視の着信側について＞

- 「オールロック」設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの着信は受けられます。
- 電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。
- 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
- 着信音は「着信音量」で設定した音量で鳴ります。ただし、「消去」や「レベル1」、「ステップトーン」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります。
- 遠隔監視の着信時は、「着信イルミネーション」の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。PWR HLD を押すと電話は切れます。
- 遠隔監視設定とドライブモードまたはマナーモードを同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。
- 遠隔監視設定と伝言メモを同時に設定した場合は、伝言メモの呼出時間が遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていても、遠隔監視が優先されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、「イヤホン切替」の設定にかかわらず着信音はイヤホンとスピーカから鳴ります。
- 着信側で遠隔監視設定を「ON」に設定している場合、対局番号に登録された電話番号からのテレビ電話の着信は、遠隔監視の着信履歴として記憶されます。遠隔監視が実行されなかった場合、「着信履歴」にはテレビ電話の「不在着信履歴」として記憶されます。
- 遠隔監視中に FOMA 端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは「クローズ動作設定」は無効になり、FOMA端末を閉じると相手には代替画像が送信されます。
- 遠隔監視中にカメラを切り替えることはできません。
- 遠隔監視中にDTMF（プッシュ信号）を受けることはできません。

遠隔監視を終了する

PWR HLD を押す

通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。
着信側で PWR HLD を押しても遠隔監視が終了します。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の２種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

登録内容

FOMA端末（本体）の電話帳とFOMAカードの電話帳の登録内容は以下のとおりです。

登録内容	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数※1	最大700件まで登録可能です。	50件まで登録可能です。
グループ※2	グループ00～19に分類可能です。	グループ00～10に分類可能です。
電話番号の登録※3	1つの電話帳につき4番号まで、電話帳全体で700番号まで登録可能です。相手の携帯電話の電話番号や会社の電話番号などを1つの電話帳として登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「」「」のような24種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「携帯電話の電話番号」「会社の電話番号」などが一目で区別できます。	アイコンの選択はできません。「」が自動的に登録されます。
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3アドレスまで、電話帳全体で700アドレスまで登録可能です。相手の自宅のメールアドレスや会社のアドレスなどを1つの電話帳として登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「」「」のような5種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「自宅のメールアドレス」「会社のメールアドレス」などが一目で区別できます。	アイコンの選択はできません。「」が自動的に登録されます。
画像の登録	1つの電話帳につき静止画1件、キャラ電1件登録可能です。それぞれ電話帳全体で100件まで登録可能です。	－
その他のデータの登録	1つの電話帳につき名前、フリガナ、郵便番号、住所、誕生日、メモをそれぞれ1件登録可能です。相手の電話番号やメールアドレスと一緒に1つの電話帳として登録できます。	名前とフリガナが登録可能です。

※1：　各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：　「グループ01」～「グループ19」（FOMAカードの電話帳では「グループ01」～「グループ10」）のグループ名は変更できます。あらかじめお好きなグループ名に変更しておくと便利です。→P.97
※3：　電話番号には0～9、#、＊、ポーズ(p)、+を入力できます。サブアドレス（P.58）を利用する場合は、＊を入力してください。

FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。
- メモリ番号「000」～「009」に指定すると、ボタン操作２つで電話をかけられる「ツータッチダイヤル」を利用できます。→P.109
- 着信時や発信時の設定を電話番号やメールアドレスごと、グループごとに設定できる「電話帳便利機能」、「グループ便利機能」を利用できます。→P.107
- 電話番号ごとに発信や着信を制限する「電話帳指定設定」を利用できます。→P.153
- 知られたくない電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録できます。→P.148
- 「シークレットコード」を設定できます。→P.102

FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

音声電話、テレビ電話

電話番号を電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

また、電話帳に静止画が登録されていて、「電話帳画像着信設定」が「ON」に設定されている場合は、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。
「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

iモードメール、SMS

iモードメールのアドレスを電話帳に登録した相手からのiモードメール、または電話番号を電話帳に登録した相手からのSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にiモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。
また、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

〈電話帳登録〉

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

●「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。

1 ◎▶ 「電話帳登録」▶ 「本体」▶名前を入力し、◉を押す

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字で入力します。
全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。
文字を入力する→P.522

2 フリガナを確認し、◉を押す

■ **フリガナが間違っていた場合**
カタカナ、英字、数字、記号で修正します。
半角で32文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナによって検索します。

3 それぞれの項目を設定し、◉［完了］を押す

GR グループ	▶ グループを選択し、◉を押す 登録するグループを「00」～「19」から選択します。グループを選択しない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

次ページにつづく

電話番号	▶電話番号を入力し、●▶アイコンを選択し、●を押す 電話番号を入力してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。 1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。 一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。	
メールアドレス	▶メールアドレスを入力し、●▶アイコンを選択し、●を押す メールアドレスを入力してアイコンを選択します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。 1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。	
住所	▶郵便番号を入力し、●▶住所を入力し、●を押す 郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。	
誕生日	▶誕生日を入力し、●を押す 誕生日（西暦・月日）を入力します。 設定できる西暦は、1800年から2099年までです。	
メモ	▶メモを入力し、●を押す メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。	
静止画	▶以下の項目から選択 着信時に表示される静止画を選択します。	
	1 静止画選択	静止画を選択します。
	2 静止画解除	静止画を解除します。
キャラ電	▶以下の項目から選択 テレビ電話中に表示されるキャラ電を選択します。テレビ電話をかけたときも受けたときも表示されます。	
	1 キャラ電選択	キャラ電を選択します。
	2 キャラ電解除	キャラ電を解除します。
メモリ番号	▶メモリ番号を入力し、●を押す メモリ番号は電話帳の登録時に自動的に割り当てられますが、000～699の範囲でお好きな番号に変更できます。	

おしらせ

- 名前に「ゎ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ﾜ（半角大文字）」と表示されます。記号や絵文字を入力した場合は、フリガナに反映されません。
- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、メモリ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
  （例）docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
- 電話帳に登録した静止画やキャラ電の元のデータが変更されたり、削除された場合は、電話帳の静止画やキャラ電も同じように変更、削除されます。
- 登録した静止画を着信時に表示させるには、「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定してください。→P.124
- 静止画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画が「画面表示設定」の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、画像の縦横の比率を保持したまま縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。
- シークレットデータとして登録されている電話帳のメモリ番号への上書き登録はできません。

FOMAカード電話帳に登録する

1 ▶ 「電話帳登録」▶ 「FOMAカード(UIM)」▶ 名前を入力し、を押す

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。
全角で10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）で21文字まで登録できます。
文字を入力する→P.522

2 フリガナを確認し、を押す

■ フリガナが間違っていた場合
全角のカタカナ、英字、数字、記号で修正します。
フリガナは全角で12文字、半角英数字(一部の半角記号を含む)で25文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナによって検索します。

3 それぞれの項目を設定し、［完了］を押す

項目	操作
グループ	▶ グループを選択し、を押す 登録するグループを「00」～「10」から選択します。グループを選択しない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。
電話番号	▶ 電話番号を入力し、を押す 電話番号を入力します。電話番号は青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。 一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。
メールアドレス	▶ メールアドレスを入力し、を押す メールアドレスを入力します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

おしらせ

- 名前に「ヮ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ワ（全角大文字）」と表示されます。ただし、フリガナ入力で「ヮ（全角小文字）」を入力することはできます。記号を入力した場合は、フリガナに反映されません。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
  (例) docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

編集を中断した電話帳があるとき

1 ▶ 「電話帳登録」▶ 「本体」または 「FOMA カード(UIM)」

2 「再編集」を選択し、を押す

編集中に電池切れアラームが鳴った場合や、マルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに呼び出したときなどに中断した電話帳の編集を再開できます。
編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■新規に登録する場合
「新規」を選択し、を押す

次ページにつづく

おしらせ

- 編集中データとして一時保存されるのは最新の1件のみです。
- 電話帳の編集中に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、編集中の電話帳のデータはそのままで電話に出ることができます。
  音声通話中の場合は、MULTIを押してタスクメニューを表示させて、編集中の項目を選択すると電話帳の編集画面に戻ることができます。また、音声電話やテレビ電話が終了すると、元の編集画面に戻ります。

■お願い

- お買い上げ後、はじめてお使いになるときや、約1ヶ月以上電池パックを外した状態および空の状態では、内蔵のバックアップ電池を充電する必要があります。FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 「電話帳」に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.394）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、電話帳の内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末（本体）の電話帳の登録内容は電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月間は保持しますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。また、FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。
- ドコモショップなど窓口にて新機種にコピーできるのは「1つ目の電話番号」「カナ・漢字氏名」「グループ設定」「1つ目のメールアドレス」「ブックマーク」「シークレット設定」です。なお、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
  万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、データリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳の内容をパソコンへ転送・保管していただくことができます。

電話帳

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」、「アクセスリーダー」、「サイト」などから電話帳に登録したり、電話番号をダイヤルしてから電話帳に登録できます。

- すでに登録してある電話帳に追加登録する場合は、登録してある電話帳を検索して呼び出してから登録できます。

<例：「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合>

着信履歴画面の機能メニュー画面で ➡ **P.64**

1 6「電話帳登録」▶1「本体」

■ **FOMAカードに登録する場合**

2「FOMAカード(UIM)」を押す

2 2「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.98

■ **新規に登録する場合**

1「新規登録」を押す

■ **FOMAカードの場合**

1「新規登録」または2「上書き登録」を押す

3 電話帳の詳細画面を表示し、●を押す

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。
電話帳の修正のしかた→P.102

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

修正が終わったら ◉［完了］を押す

■ 上書きするかどうかのメッセージが表示された場合
「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

- 「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発番号設定の情報（「通知」／「非通知」）は、電話帳には登録されません。
- 返信不可の受信アドレスは電話帳に登録できません。
- 電話帳に登録できる文字数を超えた文字は削除されます。また、登録できない文字はスペースに変換されることがあります。
- 電話番号やメールアドレス以外の反転表示された情報を使って電話帳登録ができる場合もあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

〈グループ設定〉

グループ名を変更する

お買い上げ時	FOMA端末（本体）：グループ01～19 FOMAカード：グループ01～10

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、また「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。
変更できるグループと登録できる文字数は以下のとおりです。

	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末（本体）	グループ01～グループ19	全角で10文字、半角で21文字
FOMAカード	グループ01～グループ10	全角で10文字、半角で21文字

- 「グループ00」のグループ名は変更できません。

menu 2 6 を押す

「グループ設定画面」が表示されます。

2 グループを選択し、◉ ▶ グループ名を入力し、◉を押す

FOMAカードのグループには「▦」がつきます。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名をつけた場合でも、別々のグループとして表示されます。
文字を入力する→P.522

グループ設定画面

グループ設定画面の機能メニューを使う

グループ設定画面で ➡ P.97

◉［機能］▶ 以下の項目から選択

機能メニュー
グループ名編集
グループ便利機能
グループ名初期化

グループ設定画面の機能メニュー画面

グループ設定画面の機能メニュー

1 グループ名編集	グループ名を編集します。「文字を入力する」→P.522
2 グループ便利機能	「電話帳のグループに便利な機能を設定する」→P.108

次ページにつづく

③ グループ名初期化	▶「YES」を選択し、◉を押す 変更したグループ名を初期化して、お買い上げのときのグループ名に戻します。

おしらせ

- グループ名を初期化しても、そのグループに設定した「グループ便利機能」の設定は解除されません。
- グループ名を変更していないときや、グループ名を削除（初期化）したときは、FOMA端末（本体）の電話帳の場合、「グループ01」～「グループ19」の表示になります。FOMAカードの電話帳の場合、「グループ01」～「グループ10」の表示になります。

〈電話帳検索〉

電話帳から電話をかける

登録した電話帳は、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）の7つの検索方法で呼び出すことができます。

- シークレットデータとして登録した電話帳は、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にしないと呼び出せません。

検索結果の表示について

メモリ番号検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索してその結果を表示します。

1 ◎▶検索する方法を選択

■優先して表示する検索方法を設定する場合

優先して表示したい検索方法を反転表示し、◉［優先］を押す
優先に設定した検索方法には「★」がつきます。
次回検索するときに、待受画面表示中に◎を押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■検索方法の優先設定を解除する場合

◎▶ 2 「電話帳検索」▶「★」がついている検索方法を選択し、◉［解除］

2 電話帳を検索する

検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。FOMAカードの電話帳は、検索結果の一覧画面で「▦」が表示されます。
検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合は、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

電話帳一覧画面

■フリガナ検索の場合

フリガナの一部を入力し、Ⓞまたは Ⓞ を押す

フリガナは先頭から入力します。すべてを入力しなくても検索できます。

文字を入力する→P.522

■名前検索の場合

名前の一部を入力し、Ⓞまたは Ⓞ を押す

名前は先頭から入力します。すべてを入力しなくても検索できます。

■電話番号検索の場合

電話番号の一部を入力し、Ⓞまたは Ⓞ を押す

最初の数桁または途中の数桁を入力しても検索できます。

■アドレス検索の場合

メールアドレスの一部を入力し、Ⓞまたは Ⓞ を押す

最初の文字または途中の文字を入力しても検索できます。

■メモリ番号検索の場合

３桁のメモリ番号を入力する

FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

■グループ検索の場合

目的のグループを選択し、Ⓞを押す

FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

■行（アカサタナ順）検索の場合

検索したい行に対応するボタンを押す

1：フリガナの頭文字が「ア行」のみ表示
2：フリガナの頭文字が「カ行」のみ表示
3：フリガナの頭文字が「サ行」のみ表示
4：フリガナの頭文字が「タ行」のみ表示
5：フリガナの頭文字が「ナ行」のみ表示
6：フリガナの頭文字が「ハ行」のみ表示
7：フリガナの頭文字が「マ行」のみ表示
8：フリガナの頭文字が「ヤ行」のみ表示
9：フリガナの頭文字が「ラ行」のみ表示
0：フリガナの頭文字が「ワ」「ヲ」「ン」のみ表示
＊：その他を表示

■ 登録されているすべての電話帳を一覧で表示する場合

検索条件を入力せずにⓄまたはⓄを押す

ただし、検索方法が「グループ検索」の場合は、すべての電話帳を一覧で表示できません。

次ページにつづく

■ 一覧画面から電話をかける場合

電話をかける電話帳を選択し、［発信］または［テレビ電話］を押す

［発信］を押すと音声電話が、［テレビ電話］を押すとテレビ電話がかかります。選択した電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

3 目的の電話帳を選択し、⦿を押す

「電話帳詳細画面」が表示されます。

■ 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

左右キーを押すと、電話番号の表示を切り替えることができます。

■ 電話帳の詳細画面から電話をかける場合

電話をかける電話番号を表示して［発信］または［テレビ電話］を押す

［発信］を押すと音声電話が、［テレビ電話］を押すとテレビ電話がかかります。

電話帳詳細画面

電話帳

おしらせ

● 優先して表示する検索方法を設定しない場合は下キーを押すと電話帳検索画面が表示され、最後に操作したときに選択した検索方法が反転表示されます。

電話帳一覧画面の機能メニューを使う

電話帳一覧画面で ➡ P.98

1 ⦿［機能］▶以下の項目から選択

電話帳一覧画面の機能メニュー

項目	操作	
1 ソート	▶以下の項目から選択 電話帳一覧を並べ替えます。	
	1 フリガナ順 （お買い上げ時）	フリガナ順に並べ替えます。
	2 名前順	名前順に並べ替えます。
	3 メモリ番号順	メモリ番号順に並べ替えます。
	4 降順※	並べ替えの順番を選択します。
2 1件エクスポート	▶「YES」を選択し、⦿を押す 電話帳のデータをminiSDメモリーカードに1件エクスポートします。	
3 赤外線送信	▶「YES」を選択し、⦿を押す	
4 赤外線全件送信	「データを全件送信する」→P.416	
5 電話帳削除	▶以下の項目から選択 電話帳を削除します。	
	1 1件削除	▶「YES」を選択し、⦿を押す
	2 選択削除	▶上下キーで□（チェックボックス）を選択し、⦿を押す ▶⦿［完了］▶「YES」を選択し、⦿を押す
	3 全削除	▶端末暗証番号を入力し、⦿▶「YES」を選択し、⦿▶「YES」を選択し、⦿を押す 端末暗証番号について→P.142

※：降順のときは「4 昇順」になります。お買い上げのときは昇順です。

おしらせ

<電話帳削除>

●「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話帳を削除できません。

<電話帳削除（全削除）>

●「全削除」を行うと、FOMAカードの電話帳もすべて削除されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

電話帳詳細画面の機能メニューを使う

電話帳詳細画面で ➡ P.100

◉［機能］▶以下の項目から選択

電話帳詳細画面の機能メニュー画面

電話帳詳細画面の機能メニュー 1/4

<table>
<tr><td rowspan="4">1 発番号設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。</td></tr>
<tr><td>1 通知しない</td><td>通知しません。</td></tr>
<tr><td>2 通知する</td><td>通知します。</td></tr>
<tr><td>3 発番号設定消去</td><td>通知しない／通知するの設定を消去します。</td></tr>
<tr><td>2 プレフィックス</td><td colspan="2">▶付加したいプレフィックスの登録名を選択
「プレフィックスを設定する」→P.54</td></tr>
<tr><td>3 国際電話発信</td><td colspan="2">■「＋」がついている（国番号がついている）場合
▶◉を押す
■「＋」がついていない（国番号がついていない）場合
▶国番号を選択し、◉▶◉を押す
市外局番が「0」ではじまる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。</td></tr>
<tr><td>4 マルチナンバー</td><td colspan="2">「マルチナンバー」→P.475</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5 通信速度設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 64K</td><td>「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。</td></tr>
<tr><td>2 32K</td><td>「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。</td></tr>
<tr><td>6 電話帳便利機能</td><td colspan="2">「電話番号およびメールアドレスに便利な機能を設定する」→P.107</td></tr>
<tr><td>7 電話帳指定設定</td><td colspan="2">「指定した電話番号の着信や発信を制限する」→P.153</td></tr>
</table>

電話帳詳細画面の機能メニュー 2/4

1 電話帳編集	「電話帳を修正する」→P.102
2 電話帳削除	「電話帳を削除する」→P.103
3 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
4 iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.247
5 SMS作成	「SMSを作成して送信する」→P.311
6 赤外線送信	▶「YES」を選択し、◉を押す
7 赤外線全件送信	「データを全件送信する」→P.416

電話帳詳細画面の機能メニュー 3/4

1 オート表示	「オート表示させる電話番号を指定する」→P.110
2 1件エクスポート	▶「YES」を選択し、◉を押す 電話帳のデータをminiSDメモリーカードにエクスポートします。
3 名前コピー	電話帳に登録されている名前をコピーします。 コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540
4 電話番号コピー※1	電話帳に登録されている電話番号をコピーします。 コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540

電話帳

次ページにつづく

5 シークレットコード	▶端末暗証番号を入力し、● ▶以下の項目から選択 端末暗証番号について→P.142	
	1 コード設定	「シークレットコードを設定する」→P.102
	2 コード参照	設定したシークレットコードを確認します。
	3 設定解除	設定したシークレットコードを解除します。
6 シークレット解除	「シークレットデータを通常のデータに戻す」→P.149	
7 FOMAカードへコピー※2	電話帳のデータをコピーします。「電話帳をFOMAカードにコピーする」→P.103	

※1： 選択している項目によって以下のようになります。
・メールアドレスを選択しているときは「4 メールアドレスコピー」になります。
・住所を選択しているときは「4 住所コピー」になります。
・誕生日を選択しているときは「4 誕生日コピー」になります。
・メモを選択しているときは「4 メモコピー」になります。
※2： FOMAカードの電話帳を選択しているときは「7 本体へコピー」になります。

電話帳詳細画面の機能メニュー 4/4

1 テレビ電話画像選択	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの画像を設定します。	
	1 自画像	自画像に設定します。
	2 キャラ電	キャラ電に設定します。
	3 設定解除	自画像／キャラ電の設定を解除します。

● シークレットコードを設定する

シークレットコードを登録している相手にiモードメールを送る場合は、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。メールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。
- ●電話番号だけを宛先としてiモード端末にiモードメールを送るときのために、電話番号にシークレットコードを設定することもできます。
- ●メール送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけ、シークレットコードが追加されます。ほかのメールアドレスにはシークレットコードが追加されません。
- ●FOMAカードの電話帳には設定できません。
- ●シークレットコードには「0000」は設定できません。

電話帳詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.101

1 ● ▶ ● ▶ 5「シークレットコード」▶端末暗証番号を入力し、● ▶ 1「コード設定」

コード設定画面が表示されます。
端末暗証番号について→P.142

2 4桁のシークレットコードを入力▶「YES」を選択し、●を押す

おしらせ

●電話番号やメールアドレスにシークレットコードを追加した状態で電話帳に登録している場合、本機能でシークレットコードを登録するとその相手にメールの送信ができなくなります。電話番号やメールアドレスに追加したシークレットコードを削除してから、本機能でシークレットコードの登録を行ってください。

〈電話帳修正〉
電話帳を修正する

電話帳に登録されている内容を修正します。
修正した内容を新しい電話帳として登録することもできます。
●名前を修正しても、フリガナは自動で修正されません。

電話帳詳細画面で ➡ P.100

[●]［編集］▶ それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.93

■ 新しいメモリ番号に登録する場合

「No」を選択して電話帳が登録されていないメモリ番号（000～699）を入力する
修正前の電話帳は元の内容のまま残り､修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら[●]［完了］▶「YES」を選択し、[●]を押す

■ FOMAカードの場合

[●]［完了］を押した後「上書き登録／追加登録」を選択し、[●]を押す
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

●「PIMロック」､「ダイヤル発信制限」､「指定発信制限」設定中は、電話帳を修正できません。

〈電話帳削除〉

電話帳を削除する

登録した電話帳を削除します。電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画、キャラ電を選択して削除することもできます。

電話帳詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.101

[●]▶ 「電話帳削除」▶ 以下の項目から選択

1 電話番号削除※	▶「YES」を選択し、[●]を押す
2 1件削除	▶「YES」を選択し、[●]を押す

※：選択している項目によって以下のようになります。
・メールアドレスを選択しているときは「1メールアドレス削除」になります。
・住所を選択しているときは「1住所削除」になります。
・誕生日を選択しているときは「1誕生日削除」になります。
・メモを選択しているときは「1メモ削除」になります。
・静止画を選択しているときは「1静止画削除」になります。
・キャラ電を選択しているときは「1キャラ電削除」になります。

おしらせ

●「PIMロック」､「ダイヤル発信制限」､「指定発信制限」設定中は、電話帳を削除できません。
●電話帳一覧画面からも削除できます。
●電話番号やメールアドレスが複数登録されているときに1番目の電話番号／メールアドレスを削除すると、次の電話番号／メールアドレスが1番目に表示されます。

〈FOMAカード（UIM）操作〉

電話帳をFOMAカードにコピーする

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりできます。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

●データのコピー中または削除中は、音声電話やテレビ電話、メールの発信や着信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
●FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
コピーできる項目や登録件数について→P.92

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間でデータをコピーする

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で電話帳やSMSのデータをコピーします。

●データをコピーしてもコピー元のFOMA端末（本体）やFOMAカードのデータは残ります。
●FOMAカードが挿入されていない場合は、本機能を利用できません。

1 **menu ▶ ツール を選択し、● ▶ ◎ ▶ 2「FOMAカード（UIM）操作」▶ 端末暗証番号を入力し、● を押す**

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができないようになり「圏外」が表示されます。
端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。
端末暗証番号について→P.142

2 **1「コピー」▶ 1「本体→ FOMAカード（UIM）」または 2「FOMAカード（UIM）→本体」**

3 **コピーしたい項目を選択 ▶ 以下の項目から選択**

1 電話帳	▶ 電話帳を検索 電話帳の一覧画面を表示します。 電話帳の検索のしかた→P.98	
2 SMS	▶ 以下の項目から選択 SMSのデータを選択します。	
	1 受信BOX	受信BOXの一覧画面を表示します。
	2 送信BOX	送信BOXの一覧画面を表示します。

4 **◎で□（チェックボックス）を選択し、● ▶ ⊙［完了］▶「YES」を選択し、● を押す**

「FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面」が表示されます。

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面
例：電話帳

おしらせ

●FOMAカードに異常があるときはFOMAカードのデータをコピーできません。
●コピーできないデータがある場合や、電話番号の桁数がFOMAカードに対応していない場合は、コピーするかどうかのメッセージが表示されます。
●コピー先の最大登録（保存）件数を超えている場合は、コピーすることはできません。
●データのコピー中に転送先の最大登録（保存）件数を超えた場合は、データがいっぱいであることを通知するメッセージが表示されます。すでに登録（保存）されているデータの中で、不要なものを削除した後、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。
●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは電話帳に登録できる文字数が異なるため、データをコピーするときに登録可能文字数を超える一部の文字が登録できないことがあります。その場合、コピーできない文字があるがコピーするかどうかの確認画面が表示されます。
●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。
●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
●FOMA端末（本体）の電話帳をFOMAカードにコピーする場合、絵文字はスペースに変換されます。
●電話帳の詳細画面を表示して機能メニューから「FOMAカードへコピー」（FOMAカードの場合は「本体へコピー」）を選択して1件ずつコピーすることもできます。
●電話帳のデータは、グループ単位でのコピーはできません。

おしらせ

- シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。
- FOMA 端末（本体）と FOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループ00に登録されます。
- SMS送達通知のみのコピーはできません。ただし、送信SMSのSMS送達通知を受信している場合は、送信SMSをコピーすると送信SMSに保存されたSMS送達通知もコピーできます。
- SMSのデータはBOX単位、フォルダ単位でのコピーはできません。
- FOMAカードへコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- 追加したフォルダ・iアプリメール用フォルダ・「チャット」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ内のSMSをFOMA端末（本体）からFOMAカードへコピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
- FOMAカードからFOMA端末（本体）へコピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへコピーされます。

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面の機能メニューを使う

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面で ➡ P.104

1 ⊙［機能］▶以下の項目から選択

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面の機能メニュー

1 コピー開始	▶「YES」を選択し、⊙を押す
2 1件選択	データを選択します。
3 全選択	すべてのデータを選択します。
4 1件解除	データの選択を解除します。
5 全解除	すべてのデータの選択を解除します。
6 詳細表示	データを詳細表示します。

電話帳やSMSのデータを削除する

1 MENU ▶ ツール を選択し、⊙ ▶ ◎ ▶ 2「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力し、⊙を押す

端末暗証番号について→P.142

2 2「削除」▶ 1「本体」または 2「FOMAカード（UIM）」

3 以下の項目から選択

1 電話帳	▶電話帳を検索 電話帳の一覧画面を表示します。 電話帳の検索のしかた→P.98	
2 SMS	▶以下の項目から選択 SMSのデータを選択します。	
	1 受信BOX	受信BOXの一覧画面を表示します。
	2 送信BOX	送信BOXの一覧画面を表示します。

次ページにつづく

で□（チェックボックス）を選択し、●▶●［完了］▶「YES」を選択し、●を押す

「FOMAカード（UIM）操作（削除）画面」が表示されます。

FOMAカード（UIM）操作（削除）画面
例：電話帳

FOMAカード（UIM）操作（削除）画面の機能メニューを使う

FOMAカード（UIM）操作（削除）画面で ➡ P.106

●［機能］▶以下の項目から選択

FOMAカード（UIM）操作（削除）画面の機能メニュー

1 削除開始	▶「YES」を選択し、●を押す
2 1件選択	データを選択します。
3 全選択	すべてのデータを選択します。
4 1件解除	データの選択を解除します。
5 全解除	すべてのデータの選択を解除します。
6 詳細表示	データを詳細表示します。

電話帳の登録状況を確認する

電話帳に登録している件数や登録可能な件数などを確認できます。

menu 2 2 を押す

本体（FOMA端末に登録されている電話帳）

電話帳　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数／700（登録できる件数）

シークレット：シークレットデータとして登録されている件数を表示します。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示できます。

静止画　：電話帳に登録されている静止画の件数を表示します。
登録されている件数／100（登録できる件数）

キャラ電　：電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示します。
登録されている件数／100（登録できる件数）

追加残（電話）：電話番号があと何件登録できるかを表示します。
（メール）：メールアドレスがあと何件登録できるかを表示します。

FOMAカード（FOMAカードに登録されている電話帳）

電話帳　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数／50（登録できる件数）

〈電話帳便利機能／グループ便利機能〉

電話帳に便利な機能を設定する

お買い上げ時	すべて解除

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定できます。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。
設定できる機能は以下のとおりです。

目的			機能名	参照ページ
着信時	誰からの電話かを、音や振動などでわかるようにしたい場合	着信音で区別※1	音声／テレビ電話着信音	P.112
		バイブレータで区別	着信バイブレータ	P.114
		着信ランプの点滅色で区別※1	着信イルミネーション	P.133
		静止画や動画で区別	着信イメージ	P.120
	伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えたい場合※2		応答メッセージ	P.70
	誰からのメールかを、音や振動などでわかるようにしたい場合	着信音で区別	メール着信音	P.112
		バイブレータで区別	メールバイブレータ	P.114
		着信ランプの点滅色で区別	メールイルミネーション	P.133
発信時	テレビ電話をかけるときの通信速度を、相手によって区別したい場合		通信速度設定	P.79
発着信時	テレビ電話のときのキャラ電を相手によって区別したい場合		キャラ電設定	P.81

※1 ： 64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2 ： あらかじめ「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。

- FOMA端末(本体)の「グループ00」、FOMAカードの電話帳およびグループには設定できません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、電話帳便利機能およびグループ便利機能は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。→P.471

電話番号およびメールアドレスに便利な機能を設定する

電話帳に登録されている電話番号やメールアドレスに着信時や発信時の便利機能を設定する方法は共通です。指定した電話番号から音声電話／テレビ電話を着信したときやSMSを受信したとき、指定したメールアドレスからiモードメールを受信したときに、設定した便利な機能でお知らせします。

- 電話番号に対して設定する「メール着信音」、「メールイルミネーション」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。

電話帳詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.101

1 「電話帳便利機能」を押す

「電話帳便利機能設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」がつきます。

■設定されている機能を解除する場合
「★」がついている機能を選択し、◉を押す
機能が解除されて「★」が消えます。

2 以下の項目から選択

1 音声／テレビ電話着信音	「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
2 着信バイブレータ	「着信を振動で知らせる」→P.114

次ページにつづく

③ 着信イルミネーション	「着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する」→P.133
④ 着信イメージ	「画面の表示を変える」→P.120
⑤ 応答メッセージ	「電話に出られないときに用件を録音する」→P.70
⑥ メール着信音	「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
⑦ メールバイブレータ	「着信を振動で知らせる」→P.114
⑧ メールイルミネーション	「着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する」→P.133
⑨ 通信速度設定	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。 ① 64K 「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。 ② 32K 「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
⓪ キャラ電設定	「キャラ電を設定する」→P.81

電話帳

■ 電話帳便利機能を設定すると

電話帳の詳細画面に設定されている便利機能を示すアイコンが表示されます。

:「音声／テレビ電話着信音」が設定されていることを示します。
:「着信バイブレータ」が設定されていることを示します。
:「着信イルミネーション」が設定されていることを示します。
:「着信イメージ」が設定されていることを示します。
:「応答メッセージ」が設定されていることを示します。
:「メール着信音」が設定されていることを示します。
:「メールバイブレータ」が設定されていることを示します。
:「メールイルミネーション」が設定されていることを示します。
64k :「通信速度設定」が「64K」に設定されていることを示します。
32k :「通信速度設定」が「32K」に設定されていることを示します。
:「キャラ電設定」が設定されていることを示します。

電話帳のグループに便利な機能を設定する

グループ設定画面の機能メニュー画面で ➡ P.97

1 2「グループ便利機能」を押す

グループ便利機能
音声/テレビ電話着信音★
着信バイブレータ
着信イルミネーション
着信イメージ
応答メッセージ
メール着信音 ★
メールバイブレータ
メールイルミネーション
通信速度設定
キャラ電設定
12:05
選択

「グループ便利機能設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」がつきます。

■設定されている機能を解除する場合
「★」がついている機能を選択し、◉を押す
機能が解除されて「★」が消えます。

2 以下の項目から選択

① 音声／テレビ電話着信音	「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
② 着信バイブレータ	「着信を振動で知らせる」→P.114
③ 着信イルミネーション	「着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する」→P.133
④ 着信イメージ	「画面の表示を変える」→P.120
⑤ 応答メッセージ	「電話に出られないときに用件を録音する」→P.70
⑥ メール着信音	「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
⑦ メールバイブレータ	「着信を振動で知らせる」→P.114

8 メールイルミネーション	「着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する」→P.133	
9 通信速度設定	▶以下の項目から選択 テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。	
	1 64K	「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
	2 32K	「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。
0 キャラ電設定	「キャラ電を設定する」→P.81	

おしらせ

- 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」で登録した電話帳（シークレットデータ）と普通の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。
- 電話帳便利機能／グループ便利機能の設定がほかの機能の設定と重なった場合や、それぞれ異なる設定をしているメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを同時に受信した場合で動作が変わります。

電話帳便利機能の設定状況を確認する

「電話帳便利機能」を設定している電話帳およびグループを各機能ごとに確認できます。

menu 6 2 を押す

「電話帳便利機能画面」が表示されます。
本機能が設定されている項目には「★」がついています。

電話帳便利機能画面

電話帳便利機能画面の機能メニューを使う

あらかじめ「★」がついている機能または項目を選択します。

電話帳便利機能画面で ➡ P.109

●［機能］▶以下の項目から選択

電話帳便利機能**画面の機能メニュー**

1 設定確認	▶「★」がついている機能または項目を選択し、●※▶設定されている電話帳およびグループを確認
2 設定解除	▶「YES」を選択し、●を押す 選択した機能の設定をまとめて解除します。

※：設定している機能または項目によって回数が変わります。

〈ツータッチダイヤル〉

少ないボタン操作で電話をかける

メモリ番号を「000」〜「009」に登録すると、0〜9のうちの1つを押して📞または●（テレビ電話の場合は📺）を押すだけですばやく電話をかけることができます。

0〜9▶📞または●を押す

■ テレビ電話にかける場合

📺を押す

次ページにつづく

おしらせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。
- シークレット専用モード設定中にツータッチダイヤルで発信できるのは、メモリ番号000～009にシークレット登録されたシークレットデータのみです。
- 「指定発信制限」設定中は、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号が指定発信制限に指定されていないと、ツータッチダイヤルは利用できません。
- FOMAカードの電話帳にはメモリ番号がないため、ツータッチダイヤルで発信することはできません。

〈オート表示〉

いつもかける相手にワンタッチで電話をかける

お買い上げ時	OFF

待受画面表示中に折り畳んだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示するように設定できます。[発信]や[テレビ電話]を押すだけで、表示された電話番号に音声電話やテレビ電話をかけることができます。

- オート表示に指定できる電話番号は1件です。メールアドレスは指定できません。
- FOMAカードの電話帳は指定できません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳は指定できません。
- 各機能の操作中や文字の入力中にFOMA端末をいったん閉じて再度開いた場合、およびシークレット専用モード設定中は、オート表示に指定した電話番号は表示されません。

オート表示機能を有効にする

[menu][4][7]▶[1]「ON」または[2]「OFF」

オート表示させる電話番号を指定する

電話帳詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.101

[◎]▶[◎]▶[1]「オート表示」

機能メニューの「オート表示」に「★」がつきます。

■ **オート表示の指定を解除する場合**

操作1を再度行う

指定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

- オート表示の電話番号表示中に待受画面に戻るには、[終話]、[CLR]、[◉]を押します。
- 以下のような場合、本設定は無効になります。
  - 「オールロック」設定中
  - 「PIMロック」設定中
  - シークレット専用モード中
  - 「指定発信制限」設定中で、オート表示に指定した電話番号に「指定発信制限」が設定されていないとき

電話帳

●音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

〈着信音選択〉

携帯電話から鳴る着信音を変える

お買い上げ時	電話：着信音1　テレビ電話：着信音1　メール：着信音2　チャットメール：着信音2　メッセージリクエスト：着信音3　メッセージフリー：着信音3

音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの着信音を設定できます。また、特定の電話番号やメールアドレス、電話帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。→P.107

- サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションを着信音に設定できます。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションの映像と音声が再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
- 映像のみのiモーションは着信音に設定できません。
- iモーションによっては設定できないものがあります。
- メロディ一覧の見かたについて→P.390
- iモーション一覧の見かたについて→P.369

1 menu 1 3 ▶以下の項目から選択

項目	▶以下の項目から選択	説明
1 電話	1 着信音	音声電話、64Kデータ通信の着信音を設定します。
	2 着信画面	音声電話、64Kデータ通信の着信画面を設定します。→P.120
2 テレビ電話	1 着信音	テレビ電話の着信音を設定します。
	2 着信画面	テレビ電話の着信画面を設定します。→P.120
3 メール	1 着信音	iモードメール、SMS、パケット通信の着信音を設定します。
	2 メール着信画面	メールの着信画面を設定します。→P.120
4 チャットメール	1 着信音	チャットメールの着信音を設定します。
	2 メール着信画面	メールの着信画面を設定します。→P.120
5 メッセージリクエスト	1 着信音	メッセージリクエストの着信音を設定します。
	2 メール着信画面	メッセージリクエストの着信画面を設定します。→P.120
6 メッセージフリー	1 着信音	メッセージフリーの着信音を設定します。
	2 メール着信画面	メッセージフリーの着信画面を設定します。→P.120

操作1で［I あ］「着信音」を選択した場合、以下の項目から選択

1 メロディ	内蔵されている着信音やメロディを「プリインストール」フォルダから、FOMA端末にダウンロードしたメロディを「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選択します。
2 iモーション	内蔵されているiモーションを「プリインストール」フォルダから、カメラで撮影した動画やFOMA端末に取り込んだiモーションを「INBOX」、「カメラ」またはお客様が作成したフォルダから選択します。 着信時には選択したiモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション機能）。
3 おしゃべり	「おしゃべり1」／「おしゃべり2」から選択します。
4 ランダムメロディ	メロディが保存されているフォルダを選択します。着信時には選択したフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。
5 OFF	着信音を鳴らしません。

メロディを反転表示すると、そのメロディが鳴ります。●、［発信］、［0 わをん］、［* http］、［# 記号］、［クリア］のいずれかのボタンを押すと、メロディはとまります。
着信音を設定したら、必要に応じて着信画面の設定をします。

■ 設定を確認する場合
●［デモ］を押す

内蔵されている着信音・メロディ一覧

表示	曲名	作曲者
着信音1～3	－	－
Let's Groove	Let's Groove	Vaughn Wayne Lee
Whole New World	Whole New World//Aladdin	Menken Alan Irwin
Wonderful Moments	－	－
亡キ王女ノ為ノパヴァーヌ	Pavane pour une infante defunte	Maurice Ravel
さくらさくら	さくらさくら	日本古謡
カノン	Canon	Johann Pachelbel
木星	"The Planets" Jupiter	GUSTAV THEODORE HOLST
懐かしき我が家	My Old Kentucky Home	Stephen Collins Foster
草競馬	CAMPTOWN RACES	Stephen Collins Foster
ノクターン	夜想曲第2番 op.9-2	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS
黒電話	－	－
You've Got Mail	－	－
ひよこ	－	－
キラキラ	－	－
サンバ	－	－
Healing Sound	－	－
テクノHV	－	－
ハワイアン	－	－

録音許諾番号：T-04B0058 JASRAC

内蔵されている着モーション
「iモーション」の「プリインストール」フォルダに「ちわわ」が登録されています。

次ページにつづく

おしらせ

- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」で設定した音量となります。「着信音量」を「消去」に設定している場合は鳴りません。
- タイトルの前に「 」、「 」がついているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。→P.390
- データBOX内の「メロディ」で「着信音設定」を行うと、本機能の設定に反映されます。→P.391
- データBOX内の「iモーション」で「着信音設定」を行うと、本機能の設定に反映されます。→P.371
- 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げのときの設定で動作する場合があります。
- 相手が電話番号を通知してこない音声電話の着信音は、「非通知着信設定」で設定できます。相手が電話番号を通知してこないテレビ電話の着信音は、本機能の「テレビ電話」の設定に従います。
- 着信の設定が重なった場合の着信音動作の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①電話帳便利機能の音声／テレビ電話着信音→P.107
  ②グループ便利機能の音声／テレビ電話着信音→P.108
  ③着信音選択（テレビ電話）の着信音→P.112
  ④非通知着信設定の着信音→P.155
  ⑤着信音選択（テレビ電話以外）の着信音→P.112
  電話帳便利機能やグループ便利機能での優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①音声／テレビ電話着信音のiモーション
  ②着信イメージのiモーション
  ③音声／テレビ電話着信音のiモーション（音声のみ）、メロディ
- 着信音にiモーションを設定していても、「キャッチホン」が動作した場合、通話中の音声通話を終了したときに鳴る着信音は「着信音1」となります。
- メールの着信音にiモーションを設定している場合、パケット通信の着信音は「着信音2」になります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。

〈バイブレータ〉

着信を振動で知らせる

お買い上げ時	すべてOFF

音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定できます。

menu 5 4 ▶ 以下の項目から設定

1 電話	音声電話や64Kデータ通信のバイブレータを設定します。
2 テレビ電話	テレビ電話のバイブレータを設定します。
3 メール	iモードメールやSMSのバイブレータを設定します。
4 チャットメール	チャットメールのバイブレータを設定します。
5 メッセージリクエスト	メッセージリクエストのバイブレータを設定します。
6 メッセージフリー	メッセージフリーのバイブレータを設定します。

振動パターンを選択する

1 パターン1	パターン1で振動します。
2 パターン2	パターン2で振動します。
3 パターン3	パターン3で振動します。
4 メロディ連動	着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。ただし、メロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、または着信音をiモーションに設定している場合は、パターン2で振動します。
5 OFF	振動しません。

振動パターンを反転表示すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。
待受画面のアイコンで、バイブレータを設定している項目が確認できます。

:電話／テレビ電話にバイブレータを設定したことを示します。

:メール／チャットメール／メッセージリクエスト／メッセージフリーでバイブレータを設定したことを示します。

V:電話／テレビ電話とメール／チャットメール／メッセージリクエスト／メッセージフリーにバイブレータを設定したことを示します。

おしらせ

- バイブレータを設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
- 「着信音量」を「消去」以外に設定し、バイブレータを設定したときは、音と振動でお知らせします。「着信音量」を「消去」に設定し、バイブレータを設定したときは、振動だけでお知らせします。
- バイブレータの振動は、着信音量にかかわらず、一定の強さとなります。
- バイブレータの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①電話帳便利機能の着信バイブレータ
  ②グループ便利機能の着信バイブレータ
  ③バイブレータの設定

〈ボタン確認音〉

ボタンを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時	ON

- 本機能を「OFF」に設定した場合、以下の音も鳴りません。
  - ・各種警告音
  - ・受話音量の調節を開始したときの音
  - ・電池残量表示の音
  - ・めざまし時計のスヌーズ解除音
- 本機能の設定にかかわらず、以下の操作を行うときは確認音が鳴ります。
  - ・FOMA端末を閉じた状態で▼［メモ／確認］を押したとき
  - ・カメラで撮影したとき
  - ・メモの再生開始時／終了時（受話口から鳴ります）
  - ・待受中音声メモの録音開始時／終了時（受話口から鳴ります）
  - ・おしゃべりの録音開始時／終了時（受話口から鳴ります）
- ボタン確認音の音量は「着信音量」の設定にかかわらず一定の音量になります。
- 「初期値設定」（P.43）からボタン確認音を設定する場合は、操作2から行ってください。

menu 3 0 を押す

1「ON」または2「OFF」

〈充電確認音〉

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時	ON

充電したままFOMA端末を放置することがないように、充電をはじめたときや完了したときに「ピッピッ」と確認音が鳴るように設定できます。

- 本機能の設定にかかわらず、以下の場合は確認音が鳴りません。
  - ・待受画面以外の画面が表示されている場合
  - ・着信中
  - ・マナーモード設定中
  - ・待受中音声メモ録音中
  - ・データ通信中
  - ・発信中
  - ・音声通話中
  - ・ドライブモード設定中
  - ・おしゃべり機能録音中
  - ・電源が切れている場合
  - ・「着信音量」の「電話」を「消去」に設定しているとき

1 **menu ▶ 各種設定を選択し、● ▶ ◆ ▶ 1「その他」▶「充電確認音」を選択し、● ▶ 1「ON」または2「OFF」**

音／画面／照明設定

〈通話品質アラーム〉

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合は、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

● 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

menu 7 5 ▶ 1「アラームなし」、2「アラーム高音」または 3「アラーム低音」

〈メール／メッセージ鳴動〉

メールの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時	5秒

メールやチャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときに、着信音を鳴らすかどうか、鳴らす場合にはその時間を設定します。

1 menu 6 8 ▶ 以下の項目から設定

項目	説明
1 メール	iモードメールやSMSの鳴動時間を設定します。
2 チャットメール	チャットメールの鳴動時間を設定します。
3 メッセージリクエスト	メッセージリクエストの鳴動時間を設定します。
4 メッセージフリー	メッセージフリーの鳴動時間を設定します。

2 鳴らす／鳴らさないを選択

項目	説明
1 ON	**▶ 鳴動時間（01～30秒）を入力** 鳴動時間で設定した時間で鳴ります。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
2 OFF	鳴らしません。

おしらせ

● メール／チャットメール／メッセージリクエスト／メッセージフリーのいずれかを「OFF」に設定すると待受画面に「S」または「S」が表示されます。

音／画面／照明設定

〈イヤホン切替〉

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時	イヤホン＋スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、スピーカから音が鳴らないように設定できます。

●本機能を「イヤホン＋スピーカ」に設定しているときは、イヤホンマイクを接続していてもスピーカから音が鳴りますのでご注意ください。

●本機能を「イヤホン」に設定していても、イヤホンマイクを接続していない場合はスピーカから音が鳴ります。

menu 5 1 ▶ 1「イヤホン＋スピーカ」または 2「イヤホン」

おしらせ

●「イヤホン」のみの設定でも、着信中は着信音が鳴って約 20 秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ただし、音声電話の着信時、テレビ電話の着信時、アラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしているときは、約20秒たってもスピーカから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。

●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のコードをFOMA端末に巻き付けないでください。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

〈マナーモード〉

電話から鳴る音を消す

周囲に迷惑がかからないように、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないように設定できます。

●マナーモード設定中は、以下の音を振動でお知らせします。

・着信音※1

・めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知音※2

・FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音

※1：「バイブレータ」の設定パターンで振動します。「バイブレータ」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。

※2：「バイブレータ」の「電話」の設定パターンで振動します。「バイブレータ」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。

●マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。→P.118

待受画面表示中または通話中に # を1秒以上押す

マナーモードが設定されて「」が表示されます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

マナーモード設定中は「」のほかに、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

：「バイブレータ」でお知らせすることを示します。

：「着信音量」を「消去」に設定していることを示します。

～ ：「伝言メモ」で録音するように設定していることを示します。数字は録音されている伝言メモの件数を示します。

■ マナーモードを解除する場合

マナーモードが設定されている状態で、待受画面表示中または通話中に # を1秒以上押す

マナーモードが解除されて「」の表示が消えます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

次ページにつづく

おしらせ

- マナーモード設定中でも、カメラで撮影するときのシャッター音は鳴ります。
- マナーモード設定中にメロディなどを再生しようとすると、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。再生を行うと「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディまたは音声が鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときは、レベル2の音量で鳴ります。

〈マナーモード選択〉

マナーモードを変更する

お買い上げ時	マナーモード

マナーモード設定中の動作を選択することができます。

●お買い上げのとき、「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。

・伝言メモ：OFF　・バイブレータ：ON　・電話着信音量：消去
・メール着信音量：消去　・めざまし音量：消去　・メモ確認音：ON
・ボタン確認音：OFF　・通話中マイク感度：アップ　・低電圧アラーム：OFF

menu 2 0 を押す

「マナーモード設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

マナーモード設定画面

1 マナーモード	スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモやメモの再生／消去で［メモ／確認］を押したときの確認音）は消去しません。
2 スーパーサイレント	スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。
3 オリジナルマナー	お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定できます。マナーモード設定中に電話がかかってきたときの動作、めざまし時計のアラーム音量などをあらかじめ設定しておくことができます。「オリジナルマナーを設定する」→P.118

オリジナルマナーを設定する

マナーモード設定画面で ➡ P.118

3「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択

1 伝言メモ	▶ 1「ON」または 2「OFF」 伝言メモを設定します。「電話に出られないときに用件を録音する」→P.70
2 バイブレータ	▶ 1「ON」または 2「OFF」 バイブレータを設定します。「着信を振動で知らせる」→P.114
3 電話着信音量	▶ 上または下を押して音量を調節し、●を押す 音声電話とテレビ電話の着信音量を設定します。「着信音の音量を調節する」→P.66
4 メール着信音量	▶ 上または下を押して音量を調節し、●を押す メール、チャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーの着信音量を設定します。「着信音の音量を調節する」→P.66
5 めざまし音量	▶ 上または下を押して音量を調節し、●を押す めざまし時計のアラーム音量を設定します。「めざまし時計を設定する」→P.434

音／画面／照明設定

6 メモ確認音	▶ 1「ON」または 2「OFF」 「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を設定します。
7 ボタン確認音	▶ 1「ON」または 2「OFF」 ボタン確認音を設定します。「ボタンを押したときに鳴る音を設定する」→P.115
8 通話中マイク感度	▶ 1「標準」または 2「アップ」 通話中のマイク感度を設定します。
9 低電圧アラーム	▶ 1「ON」または 2「OFF」 電池切れアラームを設定します。「電池が切れたときは?」→P.42

2 設定が終わったら ●［完了］を押す

■ マナーモードに設定すると

各マナーモードは以下のような設定になります。

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
伝言メモの起動	OFF		「伝言メモ」の設定値
バイブレータ	ON		「バイブレータ」の設定値
音声電話、テレビ電話の着信音量	消去		「電話着信音量」の設定値
メール、チャットメール、メッセージリクエスト／メッセージフリーの着信音量	消去		「メール着信音量」の設定値
めざまし時計のアラーム音量	消去		「めざまし音量」の設定値
スケジュール／ToDoのアラーム音量	消去		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値
ボタン確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
通話中のマイクの感度※	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
通話中保留音	消去		「電話着信音量」の設定値 「消去」以外に設定している場合は、レベル1で鳴ります。
応答保留開始音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は、レベル2で鳴ります。
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「ON」に設定していても、本機能の「電話着信音量」を「消去」に設定している場合は、電池切れアラームはレベル1で鳴ります。
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は、一定の音量で鳴ります。
受信メールの読み上げ	「電話着信音量」の設定値 「消去」、「ステップ」に設定している場合は、レベル2でメールを読み上げます。		

※：通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。ただし、「カメラ」の動画撮影時には、マイク感度は「標準」になります。

おしらせ

- マナーモード設定中の動作をバイブレータでお知らせするように設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。
- 伝言メモの呼出時間は、「伝言メモ」（P.70）で設定した時間になります。ただし、「伝言メモ」を「OFF」に設定しているときは8秒になります。

〈画面表示設定〉
画面の表示を変える

お買い上げ時	待受画面：海　ウェイクアップ表示：サイコロ 電話発信：スタンダード　電話着信：スタンダード テレビ電話発信：スタンダード　テレビ電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード　メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード

撮影した静止画やダウンロードした画像などを待受画面や発着信画面などに表示させることができます。

●着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションの映像と音声が再生されます。
●着信音に映像と音声が含まれるiモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
●音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は着信画面に設定できません。
●iモーションによっては設定できないものがあります。

1 menu 5 6 を押す

「画面表示設定画面」が表示されます。
着信画面にiモーション以外を設定した場合は、必要に応じて着信音の設定をします。

画面表示設定画面

2 以下の項目から選択

1 待受画面	「待受画面のイメージを変える」→P.123			
2 ウェイクアップ表示	1 OFF	画像などを表示しません。		
	2 メッセージ	▶メッセージを入力し、● を押す メッセージは全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。		
	3 マイピクチャ	▶以下の項目から選択 イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。		
		1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。	
		2 カメラ	カメラで撮影した画像を設定します。	
		3 プリインストール	内蔵されている画像から設定します。	
		4 自作アニメ	自作アニメから設定します。	
3 電話発信	▶以下の項目から選択 音声電話をかけたときに表示される画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。			
	1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。		
	2 カメラ	カメラで撮影した画像を設定します。		
	3 プリインストール	内蔵されている画像から設定します。		
	4 自作アニメ	自作アニメから設定します。		

4 **電話着信**	▶ **以下の項目から選択** 着信音と着信画面が設定できます。	
	1 **着信音**	音声電話がかかってきたときの着信音を設定します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	2 **着信画面**	「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.122
5 **テレビ電話発信**	▶ **以下の項目から選択** テレビ電話の発信画面を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	1 **INBOX**	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。
	2 **カメラ**	カメラで撮影した画像を設定します。
	3 **プリインストール**	内蔵されている画像から設定します。
	4 **自作アニメ**	自作アニメから設定します。
6 **テレビ電話着信**	▶ **以下の項目から選択** 着信音と着信画面が設定できます。	
	1 **着信音**	テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	2 **着信画面**	「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.122
7 **メール送信**	▶ **以下の項目から選択** iモードメール、SMSを送信したときに表示される画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	1 **INBOX**	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。
	2 **カメラ**	カメラで撮影した画像を設定します。
	3 **プリインストール**	内蔵されている画像から設定します。
	4 **自作アニメ**	自作アニメから設定します。
8 **メール受信**	▶ **以下の項目から選択** 着信音と着信画面が設定できます。	
	1 **着信音**	iモードメール、SMSを受信したときの着信音を設定します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	2 **メール着信画面**	「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.122
9 **問い合わせ**	▶ **以下の項目から選択** サービス問い合わせ、iモード問い合わせのときに表示される画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	1 **INBOX**	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。
	2 **カメラ**	カメラで撮影した画像を設定します。
	3 **プリインストール**	内蔵されている画像から設定します。
	4 **自作アニメ**	自作アニメから設定します。

●着信画面やメール着信画面を設定する

<例：電話着信の着信画面を設定する場合>

画面表示設定画面で ➡P.120

4「電話着信」▶2「着信画面」▶以下の項目から選択

項目		
1 マイピクチャ	▶以下の項目から選択 イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。
	2 カメラ	カメラで撮影した画像を設定します。
	3 プリインストール	内蔵されている画像から設定します。
	4 自作アニメ	自作アニメから設定します。
2 iモーション※1	▶以下の項目から選択 iモーションを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 iモーションによっては、設定できないものもあります。	
	1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたiモーションから設定します。
	2 カメラ	カメラで撮影したiモーションを設定します。
	3 プリインストール	内蔵されているiモーションから設定します。

※1：「メール着信画面」を選択したときは、「iモーション」は表示されません。

おしらせ

- 着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①電話帳便利機能の着信イメージ→P.107
  ②グループ便利機能の着信イメージ→P.108
  ③電話帳登録の静止画→P.93
  ④着信音選択のiモーション→P.112
  ⑤画面表示設定→P.120
- 電話帳便利機能やグループ便利機能での優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①音声／テレビ電話着信音のiモーション
  ②着信イメージのiモーション、静止画
- 画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①オート表示
  ②iアプリ待受画面
  ③画面表示設定
- Flash画像を「着信画面」、「メール着信画面」に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。

待受画面のイメージを変える

●「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、「カレンダー」を選択することはできません。
●「プリインストール」には、以下の１０種類の画像が内蔵されています。

サイコロ

ミッキーと
ミニーのデート１

ミッキーと
ミニーのデート２

ヒツジ

チェアー

ペンギン

海
©YONEO MORITA

トロピカル
フラワー

ココナッツ
スカイ

キッチン

画面表示設定画面で ➡ P.120

1 [i/あ]「待受画面」▶以下の項目から選択

項目			内容
1 OFF			画像などを表示しません。
2 カレンダー			▶以下の項目から選択 カレンダーを設定します。
	1 背景画像あり		▶以下の項目から選択 カレンダーの背景画像を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
		1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。
		2 カメラ	カメラで撮影した画像を設定します。
		3 プリインストール	内蔵されている画像から設定します。
	2 背景画像なし		カレンダーのみを表示します。
3 マイピクチャ			▶以下の項目から選択 イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
	1 INBOX		サイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像から設定します。
	2 カメラ		カメラで撮影した画像を設定します。
	3 プリインストール		内蔵されている画像から設定します。
	4 自作アニメ		自作アニメから設定します。

次ページにつづく

4 iモーション	▶以下の項目から選択 iモーションを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 iモーションによっては、設定できないものもあります。	
	1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたiモーションから設定します。
	2 カメラ	カメラで撮影したiモーションを設定します。
	3 プリインストール	内蔵されているiモーションから設定します。
5 iアプリ待受画面	iアプリ待受画面を設定します。iアプリ待受画面が設定されているときは、「★」が表示されます。「iアプリ待受画面を設定する」→P.333	

■ 待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。「スケジュール」で「休日」に設定した日は、赤色で表示されます。

■ 前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に●を押して◎でカレンダーを選択するか、●をスライドさせてポインターをカレンダーに重ねると、カレンダーの選択状態になります。もう一度●を押すかポインターでカレンダーを選択してから◎を押すと前の月のカレンダーが、◎を押すと次の月のカレンダーが表示されます。
待受画面に「デスクトップアイコン」が貼り付けられている場合は、●を押すと前回使ったデスクトップアイコンまたはカレンダーが選択されます。デスクトップアイコンが選択された場合は、カレンダーを選択し、もう一度●を押すかポインターでカレンダーを選択してから◎または◎を押すと前の月、次の月のカレンダーが表示されます。

■ スケジュール機能を起動する場合

カレンダーの選択状態から●を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

おしらせ

- 動画やiモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと動画やiモーションが再生されます。●、●、●、●、☎、☎PWR HLD、@CLR、📖のいずれかのボタンを押すと再生は終了します。また、マナーモード設定中には映像のみが表示されます。
- 待受画面として横240×縦345ドット（フルスクリーン）のサイズが表示できるのはJPEG形式の画像のみです。横240×縦345ドットのGIF形式の画像やFlash画像などはフルスクリーン表示できません。
- 「オート表示」を設定している場合は、「オート表示」の設定が優先され、FOMA端末を開いたときに画像は表示されません。
- 「iアプリ待受画面」からiアプリ待受画面が設定されている場合は、「iアプリ待受画面」の設定が優先されます。
- 待受画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。
- 「PIMロック」設定中は、待受画面にカレンダーを設定すると「スケジュール」で設定した「休日」の表示が赤色ではなく通常の表示となります。

〈電話帳画像着信設定〉

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

お買い上げ時	ON

静止画が登録されている電話帳の電話番号から音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、画像を表示するかしないかを設定できます。

1 MENU▶各種設定を選択し、●▶1「着信」▶「電話帳画像着信設定」を選択し、●▶1「ON」または2「OFF」

おしらせ

- 着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は「画面の表示を変える」のお知らせ（P.122）を参照してください。
- 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げのときの設定で動作する場合があります。
- 本機能の設定にかかわらず、シークレットデータの電話帳の画像は表示されません。

イルミネーション・ウィンドウの表示のしかたを設定する

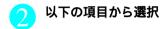
お買い上げ時	設定：文字・情報表示 時計種類：デジタル時計１　着信番号表示：ON　メール表示：OFF 通信中表示：ON（バックライト：OFF）

イルミネーション・ウィンドウの時計やメッセージの表示内容を設定できます。
●お買い上げのとき、「時計固定表示」の「時計種類」は「デジタル時計１」に設定されています。

1 を押す

「イルミネーション・ウィンドウ設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

イルミネーション・ウィンドウ設定画面

項目			内容
1 文字・情報表示			▶以下の項目から選択 文字や情報を表示します。
	1 時計種類		▶以下の項目から選択 時計の種類を選択します。
		1 アナログ時計１	アナログ時計１に設定します。
		2 アナログ時計２	アナログ時計２に設定します。
		3 アナログ時計３	アナログ時計３に設定します。
		4 デジタル時計１	デジタル時計１に設定します。
		5 デジタル時計２	デジタル時計２に設定します。
	2 着信番号表示		▶1「ON」または2「OFF」 音声電話の着信時に相手の電話番号を表示するかどうかを設定します。
	3 メール表示		▶1「ON」または2「OFF」 受信したメールの送信元メールアドレスと題名、受信した日時を表示するかどうかを設定します。
	4 通信中表示		音声電話やテレビ電話の発信中や通話中、赤外線通信中やデータ通信中のときの状態を画像で表示するかどうかを設定します。「通信中の表示を設定する」→P.126
2 時計固定表示			▶以下の項目から選択 時計のみを表示します。
	1 時計種類		▶以下の項目から選択 時計の種類を選択します。
		1 アナログ時計１	アナログ時計１に設定します。
		2 アナログ時計２	アナログ時計２に設定します。
		3 アナログ時計３	アナログ時計３に設定します。
		4 デジタル時計１	デジタル時計１に設定します。
		5 デジタル時計２	デジタル時計２に設定します。
3 OFF			表示しません。

次ページにつづく

おしらせ

- イルミネーション・ウィンドウの表示を「OFF」に設定すると、カメラ動作中や一部のアラーム通知を除きすべて表示されなくなります。
- 「時計種類」を「デジタル時計２」に設定した場合、「時計表示設定」の「表示方法」設定が反映されます。
- 「アナログ時計１～３」に設定したときの時計表示は目安です。
- 「メール表示」を「ON」に設定しても、メールセキュリティが設定されているフォルダに振り分けられたメールは表示されません。

通信中の表示を設定する

イルミネーション・ウィンドウ設定画面で ➡ P.125

[1] 「文字・情報表示」▶[4] 「通信中表示」▶以下の項目から選択

1「ON」	▶[1]「ON」または[2]「OFF」 通信中の状態を表示し、バックライトの点灯を設定します。
2「OFF」	通信中の状態を表示しません。

〈照明設定〉

ディスプレイとボタンの照明を設定する

お買い上げ時	通常時：ON（点灯）＋省電（待ち時間５分） 充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン 明るさ：レベル２

ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトの点灯方法を設定できます。

[menu][7][0]▶以下の項目から選択

項目			
1 通常時	▶以下の項目から選択 通常時のバックライトの動作を選択します。		
	1 ON	▶以下の項目から選択 省電力モードを設定します。	
		1 ON	▶待ち時間（02～20分）を入力する 設定した待ち時間経過後、待受画面およびイルミネーション・ウィンドウの表示が消えます（省電力モード）。 省電力モードに移るまでの時間を設定します。 時間は２桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
		2 OFF	省電力モードを無効にします。
	2 OFF	▶以下の項目から選択 省電力モードを設定します。	
		1 ON	▶待ち時間（02～20分）を入力する 設定した待ち時間経過後、待受画面およびイルミネーション・ウィンドウの表示が消えます（省電力モード）。 省電力モードに移るまでの時間を設定します。 時間は２桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
		2 OFF	省電力モードを無効にします。
2 充電時	▶[1]「標準」または[2]「常時点灯」 充電時のバックライトの動作を選択します。		
3 範囲	▶以下の項目から選択 バックライトの範囲を選択します。		
	1 液晶＋ボタン	ディスプレイとボタンに設定します。	
	2 液晶	ディスプレイのみに設定します。	

4 明るさ	▶ 1「レベル3」、2「レベル2」または3「レベル1」 明るさを選択します。

おしらせ

- バックライトの点灯／消灯は5を1秒以上押しても切り替えることができます。
- 「充電時」の設定を「標準」に設定した場合は、「通常時」の設定に従って動作します。
- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開閉したときなどにバックライトを約15秒間点灯します。カメラ起動中、動画／iモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定にかかわらず、常時点灯します。
- 「通常時」を「OFF」に設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- 「充電時」の設定を「常時点灯」に設定して充電しているときは、何も操作しないで約15秒経過すると充電の効率を高めるためにバックライトの明るさが「レベル1」になります。
- 「充電時」の設定を「常時点灯」に設定していても、充電が完了して充電ランプが消えると「通常時」の設定で動作します。
- メールやメッセージリクエスト、メッセージフリーの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- FOMA端末を開いているときに省電力モードになると、◉と◉が約5秒間隔で点滅します。ボタン操作などを行うと省電力モードは解除されます。
- 「イルミネーション・ウィンドウ」を「時計固定表示」に設定し、FOMA 端末を閉じた場合、設定した待ち時間を経過しても省電力モードにはなりません。

〈画面デザイン〉

ディスプレイの色を変更する

お買い上げ時	配色パターン：スタンダード　背景パターン1：OFF 背景パターン2：背景色1

文字や背景、ディスプレイ上下部やソフトキーのデザインを変更します。

1 menu 8 6 ▶ 以下の項目から選択

項目		内容
1 配色パターン	▶ 以下の項目から選択 配色パターンを選択します。 選択中は選択されているパターンがディスプレイに表示されます。	
	1 スタンダード	スタンダードに設定します。
	2 ムーンイエロー	ムーンイエローに設定します。
	3 サイレントブルー	サイレントブルーに設定します。
	4 トワイライトローズ	トワイライトローズに設定します。
	5 カームグレイ	カームグレイに設定します。
2 背景パターン1	▶ 以下の項目から選択 背景パターン1（ディスプレイ上下部の背景パターン）を選択します。 選択中は選択されているパターンがディスプレイに表示されます。	
	1 OFF	OFF（表示しない）に設定します。 横240×縦345ドット（フルスクリーン）のJPEG形式の画像を待受画面に設定するとフルスクリーンの画像全体が表示されます。
	2 メッシュ	メッシュに設定します。
	3 シャボン	シャボンに設定します。
	4 チェック（ブルー）	チェック（ブルー）に設定します。
	5 チェック（クリーム）	チェック（クリーム）に設定します。
	6 ダイヤ（アッシュ）	ダイヤ（アッシュ）に設定します。
	7 ダイヤ（ブライト）	ダイヤ（ブライト）に設定します。
	8 スチール	スチールに設定します。
	9 ブラス	ブラスに設定します。
3 背景パターン2	▶ 1「背景色1」、2「背景色2」または3「背景色3」 背景パターン2（ソフトキーの背景パターン）を選択します。 選択中は選択されているパターンがソフトキーの背景に表示されます。	

次ページにつづく

おしらせ

- 本機能の設定を変更してもアイコンや画像の色は変わりません。またiモードのサイトの画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらないデータや機能があります。

メニュー表示を変更する

メニュー表示のしかたを設定する<メニュー画面設定>

お買い上げ時	ガイダンス表示：絵と文　メニュー表示：詳細表示 テーマ：ライク・スイーツ

大項目の選択画面で選択している大項目アイコンのガイダンス表示や、「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示を一覧表示にするか詳細表示にするかを設定できます。また、大項目の選択画面の背景やアイコンを設定できます。

- 本機能の設定にかかわらず、オリジナルメニューは一覧表示されます。

ガイダンス表示について

絵と文の場合

文の場合

OFFの場合

メニュー表示について

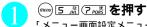
詳細表示の場合

一覧表示の場合

テーマについて

ライク・スイーツの場合

アクアリウムの場合

1 を押す

「メニュー画面設定メニュー画面」が表示されます。

メニュー画面設定
メニュー画面

2 以下の項目から選択

メニュー画面設定メニュー

項目	内容	
1 ガイダンス表示	▶以下の項目から選択 大項目のガイダンス表示を設定します。	
	1絵と文	ガイダンスを絵と文章で表示します。
	2文	ガイダンスを文章で表示します。
	3OFF	表示しません。
2 メニュー表示	▶1「詳細表示」または2「一覧表示」 小項目の表示のしかたを設定します。	
3 テーマ	▶以下の項目から選択 大項目の選択画面の背景やアイコンを設定します。	
	1ライク・スイーツ	ライク・スイーツに設定します。
	2アクアリウム	アクアリウムに設定します。
	3オリジナルテーマ	「メインメニューの画面を変更する」→P.129

おしらせ

●「テーマ」で「アクアリウム」を選択した場合、「バイリンガル」を「英語」に設定しても表示されるメニューの文字は日本語となります。

メインメニューの画面を変更する

大項目の選択画面（メインメニュー）の各アイコンと背景のイメージを変更することができます。

メニュー画面設定メニュー画面で ➡ P.129

1 3「テーマ」▶3「オリジナルテーマ」

「オリジナルテーマ画面」が表示されます。

オリジナルテーマ画面

2 以下の項目から選択し、画像を選択

画像は、「マイピクチャ」の「INBOX」、「カメラ」、「プリインストール」、お客様が作成したフォルダから選択します。

オリジナルテーマメニュー

項目	内容
1 メール	メールアイコンの画像を設定します。
2 iモード	iモードアイコンの画像を設定します。
3 iアプリ	iアプリアイコンの画像を設定します。
4 各種設定	各種設定アイコンの画像を設定します。

次ページにつづく

5 データBOX	データBOXアイコンの画像を設定します。
6 ツール	ツールアイコンの画像を設定します。
7 サービス	サービスアイコンの画像を設定します。
8 電話帳	電話帳アイコンの画像を設定します。
9 ユーザデータ	ユーザデータの画像を設定します。
0 背景イメージ	背景イメージの画像を設定します。 マルチタスクのグループ枠の色を設定することもできます。 「マルチタスクについて」→P.429

■ **マルチタスクのグループ枠を設定する場合**

「背景イメージ」を選択し、⊙［デモ］▶⊙［枠色］▶✥を押してカラーパレットから色を選択し、⊙を押す

色を選択しているときは、⊙［切替］を押すごとにカラーパレットが16色と256色に切り替わります。

おしらせ

- 選択画面で⊙［デモ］を押すと、選択している項目の画像を確認することができます。
- JPEG形式、GIF形式、アニメーションGIF形式の画像でファイル容量が100Kバイト以下、画像サイズが横640×縦480ドットまでの画像が設定できます。
- メニューアイコンに設定したアニメーション GIF 形式の画像は、繰り返し回数の設定にかかわらずアニメーションの回数は1回となります。また、背景イメージにアニメーションGIF形式の画像を設定してもアニメーションは再生しません。
- メニューアイコンおよび背景イメージにFOMAカード動作制限機能の対象となる画像が1つでも設定されていると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカード未挿入のまま電源を入れた場合のオリジナルテーマはお買い上げのときの表示になります。

オリジナルテーマ画面の機能メニューを使う

オリジナルテーマ画面で ➡ P.129

⊙［機能］▶以下の項目から選択

オリジナルテーマ画面の機能メニュー

1 1件リセット	▶「YES」を選択し、⊙を押す
2 全件リセット	▶「YES」を選択し、⊙を押す

オリジナルメニューを作成する<オリジナルメニュー登録>

お買い上げ時	自局番号表示、iモード問い合わせ、着信音量、バイブレータ、めざまし時計、端末暗証番号変更

- オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。
- オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の大項目と「各種設定」、「データBOX」、「ツール」、「サービス」、「電話帳」、「ユーザデータ」の各中項目および小項目です。
- 同じ機能を登録することはできません。

1 MENU 5 2 を押す

「オリジナルメニュー登録画面」が表示されます。

オリジナルメニュー登録画面

2 「<未登録>」の項目を選択し、● ▶ ◎でメニューのカテゴリーを選択

■ すでに登録されている機能を変更する場合

機能が登録されている項目を選択し、●を押す

3 登録したい機能を選択し、●を押す

■ 選択したカテゴリーが「iモード」の場合

選択できる項目は「メール」「iモード」「iアプリ」の大項目のみです。

おしらせ

● すでに機能が登録されている項目に登録しようとした場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

オリジナルメニュー登録画面の機能メニューを使う

オリジナルメニュー登録画面で ➡ P.131

1 ●［機能］▶以下の項目から選択

オリジナルメニュー登録画面の機能メニュー

1 メニュー登録	オリジナルメニューを登録します。
2 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、●を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
3 オリジナルメニュー初期化	▶「YES」を選択し、●を押す お買い上げのときの設定に戻します。
4 解除	▶「YES」を選択し、●を押す
5 全解除	▶「YES」を選択し、●を押す

〈ニューロポインター設定〉

ニューロポインターを設定する

お買い上げ時	ポインター表示：ON　簡易設定：速度（標準）

ニューロポインターボタン（◉）で操作するポインター（：青色／：白色）をより使いやすくするために、ポインター表示のON/OFFや移動速度などを設定できます。

- 初期値設定（P.43）からニューロポインターの速度を設定する場合は、「簡易設定」（P.132）の「1速度（標準）」または「2速度（高速）」から選択してください。
- ポインターは、「」が表示される画面で使用できます。
- （青色）のときは、ポインターを移動すると自動選択されます。（白色）のときは、ポインターを移動しても自動選択されません。iモーションのプレビュー表示とタイトル一覧のときは、ポインターが（白色）になります。→P.369

1 menu ▶ を選択し、◉ ▶ ◉ ▶ 1「その他」▶「ニューロポインター設定」を選択し、◉を押す

「ニューロポインター設定画面」が表示されます。

ニューロポインター設定画面

2 以下の項目から選択

ニューロポインター設定メニュー

項目	操作・説明		
1 ポインター表示	▶ 1「ON」または 2「OFF」 ポインターの表示を設定します。		
2 速度調節	「ポインターの移動速度を調節する」→P.132		
3 スライド設定	▶ 以下の項目から選択 スライド設定を行います。		
	1 スライド調整	▶「YES」を選択し、◉ ▶ 画面のガイダンスに従ってニューロポインターボタンをスライド	
	2 リセット	▶「YES」を選択し、◉を押す	

ポインターの移動速度を調節する

ニューロポインター設定画面で　➡ P.132

1 2「速度調節」▶ 以下の項目から選択

項目	操作・説明	
1 簡易設定	▶ 1「速度（標準）」または 2「速度（高速）」▶「YES」を選択し、◉を押す 2種類から速度を選択します。	
2 詳細設定	▶ 以下の項目から選択 画面ごとに速度を設定します。	
	1 通常画面 2 MainMenu画面 3 T9候補・ワード予測画面 4 ソフト実行画面※	▶ ◉で「初」、「低」、「高」を選択 ▶ ◉で速度を調節 ▶「OK」を選択し、◉を押す 速度はそれぞれ0（左端）～11（右端）段階で調節できます。調節値を右にずらすほど速度が速くなり、左にずらすほど遅くなります。
3 速度リセット	▶「YES」を選択し、◉を押す	

※：iアプリのソフトによっては、本機能の設定が反映されない場合があります。

〈着信イルミネーション〉

着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時	電話：色5　テレビ電話：色5　メール：色1　チャットメール：色3 メッセージリクエスト：色1　メッセージフリー：色1 パターン設定：固定パターン　カラー名：色1～12

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メール、チャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときの着信ランプの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定できます。

●指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.107

●(・)と(●)の点滅のしかたは着信ランプの設定と同じ設定になりますが、色はオレンジ色のみです。

menu 8 9 ▶以下の項目から選択

<table>
<tr><td rowspan="7">1 着信イルミネーション選択</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
着信ランプの点滅色を選択します。
選択中は選択されている点滅色で着信ランプが点灯します。</td></tr>
<tr><td>1 電話</td><td rowspan="6">▶色を選択し、●を押す
それぞれの場合の点滅色を選択します。
色1～色12　：それぞれの色で点滅します。
グラデーション：色1～色12が順番に点滅します。</td></tr>
<tr><td>2 テレビ電話</td></tr>
<tr><td>3 メール</td></tr>
<tr><td>4 チャットメール</td></tr>
<tr><td>5 メッセージリクエスト</td></tr>
<tr><td>6 メッセージフリー</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2 パターン設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
着信ランプの点滅パターンを選択します。</td></tr>
<tr><td>1 固定パターン</td><td>固定パターンに設定します。</td></tr>
<tr><td>2 メロディ連動</td><td>メロディ連動に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3 カラー設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
カラーを設定します。</td></tr>
<tr><td>1 カラー名編集</td><td>▶色を選択し、●▶カラー名を入力し、●を押す
カラー名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
「文字を入力する」→P.522</td></tr>
<tr><td>2 カラー調節</td><td>▶色を選択し、●▶(上下)と(左右)で色あいを調節し、●を押す</td></tr>
</table>

おしらせ

●着信音に「着信音1～3」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらずメロディに合わせて点滅します。
●着信イルミネーションの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
①電話帳便利機能の着信イルミネーション
②グループ便利機能の着信イルミネーション
③着信イルミネーションの設定
●「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合は「固定パターン」で点滅します。
●「着信音選択」でiモーションを設定している場合は、「固定パターン」で点滅します。

〈通話中イルミネーション〉

通話中の着信ランプの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時	OFF

音声通話中やテレビ電話中の着信ランプの点滅色を設定できます。

menu ▶ 各種設定を選択し、● ▶ 2「通話」▶「通話中イルミネーション」を選択し、● ▶ 色を選択し、● を押す

OFF　　　　　　　：着信ランプを点滅させません。
色１～色７　　　　：それぞれの色で点滅します。
グラデーション１～3：色１～色７が順番に点滅します。

おしらせ

●「伝言メモ」の録音中、応答メッセージの再生中、応答保留中なども通話中と同じパターンで着信ランプが点滅します。

〈通話中時間表示〉

通話中の通話時間表示を設定する

お買い上げ時	ON

音声通話中やテレビ電話中に通話時間を表示するかしないかを設定できます。
●通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。
●表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。
●iモード中およびパケット通信中の通信時間はカウントされません。

menu 4 8 ▶ 1「ON」または 2「OFF」

〈フォント設定〉

文字のフォントを変える

お買い上げ時	文字パターン：フォント１　太さ：中太字

ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えることができます。

menu 6 6 ▶ 以下の項目から選択

項目	操作
1 文字パターン	▶ 1「フォント１」または 2「フォント２」 文字パターンを選択します。選択したフォントの文字例が画面の下部に表示されます。
2 太さ	▶ 1「細字」、2「中太字」または 3「太字」 太さを選択します。選択した太さの文字例が画面の下部に表示されます。

おしらせ

●「フォント２」に切り替わるのは、英字（全角、半角）、数字（全角、半角）、ひらがな、カタカナ（全角、半角）と一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字だけです。漢字などほかの文字はすべて「フォント１」で表示されます。また電話番号入力や時計表示などの文字も「フォント２」に切り替わりません。
●本機能の設定にかかわらず、イルミネーション・ウィンドウの文字の太さは変わりません。

〈時計表示設定〉

時計の表示を設定する

お買い上げ時	表示方法：日本語　表示サイズ：大きく表示

MENU 3 9 ▶ 以下の項目から選択

1 表示方法	▶ 1「日本語」、2「英語」または 3「OFF」
2 表示サイズ	▶ 1「大きく表示」または 2「小さく表示」 表示するサイズを設定します。

〈バイリンガル〉

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	Japanese

ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えることができます。

MENU 1 5 ▶ 2「English」

■ 日本語表示から英語表示に切り替える場合

2「English」を押す

日本語表示のとき

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合

1「日本語」を押す

英語表示のとき

おしらせ

●「バイリンガル」の設定が「English」のときは、「時計表示設定」の「表示方法」の選択肢が「ON」または「OFF」の2項目になります。また、「確認機能設定」の選択肢が「ON」または「OFF」の2項目になります。

〈デスクトップ〉

デスクトップアイコンを利用する

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。

●デスクトップに貼り付けられるアイコンは以下のとおりです。
- ・電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像、動画／iモーション、キャラ電、iアプリのソフト
- ・カメラ、ToDoの一覧画面、アクセスリーダー、バーコードリーダー、赤外線受信、辞典、オリジナルメニューの各機能

●デスクトップアイコンは15件まで貼り付けることができます。

●内蔵されているメロディや画像、自作アニメをデスクトップアイコンとして貼り付けることはできません。

デスクトップアイコンを貼り付ける

貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。

<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

「電話帳詳細画面の機能メニューを使う」電話帳詳細画面の機能メニュー 2/4「③デスクトップ貼付」 **➡ P.101**

貼り付けたデスクトップアイコンのタイトルについて

表示されるアイコン	種類	タイトル
	電話番号	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
	メールアドレス	電話帳に登録されている名前（ない場合はメールアドレス）
	SMSアドレス	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
	URL	ページのタイトル（ない場合は「http://」または「https://」を除いたURLの表示）
	メロディ	メロディのタイトル（ない場合は「メロディ」）
	画像	画像のファイル名（ない場合は「イメージ」）
	動画／iモーション	動画またはiモーションのタイトル（ない場合は「iモーション」）
	キャラ電	キャラ電のタイトル（ない場合は「キャラ電」）
	iアプリのソフト	ソフト名
	カメラ	それぞれの機能名
	ToDo	
	アクセスリーダー	
	バーコードリーダー	
	赤外線受信	
	辞典	
	オリジナルメニュー	

おしらせ

● デスクトップアイコンを選択したときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出す

1 待受画面で◉を押す

「デスクトップアイコン画面」が表示されます。
カーソルの位置にあるデスクトップアイコンのタイトルが表示されます。

2 呼び出したいデスクトップアイコンを選択

■ デスクトップアイコンが6件以上登録されている場合

画面の左右に「◀▶」が表示されます。◀▶でデスクトップアイコンをスクロールできます。

デスクトップアイコン画面

3 ◉を押す

デスクトップアイコン画面の機能メニューを使う

デスクトップアイコン画面で ➡ P.136

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

デスクトップアイコン画面の機能メニュー

1 タイトル編集	▶タイトルを入力し、◉を押す タイトルは全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。 「文字を入力する」→P.522
2 デスクトップ初期化	▶「YES」を選択し、◉を押す お買い上げのときの状態（「カメラ」のみ）に戻します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
4 全削除	▶「YES」を選択し、◉を押す

デスクトップアイコンの情報を確認する

1 MENU 6 3 を押す

「デスクトップ画面」が表示されます。

2 デスクトップアイコンのタイトルを選択し、◉を押す

デスクトップ画面

おしらせ

●URLのデスクトップアイコンの情報表示画面では、◎で画面をスクロールしてURLのすべてを確認できます。

デスクトップ画面の機能メニューを使う

デスクトップ画面で ➡ P.137

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

デスクトップ画面の機能メニュー

1 タイトル編集	▶タイトルを入力し、◉を押す タイトルは全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。 「文字を入力する」→P.522
2 デスクトップ初期化	▶「YES」を選択し、◉を押す お買い上げのときの状態（「カメラ」のみ）に戻します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
4 全削除	▶「YES」を選択し、◉を押す

情報を通知するデスクトップアイコン

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
メール	新着メール、圏外時の着信があったことを通知します。	最新のメールが保存されている受信フォルダの受信メール一覧画面を表示します。
チャット	チャットメールがあったことを通知します。	チャット画面を表示します。
不在	不在着信があったことを通知します。	「不在着信履歴」を表示します。
伝言	伝言メモがあることを通知します。	「メモの再生／消去」を起動します。
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。
アラーム	めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。
ソフト	iアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動情報画面を表示します。
アプリ	iアプリ待受画面が異常終了したことを通知します。	セキュリティエラー履歴を表示します。
更新	ソフトウェア更新が終了したことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、更新結果表示画面を表示します。

おしらせ

- 情報を通知するデスクトップアイコンから確認画面を表示する操作の途中で電話をかけることはできません。このとき「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しているときは、アラーム通知もされません。[PWR/HLD]または[CLR]を押して待受画面に戻してから操作を行ってください。
- 「新着メールあり」のアイコンがないときでも、iモードセンターにはFOMA端末で受信されていない新着メールがある場合があります。また、「留守番電話あり」のアイコンがないときでも、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがある場合があります。
- 情報を通知するデスクトップアイコンはそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべてのアイコンを削除するには[CLR]を1秒以上押してください。
- 「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているときに電話帳に登録されていない電話番号から呼出動作開始時間内の不在着信があった場合は、「不在着信あり」のアイコンは表示されません。

〈表示アイコン選択設定〉

待受画面の表示アイコンを選択できるようにする

お買い上げ時	ON

ニューロポインターで待受画面から表示アイコンや日付、時計を選択し、設定できます。

1 [MENU]▶[各種設定]を選択し、[●]▶[◎]▶[1]「その他」▶「表示アイコン選択設定」を選択し、[●]▶[1]「ON」

■ **選択できないようにする場合**

[2]「OFF」を押す

ニューロポインターで表示アイコンを選択する

1 待受画面で[●]をスライドして[ポインター]を表示させ、確認したいアイコンにポインターを合わせる

アイコンのタイトルが表示されます。
日付や時計を選択できます。
[◎]でもアイコンを選択することができます。

2 ●を押す

選択できるアイコン、表示	選択後の状態
	「PIMロック」を表示します。
／	「ダイヤル発信制限」を表示します。
	「ダイヤル発信制限」と「PIMロック」の選択画面を表示します。
（青色）／（赤色）／ ／（青色）／（赤色）	「受信BOX」を表示します。
（緑色）／（赤色）	「メッセージリクエスト」を表示します。
（紫色）／（赤色）	「メッセージフリー」を表示します。
（青色）／（赤色）／ （緑色）／（赤色）／ （紫色）／（赤色）	「iモード問い合わせ」を表示します。
	「メール選択受信」を表示します。
self	「セルフモード」を表示します。
／	「タスクメニュー」を表示します。
／／	「バイブレータ」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。
／／	・通常のとき（マナーモードでないとき） 「着信音量」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。 ・マナーモード、スーパーサイレントのとき 設定できないことを通知するメッセージが表示されます。 ・オリジナルマナーのとき 「オリジナルマナー」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。
	「マナーモード選択」を表示します。
	「遠隔監視設定」を表示します。
／	「アラーム設定」を表示します。
	録音されていないことを通知するメッセージが表示されます。
／／／／	「メモの再生／消去」を表示します。
／／／／ ／／／／ ／	「留守番電話」を表示します。
	「照明設定」を表示します。
	「サイドボタン操作」を表示します。
日付	「スケジュール」を表示します。 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示します。
時計	「めざまし時計」を表示します。 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示します。
／／／／／ ／／／／	起動しているタスクを切り替えて表示します。

おしらせ

● 留守番電話の伝言メッセージが11件以上の場合でも、アイコンのタイトルには「留守番電話　10件」と表示されます。

●あんしん設定

■暗証番号について

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送信を制限する

■その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げのときは「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。→P.143

●端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末※、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

※：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受け付けできないことがあります。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモeサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に設定します。

●ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。また、ドコモショップなど窓口では、運転免許証等の確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモeサイトでも手続きできます。

※「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算料金リセットを行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

PIN1コード・PIN2コードについて→P.143

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。iモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます（このほかにも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

●iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

おしらせ

●いたずら防止のため、端末暗証番号／PIN1コード・PIN2コード／iモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

●電話番号の下4桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

〈端末暗証番号変更〉

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時	0000（数字のゼロ4つ）

FOMA端末に登録されているお客様の大切なデータを守り、FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の端末暗証番号（4～8桁）を変更できます。
●「初期値設定」（P.43）から端末暗証番号を変更する場合は、操作1でmenu 2 9の操作は必要ありません。

1 menu 2 9 ▶ 端末暗証番号を入力し、● を押す

端末暗証番号変更
新しい端末暗証番号は？

2 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、● を押す

おしらせ

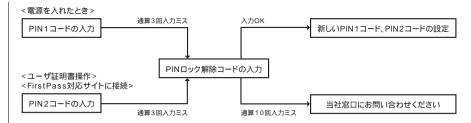
● 本機能の設定により各種機能用の端末暗証番号が変更されます。

〈PIN設定〉

PINコードを設定する

ご契約時	PIN1コード：0000（数字のゼロ4つ） PIN2コード：0000（数字のゼロ4つ） PIN1コード入力設定：OFF

PIN1コードとは、FOMA端末の電源を入れたときにFOMAカードを不正に使用されないための4～8桁の番号（コード）です。
PIN2コードとは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。本FOMA端末では、ユーザ証明書操作時（FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行）や、FirstPass対応サイトに接続するときに入力します。
● PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。
●「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定すると、電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になります。「PIN1コード入力設定」の設定内容はFOMAカードに記憶されますので、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定したFOMAカードを「OFF」に設定しているFOMA端末に差し替えても、電源を入れたときにはPIN1コードの入力が必要になります。
● PIN1コード、PIN2コードの入力を通算で3回誤ると自動的にPINロックされ、PINコードが使えなくなります。設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
● FOMA契約申込書（お客様控え）にはPINロック解除コードが記載されています。PINロック解除コードとは、PIN1コード、PIN2コードがロックされたときにロックを解除するための8桁の番号です。
● PINロック解除コードの入力を通算で10回誤ると、FOMAカードが完全にロックされます。FOMA契約申込書（お客様控え）をなくさないように大切に保管してください。
● PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

次ページにつづく

PIN1／PIN2コードの番号を変更する

● PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 **menu▶各種設定を選択し、●▶7「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」を選択し、●▶端末暗証番号を入力し、●を押す**

「PIN設定画面」が表示されます。
端末暗証番号について→P.142

2 **以下の項目から選択**

1 **PIN1コード変更**	**▶現在設定されている4～8桁のPIN1コードを入力し、●▶新しい4～8桁のPIN1コードを入力し、●▶もう一度新しい4～8桁のPIN1コードを入力し、●を押す** PIN1コードを変更します。
2 **PIN2コード変更**	**▶現在設定されている4～8桁のPIN2コードを入力し、●▶新しい4～8桁のPIN2コードを入力し、●▶もう一度新しい4～8桁のPIN2コードを入力し、●を押す** PIN2コードを変更します。
3 **PIN1コード入力設定**	**▶1「ON」または2「OFF」**

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定した場合は、電源を入れるとPIN1コードの入力画面が表示されますので、PIN1コードを入力してください。

1 **FOMA端末の電源を入れる**

2 **4～8桁のPIN1コードを入力し、●を押す**

PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

PINロックを解除する

誤ったPIN1／PIN2コードを通算で3回入力すると、PIN1／PIN2コードが自動的にロックされたことを通知するメッセージが表示され、PINロック解除コードの入力画面が表示されます。その場合は、PIN1／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1／PIN2コードを設定する必要があります。

● PINロック解除コードについてはFOMAご契約時にお渡しするFOMA契約申込書（お客様控え）をご確認ください。

＜例：PIN1コードのロックを解除する場合＞

1 **8桁のPINロック解除コードを入力し、◉を押す**

PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞ入力
PIN1コードが
ロックされました
PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞを
入力してください
残存入力回数１０回

2 **4～8桁の新しいPIN1コードを入力し、◉を押す**

3 **もう一度新しいPIN1コードを入力し、◉を押す**

各種ロック機能について

目的	機能名	参照ページ
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	オールロック／遠隔オールロック	P.145
ほかの人に「電話帳」や「スケジュール」のデータを見られることを防ぐ	シークレットモード／シークレット専用モード	P.148
ほかの人に個人情報を見られたり、書き換えられたりするのを防ぐ	PIMロック	P.150
サイドボタンの誤操作を防ぐ	サイドボタン操作	P.151
私用電話を防ぐ	ダイヤル発信制限	P.151
ほかの人に発着信の履歴を見られるのを防ぐ	履歴表示設定	P.152
音声電話やテレビ電話の着信を気にしないでFOMA端末を操作する	セルフモード	P.157

〈オールロック／遠隔オールロック〉

ほかの人が使用できないようにする

お買い上げ時	解除

オールロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う方法と遠隔操作で行う方法があります。

● オールロック設定中は、電源を入れる／切る、緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信を除き、すべての操作ができなくなります。音声電話やテレビ電話の発着信もできませんが、遠隔監視を受けることはできます。
● オールロックは電源を切っても解除されません。

FOMA端末を操作してオールロックを設定する

1 **menu ▶ 各種設定 を選択し、● ▶ 7 「ロック／セキュリティ」 ▶ 「オールロック」を選択し、● ▶ 端末暗証番号を入力し、● を押す**

オールロックが設定されて「オールロック」と「 」が表示されます。
端末暗証番号について→P.142

遠隔オールロックを設定する

お買い上げ時	遠隔オールロック：OFF　監視時間：3分　着信回数：5回

公衆電話や他の電話機などからFOMA端末にオールロックをかけられるように設定します。
- 遠隔オールロックは、「許可番号」に設定した電話番号から「監視時間」で設定した時間内に「着信回数」で設定した回数の不在着信があるとFOMA端末にオールロックがかかる機能です。
- 音声電話、テレビ電話で遠隔オールロックをかけることができます。
- 通話中の着信は、監視時間の開始と着信回数のカウントを行いません。

1 **menu 9 9 ▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶ 1 「ON」 ▶ 1 「許可番号」**

「許可番号登録画面」が表示されます。
端末暗証番号について→P.142

2 **「<未登録>」の項目を選択し、● を押す**

■ **すでに登録されている許可番号を変更する場合**
許可番号が登録されている項目を選択し、● を押す

3 **電話番号を入力し、● ▶ ○ ［完了］**

許可番号は3件まで登録できます。

遠隔オールロック
<未登録>
公衆電話
<未登録>
完了　選択　機能

許可番号登録画面

4 **2 「監視時間」 ▶ 監視時間（01～10分）を入力**

許可番号からの不在着信があってから遠隔オールロックを設定できる監視時間を設定します。
時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは ● を押します。

5 **3 「着信回数」 ▶ 着信回数（03～10回）を入力**

遠隔オールロックを設定する許可番号からの不在着信の回数を設定します。
回数は2桁で入力します。表示されている回数をそのまま設定するときは ● を押します。

6 **○ ［完了］を押す**

許可番号登録画面の機能メニューを使う

許可番号登録画面で ➡ P.146

1 **○ ［機能］ ▶ 以下の項目から選択**

許可番号登録画面の機能メニュー

1 宛先参照入力	▶ **以下の項目から選択** ほかの機能から参照して入力します。 **1 電話帳**：電話帳から参照します。「電話帳から電話をかける」→P.98 **2 発信履歴**：発信履歴から参照します。「前にかけた相手にかけ直す」→P.50 **3 着信履歴**：着信履歴から参照します。「着信履歴を利用する」→P.62
2 公衆電話	公衆電話からの着信を許可番号に設定します。許可番号に「公衆電話」と表示されます。
3 1件削除	▶ **「YES」を選択し、◉を押す** 許可番号を削除します。許可番号が0件になると、遠隔オールロックの設定が「OFF」になります。
4 全削除	▶ **「YES」を選択し、◉を押す** すべての許可番号を削除します。遠隔オールロックの設定が「OFF」になります。

遠隔操作でオールロックに設定する

「許可番号」に設定した電話からFOMA端末に音声電話またはテレビ電話をかけて、FOMA端末をオールロックに設定します。

- あらかじめ遠隔オールロックを「ON」に設定しておいてください。
- 遠隔操作で設定したオールロックも「オールロックを解除する」で解除できます。→P.148
- オールロックを解除しても、遠隔オールロックの設定は解除されません。

1 「許可番号」に設定した電話からFOMA端末に電話をかける

2 呼び出し音などを確認して電話を切る（不在着信）

操作1～2を繰り返して「監視時間」に設定した時間内に、合計で「着信回数」に設定した不在着信の回数になるまで電話をかけます。

3 応答メッセージを確認して電話を切る

FOMA端末がオールロックに設定されます。

おしらせ

- 「許可番号」に登録した電話番号または公衆電話が着信拒否に設定されている場合も、遠隔オールロックの着信回数として数えられます。
- 許可番号からの着信を手動で着信拒否したり、留守番電話サービスセンターや転送先に転送しても遠隔オールロックの着信回数として数えられます。
- 許可番号からの不在着信後、監視時間が経過するまではその許可番号からの着信だけが着信回数としてカウントされます（許可番号として設定しているほかの番号からの着信はカウントされません）。遠隔オールロックをかけるときは許可番号に設定したひとつの番号からFOMA端末に電話をかけてください。
- FOMA端末の電源を切った場合や、許可番号から着信して通話した場合は、着信回数がリセットされます。
- ドライブモード設定中でも、遠隔オールロックをかけることができます。
- 遠隔操作ではオールロックを解除できません。

● オールロックを設定すると

- オールロック設定中は、音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。オールロックを解除すると、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- オールロック設定中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。オールロックを解除すると、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- オールロック設定中は、iモードメール、SMS、チャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信した種別のアイコンが画面に表示されます。
- デスクトップアイコンが貼り付けられている場合、オールロックを設定するとアイコンは表示されなくなります。オールロックを解除すると、アイコンが表示されます。

オールロックを解除する

● オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 オールロック設定中の画面で端末暗証番号を入力し、◉を押す

オールロックが解除されて「」の表示が消えます。
端末暗証番号について→P.142

〈シークレットモード／シークレット専用モード〉

電話帳やスケジュールを表示できないようにする

お買い上げ時	シークレットモード：解除　シークレット専用モード：解除

ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータは、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレットデータとして登録できます。シークレットデータにするにはシークレットモード中またはシークレット専用モード中に「電話帳」または「スケジュール」を登録します。
シークレットモードではシークレットデータも含めた「電話帳」、「スケジュール」のすべてのデータを呼び出すことができます。シークレット専用モードではシークレットデータの「電話帳」、「スケジュール」のみを呼び出すことができます。
● シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、音声電話やテレビ電話をかけたり受けたりすると、設定中のモードは解除されます。
● FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。
● シークレットモードおよびシークレット専用モードは電源を切ると解除されます。

シークレットデータとして電話帳やスケジュールを登録する

● シークレットモードおよびシークレット専用モード中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

＜例：シークレットモードで登録する場合＞

1 menu 4 0 ▶ 端末暗証番号を入力し、◉を押す

シークレットモードに設定されて「」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「」が表示されます。
端末暗証番号について→P.142

■ シークレットモードを解除する場合

を押す
シークレットモードが解除されて「」の表示が消えます。

2 「電話帳」または「スケジュール」を登録する

シークレットデータとして登録されます。
電話帳の登録のしかた→P.93
スケジュールの登録のしかた→P.438

あんしん設定

おしらせ

- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
- シークレットデータとして「電話帳」をメモリ番号「000」～「009」に登録した場合は、シークレットモードやシークレット専用モードにしないと、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
- シークレットモード／シークレット専用モード中ではないときにシークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合は、登録されている名前は表示されず、電話番号が表示されます。「着信履歴」には通知された電話番号が記憶されますが、登録されている名前は記憶されません。また、メールを送ってきた場合は、名前は表示されずメールアドレスが表示されます。「受信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレットデータの「電話帳」には以下の機能を設定できません。
  ・オート表示→P.110　・電話帳指定設定→P.153　・電話帳便利機能→P.107
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、シークレットモード中に電話番号やメールアドレスを1件でも修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての電話番号やメールアドレスがシークレットデータになります。
- シークレットモード、シークレット専用モードは、[PWR/HLD]を押したときや電話をかけたり受けた場合に解除されます。また、シークレットモード、シークレット専用モード中に、[menu][4][0]または[menu][4][1]を押しても解除されます。
- 「オールロック」とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定している場合は、「オールロック」を解除するとシークレットモードまたはシークレット専用モードも同時に解除されます。
- シークレットモード、シークレット専用モード中に[発信]または[TV]を押し、そのまま発信せずに待受画面に戻った場合、シークレットモード、シークレット専用モードは解除されます。
- シークレットモード、シークレット専用モードで電話帳／スケジュールの編集中、または電話帳検索の結果表示中に、着信などでシークレットモードまたはシークレット専用モードが解除され、再度電話帳／スケジュールの画面に戻ったときは、操作を続けると端末暗証番号を入力する画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると再びシークレットモードまたはシークレット専用モードに設定され、操作を続けることができます。

シークレットデータのみ表示する＜シークレット専用モード＞

1 [menu][4][1]▶端末暗証番号を入力し、[●]を押す

シークレット専用モードに設定されて「」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/S」が点滅表示します。
約2秒たつと待受画面に戻ります。
端末暗証番号について→P.142

■ **シークレット専用モードを解除する場合**
[PWR/HLD]を押す
シークレット専用モードが解除されて「」の表示が消えます。

2 電話帳の検索またはスケジュールの確認を行う

電話帳の検索のしかた→P.98
スケジュールの確認のしかた→P.440

おしらせ

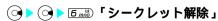
- シークレットデータを呼び出して電話をかけたときは、「発信履歴」、「リダイヤル」には記憶されません。

シークレットデータを通常のデータに戻す

シークレットモードまたはシークレット専用モードで解除したい電話帳またはスケジュールを呼び出します。
電話帳の検索のしかた→P.98
スケジュールの確認のしかた→P.440

次ページにつづく

<例：電話帳を解除する場合>

電話帳詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.101

「シークレット解除」

シークレットが解除されます。シークレットモードの場合は、「」の点滅表示が点灯に変わります。

■ スケジュールの場合

「スケジュール一覧画面の機能メニューを使う」スケジュール一覧画面の機能メニュー 1/2「6 シークレット解除」→P.441

〈PIMロック〉

個人情報を表示できないようにする

お買い上げ時	解除

ほかの人が個人情報（FOMA端末に保存されたいろいろなデータ）を見たり、書き換えたり、新しくデータを保存したり、FOMA端末の設定を変更されたりするのを防ぐため、「電話帳」、「スケジュール」、「メール」、「カメラ」や「マイピクチャ」などを起動しないように設定します。保存されたデータに影響のない電話発着信、メニュー操作、プリインストールされたデータの表示などの操作以外はできなくなります。

MENU ▶ 各種設定を選択し、● ▶ 7「ロック／セキュリティ」▶「PIMロック」を選択し、● ▶ 端末暗証番号を入力し、● を押す

PIMロックが設定されて「」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「」が表示されます。

端末暗証番号について→P.142

■ PIMロックを解除する場合

操作 1 を再度行う

PIMロックが解除されて「」の表示が消えます。

おしらせ

- PIM ロックを設定すると、それまでの「リダイヤル」、「発信履歴」、「着信履歴」、「送信アドレス一覧」、「受信アドレス一覧」のデータはすべて削除されますが、PIMロックを設定した後の発着信のデータは記憶されます。
- PIMロック設定中はデスクトップアイコンを削除することはできません。また、「新着メールあり」、「未通知アラームあり」、「電話番号」、「メールアドレス」、「URL」などのデスクトップアイコンは表示されませんが、PIMロックを解除すると表示されます。
- PIMロック設定中は、iモーション、キャラ電およびプリインストール以外のメロディ、マイピクチャのデータを再生または表示することができません。これらの再生または表示できないデータを着信音や待受画面などに設定している場合、PIMロック設定中はお買い上げのときの設定で動作します。
- 待受画面にカレンダーを設定している場合、PIM ロック設定中でもカレンダーは表示されますが、カレンダーを選択してスケジュールを起動することはできません。
- PIMロック設定中は、FOMA端末を折り畳んだ状態で［メモ／確認］を押しても、不在着信、新着メールの確認をすることはできません。
- PIMロック設定中は、テレビ電話の代替画像は「内蔵」の代替画像が送信されます。
- PIMロック設定中に「オールロック」を設定すると「」の表示が「」に変わります。
- PIMロックと「オールロック」が同時に設定されている場合、解除するときは「オールロック」を解除してからPIMロックを解除してください。「オールロック」を解除しても、PIMロックは解除されません。
- PIMロック設定中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。PIMロックを解除すると、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- PIM ロック設定中は、iモードメール、チャットメール、SMS、メッセージリクエスト、メッセージフリーの自動受信は行いますが、受信中画面や受信結果画面は表示されません。PIMロックを解除すると、受信した種別のアイコンが待受画面に表示されます。

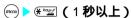
* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

〈サイドボタン操作〉
サイドボタンの誤操作を防止する

お買い上げ時	閉じた時有効

FOMA端末を折り畳んでいるときに、かばんの中などでの誤操作を防ぐためにサイドボタンの機能を無効にできます。

●以下のような場合は、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。
・FOMA端末を開いているとき
・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているとき
・外部接続端子にパソコンなどを接続し、画面に「」が表示されているとき

（1秒以上）

サイドボタンの操作が無効（閉じた時無効）になり「」が表示されます。

■ 閉じた時有効にする場合

操作1を再度行う

サイドボタンの操作が有効になり「」の表示が消えます。

〈ダイヤル発信制限〉
ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	解除

電話番号をダイヤルして音声電話やテレビ電話をかけること、iモードメールやSMSの宛先をダイヤルボタンで入力することを禁止します。設定前に登録した「電話帳」と設定後の「発信履歴」、「リダイヤル」、「送信アドレス一覧」による発信だけが可能となります。

FOMA端末を会社の業務用としてお使いのときなどは、あらかじめ業務に必要な電話番号、メールアドレスを「電話帳」に登録してから本機能を設定すると私用電話やメールを防止できます。

●ダイヤル発信制限設定中は以下の機能や操作からの音声電話発信／テレビ電話発信／iモードメール作成／SMS作成ができません。
・ダイヤル入力　・着信履歴　・受信アドレス一覧　・メールメンバー
・デスクトップアイコン　・アクセスリーダー　・バーコードリーダー　・伝言メモの再生

●ダイヤル発信制限設定中は以下のような操作ができません。
・電話帳の登録／編集／削除
・「Phone To／AV Phone To機能」、「Mail To機能」の利用
・「赤外線通信機能」による電話帳のデータ送受信
・「FOMAカード（UIM）操作」による電話帳のコピー、削除
・miniSDメモリーカードからの電話帳のインポート
・ATコマンドによる発信

を選択し、● ▶ 「ロック／セキュリティ」▶「ダイヤル発信制限」を選択し、● ▶ 端末暗証番号を入力し、●を押す

ダイヤル発信制限が設定されて「」が表示されます。「シークレットモード」や「シークレット専用モード」が同時に設定されている場合は「」、「PIMロック」が同時に設定されている場合は「」が表示されます。

端末暗証番号について→P.142

■ ダイヤル発信制限を解除する場合

操作1を再度行う

ダイヤル発信制限が解除されて「」の表示が消えます。

あんしん設定

次ページにつづく

おしらせ

- ダイヤル発信制限を設定すると、それまでの「リダイヤル」、「発信履歴」、「着信履歴」、「送信アドレス一覧」、「受信アドレス一覧」や「チャットメンバー」のデータはすべて削除されますが、ダイヤル発信制限を設定した後の発着信のデータは記憶されます。また、宛先および本文が設定された状態で保存されているメールは、宛先が削除されて本文のみのメールとなります。宛先のみ設定された状態で保存されているメールは削除されます。
- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。

〈履歴表示設定〉

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時	着信履歴：ON　リダイヤル／発信履歴：ON

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」を表示しないように設定できます。ほかの人に発信や着信の履歴を見られたくないときに便利です。

menu ▶ 各種設定 を選択し、● ▶ ◎ ▶ 1「その他」▶「履歴表示設定」を選択し、● ▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶ 以下の項目から選択

端末暗証番号について→P.142

1 着信履歴	▶ 1「ON」または 2「OFF」 着信履歴の表示を設定します。
2 リダイヤル／発信履歴	▶ 1「ON」または 2「OFF」 リダイヤル／発信履歴の表示を設定します。

おしらせ

- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定している場合に不在着信があっても、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。「不在着信あり」のデスクトップアイコンから「着信履歴」を表示しようとしたときは、履歴表示が「OFF」に設定されていることを通知するメッセージが表示されます。この場合、デスクトップアイコンは消えません。「不在着信あり」のデスクトップアイコンを消すには CLR を1秒以上押します。
- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定しているときは、伝言メモは再生できません。
- リダイヤルは最新のデータのみ記憶されます。同じ番号にかけた場合は最新のデータだけが記憶され、古いデータは削除されます。
- 発信履歴は同じ番号にかけても古いデータは削除されず、新しいデータとして記憶されます。

〈メールセキュリティ設定〉

メールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時	セキュリティなし

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

- セキュリティをかけたBOXには、「」のアイコンが表示されます。
- 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOX別にセキュリティを設定する

●[MAIL] ▶ ◎ ▶ 1「メール設定」▶ 7「メールセキュリティ設定」▶ 端末暗証番号を入力し、● を押す

端末暗証番号について→P.142

あんしん設定

2 ◎で□（チェックボックス）を選択し、◉を押す

メールセキュリティ設定
□受信BOX
□送信BOX
☑保存BOX

選択したBOXがチェックされます。
チェックされたBOXをもう一度選択すると、選択を解除します。

3 設定が終わったら◉［完了］を押す

フォルダ別にセキュリティを設定する

フォルダごとにセキュリティをかけられます。セキュリティをかけたフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けないようになります。

● セキュリティをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「🔒」、「⊠」などの表示になります。

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.284

1 4「メールセキュリティ」▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

端末暗証番号について→P.142

■ **セキュリティを解除する場合**
操作1を再度行う

〈電話帳指定設定〉
指定した電話番号の着信や発信を制限する

お買い上げ時	すべて解除

● 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
● FOMAカードの電話帳には設定できません。
● 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。
● 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
● 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、電話帳指定設定の各機能は解除されます。ただし、指定発信制限設定中は、電話帳の電話番号を変更したり削除することはできません。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

電話帳に登録されている電話番号に発信制限や着信制限を設定する方法は共通です。

電話帳詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.101

1 7「電話帳指定設定」▶端末暗証番号を入力し、◉▶設定したい機能を選択

端末暗証番号について→P.142
設定した機能には「★」がつきます。

■ **設定されている機能を解除する場合**
「★」がついている機能を選択する
機能が解除されて「★」が消えます。

次ページにつづく

■ 複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

CLRを押して電話帳の詳細画面に戻り、を押して設定したい電話番号を表示させて操作1を行う

を押して待受画面に戻ると、電話帳指定設定の追加設定ができなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の電話帳指定設定を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

おしらせ

<指定発信制限>

- 指定発信制限を設定すると、電話帳の登録、修正、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード（UIM）操作」での電話帳の操作、および指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。
- 指定発信制限を設定すると、「発信履歴」、「リダイヤル」は削除されます。
- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。
- 指定発信制限と同時に「オート表示」をご利用になる場合は、「オート表示」に指定している電話帳に本機能を設定してください。
- 指定発信制限設定中は、電話帳には指定発信制限に指定した電話番号のみが表示されます。

<指定着信拒否><指定着信許可>

- 指定着信拒否および指定着信許可は相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効になります。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 「PIMロック」設定中は、指定着信拒否および指定着信許可は無効になります。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
- 指定着信拒否および指定着信許可を設定していても、電話をかけることはできます。
- すべての電話帳を削除すると、指定着信拒否および指定着信許可の設定は解除されます。

<指定転送でんわ><指定留守番電話>

- 「PIMロック」設定中は、指定転送でんわおよび指定留守番電話は無効になります。
- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続します。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

電話帳指定設定の設定状況を確認する

「電話帳指定設定」を設定している電話番号を各機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

menu 1 2 ▶ 端末暗証番号を入力し、●を押す

「電話帳指定設定画面」が表示されます。

端末暗証番号について→P.142

電話帳指定設定画面

電話帳指定設定画面の機能メニューを使う

電話帳指定設定画面で　➡ P.154

「★」がついている機能を選択し、●［機能］▶ 以下の項目から選択

電話帳指定設定画面の機能メニュー

1 **設定確認**	選択した機能に設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。
2 **設定解除**	▶ **「YES」を選択し、◉を押す** 選択した機能の設定をまとめて解除します。

〈非通知着信設定〉

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時	すべて許可／通常着信音と同じ

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定できます。

menu 1 0 ▶ 端末暗証番号を入力し、◉ ▶ 以下の項目から選択

端末暗証番号について→P.142

1 **通知不可能**			▶ **以下の項目から選択** 海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の電話をつなげるかどうかを設定します。 経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。
	1 **許可**		▶ **以下の項目から選択** 着信を許可します。
		1 **通常着信音と同じ**	「着信音選択」の「電話」と同じになります。
		2 **メロディ**	「メロディ」から選択します。
		3 **iモーション**	「iモーション」から選択します。
		4 **おしゃべり**	「おしゃべり」から選択します。
		5 **ランダムメロディ**	メロディが保存されているフォルダを選択します。
		6 **OFF**	着信音を鳴らしません。
	2 **拒否**		着信を拒否します。
2 **公衆電話**			▶ **以下の項目から選択** 公衆電話などから発信してきた場合の電話をつなげるかどうかを設定します。
	1 **許可**		▶ **以下の項目から選択** 着信を許可します。
		1 **通常着信音と同じ**	「着信音選択」の「電話」と同じになります。
		2 **メロディ**	「メロディ」から選択します。
		3 **iモーション**	「iモーション」から選択します。
		4 **おしゃべり**	「おしゃべり」から選択します。
		5 **ランダムメロディ**	メロディが保存されているフォルダを選択します。
		6 **OFF**	着信音を鳴らしません。
	2 **拒否**		着信を拒否します。

次ページにつづく

③ 非通知設定	▶ 以下の項目から選択 発信者の意志により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の電話をつなげるかどうかを設定します。		
	① 許可	▶ 以下の項目から選択 着信を許可します。	
		① 通常着信音と同じ	「着信音選択」の「電話」と同じになります。
		② メロディ	「メロディ」から選択します。
		③ iモーション	「iモーション」から選択します。
		④ おしゃべり	「おしゃべり」から選択します。
		⑤ ランダムメロディ	メロディが保存されているフォルダを選択します。
		⑥ OFF	着信音を鳴らしません。
	② 拒否	着信を拒否します。	

おしらせ

- 本機能で選択する着信音は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」と同じになります。
- 「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「不在着信あり」のアイコンが表示されます。（相手には話中音が流れます）
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、拒否に設定した発信者非通知理由の相手には、つながりません。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を０秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定にかかわらず受信します。

〈呼出時間表示設定〉

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	無音時間設定：０秒　時間内不在着信表示：表示する

電話帳に登録されていない音声電話、テレビ電話着信があった場合、非通知の音声電話、テレビ電話着信があった場合、着信があった時点から呼び出し動作を開始する（着信を知らせる）までの無音時間を設定します。呼出時間が短い迷惑電話などに対して着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 音声通話中、テレビ電話中にかかってきた場合にも無音時間設定は動作します。

menu 9 0 ▶ 以下の項目から選択

① 無音時間設定	▶ 無音時間（00～99秒）を入力する 呼び出し動作を開始するまでの無音時間を設定します。 時間は２桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
② 時間内不在着信表示	▶ 1「表示する」または 2「表示しない」 呼び出し動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- 呼出動作とは、着信音やバイブレータが動作し、着信ランプが点灯／点滅する動作のことです。
- シークレットデータとして登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能で設定した動作になります。
- 電話帳の電話番号に「186／184」を付加して登録した相手から着信した場合も、着信と同時に呼出動作を開始します。
- 無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「オート着信」の呼出時間でも同様です。

〈登録外着信拒否〉

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時	許可

FOMA端末（本体）およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。

●相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

1 menu▶を選択し、●▶7「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」を選択し、●▶端末暗証番号を入力し、●▶2「拒否」

端末暗証番号について→P.142

■ **電話帳に登録されていない相手からの電話を受ける場合**

1「許可」を押す

おしらせ

●シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定にかかわらず、着信は拒否されません。
●「電話帳指定設定」の「指定着信拒否」、「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信拒否」、「指定着信許可」が優先されます。
●本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
●iモードメールやSMSは、本機能の設定にかかわらず受信します。

〈セルフモード〉

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時	解除

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定できます。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

●セルフモード設定中に音声電話がかかってくると、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、相手に「電波が届かない所にいるか電源が切れています」というメッセージが表示されます。
●セルフモード設定中は、「不在着信あり」などのデスクトップアイコンによるお知らせもしません。
●セルフモード設定中は、赤外線通信や外部機器によるデータ通信もできません。
●セルフモード設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

1 menu▶各種設定を選択し、●▶7「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」を選択し、●▶「YES」を選択し、●を押す

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ **セルフモードを解除する場合**

操作1を再度行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

おしらせ

●セルフモード設定中に送られてきたiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーはiモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照ページ
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.470
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.471
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.235
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.572
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.577
iモードメールを受信する際に、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.270
災害が発生した際にiモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「iモード災害用伝言板」サービス	『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください
メールアドレスを変更したい	アドレス変更	
メールアドレスを忘れてしまったときなどに確認したい	アドレス確認	
指定したドメインからのメールのみを受信したい	ドメイン指定受信	
指定したメールアドレスからのメールのみを受信／拒否したい	アドレス指定受信 アドレス指定拒否	
iモードどうしのメールのみを受信／拒否したい	iモードメールのみ受信 iモードメールのみ拒否	
1日に1台のiモード端末から送信される大量（200通目以降）のiモードメールを受信したくない	iモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
ショートメッセージ（SMS）を受信したくない	SMS拒否設定／確認	
メール機能の設定状況を確認したい	設定状況確認	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	

おしらせ

- 見知らぬ着信履歴へのおかけ直しにはご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。
- 迷惑電話を防止する機能の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①迷惑電話ストップサービス
  ②指定着信拒否
  ③登録外着信拒否／非通知着信設定
  ④呼出時間表示設定

カメラ

カメラをご使用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
→P.394

カメラの取扱いについて

・カメラにCCDカメラを使い、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影ではランダムな色の点のノイズが増えますので、ご了承ください。
・撮影する前に、柔らかい布などでレンズ部をきれいにふいておいてください。レンズ部に指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
・FOMA端末を閉じるときにレンズ部に力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
・FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
・レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。

撮影するときのご注意

・内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色あいや明るさが異なる場合があります。
・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れることがありますのでご注意ください。
・撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
・カメラ撮影中は電池の消耗が早いため、撮影が終了したらすみやかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
・連続撮影中や動画撮影中に以下の動作があった場合は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。カメラのズームや明るさを調節中に以下の動作があったときには、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。なお、セルフタイマー実行中に以下の動作があったときには、セルフタイマーは中止されます。
  ・音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったとき
  ・めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知が実行されたとき
  ・ほかの機能の操作を行ったとき
・以下の場合は中止されません。
  ・カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信した場合は、「受信表示設定」（P.297）の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
  ・「アラーム通知設定」（P.431）を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。
・シャッター音やタイマーの開始音は、「着信音量」の設定にかかわらず、一定の音量で鳴ります。
・シャッター音やタイマーの開始音は、マナーモードやドライブモード設定中でも鳴ります。また、「イヤホン切替」の設定が「イヤホン」でイヤホンを付けていてもスピーカから鳴ります。
・撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべくFOMA端末が動かないようにしっかりと固定して撮影するか、セルフタイマーを使って撮影してください。
・静止画の撮影は、◉ を押した後の画像を取り込みます。シャッター音が鳴った後、取り込みが完了して確認モード画面が表示されるまでは、FOMA端末を動かさないようにしっかりと固定してください。
・撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。
・カメラで撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存する場合、撮影の前に保存先フォルダを設定することにより、どのフォルダに保存するかを指定することができます。ただし、電源を切って再度電源を入れると最後に作成したフォルダに保存先の設定が変わります。
・本FOMA端末を閉じた状態では、カメラ機能の起動や撮影はできません。
・「PIMロック」設定中は、カメラ機能を起動できません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

著作権について

・FOMA端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は､プライバシー等にご配慮ください｡

カメラの使いかた

カメラを切り替えるときは、撮影画面で◉［機能］を押し、機能メニューから「外側カメラ」または「内側カメラ」を選択し、◉を押します。

外側カメラ

ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます（正像表示：画面に表示された向きで撮影されます）。また、外側カメラをマクロに切り替えての接写が可能です。

内側カメラ

自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示されます（鏡像表示：画面に表示された向きとは逆向きに撮影されます）。

おしらせ

●内側カメラと外側カメラを同時に使用することはできません。
●外側カメラにメカニカルシャッターを使用しています。メカニカルシャッターの動作時に機械音が発生しますが、故障ではありません。

接写のしかたについて

外側カメラでごく近くにある被写体を撮影したいときは、撮影画面で◉[マクロ]を押すか機能メニューから「レンズ切替（マクロ）」を選択し、レンズをマクロに切り替えます。マクロに切り替えると、外側カメラとの距離が約9cmの被写体にピントが合います。
バーコードリーダーおよびアクセスリーダーを起動すると、マクロに切り替わります。

静止画撮影について

●静止画の撮影には以下のようなカメラモードがあります。
フォトモード：静止画を撮影するモードです。
連写モード　：最大20枚までの静止画を連続撮影するモードです。
●ズームは、外側カメラのときに1倍～約5倍までを8段階に調節できます。ただし、1M（1160×870）の最大ズーム倍率は約2倍、VGA（640×480）では約3.6倍です。内側カメラのときは1倍、約2倍の2段階に調節できます。ただし、CIF（352×288）のときは調節できません。
●部屋の中など、明るさが不足しているところではライトを点灯して撮影することができます。
●景色の撮影や夜景の撮影など、被写体や利用方法などで撮影モードを切り替えることができます。
●接写するときには、レンズをマクロに切り替えると、近くの被写体にピントを合わせて撮影することができます。
●撮影した静止画をminiSDメモリーカードに保存してパソコンなどで利用することができます。
●撮影した静止画をiモードメールに添付して送信することができます。
●撮影した静止画に絵や文字のスタンプを押したり、フレームをつけて飾ったりすることができます。

■静止画の画像サイズと登録件数について

●静止画は最大360件まで登録できます。ただし、画像サイズなどの設定やダウンロードした画像の件数などによって最大登録可能件数まで登録できない場合があります。
●静止画の画像サイズと、おおよその登録件数は以下のとおりです。

画像サイズ	カメラ		画像保存設定	登録件数		
	外側カメラ	内側カメラ		FOMA端末（本体）	miniSDメモリーカード 16Mバイト	miniSDメモリーカード 32Mバイト
1M（1160×870）横1160×縦870ドット	○	×	スーパーファイン	約3件	約23件	約48件
			ファイン	約3件	約27件	約58件
			ノーマル	約5件	約44件	約92件
VGA（640×480）横640×縦480ドット	○	×	スーパーファイン	約3件	約27件	約58件
			ファイン	約18件	約126件	約264件
			ノーマル	約32件	約221件	約462件
CIF（352×288）横352×縦288ドット（お買い上げ時）	○	○	スーパーファイン	約3件	約27件	約58件
			ファイン	約32件	約221件	約462件
			ノーマル	約45件	約295件	約616件
フルスクリーン（240×345）横240×縦345ドット	○	×	スーパーファイン	約18件	約126件	約264件
			ファイン	約32件	約221件	約462件
			ノーマル	約45件	約295件	約616件
待受（240×320）横240×縦320ドット	○	×	スーパーファイン	約18件	約126件	約264件
			ファイン	約32件	約221件	約462件
			ノーマル	約45件	約275件	約616件
メール大（176×144）横176×縦144ドット	○	○	スーパーファイン	約18件	約126件	約264件
			ファイン	約90件	約442件	約922件
			ノーマル	約130件	約877件	約1830件
メール小（128×96）横128×縦96ドット	○	○	スーパーファイン	約18件	約126件	約264件
			ファイン	約90件	約442件	約922件
			ノーマル	約130件	約877件	約1830件

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

動画撮影について

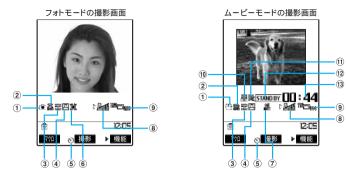
●動画の撮影には以下のようなカメラモードがあります。
ムービーモード　　：動画を撮影するモードです。映像のみ、音声のみの撮影をすることもできます。
チャンスキャプチャ：大切な場面をのがさずに撮影したいときのモードです。
ピクチャボイス　　：静止画に音声を入れて動画にするときのモードです。静止画を撮影して作成する方法と、保存してある静止画を使って作成する方法があります。
●ズームは、外側カメラのときに1倍〜約5倍までを8段階に調節できます。内側カメラのときは1倍、約2倍の2段階に調節できます。
●部屋の中など、明るさが不足しているところではライトを点灯して撮影することができます。
●人物を撮影したり、景色を撮影したりするときなど、撮影したい被写体によって撮影モードを切り替えることができます。
●接写するときには、レンズをマクロに切り替えると、近くの被写体にピントを合わせて撮影することができます。
●動画をminiSDメモリーカードに直接保存しながらの長時間撮影ができます。
●撮影した動画をiモードメールに添付して送信することができます。
●撮影した動画の1コマを静止画に切り出し、iモードメールに添付して送信することができます。

■動画の画像サイズと登録件数について

●動画は最大100件まで登録できます。ただし、画像サイズなどの設定や取り込んだiモーションの件数によって最大登録可能件数まで登録できない場合があります。
●お買い上げのときの設定では、動画の撮影時間は約 45 秒です。ただし、撮影対象などの条件によってデータ量が異なるため、1件あたりの撮影時間も変化します。
●動画は撮影時間によってデータ量が異なるため、最大保存件数も変化します。
●動画の画像サイズと、おおよその登録件数、撮影時間は以下のとおりです。

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	登録件数		
			FOMA端末（本体）	miniSDメモリーカード	
				16Mバイト	32Mバイト
サイズ大（176×144） 横176×縦144ドット	メール（小）	通常	約10件	約46件	約99件
		映像のみ	約10件	約46件	約99件
		音声のみ	約10件	約46件	約99件
	メール（大）	通常	約6件	約27件	約59件
		映像のみ	約6件	約27件	約59件
		音声のみ	約6件	約27件	約59件
	動画メモ	通常	約3件	約17件	約37件
		映像のみ	約3件	約17件	約37件
		音声のみ	約3件	約17件	約37件
	長時間	通常	−	約1件※	約1件※
		映像のみ	−	約1件※	約2件※
		音声のみ	−	約2件※	約5件※
サイズ小（128×96） 横128×縦96ドット	メール（小）	通常	約10件	約46件	約99件
		映像のみ	約10件	約46件	約99件
		音声のみ	約10件	約46件	約99件
	メール（大）	通常	約6件	約27件	約59件
		映像のみ	約6件	約27件	約59件
		音声のみ	約6件	約27件	約59件
	動画メモ	通常	約3件	約17件	約37件
		映像のみ	約3件	約17件	約37件
		音声のみ	約3件	約17件	約37件
	長時間	通常	−	約1件※	約2件※
		映像のみ	−	約1件※	約2件※
		音声のみ	−	約2件※	約5件※

※：最大撮影可能時間（約60分）撮影した場合のおおよその件数です。

撮影画面の見かた

機　能	アイコン		説　明		参照ページ
① カメラモード切替		フォトモード	フォトモードに設定されています。		P.167 P.177
		連写モード	連写モードに設定されています。		
		ムービーモード	ムービーモードに設定されています。		
		チャンスキャプチャ	チャンスキャプチャに設定されています。		
		ピクチャボイス	ピクチャボイスに設定されています。		
② 画像保存設定／動画容量設定		スーパーファイン	フォトモード	撮影した静止画を保存するときのファイル容量：大容量で保存	P.169
		ファイン		撮影した静止画を保存するときのファイル容量：中容量で保存	
		ノーマル		撮影した静止画を保存するときのファイル容量：小容量で保存	
		メール（小）	ムービーモード	290Kバイトまで撮影できることを示します。	P.177
		メール（大）		490Kバイトまで撮影できることを示します。	
		動画メモ		800Kバイトまで撮影できることを示します。	
		長時間		長時間撮影ができることを示します。	
③ ホワイトバランス設定		オート	自動的に色あいを補正します。		P.179
		晴天	晴れている野外で撮影するとき		
		曇天	曇っている野外や日陰で撮影するとき		
		電球	白熱電球の明かりで撮影するとき		
		蛍光灯	蛍光灯の明かりで撮影するとき		
④ 撮影モード選択		ポートレート	人物などを撮影するとき		P.179
		風景	景色などを撮影するとき		
		クローズアップ	マクロで近くのものを撮影するとき		
		ナイトモード	夜景などを撮影するとき		
⑤ セルフタイマー設定／撮影枚数		セルフタイマー	セルフタイマーが設定されていることを示します。		P.183
	1/5	撮影枚数	連続撮影（マニュアル撮影）の撮影枚数を示します。		P.172
⑥ 画質調整		自動補正	画質調整の自動補正が「ON」のとき		P.168
⑦ 明るさ調節※	-2 / -1 / ±0 / +1 / +2		画像の明るさ（－2／－1／±0／+1／+2）を示します。		P.168 P.178

カメラ

<table>
<tr><th>機　能</th><th colspan="2">アイコン</th><th colspan="2">説　明</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>⑧ズーム</td><td colspan="2">×1～～×5
×1～～×2</td><td colspan="2">ズームの設定状況を示します。</td><td>P.183</td></tr>
<tr><td rowspan="9">⑨画像サイズ選択</td><td>1160 870</td><td>1M</td><td rowspan="7">フォトモード</td><td>1M（1160×870）に設定されています。</td><td rowspan="7">P.162</td></tr>
<tr><td>640 480</td><td>VGA</td><td>VGA（640×480）に設定されています。</td></tr>
<tr><td>352 288</td><td>CIF</td><td>CIF（352×288）に設定されています。</td></tr>
<tr><td>240 345</td><td>フルスクリーン</td><td>フルスクリーン（240×345）に設定されています。</td></tr>
<tr><td>240 320</td><td>待受</td><td>待受（240×320）に設定されています。</td></tr>
<tr><td>176 144</td><td>メール大</td><td>メール大（176×144）に設定されています。</td></tr>
<tr><td>128 96</td><td>メール小</td><td>メール小（128×96）に設定されています。</td></tr>
<tr><td>176 144</td><td>サイズ大</td><td rowspan="2">ムービーモード</td><td>サイズ大（176×144）に設定されています。</td><td rowspan="2">P.163</td></tr>
<tr><td>128 96</td><td>サイズ小</td><td>サイズ小（128×96）に設定されています。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑩動画保存設定</td><td>NOR</td><td>標準</td><td colspan="2">撮影する動画の画質：標準画質で撮影</td><td rowspan="4">P.178</td></tr>
<tr><td></td><td>画質優先</td><td colspan="2">撮影する動画の画質：画質優先で撮影</td></tr>
<tr><td></td><td>時間優先</td><td colspan="2">撮影する動画の画質：時間優先で撮影</td></tr>
<tr><td></td><td>動き優先</td><td colspan="2">撮影する動画の画質：動き優先で撮影</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑪撮影種別設定</td><td></td><td>通常</td><td colspan="2">映像と音声両方の動画を撮影します。</td><td rowspan="3">P.178</td></tr>
<tr><td></td><td>映像のみ</td><td colspan="2">映像のみの動画を撮影します。</td></tr>
<tr><td></td><td>音声のみ</td><td colspan="2">音声のみの動画を撮影します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑫撮影状態</td><td>●REC</td><td>撮影中</td><td colspan="2">動画撮影中を示します。</td><td rowspan="3">P.176</td></tr>
<tr><td>STAND BY</td><td>スタンバイ</td><td colspan="2">動画撮影の待機中を示します。</td></tr>
<tr><td>⑬残り撮影時間</td><td colspan="2">00:44</td><td colspan="2">動画撮影の残り時間（分：秒）を示します。</td></tr>
</table>

※：自動補正が「ON」のときは表示されません。

〈静止画撮影〉

静止画を撮影する

内蔵カメラを使ってお好みの静止画を撮影することができます。
●撮影した静止画は、miniSDメモリーカードへ直接保存できます。
●あらかじめ保存先を設定して静止画を撮影後、自動的に保存できます。

1 ◉で「📷」を選択し、◉を押す

「カメラ画面」が表示されます。

カメラ画面

2 2「フォトモード」を押す

「静止画撮影画面」が表示されます。
撮影時の設定を変えるとき→P.183

静止画撮影画面

3 カメラを被写体に向ける▶◉または▼［📷］を押す

「静止画確認画面」が表示されます。

■ 撮影し直す場合

CLR▶「YES」を選択し、◉を押す

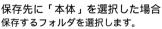
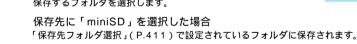
4 ◉▶「YES」を選択し、◉▶1「本体」または2「miniSD」

静止画確認画面

■ 保存先に「本体」を選択した場合

保存するフォルダを選択します。

■ 保存先に「miniSD」を選択した場合

「保存先フォルダ選択」(P.411)で設定されているフォルダに保存されます。

おしらせ

- ●静止画撮影画面の表示は、以下の操作でも行えます。
  - ・menu▶📷を選択し、◉▶1「カメラ」▶2「フォトモード」
- ●静止画の撮影は◉を押した後の画像を取り込みますので、シャッター音が鳴った後、取り込みが完了して確認画面が表示されるまでFOMA端末を動かさないようにしっかりと固定してください。
- ●画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。また、表示サイズ設定を「画面サイズで表示」に設定してメール大(176×144)、メール小(128×96)で撮影した場合、静止画確認画面では拡大して表示されるため、画質が粗く見える場合があります。
- ●miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- ●電池残量が少ないとき、撮影した静止画を保存できない場合があります。
- ●ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックが抜かれたときなど、ファイルが正しく保存されない場合があります。
- ●電源を切ったり、miniSDチェックディスク、miniSDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行ったり、FOMA端末をminiSDリーダライタとして使ったりすると、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最も新しいフォルダに設定されます。また、miniSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで作成、編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、「保存先フォルダ選択」(P.411)で設定し直してください。
- ●撮影時には着信ランプが赤色に点滅します。miniSDメモリーカード保存時には緑色で点滅します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

カメラ画面の機能メニューを使う

カメラ画面で ➡ P.166

●［機能］▶以下の項目から選択

カメラ画面の機能メニュー

1 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、●を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

静止画撮影画面の機能メニューを使う

静止画撮影画面で ➡ P.166

●［機能］▶以下の項目から選択

静止画撮影画面の機能メニュー画面

静止画撮影画面の機能メニュー 1/3

<table>
<tr><td>1 内側カメラ※1</td><td colspan="2">外側カメラと内側カメラを切り替えます。
内側カメラに切り替えられるのは、画像サイズがCIF（352×288）、メール大（176×144）、メール小（128×96）のときのみです。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">2 カメラモード切替</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
カメラモードを切り替えます。</td></tr>
<tr><td>1 ムービーモード</td><td>動画を撮影するモードにします。「動画を撮影する」→P.176</td></tr>
<tr><td>2 チャンスキャプチャ</td><td>「大切な場面をのがさず撮影する」→P.181</td></tr>
<tr><td>3 ピクチャボイス</td><td>「静止画に音声を入れる」→P.181</td></tr>
<tr><td>4 フォトモード</td><td>静止画を撮影するモードにします。「静止画を撮影する」→P.166</td></tr>
<tr><td>5 連写モード</td><td>静止画を連続撮影するモードにします。「連続撮影する」→P.171</td></tr>
<tr><td>6 アクセスリーダー</td><td>アクセスリーダーを起動します。「文字を読み取る」→P.189</td></tr>
<tr><td>7 バーコードリーダー</td><td>「バーコードリーダーを利用する」→P.184</td></tr>
<tr><td>3 画像サイズ選択</td><td colspan="2">画像サイズを選択します。
画像サイズについて→P.162</td></tr>
<tr><td>4 画像保存設定</td><td colspan="2">「保存するときのファイル容量を設定する」→P.169</td></tr>
<tr><td>5 ライト点灯※2</td><td colspan="2">ライトを点灯または消灯します。
内側カメラのときは操作できません。</td></tr>
</table>

次ページにつづく

<table>
<tr><td rowspan="7">6 画質調整</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
撮影する画質を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 自動補正
（お買い上げ時：
1ON）</td><td>▶1「ON」または2「OFF」
「ON」に設定した場合は、撮影した静止画が自動的に高画質に補正されます。
「OFF」に設定した場合は、明るさ調節とホワイトバランス設定が設定できます。</td></tr>
<tr><td>2 明るさ調節</td><td>▶◎を押して明るさを調節し、●を押す
撮影する画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。
2秒間ボタン操作しないと自動的に設定されます。
カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
自動補正が「ON」のときは調節できません。</td></tr>
<tr><td>3 ホワイトバランス設定</td><td>「ホワイトバランスを設定する」→P.179
自動補正が「ON」のときは設定できません。</td></tr>
<tr><td>4 色調切替</td><td>「撮影する画像の効果を設定する」→P.179</td></tr>
<tr><td>5 撮影モード選択</td><td>「撮影する場面に合った撮影モードに設定する」→P.179</td></tr>
<tr><td>6 画像チューニング</td><td>「撮影画面のちらつきを抑える」→P.180
内側カメラのときは選択できません。</td></tr>
<tr><td>7 レンズ切替(マクロ)※3</td><td colspan="2">レンズを自動またはマクロに切り替えます。
内側カメラのときは操作できません。</td></tr>
</table>

※1：内側カメラのときは「1外側カメラ」になります。お買い上げのときは外側カメラです。
※2：ライト点灯中は「5ライト消灯」になります。
※3：マクロのときは「7レンズ切替（自動）」になります。カメラ起動時は「自動」です。

静止画撮影画面の機能メニュー 2/3

<table>
<tr><td>1 セルフタイマー設定</td><td colspan="2">「セルフタイマーを使う」→P.183</td></tr>
<tr><td>2 フレーム選択</td><td colspan="2">「フレームを重ねて撮影する」→P.174</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3 自動保存設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
撮影した静止画を保存する方法を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 ON</td><td>▶1「本体」または2「miniSD」
撮影した静止画を自動的に保存するように設定します。
「本体」に設定した場合は、データBOXにあるマイピクチャのカメラフォルダに保存されます。
「miniSD」に設定した場合は、「保存先フォルダ選択」（P.411）で設定されたフォルダに保存されます。</td></tr>
<tr><td>2 OFF（お買い上げ時）</td><td>自動保存を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4 ファイル制限</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
ファイル制限を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 なし
（お買い上げ時）</td><td>送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。</td></tr>
<tr><td>2 あり</td><td>送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5 表示サイズ設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
待受（240×320）より小さな画像の表示方法を設定します。
画像サイズがメール大（176×144）、メール小（128×96）以外のときは設定できません。</td></tr>
<tr><td>1 等倍表示
（お買い上げ時）</td><td>実際のサイズで表示します。</td></tr>
<tr><td>2 画面サイズで表示</td><td>画面のサイズに拡大して表示します。</td></tr>
<tr><td>6 保存容量確認</td><td colspan="2">▶容量を確認し、CLRを押す
FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。</td></tr>
<tr><td>7 撮影間隔／枚数</td><td colspan="2">「撮影間隔と撮影枚数を設定する」→P.172</td></tr>
</table>

静止画撮影画面の機能メニュー 3/3

1 シャッター音選択 （お買い上げ時： 1シャッター音1）	▶1「シャッター音1」、2「シャッター音2」または3「シャッター音3」 シャッター音を設定します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

おしらせ

<レンズ切替>
●「自動」のときは、絞り（遠景／近景）を自動的に切り替え、適切な露出調節を行います。

<ファイル制限>
●保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

<シャッター音選択>
●マナーモード設定中は、確認のためのシャッター音は鳴りません。

●保存するときのファイル容量を設定する

静止画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167

4「画像保存設定」▶以下の項目から選択

画像保存設定＼画像サイズ	1M（1160×870）	VGA（640×480）	CIF（352×288）	フルスクリーン（240×345）待受（240×320）	メール大（176×144）メール小（128×96）
1 スーパーファイン	595Kバイト以下	495Kバイト以下	495Kバイト以下	95Kバイト以下	95Kバイト以下
2 ファイン（お買い上げ時）	495Kバイト以下	95Kバイト以下	50Kバイト以下	50Kバイト以下	15Kバイト以下
3 ノーマル	300Kバイト以下	50Kバイト以下	35Kバイト以下	35Kバイト以下	9,000バイト以下

※上記のサイズはメールで送信するときのサイズです。保存すると上記のサイズより最大5Kバイト増加します。

静止画確認画面の機能メニューを使う

静止画確認画面で ➡ P.166

●［機能］▶以下の項目から選択

静止画確認画面の機能メニュー画面

静止画確認画面の機能メニュー 1/2

1 保存	▶「YES」を選択し、●を押す
2 鏡像保存	▶「YES」を選択し、●を押す 撮影した静止画を、左右を反転させて保存します。
3 iモードメール作成	「撮影した静止画を添付したiモードメールを作成する」→P.175
4 画像編集	▶「YES」を選択し、●▶1「本体」または2「miniSD」▶「本体」を選択した場合はフォルダを選択し、●▶画像を加工 撮影した静止画にフレームをつけたり、効果をつけます。「静止画を編集する」→P.362 画像サイズが1M（1160×870）またはVGA（640×480）のときは画像編集できません。
5 イメージ貼付	■待受画面、電話発信、電話着信などの画面に設定する場合 ▶「YES」を選択し、●▶1「本体」▶フォルダを選択し、●▶画面を選択し、●を押す ■テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合 ▶「YES」を選択し、●▶1「本体」▶フォルダを選択し、●▶画面を選択し、●▶画像を確認し、●▶「YES」を選択し、●を押す 撮影した静止画を待受画面などに設定します。 画像サイズが1M（1160×870）の画像やファイルサイズが100Kバイトを超えるVGA（640×480）、CIF（352×288）の画像は貼り付けできません。

次ページにつづく

⑥ **フレーム取替え**	「フレームを変更する」→P.175
⑦ **鏡像表示**※1	確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

※1：鏡像表示のときは「⑦正像表示」になります。
内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

静止画確認画面の機能メニュー 2/2

項目		内容
① **表示サイズ設定**	▶**以下の項目から選択** 待受（240×320）より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがメール大（176×144）、メール小（128×96）以外のときは設定できません。	
	① **等倍表示**（お買い上げ時）	実際の画像サイズで画面に表示します。
	② **画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
② **ファイル制限**	▶**以下の項目から選択** ファイル制限を設定します。	
	① **なし**（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	② **あり**	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
③ **取り消し**	▶**「YES」を選択し、◉を押す** 撮影した静止画を削除して撮影し直します。	

おしらせ

<iモードメール作成>
● 静止画確認画面で◉［MAIL］を押しても撮影した静止画を添付したiモードメールを作成することができます。

<画像編集>
● 内側カメラで撮影した画像は、「画像編集」を選択すると正像表示になります。
● 画像サイズが1M（1160×870）、VGA（640×480）の静止画は画像編集できません。

<ファイル制限>
● 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

連続撮影する＜連続撮影＞

お買い上げ時	連写モード：オート　画像サイズ：CIF（352×288） 撮影間隔：0.5秒　撮影枚数：4枚

連写モードにして最大20枚までの静止画を連続撮影することができます。連続撮影には、オート撮影とマニュアル撮影があります。

- オート撮影は、撮影したい枚数と撮影する間隔を設定してシャッターを切ると、設定した間隔で残りの枚数を自動的に撮影する機能です。
- マニュアル撮影は、1枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。
- CIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、メール大（176×144）、メール小（128×96）の画像サイズで撮影できます。
- 連続撮影した静止画は、自作アニメに登録してアニメーションにすることもできます。
- あらかじめ保存先を設定して連続写真を撮影後、自動的に保存できます。
- 連続撮影中にFOMA端末を折り畳んだりゆっくり開閉すると、撮影が終了します。

静止画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167

1 2「カメラモード切替」▶5「連写モード」▶1「オート」または2「マニュアル」

「連続撮影画面」が表示されます。

連続撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶◉または▼［📷］を押す

「連続撮影確認画面」が表示され、画面に4枚の静止画の一覧が表示されます。

■ 連続撮影を中止する場合

FOMA端末を折り畳む
撮影が終了して連続撮影確認画面が表示されます。

連続撮影確認画面

■ 保存する静止画を複数選択する場合

✜で静止画を選択し、◉を押す
選択した静止画には☑がつきます。
操作を繰り返して静止画を選択します。
選択を解除するときは、解除したい静止画を選択し、◉を押します。

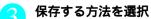
■ 詳細表示して確認する場合

✜で静止画を選択し、◉［詳細］を押す
◀▶で確認する静止画を切り替えることができます。
一覧表示に戻るときはCLRを押します。

■ 詳細表示した静止画を保存する場合

◉▶「YES」を選択し、◉▶1「本体」または2「miniSD」▶「本体」を選択した場合はフォルダを選択し、◉を押す

詳細表示確認画面

3 保存する方法を選択

「連続撮影確認画面の機能メニューを使う」→P.172

次ページにつづく

おしらせ

- 画面に「処理中」のメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
- 画像サイズをCIF(352×288)に設定した場合、撮影枚数は自動的に4枚となり、撮影枚数を設定することはできません。
- 連続撮影中に以下のようなことがあると、撮影が終了して連続撮影確認画面が表示されます。
  - ・FOMA端末を折り畳んだり、ゆっくり開閉したとき
  - ・CLRを押したとき（マニュアル撮影時）
  - ・音声電話などがかかってきたとき（着信画面が表示されます）
  - ・MULTIを押したとき（タスクメニューが表示されます）
  - ・menuを押したとき（メインメニューまたはオリジナルメニューが表示されます）
- miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画を保存できない場合があります。
- ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックが抜かれたときなど、ファイルが正しく保存されない場合があります。
- 電源を切ったり、miniSDチェックディスク、miniSDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最も新しいフォルダに設定されます。また、miniSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで作成、編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、「保存先フォルダ選択」（P.411）で設定し直してください。
- マニュアル撮影時には着信ランプが赤色に点滅します。オート撮影中は赤色で点灯します。miniSDメモリーカード保存時には緑色で点滅します。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

連続撮影画面で ➡ P.171

● ［機能］ ▶ ◎ ▶ 7 「撮影間隔／枚数」 ▶ 以下の項目から選択

フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、メール大（176×144）、メール小（128×96）のお買い上げのときの設定は、「撮影間隔：0.5秒、撮影枚数：5枚」です。

項目	設定	
1 撮影間隔	▶ 以下の項目から選択 撮影する間隔を設定します。 マニュアル撮影のときは設定できません。	
	1 0.5秒	約0.5秒の間隔で撮影します。
	2 1.0秒	約1秒の間隔で撮影します。
	3 2.0秒	約2秒の間隔で撮影します。
2 撮影枚数	▶ 撮影する枚数（2桁）を入力 「05～20」（5枚～20枚）の2桁の数字を入力します。 撮影枚数は画像サイズによって変わります。 2桁の数字を入力したら、自動的に撮影枚数が設定されます。表示されている枚数をそのまま設定するときは●を押します。	

2 設定が終わったらCLRを押す

おしらせ

- 画像サイズをCIF（352×288）からCIF以外に変更すると、撮影枚数は5枚に変更されます。
  撮影枚数を5枚以上に設定しているときに画像サイズをCIF(352×288)に設定すると、撮影枚数は4枚に変更されます。
  撮影枚数を11枚以上に設定しているときに画像サイズをフルスクリーン（240×345）または待受（240×320）に設定すると、撮影枚数は10枚に変更されます。

連続撮影確認画面の機能メニューを使う

連続撮影確認画面で ➡ P.171

● ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

連続撮影確認画面の機能メニュー 1/2

項目		
1 選択保存	▶以下の項目から選択 選択した静止画を保存します。	
	1 保存（お買い上げ時） 2 鏡像保存	▶「YES」を選択し、◉▶ 1 「本体」または 2 「miniSD」▶「本体」を選択した場合はフォルダを選択し、◉を押す
2 全保存	▶以下の項目から選択 撮影したすべての静止画を保存します。	
	1 保存（お買い上げ時） 2 鏡像保存	▶「YES」を選択し、◉▶ 1 「本体」または 2 「miniSD」▶「本体」を選択した場合はフォルダを選択し、◉を押す
3 全保存＆自作アニメ	▶以下の項目から選択 撮影したすべての静止画を保存し、自作アニメにも登録します。	
	1 保存（お買い上げ時） 2 鏡像保存	▶「YES」を選択し、◉▶ 1 「本体」▶フォルダを選択し、◉▶自作アニメの番号を選択し、◉を押す
4 1件選択	選択している静止画を選択します。	
5 全選択	▶「YES」を選択し、◉を押す すべての静止画を選択します。	
6 1件解除	選択している静止画の選択を解除します。	
7 全解除	▶「YES」を選択し、◉を押す すべての選択を解除します。	

連続撮影確認画面の機能メニュー 2/2

項目		
1 鏡像表示※1	確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。	
2 選択ファイル制限	▶以下の項目から選択 選択している静止画のファイル制限を設定します。	
	1 なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
3 全ファイル制限	▶以下の項目から選択 撮影したすべての静止画のファイル制限を設定します。	
	1 なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
4 取り消し	▶「YES」を選択し、◉を押す 撮影した静止画をすべて削除して撮影し直します。	

※1：鏡像表示のときは「1 正像表示」になります。
内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

おしらせ

<全保存＆自作アニメ>
- 1枚だけ撮影した場合や撮影した静止画をすでに1枚以上保存している場合には、「全保存＆自作アニメ」は選択できません。
- miniSDメモリーカードには保存できません。

<選択ファイル制限><全ファイル制限>
- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

詳細表示確認画面の機能メニューを使う

詳細表示確認画面で ➡ P.171

◉［機能］▶以下の項目から選択

次ページにつづく

詳細表示確認画面の機能メニュー

メニュー		説明
1 保存		表示している静止画を保存します。
2 鏡像保存		撮影した静止画を、左右を反転させて保存します。
3 iモードメール作成		「撮影した静止画を添付したiモードメールを作成する」→P.175
4 鏡像表示※1		確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。
5 表示サイズ設定	▶以下の項目から選択 待受（240×320）より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがメール大（176×144）、メール小（128×96）以外のときは設定できません。	
	1 等倍表示（お買い上げ時）	実際の画像サイズで画面に表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
6 ファイル制限	▶以下の項目から選択 ファイル制限を設定します。	
	1 なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。

※1：鏡像表示のときは「4正像表示」になります。
内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

おしらせ

<iモードメール作成>
● 詳細表示確認画面で◎［MAIL］を押しても撮影した静止画を添付したiモードメールを作成することができます。

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

画像サイズがCIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、メール大（176×144）、メール小（128×96）のときに、フレームを重ねて撮影することができます。

● 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。
● フレームは、サイトからダウンロードすることができます。→P.205
● 以下の4種類のフレームが内蔵されています。

ミッキーと
ミニーのデート

スマート

シャボン

カントリー

静止画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167

1 ◎▶2「フレーム選択」▶フレームを選択し、◉を押す

■ フレーム撮影を解除する場合
「OFF」を選択し、◉を押す

2 カメラを被写体に向ける▶◉または▼［📷］を押す

3 「静止画を撮影する」（P.166）と同様の操作で撮影した静止画を確認して保存する

撮影した静止画を登録する前にフレームを変更することができます。→P.175

おしらせ

- フレーム選択画面で◉［デモ］を押すと、選択しているフレームを確認することができます。
- 画面に「処理中」のメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
- 内側カメラでフレーム撮影した静止画は鏡像表示になっています。保存するときは自動的に正像で保存されます。このとき、正像に変換するときにフレームの左右も反転されます。
- 撮影する画像サイズと異なるサイズのフレームは選択できません。
- カメラ機能を終了するとフレームは解除されます。

● フレームを変更する

フレーム撮影した静止画を保存する前にフレームを変更できます。

静止画確認画面の機能メニュー画面で ➡ P.169

1 6「フレーム取替え」▶ フレームを選択し、◉を押す

フレームを解除することはできません。

2 フレームが変更された画像を確認し、◉を押す

静止画確認画面に戻ります。

■ 選択したフレームを取り消す場合

◉［取消］を押す

おしらせ

- 変更したフレームの確認画面で◉［機能］を押し、「確定」または「取消」を選択して◉を押してもフレームの確定、取り消しを行うことができます。

● 撮影した静止画を添付したiモードメールを作成する

画像サイズがフルスクリーン（240×345）以上の静止画で機能メニューから「iモードメール作成」を選択した場合、そのまま送信するかリサイズして送信するかの選択画面が表示されます。
待受（240×320）以下の画像サイズの場合は、選択画面は表示されずiモードメール作成画面が表示されます。

<例：静止画確認画面から「iモードメール作成」を選択する場合>

静止画確認画面の機能メニュー画面で ➡ P.169

1 3「iモードメール作成」▶ 以下の項目から選択

1 そのまま添付	撮影した静止画をリサイズしないでそのまま添付します。
2 QVGA縮小添付	画像の縦横の比率を保持したまま横320×縦240ドット以下の画像サイズに縮小して添付します。

2 iモードメールを作成する

iモードメールの作成／送信のしかた→P.247

おしらせ

- 大容量画像（10,001バイト～500Kバイトの静止画）を添付する場合、送信する静止画がマイピクチャのカメラフォルダに保存されます。
- 10,000バイトを超える静止画は大容量画像になります。大容量画像をFOMA端末に送信した場合、iショットセンターでiモード端末で受信するのに適したサイズに変換されます。
- 保存メールが20件あるときはiモードメールを作成できません。

〈動画撮影〉

動画を撮影する

内蔵カメラを使って音声付きの動画を撮影できます。

- 動画撮影中に折り畳んだり、ゆっくり開閉すると撮影が終了します。
- 動画容量設定を「長時間」に設定して撮影した動画は、miniSDメモリーカードへ直接保存されます。
- 撮影時間は被写体などの撮影条件によって異なります。

1 [●]で「[カメラ]」を選択し、[●]▶[1]「ムービーモード」

「動画撮影画面」が表示されます。
撮影時の設定を変えるとき→P.183

動画撮影画面

2 カメラを被写体に向ける▶[●]または[▼]［[カメラ]］を押す

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
残り撮影時間の目安を画面で確認できます。

3 [●]または[▼]［[カメラ]］を押す

撮影が終了して「動画確認画面」が表示されます。
動画容量設定を「長時間」に設定している場合は、「動画確認画面」が表示されません。miniSDメモリーカードに自動的に保存されて撮影が終了します。

動画確認画面

■ 撮影した動画を再生して確認する場合

[●]［機能］▶[1]「再生」

■ 撮影し直す場合

[CLR]▶「YES」を選択し、[●]を押す

4 [●]▶「YES」を選択し、[●]▶タイトルを編集し、[●]を押す

5 [1]「本体」または[2]「miniSD」

■ 保存先に「本体」を選択した場合

保存するフォルダを選択します。

■ 保存先に「miniSD」を選択した場合

「保存先フォルダ選択」（P.411）で設定されているフォルダに保存されます。

カメラ

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

おしらせ

- 動画撮影画面の表示は、以下の操作でも行えます。
  - ・ menu ▶ を選択し、● ▶ 「カメラ」▶ 「ムービーモード」
- miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 以下の場合は自動的に撮影を終了し、動画確認画面が表示されます。
  - ・撮影中に動画容量設定で設定されている容量を超えたとき
  - ・保存可能容量を超えたとき
  - ・撮影中に電話がかかってきたとき（着信画面が表示されます）
  - ・電池切れのとき（電池切れアラーム画面が表示されます）
- 電池残量が少ないとき、撮影した動画を保存できない場合があります。
- ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックが抜かれたときなど、ファイルが正しく保存されない場合があります。
- 電源を切ったり、miniSDチェックディスク、miniSDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最も新しいフォルダに設定されます。また、miniSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで作成、編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、「保存先フォルダ選択」（P.411）で設定し直してください。
- 撮影中は着信ランプが赤色に点滅します。miniSDメモリーカードに保存しているときには緑色で点滅します。
- 通話中は動画撮影はできません。

動画撮影画面の機能メニューを使う

動画撮影画面で ➡ P.176

● ［機能］▶ 以下の項目から選択

動画撮影画面の機能メニュー画面

動画撮影画面の機能メニュー 1/3

項目		説明
1 内側カメラ※1		外側カメラと内側カメラを切り替えます。
2 カメラモード切替		▶ **以下の項目から選択** カメラモードを切り替えます。
	1 ムービーモード	動画を撮影するモードにします。「動画を撮影する」→P.176
	2 チャンスキャプチャ	「大切な場面をのがさず撮影する」→P.181
	3 ピクチャボイス	「静止画に音声を入れる」→P.181
	4 フォトモード	静止画を撮影するモードにします。「静止画を撮影する」→P.166
	5 連写モード	静止画を連続撮影するモードにします。「連続撮影する」→P.171
	6 アクセスリーダー	アクセスリーダーを起動します。「文字を読み取る」→P.189
	7 バーコードリーダー	「バーコードリーダーを利用する」→P.184
3 画像サイズ選択		画像サイズを選択します。 画像サイズについて→P.163
4 動画容量設定		▶ **以下の項目から選択** 撮影するときのファイル容量を設定します。
	1 メール（小）（お買い上げ時）	290Kバイトまで撮影することができます。標準的な動画を撮影してiモードメールに添付したいときに選択します。
	2 メール（大）	490Kバイトまで撮影することができます。容量の大きな動画を撮影してiモードメールに添付したいときに選択します。
	3 動画メモ	800Kバイトまで撮影することができます。
	4 長時間	miniSDメモリーカードに直接保存しながら動画を撮影します。
5 ライト点灯※2		ライトを点灯または消灯します。 内側カメラのときは操作できません。

次ページにつづく

6 画質調整	▶以下の項目から選択 撮影する画質を設定します。	
	1 明るさ調節	▶ を押して明るさを調節し、 を押す 撮影する画像の明るさを「−2〜±0〜+2」の5段階で調節します。 2秒間ボタン操作しないと自動的に設定されます。 カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
	2 ホワイトバランス設定	「ホワイトバランスを設定する」→P.179
	3 色調切替	「撮影する画像の効果を設定する」→P.179
	4 撮影モード選択	「撮影する場面に合った撮影モードに設定する」→P.179
	5 画像チューニング	「撮影画面のちらつきを抑える」→P.180 内側カメラのときは選択できません。
7 レンズ切替(マクロ)※3	レンズを標準またはマクロに切り替えます。 内側カメラのときは操作できません。	

※1：内側カメラのときは「1外側カメラ」になります。お買い上げのときは外側カメラです。
※2：ライト点灯中は「5ライト消灯」になります。
※3：マクロのときは「7レンズ切替（標準)」になります。カメラ起動時は「標準」です。

動画撮影画面の機能メニュー 2/3

1 セルフタイマー設定	「セルフタイマーを使う」→P.183	
2 撮影種別設定	▶以下の項目から選択 動画を撮影する方法を設定します。	
	1 通常(カメラ起動時)	映像と音声両方の動画を撮影します。
	2 映像のみ	映像のみの動画を撮影します。
	3 音声のみ	音声のみの動画を撮影します。
3 自動保存設定	▶以下の項目から選択 撮影した動画を保存する方法を設定します。	
	1 ON	▶ 1「本体」または 2「miniSD」 撮影した動画を自動的に保存するように設定します。 「本体」に設定した場合は、データBOXにあるiモーションのカメラフォルダに保存されます。 「miniSD」に設定した場合は、「保存先フォルダ選択」(P.411)で設定されたフォルダに保存されます。
	2 OFF(お買い上げ時)	自動保存を解除します。
4 ファイル制限	▶以下の項目から選択 ファイル制限を設定します。	
	1 なし(お買い上げ時)	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
5 表示サイズ設定	▶以下の項目から選択 画像の表示方法を設定します。	
	1 等倍表示 (お買い上げ時)	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
6 保存容量確認	▶容量を確認し、CLRを押す FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている動画それぞれの保存データ容量と空きデータ容量を確認します。	
7 動画保存設定	▶以下の項目から選択 撮影するときの画質、撮影時間を設定します。	
	1 標準 (お買い上げ時)	標準の画質、撮影時間で撮影します。
	2 画質優先	よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
	3 時間優先	撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
	4 動き優先	動きのある被写体を撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

動画撮影画面の機能メニュー 3/3

1 **シャッター音選択** （お買い上げ時： 1シャッター音1）	▶ 1「シャッター音1」、2「シャッター音2」または3「シャッター音3」 シャッター音を設定します。

おしらせ

<自動保存設定>
- 動画容量設定を「長時間」に設定しているときは設定できません。

<ファイル制限>
- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。
- 動画容量設定を「長時間」に設定しているときは設定できません。

<シャッター音選択>
- マナーモード設定中は、確認のためのシャッター音は鳴りません。

● ホワイトバランスを設定する

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167、177

1 6「画質調整」▶「ホワイトバランス設定」を選択し、● ▶ 以下の項目から選択

1 **オート**（お買い上げ時）	通常の状況下で自動的に画面全体の色バランスを補正します。画面内の色が偏っている場合、鮮やかさが減ってしまう場合があります。
2 **晴天**	色の補正をしないため、設定の光源下ではオートよりも正しく、鮮やかな発色となります。
3 **曇天**	
4 **電球**	
5 **蛍光灯**	

- 設定内容はテレビ電話にも反映されます。→P.80

● 撮影する画像の効果を設定する

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167、177

1 6「画質調整」▶「色調切替」を選択し、● ▶ 以下の項目から選択

1 **通常**（カメラ起動時）	通常のカラー撮影をするときに選択します。
2 **セピア**	セピア調の画像で撮影するときに選択します。
3 **白黒**	白黒（モノクロ）の画像で撮影するときに選択します。

● 撮影する場面に合った撮影モードに設定する

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167、177

1 6「画質調整」▶「撮影モード選択」を選択し、● ▶ 以下の項目から選択

1 **ポートレート** （カメラ起動時）	人物などを撮影するのに適したモードです。
2 **風景**	風景などを撮影するのに適したモードです。 内側カメラのときは選択できません。
3 **クローズアップ**※1	マクロで近くのものを撮影するときのモードです。 内側カメラのときは選択できません。
4 **ナイトモード**※2	暗い場所にあるものや夜景などを撮影するのに適したモードです。

※1：動画撮影および連写モードでは表示されません。
※2：動画撮影および連写モードでは設定できません。

次ページにつづく

おしらせ

- ●ナイトモードでの撮影時に手ぶれしてしまう場合は、ナイトモード以外に設定してください。
- ●クローズアップはレンズが自動のときには設定できません。静止画撮影画面でレンズをマクロに切り替えると、撮影モードがクローズアップに切り替わります。マクロのときには、クローズアップ以外にナイトモードに設定できます。
- ●以下のような場合は、ポートレートに戻ります。
  - ・クローズアップのときに内側カメラに切り替えた場合
  - ・クローズアップのときにレンズを自動に切り替えた場合
  - ・ナイトモードのときにムービーモードに切り替えた場合
  - ・ナイトモードのときに連写モードに切り替えた場合

●撮影画面のちらつきを抑える

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167、177

1 [6]「画質調整」▶「画像チューニング」を選択し、◉▶以下の項目から選択

1 自動（お買い上げ時）	自動的にちらつきを抑制します。
2 モード1（50Hz地域）	電源周波数50Hz地域で撮影するときに選択します。
3 モード2（60Hz地域）	電源周波数60Hz地域で撮影するときに選択します。

動画確認画面の機能メニューを使う

動画確認画面で ➡ P.176

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

動画撮影画面の機能メニュー

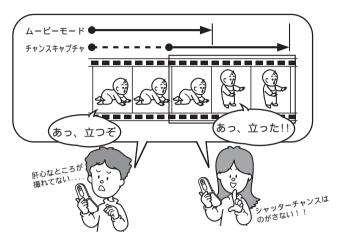
1 再生	撮影した動画を再生します。	
2 保存	撮影した動画を保存します。	
3 iモードメール作成	▶**タイトルを編集し、◉▶iモードメールを作成する** 撮影した動画を添付したiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247 490Kバイトを超える動画は添付できません。	
4 待受画面設定	▶**「YES」を選択し、◉▶タイトルを編集し、◉▶[1]「本体」▶フォルダを選択し、◉を押す** 撮影した動画を待受画面に設定します。	
5 表示サイズ設定	▶**以下の項目から選択** 画像の表示方法を設定します。	
	1 等倍表示（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
6 ファイル制限	▶**以下の項目から選択** ファイル制限を設定します。	
	1 なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
7 取り消し	▶**「YES」を選択し、◉を押す** 撮影した動画を削除して撮影し直します。	

おしらせ

<iモードメール作成>

- ●iモードメールに添付した動画は、「iモーション」のカメラフォルダに保存されます。
- ●動画確認画面で◉［MAIL］を押しても撮影した動画を添付したiモードメールを作成することができます。

大切な場面をのがさず撮影する<チャンスキャプチャ>

内蔵カメラを使って動画を撮影するときに、本機能を利用すると撮影可能時間を過ぎても撮りたい場面まで撮影を続けることができるので、大切な場面をのがさずに動画を撮影したいときに便利です。

●撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分（お買い上げのときは約45秒）までさかのぼって撮影開始位置として保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。
●撮影可能容量を超える前に撮影を終了した場合は、「ムービーモード」と同様に撮影開始時から撮影終了時までが保存されます。

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167、177

1 [2]「カメラモード切替」▶[2]「チャンスキャプチャ」

2 カメラを被写体に向ける▶◉または[▼]［📷］を押す

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が「00：00」の点滅になります。

3 ◉または[▼]［📷］を押す

撮影が終了します。

4 「動画を撮影する」（P.176）と同様の操作で撮影した動画を確認して保存する

静止画に音声を入れる<ピクチャボイス>

メール大（176×144）またはメール小（128×96）の静止画を使い、その静止画に音声をつけた動画を作ることができます。

次ページにつづく

<例：静止画を撮影してピクチャボイスにする場合>

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167、177

1 [2]「カメラモード切替」▶[3]「ピクチャボイス」

2 [1]「フォトモード」を選択し、●▶カメラを被写体に向ける▶●または[▼]［📷］を押す

静止画を撮影します。
静止画の撮影について→P.166
「録音開始画面」が表示されます。
音声録音前に、機能メニューから「動画容量設定」を選択することで、録音後のファイル容量を設定できます。

録音開始画面

■ マイピクチャの静止画で作成する場合
[2]「マイピクチャ」を選択し、●▶フォルダを選択し、●▶静止画を選択し、●を押す

3 ●［録音］または[▼]［📷］を押す

録音が開始されます。
録音できる残り秒数の目安を画面で確認できます。

4 ●または[▼]［📷］を押す

録音が終了します。

5 「動画を撮影する」（P.176）と同様の操作で作成した動画を確認して保存する

録音開始画面の機能メニューを使う

録音開始画面で ➡ P.182

1 ●［機能］▶以下の項目から選択

録音開始画面の機能メニュー

[1] 動画容量設定	▶以下の項目から選択 録音するときのファイル容量を設定します。	
	[1] メール（小） （カメラ起動時）	290Kバイトまで録音することができます。標準的な動画データとしてiモードメールに添付したいときに選択します。
	[2] メール（大）	490Kバイトまで録音することができます。容量の大きな動画データとしてiモードメールに添付したいときに選択します。

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマーを利用したり画質の設定をするなど、カメラ機能の設定をします。

ズームを使う

ズーム（望遠：Tele／広角：Wide）機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節することができます。

- ズームは外側カメラのときに静止画撮影で 1 倍～約 5 倍までを 8 段階に調節できます。ただし、1M（1160×870）の最大ズーム倍率は約2倍、VGA（640×480）では約3.6倍です。内側カメラのときは1倍、約2倍の2段階に調節できます。ただし、CIF（352×288）のときは調節できません。
- 動画撮影中にズームを調節することもできます。
- ズームはデジタルズームです。

静止画撮影画面／動画撮影画面で ➡ P.166、176

を押してズームを調節する

（Tele）：押すたびに1段階ずつ望遠になります。
（Wide）：押すたびに1段階ずつ広角になります。
または を押し続けると連続的に変化します。

おしらせ

- 動画撮影中にズームの操作をすると、ボタン操作音が録音される場合があります。
- カメラ機能を起動したときは「1倍」になっています。また、カメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。
- ズームを調節すると画質が多少変化する場合があります。

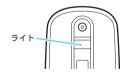
ライトを点灯する

部屋の中などで光量が不足しているときは、FOMA端末のライトを点灯すると被写体をより明るくして撮影することができます。

- ライトを点灯し、約30秒間撮影しないとライトが自動的に消灯します。
- 静止画撮影画面や動画撮影画面の機能メニューを使って、ライトを点灯または消灯することもできます。

静止画撮影画面／動画撮影画面で ➡ P.166、176

［ ］を押す

消灯するときは［ ］を押します。

おしらせ

- 音声のみの動画を撮影するときは、ライトを点灯することができません。

セルフタイマーを使う

セルフタイマーを設定すると、FOMA端末を持たずに撮影することができます。

- 静止画撮影、動画撮影で利用することができます。
- 撮影すると、セルフタイマーは「OFF」に戻りますので、撮影するたびに設定してください。

次ページにつづく

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニュー画面で ➡ P.167、177

1 ▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶セルフタイマーの時間（2桁）を入力

セルフタイマーの時間は、「01」～「15」の2桁の数字を入力します。2桁の数字を入力したら、自動的にセルフタイマーが設定されます。表示されている時間をそのまま設定するときは を押します。
お買い上げのときは「10秒」に設定されています。

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。

 または [] を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。
、、「」が点滅し、イルミネーション・ウィンドウの表示が切り替わります。撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、着信ランプと 、 の点滅が早くなります。
セルフタイマーのカウント中に または [] を押して手動で撮影することもできます。

■ セルフタイマーの設定を解除する場合

静止画撮影画面／動画撮影画面の機能メニューで ▶ 「セルフタイマー設定」▶ 「OFF」

■ タイマーの動作をとめる場合

［中止］または を押す

おしらせ

- 連続撮影をマニュアルに設定したときは、セルフタイマーを利用することはできません。
- 以下の操作をするとセルフタイマーは「OFF」になります。
  - ・セルフタイマー撮影終了時
  - ・連写モードのオート撮影からマニュアル撮影に切り替えたとき
  - ・カメラ機能を終了したとき

〈バーコードリーダー〉

バーコードリーダーを利用する

内蔵カメラを利用しJANコード、QRコードを読み取ることができます。読取データからPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能、iアプリTo機能、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピー・貼り付けを行うことができます。また、画像やメロディのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- 読取データは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。FOMA端末の下に手を添えたり、雑誌の上に置いたりすると、FOMA端末の揺れを少なくすることができます。
- 暗い場所では読み取りにくい場合がありますので、そのようなときはライトを点灯して読み取りを行ってください。
- 待受画面にバーコードリーダーをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。

■ JANコード、QRコードについて

- JANコードとは
  太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）および13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。
  ※左のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

カメラ

● QRコードとは
縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。
※左のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

1 menu ▶ ツール を選択し、● ▶ ○ ▶ 5「バーコードリーダー」

「バーコードリーダー画面」が表示されます。

バーコードリーダー画面

2 1「新規読取」を押す

「バーコードリーダー読み取り画面」が表示されます。

3 バーコードを認識範囲に表示させる

バーコードリーダー
読み取り画面

認識範囲は「、」、」、」の中の範囲です。
ピントが合った状態で、バーコード全体が認識範囲の中に入るようにします。
外側カメラのレンズはバーコードから約9cm以上離して使用します。それ以上近づけると読み取りにくくなりますので、バーコードが小さいときはズームで調節してください。

■ズームを調節する場合

○：拡大されます。
○：標準に戻ります。

■ライトを点灯する場合

○［点灯］または［☼］を押す
消灯するときは○［消灯］または［☼］を押します。

4 ● ▶ 読み取ったデータを確認

読み取りに時間がかかる場合があります。

■ 読み取りを中止する場合

● ▶ ● を押す

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合

● ▶ 操作3～4を繰り返す
最大16枚の分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

■ 読み取ったデータを破棄する場合

CLR ▶「YES」を選択し、●を押す

5 ○［機能］▶ 1「登録」▶「YES」を選択し、● ▶「OK」●を押す

カメラ

次ページにつづく

おしらせ

- JANコード、QRコード以外のバーコードは読み取れません。
- 読み取ったデータに表示できない文字があった場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。
- 横1616×縦1212ドットを超えるJPEG形式の画像や横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるGIF形式の画像は登録できません。
- 横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像は登録できません。プログレッシブJPEG形式の画像→P.221
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。
- i「新規読取」を押したとき、すでに5件すべてが登録されている場合は、上書きして登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択し、◉を押すと最も古いデータに上書きされます。
- 分割された複数のQRコードのデータを読み取っている途中で音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったり、めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知が実行されたりしたときは、それらの画面が表示されます。それらの機能を終了すると、読み取りを継続するかどうかの確認メッセージが表示されます。継続するときは「YES」を選択して◉を押します。「NO」を選択して◉を押すと、読み取ったデータを破棄して「バーコードリーダー画面」に戻ります。
- 文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
- 「PIMロック」設定中は、バーコードリーダーを起動できません。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れない場合があります。
- 読み取ったデータをminiSDメモリーカードに登録することはできません。

バーコードリーダー画面の機能メニューを使う

バーコードリーダー画面で ➡ P.185

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

バーコードリーダー画面の機能メニュー

1 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

読取データを利用する

1 m▶ツールを選択し、◉▶◉▶5「バーコードリーダー」▶2「読取データ一覧」

「読取データ一覧画面」が表示されます。

読取データ一覧画面

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

2 読取データを選択し、◉を押す

「読取データ詳細画面」が表示されます。

読取データ詳細画面

■「電話帳登録」の項目がある読取データの場合

「電話帳登録」を選択し、◉を押すと読取データに入力されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモを一括して電話帳に登録できます。→P.93

■「メール作成」の項目がある読取データの場合

「メール作成」を選択し、◉を押すと読取データに入力されている宛先、題名、本文が入力されたiモードメールが作成できます。→P.247

■「Bookmark登録」の項目がある読取データの場合

「Bookmark登録」を選択し、◉を押すと読取データに入力されているURLとタイトル名をBookmarkに登録できます。→P.215

■「iアプリ起動」の項目がある読取データの場合

「iアプリ起動」を選択し、◉を押すとiアプリTo機能を利用して読取データで指定されているiアプリが起動できます。→P.331

■メロディのアイコンがある場合

メロディのアイコンを選択し、◉を押すとメロディが再生できます。→P.389

■その他の場合

電話番号を選択し、◉を押すとPhone To／AV Phone To機能を利用して電話やテレビ電話をかけることができます。→P.224
メールアドレスを選択し、◉を押すとMail To機能を利用してiモードメールが作成できます。→P.225
URLを選択し、◉を押すとそのURLのサイトに接続できます。→P.225

おしらせ

- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
  日付・時刻が設定されている場合
  ・タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_4桁の数字）
  同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が「9999」まで登録した順に増えます。
  日付・時刻が設定されていない場合
  ・タイトル：00000000_0000_xxxx（xxxx：4桁の数字）
  4桁の数字が「9999」まで順に増えていき、「9999」まで登録すると「0000」に戻ります。
- メロディの再生音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中はメロディを再生できません。

読取データ一覧画面の機能メニューを使う

読取データ一覧画面で ➡ P.186

1 読取データを選択し、◉［機能］▶以下の項目から選択

読取データ一覧画面の機能メニュー

1 タイトル編集	▶タイトルを編集し、◉を押す 選択している読取データのタイトルを編集します。 全角で9文字まで、半角で18文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 結果表示	読取データ詳細画面を表示します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
4 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

読取データ詳細画面の機能メニューを使う

読取データ詳細画面で ➡ P.187

◉［機能］▶以下の項目から選択

読取データ詳細画面の機能メニュー 1/2

1 登録	読み取ったデータを登録します。
2 一覧表示	読取データ一覧画面を表示します。 表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。
3 Internet	URLを選択している場合、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.225
4 iモードメール作成	「メール作成」を選択している場合、読取データに入力されている宛先、題名、本文が一括入力されたiモードメールを作成します。 メールアドレスを選択している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
5 電話発信	電話番号を選択している場合、その電話番号に電話をかけます。「Phone To機能」→P.224
6 電話帳登録	「電話帳登録」を選択している場合、読取データに入力されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモを電話帳に一括登録します。 電話番号を選択している場合、その電話番号を電話帳に登録します。 メールアドレスを選択している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93　「FOMAカード電話帳に登録する」→P.95
7 Bookmark登録	「Bookmark登録」を選択している場合、読取データに入力されているURLとタイトル名をBookmarkに登録します。 URLを選択している場合、そのURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」→P.215

読取データ詳細画面の機能メニュー 2/2

1 画像保存	**▶フォルダを選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す** 選択している画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。 画面表示に設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択して◉を押します。
2 メロディ保存	**▶「YES」を選択し、◉▶フォルダを選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す** 選択しているメロディをデータBOXのメロディに保存します。 着信音などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択して◉を押します。
3 iアプリ起動	読取データで指定されているiアプリを起動します。「バーコードリーダーからiアプリを起動する」→P.332
4 コピー	読取データに入力されている文字をコピーします。「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540

おしらせ

<Internet><Bookmark登録>
- URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

<iモードメール作成>
- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には入力できません。

<電話発信>
- 電話をかけることができる文字は、数字と記号（#、*、+、P、p）です（P、pはポーズ）。「-」、「(」、「)」、「,」、「.」が含まれていた場合は、数字と記号のみを電話番号として発信します。これら以外の文字が含まれている場合、電話をかけることはできません。
- 本機能で設定したテレビ電話画像は、この発信時のみ有効です。
- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話をかけることはできません。

<画像保存>
- 保存された画像のタイトル、ファイル名は以下のようになります。
  - ・タイトル：imagexxx（xxx：３桁の数字）
  - ・ファイル名：imagexxx（xxx：３桁の数字）

<メロディ保存>
- 保存されたメロディのファイル名は以下のようになります。
  - ・ファイル名：melodyxxx（xxx：３桁の数字）
- タイトルがないメロディは、メロディ一覧でファイル名が表示されます。

<iアプリ起動>
- 「iアプリTo設定」の「バーコードからiアプリTo」のチェックが外れていると、読み取ったデータからiアプリを起動することはできません。
- 指定されているソフトがない場合、iアプリは起動できません。

〈アクセスリーダー〉
文字を読み取る

内蔵カメラを利用して、印刷されている文字を読み取り、電話帳登録、メール作成、Bookmark登録などができます。また、電話をかけたり、インターネットホームページを表示したりすることもできます。
- 読取データは８件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。FOMA端末の下に手を添えたり、雑誌の上に置いたりすると、FOMA端末の揺れを少なくすることができます。
- 暗い場所では読み取りにくい場合がありますので、そのようなときはライトを点灯して読み取りを行ってください。
- 縦書きの日本語文字列を読み取ることもできます。

■ 読み取りモードについて
読み取りモードには以下のものがあります。読み取りたい情報に合った読み取りモードを選択します。

名刺読み取り	名刺などに印刷されている名前、電話番号、メールアドレス、メモを読み取り、読み取ったデータを電話帳に一括登録することができます。
メール作成	宛先、題名、本文を読み取り、それぞれが入力されたiモードメールを作成することができます。
URL	URLを読み取り、そのURLのサイトに接続したり、Bookmarkに登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを読み取り、そのメールアドレスを利用してiモードメールを作成することができます。
電話番号	電話番号を読み取り、その電話番号に電話をかけることができます。
フリーメモ	日本語や英語などの文字列を読み取り、テキストメモに登録することができます。

■ 読み取り可能な文字数について
読み取りできる文字数は読み取る項目によって以下のように変わります。

読み取る項目		最大読み取り文字数
名刺読み取り	名前	全角で16文字、半角で32文字まで
	電話番号	半角の数字で26桁まで 文字編集で#、*、+、p（ポーズ）を入力することができます。
	メールアドレス	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	メモ	全角で100文字、半角で200文字まで

次ページにつづく

読み取る項目		最大読み取り文字数
メール作成	宛先	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	題名	全角で15文字、半角で30文字まで
	本文	全角で128文字、半角で256文字まで
URL		半角の英字、数字、記号で256文字まで
メールアドレス		半角の英字、数字、記号で256文字まで
電話番号		半角の数字で256文字まで
フリーメモ		全角で128文字、半角で256文字まで
辞典	日本語	全角で32文字、半角で64文字まで
	英語	半角で64文字まで

■ 読み取り画面の見かた

名刺読み取りモードの画面を例に読み取り画面の見かたについて説明します。

ガイダンス　：そのとき行う操作などを表示します。
認識範囲　：認識する範囲を示します。
項目アイコン　：読み取る項目を示します。
名刺読み取りモード：「名前／電話番号／メールアドレス／メモ」
メール作成モード　：「宛先／題名／本文」
認識した文字の表示欄：読み取った文字を表示します。
認識モード　：文字を読み取るときの認識モード「漢字（横書／縦書）／電話番号／メールアドレス／URL」を表示します。
残り文字数　：読み取り可能な残りの文字数を半角文字数で表示します。
反転モード　：反転モード設定が反転固定に設定されているときに表示します。

文字を読み取る

<例：名刺読み取りモードで読み取る場合>

1 menu ▶ [ツール] を選択し、● ▶ ○ ▶ 4 「アクセスリーダー」

「アクセスリーダー画面」が表示されます。

アクセスリーダー画面

2 1 「新規読取」を押す

読み取りモード選択画面が表示されます。

「読み取りモードについて」→P.189

カメラ

3 「名刺読み取り」を押す

「アクセスリーダー読み取り画面」が表示されます。

アクセスリーダー読み取り画面

4 文字列を認識範囲に表示させる

ピントが合った状態で、読み取りたい文字が認識範囲の中に入るようにします。
読み取りたい文字列が一度に認識範囲に入らない場合、数回に分けて読み取ってください。
外側カメラのレンズは読み取りたい文字から約9cm以上離して使用します。それ以上近づけると読み取りにくくなりますのでご注意ください。

■ ズームを利用する場合

：「標準」→「縮小」に切り替わります。
：「縮小」→「標準」に戻ります。

■ ライトを点灯する場合

［点灯］または［ ］を押す
消灯するときは［消灯］または［ ］を押します。

5 を押す

文字が読み取られ、認識した文字が赤い色で表示されます。
読み取った文字列が表示欄を超えた場合はまたは［ホーム］、［メモ／確認］を押して確認できます。
読み取った文字を修正するには以下の2つの方法があります。

■ 文字を選択して修正する場合

を押して修正したい文字にカーソルを合わせる ▶ 変更候補文字の番号を押す
大文字／小文字の切り替えが可能な文字のときは、を押して大文字／小文字を切り替えることができます。

アクセスリーダー読み取り結果画面

■ 文字編集で修正する場合

［機能］▶「編集」▶ 文字を編集し、を押す
読み取った文字を通常の文字編集で修正することができます。
変更候補の選択に戻るときは、［機能］を押し、「認識候補選択」を押します。
文字の修正が終わったら、操作6に進みます。

次ページにつづく

6 ◉を押す

文字として確定します。

■ 残りの文字列を続けて読み取る場合

操作4～6を繰り返す
このとき、すでに読み取った文字列の最後の2文字以上が認識範囲に入るようにします。

■ ほかの項目を読み取る場合

◎を押して読み取る項目を選択▶操作4～6を繰り返す
名刺読み取りモードのとき、電話番号は4件まで、メールアドレスは3件まで読み取りできます。

7 ●［機能］▶2「登録」

読取データの詳細画面になり、CLRを押すと読取データの一覧画面に戻ります。

おしらせ

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字（大文字・小文字）、数字、記号を読み取ることができます。ただし、JIS第二水準漢字で一部読み取れないものがあります。
- 手書きの文字は認識できません。また、FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく認識できない場合があります。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。
- 「新規読取」を押したとき、すでに8件すべてが登録されている場合は、上書きして登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して◉を押すと登録されている読取データを選択して上書きすることができます。
- 文字編集画面からアクセスリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
- 辞典からアクセスリーダーを起動したときは、「辞典（日本語）／辞典（英語）」の読み取りモードを選択します。
- 文字の読み取り前に約3分以上ボタン操作をしなかった場合、アクセスリーダー画面が表示されます。
- 読み取ったデータを登録する前に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったり、めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知が実行されたり、ほかの機能の操作を行ったときは読み取ったデータがいったん保存されて、それらの画面に切り替わります。その後、操作を終了させると読取データ詳細画面に戻ります。

アクセスリーダー画面の機能メニューを使う

アクセスリーダー画面で ➡ P.190

●［機能］▶以下の項目から選択

アクセスリーダー画面の機能メニュー

1 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

アクセスリーダー読み取り画面／読み取り結果画面の機能メニューを使う

アクセスリーダー読み取り画面／読み取り結果画面で ➡ P.191

●［機能］▶以下の項目から選択

アクセスリーダー読み取り画面／読み取り結果画面の機能メニュー 1/2

1 編集	読み取った文字を編集します。「文字を入力する」→P.522
2 登録	読み取ったデータを登録します。
3 Internet	URLモードの読取データのとき、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.225

項目		説明
④ iモードメール作成		読み取ったモードによって以下のようになります。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
	メール作成モードの読取データ	それぞれのデータが一括入力されたiモードメールを作成します。
	メールアドレスモードの読取データ	そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。
	フリーメモモードの読取データ	そのデータが本文に入力されたiモードメールを作成します。
⑤ 電話発信		電話番号モードの読取データのとき、その電話番号に電話をかけます。
⑥ 電話帳登録		読み取ったモードによって以下のようになります。「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.95
	名刺読み取りモードの読取データ	それぞれのデータを電話帳に一括登録します。
	メールアドレスモードの読取データ	そのメールアドレスを電話帳に登録します。
	電話番号モードの読取データ	その電話番号を電話帳に登録します。
	フリーメモモードの読取データ	そのデータを電話帳のメモに登録します。
⑦ Bookmark登録		URLモードの読取データのとき、そのURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」→P.215

アクセスリーダー読み取り画面／読み取り結果画面の機能メニュー 2/2

項目		説明
① 電話帳検索		読み取ったデータを使って電話帳を検索します。「電話帳から電話をかける」→P.98 名刺読み取りモード、メール作成モードのときは選択できません。
② テキストメモ登録		読み取ったモードによって以下のようになります。「テキストメモを作成する」→P.451
	URL モードの読取データ	そのURLをテキストメモに登録します。
	メールアドレスモードの読取データ	そのメールアドレスをテキストメモに登録します。
	電話番号モードの読取データ	その電話番号をテキストメモに登録します。
	フリーメモモードの読取データ	そのデータをテキストメモに登録します。
③ 読み取りモード設定※1		▶ **以下の項目から選択** 読み取りモードを切り替えます。
	① 名刺読み取り	名刺読み取りモードに切り替えます。
	② メール作成	メール作成モードに切り替えます。
	③ URL	URLモードに切り替えます。
	④ メールアドレス	メールアドレスモードに切り替えます。
	⑤ 電話番号	電話番号モードに切り替えます。
	⑥ フリーメモ	フリーメモモードに切り替えます。
④ 反転モード設定		▶ **以下の項目から選択** 印刷物の状態を設定します。
	① 自動設定	反転／無反転を自動的に判断します。
	② 無反転固定	薄い色地に濃い色の文字が印刷されているときに選択します。
	③ 反転固定	濃い色地に薄い色の文字が印刷されているときに選択します。
⑤ ガイダンスOFF※2		ガイダンスを表示するかしないかを設定します。
⑥ 縦書き※3		読み取りたい日本語文字列の横書き／縦書きを設定します。

※1：辞典からアクセスリーダーを起動したときは、選択できる項目が「①辞典（日本語）」「②辞典（英語）」になります。
※2：ガイダンスを非表示にしているときは「⑤ガイダンスON」になります。
※3：「縦書き」に設定しているときは「⑥横書き」になります。

次ページにつづく

おしらせ

- URLモードで読み取った場合、読み取った文字列に「http://」、「https://」を付加する条件は以下のようになります。
  - 読み取った文字列に「://」がない場合は、「http://」を文字列の先頭に付加します。ただし、文字列の先頭が「/」または「//」の場合は、「/」または「//」を「http://」に置き換えます。
  - 読み取った文字列に「://」がある場合は、「://」より前を「http://」に置き換えます。ただし、「://」より前が「s://」や「S://」の場合は、文字列の「://」より前を「https://」に置き換えます。

文字情報を利用する

1 menu ▶ (ツール)を選択し、◉ ▶ ◎ ▶ 4「アクセスリーダー」▶ 2「読取データ一覧」を押す

「読取データ一覧画面」が表示されます。

読取データ一覧画面

2 読取データを選択し、◉を押す

「読取データ詳細画面」が表示されます。

読取データ詳細画面

3 表示されている項目を選択し、◉を押す

「電話帳登録」：名前、電話番号、メールアドレス、メモを電話帳に一括登録→P.93、95
「メール作成」：宛先、題名、本文が一括入力されたiモードメールを作成→P.247
電話番号やメールアドレスなどの項目を選択して◉を押すと、それぞれのデータが編集できます。

おしらせ

- 読取データ詳細画面で項目を選択し、◉を押して読取データを編集することができます。

読取データ一覧画面の機能メニューを使う

読取データ一覧画面で ➡ P.194

1 読取データを選択し、◉［機能］▶ 以下の項目から選択

読取データ一覧画面の機能メニュー 1/2

<table>
<tr><td>1 編集</td><td colspan="2">一覧画面のときは編集できません。</td></tr>
<tr><td>2 Internet</td><td colspan="2">URLモードの読取データのとき、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.225</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3 iモードメール作成</td><td colspan="2">読み取ったモードによって以下のようになります。「iモードメールを作成して送信する」→P.247</td></tr>
<tr><td>メール作成モードの読取データ</td><td>それぞれのデータが一括入力されたiモードメールを作成します。</td></tr>
<tr><td>メールアドレスモードの読取データ</td><td>そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。</td></tr>
<tr><td>フリーメモモードの読取データ</td><td>そのデータが本文に入力されたiモードメールを作成します。</td></tr>
<tr><td>4 電話発信</td><td colspan="2">電話番号モードの読取データのとき、その電話番号に電話をかけます。</td></tr>
</table>

カメラ

5 電話帳登録	読み取ったモードによって以下のようになります。「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.95	
	名刺読み取りモードの読取データ	それぞれのデータを電話帳に一括登録します。
	メールアドレスモードの読取データ	そのメールアドレスを電話帳に登録します。
	電話番号モードの読取データ	その電話番号を電話帳に登録します。
	フリーメモモードの読取データ	そのデータを電話帳のメモに登録します。
6 Bookmark登録	URLモードの読取データのとき、そのURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」→P.215	
7 電話帳検索	選択している読取データを使って電話帳を検索します。「電話帳から電話をかける」→P.98 名刺読み取りモード、メール作成モードの読取データのときは、表示されている内容で検索します。	

読取データ一覧画面の機能メニュー 2/2

1 テキストメモ登録	選択している読取データをテキストメモに登録します。「テキストメモを作成する」→ P.451 名刺読み取りモード、メール作成モードの読取データは登録できません。
2 詳細表示	読取データ詳細画面を表示します。
3 コピー	読取データに入力されている文字をコピーします。「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540
4 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
5 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

読取データ詳細画面の機能メニューを使う

読取データ詳細画面で ➡ P.194

◉［機能］▶以下の項目から選択

読取データ詳細画面の機能メニュー 1/2

1 編集	選択している項目の文字を編集します。「文字を入力する」→P.522 「電話帳登録」および「メール作成」を選択しているときは編集できません。	
2 Internet	URLモードの読取データのとき、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.225	
3 iモードメール作成	読み取ったモード、選択している項目によって以下のようになります。「iモードメールを作成して送信する」→P.247	
	名刺読み取りモードの読取データ	メールアドレスを選択している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。
	メール作成モードの読取データ	「メール作成」を選択している場合、それぞれのデータが一括入力されたiモードメールを作成します。 宛先、題名または本文を選択している場合、それぞれのデータが入力されたiモードメールを作成します。
	メールアドレスモードの読取データ	そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。
	フリーメモモードの読取データ	そのデータが本文に入力されたiモードメールを作成します。
4 電話発信	読み取ったモード、選択している項目によって以下のようになります。	
	名刺読み取りモードの読取データ	電話番号を選択している場合、その電話番号に電話をかけます。
	電話番号モードの読取データ	その電話番号に電話をかけます。

次ページにつづく

⑤ **電話帳登録**	読み取ったモード、選択している項目によって以下のようになります。「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93	
	名刺読み取りモードの読取データ	「電話帳登録」を選択している場合、それぞれのデータを電話帳に一括登録します。 名前、電話番号、メールアドレスまたはメモを選択している場合、それぞれのデータを電話帳に登録します。
	メール作成モードの読取データ	メールアドレスを選択しているとき、そのメールアドレスを電話帳に登録します。
	メールアドレスモードの読取データ	そのメールアドレスを電話帳に登録します。
	電話番号モードの読取データ	その電話番号を電話帳に登録します。
	フリーメモモードの読取データ	そのデータを電話帳のメモに登録します。
⑥ **Bookmark登録**	URLモードの読取データのとき、そのURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」→P.215	
⑦ **電話帳検索**	選択しているデータを使って電話帳を検索します。「電話帳から電話をかける」→P.98 「電話帳登録」、「メール作成」を選択しているときは検索できません。	

読取データ詳細画面の機能メニュー 2/2

① **テキストメモ登録**	選択している読取データをテキストメモに登録します。「テキストメモを作成する」→P.451 「電話帳登録」、「メール作成」を選択しているときは登録できません。
② **一覧表示**	読取データ一覧画面を表示します。
③ **コピー**	選択しているデータをコピーします。「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540
④ **1件削除**	▶**「YES」を選択し、◉を押す**
⑤ **全削除**	▶**端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す** 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

＜電話発信＞

- 電話をかけることができる文字は、半角の数字と記号（#、*、+）です。これら以外の文字が含まれている場合、数字と記号のみを電話番号として発信します。
- 本機能で設定したテレビ電話画像は、この発信時のみ有効です。
- 「110」、「119」、「118」を読み取って緊急通報することはできません。
- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」、セルフモード設定中は、電話をかけることはできません。

●iモード

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

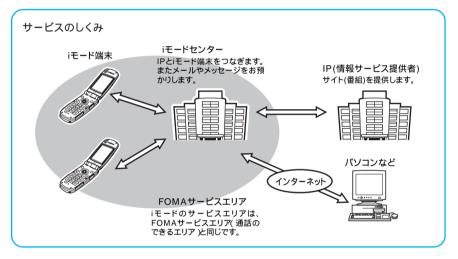
■サイト（番組）接続

iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5,000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

おしらせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによっては、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれない場合もございますので、その場合は再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内の「お知らせ&ヘルプ」で確認できます。
- iモードは、送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば、銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど、さまざまなオンラインサービスがあります。

●サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。
サイトの表示方法は→P.205

画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

項　目	説　明
1マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます（P.212）。iMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど、最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選択して接続できます。
4とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）
5iエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
6かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。 ・ iアプリサーチ iアプリを情報料が無料のものやゲームができるものなど、目的別に紹介しているメニューです。 ・ 便利サイトサーチ メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に紹介しているメニューです。
7マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8オプション設定	iモードメールの設定やiモードパスワードの変更などを行います。
9お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、iモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
■料金&お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	iMenuを英語表記に変更できます。

おしらせ

- ●送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IPがお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IPの提供するコンテンツがお客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- ●送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIPに送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIPなどに通知されることはありません。
- ●サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。
- ●IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ●iモードアイコンが点滅していても、iモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- ●「デュアルネットワークサービス」をご契約の場合、iMenu画面などが一部異なります。

●こんなこともできます

■iモーション

iモードのサイトから映像や音をiモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しむことができます。→P.338
- ・iモーションを取り込むには→P.338
- ・iモーションを再生するには→P.338
- ・iモーションを自動再生設定するには→P.340

iモーションを取り込むには、iモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の2種類があります。

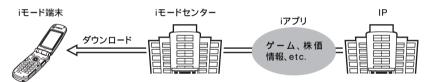
■ **着モーション**

iモードのサイトからiモーションをiモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません）。

・着モーションを設定するには→P.112

■ **iアプリ**

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックすることなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

・iアプリをダウンロードするには→P.321
・iアプリを起動するには→P.324
・iアプリを自動起動するには→P.330

■ **iアプリ待受画面**

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

・iアプリ待受画面を設定するには→P.123、333

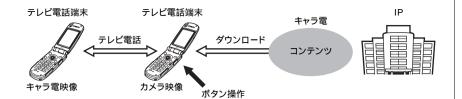
■ **iアプリDX**

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

・iアプリDXとは→P.320

■ **キャラ電**

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画面に設定したり、メールに添付して送ることもできます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。

・キャラ電をダウンロードするには→P.222
・キャラ電を表示するには→P.383
・キャラ電を設定するには→P.385、386
・キャラ電を操作するには→P.384
・キャラ電を撮影するには→P.387

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます。※

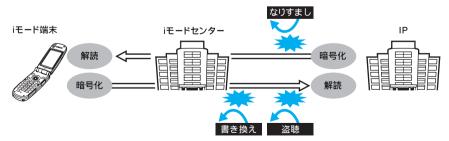
また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

・赤外線通信機能を利用するには→P.412

■ SSL通信

SSLとはSecure Sockets Layerの略で、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすまし※や書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。SSL通信には、iモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書（以降「SSL証明書」）を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。→P.208、235

・iモード端末に保存されているSSL証明書を利用してページを表示するには→P.208
・FirstPassのユーザ証明書を利用するには→P.235

※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

iモード

次ページにつづく

■ FOMAカード動作制限機能

お客様の情報（電話番号、電話帳（一部）など）を保存しているFOMAカードを、iモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたりメールから取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源を入れた場合、取得したファイルの再生や表示をできなくする機能です。

[動作制限対象となるファイル]

・静止画ファイル
・動画ファイル
・メロディファイル
・キャラ電
・iアプリ
・ファイル（Flash画像を含む）を含む画面メモ
・ファイルが添付されているメッセージリクエスト、メッセージフリー
・iモードメールに添付または貼り付けられているファイル
・デコメールの本文に挿入されている画像
・ダウンロード辞書

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからiモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画面など、iモード端末に設定していた場合、本機能によりそれぞれの動作はお買い上げのときの設定になります。

■ iメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をiモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P.221

■ iアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をiモード端末に取り込み、待受画面や着信画面に表示できます。→P.221

■ Flash™

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をiモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。→P.221

Flash画像によっては、お客様のiモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。

・電池残量
・受信レベル
・時刻情報
・着信音量設定
・バイリンガル設定
・機種情報

■ ダウンロード辞書

サイトから方言や専門用語などの辞書をiモード端末にダウンロードして、変換用辞書として設定できます。→P.223

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のiモード端末に届くサービスです。

メッセージサービスには、メッセージリクエスト（メッセージR）とメッセージフリー（メッセージF）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

・メッセージサービスの受信方法は→P.229、231

メッセージフリーの設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にiモードをお申し込みの場合は、メッセージフリー設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージフリー設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。

※上記の場合以外のお客様がメッセージフリーをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。

電源が入っていない場合や「圏外」が表示されている場合などで受信できないときは、メッセージリクエスト、メッセージフリーはiモードセンターに保管されます。

・iモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は以下のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージリクエスト	300件	72時間
メッセージフリー	300件	72時間

・iモードセンターに保管されたメッセージリクエスト、メッセージフリーは、iモード問い合わせにより受信できます。→P.231

■ トクだねニュース便

メッセージリクエスト機能を利用し、ニュースや天気などの情報をiモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニューに登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。
・メッセージリクエストの画面の見かたは→P.230

●iモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、iモードメールの設定などを行うときには「iモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。→P.213
iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス(URL)を入力することにより、インターネットに接続し、iモード対応のインターネットホームページを表示できます。
インターネットホームページの表示方法は→P.214

おしらせ

- ●iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。iモード対応のインターネットホームページとは、iモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
- ●パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- ●URLが半角256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

キャッシュに記憶されたページを表示するときは

- ・キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中にを押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示するときは、を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- ・キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- ・iモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- ・SSL対応ページをキャッシュから読み込んだときは、SSLページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

iモードのご使用にあたって

- ・サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト(番組)やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ・iモード端末に保存されている内容(メール、メッセージリクエスト、メッセージフリー、画面メモ、iアプリ、iモーション)やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記憶されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、iモード端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・iモード端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリ、iモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画、動画、メロディ)、画面メモ、およびメッセージリクエスト、メッセージフリーなどを表示、再生できません。
- ・FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音に設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げのときの設定内容で動作します。

次ページにつづく

■お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したブックマークの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したブックマークの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.394）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、ブックマークの内容をパソコンに保管することもできます。

〈iモードメニュー〉

iモードメニューを表示する

iモードを開始する

◉［imode］を押す

「iモードメニュー画面」が表示されます。iモードメニューは9項目あります。

■「圏外」が表示されている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「Y.ıl」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。

■「⇆」が点滅する場合

サービスエリア内でiモードのサービスを受けていないときに、サイト（P.205）やインターネット（P.214）への接続やiモードメールの送信（P.247）などをしようとしたときは「⇆」が点滅し、iモード開始まで時間がかかることがあります。

■「i」が点滅している場合

iモードのサービスを受けているとき（iモード中）は「i」が点滅します。

項　目	説　明	参照ページ
1iMenu	iモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。	P.199、205
2Bookmark	お気に入りのホームページアドレスをiモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。	P.215
3画面メモ	iモード端末に保存されたiモードの画面を見ることができます。	P.218
4ラストURL	最後に表示したサイトやインターネットホームページを表示します。	P.209
5Internet	ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのiモード対応ホームページに接続することができます。	P.214
6メッセージ	受信したメッセージリクエスト、メッセージフリーを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。	P.232
7iモード問い合わせ	iモードセンターにiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーが保管されているかどうか問い合わせをします。	P.231
8ユーザ証明書操作	FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請やダウンロードなどを行います。	P.235
9iモード設定	iモードに関係するFOMA端末の設定を行います。	P.226

おしらせ

● iモードの開始は、以下の手順でも行えます。
・ menu ▶ i を選択し、◉を押す
● iモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。
● 圏外でもiモードメニュー画面を表示できます。ただし、圏外ではサイトやインターネットで情報の送受信などはできません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

iMenu画面を表示する

1 ● ［imode］▶ 1 「iMenu」

iモードセンターに接続して、「iMenu画面」（iモード画面の最初）が表示されます。

■ ページの取得を中止する場合

CLR または ●［中止］を押す

iモードメニュー画面

iMenu画面

iモードを終了する

1 **iモード中に PWR HLD ▶「YES」を選択し、●を押す**

「⇄」が点滅した後、「i」が消灯します。

おしらせ

● PWR HLD を2秒以上押したときは、電源が切れます。

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます（別途お申し込みが必要なことがあります）。

1 ● ［imode］▶ 1 「iMenu」

2 **3「メニューリスト」▶ サイトの項目を選択し、●を押す**

「サイト画面」が表示されます。

モーション
天気/ニュース/情報
モバイルバンキング
証券/カード/保険
交通/地図/旅行
ショッピング/ﾁｹｯﾄ
ファッション/ｺｽﾒ
グルメ情報
くらしの情報
働く/住む/学ぶ
着信メロディ/ｶﾗｵｹ
12:05
選択 機能

サイト画面

● 「みんなNらんど」について

iMenuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるiアプリ、辞書、フェイススタンプ、デコメールのテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

「みんなNらんど」への接続のしかたは以下のとおりです。

「iMenu」→「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなNらんど」の順に選択

次ページにつづく

おしらせ

- ●「PIMロック」、セルフモード設定中は、サイトを表示することはできません。
- ●サイトによっては、ご利用の前に別途書面などでお申し込みが必要になることがあります。
- ●サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- ●サイトによっては、画像を表示できない場合があります。
- ●画像を取得できなかった場合、「」が表示されます。
- ●サイトに接続中でも、電話をかけたり受けたりすることができます（P.426）。また、メールを送受信することもできます。ただし、iモード通信中はテレビ電話を受けることはできません。
- ●「Receiving Page」のメッセージが表示されているときでもで画面をスクロールすることができます。
- ●表示したサイトの画面で下線が表示されている項目があるときは、その項目を選択することができます。選択すると反転表示されます。
- ●表示中のサイト画面は情報が自動的に更新されませんので、最新の情報を表示するには機能メニューから「再読み込み」を行ってください。
- ●サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイトの画面と表示が異なることがあります。
- ●iモード対応のインターネットホームページ（サイト）によっては、文字が見えにくい場合や見えない場合があります。

サイト画面の機能メニューを使う

サイト画面で ➡ P.205

［機能］▶以下の項目から選択

サイト画面の
機能メニュー画面

サイト画面の機能メニュー 1/4

1 Bookmark登録	表示中のページのURLをブックマークに登録します。「ブックマークに登録する」→P.215
2 画面メモ保存	表示中のページを画面メモに保存します。「画面メモを保存する」→P.218
3 iMenu	iMenu画面を表示します。
4 Bookmark一覧	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。「ブックマークからホームページやサイトを表示する」→P.216
5 画面メモ一覧	画面メモ一覧画面を表示します。「画面メモを表示する」→P.218
6 再読み込み	表示中のページを新しい情報に更新します。
7 画像保存	「サイトやメッセージから画像を取り込む」→P.221

サイト画面の機能メニュー 2/4

1 辞典検索	表示中のページから辞典を利用します。「その他の機能から辞典を利用する」→P.455
2 URL入力	**▶▶URLを入力し、▶「OK」を選択し、▶を押す** URLを入力してインターネットホームページに接続します。
3 電話帳登録	「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」→P.211
4 デスクトップ貼付	**▶「YES」を選択し、を押す** 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

5 iモードメール作成	▶以下の項目から選択 表示中のページのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成することができます。	
	1 URL貼付	表示中のページのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
	2 メール添付	▶添付する画像を選択し、●を押す 選択した画像を添付してiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
	3 デコメール挿入	▶挿入する画像を選択し、●を押す 選択した画像を本文中に挿入したデコメールを作成します。「デコメールを作成して送信する」→P.256
6 スケジュール参照登録	表示中のページを参照しながらスケジュールを登録します。 「スケジュールや休日、記念日を登録する」→P.435	
7 ホーム登録	▶「YES」を選択し、●を押す 表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。	

サイト画面の機能メニュー 3/4

1 ホーム表示	ホームURLに登録されているページを表示します。	
2 タイトル表示	▶タイトルを確認する▶「OK」を選択し、●を押す 表示中のページのタイトルを確認します。	
3 URL表示	▶URLを確認する▶「OK」を選択し、●を押す 表示中のページのURLを表示します。	
4 証明書表示	表示中のページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。	
5 文字コード変換	表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。	
6 画像表示設定	▶以下の項目から選択 ページの画像表示について設定します。	
	1 表示する	画像を表示します。
	2 表示しない	画像を表示しません。表示されない画像の代わりに「」が表示されます。
7 効果音設定	▶1「効果音ON」または2「効果音OFF」 Flash画像の効果音について設定します。	

サイト画面の機能メニュー 4/4

1 リトライ	表示中のページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

次ページにつづく

おしらせ

<iモードメール作成>
- 本文に貼り付けられるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字を超えるときは貼り付けできません。

<ホーム登録>
- すでにホームURLが登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、上書きされます。「NO」を選択すると、上書きされません。
- 「ホーム登録」でURLを登録しても、「ホームURL設定」の「有効」、「無効」は変更されません。

<ホーム表示>
- 「ホームURL設定」が「無効」に設定されているときは、「ホーム表示」は利用できません。
- スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

<タイトル表示>
- 表示されたタイトルの編集はできません。
- タイトルは半角128文字まで表示されます。

<URL表示>
- 表示されたURLの編集はできません。
- すべてのURLが表示されない場合は、◉を押し、◎を押してURLを確認します。◉を押して「OK」を選択するとページの画面に戻ります。

<証明書表示>
- 証明書は最大4枚まで表示され、証明書が複数枚あるときは、◎で前後の証明書を確認できます。
- 証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定にかかわらず1行スクロールで表示されます。

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作をすると、元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。
- 「文字コード変換」は表示中のサイトに対してのみ有効です。

<リトライ>
- 再生中に選択すると、Flash画像やアニメーションを最初から再生します。

SSL対応ページを表示する

SSL対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。

- CA（Certification Authority）証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げのときにFOMA端末内に保存されています。
- ドコモCA証明書：FirstPass センターへ接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
- ユーザ証明書：iモードメニューの「ユーザ証明書操作」（P.235）を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されます。

1 SSL対応ページを表示する

SSL対応ページの画面

SSL対応ページの画面が表示され、「SSL」が表示されます。

■ 認証中に中止する場合

◉を押す

■ 認証後のページを取得中に中止する場合

◉［中止］を押す

2 SSL対応ページから通常のページを表示 ▶「YES」を選択し、◉を押す

SSL通信が終了し、「SSL」の表示が消えます。

おしらせ

- SSL対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。これらは、ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。「YES」を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続しない場合は、「NO」を選択します。「SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、を押すと元の画面に戻ります。
- SSL対応ページを表示する場合は、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。

スクロール機能について

サイトのページやメッセージリクエスト、メッセージフリー、iモードメール、SMSなどを表示している場合で、文章や一覧が画面内におさまらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

■ 行単位でスクロールする場合

を押すと、行単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
を押すと、行単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。
またはを押したときにスクロールする行数を設定することができます。→P.226

■ 画面単位でスクロールする場合

［メモ／確認］を押すと、画面単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
［ホーム］を押すと、画面単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。

携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択してを押すと、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを通知するメッセージが表示されることがあります。送信してもよいときは「YES」を選択し、を押します。送信したくないときは「NO」を選択し、を押します。［戻る］またはを押すと前の画面に戻ります。

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前には必ず、送信することを通知するメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツがお客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

最後に表示したページに再接続する<ラストURL>

iモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。「ラストURL」を使って、最後に表示したページに再接続することができます。

［imode］▶ 4「ラストURL」

おしらせ

- ページを表示するたびに「ラストURL」は表示中のページのURLに更新されます。

サイトの見かたと操作

サイトを見るときに使う操作について説明します。

画像の表示について

サイトやインターネットホームページの画面に画像が表示されることがあります。

- 本端末では、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像（P.212）を表示します。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
- 画像の取得中は「（色付き）」が表示され、取得が終わると画像を表示します。
- 画像を表示するかしないかを「画像表示設定」（P.226）で設定できます。サイトなどのページを表示中に、機能メニューの「画像表示設定」で「表示しない」から「表示する」に切り替えた場合、「再読み込み」（P.211）をすると「（色付き）」の画像が表示されます。なお、「表示する」から「表示しない」に切り替えた場合は、取得済みの画像は表示されたままです。

■表示される画像のアイコンについて

（色付き）：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示されます。

：画像を取得できなかった場合に表示されます。

（色なし）：取得できない画像の場合に表示されます。

リンク先や項目を選択する

iモード接続中に、サイトによっては以下の操作が必要となる場合があります。

- 詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

● リンク先

表示中のページに、関連するページ（リンク先）へ進むことができるように設定されている場合があります。

- 画像にリンク先が設定されている場合も同じ操作で選択することができます。

● ラジオボタン

選択肢の中から1つだけ選択することができます。◉が選択された状態です。

● チェックボックス

選択肢の中から複数の項目を選択することができます。☑が選択された状態です。

● テキストボックス

文字を直接入力することができます。テキストボックスを選択すると文字入力の画面が表示されます。

● プルダウンメニュー

選択肢の一覧から項目を選択することができます。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、プルダウンメニューを選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

おしらせ

- プルダウンメニューでは、サイトなどのつくりによって複数の項目を選択できる場合があります。で項目を選択し、を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わった後に［完了］またはCLRを押すと操作が完了します。

iモード

●セレクトボックス

選択肢の一覧から項目を選択することができます。サイトによっては、選択肢の一部だけが表示されている場合もあります。

前のページに戻る／進む

キャッシュに取得済みの前のページに戻ったり、キャッシュに取得済みのページへ進むことができます。

前のページに戻るときは⊙、次のページに進むときは⊙を押す

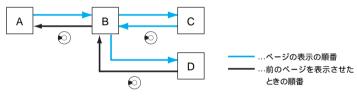
2つ前のページの画面

1つ前のページの画面

現在表示中のページの画面

おしらせ

● ⊙を続けて押すことにより、これまで表示したページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で⊙を押して前のページに戻り（「C」から「B」に戻る）、そのページからほかのページ（「B」から「D」）を表示させたときは、「D」から⊙を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

■画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

● キャッシュについて→P.203

情報を再読み込みする

表示中のページを新しい情報に更新します。

サイト画面の機能メニュー画面で ➡ P.206

6 「再読み込み」を押す

おしらせ

● 文字入力後やID・パスワードなどを入力して閲覧しているときに実行すると、再度送信するかどうかのメッセージが表示される場合があります（自動的に更新されるサイトでは「再読み込み」を実行していなくても表示されます）。「YES」を選択すると、サイトが更新されます。
● アンケートの回答などの送信完了画面で「再読み込み」をした場合、再度送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、一度送信した内容と同じものが再び送信されますのでご注意ください。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録することができます。

次ページにつづく

<例：サイトに表示されている電話番号を登録する場合>

サイト画面の機能メニュー画面で ➡ P.206

1 **「電話帳登録」▶「YES」を選択し、◉▶電話帳に登録**

電話帳の登録について→P.93
電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

Flash画像の操作について

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を取り込み、待受画面に設定することもできます。

●Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータ設定を「OFF」にしていても振動しますのでご注意ください。
●Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
●画面下部に「◀⬍▶」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
●「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
●「登録データ利用設定」(P.228)を「利用する」に設定した場合は、登録データ（時刻、日付、電波状態、電池残量、着信音量、使用言語、機種種別、機種情報）を利用することができます。

おしらせ

●Flash画像を再度動作させたい場合は、機能メニューから「リトライ」を選択してください。→P.207
●Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、機能メニューから「効果音設定」を選択して「効果音OFF」に設定してください。また、「バイブレータ」を「メロディ連動」に設定していても、効果音が鳴ったときに振動しない場合があります。
●画面表示に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
●Flash画像によっては、バイブレータが有効に設定されていて振動するものがあります。このようなFlash画像を着信中画面、テレビ電話着信中画面、メール受信中画面に設定した場合は、「バイブレータ」や「マナーモード選択」の設定に従って振動します。ただし、待受画面、ウェイクアップ表示に設定した場合は、振動しません。
●Flash画像の再生中に約2分間操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、◉、◉、✥、☎、CLR、1～0、*、#、i を押します。
●Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
●再生中にエラーが発生したFlash画像は保存することができません。

〈マイメニュー〉

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

●マイメニューは最大45件まで登録できます。
●マイメニューに登録できないサイトもあります。
●インターネットホームページに簡単に接続するには、「ブックマーク」(P.215)をご利用ください。

サイト画面で ➡ P.205

1 **「マイメニュー登録」を選択し、◉を押す**

2 **「iモードパスワード入力」のボックスを選択し、◉▶4桁のiモードパスワードを入力し、◉を押す**

「iモードパスワード入力画面」が表示されます。
iモードパスワードについて→P.213

3 **「決定」を選択し、◉を押す**

おしらせ

- iMenuのメニューリスト内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenuの「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。→P.199

マイメニューに登録したサイトを表示する

●［imode］▶1「iMenu」▶1「マイメニュー」▶サイト番号を選択

おしらせ

- マイメニューからサイトに接続するためには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。
- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

〈iモードパスワード変更〉

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定などをするときは、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

- iモードパスワードが変更されるまでは、「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、FOMA端末から自由にiモードパスワードを変更してください。
- iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードを万一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただき、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 ●［imode］▶1「iMenu」▶8「オプション設定」▶2「iモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のボックスを選択し、●▶現在のiモードパスワードを入力し、●を押す

入力したパスワードは「＊」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択し、●▶新しく設定するiモードパスワードを入力し、●を押す

iモードパスワードは4桁の数字で入力してください。

次ページにつづく

4 「新パスワード確認」のボックスを選択し、◉▶新しく設定するiモードパスワードを再度入力し、◉を押す

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」を選択し、◉を押す

■「現在のパスワード」が間違っている場合

iモードパスワードが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

■「新パスワード」と「新パスワード確認」が間違っている場合

iモードパスワードが一致しないことを通知するメッセージが表示されます。

〈インターネット接続〉

インターネットホームページを表示する

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示できます。

●iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
●インターネットホームページを表示中の操作は、通常のiモードのサイトと同じです。

1 ◉［imode］▶5「Internet」▶1「URL入力」▶「<新規入力>」を選択し、◉を押す

「URL入力画面」が表示されます。
文字を入力する→P.522

URL入力画面

2 URLを入力し、◉を押す

3 「OK」を選択し、◉を押す

入力したURLのサイトを表示できない可能性があることを通知するメッセージが表示されます。◉または CLR を押すと、入力したURLのインターネットホームページに接続します。

■「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない場合

URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

●接続するサイトによっては、正しく表示されないことがあります。
●受信したデータが取得可能な1ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。◉を押すと、取得したところまでのデータが表示される場合があります。
●表示したページをブックマーク、画面メモ、デスクトップアイコン、ホームURLに登録することができます。
●ページを表示中にURLを入力する場合は、機能メニューから「URL入力」を選択し、URLを入力します。
●URLに入力できる文字数は、「http://」または「https://」を含めて半角256文字までです。

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。

1 ◉［imode］▶5「Internet」▶1「URL入力」

2 URL番号を選択▶「OK」を選択し、◉▶◉を押す

■選択したURLを編集する場合

「Internetアドレス」のボックスを選択し、◉を押してURLを編集します。

おしらせ

- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。
- URL履歴は「http://」または「https://」を除いた半角22文字までが表示されます。

URL入力画面の機能メニューを使う

URL入力画面で ➡ P.214

◉［機能］▶以下の項目から選択

URL入力画面の機能メニュー

1 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
2 iモードメール作成	選択したURLを本文に貼り付けたiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
3 ホーム登録	▶「YES」を選択し、◉を押す 選択したURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
4 削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
5 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す
6 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

〈ブックマーク〉

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るインターネットホームページやサイトをすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。

- 登録したブックマークは、タイトルを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。

ブックマークに登録する

- ブックマークは、100件まで登録できます。
- 登録できる1件あたりのURLの文字数は、半角256文字までです。256文字を超えるページは、ブックマークに登録できません。
- サイトによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

サイト画面の機能メニュー画面で ➡ P.206

i「Bookmark登録」▶「YES」を選択し、◉▶フォルダ番号を選択

■ すでに100件登録されている場合

削除してから登録するかどうかのメッセージが表示されます。登録するときは「YES」を選択し、フォルダを選択して削除するブックマークを選択します。

おしらせ

- ブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。
- ブックマークを登録するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録したブックマークからサイトを表示したときは入力されていません。
- 「PIMロック」設定中は、ブックマークの登録や表示はできません。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 ●［imode］▶ 2 「Bookmark」

「Bookmarkフォルダ一覧画面」が表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面

2 **フォルダ番号を選択する**

「Bookmark画面」が表示されます。

3 **ブックマーク番号を選択する**

Bookmark画面

おしらせ

- ブックマークの一覧から表示したページのタイトルは、利用した順に表示されます。
- 情報が自動的に更新されない場合がありますので、その場合は「再読み込み」をしてください。

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニューを使う

お買い上げのときにすでにある「Bookmark」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

Bookmarkフォルダ一覧画面で ➡ P.216

1 ●［機能］▶ **以下の項目から選択**

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

1 **フォルダ追加**	▶ **フォルダ名を入力し、●を押す** 全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522 追加で作成できるフォルダは9個までです。
2 **フォルダ名編集**	▶ **フォルダ名を入力し、●を押す** 全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
3 **登録件数確認**	すべてのフォルダ内のブックマークの件数を表示します。
4 **赤外線全件送信**	すべてのブックマークを赤外線送信します。「データを全件送信する」→P.416
5 **フォルダ削除**	▶ **端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す** 端末暗証番号について→P.142
6 **Bookmark全削除**	▶ **端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す** 端末暗証番号について→P.142

iモード

おしらせ

● ブックマークのフォルダにセキュリティをかけることはできません。

<**フォルダ追加**>
● フォルダ名を入力しないとフォルダを追加作成できません。
● 追加作成したフォルダは一番下に追加されます。

<**フォルダ名編集**>
● 同じ名前のフォルダも登録できます。

<**Bookmark全削除**>
● ブックマークが1件も登録されていない場合でも操作できます。
● すべてのブックマークを削除します。ただし、フォルダは削除されません。

Bookmark画面の機能メニューを使う

Bookmark画面で ➡ P.216

⦿［機能］▶以下の項目から選択

Bookmark画面の機能メニュー画面

Bookmark画面の機能メニュー 1/2

1 フォルダ移動	▶フォルダ番号を選択▶Ⓞでブックマークの□（チェックボックス）を選択し、⦿▶⊙［完了］▶「YES」を選択し、⦿を押す
2 タイトル編集	▶タイトルを入力し、⦿を押す 全角で12文字、半角で24文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
3 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、⦿を押す ブックマークのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
4 iモードメール作成	ブックマークのURLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
5 赤外線送信	▶「YES」を選択し、⦿を押す
6 エクスポート	▶「YES」を選択し、⦿を押す
7 ホーム登録	▶「YES」を選択し、⦿を押す ブックマークのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

Bookmark画面の機能メニュー 2/2

1 URLコピー	▶Ⓞでコピーする部分の先頭の文字を反転し、⦿▶Ⓞでコピーする部分の最後の文字を反転し、⦿を押す ブックマークのURLをコピーします。
2 登録件数確認	フォルダ内のブックマークの件数を表示します。
3 削除	▶「YES」を選択し、⦿を押す
4 選択削除	▶Ⓞで□（チェックボックス）を選択し、⦿▶⊙［完了］▶「YES」を選択し、⦿を押す
5 全削除	▶端末暗証番号を入力し、⦿▶「YES」を選択し、⦿を押す 端末暗証番号について→P.142

次ページにつづく

おしらせ

＜**タイトル編集**＞
- タイトルを削除して⦿を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。

＜**全削除**＞
- 「全削除」で削除されるのは表示しているフォルダ内のブックマークです。ほかのフォルダのブックマークは削除されません。

〈画面メモ〉
サイトの内容を保存する

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存しておくことができます。
- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量により2〜100件と変動します。

画面メモを保存する

サイト画面の機能メニュー画面で ➡ P.206

[2]「画面メモ保存」▶「YES」を選択し、⦿を押す

■ **保存されている画面メモがいっぱいの場合**

不要な画面メモを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選択して⦿を押し、削除する画面メモを選択します。

おしらせ
- SSL対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。
- 画面メモのタイトルは全角11文字、半角22文字までが保存され、超えた部分は削除されます。
- 同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
- 画面メモに保存したページのURLは半角256文字まで保存されます。ただし、データ取得完了画面のURLは保存されません。
- データ取得完了画面を保存すると、画面とともにそのデータも画面メモに保存されます（再生期限付きのiモーションのデータ取得完了画面は保存できません）。データ取得完了画面は、画面メモとして保存できない場合があります。
- サイト画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。

画面メモを表示する

⦿［imode］▶[3]「画面メモ」

「画面メモ一覧画面」が表示されます。

画面メモ一覧画面

2 画面メモ番号を選択する

画面メモ（画面メモ詳細画面）が表示されます。

画面メモ
（画面メモ詳細画面）

おしらせ

● 画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。
● 保存したページにタイトルがないときは、画面メモ一覧画面で「無題」と表示されます。

画面メモ一覧画面の機能メニューを使う

画面メモ一覧画面で ➡ P.218

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

画面メモ一覧画面の機能メニュー

1 タイトル編集	▶タイトルを入力し、◉を押す 全角で11文字、半角で22文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 保護／保護解除	画面メモを保護／保護解除します。
3 保存件数確認	保存されている画面メモの件数を表示します。
4 削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
5 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す
6 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

<保護／保護解除>
● 保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

<タイトル編集>
● タイトルを削除して◉を押した場合は、「無題」と登録されます。

<削除>
● 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

<選択削除>
● 保護されている画面メモは選択できません。

<全削除>
● 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

画面メモ詳細画面の機能メニューを使う

画面メモ（画面メモ詳細画面）で ➡ P.219

◉［機能］▶以下の項目から選択

画面メモ詳細画面の機能メニュー 1/2

1 画像保存	画面メモに表示されている画像を保存します。「サイトやメッセージから画像を取り込む」→P.221
2 電話帳登録	画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93
3 辞典検索	画面メモから辞典を利用します。「その他の機能から辞典を利用する」→P.455
4 タイトル編集	**▶タイトルを入力し、◉を押す** 全角で11文字、半角で22文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
5 保護／保護解除	画面メモを保護／保護解除します。
6 iモードメール作成	**▶以下の項目から選択** 表示中の画面メモのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成することができます。
	1 URL貼付：表示中の画面メモのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
	2 メール添付：**▶添付する画像を選択し、◉を押す** 選択した画像を添付してiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
	3 デコメール挿入：**▶挿入する画像を選択し、◉を押す** 選択した画像を本文中に挿入したデコメールを作成します。「デコメールを作成して送信する」→P.256
7 スケジュール参照登録	画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。「スケジュールを登録する」→P.438

画面メモ詳細画面の機能メニュー 2/2

1 URL表示	画面メモのURLを表示します。
2 証明書表示	画面メモがSSL対応ページの場合にSSL証明書の内容を表示します。
3 効果音設定	**▶1「効果音ON」または2「効果音OFF」** Flash画像の効果音について設定します。
4 リトライ	画面メモに表示されているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。
5 削除	**▶「YES」を選択し、◉を押す**

おしらせ

<URL表示>
- 表示されたURLの編集はできません。

<リトライ>
- 再生中に選択すると、Flash画像やアニメーションを最初から再生します。

<削除>
- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

〈画像保存〉

サイトやメッセージから画像を取り込む

表示中のサイト、メッセージリクエストやメッセージフリーから画像を保存すると、待受画面などに設定できます。

●サイトや画面メモ、iモードメールに表示または添付されている画像やアニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。

＜例：サイトに表示されている画像を保存する場合＞

サイト画面の機能メニュー画面で ➡ P.206

1 「画像保存」▶画像を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶フォルダ番号を選択

保存する画像に □ を合わせます。
待受画面などに設定する場合は、操作2に進みます。

■ 保存されている画像がいっぱいの場合

不要な画像を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選択し、◉を押して削除する画像を選択します。

2 「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す

■ 待受画面などに設定しない場合

「NO」を選択し、◉を押す

おしらせ

●画像によっては、保存できない場合があります。
●以下の画像は保存できません。
・ 横1616×縦1212ドットを超えるJPEG形式の画像
・ 横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるGIF形式の画像
・ 横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
●保存された画像のファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合は、「imageXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。
●「画像表示設定」を「表示しない」に設定しているときは保存できません。また、「 」が表示されている場合も保存できません。
●大容量画像を受信中に画像を保存しようとした場合は、大容量ファイル受信中で操作できないことを通知する確認画面が表示されます。
●以下の条件すべてを満たす画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
・ アニメーションGIFファイルではない透過GIFファイル
・ ファイルの拡張子が「ifm」
・ フレームは画像サイズがCIF（352×288）、CIF縦（288×352）、フルスクリーン横（345×240）、フルスクリーン（240×345）、QVGA（320×240）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、QCIF縦（144×176）、Sub-QCIF（128×96）、Sub-QCIF縦（96×128）の画像、スタンプはフレーム画像以外の240×240ドット以下の画像

■ プログレッシブJPEG形式の画像とは

プログレッシブJPEG形式の画像とは、サイトやインターネットホームページなどの画像に利用されているJPEG形式のひとつです。最初は画像全体が粗く表示され、徐々に鮮明に表示されます。

〈iメロディ〉

サイトからiメロディを取り込む

サイトからダウンロードした最新のメロディやお好みのメロディ、またiモードメールに添付／貼り付けられているメロディは、FOMA端末に保存すると着信音などに設定することができます。

次ページにつづく

＜例：サイトからメロディを保存する場合＞

サイト画面で

➡ P.205

1 **メロディを選択し、◉を押す**

2 **「保存」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶フォルダを選択し、◉を押す**

■ **保存されているメロディがいっぱいの場合**
不要なメロディを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選択し、◉を押して削除するメロディを選択します。

■ **メロディを再生する場合**
「再生」を選択し、◉を押す

■ **メロディの情報を表示する場合**
「情報表示」を選択し、◉を押す

3 **「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す**

■ **着信音などに設定しない場合**
「NO」を選択し、◉を押す

おしらせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- 取り込んだメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが演奏されます。
- データ取得完了画面のURLは「ラストURL」に記憶されません。この場合、「ラストURL」はデータ取得完了画面の前に表示していたページのURLになります。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- 大容量画像を受信中にメロディを保存しようとした場合は、大容量ファイル受信中で操作できないことを通知する確認画面が表示されます。
- 保存されたメロディのファイル名が半角英数字のみの場合は、そのファイル名の半角36文字までが保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合は、「melodyXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。
- メロディの再生音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中はメロディを再生できません。

サイトからキャラ電を取り込む

サイトからお好みのキャラ電をダウンロードして保存できます。
- キャラ電はあらかじめ登録されているデータを含めて10件まで保存できます。

サイト画面で

➡ P.205

1 **キャラ電を選択し、◉を押す**

2 「保存」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

■ 保存されているキャラ電がいっぱいの場合
不要なキャラ電を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選択し、◉を押して削除するキャラ電を選択します。

■ キャラ電を再生する場合
「再生」を選択し、◉を押す
キャラ電の操作方法について→P.384

■ キャラ電の情報を表示する場合
「情報表示」を選択し、◉を押す

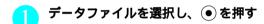
サイトからデータファイルを取り込む

サイトから辞書、フェイススタンプやデコメールのテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

＜例：サイトから辞書ファイルを取り込む場合＞

➡ P.205

1 データファイルを選択し、◉を押す

2 「保存」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す

■ 辞書の情報を表示する場合
「情報表示」を選択し、◉を押す

■ すでに5件の辞書が登録されている場合
削除する辞書を選択し、◉を押します。「YES」を選択し、◉を押します。
選択した辞書に上書きされて、辞書が登録されます。

おしらせ

- テンプレートに装飾が1つもない場合やFOMA端末外への出力が禁止されている画像が挿入されていた場合は、保存できません。
- テンプレートにファイルが添付されている場合は、添付ファイルは削除されます。
- テンプレートのファイル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。（YYYY：西暦、MM：月、DD：日、hh：時、mm：分）
日付が設定されていない場合は「templateXX」となります。（XX：01～45）
- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。

〈Phone To・Mail To・Web To機能〉
Phone To・Mail To・Web To機能を使う

サイトのページやメールに表示されている情報（電話番号、メールアドレス、URL）を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示することができます。

●パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。

Phone To機能

サイトのページやメールに表示されている電話番号に電話をかけることができます。

●テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。
●サイトによっては、Phone To機能をご利用になれない場合があります。
●電話番号として使える桁数は26桁までです。

<例：サイトの画面で音声電話をかける場合>

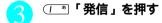
サイト画面で ➡ P.205

1 電話番号を選択し、◉を押す

2 1「音声発信」を押す

■テレビ電話をかける場合

2「32Kテレビ電話発信」または3「64Kテレビ電話発信」を押す

3 1「発信」を押す

■「発信者番号通知設定」が「通知する」のときに電話番号を通知しないでかける場合

3「発番号設定」▶1「通知しない」

■「発信者番号通知設定」が「通知しない」のときに電話番号を通知してかける場合

3「発番号設定」▶2「通知する」

おしらせ

●「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」、セルフモード設定中は、Phone To／AV Phone To機能で音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
●通話の途中で(MULTI)を1秒以上押すと、元の画面に戻ってiモードの操作を続けることができます。
●電話番号を表す数字列以外の反転表示された情報を使ってPhone To／AV Phone To機能を利用できる場合もあります。
●メールの送信元や宛先が電話番号や「電話番号@･･･」のメールアドレスでも電話をかけることができます。

Mail To機能

サイトのページやメールに表示されているメールアドレスにメールを送ることができます。

- サイトによっては、Mail To機能をご利用になれない場合があります。
- 保存メールが20件ある場合は、Mail To機能を利用できません。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用いただけない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。

<例：受信メール詳細画面でメールを送信する場合>

受信メール詳細画面で ➡ P.281

1 メールアドレスを選択し、◉を押す

2 iモードメールを作成して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.247の操作4～8を参照してください。

おしらせ

- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」設定中は、Mail To機能でメールを作成することはできません。また、セルフモード設定中は、メールの作成はできますが送信はできません。
- メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。
- メールアドレス以外の反転表示された情報を使ってMail To機能を利用できる場合もあります。

Web To機能

サイトのページやメールに表示されているURLのインターネットホームページを表示できます。

- サイトによっては、Web To機能をご利用になれない場合があります。
- URLとして使える文字数は半角512文字までです。

<例：受信メール詳細画面からページを表示する場合>

受信メール詳細画面で ➡ P.281

1 URLを選択し、◉を押す

次ページにつづく

おしらせ

- セルフモード設定中は、Web To機能は利用できません。
- URLの表示はサイトにより異なります。
- URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To機能を利用できる場合もあります。

iモードの設定を行う

1 ● [iモード] ▶ 9 「iモード設定」

「iモード設定画面」が表示されます。

2 **以下の項目から選択**

iモード設定画面

iモード設定画面 1/2

<table>
<tr><td rowspan="1">1 スクロール設定
（お買い上げ時：
1 1行スクロール）</td><td colspan="2">▶ 1「1行スクロール」、2「3行スクロール」または3「5行スクロール」
サイトのページ、画面メモ、メッセージリクエストやメッセージフリーの詳細画面のスクロール行数を設定します。</td></tr>
<tr><td>2 文字サイズ設定
（お買い上げ時：
1 標準表示）</td><td colspan="2">▶ 1「標準表示」、2「縮小表示」または3「拡大表示」
サイトのページ、メッセージリクエストやメッセージフリーの詳細画面の文字サイズを変更します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3 画像表示設定</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
サイトのページ、画面メモ、メッセージリクエストやメッセージフリーの詳細画面の画像表示について設定します。</td></tr>
<tr><td>1 表示する
（お買い上げ時）</td><td>画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>2 表示しない</td><td>画像を表示しません。表示されない画像の代わりに「 」のアイコンが表示されます。</td></tr>
<tr><td>4 iモーション自動再生設定</td><td colspan="2">「iモーションを自動再生するかどうかを設定する」→P.340</td></tr>
<tr><td rowspan="6">5 メッセージ自動表示設定</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
自動的に表示するメッセージについて設定します。</td></tr>
<tr><td>1 メッセージリクエスト優先
（お買い上げ時）</td><td>メッセージリクエストを優先して自動表示します。</td></tr>
<tr><td>2 メッセージフリー優先</td><td>メッセージフリーを優先して自動表示します。</td></tr>
<tr><td>3 メッセージリクエストのみ</td><td>メッセージリクエストだけを自動表示します。</td></tr>
<tr><td>4 メッセージフリーのみ</td><td>メッセージフリーだけを自動表示します。</td></tr>
<tr><td>5 自動表示しない</td><td>メッセージを自動表示しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">6 開封時メロディ再生設定</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
メッセージリクエスト、メッセージフリーを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>1 自動再生する
（お買い上げ時）</td><td>メロディを自動再生します。</td></tr>
<tr><td>2 自動再生しない</td><td>メロディを自動再生しません。</td></tr>
</table>

7 登録データ利用設定	▶以下の項目から選択 Flash画像を動作させるときに登録データを利用するかどうかを設定します。	
	1 利用する（お買い上げ時）	Flash画像の動作中に登録データを利用するようにします。
	2 利用しない	Flash画像の動作中に登録データを利用しないようにします。
8 メッセージ一覧表示設定	▶以下の項目から選択 メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。	
	1 2行表示（お買い上げ時）	1件につき2行ずつ表示します。
	2 1行表示	1件につき1行ずつ表示します。
9 ホームURL設定	▶以下の項目から選択 ホーム表示を利用するための設定をします。	
	1 無効（お買い上げ時）	ホーム表示設定を無効にします。
	2 有効	ホーム表示設定を有効にします。 ホームURL欄を選択して登録したいURLを入力します。半角で256文字まで入力できます。
0 効果音設定	▶以下の項目から選択 サイトのページや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。	
	1 効果音ON（お買い上げ時）	Flash画像の効果音を鳴らします。
	2 効果音OFF	Flash画像の効果音を鳴らしません。

iモード設定画面2/2

項目	内容
1 iモード設定確認	「iモード設定」で設定した内容を確認できます。
2 ラストURL初期化	▶「YES」を選択し、●を押す 記憶されているラストURLを初期化します。初期化するとラストURLはiMenu画面のURLになります。
3 iモード設定リセット	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 「iモード設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

<スクロール設定>
- 証明書表示時は、本機能の設定にかかわらず1行スクロールで表示されます。

<画像表示設定>
- 「表示する」に設定していても、画像を取得できなかった場合は「」が表示されます。
- 「表示しない」に設定すると、「」で表示され、データの受信をしません。

<ホームURL設定>
- 本設定を「有効」に設定した場合、待受画面表示中に［ホーム］を押すとホームURL欄に入力したURLのホームページが表示されます。

<効果音設定>
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<ラストURL初期化>
- お買い上げのとき、または「iモード設定リセット」をした後やラストURLを初期化した後に「ラストURL」を選択すると、iMenu画面が表示されます。

接続待ち時間を設定する＜接続待ち時間設定＞

お買い上げ時	60秒間

サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 menu▶ 各種設定を選択し、●▶ 8「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」を選択し、●▶以下の項目から選択

次ページにつづく

1 **60秒間**	60秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。
2 **90秒間**	90秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。
3 **無制限**	自動的に接続を中止しません。

おしらせ

●「無制限」に設定したときでも、電波状況によっては通信が切断されることがあります。

iモードから接続先を変更する（ISP接続通信）＜接続先選択＞

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時	iモード

iモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。iモード以外の接続先に変更すると、iモードやiモードメールをご利用いただけなくなります。
●接続先は「iモード」のほかに10件まで登録できます。

MENU 8 1 ▶「＜未登録＞」を選択し、● [編集] ▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶ 以下の項目から選択

端末暗証番号について→P.142
文字を入力する→P.522

1 **タイトル**	タイトルを設定します。全角で9文字、半角で18文字まで入力できます。
2 **接続先名称**	接続先名称を設定します。半角で30文字まで入力できます。
3 **接続先アドレス**	接続先アドレスを設定します。半角で99文字まで入力できます。

2 **設定が終わったら● [完了] を押す**

おしらせ

●接続先を変更するには、変更する接続先を選択し、●を押します。
●iモード中は、接続先を変更することはできません。iモードを終了してから接続先を変更してください。
●iモード以外の接続先に接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
●登録したユーザ指定接続先を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
●登録したユーザ指定接続先を削除するときは、削除する接続先を選択して、機能メニューから「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択し、●を押します。
●接続先を登録したときと異なるFOMAカードを入れた場合は、接続先がiモードに戻ることがあります。

Flash画像で登録データを利用するかどうかを設定する＜登録データ利用設定＞

Flash画像を動作させるときに登録データを利用するかどうかを設定します。
●Flash画像によっては、登録データを利用するものがあります。登録データを画像が利用するためには、「iモード設定」の「登録データ利用設定」を「利用する」に設定してください。お買い上げのときは、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する登録データには以下のものがあります。
・電池残量
・受信レベル
・日付時刻情報
・着信音量の設定
・バイリンガルの設定
・機種情報

iモード設定画面で ➡ P.226

(7) 「登録データ利用設定」▶以下の項目から選択

1 **利用する**	Flash画像でFOMA端末のデータを利用するようにします。
2 **利用しない**	Flash画像でFOMA端末のデータを利用しないようにします。

〈メッセージ受信〉

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージリクエスト、メッセージフリーがiモードセンターから自動的に送られてきます。

- 受信したメッセージリクエスト、メッセージフリーは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます。メッセージリクエスト、メッセージフリーの保存可能件数はデータ量により、メッセージリクエストが20～100件、メッセージフリーが10～100件と変動します。
- メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときの着信音を「着信音選択」(P.112)でお好みの音に設定したり、着信ランプの点滅パターンを「着信イルミネーション」(P.133)で変更できます。

新着メッセージを表示する

- 自動表示しないようにするときは、「メッセージ自動表示設定」(P.226)を「自動表示しない」に設定してください。

「R(緑色)」や「F(紫色)」のアイコンが点滅し「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

・ 受信が終わると、アイコンは点灯に変わります。
・ 受信中にCLRを1秒以上押すと、受信を中止します。ただし、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。

・ 受信が終わると、受信結果画面に受信したメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーの件数が約15秒間表示されます。表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」(P.116)の設定によって変わります。
・「メッセージR」または「メッセージF」を選択し、●を押すと、メッセージリクエスト一覧画面またはメッセージフリー一覧画面が表示されます。

メッセージリクエスト 1/4
2005/ 4/11 12:05
グルメ情報
渋谷のフランス料理店「ル・モンド」では、今週1週間は1周年記念として朝食を毎日8時からご提供。コーヒーおかわり自由。
----END----
12:05

・ 待受画面表示中に受信した場合、受信したメッセージリクエスト、メッセージフリーの内容が約15秒間表示されます。ただし、メニュー機能をひとつでも操作しているときにタスクメニューで待受画面を表示した場合は自動表示されません。
待受画面表示中以外で受信したメッセージリクエスト、メッセージフリーは自動表示されません。
・ メッセージリクエスト、メッセージフリー表示中に画面スクロールなどの操作をすると、メッセージリクエスト、メッセージフリーの内容が表示され続けます。
・ 何も操作しないで約15秒経過すると待受画面に戻ります。

次ページにつづく

■ 自動表示しない場合

FOMA端末の操作中にメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときは、受信中画面は表示されず、そのまま操作を続けられます。着信音、着信ランプ点灯、バイブレータ、バックライトの点滅は行わず、「R（緑色）」や「F（紫色）」のアイコン表示によって、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したことが通知されます。

おしらせ

- メッセージリクエスト、メッセージフリーの自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。自動表示させたくない場合は「自動表示しない」に設定してください。
- 新しいメッセージリクエスト、メッセージフリーが届いたときは、iモードメールセンターに保管されているメッセージリクエスト、メッセージフリーやiモードメールも合わせて受信します。
- 待受画面以外を表示中、iアプリのソフトの起動中、「オールロック」、「PIMロック」、ドライブモード設定中は、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信しても自動表示しません。
- メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときに、すでに最大保存件数までメッセージリクエスト、メッセージフリーが保存されていた場合、未読または保護されているメッセージリクエスト、メッセージフリー以外で一番古いメッセージリクエスト、メッセージフリーから順に削除して受信します。
- 「R（赤色）」または「F（赤色）」のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで未読のメッセージリクエスト、メッセージフリーを読むか、保護を解除（P.233、234）してください。読んだり、保護を解除したメッセージリクエスト、メッセージフリーは、受信時に古いものから順に上書きされます。
- 「（緑色）」または「（紫色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージリクエスト、メッセージフリーが保管されています。未読のメッセージリクエスト、メッセージフリーを読むか、保護を解除した後にiモード問い合わせをしてください。
- 「（赤色）」または「（赤色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターのメッセージリクエスト、メッセージフリーがいっぱいです。iモード問い合わせをしてメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信してください。
- 自動表示後も、メッセージリクエスト一覧またはメッセージフリー一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中に画面スクロールなどの操作を行ったときは、メッセージリクエスト一覧またはメッセージフリー一覧画面では既読となります。
- 複数のiモードメール、SMS、チャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- 待受画面以外を表示しているときにメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときにメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信した場合は、イルミネーション・ウィンドウに表示されます。
- iモーションの再生中にメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信した場合は、映像や音声が途切れることがあります。

メッセージリクエスト、メッセージフリー画面の見かた

メッセージリクエスト、メッセージフリー画面は、以下のように表示されます。

- メッセージリクエスト、メッセージフリー一覧画面で表示されるアイコンは、メッセージリクエスト、メッセージフリー詳細画面でも表示されます。表示されないアイコンもあります。

一覧画面（2行表示）

一覧画面（1行表示）

詳細画面

iモード

①メッセージリクエスト、メッセージフリーの状態を示しています。

- ：未読のメッセージリクエスト、メッセージフリー
- ：既読のメッセージリクエスト、メッセージフリー
- ：未読で保護されているメッセージリクエスト、メッセージフリー
- ：既読で保護されているメッセージリクエスト、メッセージフリー

②受信した時刻や日付を示しています。

②-1 当日受信したメッセージリクエスト、メッセージフリーは時刻が表示されます。

②-2 前日までに受信したメッセージリクエスト、メッセージフリーは日付が表示されます。

③添付または貼り付けられているファイルを示しています。

- ：メロディが添付されていることを示しています。
- ：複数のメロディが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付されているすべてのメロディのデータが正しくないことを示しています。
- ：画像が添付されていることを示しています。
- ：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付されているすべての画像のデータが正しくないことを示しています。
- ：複数のデータが貼り付けられていることを示しています。

以下のアイコンは、一覧画面が1行表示の場合に表示されます。

- ：添付されているデータがあることを示しています。
- ：添付されているデータのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付されているすべてのデータが正しくないことを示しています。

④題名を示しています。

〈iモード問い合わせ〉

メッセージがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージリクエスト、メッセージフリー）問い合わせする

●iモードセンターに届いたメッセージリクエスト、メッセージフリーは自動的にFOMA端末へ送信されますが、以下の場合などはiモードセンターに保管されます。
- ・FOMA端末の電源が入っていないとき
- ・「圏外」が表示されているとき
- ・メッセージリクエスト、メッセージフリーが満杯のとき
- ・テレビ電話中／遠隔監視中
- ・セルフモード中

●問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」（P.299）で設定します。

1 ◉［MAIL］を1秒以上押す

メール問い合わせ画面が表示されます。
問い合わせは「メール」→「メッセージリクエスト」→「メッセージフリー」の順で行います。
問い合わせ中は「✉(青色)」「R(緑色)」「F(紫色)」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信します。
新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト、メッセージフリーの件数が表示されます。

■問い合わせを中止する場合

問い合わせ中にCLRを1秒以上押す
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト、メッセージフリーの件数を確認する

次ページにつづく

おしらせ

- iモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。
  - ・◉［imode］▶ 7「iモード問い合わせ」
  - ・◉［MAIL］▶ 7「iモード問い合わせ」
- 「(緑色)」または「(紫色)」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージリクエストまたはメッセージフリーが保管されています。iモードセンターに保管されているメッセージリクエストまたはメッセージフリーがいっぱいになると「(赤色)」または「(赤色)」のアイコンの表示になります。
- 「(赤色)」「R(赤色)」「F(赤色)」「(赤色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを削除するか、未読のメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを読むか、保護を解除（P.233、234）してください。読んだり、保護を解除したメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーは、受信時に古いものから順に上書きされます。
- iモードセンターでのメッセージリクエスト、メッセージフリーの保管件数、保管期間は以下のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージリクエスト	300件	72時間
メッセージフリー	300件	72時間

最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

- iモードセンターにメッセージリクエスト、メッセージフリーが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「(緑色)」または「(紫色)」のアイコンが表示されないことがあります。

〈メッセージR／メッセージF〉

メッセージBOXのメッセージを表示する

●iモードセンターからFOMA端末にメッセージリクエスト、メッセージフリーが届くと画面の上部に「R(緑色)」や「F(紫色)」が表示されます。

1 ◉［imode］▶ 6「メッセージ」▶ 1「メッセージリクエスト」または 2「メッセージフリー」

「メッセージ一覧画面」が表示されます。

メッセージ一覧画面

2 表示したいメッセージを選択し、◉を押す

「メッセージ詳細画面」が表示されます。
メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは◎を押します。
メッセージ詳細画面で CLR を押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

メッセージ詳細画面

おしらせ

- メッセージリクエスト、メッセージフリーに「OK」や「Cancel」などのボタンが表示されることがあります。表示されたときは、サイトなどと同じ操作を行ってください。

iモード

メッセージ一覧画面の機能メニューを使う

メッセージ一覧画面で ➡ P.232

● [機能] ▶ 以下の項目から選択

メッセージ一覧画面の機能メニュー 1/2

項目	説明		
1 全表示	ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。		
2 ソート	▶ 以下の項目から選択 メッセージリクエスト、メッセージフリーを日付の新しい順または古い順に並び替えます。		
	1 新しい順	メッセージリクエスト、メッセージフリーを日付の新しい順に並び替えます。	
	2 古い順	メッセージリクエスト、メッセージフリーを日付の古い順に並び替えます。	
3 フィルタ	▶ 以下の項目から選択 指定した条件に合うメッセージリクエスト、メッセージフリーだけを表示します。		
	1 未読のみ	未読のメッセージだけを表示します。	
	2 既読のみ	既読のメッセージだけを表示します。	
	3 保護のみ	保護されたメッセージだけを表示します。	
	4 メロディのみ	メロディが添付または貼り付けられたメッセージだけを表示します。	
	5 画像のみ	画像が添付されたメッセージだけを表示します。	
4 保護／保護解除	メッセージリクエスト、メッセージフリーを保護／保護解除します。		
5 保護全解除	▶「YES」を選択し、●を押す 保護されているすべてのメッセージリクエスト、メッセージフリーを保護解除します。		
6 保存件数確認	保存されているメッセージリクエスト、メッセージフリーの件数および未読件数、保護件数を表示します。		
7 削除	▶「YES」を選択し、●を押す		

メッセージ一覧画面の機能メニュー 2/2

項目	操作
1 選択削除	▶ ◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶● [完了] ▶「YES」を選択し、●を押す
2 既読削除	▶「YES」を選択し、●を押す
3 全削除	▶ 端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 端末暗証番号について→P.142

次ページにつづく

おしらせ

＜ソート＞
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば、未読メッセージだけを古い順に表示させたい場合は、フィルタメニューの「未読のみ」を選択し、ソートメニューの「古い順」を選択します。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- ソート表示でメッセージリクエスト、メッセージフリー一覧を表示させた後にその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。

＜フィルタ＞
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- フィルタ機能でメッセージリクエスト、メッセージフリー一覧を表示させた後にその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。
- 「画像表示設定」が「表示しない」に設定されている場合、「画像のみ」は選択できません。
- フィルタ機能で指定したメッセージリクエスト、メッセージフリーだけを表示しているときに「既読削除」や「全削除」を選択すると、表示されているメッセージリクエスト、メッセージフリーから、既読またはすべての保護されていないメッセージリクエスト、メッセージフリーが削除されます。

＜保護／保護解除＞
- FOMA端末に保存されているメッセージリクエスト、メッセージフリーが最大保存件数（P.229）を超えた場合、メッセージ受信時に保護されていない既読のメッセージリクエスト、メッセージフリーから古い順に上書きされます。

＜削除＞
- 未読のメッセージリクエスト、メッセージフリーも削除できます。
- 保護されているメッセージリクエスト、メッセージフリーは削除できません。

＜選択削除＞
- 未読のメッセージリクエスト、メッセージフリーも削除できます。
- 保護されているメッセージリクエスト、メッセージフリーは選択できません。

＜既読削除＞
- 保護されている既読のメッセージリクエスト、メッセージフリーは削除されません。
- フィルタ機能で指定したメッセージリクエスト、メッセージフリーだけを表示しているときは、「既読削除」を選択すると一覧画面に表示されている保護されていない既読のメッセージリクエスト、メッセージフリーのみが削除されます。

＜全削除＞
- 未読のメッセージリクエスト、メッセージフリーも削除されます。
- 保護されているメッセージリクエスト、メッセージフリーは削除されません。
- フィルタ機能で指定したメッセージリクエスト、メッセージフリーだけを表示しているときは、「全削除」を選択すると一覧画面に表示されている保護されていないすべてのメッセージリクエスト、メッセージフリーのみが削除されます。

メッセージ詳細画面の機能メニューを使う

メッセージ詳細画面で ➡ P.232

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

メッセージ詳細画面の機能メニュー

項目	説明
1 電話帳登録	メッセージリクエスト、メッセージフリーに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93
2 メロディ保存	▶「YES」を選択し、◉を押す メッセージリクエスト、メッセージフリーに添付されているメロディを保存します。
3 画像保存	メッセージリクエスト、メッセージフリーに添付されている画像を保存します。 「サイトやメッセージから画像を取り込む」→P.221
4 画像再読み込み	取得に失敗した本文中の画像を再度読み込みます。
5 保護／保護解除	メッセージリクエスト、メッセージフリーを保護／保護解除します。
6 削除	▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

<メロディ保存>
- 添付されているメロディを反転表示させて◉を押すと、指定したメロディを再生できます。
- 通話中はメロディを再生できません。
- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

<画像再読み込み>
- 再読み込みをしても画像を表示できないことがあります。
- 再読み込みするのは本文中の画像のみです。添付画像は再読み込みしません。「 」が表示されている場合も再読み込みしません。

<削除>
- 保護されているメッセージリクエスト、メッセージフリーは削除できません。

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効の設定をします。

1 menu ▶ 各種設定を選択し、◉ ▶ 8「アプリケーション通信設定」▶「証明書」を選択し、◉を押す

2 証明書を選択し、◉ ▶ 証明書を確認

■ **SSL証明書を有効または無効に設定する場合**

証明書を選択し、◉［機能］▶ 2「有効／無効設定」

おしらせ

- お買い上げのときは、すべての証明書が「有効」に設定されています。
- 「有効」に設定すると、「 」のアイコンが表示されます。「無効」に設定すると、「 」のアイコンが表示されます。
- 「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応ページが表示できなくなります。
- ドコモ証明書2は常に「有効」のため、「無効」に設定することはできません。

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスを契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトを表示できるようになります。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作をします。
- FirstPassセンターに対しユーザ証明書の発行要求を行ったり、証明書をダウンロードすることができます。
- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.44
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

次ページにつづく

◉［imode］▶ 8「ユーザ証明書操作」▶「次へ」を選択し、◉を押す

2 項目を選択し、◉を押す

■ はじめてFirstPassをご利用になる場合

「ご利用規則」を選択し、内容をよくお読みください。

■ 発行申請をする場合

「証明書発行」を選択し、画面の指示に従って操作してください。
PIN2コード入力画面でPIN2コードを入力します。
PIN2コードについて→P.143

■ ダウンロードする場合

「ダウンロード」を選択し、画面の指示に従って操作してください。

■ 失効申請をする場合

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。
PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 ☎PWR/HLD ▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

- FirstPass のユーザ証明書を発行する際に行うユーザ証明書の発行申請・ダウンロード等に発生するパケット通信料はパケ・ホーダイの対象外となりますのであらかじめご了承ください。iモード通信によるFirstPass対応サイトのアクセスに発生するパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。
- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
  - テレビ電話（音声電話は利用可）
  - iモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
  - iモード問い合わせ（SMS問い合わせは利用可）
  - スピードフォトメールの送受信
  - メッセージリクエスト、メッセージフリーの受信
  - iモーションの取り込み
  - Web To機能
- ユーザ証明書の発行申請、ダウンロード、失効申請は、連続して行うことができません。それぞれの操作が終了した後、いったん☎PWR/HLDを押してFirstPassセンターとの接続を終了させてください。
- ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
- ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。
- 失効が完了した後にFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を確認する場合は、「SSL証明書を操作する」(P.235）を参照してください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

サイト画面で ➡ P.205

ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」を選択し、◉▶PIN2コードを入力

おしらせ

- ダウンロードしたユーザ証明書を使用してFirstPass対応サイトに接続するにはPIN2コードの入力が必要です。
- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できますが、これらのサイトではお客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択すると「SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、◉を押すと元の画面に戻ります。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

■ FirstPassご利用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、別添CD-ROMのFirstPass PCソフトが必要です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。
  「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。
  お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード（P.143）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、当社窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時	ドコモ

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

MENU▶各種設定を選択し、◉▶8「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」を選択し、◉を押す

iモード

次ページにつづく

2ABC「＜未登録＞」を選択し、●［編集］▶端末暗証番号を入力し、●▶以下の項目から設定

端末暗証番号について→P.142

1 初期画面URL	接続先の初期画面のURLを設定します。入力できる文字数は半角100文字までです。
2 接続先アドレス	接続先アドレスを設定します。入力できる文字数は半角99文字までです。

3 設定が終わったら●［完了］を押す

おしらせ

- 登録したユーザ指定接続先を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
- 登録したユーザ指定接続先を削除するときは、機能メニューから「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

●メール

iモードメールとは

FOMA端末はiモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。
iモードメールをご利用いただくには「iモード」のご契約が必要です。iモードメールの送信、受信方法について→P.247、268

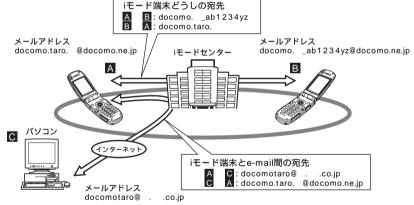
●iモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法について→P.311、313

●iモードメールについて

iモードを契約するだけで、iモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。
iモードご契約時のメールアドレスは以下のようになります。

■新規にiモードをご契約の場合

「@」より前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、iモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)　abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
<お客様のメールアドレスの確認方法>
Menu画面▶8オプション設定▶1メール設定▶「アドレス確認」

・iモード端末（mova 含む）間でメールをやりとりするときは、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
・パソコンなどの e-mail からメールを受信する場合は、「@docomo.ne.jp」も含めたアドレス全体を使用します。

・iモードメールの送信方法は→P.247
・iモードメールの受信方法は→P.268

■メール選択受信

iモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除することができます。→P.270

■メール設定を行う

以下の各種設定を行うことができます。

<設定方法>
Menu画面▶8オプション設定▶1メール設定▶「各設定」

※詳細はiモードご契約時にお渡しいたします『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

■メールアドレス変更［アドレス変更］

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

■ **シークレットコード登録［メールアドレス設定（その他設定）▶シークレットコード登録］**
電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ **メールアドレスリセット［メールアドレス設定（その他設定）▶アドレスリセット］**
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

■ **メールアドレス確認［アドレス確認］**
現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

■ **メール受信／拒否設定**
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① ドメイン指定受信［メール受信設定（受信／拒否設定）▶ドメイン指定受信］
・au、ボーダフォン、TU-KA、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
・また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。
※NTT ドコモの iモード、i ショット、一定額到達通知サービス、e ビリング請求額お知らせメール、M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信／拒否［メール受信設定（受信／拒否設定）▶アドレス指定受信、アドレス指定拒否］
・受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ iモードメールのみ受信／拒否［メール受信設定（受信／拒否設定）▶iモードメールのみ受信、iモードメールのみ拒否］
・iモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。

④ iモードメール大量送信者からのメール受信制限［メール受信設定（その他設定）▶iモードメール大量送信者からのメール受信制限］
・１日に１台のiモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のiモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ 未承諾広告※メール拒否［メール受信設定（その他設定）▶未承諾広告※メール拒否］
・受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角６文字）と記載することが法律で義務づけられています。）

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「iモードメールのみ受信」、「iモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥ SMS拒否［メール受信設定（その他設定）▶SMS拒否設定／確認］
・すべてのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認することができます。

■ **メール設定状況確認［設定状況確認］**
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ **メールサイズ制限［メールサイズ制限］**
あらかじめ指定したサイズによって、受信するiモードメールを制限することができます。

■ **メール機能停止［メール機能停止］**
メール機能を利用されない場合は、iモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

■ **迷惑メールを防ぐために**
メールアドレス変更や、アドレス指定受信／拒否などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

おしらせ

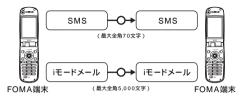
<シークレットコード登録>
● ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

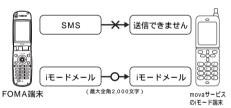
● SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

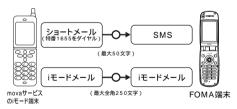
● 3種類のメール機能の送受信について

FOMA端末 ⇒ FOMA端末へ

SMSは、相手がFOMA端末の場合のみ送受信できます。

FOMA端末 ⇒ movaサービスのiモード端末へ

FOMA端末からmovaサービスのiモード端末へのメッセージ送信時は、iモードメールを利用します。

※FOMA端末からmovaサービスのiモード端末へSMSを送信することはできません。

movaサービスのiモード端末 ⇒ FOMA端末へ

movaサービスのiモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。

※： ショートメールとは、ドコモの携帯電話どうしで文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末からショートメールを送信することはできません。特番1655をダイヤルして送信することもできません。
- FOMA端末では、movaサービスのiモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

● 送受信できる文字数

iモードメール、SMSで送受信できる文字数は、それぞれ以下のとおりです。

■iモードメール

項目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	—	50文字
本文	5,000文字※	10,000文字※

※： メロディ、画像、iモーションなどのファイルを添付した場合は、送受信可能な本文文字数は少なくなります。また、デコメールで送信できる文字数は、規定の半分以下の文字数になります。

■SMS

項目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど※1）
電話番号	−	20文字（数字のみ）※2
本文	70文字	160文字※3

※1：半角のカタカナは、全角1文字として数えます。
※2：先頭に半角の「+」を入力した場合は21文字です。
※3：半角の英数字や記号（｡｢｣{ } [ ] |、･-ﾞﾟ ^ ` ~ を除く）のみの場合（その他の文字が混在する場合は70文字まで）。

おしらせ

- iモードメールの本文は全角5,000文字（10,000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。iモードメールで対応していない添付ファイルの送受信はできません。iモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。このとき本文の先頭に［添付ファイル削除］の文字が追加されます（［添付ファイル削除］も含めて、受信可能な文字数まで受信できます）。
- iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- movaサービスのiモード端末へiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2,000文字までです。また、iショット以外の添付ファイルを送信した場合は、添付ファイルは削除されます。
- iモードメールの題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- iモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

● メールを受信できないとき

iモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただし、お客様のiモード端末の電源が入っていない場合やiモード圏外などで受信できないとき、または「メール選択受信設定」（P.297）を「ON」に設定しているときは、メールはiモードセンターに保管されます。
iモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。その他設定により、iモードセンターでiモードメールを選択して受信することができます。

おしらせ

<iモードメール>
- iモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は以下のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	207〜1,000件 (約2Mバイトまで)	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、iモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときiモード端末には「(赤色)」が表示されます。なお、「メール選択受信設定」（P.297）が「ON」に設定されているときは、保管件数を超えても「(赤色)」は表示されません。
- iモードセンターに保管されているメールは、「iモード問い合わせ」（P.271）や「メール選択受信」（P.270）により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されているほかのメール、メッセージリクエストやメッセージフリーも合わせて受信できます。
- iモード端末でメールを受信するとiモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはiモード端末に保存されます。→P.268
- 極端に容量の大きいメールはiモードセンターで受け付けないことがあります。
- メール機能停止を行っている場合は、iモードセンターで新しいメールの保管を行いません。

<SMS>
- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信したSMSの保管期間は「SMS有効期間設定」（P.298、313）で設定できます。
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問い合わせ」（P.315）により受信できます。
- FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。
- FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードに移動／コピーできます。→P.317

● こんなこともできます

■ファイル添付メール

・メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、iモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません）。

・iモードメールにメロディを添付して送信するには→P.264
・メロディが添付されたiモードメールを受信したときは→P.275

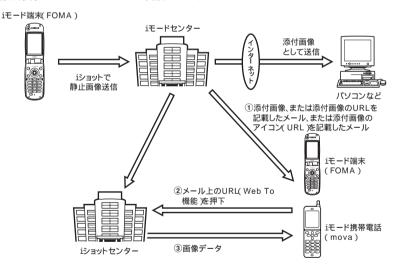
・画像添付メール

サイトやインターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをiモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。iショット以外の添付ファイルをmovaサービスのiモード端末へ送信した場合は、添付ファイルは削除されます）。

・iモードメールに画像を添付して送信するには→P.264
・画像が添付されたiモードメールを受信したときは→P.276

■iショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてiモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が自動的に付けられて送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。movaサービスのiモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

・iモードメールに画像を添付して送信するには→P.264
・画像が添付されたiモードメールを受信したときは→P.276

※：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

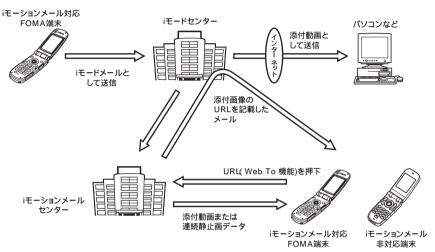
iショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
iモード端末が受信できるのは最大500Kバイトまでの画像となります。また、ダウンロードした画像はiモード端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■iモーションメール

iモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をiモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話との間で送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

・iモーションメールを送信するには→P.264
・iモーションメールを受信したときは→P.277

■ サービスのしくみ

iモーションメールに添付された動画ファイルはiモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコン等の場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。
iモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取り込むことができます。
iモーションメール非対応端末へ送信した場合は、iモーションが連続静止画に変換され、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取り込みます。

iモーションメールセンターでは最大10日間画像が保管され、保管期間経過後自動的に削除されます。
iモーションメール対応端末が受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、ダウンロードした動画はiモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール（デコレーションメール）

iモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、iモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLの付いたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。
・デコメールを作成して送信する→P.256
・対応機種：70Xiシリーズ、90Xiシリーズ
　　　　　　880iES（受信したデコメールの閲覧のみ対応）

■ メール同報送信

同じiモードメールを一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P.251

■ Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、iモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。
ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。→P.250
「新規メール画面の機能メニューを使う」新規メール画面の機能メニュー 1/3「7 宛先タイプ変更」→ P.250

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

次ページにつづく

おしらせ

＜メロディ添付メール＞＜画像添付メール＞
- 内蔵カメラで撮影した写真の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できます。
- movaサービスのiモード端末（501全機種、R691i、R209iを除く）へiモードメールを送信した場合、添付できる画像はJPEG形式で1ファイルのみ送信できます。

＜iモーションメール＞
- iモード端末へiモーションメールを送信した場合、iモーションメールセンターに保存されたiモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得することができます。50回を超えた場合は、iモーションの取得ができなくなります。
- 内蔵カメラで撮影した動画の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できます。
- iモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

＜メール同報送信＞
- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

＜チャットメール＞
- 通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

■お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、受信メール、送信メール、保存メールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.394）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、受信メール、送信メール、保存メールの内容をパソコンに保管することもできます。

〈メールメニュー〉

メールメニューを表示する

1 ◉［MAIL］を押す

メールメニュー 1/2

1 受信BOX	受信フォルダ一覧画面を表示します。フォルダごとにメールを分けて管理できます。メール連動型iアプリのメールやチャットメールは、専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、受信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。→P.277
2 送信BOX	送信フォルダ一覧画面を表示します。フォルダごとにメールを分けて管理できます。メール連動型iアプリのメールやチャットメールは、専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、送信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。→P.277
3 保存BOX	保存メール一覧画面を表示します。一時保存したiモードメールやSMSの内容を確認できます。→P.266
4 新規メール作成	iモードメールを作成する画面を表示します。
5 チャットメール	「チャット画面」を表示します。→P.303
6 SMS作成	SMSを作成する画面を表示します。
7 iモード問い合わせ	iモード問い合わせを行って､iモードセンターに保管されているiモードメールを受信します。
8 メール選択受信	iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除できます。
9 SMS問い合わせ	SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信します。
0 テンプレート	「テンプレート画面」を表示します。→P.262

メールメニュー 2/2

1 メール設定	「FOMA端末のメール機能を設定する」→P.296

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

iモードメールを作成して送信する

iモードメールを新規に作成して送信します。

●メロディ、画像、動画やiモーションを添付するには→P.264

●メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きをつけたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメールについて→P.256

●文字を入力する→P.522

1 ◉［✉MAIL］▶ 4「新規メール作成」

「新規メール画面」が表示されます。

新規メール画面

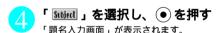
2 「To」を選択し、◉を押す

「宛先入力画面」が表示されます。

3 宛先を入力し、◉を押す

「宛先入力／題名入力画面の機能メニューを使う」→P.252

宛先入力画面

4 「Subject」を選択し、◉を押す

「題名入力画面」が表示されます。

5 題名を入力し、◉を押す

題名に入力できる文字数は全角15文字、半角30文字までです。

「宛先入力／題名入力画面の機能メニューを使う」→P.252

題名入力
こんばんは
20
12:05
文字 確定 機能

題名入力画面

6 「📄」を選択し、◉を押す

「本文入力画面」が表示されます。

7 本文を入力し、◉を押す

本文に入力できる文字数は全角で5,000文字、半角で10,000文字までです。

本文編集中に改行することもできます。改行したときは「↲」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

「本文入力画面の機能メニューを使う」→P.253

デコメールを作成して送信することもできます。→P.256

テンプレートを利用してデコメールを作成し、送信することもできます。→P.260

本文入力画面

メール

次ページにつづく

■ iモードメール本文入力中の画面について

iモードメール本文入力中の画面は以下のように表示されます。

①メール本文入力画面　：入力を確定したメール本文が表示されます。

②文字入力（編集）画面：文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアが表示されます。入力確定前の文字はここに表示されます。
文字入力（編集）画面でワード予測機能を利用して入力できます。→P.529

8 内容を確認し、◉［送信］

メール送信中のアニメーション画面が表示され、iモードメールが送信されます。◉を押すとメールメニュー画面に戻ります。

■ 送信を途中で中止する場合

CLRを1秒以上押す

ただし、タイミングによりiモードメールが送信されることもあります。

● 電話帳の画面から、iモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを検索して表示し、◉［MAIL］を押します。

電話帳の検索について→P.98

表示されていたメールアドレスが新規メール画面の宛先に貼り付けられます。

● 編集中のiモードメールを一時保存する

メール作成中に、新規メール画面で機能メニューから「保存」を選択します。

作成中のメールが保存BOXに保存されます。SMSと合わせて20件まで保存できます。

なお、保存メールが20件になると、iモードメールもSMSも新たに作成できません。

保存したiモードメールは後で送信できます。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている送信メール（iモードメールとSMSの合計）が400件または保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- 「ダイヤル発信制限」設定中は、宛先を直接入力することはできません。
- 題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると受信側で正しく表示されないことがあるため、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外に使わないでください。
- 送信を行わずに、CLR、PWR/HLD を押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、それまで入力した文字は消去されます。入力した文字を消去したくないときは、「NO」を選択すると元の画面に戻ります。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると「184」または「186」を削除して送信します。「NO」を選択すると元の画面に戻ります。
- 宛先に「,（カンマ）」が入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信することができます。ただし、Toを設定せずにiモードメールを送信することはできません。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 「シークレットコード」（P.102）が設定されている電話帳の宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先にはシークレットコードは保存されません。
- 宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外の場合は、シークレットコードは追加されません。
- 相手がiモードの契約をしている場合は、movaサービスのiモード端末に対してもFOMA端末からiモードメールを送信できます。
- 本文編集中に改行することができます。改行は全角1文字としてカウントされます。
- スペース（空白）も文字と同じように文字数にカウントされます。

新規メール画面の機能メニューを使う

新規メール画面で ➡ P.247

● ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

新規メール画面の機能メニュー画面

新規メール画面の機能メニュー 1/3

項目		説明
1 送信		iモードメールを送信します。
2 送信プレビュー		送信する前にメールの宛先や内容を確認します。
3 保存		編集中のメールを保存BOXに保存します。「iモードメールを保存する」→P.266
4 宛先参照入力	▶ 以下の項目から選択 電話帳や履歴、メールメンバーを参照して宛先を入力します。	
	1 電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを入力します。 「電話帳から宛先を検索する」→P.251
	2 送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
	3 受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
	4 メールメンバー	メールメンバーからメールアドレスを入力します。 「メールメンバーから宛先を入力する」→P.252
5 宛先追加	▶ 以下の項目から選択 電話帳や履歴、メールメンバーから宛先を追加します。「宛先を追加する」→P.251	
	1 電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを追加します。
	2 送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを追加します。
	3 受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを追加します。
	4 直接入力	1文字ずつ入力してメールアドレスを追加します。

次ページにつづく

⑥ 宛先削除	▶「YES」を選択し、◉を押す 追加した宛先を削除します。削除した宛先の後に宛先が入力されているときは、宛先はつめて表示されます。宛先が1件しか入力されていないときは、宛先を削除できません。	
⑦ 宛先タイプ変更	▶以下の項目から選択 宛先を選択した状態で宛先のタイプを変更します。	
	① To	送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。
	② Cc	同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。
	③ Bcc	同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。

新規メール画面の機能メニュー 2/3

① テンプレート	テンプレートを利用してデコメールを作成します。「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.260	
② 添付ファイル追加	▶以下の項目から選択 iモードメールにメロディ、画像、iモーションのデータを添付します。 「ファイルを添付する」→P.264	
③ カメラ起動	▶以下の項目から選択 カメラ機能を起動します。 「静止画を撮影する」→P.166 「動画を撮影する」→P.176	
	① フォトモード	カメラ機能を起動して静止画を撮影します。撮影できる画像サイズは待受（240×320）またはメール小（128×96）です。画像保存設定はノーマルです。
	② ムービーモード	カメラ機能を起動して動画を撮影します。撮影できる画像サイズはサイズ大（176×144）またはサイズ小（128×96）、動画容量設定はメール（小）またはメール（大）です。
④ 添付ファイル削除	▶「YES」を選択し、◉を押す	
⑤ 添付ファイル全削除	▶「YES」を選択し、◉を押す	
⑥ 冒頭文貼付	メールの本文に冒頭文を貼り付けます。	
⑦ 署名貼付	メールの本文に署名を貼り付けます。	

新規メール画面の機能メニュー 3/3

① 本文消去	▶「YES」を選択し、◉を押す 編集中のメールの本文を消去します。
② メール削除	▶「YES」を選択し、◉を押す 編集中のメールを削除します。

おしらせ

<宛先タイプ変更>

- 宛先に「To」設定がないiモードメールは送信できません。
- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。

<冒頭文貼付><署名貼付>

- 「冒頭文／署名設定」で「自動貼付」のチェックボックスを選択していると、iモードメール作成時に自動的に冒頭文や署名が貼り付けられます。
- 貼り付けようとした冒頭文や署名と本文（添付したメロディ・画像を含む）の合計が全角5,000文字、半角10,000文字を超えてしまうときは、冒頭文や署名を貼り付けることができません。
- 冒頭文や署名を貼り付ける場合、冒頭文は本文の最初の文字の文字色と文字サイズに、署名は本文の最後の文字の文字色と文字サイズに従って装飾されます。

電話帳から宛先を検索する

電話帳でメールアドレスを検索して、宛先に入力することができます。

新規メール画面の機能メニュー画面で ➡ P.249

1 **4「宛先参照入力」▶ 1「電話帳」▶ 検索する方法を選択し、●を押す**

電話帳の検索について→P.98

2 **電話帳詳細画面でメールアドレスを選択し、●を押す**

3 **題名、本文を編集して送信する**

これ以降の詳しい操作手順については、P.247の操作4～8を参照してください。

おしらせ

- すでに電話番号やメールアドレスなどが入力されていた場合は、上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。上書きするときは「YES」を選択します。上書きしないときは「NO」を選択します。
- 「指定発信制限」設定中は、「指定発信制限」に指定されている電話番号のみを呼び出すことができます。
- 「履歴表示設定」の「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定している場合は、「発信履歴」や「送信アドレス一覧」は表示できません。「履歴表示設定」の「着信履歴」を「OFF」に設定している場合は、「着信履歴」や「受信アドレス一覧」は表示できません。
- ［切替］が表示されている場合は、●［切替］を押して送信アドレス一覧とリダイヤルを切り替えたり、受信アドレス一覧と着信履歴を切り替えることができます。

宛先を追加する

宛先を追加して、一度に複数の宛先にメールを送信することができます。（同報送信）

- 宛先は5件まで入力できます。すでに5件の宛先を入力している場合や、宛先を1件も入力していない場合は、機能メニューの「宛先追加」を選択することができません。

＜例：電話帳を参照して宛先を追加する場合＞

新規メール画面の機能メニュー画面で ➡ P.249

1 **5「宛先追加」▶ 1「電話帳」▶ 検索する方法を選択し、●を押す**

電話帳の検索について→P.98

2 **電話帳詳細画面でメールアドレスを選択し、●を押す**

さらに宛先を追加するときは操作1～2を繰り返します。

■ 入力した宛先を変更する場合

変更したい宛先を選択してメールアドレスを入力し直す

機能メニューから「宛先参照入力」を選択して宛先を変更（上書き）することもできます。

3 **題名、本文を編集して送信する**

これ以降の詳しい操作手順については、P.247の操作4～8を参照してください。

メール

次ページにつづく

おしらせ

- 送信できなかった宛先があると、送信できなかった宛先があることを表すメッセージが表示されます。
- 同じ宛先が複数入力されているメールを送信しようとしたときは、重複する宛先を削除して送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、重複しているアドレスを削除して送信します。送信を中止する場合は「NO」を選択します。

メールメンバーから宛先を入力する<メールメンバー>

メールメンバーを利用すると、一度に複数の宛先を指定できます。
メールメンバーを利用するには、あらかじめメールメンバーにメールアドレスを登録しておく必要があります。→P.267

新規メール画面の機能メニュー画面で ➡ P.249

1 4「宛先参照入力」▶ 4「メールメンバー」

2 メールメンバーを選択し、● を押す

メールメンバーを選択すると、宛先に入力されます。

3 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.247の操作4～8を参照してください。

おしらせ

- 「ダイヤル発信制限」設定中は、メールメンバーを参照して宛先を入力することはできません。
- すでに宛先が入力されているときにメールメンバーで宛先を入力しようとすると、宛先を上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、上書きされます。「NO」を選択すると、上書きされません。

宛先入力／題名入力画面の機能メニューを使う

宛先入力／題名入力画面で ➡ P.247

1 ●［機能］▶ 以下の項目から選択

宛先入力／題名入力画面の機能メニュー 1/4

項目	参照
1 絵文字記号連続入力	「記号や絵文字を連続入力する」→P.534
2 大文字切替※1	「小文字／大文字を切り替える」→P.532
3 全角切替※2	「全角／半角を切り替える」→P.524
4 コピー	「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540
5 切り取り	「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540
6 貼り付け	「文字を貼り付ける」→P.541
7 定型文入力	「定型文を入力する」→P.537

※1：題名入力画面では「2小文字切替」になります。
※2：題名入力画面では「3半角切替」になります。

宛先入力／題名入力画面の機能メニュー 2/4

1 スペース入力	「スペース（空白）を挿入する」→P.533
2 改行入力	「文章を改行する」→P.533
3 記号入力	「記号を入力する」→P.534
4 絵文字入力	「絵文字を入力する」→P.534
5 区点入力	「区点入力」→P.542
6 上書きモード※1	文字を入力したとき、カーソル上の文字を上書きするかカーソル位置に挿入するかを選択します。
7 電話帳引用	「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.538

※1：上書きモードのときは「6挿入モード」になります。

宛先入力／題名入力画面の機能メニュー 3/4

1 個人データ引用	「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.538
2 アクセスリーダー	「アクセスリーダー」で取得した文字情報を貼り付けます。「文字を読み取る」→P.189
3 バーコードリーダー	「バーコードリーダー」で取得した文字データを貼り付けます。「バーコードリーダーを利用する」→P.184
4 辞典検索	辞典を起動します。「辞典を利用する」→P.452
5 ワード予測ON※1	過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用する／しないを設定します。→P.529
6 入力モード切替	▶ **以下の項目から選択** 入力モードを切り替えます。 1 **モード1（かな方式）**：文字入力方式を「かな方式」に切り替えます。 2 **モード2（2タッチ方式）**：文字入力方式を「2タッチ方式」に切り替えます。 3 **モード3（T9入力方式）**：文字入力方式を「T9入力方式」に切り替えます。
7 T9漢字変換モード※2	T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。「T9変換モード」が「T9漢字変換モード」に設定されている場合は「T9かな変換モード」が、「T9かな変換モード」に設定されている場合は、「T9漢字変換モード」が表示されます。また、文字入力中の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、「文字入力方式」で設定した状態に戻ります。

※1：題名入力画面では「5ワード予測OFF」になります。
※2：T9漢字変換モードのときは「7T9かな変換モード」になります。

宛先入力／題名入力画面の機能メニュー 4/4

1 JUMP	▶ **以下の項目から選択** カーソルをすばやく移動させます。 1 **文頭へJUMP**：カーソルを文章の文頭へすばやく移動させます。 2 **文末へJUMP**：カーソルを文章の文末へすばやく移動させます。

本文入力画面の機能メニューを使う

本文入力画面で ➡ P.247

[機能] ▶ 以下の項目から選択

本文入力画面の機能メニュー画面

メール

次ページにつづく

本文入力画面の機能メニュー 1/3

1 デコレーション	「本文を装飾する」→P.257
2 絵文字記号連続入力	「記号や絵文字を連続入力する」→P.534
3 小文字切替	「小文字／大文字を切り替える」→P.532
4 半角切替	「全角／半角を切り替える」→P.524
5 コピー	「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540
6 切り取り	「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540
7 貼り付け	「文字を貼り付ける」→P.541

本文入力画面の機能メニュー 2/3

1 定型文入力	「定型文を入力する」→P.537
2 スペース入力	「スペース（空白）を挿入する」→P.533
3 改行入力	「文章を改行する」→P.533
4 記号入力	「記号を入力する」→P.534
5 絵文字入力	「絵文字を入力する」→P.534
6 電話帳引用	「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.538
7 個人データ引用	「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.538

本文入力画面の機能メニュー 3/3

1 辞典検索	辞典を起動します。「辞典を利用する」→P.452	
2 JUMP	▶以下の項目から選択 カーソルをすばやく移動させます。	
	1 文頭へJUMP	カーソルを文頭へ移動させます。
	2 文末へJUMP	カーソルを文末へ移動させます。
3 プロパティ	本文に挿入した画像のファイル名、ファイルサイズを表示します。	
4 元に戻す	入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。	
5 プレビュー	本文のプレビュー画面を表示します。	
6 ウィンドウ切替	参照返信メールの本文入力時に、参照画面と本文入力画面を切り替えます。「操作する画面を切り替える」→P.545	

おしらせ

<元に戻す>
- 「元に戻す」で1つ前の状態に戻した後、「元に戻す」の取り消しはできません。
- 本文入力画面で◉を押して新規メール画面に戻ると、再度本文入力画面を表示しても「元に戻す」で1つ前の状態には戻せません（「プレビュー」を選択してプレビュー画面を表示した後の場合は戻すことができます）。

<プレビュー>
- メール本文に電話番号やメールアドレス、URLやｉアプリの起動指定があると、プレビュー画面でそれらがアンダーラインで表示されますが、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能、ｉアプリTo機能を利用することはできません。

通話中に撮影した静止画を送信する＜スピードフォトメール＞

音声通話中の相手に対して、その場で撮影した静止画またはFOMA端末に保存されている静止画を送信できます。
- スピードフォトメールを利用するには、あらかじめ通話中の相手の電話番号とメールアドレスが同じ電話帳に登録されている必要があります。

<例：その場で撮影した静止画を送信する場合>

通話中画面の機能メニュー画面で ➡ P.49

1 1「スピードフォトメール」▶2「フォトモード」

■ FOMA端末に保存されている静止画を送信する場合

1「スピードフォトメール」▶4「マイピクチャ」
送信できない静止画は選択できません。
データ量が9,000バイト以下の「メール（大)」「メール（小)」の画像のみ送信可能です。

2 ●または▼［📷］を押して撮影する

撮影時にはシャッター音が鳴ります。
撮影前に明るさの調節や画像サイズの設定などカメラの応用機能を利用できます。→P.164
「スピードフォトメールの撮影確認画面」が表示されます。

スピードフォトメールの撮影確認画面

3 ●▶●を押す

送信を確認するメッセージが表示されます。

■ 複数のメールアドレスが登録されている場合

送信する宛先のメールアドレスを選択する

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

おしらせ

● 以下の場合には本機能を利用できません。
- 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
- 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で電話帳に登録されているとき
- 通話中の相手から電話番号が通知されなかったとき（非通知設定、通知不可能など）
- 「指定発信制限」設定中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
- 「PIMロック」設定中
- パケット通信中（PPP）
- 保存メールが20件あるとき
- キャッチホン中
- ソフトウェア更新中に通話状態になったとき

● 通話中の相手に対して複数のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、送信確認の画面で反転表示されるアドレスの優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
①iモードのアドレス（「@」より後がdocomo.ne.jp）
②ドメインのないアドレス、電話番号（ドメイン名とは、「@」より後の文字のことです）
③電話帳に登録されている1番目のアドレス

● 本機能で送信したメールは、自分の電話番号が題名となり、送信BOXに保存されます。

●「画像サイズ選択」が「1M（1160×870)」、「VGA（640×480)」、「CIF（352×288)」、「フルスクリーン（240×345)」、「待受（240×320)」のいずれかで設定されている場合でも、本機能を起動すると設定は「メール大（176×144)」となります。

● 本機能起動中に「画像サイズ選択」を変更する場合、「メール大（176×144)」、「メール小（128× 96)」以外は選択できません。

●「添付ファイル設定」で画像を受信しないように設定した場合、スピードフォトメールの静止画も受信できなくなります。

スピードフォトメールの撮影確認画面の機能メニューを使う

スピードフォトメールの撮影確認画面で ➡ P.255

◉［機能］▶以下の項目から選択

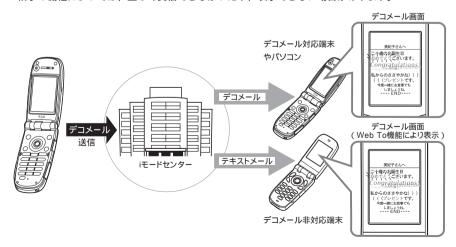
スピードフォトメールの撮影確認画面の機能メニュー

項目	操作	説明
1 保存&メール送信	**▶「YES」を選択し、◉▶「本体」または「miniSD」を選択▶「本体」を選択した場合はフォルダを選択し、◉を押す** 撮影した静止画をマイピクチャに保存してからスピードフォトメールを送信します。	
2 iモードメール作成	**▶メールアドレスを選択し、◉を押す** 撮影した静止画を保存しないでスピードフォトメールを送信します。	
3 イメージ貼付	撮影した静止画を保存し、イメージ貼付を行ってからスピードフォトメールを送信します。「静止画確認画面の機能メニューを使う」の「5 イメージ貼付」と同様の操作です。→P.169	
4 ファイル制限	**▶以下の項目から選択** ファイル制限を設定します。	
	1 なし （お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
5 取り消し	**▶「YES」を選択し、◉を押す** 撮影した静止画を削除して撮影し直します。	

〈デコメール〉

デコメールを作成して送信する

デコメールは、iモードメール（テキストメール）本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きをつけたり、ラインや画像を本文内に挿入して表現力豊かなメールにしたものです。

- デコメールの作成方法には、デコレーションを選択してから本文を入力する方法と、本文を入力してから装飾する方法があります。
- デコメールで本文を装飾すると、テキストメールでの本文入力より入力できる文字数が減ります。
- デコメール非対応端末に送信した場合、URLの付いたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下することにより、Web To機能でデコメールを閲覧することができます。相手の機種によっては、正しく受信できなかったり、表示できない場合があります。

おしらせ

- 受信したデコメールを引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
- メール送信できない画像が含まれたデコメールを引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。
- パソコンなど、デコメール対応iモード端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- デコメール非対応端末にデコメールを送信した場合、iモードセンターでは最大10日間保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

本文を装飾する

本文入力画面の機能メニュー画面で ➡ P.253

[i/あ]「デコレーション」▶以下の項目から選択

項目	操作・説明	
1 色	▶[方向キー]で色を選択し、●▶本文を入力し、●を押す 入力する文字の色をカラーパレットから選択します。●［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。	
2 サイズ	▶以下の項目から選択▶本文を入力し、●を押す 入力する文字のサイズを選択します。	
	1 大	大きい文字サイズに設定します。
	2 標準	標準の文字サイズに設定します。
	3 小	小さい文字サイズに設定します。
3 画像	▶以下の項目から選択 挿入する画像を選択します。	
	1 画像	マイピクチャに保存されている画像を選択し、挿入します。→P.345
	2 カメラ	カメラ機能を起動し、挿入する静止画を撮影します。→P.166 撮影される静止画の画像サイズはメール小（128×96）です。
4 点滅	▶1 開始▶点滅させる文字を入力し、●▶●［機能］▶[i/あ]「デコレーション」▶4 点滅▶2 終了 入力した文字を点滅させます。	
	1 開始	点滅を開始する位置を指定します。
	2 終了	点滅を終了する位置を指定します。
5 テロップ	▶1 開始▶テロップ表示させる文字を入力し、●を押す 入力した文字をテロップ表示させます。	
	1 開始	テロップを開始する位置を指定します。
	2 終了	テロップを終了する位置を指定します。
6 スウィング	▶1 開始▶スウィングさせる文字を入力し、●を押す 入力した文字をスウィングさせます。	
	1 開始	スウィングを開始する位置を指定します。
	2 終了	スウィングを終了する位置を指定します。
7 位置	▶以下の項目から選択▶本文を入力し、●を押す 入力する文字位置を設定します。 文字位置を指定した行の長さが画面上の1行に表示しきれない場合は、複数の行にわたって文字位置が変更されます。	
	1 左寄せ	文字を左寄せに指定します。
	2 センタリング	文字を中央に指定します。
	3 右寄せ	文字を右寄せに指定します。
8 ライン	ラインを挿入します。	
9 背景	▶[方向キー]で色を選択し、●を押す カラーパレットから背景色を選択します。●［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。	
※ 変更	「装飾を変更する」→P.258	

次ページにつづく

0 全解除	▶「YES」を選択し、◉を押す すべての装飾を解除します。

おしらせ

- 256色パレットで選択した最新の5色が、25色パレットの最下段に表示されます。
- 別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときはその文字色の設定を解除してください。
- 別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字サイズに設定が変わります。
- JPEG形式の画像またはGIF形式の画像はメール本文と合わせて10,000バイトまで挿入できます。
- 挿入できる画像は、最大10件までです。ただし、操作によっては10件以下でもメモリ不足を通知するメッセージが表示されることがあります。メモリ不足の警告メッセージが表示された場合は、◉を押します。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、メールをいったん保存した後に編集する場合は、同一の画像でも別途1件として扱われます。
- 編集画面上ですでに挿入されている画像をコピーし、貼り付けた場合も同一画像の挿入と見なされ、コピー元と合わせて1件として扱われます（再編集時も有効です）。
- アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は挿入できません。
- 点滅は、一定の時間が経過すると通常の表示になります。テロップやスウィングの動作は、一定の時間が経過すると停止します。
- メール作成画面で「冒頭文貼付」や「署名貼付」を行った場合、冒頭文は本文先頭の、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。冒頭文、署名の装飾を変更するときは、貼り付けた後にデコメール画面の機能メニュー画面で「デコレーション」、「変更」の順に選択します。
- 背景色によっては、画像やiモーションの取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データだけが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。

装飾を変更する

本文入力画面の機能メニュー画面で ➡ P.253

i「デコレーション」▶ ＊ 0 変更 ▶ ◉ ▶ ✣で始点を選択し、◉ ▶ ✣で終点を選択し、◉ ▶ 以下の項目から選択

1 色	▶ ✣で色を選択し、◉を押す 範囲を指定した文字の色を変更します。 変更する文字の色をカラーパレットから選択します。◉［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。
2 サイズ	▶ 以下の項目から選択 範囲を指定した文字のサイズを変更します。
	1 大：大きい文字サイズに変更します。
	2 標準：標準の文字サイズに変更します。
	3 小：小さい文字サイズに変更します。
3 画像	挿入した画像を変更することはできません。本文入力画面で画像を削除してから、送信したい画像を挿入してください。
4 点滅	▶ 以下の項目から選択 範囲を指定した文字の点滅を変更または解除します。
	1 設定：点滅の設定を変更します。
	2 解除：点滅を解除します。
5 テロップ	▶ 以下の項目から選択 範囲を指定した文字のテロップ表示を変更または解除します。
	1 設定：テロップの設定を変更します。
	2 解除：テロップ表示を解除します。
6 スウィング	▶ 以下の項目から選択 範囲を指定した文字のスウィングを変更または解除します。
	1 設定：スウィングの設定を変更します。
	2 解除：スウィングを解除します。

7 ⑦位置	▶**以下の項目から選択** 範囲を指定した文字の位置を変更します。 1 ①左寄せ：文字を左寄せに変更します。 2 ②センタリング：文字を中央に変更します。 3 ③右寄せ：文字を右寄せに変更します。
8 ⑧ライン	挿入したラインを変更することはできません。本文入力画面でラインを削除してから、ラインを挿入してください。
9 ⑨背景	指定した背景色を変更することはできません。本文入力画面で● ［機能］を押し、1「デコレーション」▶ 9「背景」の順に選択して背景色を変更してください。
0 ⓪解除	範囲を指定した文字の「文字色」、「サイズ」、「点滅」、「テロップ」、「スウィング」の装飾を解除します。
# ＃戻る	本文入力画面に戻ります。
● ［Undo］	入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。

デコメールピクチャ一覧

以下のデコメールピクチャは「マイピクチャ」の「デコメールピクチャ」フォルダに保存されています。

- デコメールピクチャを本文に挿入するには、本文入力画面で● ［機能］→ 1「デコレーション」→ 3 ③画像→ 1 ①画像→「デコメールピクチャ」フォルダの順に選択します。
- デコメールピクチャは、実際の画面表示と異なる場合があります。

ミッキーとミニーのデート1

ミッキーとミニーのデート2

ミッキーとミニーのデート3

ミッキーとミニーのデート4

ミッキーとミニーのデート5

HELLO

おやすみ

ヤッホー

元気？

がんばってね

遊ぼう

メールちょっ

どっか行かない？

ラブラブ

ありがとう

ごめん

オメデトウゴザイマス

プロレス

怒った1

誕生日

おめでとう1

Congratulations

ガウォー！

アチョー！

ハート1

音符

キラキラ1

困った

メール

次ページにつづく

メール

テンプレートを利用してデコメールを作成する

あらかじめ登録されているテンプレートを利用して、デコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。
お買い上げのときに登録されているテンプレート→P.264

- テンプレートは、サイトからダウンロードすることができます。「サイトからデータファイルを取り込む」→P.223
- テンプレートはテンプレートプレビュー画面で編集することができます。→P.263
- テンプレートにはあらかじめ装飾情報が含まれています。このため、テキストメールより入力できる文字数が少なくなる場合があります。
- 以下のような場合にテンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
  - ・すでにメール本文が入力されている場合
  - ・冒頭文・署名が自動挿入されている場合
  - ・添付ファイルがある場合
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートは、選択することができません。
- 文字を入力する→P.522

新規メール画面の機能メニュー画面で ➡ **P.249**

1 **◎▶ [i/あ]「テンプレート」▶ [i/あ]「テンプレート読込み」▶テンプレートを選択し、◉を押す**

■ テンプレートをプレビュー表示する場合

テンプレートを選択して◉［デモ］を押す

テンプレートプレビュー画面が表示されます。

・プレビュー表示中は◎を押してほかのテンプレートに表示を切り替えることができます。
・テンプレートが1画面に収まらない場合は◎でスクロールできます。
・プレビュー中にも、◉を押してテンプレートを選択できます。

2 ◉を押し、本文を編集する

©BVIG

テンプレートを適用した後も、本文を編集できます。「デコレーション」（P.256）を使い、さまざまな装飾を追加できます。

3 ◉を押す

©BVIG

編集したメール本文が確定し、新規メール画面に戻ります。

メール本文に電話番号やメールアドレス、URLやiアプリの起動指定があると、プレビュー画面でそれらがアンダーラインで表示されますが、Phone To／AV Phone To機能、Mail To 機能、Web To 機能を利用することはできません。

4 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.247の操作4～8を参照してください。

テンプレートを保存する

作成中のメールをテンプレートとして保存することができます。

- テンプレートは最大45件まで保存することができます。
- 挿入画像以外の添付／貼付ファイルがある場合、挿入画像以外の添付／貼付ファイルは削除され、テンプレートとして保存されます。
- テキストメールのみの場合は、テンプレートとして保存することができません。
- テンプレートは、メールメニューの「テンプレート」に保存されます。

新規メール画面の機能メニュー画面で ➡ P.249

1 ◎▶1「テンプレート」▶2「テンプレート保存」▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトルになります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」（西暦／月／日 時：分）となります。日付・時刻が設定されていない場合は、「templateXX」（XX：01～45）となります。

メール

テンプレートの一覧を表示する

1 ◉［MAIL］▶ 0わをん「テンプレート」

「テンプレート画面」が表示されます。

テンプレート画面

テンプレート画面の機能メニューを使う

テンプレート画面で ➡ P.262

◉［機能］▶ 以下の項目から選択

テンプレート画面の機能メニュー 1/2

項目	説明	
1 iモードメール作成	テンプレートを利用して、デコメールを作成します。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.260	
2 ソート	▶ **以下の項目から選択** 指定した条件に従ってテンプレートを並び替えます。	
	1 新しい順	保存日時の新しい順に並び替えます。
	2 古い順	保存日時の古い順に並び替えます。
	3 タイトル（昇順）	タイトルの昇順に並び替えます。
	4 タイトル（降順）	タイトルの降順に並び替えます。
3 タイトル編集	▶ **タイトルを入力し、◉を押す** 全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522	
4 情報表示	テンプレートの保存日時、サイズ、画像の有無を表示します。	
5 保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。	
6 削除	▶ **「YES」を選択し、◉を押す**	
7 選択削除	▶ **テンプレートを選択し、◉ ▶ ◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す**	

テンプレート画面の機能メニュー 2/2

項目	説明
1 全削除	▶ **端末暗証番号を入力し、◉ ▶「YES」を選択し、◉を押す** 端末暗証番号について→P.142

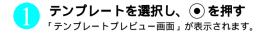
おしらせ

<iモードメール作成>
●「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

テンプレートのプレビューを表示する

テンプレート画面で ➡ P.262

1 テンプレートを選択し、◉を押す

「テンプレートプレビュー画面」が表示されます。

テンプレート
プレビュー画面

テンプレートプレビュー画面の機能メニューを使う

テンプレートプレビュー画面で ➡ P.263

◉［機能］▶以下の項目から選択

テンプレートプレビュー画面の機能メニュー

1 iモードメール作成	テンプレートを利用して、デコメールを作成します。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.260
2 編集	テンプレートを編集します。
3 挿入画像保存	**▶画像を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶フォルダを選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す** テンプレートに挿入されている画像を保存します。画面表示に設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

おしらせ

<iモードメール作成>

●「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

<編集>

●別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」（西暦／月／日 時：分）となります。
日付・時刻が設定されていない場合は「templateXX」（XX：01～45）となります。

●編集後、装飾が1つもなくなった場合は保存できません。

お買い上げのときに登録されているテンプレート一覧

●テンプレートは、実際の画面表示と異なる場合があります。

ミッキーとミニーのデート1　ミッキーとミニーのデート2　ミッキーとミニーのデート3　ミッキーとミニーのデート4　ミッキーとミニーのデート5

ありがとう　ごめんね　ガンバレ　うれしい！　大ショック

Happy Birthday　よろしく　飲み会のお知らせ　ブルー　ハート

おやすみ　花　I Love You　Thank You!　How Are You?

©BVIG

〈メロディ／画像／動画／iモーションメール〉

ファイルを添付する

新規メール画面の機能メニュー画面で ➡ P.249

 ▶2「添付ファイル追加」▶以下の項目から選択

1 メロディ添付	▶フォルダを選択し、●▶メロディを選択し、●を押す メロディを添付します。
2 イメージ添付	▶フォルダを選択し、●▶画像を選択し、●を押す 画像を添付します。
3 iモーション添付	▶フォルダを選択し、●▶iモーションを選択し、●を押す iモーションを添付します。

■ 画像の一覧表示を切り替える場合

画像一覧表示中に●［機能］▶1「タイトル名一覧」
ピクチャ一覧表示がタイトル名一覧表示に切り替わります。添付できない画像は選択できません。
ピクチャ一覧表示に戻す場合は、機能メニューから「ピクチャ一覧」を選択します。

■ 画像を表示する場合

表示したい画像を◎で選択して●［デモ］を押す
一覧画面に戻るときはCLRを押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

メール

■ メロディを再生する場合

再生したいメロディを選択して、 ［デモ］を押す
添付できないメロディは選択できません。
メロディの再生をとめるときは、、*、#、CLRのいずれかを押します。
マナーモード設定中は、再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。再生するときは「YES」を選択します。

■ movaサービスのiモード端末へ画像をiショットメールで送る

画像を添付したメールをmovaサービスのiモード端末へiショットメールとして送信できます。
movaサービスのiモード端末へ送信する場合、添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。複数のファイルを添付したり、GIF形式の画像を添付した場合には、添付したすべてのファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
movaサービスのiモード端末へ送信する場合、相手側がメール分割設定をしていないときは、相手が受信できる本文は全角で184文字までになります。相手側がメール分割設定をしているときは、iショットのURL（画像の保管先）を含み最大で全角2,000文字まで送信できます。

■ マイピクチャの画像を添付したiモードメールを作成する場合

画像一覧画面の機能メニューから、「iモードメール作成」を選択する→P.353

■ iモーションの動画／iモーションを添付したiモードメールを作成する場合

動画一覧画面の機能メニューから、「iモードメール作成」を選択する→P.371

おしらせ

●iモードメールに添付できるファイルは以下のとおりです。

ファイルの種類	1件のメールにつき添付できる最大ファイル数	備考
メロディ	10個	メロディと画像を合わせて最大10個、10,000バイトまで添付することができます。ファイルの大きさによって、最大ファイル数は変動します。
画像※1		
大容量画像※2	1個	大容量画像と動画／iモーションは、どちらか1個だけを添付することができます。
動画／iモーション※3（iモーションメール）		

※1：内蔵カメラで撮影した静止画やサイトからダウンロードした10,000バイト以下のJPEG形式、GIF形式の画像。
※2：10,000バイトを超えて500Kバイト以下のJPEG形式の画像。ただし、iショットセンターでiモード端末で受信するのに適したサイズに変換して送信されます。ただし、10,000バイトを超えるGIF形式の画像をメールに添付することはできません。
※3：500Kバイトまでの動画／iモーション

●QVGA（320×240）サイズの画像はiモード対応端末に送信するのに適したサイズです。
●「イメージ添付」で横320×縦240ドットまたは横240×縦320ドットを超える画像を選択した場合、「大きいサイズの画像です　添付しますか？」というメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、画像が添付されます。
●本文（添付したファイルを含む）の残りのデータ量が、iモードメールで200バイト（全角100文字、半角200文字相当）未満、デコメールで400バイト（全角200文字、半角400文字相当）未満のときは、大容量画像、動画やiモーションを添付することはできません。
●大容量画像、動画やiモーションを添付したときは、本文に入力できる文字数がiモードメールで200バイト（全角100文字、半角200文字相当）、デコメールで400バイト（全角200文字、半角400文字相当）減ります。
●メールに添付できないメロディ、画像、動画は選択できません。
●iモーションメールを送信すると、画像閲覧用URL付メールが送信されiモーションメールの画像を閲覧することができます。
●iモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
●iモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。
●miniSDメモリーカードに保存されている動画は添付できません。動画をインポートしてください。
●新規メール画面とマイピクチャで画像の表示が異なる場合がありますが、送信されるのはマイピクチャで表示される画像です。また、画像によっては新規メール作成画面では表示されない場合があります。
●添付されたメロディやGIF形式の画像はmovaサービスのiモード端末では受信できません。
●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止に設定されているファイルは、添付することができません。
●内蔵カメラで撮影した静止画の「ファイル制限」が「あり」に設定されていても添付することができます。
●相手先の機種によっては、送信した画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
●受信側がN700i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。
●メロディが1件も登録されていない場合は、メロディを添付することはできません。

〈iモードメール保存〉
iモードメールを保存しておき、後で送信する

メールの作成中に操作を中断しなければならないときは、FOMA端末に一時保存しておくことができます。また、一度送信したメールや保存しているメールを編集して送信できます。

iモードメールを保存する

作成中のメールが保存BOXに保存されます。
●SMSと合わせて20件まで保存できます。
●保存BOXにメールが20件保存されている場合は、メールを作成することができません。

新規メール画面の機能メニュー画面で ➡ P.249

1 3［保存］を押す

宛先、題名、本文のいずれかに文字が入力されているか、ファイルが添付されていると保存されます。

保存したiモードメールを送信する

1 ●［MAIL］▶3「保存BOX」

「保存メール一覧画面」が表示されます。

2 メールを選択し、●を押す

3 宛先、題名、本文を編集して送信する

保存メール一覧画面

保存メール一覧画面の機能メニューを使う

保存メール一覧画面で ➡ P.266

1 ●［機能］▶以下の項目から選択

保存メール一覧画面の機能メニュー 1/2

1 一覧表示切替	▶1「題名表示」、2「名前表示」または3「アドレス表示」 メールの一覧表示のしかたを切り替えます。
2 赤外線送信	▶「YES」を選択し、●を押す メールを赤外線送信します。
3 赤外線全件送信	すべてのメールを赤外線送信します。「データを全件送信する」→P.416
4 エクスポート	▶「YES」を選択し、●を押す 選択したメールをminiSDメモリーカードへエクスポートします。
5 保存件数確認	保存BOX内のメールの件数を表示します。
6 削除	▶「YES」を選択し、●を押す
7 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶●［完了］▶「YES」を選択し、●を押す

保存メール一覧画面の機能メニュー 2/2

1 全削除	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 端末暗証番号について→P.142

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

宛先をメールメンバーに登録する

お買い上げ時	未登録

複数の宛先をFOMA端末のメールメンバーに登録することにより、iモードメール作成時に、宛先にメールメンバーを指定するだけで複数の宛先を簡単に入力できます。
●メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

1 menu 9 7 を押す
「メールメンバー一覧画面」が表示されます。

メールメンバー一覧画面

2 メールメンバーを選択し、●を押す
「メールメンバー詳細画面」が表示されます。

3 「<未登録>」を選択し、●［編集］▶メールアドレスを入力し、●を押す
メールアドレスに入力できる文字数は半角50文字までです。
メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。
文字を入力する→P.522

メールメンバー詳細画面

4 CLR を押す

おしらせ

●「PIMロック」設定中は、メールメンバーは表示できません。
●同じ宛先を重複してメールメンバーに登録してメールを送信しようとすると、重複した宛先を削除して送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、重複しているアドレスを削除して送信します。送信を中止する場合は「NO」を選択します。

メールメンバー一覧画面の機能メニューを使う

メールメンバー一覧画面で ➡ P.267

1 ●［機能］▶以下の項目から選択

メールメンバー一覧画面の機能メニュー

1 iモードメール作成	メールメンバーを宛先に貼り付けたiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
2 メンバー名編集	▶メンバー名を入力し、●を押す メールメンバー名を編集します。入力できる文字数は、全角10文字、半角20文字までです。 「文字を入力する」→P.522
3 メンバー名初期化	▶「YES」を選択し、●を押す メールメンバー名をお買い上げのときの状態にします。

メール

メールメンバー詳細画面の機能メニューを使う

メールメンバー詳細画面で ➡ P.267

◉［機能］▶以下の項目から選択

メールメンバー詳細画面の機能メニュー

1 アドレス編集	▶メールアドレスを入力し、◉を押す メールアドレスを編集します。入力できる文字数は半角50文字までです。 「文字を入力する」→P.522
2 アドレス参照入力	■アドレスが登録されていない場合 ▶以下の項目から選択 ■アドレスが登録されている場合 ▶「YES」を選択し、◉▶以下の項目から選択 電話帳や履歴を参照してメールアドレスを入力します。 1 電話帳：電話帳詳細画面からメールアドレスを入力します。「電話帳から電話をかける」→P.98 2 送信アドレス一覧：送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。 3 受信アドレス一覧：受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
4 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 選択されているメールメンバー内の、すべてのメンバーを削除します。 端末暗証番号について→P.142

〈メール自動受信〉

iモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールが送られてきます。

- 受信したiモードメールは、FOMA端末にSMSと合わせて最大で1,000件まで保存できます。
- メールを受信したときの着信音を「着信音選択」(P.112)でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」(P.133)で変更したりできます。
- movaサービスのiモード端末から送られてくるiモードメールも、FOMA端末で受信できます。

iモードメールを受信すると、「✉(青色)」のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

受信が終わると、受信結果画面に受信したメール、メッセージリクエストやメッセージフリーの件数が表示されます。
「メール」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。
何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール/メッセージ鳴動」(P.116)の設定によって変わります。
着信音の音量は「着信音量」(P.66)の「メール」で設定した音量になります。

➡

■ iショットサービスのメールを受信した場合

movaサービスのiモード端末から送信されたiショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

■ 大容量画像が添付されているメールを受信した場合

iモードメールに添付された10,000バイトを超える大容量静止画を自動的に取得した場合は、「　」が表示され、受信した画像がマイピクチャに保存されます。自動的に取得できなかった場合は、メール詳細画面を表示して「　」を選択すると、大容量画像を取得してマイピクチャに保存します。

■ 保存されている画像がいっぱいの場合

不要な画像を削除してから取得するかどうかのメッセージが表示されます。取得するときは「YES」を選択し、◉を押して削除する画像を選択します。

おしらせ

- 「　」が点滅しているときは、メールを受信中です。受信が完了すると、点灯します。

  「　(赤色)」または「　(赤色)」が表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、未読のメールを読むか、保護を解除（P.288）してください。読んだり、保護を解除したメールは、受信時に古いものから順に上書きされます。
- FOMA端末に保存されている受信メール（iモードメールとSMSの合計）が1,000件または保存容量を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.288
- 「メール選択受信設定」（P.297）を「ON」にし、iモードメールを自動受信しないように設定すると、送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されます（画面上部に「　」のアイコンが表示されます）。この場合は、「iモード問い合わせ」（P.271）を行ってセンターに保管されているiモードメールをまとめて受信したり、「メール選択受信」によりセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認してから選択して受信できます。→P.270
- 極端にデータ量の大きいメールが送られてきたときは、iモードセンターで受け付けられずに、エラーメールとともに送信元へ返信されることがあります。
- メールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル設定」（P.297）で設定できます。
- FOMA端末がiモードメールを受信すると、iモードセンターに保管されていたiモードメールは削除されます。
- iモードメールではメロディや画像を添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはiモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- iモードメールに添付された10,000バイトを超えたJPEG形式の画像は、自動的にダウンロードされます。自動的にダウンロードできなかった場合は、iモードメール中の「　」を選択することにより、画像をダウンロードすることができます。
- 新しいiモードメールが届いたときは、iモードセンターに保管されているほかのiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーも合わせて受信します。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からiモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.281
- あらかじめ、受信するiモードメールのサイズを制限できます。→P.241
- iモードメールを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ① 電話帳便利機能のメール着信音、メールイルミネーション→P.107
  ② グループ便利機能のメール着信音、メールイルミネーション→P.108
  ③ 着信音選択、着信イルミネーションの設定→P.112、133
- 複数のiモードメール、SMS、チャットメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。
- 待受画面以外を表示しているときにiモードメールを受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときにiモードメールを受信した場合は、イルミネーション・ウィンドウに表示されます。
- iモーションの再生中にiモードメールを受信した場合は、映像や音声が途切れることがあります。
- チャットを起動中に通常のiモードメールを受信した場合、チャット画面の表示が優先され、受信結果画面は表示されません。
- 電話着信中や、ツールグループの機能（P.429）を起動しているときに「　」を選択したときは、大容量画像を取得できないことを示すメッセージが表示されます。起動している機能を終了してから、大容量画像を取得してください。

新着iモードメールを表示する

●デコメールの背景色によっては、画像やiモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

1 ◉▶「メール」を選択し、◉を押す

2 受信したメールを選択し、◉を押す

おしらせ

●表示できない文字はスペースで表示されます。
●iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
●iモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。また、横240ドットを超える画像は縮小して表示されます。
●パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
●パソコンなどからメールを受信すると、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能が使用できない場合があります。

〈メール選択受信〉

iモードメールを選択して受信する

iモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。
●本機能を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」（P.297）を「ON」に設定しておく必要があります。

メールが届いたときは

iモードセンターからメールを受信したことを通知されたときは、「(青色)」や「(青色)」は表示されず、「」が表示されます。
「メールを選択受信する」（P.270）の操作1～3を参照してください。

メールを選択受信する

1 ◉［MAIL］▶ 8 「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メールメニュー画面に戻ります。
本機能を利用してメール選択受信画面を表示した場合、メールを受信、削除しなくても「」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったりメールメニューを表示した場合なども消灯します。

2 メールごとに項目を選択して設定する

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままiモードセンターに保管されます。
　　「iモード問い合わせ」(P.271) などで受信してください。

■ **メールをすべて削除する場合**

ページの一番下にある「削除」を選択して◉を押し、「決定」を選択して◉を押す

■ **ページが複数ある場合**

「前ページ」または「次ページ」を選択してページを前後に移動して選択受信する

2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。

「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

📷：画像ファイルが添付されています。
♪：メロディファイルが添付されています。
🎥：iモーションが添付されています。

3 「受信／削除」を選択し、◉▶「決定」を選択し、◉を押す

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

[2] 受信
05/04/10 19:11
お気に入りのメロディ
docomo.△△△.taro@docomo.ne.jp
サイズ:204バイト♪
1/1ページまで選択したメールを
受信／削除
12:05
選択
機能

■ **選択受信を中止する場合**

「キャンセル」を選択し、◉を押す

■ **ページが複数ある場合**

ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、iモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

- メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。
  - ・◉［imode］▶「iMenu」▶「メニューリスト」▶「メール選択受信」を選択し、◉を押す
- メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「iモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「iモード問い合わせ設定」(P.299) で「メール」のチェックを外してご利用ください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合は、自動的にメールを受信することができません。また、メール着信音は鳴動せず、バイブレータも振動しません。

〈iモード問い合わせ〉

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージリクエスト、メッセージフリー）問い合わせする

- iモードセンターに届いたiモードメールは自動的にFOMA端末へ送信されますが、以下の場合はiモードセンターに保管されます。
  - ・FOMA端末の電源が入っていないとき
  - ・「圏外」が表示されているとき
  - ・受信BOXが満杯のとき
  - ・「メール選択受信設定」(P.297) が「ON」のとき
  - ・テレビ電話中／遠隔監視中
  - ・セルフモード設定中
- 「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。
- 問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」(P.299) で設定します。

メール

次ページにつづく

[MAIL]を1秒以上押す

メール問い合わせ画面が表示されます。
問い合わせは「メール」→「メッセージリクエスト」→「メッセージフリー」の順で行います。
問い合わせ中は「(青色)」「R(緑色)」「F(紫色)」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信します。
新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト、メッセージフリーの件数が表示されます。

■問い合わせを中止する場合

問い合わせ中にCLRを1秒以上押す
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト、メッセージフリーの件数を確認する

おしらせ

●iモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。
・[imode]▶「iモード問い合わせ」
・[MAIL]▶「iモード問い合わせ」
●iモードを開始していない(「i」消灯中)状態から問い合わせをしたときは、iモードを開始してから問い合わせをしますので、問い合わせ終了後はiモード待機中(「i」点滅中)になります。
●「(青色)」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにiモードメールが保管されています。iモードセンターに保管されているiモードメールがいっぱいになると「(赤色)」のアイコンの表示になります。
●「(赤色)」「(赤色)」「R(赤色)」「F(赤色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを削除するか、未読のメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを読むか、保護を解除(P.233、288)してください。読んだり、保護を解除したメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーは、受信時に古いものから順に上書きされます。
●iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「(青色)」のアイコンが表示されないことがあります。
●問い合わせをする項目を「iモード問い合わせ設定」で選択することもできます。
●本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

〈iモードメール返信〉

iモードメールに返事を出す

iモードメールの送信元に返信できます。返信には、新たに本文を入力する方法、メールを参照しながら本文を入力する方法、受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。
●返信するiモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。
●文字を入力する→P.522

新たに本文を入力して返信する

受信メール詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.291

[1] 「返信」▶題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.247の操作4～8を参照してください。

■ **複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合**

「返信」を選択した後に「送信元へ」を選択する

同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「返信」を選択した後に「すべてへ」を選択します。

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「（アイコン）」が「（アイコン）」に変わります。

おしらせ

- 返信できない送信元（メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど）には「（アイコン）」が表示されます。
- 保存メールが20件ある場合は、返信できません。
- 題名に「Re:」（すべて半角文字）がついたiモードメールに返信する場合、返信するiモードメールの題名に「Re:」の代わりに「Re2:」が追加されます。以降、「Re2:」がついているときは「Re3:」、「Re3:」がついているときは「Re4:」というように、「Re99:」まで追加されます。「Re:」に全角文字が含まれていたり、「RE:」（「E」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Re:」が追加されます。

受信メールを参照して返信する

受信メール詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.291

[1] 「参照返信」を押す

参照返信メールでは、画面上に本文入力画面、画面下に受信メール本文画面（参照画面）が表示されます。

■ **参照／本文入力画面を切り替える場合**

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するか、（キー）を1秒以上押して切り替えます。

■ **参照画面から本文、題名、アドレスをコピーする場合**

参照画面で機能メニューから「コピー」を選択して「本文」、「題名」、「アドレス」を選択する

コピー方法について→P.540

■ **複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合**

「参照返信」を選択した後に「送信元へ」を選択する

同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「参照返信」を選択した後に「すべてへ」を選択します。

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

次ページにつづく

2 本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.247の操作6～8を参照してください。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

■ 題名を編集する場合

◉を押してメール返信画面に戻り、「Subject」を選択して題名を入力し直す
◉を押してメール返信画面に戻ってから再度本文入力画面を表示したときは、参照画面は表示されません。

本文を引用して返信する

受信したiモードメールの本文を引用して返信できます。
●引用したiモードメールの添付ファイルは削除されます。

受信メール詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.291

1 2「引用返信」▶題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順についてはP.247の操作4～8を参照してください。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

■ 複数の宛先のあるメールの送信元へ引用返信する場合

「引用返信」を選択した後に「送信元へ」を選択する
同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「引用返信」を選択した後に「すべてへ」を選択します。
返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。
引用符（お買い上げのときは「>」）は、引用返信するメールの本文の先頭に1つだけつきます。本文の行頭のすべてにはつきません。
引用符を編集するには→P.299

おしらせ

- 保存メールが20件ある場合は、引用返信できません。
- iモードメールの本文に引用符が追加されて、引用符と本文を合わせて全角5,000文字を超えると、文字数が超えていることを表すメッセージが表示がされます。その後、本文入力画面が表示され、規定文字数まで文字を削除する必要があります。
- 引用返信するiモードメールにファイルが添付されているときは、添付ファイルが削除されることを表すメッセージが表示されます。◉を押すと、ファイルが削除されてメール返信画面が表示されます。
- iモードメール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼り付けデータがある場合、引用返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、赤外線通信やデータリンクソフトを利用してiモードメールを送受信した場合でも、貼り付けデータは引用できません。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像は削除されて引用返信されます。

〈iモードメール転送〉

iモードメールをほかの宛先に転送する

受信したiモードメールをほかの人に転送できます。
●転送する iモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

受信メール詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.291

1 4「転送」▶宛先を入力し、◉を押す

■ 電話帳やアドレス一覧、メールメンバーを使って宛先を入力する場合

メール転送画面で機能メニューから「宛先参照入力」を選択
宛先の詳しい入力操作について→P.251、252
題名、本文を編集できます。受信したメールの本文、追加した文、冒頭文、署名、添付されているメロディや画像を合わせて全角で5,000文字分、半角で10,000文字分まで転送できます。

2 ◉［送信］を押す

送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

メール

おしらせ

- 保存メールが20件ある場合は、転送できません。
- 題名に「Fw:」（すべて半角文字）がついたiモードメールを転送する場合、転送するiモードメールの題名に「Fw:」の代わりに「Fw2:」が追加されます。以降「Fw2:」がついているときは「Fw3:」、「Fw3:」がついているときは「Fw4:」というように、「Fw99:」まで追加されます。「Fw:」に全角文字が含まれていたり、「FW:」（「W」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Fw:」が追加されます。
- 転送するiモードメールにメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- 画像がダウンロードされていなかった場合、画像は添付されません。
- iモードメール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、赤外線通信やデータリンクソフトを利用してiモードメールを送受信した場合でも、貼り付けデータは引用できません。

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

<例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合>

受信メール詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.291

1 **▶「アドレス登録」**

■ **登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合**

メールアドレスを選択する画面で登録したいメールアドレスを選択し、◉を押す

■ **送信したメールの宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合**

送信メール詳細画面の機能メニューから「アドレス登録」を選択する

複数の宛先に送信したiモードメールの場合は、表示されるメールアドレスのリストから登録するメールアドレスを選択します。

■ **送信または受信したメールの本文のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合**

登録するメールアドレスまたは電話番号を選択し、送信メール詳細画面または受信メール詳細画面の機能メニューから「電話帳登録」を選択する

2 **「YES」を選択し、◉▶「本体」▶「新規登録」**

電話帳新規登録画面に、入力された項目の内容が表示されます。必要な項目を入力して電話帳に登録します。

電話帳の登録について→P.93

■ **FOMAカードの電話帳に登録する場合**

「YES」を選択した後に「FOMAカード（UIM）」を選択する

FOMAカードの電話帳に登録するときは、登録方法の「追加登録」の代わりに「上書き登録」と表示されます。

〈メロディ保存〉

iモードメールからメロディを取り込む

受信したiモードメールに添付または貼り付けられたメロディ（♫、♪）をFOMA端末に保存できます。

- 通話中はメロディを再生できません。
- 送信元がFOMA N700i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- あらかじめ、メロディを選択します。

受信メール詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.291

1

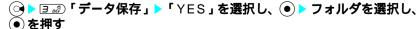
▶「データ保存」▶「YES」を選択し、◉▶フォルダを選択し、◉を押す

着信音などに設定する場合は、操作2に進みます。

メール

次ページにつづく

■ メロディをとめる場合

[key]、[key]、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかのボタンを押す

■ メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合

「開封時メロディ再生設定」（P.297）を「自動再生しない」に設定する

■ 保存されているメロディがいっぱいの場合

不要なメロディを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選択し、◉を押して削除するメロディを選択します。

2 「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す

■ 着信音などに設定しない場合

「NO」を選択し、◉を押す

おしらせ

● 複数のデータが貼り付けられている場合は、貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

〈画像メール受信〉

画像メールの画像を取り込む

受信したiモードメールに添付された画像（[icon]）を保存できます。

● あらかじめ、画像を選択します。

受信メール詳細画面の機能メニュー画面で ➡ P.291

1 [key]▶[3]「データ保存」▶「YES」を選択し、◉▶フォルダを選択し、◉を押す

複数の画像が添付されている場合は、すべて表示されます。

デコメールの場合、本文内に挿入されている画像はすべて表示されますが、添付された画像は表示されません。表示する画像のファイル名を選択すると画像が表示されます。

■ 画像表示をファイル名表示に切り替える場合

ファイル名を表示する画像を選択し、◉を押す

画像表示に戻すには、ファイル名を表示する画像を選択し、◉を押します。

■ 保存されている画像がいっぱいの場合

不要な画像を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選択し、◉を押して削除する画像を選択します。

2 「YES」を選択し、◉▶項目を選択し、◉を押す

■ 待受画面などに設定しない場合

「NO」を選択し、◉を押す

おしらせ

● 画像のサイズがディスプレイより大きい場合は縮小して表示されます。ただし、大きすぎる画像は表示されないことがあります。

● iモードメールでの画像表示とマイピクチャでの画像表示は異なる場合があります。画像を正しく表示するには、「INBOX」フォルダに保存した画像をマイピクチャで表示する必要があります。

●「画面表示設定」（P.120）などに設定されている画像を削除しようとすると、設定中の画像を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると削除されます。

●「画面表示設定」などに設定されている画像を削除すると、設定していた項目はお買い上げのときの設定に戻ります。

● iモードメールに添付された10,000バイトを超えたJPEG形式の画像は、自動的に取得されます。自動的に取得できなかった場合は、iモードメール中の「[icon]」を選択することにより、画像を取得することができます。

● 自動的に取得された画像は、データBOX内のマイピクチャに保存されます。

iモーションメールからiモーションを取り込む

iモーションメールとして送られてきたiモーションのデータは、メールを受信してもFOMA端末に取り込まれていないため、iモーションメールセンターから取り込んでから保存します。
- iモーション閲覧のためのURLが付与されたメールを受信します。
- あらかじめ、iモーションメールを選択します。

受信メール詳細画面で ➡ P.281

URLを選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

データの取り込みが完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

■ iモーションの取り込みを中止する場合

◉［中止］を押す

■ 取得したiモーションを保存する場合

「iモーションを保存する」→P.339

■ 取得したiモーションの情報を表示する場合

「iモーションの詳細情報を表示する」→P.340

おしらせ

- 「iモーション自動再生設定」（P.340）が「自動再生する」に設定されている場合は、iモーションを取り込んでから自動再生がはじまります。
- iモーションを取り込みながら再生している場合（初回再生時のみ）は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。

〈送信メールBOX／受信メールBOX〉

送信／受信メールBOXのメールを表示する

受信メールはiモードメールとSMSを合わせて最大1,000件、送信メールはiモードメールとSMSを合わせて最大400件まで保存されます。保存できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存できる件数が少なくなります。
- iモードメールでは、送信時最大全角5,000文字、受信時最大全角5,000文字の本文を送受信できます。

iモードメールの本文を読む

＜例：受信メールの本文を読む場合＞

1 ◉［MAIL］▶ 1「受信BOX」▶フォルダを選択し、◉▶メールを選択し、◉を押す

メールメニュー　受信フォルダ一覧画面　受信メール一覧画面　受信メール詳細画面

■ 前後のメールを表示する場合

メール詳細画面で◎を押す

CLRを押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

メール

次ページにつづく

おしらせ

- メールセキュリティが設定されたフォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力し、◉を押します。ただし、メールメニューの受信BOXや送信BOXに「メールセキュリティ設定」（P.152）が設定されている場合、受信フォルダ一覧画面や送信フォルダ一覧画面を表示するときに端末暗証番号の入力をするので、端末暗証番号を入力する必要はありません。
- 受信メール一覧画面で機能メニューから「メール情報」を選択すると、メールを開く前に送信元と題名、iモードセンターに届いた日付・時刻を確認できます。
- iモードメールの送信元や同報者のメールアドレスをデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けることができます。貼り付けたアイコンから、そのメールアドレスを宛先とする新規iモードメールを作成できます。
  ただし、「Fm」「To」「Cc」のついたメールアドレスは、デスクトップアイコンとして貼り付けることができません。また同報メールの場合でも、1回の操作で貼り付けられるメールアドレスは1件だけです。

■メール連動型iアプリについて

・メール連動型iアプリを利用して送信したiモードメールは、そのメール連動型iアプリ専用フォルダに振り分けられます。
・送信元がメール連動型iアプリを利用して送信してきたiモードメールは、受信側にそのメール連動型iアプリ専用フォルダがある場合、そのフォルダに振り分けられます。
　専用フォルダがない場合、「自動振分け設定」を設定しているときはその設定に従ってフォルダに振り分けられ、設定されていないときは受信BOXに振り分けられます。
・メール連動型iアプリ専用フォルダを選択するとソフトが起動します。
・ソフトを起動させずにフォルダ内のメール一覧画面を表示するには、そのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択します。

■メール（iモードメール、SMS）本文の読み上げについて

メール読み上げ画面

- 受信メール詳細画面で機能メニューから「メール読み上げ」を選択すると、受信メール本文を設定した声で読み上げることができます。
  読み上げを中断する場合は、◉を押します（中断した後、◉を押すと最初から読み上げを開始します）。終了する場合は ◉［閉］を押します。
  ・「メール読み上げ設定」（P.300）で受信メールの本文を読み上げるときの声を設定できます。
  ・読み上げるときの音量は、「着信音量」（P.66）の「電話」で設定した音量になります。「消去」または「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量になります。
  ・メール読み上げ時は、画面上半分に図のような画像が表示されます。また、受信メールの送信元アドレスと画像が電話帳に登録されている場合は、登録されている画像が表示されます。
- メール読み上げ中に◎、▲［ホーム］、▼［メモ／確認］を押すと、メール文章をスクロールします。また、5を1秒以上押すと、バックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。これら以外のボタンを押すか、FOMA端末を閉じると、読み上げを中止します。
- マナーモード設定中に機能メニューから「メール読み上げ」を選択すると、メールを読み上げるかどうかのメッセージが表示されます。
- メール読み上げ中に着信があると読み上げを中断し、着信中画面が表示されます。
- メール読み上げ中に新しくメールなどを受信したときは、「受信表示設定」の設定内容に従います。また、メール読み上げ中にアラームの指定時刻になった場合は、「アラーム通知設定」の設定内容に従います。
- メール読み上げが中断された場合、◉を押しても、途中から再開することはできません。
- パソコンなどからメールを受信すると、メール本文を読み上げできない場合があります。

フォルダ一覧画面の見かた

フォルダの一覧画面は以下のように表示されます。

- 受信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げのときは「受信BOX」、内蔵メール連動型iアプリのフォルダ、「チャット」、「ゴミ箱」フォルダのみですが、メール連動型iアプリや、機能メニューでフォルダを追加できます。
- 送信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げのときは「送信BOX」、内蔵メール連動型iアプリのフォルダ、「チャット」フォルダのみですが、メール連動型iアプリや、機能メニューでフォルダを追加できます。
- 保存BOXにフォルダはありません。

受信フォルダ一覧画面

① ：未読メールがないことを示しています。
② ：未読メールがあることを示しています。
③ ：未読メールがなく、メールセキュリティ（P.152）がかけられていることを示しています。
④ ：未読メールがあり、メールセキュリティがかけられていることを示しています。
⑤ ：メール連動型iアプリ（P.321）の受信メールフォルダを示しています。
⑥ ：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあることを示しています。
⑦ ：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで、メールセキュリティがかけられていることを示しています。
⑧ ：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあり、メールセキュリティがかけられていることを示します。
⑨ ：ゴミ箱のフォルダを示しています。
：ゴミ箱のフォルダで、メールセキュリティがかけられていることを示しています。

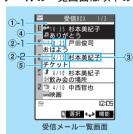
送信フォルダ一覧画面

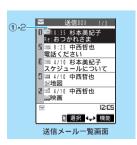
① ：送信メールのフォルダを示しています。
：メールセキュリティ（P.152）がかけられている送信メールのフォルダを示しています。
② ：メール連動型iアプリ（P.321）の送信メールフォルダを示しています。
③ ：メール連動型iアプリの送信メールフォルダで、メールセキュリティがかけられていることを示しています。

メール一覧画面の見かた

メールの一覧画面は以下のように表示されます。

受信メール一覧画面

送信メール一覧画面

① メールの状態を示しています。
①-1 受信
：未読のメール
：既読のメール
：転送したメール
：返信したメール
：未読で保護されているメール
：既読で保護されているメール
：転送して保護されているメール
：返信して保護されているメール
①-2 送信
：送信に成功したメール
：送信に失敗したメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功したメール
：複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功したメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗したメール
：送信に成功して保護されているメール
：送信に失敗して保護されているメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功して保護されているメール
：複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功して保護されているメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗して保護されているメール

次ページにつづく

② 送受信した時刻や日付を示しています。
②-1 当日送受信したメールは時刻が表示されます。
②-2 前日までに送受信したメールは日付が表示されます。
③ 送信元／宛先を示しています。電話帳に登録がある送信元／宛先の場合、メールアドレスまたは電話番号で表示するか、名前で表示するかを切り替えることができます。送信元のアドレスが電話帳に登録があり、画像が登録されている場合は「」が表示されます。
④ メールの種別、添付ファイルや貼り付けられている情報の種類を示しています。

：SMSであることを示しています。
：SMSで、SMS送達通知を受信済みであることを示しています。
：SMSで、FOMAカード内にあることを示しています。

〈2行表示の場合〉
：メロディが添付または貼り付けられていることを示しています。
：複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：添付されているすべてのメロディのデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：画像が添付されていることを示しています。
：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：添付されているすべての画像のデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：大容量画像のデータを取得後、データが正しいことを示しています。
：大容量画像のデータを取得後、データが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：大容量画像のデータを取得する前で、データが正しいことを示しています。
：大容量画像のデータを取得する前で、データが正しくないことを示しています。
：iモーションを添付したiモードメールを送信したときに表示されます。
：送信メールに添付したiモーションが削除されたり編集されていることを示しています。
：デコメールに貼り付けられた大容量の画像、またはiモーションを取得する前で、画像の種類が不明であることを示しています。
：メールの本文からiアプリを起動できることを示しています。
：メール連動型iアプリが送受信したメールを示しています。
：複数のデータが貼り付けられていることを示しています。また、データがiアプリ To と一緒に貼り付けられている場合にも表示されます。
：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できないことを示しています。

〈1行表示の場合〉
：大容量のファイルを含まず、1個または複数のファイルが添付または貼り付けられていることを示しています。
：大容量のファイルを含まず、複数のファイルが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含まず、添付または貼り付けられているすべてのデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含み、1個または複数のファイルが添付されていることを示しています。
：大容量のファイルを含み、複数のファイルが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含み、添付されているすべてのデータが正しくないことを示しています。
：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できないことを示しています。

⑤ メールの題名を示しています。題名がないiモードメールの場合、題名が「無題」と表示されます。
SMSの場合は本文の冒頭が表示されます。SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」、留守番着信通知の場合は「留守番　着信通知」と表示されます。

おしらせ

- 日付・時刻が設定されていない場合、送信メール一覧画面や保存メール一覧画面では時刻や日付が「--/--」で表示されます。
- 画像が添付されたiモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像を選択し、◉を押すごとに画像表示とファイル名表示に切り替わります。

メール詳細画面の見かた

メールの詳細画面は以下のように表示されます。

受信メール詳細画面

送信メール
6/15
2005/ 4/11 10:40
杉本美紀子
中西哲也
090XXXXXXXX
ありがとう
こちらこそ、楽しい時間が
過ごせました。
----END----
12:05
選択
機能

送信メール詳細画面

① メールの状態が表示されます（P.279のメール一覧画面の説明①参照）。
② 送受信した日付と時刻（センターが受信した日付と時刻）を示しています。
③ 受信メールの送信タイプを表示します。
- To：送信元から宛先に指定されて受信したメールを示しています。
- Cc：送信元から同報に指定されて受信したメールを示しています。
- Bcc：送信元からほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定されて受信したメールを示しています。

④ 受信メールで、送信元のメールアドレスを表示します。
- From：送信元のメールアドレスを示しています。
- Fm：送信元に返信できないメールアドレス（メールアドレスが半角で50文字を超えているときなど）を示しています。

⑤ 送信メールで、宛先のメールアドレスおよび宛先のタイプを表示します。
送信が成功したかどうかを確認できます。宛先が複数指定されているメールでは、宛先がすべて表示されます。
- To OK：送信に成功した宛先を示しています。
- To ×：送信に失敗した宛先を示しています。
- Cc OK：送信に成功した同報の宛先を示しています。
- Cc ×：送信に失敗した同報の宛先を示しています。
- Bcc OK：ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定し、送信に成功した宛先を示しています。
- Bcc ×：ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定し、送信に失敗した宛先を示しています。

⑥ 受信メールで、複数指定されている宛先を表示します（受信者本人は含みません）。最大4件まで宛先が表示されます。
- To：送信元から宛先に指定されていることを示しています。
- To：送信元から宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。
- Cc：送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定されていることを示しています。
- Cc：送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。

返信できないメールアドレスには「Fm」、「To」、「Cc」が表示されます。
受信メールの送信元または送信メールの宛先が電話帳に登録されているときには、④、⑤、⑥の欄には電話帳に登録されている「名前」が表示されます。
名前を表示するには、相手のメールアドレスを電話帳に正しく登録しておく必要があります。→P.93

⑦ 題名を示しています。題名がないときは「無題」と表示されます。受信したSMSには「SMS」（SMSがFOMAカード内にあるときは「」）のアイコンが表示され、タイトルは「SMS」（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」）と表示されます。SMS送達通知を受信済みの場合は、「」も合わせて表示されます。

⑧ 添付ファイルや貼付ファイルがあるときは、アイコンとファイル名、バイト数（ファイルサイズ）が表示されます。メロディが貼り付けられているときは「」が表示されます。貼り付けられているメロディのデータが正しくない場合は、本文内にテキストとして表示されます。添付ファイルアイコンについて→P.280
- ：大容量画像のデータを取得する前であることを示しています。
- ：添付されたメロディのデータが削除されていることを示しています。
- ：添付された画像のデータが削除されていることを示しています。
- ：大容量画像のデータが削除されていることを示しています。
- ：動画やiモーションのデータが削除されていることを示しています。

⑨ メールの本文を示しています。
⑩ 本文の終わりに表示されます。

以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
- 「指定発信制限」設定中で、指定発信制限に指定されていない電話番号のとき
- シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき
- シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき

メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替える

● メールの本文の文字サイズを変えるとき

メール詳細画面を表示しているときに、本文の文字の大きさを変更できます。

縮小表示　標準表示　拡大表示

おしらせ

- メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示または拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示または拡大表示になります。
- 上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「文字サイズ設定」(P.296)の設定も変更されます。
- メール読み上げ画面(P.278)でも同じように文字サイズを変更できます。

● メール一覧画面の表示切替(1行表示/2行表示)

メールメニューで「メール設定」の「メール一覧表示設定」を選択すると、2行で表示するか、1行で表示するかを切り替えることができます。
また、2行表示の場合は、名前表示、アドレス表示、1行表示の場合は名前表示、アドレス表示、題名表示のいずれかを選択できます。

● メール一覧画面の表示切替(名前表示/アドレス表示/題名表示)

メール一覧画面で、メールを宛先や送信元の名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するか、題名で表示するかを切り替えられます。宛先や送信元の名前が電話帳に登録されている場合、その名前を表示できます。

●メール一覧画面(2行表示)

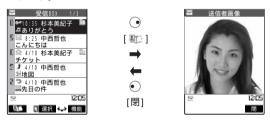
メール

●メール一覧画面（1行表示）

おしらせ

●受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／保存メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選択して「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」から項目を選択しても表示の切り替えができます。

●顔が見えるメール

メール一覧画面を表示しているときに、送信元のアドレスが電話帳に登録されており、画像が登録されている受信メールには「 」が表示されます。
「 」が表示されているメールを選択して ［ ］を押すと、登録した画像を見ることができます。

●受信メール／送信メールの保存件数を確認する

すべてのフォルダの保存件数を確認するときは、フォルダ一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選択します。
フォルダごとの保存件数を確認するときは、確認したいフォルダ内のメール一覧画面を表示した後、機能メニューから、「保存件数確認」を選択します。

●バックライト機能について

FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」（P.116）の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
「照明設定」（P.126）の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニューを使う

- 追加できるフォルダは22個までです。
- 追加したフォルダに、受信したiモードメールやSMSが自動的に振分けられるように設定することができます。
- お買い上げのときにすでにある「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面で ➡ P.279

◉［機能］▶以下の項目から選択

受信フォルダ／
送信フォルダ一覧画面の
機能メニュー画面

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー 1/2

項目	操作・説明
1 フォルダ追加	▶フォルダ名を入力し、◉を押す 新しくフォルダを追加します。「文字を入力する」→P.522
2 自動振分け設定	受信BOXまたは送信BOXのフォルダにメールアドレスや電話番号、電話帳のグループなどを設定し、受信したiモードメールやSMSをフォルダに自動的に振り分けます。「自動振り分けを設定する」→P.285
3 フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力し、◉を押す 全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
4 メールセキュリティ	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す フォルダのセキュリティを設定／解除します。「フォルダ別にセキュリティを設定する」→P.153　端末暗証番号について→P.142
5 フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142
6 フォルダ並び替え	▶移動先を選択し、◉を押す フォルダを並び替えます。
7 保存件数確認	すべてのフォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー 2/2

項目	操作・説明
1 フォルダ内表示	選択したフォルダ内のメール一覧画面を表示します。
2 赤外線全件送信	選択したフォルダ内のすべてのメールを赤外線送信します。 「データを全件送信する」→P.416
3 既読メール全削除※1	▶「YES」を選択し、◉を押す すべての既読メール（または送信メール）を削除します。
4 受信メール全削除※2	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す すべてのメールを削除します。 端末暗証番号について→P.142

※1：受信フォルダ一覧画面のみ表示されます。
※2：送信フォルダ一覧画面のときは「3送信メール全削除」になります。

おしらせ

＜フォルダ追加＞

● メール連動型iアプリをダウンロードすると、iアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。

＜自動振分け設定＞

●「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダに自動振分けを設定することはできません。

● メールメニューの「受信BOX」や「送信BOX」に「メールセキュリティ設定」（P.152）が設定されている場合、メールメニューの「受信BOX」や「送信BOX」に「」が表示されます。その場合は端末暗証番号の入力が必要になります。

● 追加したフォルダにメールセキュリティ（P.284）が設定されている場合は、操作1の後に端末暗証番号の入力が必要になります。

＜フォルダ名編集＞

● メール連動型iアプリのフォルダ名は編集できません。

＜メールセキュリティ＞

● メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

＜フォルダ削除＞

● フォルダ内のメールが保護されているときやメールセキュリティが設定されているときは、フォルダを削除できません。保護またはメールセキュリティを解除してから削除してください。

● 対応するメール連動型 iアプリがある場合、iアプリメール用フォルダを削除することはできません。ソフトがない場合はiアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

●「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

＜フォルダ並び替え＞

●「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダは並び替えできません。また、それらのフォルダを選択しているときは「フォルダ並び替え」は実行できません。

● 追加したフォルダが1つしかない場合は並び替えできません。

＜既読メール全削除＞

● 保護されている既読のiモードメールやSMSは削除されません。

＜送信メール全削除＞

● 保護されているiモードメールやSMSは削除されません。

＜受信メール全削除＞

● 未読のメールも削除されます。ただし、保護されているiモードメールやSMSは削除されません。

● 自動振り分けを設定する

● 自動振り分けをするメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーは、受信BOXと送信BOXの全フォルダを合わせて700件まで登録することができます。1つのフォルダに複数のメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーを登録することもできます。題名はそれぞれのフォルダに1つだけ登録できます。

● 受信または送信したメールが複数の振り分け条件に該当する場合、自動振分け設定の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。ただし、メール連動型iアプリのメールは自動振分け設定にかかわらず専用のフォルダに振り分けられます。チャットメールは、「全件振分け」が設定されていない場合は、自動振分け設定にかかわらず「チャット」フォルダに振り分けられます。
①全件振分け　②題名振分け　③返信不可振分け／送信失敗振分け　④メールアドレス／電話番号　⑤メールメンバー　⑥電話帳グループ

● 自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、設定前に保存されているフォルダに残ります。

● あらかじめ振り分け先のフォルダを選択してください。

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.284

2 「自動振分け設定」▶以下の項目から自動振り分けを設定

次ページにつづく

自動振分け設定画面の機能メニュー 1/2

1 アドレス振分け	▶以下の項目から選択 自動振り分けをするメールアドレスを設定します。		
	1アドレス参照入力	▶以下の項目から選択 電話帳や履歴を参照してメールアドレスを設定します。	
		1電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを設定します。 「電話帳から電話をかける」→P.98
		2受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを設定します。
		3送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを設定します。
	2グループ参照	▶グループを選択し、◉を押す 選択したグループの電話帳に登録されているメールアドレスが設定されます。	
	3メールメンバー参照	▶メールメンバーを選択し、◉を押す 選択したメールメンバーに登録されているメールアドレスが設定されます。	
	4直接入力	1文字ずつ入力してメールアドレスを設定します。 「文字を入力する」→P.522	
2 題名振分け	▶題名を入力し、◉を押す 自動振り分けをする受信メールの題名を設定します。「文字を入力する」→P.522		
3 返信不可振分け※1	返信不可のメールアドレス（または送信が失敗したメールアドレス）を設定します。		
4 全件振分け	メール連動型iアプリのフォルダだけに設定することができます。すべてのメールをメール連動型iアプリのフォルダに振り分けます。		
5 アドレス／題名編集	設定済みのメールアドレスや題名を編集します。		
6 一覧表示切替	▶1「名前表示」または2「アドレス表示」 自動振り分けをするメールアドレスの一覧の表示方法を切り替えます。		
7 解除	▶「YES」を選択し、◉を押す 選択した自動振り分けの条件を1件解除します。		

※1：送信フォルダ一覧画面の自動振分け設定画面のときは「3送信失敗振分け」になります。

自動振分け設定画面の機能メニュー 2/2

1 選択解除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す 選択した複数の自動振り分けの条件を解除します。
2 全解除	▶「YES」を選択し、◉を押す すべての自動振り分けの条件を解除します。

おしらせ

- すでに自動振り分けの条件が登録されているフォルダに別の条件を登録しようとすると、設定を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、設定が変更されます。「NO」を選択すると、元の画面に戻ります。
- 同報送信した送信メールはアドレス振分けや送信失敗振分けの振分け条件では振り分けされません。

＜アドレス振分け（グループ参照）＞
- 「グループ00」やFOMAカード内のグループを設定することはできません。

＜アドレス振分け（直接入力）＞
- メールアドレスはドメイン(@マークより後ろの部分)まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

＜題名振分け＞
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 1つのフォルダに設定できる題名は1件のみです。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているiモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

＜返信不可振分け＞
- SMS送達通知は振り分けされません。
- 「返信不可振分け」は1つのフォルダにしか設定できません。

＜送信失敗振分け＞
- 「送信失敗振分け」は1つのフォルダにしか設定できません。

＜全件振分け＞
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。
- 「全件振分け」は、受信と送信それぞれ1つのiアプリメール用フォルダにしか設定できません。
- 「全件振分け」を設定すると、ほかの振り分け設定は無効となります。

＜一覧表示切替＞
- 自動振分け設定画面で[#]を押しても、「名前一覧表示」と「アドレス一覧表示」を切り替えることができます。

受信メール一覧画面の機能メニューを使う

受信メール一覧画面で ➡ P.279

⦿［機能］▶以下の項目から選択

受信メール一覧画面の機能メニュー 1/3

<table>
<tr><td rowspan="1">1 フォルダ移動</td><td colspan="3">▶フォルダを選択し、⦿▶Ⓞで□（チェックボックス）を選択し、⦿▶⦿［完了］▶「YES」を選択し、⦿を押す
選択したメールをほかのフォルダへ移動します。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">2 メール検索</td><td colspan="3">▶以下の項目から選択
送信元または題名を指定してメールを検索します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1 送信元検索</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
電話帳や履歴を参照してメールアドレスを指定したり、1文字ずつメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>1 電話帳</td><td>電話帳を検索してメールアドレスを指定します。
「電話帳から電話をかける」→P.98</td></tr>
<tr><td>2 受信アドレス一覧</td><td>受信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>3 送信アドレス一覧</td><td>送信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>4 直接入力</td><td>1文字ずつ入力してメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>2 題名検索</td><td colspan="2">▶題名を入力し、⦿を押す</td></tr>
<tr><td>3 全表示</td><td colspan="3">検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。</td></tr>
</table>

次ページにつづく

<table>
<tr><td rowspan="7">4 ソート</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
指定した条件に従ってメールを並び替えます。</td></tr>
<tr><td>1 新しい順</td><td>日付の新しい順に並び替えます。</td></tr>
<tr><td>2 古い順</td><td>日付の古い順に並び替えます。</td></tr>
<tr><td>3 アドレス順(昇順)</td><td>送信元のメールアドレスや電話番号の昇順に並び替えます。</td></tr>
<tr><td>4 アドレス順(降順)</td><td>送信元のメールアドレスや電話番号の降順に並び替えます。</td></tr>
<tr><td>5 題名順（昇順）</td><td>題名の昇順に並び替えます。</td></tr>
<tr><td>6 題名順（降順）</td><td>題名の降順に並び替えます。</td></tr>
<tr><td rowspan="10">5 フィルタ</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
指定した条件に合うメールだけを表示します。
設定項目1/2</td></tr>
<tr><td>1 未読のみ</td><td>未読のiモードメールやSMSだけを表示します。</td></tr>
<tr><td>2 既読のみ</td><td>既読のiモードメールやSMSだけを表示します。</td></tr>
<tr><td>3 保護のみ</td><td>保護されているiモードメールやSMSだけを表示します。</td></tr>
<tr><td>4 メロディのみ</td><td>メロディが添付または貼り付けられているiモードメールだけを表示します。</td></tr>
<tr><td>5 画像のみ</td><td>画像が添付されているiモードメールや大容量画像の情報が貼り付けられているiモードメールだけを表示します。</td></tr>
<tr><td>6 iモーションのみ</td><td>「 」が表示されているiモードメールだけを表示します。</td></tr>
<tr><td>7 iアプリのみ</td><td>iアプリが貼り付けられているiモードメールだけを表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定項目2/2</td></tr>
<tr><td>1 SMSのみ</td><td>SMSだけを表示します。</td></tr>
<tr><td>6 一覧表示切替</td><td colspan="2">▶1「題名表示」、2「名前表示」または3「アドレス表示」
メールの一覧の表示方法を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>7 全件既読</td><td colspan="2">フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。</td></tr>
</table>

受信メール一覧画面の機能メニュー2/3

1 保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
2 保護全解除	▶「YES」を選択し、●を押す 保護されているすべてのメールの保護を解除します。
3 赤外線送信	▶「YES」を選択し、●を押す
4 エクスポート	▶「YES」を選択し、●を押す
5 FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.317
6 メール情報	メールを開かずに送信元などの情報を表示します。
7 保存件数確認	フォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。

受信メール一覧画面の機能メニュー3/3

1 ゴミ箱へ捨てる	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶◉［完了］▶「YES」を選択し、●を押す 選択したメールをゴミ箱フォルダへ移動します。
2 削除	▶「YES」を選択し、●を押す
3 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶◉［完了］▶「YES」を選択し、●を押す
4 既読削除	▶「YES」を選択し、●を押す
5 SMS送達通知全削除	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 端末暗証番号について→P.142
6 全削除	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

＜フォルダ移動＞
- 「ゴミ箱」フォルダへ移動することはできません。
- FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

＜メール検索＞
- 検索結果をさらに検索することができます。
- フィルタ機能やソート表示を併用することができます。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているiモードメールは検索できません。

＜ソート＞
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。例えば受信メール一覧画面で未読メールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- ソート表示でメールを表示させた後、その画面を終了し、再度受信メール一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。

＜フィルタ＞
- フィルタ機能でメールを表示させた後、その画面を終了し、再度受信メール一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を選択しても戻ります。

＜一覧表示切替＞
- 受信メール一覧画面で[#]を押しても、「題名表示」、「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。

＜全件既読＞
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「全件既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

＜保護／保護解除＞
- FOMA端末に保存されている受信メール（iモードメールと SMS の合計）が最大保存件数（P.277）を超えた場合、メール受信時にゴミ箱フォルダのメールが優先的に削除されます。ゴミ箱フォルダにメールがない場合は、保護されていない既読の受信メールのうちから古い順に削除されます。
- FOMAカードのSMSは保護できません。
- ゴミ箱フォルダにあるメールは保護できません。

＜保護全解除＞
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「保護全解除」を選択すると、表示されているメールのみ保護が解除されます。

＜ゴミ箱へ捨てる＞
- 削除したいメールはゴミ箱フォルダに捨てます。ゴミ箱フォルダに捨てたメールはすぐには削除されず、削除されるまではゴミ箱フォルダからほかのフォルダに戻すことができます。ゴミ箱フォルダに捨てられたメールは、受信BOXフォルダがいっぱいになった場合、優先的に削除されます。
- 保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知はゴミ箱フォルダに捨てることはできません。
- 未読メールをゴミ箱フォルダに捨てると、既読メールになります。
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「ゴミ箱へ捨てる」を選択すると、表示されているメールのみゴミ箱フォルダに移動できます。
- 受信メール一覧画面で機能メニューから「ゴミ箱へ捨てる」を選択し、ゴミ箱フォルダに捨てるメールを選択すると、保存可能最大件数を超えた場合、メール受信時に優先的に自動削除されることを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択するとメールがゴミ箱フォルダに捨てられます。

＜削除＞
- 未読のiモードメールやSMSも削除できます。
- 保護されているiモードメールやSMSは削除できません。

＜選択削除＞
- 保護されているiモードメールやSMSは選択できません。

＜既読削除＞
- 保護されている既読のiモードメールとSMSは削除されません。

＜SMS送達通知全削除＞
- 保護されているSMS送達通知は削除されません。

＜全削除＞
- 未読のiモードメールやSMSも削除されます。
- 保護されているiモードメールやSMSは削除されません。

送信メール一覧画面の機能メニューを使う

送信メール一覧画面で ➡ P.279

[●]［機能］▶以下の項目から選択

次ページにつづく

送信メール一覧画面の機能メニュー 1/3

項目			操作・説明
1 フォルダ移動			▶フォルダを選択し、●▶◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶○［完了］▶「YES」を選択し、●を押す 選択したメールをほかのフォルダへ移動します。
2 メール検索			▶以下の項目から選択 宛先または題名を指定してメールを検索します。
	1 宛先検索		▶以下の項目から選択 電話帳や履歴を参照してメールアドレスを指定したり、1文字ずつメールアドレスを指定します。
		1 電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを指定します。 「電話帳から電話をかける」→P.98
		2 送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
		3 受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
		4 直接入力	1文字ずつ入力してメールアドレスを指定します。「文字を入力する」→P.522
	2 題名検索		▶題名を入力し、●を押す「文字を入力する」→P.522
3 全表示			検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。
4 ソート			▶以下の項目から選択 指定した条件に従ってメールを並び替えます。
	1 新しい順		日付の新しい順に並び替えます。
	2 古い順		日付の古い順に並び替えます。
	3 アドレス順(昇順)		宛先のメールアドレスや電話番号の昇順に並び替えます。
	4 アドレス順(降順)		宛先のメールアドレスや電話番号の降順に並び替えます。
	5 題名順（昇順）		題名の昇順に並び替えます。
	6 題名順（降順）		題名の降順に並び替えます。
5 フィルタ			▶以下の項目から選択 指定した条件に従ってメールを表示します。
	1 保護のみ		保護されているiモードメールやSMSだけを表示します。
	2 メロディのみ		メロディが添付されているiモードメールだけを表示します。
	3 画像のみ		画像が添付されているiモードメールだけを表示します。
	4 iモーションのみ		動画やiモーションが添付されているiモードメールだけを表示します。
	5 SMSのみ		SMSだけを表示します。
	6 送信失敗のみ		送信に失敗したiモードメールやSMSだけを表示します。
6 一覧表示切替			▶1「題名表示」、2「名前表示」または3「アドレス表示」 メールの一覧の表示方法を切り替えます。
7 保護／保護解除			メールを保護／保護解除します。

送信メール一覧画面の機能メニュー 2/3

項目	操作・説明
1 保護全解除	▶「YES」を選択し、●を押す 保護されているすべてのメールの保護を解除します。
2 赤外線送信	▶「YES」を選択し、●を押す
3 エクスポート	▶「YES」を選択し、●を押す
4 FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.317
5 保存件数確認	フォルダ内のメールの件数および保護件数を表示します。
6 削除	▶「YES」を選択し、●を押す
7 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶○［完了］▶「YES」を選択し、●を押す

送信メール一覧画面の機能メニュー 3/3

1 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

<フォルダ移動>
- FOMAカードのSMSはフォルダ移動できません。

<メール検索>
- 検索結果をさらに検索することができます。
- フィルタ機能やソート表示を併用することができます。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているiモードメールは検索できません。

<ソート>
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。例えば送信メール一覧画面で保護されているメールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「保護のみ」を選択します。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- ソート表示でメールを表示させた後、その画面を終了し、再度送信メール一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。

<フィルタ>
- フィルタ機能でメールを表示させた後、その画面を終了し、再度送信メール一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。また、「全表示」を選択しても戻ります。

<一覧表示切替>
- 送信メール一覧画面で#を押しても、「題名表示」、「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。

<保護／保護解除>
- FOMA端末に保存されている送信メール（iモードメールとSMSの合計）が最大保存件数（P.277）を超えた場合、保護されていない送信メールのうちから古い順に削除されます。
- FOMAカードのSMSは保護できません。

<削除>
- 保護されているiモードメールやSMSは削除できません。

<選択削除>
- 保護されているiモードメールやSMSは選択できません。

<全削除>
- 保護されているiモードメールやSMSは削除されません。

受信メール詳細画面の機能メニューを使う

受信メール詳細画面で ➡ P.281

◉［機能］▶以下の項目から選択

受信メール詳細画面の機能メニュー画面

受信メール詳細画面の機能メニュー 1/4

1 返信	「新たに本文を入力して返信する」→P.273
2 引用返信	「本文を引用して返信する」→P.274
3 参照返信	「受信メールを参照して返信する」→P.273
4 転送	「iモードメールをほかの宛先に転送する」→P.274
5 保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
6 フォルダ移動	▶フォルダを選択し、◉を押す メールをほかのフォルダへ移動します。

次ページにつづく

7 コピー	▶ 1「本文」、2「題名」または3「アドレス」 メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540

受信メール詳細画面の機能メニュー 2/4

1 アドレス登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.275
2 電話帳登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.275
3 データ保存	メールに添付または貼り付けられているメロディ、画像を保存します。 「iモードメールからメロディを取り込む」→P.275 「画像メールの画像を取り込む」→P.276
4 挿入画像保存	▶ 画像を選択し、● ▶「YES」を選択し、● ▶ フォルダを選択し、● ▶「YES」を選択し、● ▶ 項目を選択し、● を押す デコメールの本文に挿入されている画像を保存します。画面表示に設定しない場合は、フォルダを選択し、● を押した後に「NO」を選択します。
5 スケジュール参照登録	メールの本文を参照しながらスケジュールを登録します。→P.438
6 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、● を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
7 テンプレート保存	▶「YES」を選択し、● を押す 受信したメールをテンプレートとして保存します。「テンプレートを保存する」→P.261

受信メール詳細画面の機能メニュー 3/4

1 辞典検索	辞典を起動します。「辞典を利用する」→P.452
2 プロパティ	▶ 画像を選択し、● を押す デコメールの本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。
3 貼付URL表示	メールに添付されている大容量静止画のURLを表示します。
4 メール読み上げ	メールの本文を読み上げます。→P.278
5 チャット起動	チャットを起動します。→P.305
6 赤外線送信	▶「YES」を選択し、● を押す
7 エクスポート	▶「YES」を選択し、● を押す

受信メール詳細画面の機能メニュー 4/4

1 FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.317
2 スクロール設定	▶ 1「1行スクロール」、2「3行スクロール」または3「5行スクロール」 画面のスクロール行数を設定します。
3 文字サイズ設定	▶ 1「標準表示」、2「縮小表示」または3「拡大表示」 表示される文字のサイズを設定します。
4 添付ファイル削除	▶「YES」を選択し、● を押す 添付されているファイルを削除します。ただし、大容量静止画を削除した場合は、メールに貼り付けられたURLのみが削除され、マイピクチャのINBOXフォルダに保存したデータは削除されません。
5 ゴミ箱へ捨てる	▶「YES」を選択し、● を押す メールをゴミ箱フォルダへ移動します。
6 削除	▶「YES」を選択し、● を押す

おしらせ

<フォルダ移動>
- ゴミ箱フォルダへ移動することはできません。
- FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<添付ファイル削除>
- メール本文に貼り付けられたデータは削除されません。

<ゴミ箱へ捨てる>
- 保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知はゴミ箱フォルダに捨てることはできません。

送信メール詳細画面の機能メニューを使う

送信メール詳細画面で ➡ P.281

⦿［機能］▶以下の項目から選択

送信メール詳細画面の機能メニュー 1/3

1 再編集	▶宛先、題名、本文を編集し、⦿［送信］ メールを再編集します。「文字を入力する」→P.522
2 再送信	▶「YES」を選択し、⦿を押す メールを再送信します。
3 保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
4 フォルダ移動	▶フォルダを選択し、⦿を押す メールをほかのフォルダへ移動します。
5 コピー	▶1「本文」、2「題名」または3「アドレス」 メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540
6 アドレス登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.275
7 電話帳登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.275

送信メール詳細画面の機能メニュー 2/3

1 データ保存	メールに添付されているメロディ、画像を保存します。→P.275、276
2 挿入画像保存	▶画像を選択し、⦿▶「YES」を選択し、⦿▶フォルダを選択し、⦿▶「YES」を選択し、⦿▶項目を選択し、⦿を押す デコメールの本文に挿入した画像を保存します。画面表示に設定しない場合は、フォルダを選択し、⦿を押した後に「NO」を選択します。
3 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、⦿を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
4 テンプレート保存	▶「YES」を選択し、⦿を押す 送信したメールをテンプレートとして保存します。「テンプレートを保存する」→P.261
5 辞典検索	辞典を起動します。「辞典を利用する」→P.452
6 プロパティ	▶画像を選択し、⦿を押す デコメールの本文に挿入した画像のファイル名とファイルサイズを表示します。
7 SMS送達通知表示	SMSのSMS送達通知を表示します。→P.312

送信メール詳細画面の機能メニュー 3/3

1 赤外線送信	▶「YES」を選択し、⦿を押す
2 エクスポート	▶「YES」を選択し、⦿を押す
3 FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.317
4 スクロール設定	▶1「1行スクロール」、2「3行スクロール」または3「5行スクロール」 画面のスクロール行数を設定します。

次ページにつづく

5 文字サイズ設定	▶ 1「標準表示」、2「縮小表示」または 3「拡大表示」 表示される文字のサイズを設定します。
6 添付ファイル削除	▶「YES」を選択し、◉を押す 添付されているファイルを削除します。ただし、大容量画像やiモーションを削除した場合は、メールに貼り付けられたURLのみが削除され、INBOXフォルダに保存したデータは削除されません。
7 削除	▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

<再送信>
- 「再送信」を選択すると、メールを再編集しないで再送信します。送信に失敗したメールなどを簡単に再送信することができます。
- 送信に失敗したメールは、再送信すると削除されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると削除されます。

<SMS送達通知表示>
- 選択しているメールに対応するSMS送達通知がない場合は、この機能は利用できません。
- 「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定していても、SMSが送信できなかった（相手に届かなかった）場合は、SMS送達通知は届かず送信SMSにも保存されません。

〈送信アドレス一覧／受信アドレス一覧〉

メールの履歴を利用する

メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧に送信先アドレス、受信アドレス一覧に送信元アドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。アドレス一覧は、iモードメールとSMSをアイコンで区別するので、履歴の種類がわかります。

- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます。
- 送信元アドレスが不正な場合は、アドレス一覧に残らない場合があります。
- 「メールセキュリティ設定」で送信BOX、受信BOXにセキュリティが設定されている場合や、「シークレットモード」および「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録された電話帳のメールアドレスは、アドレス一覧に記録されません。

アドレス一覧を確認する

送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を確認します。

<例：受信アドレス一覧画面を表示する場合>

◎を1秒以上押す

「受信アドレス一覧画面」が表示されます。

■ 送信アドレス一覧画面を表示する場合

◎を1秒以上押す

受信アドレス一覧画面

2 送信元を選択し、◉を押す

「受信アドレス詳細画面」が表示されます。

3 内容を確認する

おしらせ

●送信アドレス一覧画面の表示は、以下の手順でも行えます。
・ menu ▶ を選択し、◉ ▶ 3「発信履歴」▶ ◉［切替］
●受信アドレス一覧画面の表示は、以下の手順でも行えます。
・ menu ▶ を選択し、◉ ▶ 2「着信履歴」▶ 1「全着信」▶ ◉［切替］
●「履歴表示設定」の「リダイヤル／発信履歴」や「着信履歴」を「OFF」に設定している場合は、表示できません。
●送信アドレス一覧画面、送信アドレス詳細画面で表示されるアイコンは以下のとおりです。
・ ：iモードメールの送信に成功したことを示します。
・ ：iモードメールの送信に失敗したことを示します。
・ ：SMSの送信に成功したことを示します。
・ ：SMSの送信に失敗したことを示します。
●受信アドレス一覧画面、受信アドレス詳細画面で表示されるアイコンは以下のとおりです。
・ ：iモードメールを受信したことを示します。
・ ：SMSを受信したことを示します。

受信アドレス／送信アドレス一覧画面の機能メニューを使う

受信アドレス／送信アドレス詳細画面の機能メニューも同様です。
●電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。

受信アドレス／送信アドレス一覧画面で ➡ P.294

1 ◉［機能］▶ 以下の項目から選択

受信アドレス／送信アドレス一覧画面の機能メニュー 1/2

1 電話帳登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.275
2 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
3 iモードメール作成※1	メールアドレスを宛先に貼り付けたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.247
4 電話発信	メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号に電話をかけます。→P.98
5 着信履歴表示※2	着信履歴画面（またはリダイヤル画面（一覧））に切り替えます。→P.50、62
6 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
7 選択削除	▶ ◎で□（チェックボックス）を選択し、◉ ▶ ◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す

※1：SMSの送受信アドレスを選択したときは「3 SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。「SMSを作成して送信する」→P.311
※2：送信アドレス一覧画面のときは「5 リダイヤル表示」になります。

メール

次ページにつづく

受信アドレス／送信アドレス一覧画面の機能メニュー 2/2

1 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

<着信履歴表示>
● 表示される着信履歴画面は「全着信」（すべての着信履歴を表示）です。

〈メール設定〉

FOMA端末のメール機能を設定する

FOMA端末のメールに関する機能を設定します。

1 ◉［MAIL］▶◉▶1「メール設定」
「メール設定画面」が表示されます。

メール設定画面

2 以下の項目から選択

メール設定画面 1/2

1 スクロール設定 （お買い上げ時：1「1行スクロール」）	▶1「1行スクロール」、2「3行スクロール」または3「5行スクロール」 メール詳細画面で◎を押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを設定します。
2 文字サイズ設定 （お買い上げ時：1「標準表示」）	▶1「標準表示」、2「縮小表示」または3「拡大表示」 メール詳細画面の文字サイズを設定します。 標準表示：メール詳細画面を標準の文字サイズで表示します。 縮小表示：メール詳細画面を縮小して表示します。 拡大表示：メール本文のみを拡大して表示します。
3 メール一覧表示設定	▶以下の項目から選択 メール一覧画面の表示行数と表示項目を設定します。 1 2行　名前表示（お買い上げ時）：1件につき2行ずつ表示します。1行目は宛先や送信元の名前が表示されます。 2 2行　アドレス表示：1件につき2行ずつ表示します。1行目はメールアドレスや電話番号が表示されます。 3 1行　題名表示：1件につき1行ずつ、題名を表示します。 4 1行　名前表示：1件につき1行ずつ、宛先や送信元の名前を表示します。 5 1行　アドレス表示：1件につき1行ずつ、メールアドレスや電話番号を表示します。
4 本文表示設定	▶以下の項目から選択 メール本文の表示のしかたを設定します。 1 通常表示（お買い上げ時）：メールの先頭（受信日時／送信日時）から表示します。 2 本文から表示：メールの本文から表示します。

メール

項目	内容	
5 開封時メロディ再生設定	▶以下の項目から選択 受信したiモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。	
	1 自動再生する（お買い上げ時）	iモードメールを開いたときにメロディを自動再生します。
	2 自動再生しない	iモードメールを開いたときにメロディを自動再生しません。
6 冒頭文／署名設定	「冒頭文／署名／引用符を編集する」→P.299	
7 メールセキュリティ設定	「BOX別にセキュリティを設定する」→P.152	
8 受信表示設定	▶以下の項目から選択 FOMA端末の操作中にメール、メッセージリクエストやメッセージフリーを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。	
	1 通知優先（お買い上げ時）	受信中画面および受信結果画面を表示します。
	2 操作優先	受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。
9 メール選択受信設定	▶以下の項目から選択 メールの選択受信をするかどうかを設定します。	
	1 ON	メールを選択して受信します（自動受信しません）。
	2 OFF（お買い上げ時）	メールを自動受信します。
0 添付ファイル設定	▶Ⓒで□（チェックボックス）を選択し、◉▶Ⓒ［完了］ 添付ファイルを受信するかどうかを設定します。「有効」にした場合は、メール受信時に添付ファイルを受信できます。「メロディ有効」、「画像有効」のそれぞれについて設定します。 ☑（チェックした状態）：有効（お買い上げ時） □（チェックを外した状態）：無効 「画像有効」を「□」（チェックを外した状態）にしていても、大容量画像は受信します。	

メール設定画面2/2

項目	内容	
1 スピードフォトメール表示設定	▶以下の項目から選択 「自動表示しない」に設定し、スピードフォトメールを受信したときは、静止画が添付されたメールの受信になります。静止画を表示するには、受信したメールを表示します。	
	1 自動表示する（お買い上げ時）	スピードフォトメールを受信したときに自動で静止画を表示します。
	2 自動表示しない	スピードフォトメールを受信したときに自動で静止画を表示しません。
2 メール読み上げ設定	▶以下の項目から選択 受信メールを読み上げる声を設定します。	
	1 女性ボイス1（お買い上げ時）	女性ボイス1の声でメールを読み上げます。
	2 女性ボイス2	女性ボイス2の声でメールを読み上げます。
	3 男性ボイス1	男性ボイス1の声でメールを読み上げます。
	4 男性ボイス2	男性ボイス2の声でメールを読み上げます。
	5 ロボット調ボイス	ロボット調ボイスの声でメールを読み上げます。
3 チャット設定	「チャットの各種設定をする」→P.309	
4 SMS送達通知設定	▶以下の項目から選択 SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。	
	1 要求する	SMSの送信後にSMS送達通知が届きます。
	2 要求しない（お買い上げ時）	SMSを送信してもSMS送達通知は届きません。

次ページにつづく

<table>
<tr><td rowspan="5">5 SMS有効期間設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 0日</td><td>SMSセンターに保管しません。</td></tr>
<tr><td>2 1日</td><td>SMSセンターに1日保管します。</td></tr>
<tr><td>3 2日</td><td>SMSセンターに2日保管します。</td></tr>
<tr><td>4 3日(お買い上げ時)</td><td>SMSセンターに3日保管します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">6 SMS本文入力設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
SMSの本文の入力方法を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 日本語入力(70文字)(お買い上げ時)</td><td>すべての全角文字および半角文字を70文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>2 半角英数入力(160文字)</td><td>半角の英数文字を160文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>7 メール設定確認</td><td colspan="2">「メール設定」で設定した内容を確認できます。</td></tr>
<tr><td>8 メール設定リセット</td><td colspan="2">「メール設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。→P.301</td></tr>
</table>

おしらせ

＜スクロール設定＞
- スクロール行数は、メール詳細画面で機能メニューから「スクロール設定」を選択しても設定できます。この場合、本設定も変更されます。

＜文字サイズ設定＞
- メール詳細画面で または を1秒以上押しても文字サイズを変更することができます。また、メール詳細画面またはメール読み上げ画面で機能メニューから「文字サイズ設定」を選択しても文字サイズを変更することができます。いずれの方法で変更した場合も、本設定も変更されます。
- メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。メール詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示や拡大表示になります。

＜メール一覧表示設定＞
- 名前、アドレス、題名のいずれを表示するかは、メール一覧画面で を押したり、機能メニューから「一覧表示切替」を選択しても設定できます。この場合、本設定も変更されます。

＜本文表示設定＞
- メールの本文が1ページ以内に表示できる場合は、「本文から表示」を選択しても、メールの先頭の全部または一部と本文が表示されます。
- 「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

＜開封時メロディ再生設定＞
- 「自動再生する」に設定していても、N700i以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

＜受信表示設定＞
- iアプリ、iモーション、キャラ電、カメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。

＜メール選択受信設定＞
- 本設定は、iモードメールにのみ適用されます。SMS、メッセージリクエストとメッセージフリーは、この設定にかかわらず自動受信します。
- 「ON」に設定した場合は、iモードメールの自動受信をすることができません。また、チャットを起動することもできません。
- 「ON」に設定した場合は、自動的にiモードメールを受信することができません。送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管され、「 」が表示されます。受信するには、「iモード問い合わせ」や「メール選択受信」をしてください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも「iモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「iモード問い合わせ設定」(P.299)で「メール」のチェックを外してご利用ください。
- SMSを選択して受信することはできません。

＜添付ファイル設定＞
- 「□」(チェックを外した状態)に設定しているときに添付ファイルを受信した場合、その添付ファイルは iモードセンターで削除されます。削除されたことは通知されませんのでご注意ください。
- 「メロディ有効」を「☑」(チェックした状態)に設定すると、メロディを受信できますが、N700i以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。この設定は添付されたメロディ、画像にのみ適用されます。本文に貼り付けられたメロディはこの設定にかかわらず受信します。
- 「画像有効」を「□」(チェックを外した状態)に設定しているときは、デコメールに挿入された画像やスピードフォトメールの静止画もiモードセンターで削除されます。

＜SMS送達通知設定＞
- 受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。また、送信メール詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択しても表示することができます。

＜SMS本文入力設定＞
- 本文が入力されているときは設定できません。

冒頭文／署名／引用符を編集する

お買い上げ時	冒頭文／署名（未登録）：自動貼付する　引用符：>

本文の先頭に書く文章（冒頭文）や、本文の最後に書く自分の名前など（署名）をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でiモードメールの本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときに引用するメールの本文の先頭につける記号や文章（引用符）を編集することもできます。
文字を入力する→P.522

<例：冒頭文または署名を自動貼り付けする場合>

メール設定画面で ➡ P.296

1 **6「冒頭文／署名設定」▶冒頭文または署名のボックスを選択し、◉▶冒頭文または署名を入力し、◉を押す**

冒頭文、署名、引用符は、それぞれの欄に入力します。
冒頭文、署名に入力できる文字数は全角120文字、半角240文字までです。

■「自動貼付」のチェックボックスについて
☑（チェックした状態）　：冒頭文または署名を自動貼り付けする
□（チェックを外した状態）：冒頭文または署名を自動貼り付けしない

2 **引用符のボックスを選択し、◉▶引用符を入力し、◉▶◉［完了］**
引用符に入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。

おしらせ

- 「自動貼付」を☑（チェックした状態）にしていても、スピードフォトメール、テンプレート、チャット画面、メール連動型iアプリからiモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

iモードセンターへ問い合わせをする内容を設定する<iモード問い合わせ設定>

お買い上げ時	すべて「問い合わせをする」

「iモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を設定します。「メール」（iモードメール）、「メッセージリクエスト」、「メッセージフリー」それぞれについて、問い合わせるかどうかを設定します。
●「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせません。

1 **menu▶各種設定を選択し、◉▶8「アプリケーション通信設定」▶「iモード問い合わせ設定」を選択し、◉を押す**

2 **◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］**

おしらせ

- メッセージリクエストやメッセージフリーの配信を希望されない場合は、「□」（チェックを外した状態）に設定してください。

受信メールを読み上げる声を設定する

●SMS送達通知（P.312）、本文のないメール、貼付メロディまたはiアプリ起動URLのみのメール、本文が入力されていないデコメールは、読み上げできません。
●音声通話中および64Kデータ通信中は、メールの読み上げができません。

メール設定画面で ➡ P.296

1 ▶「メール読み上げ設定」▶読み上げる声を選択し、◉を押す

● 読み上げルールについて

メール読み上げ機能では、おおむね以下の規則に基づいて受信メールを読み上げます。

■記号・特殊文字・絵文字

●記号・特殊文字・絵文字の読み上げはしません。ただし、一部の記号は読み上げをします。
※記号･特殊文字･絵文字がある文章の場合は、正しく読み上げできないこともあります。

■数字

●数字が並んでいる場合は最大16桁まで桁読みします。
例：1234 → センニヒャクサンジュウヨン

■金額

●数字の先頭に「¥（半角・全角可）」などを入力されていると、最大16桁まで金額として読み上げます。
入力文字列に区切り記号「,」を使用する場合は、3桁ごとに「,」で区切られていなければ金額と判定しません。
例：¥12345
¥12,345]─「イチマンニセンサンビャクヨンジュウゴ　エン」

■電話番号

●数字を「-」、「(」、「)」により以下のパターンで区切ると、桁読みをせず、電話番号として読み上げます。また数字の先頭に「Tel:」（大文字／小文字、全角／半角ともに可）がある場合も電話番号として読み上げます。
例：Tel：12-3456-7890→テル イチニー サンヨンゴーロク ナナハチキューゼロ

一般電話			
XX-XXXX-XXXX	XXX-XXX-XXXX	XXXX-XX-XXXX	XXXXX-X-XXXX
(XX) XXXX-XXXX	(XXX) XXX-XXXX	(XXXX) XX-XXXX	(XXXXX) X-XXXX
XX (XXXX) XXXX	XXX (XXX) XXXX	XXXX (XX) XXXX	XXXXX (X) XXXX
XXXX-XXXX	XXX-XXXX	XX-XXXX	X-XXXX
携帯電話			
XXX-XXXX-XXXX	XXXX-XXX-XXXX	(XXX) XXXX-XXXX	(XXXX) XXX-XXXX
XXX (XXXX) XXXX	XXXX (XXX) XXXX		
フリーダイヤル			
XXXX-XXX-XXX	XXXX-XXXXXX		

※「X」は数字を表します

■時刻

●数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。「時」については1～2桁、「分」については2桁の場合に時刻と判断します。また、文字列の前後に「AM」または「PM」（大文字）を付加すると、「午前」、「午後」を先頭につけて時刻を読み上げます。

「時」:「分」（「時」は0～29、「分」は00～59） 例：23:15 → 「ニジュウサンジ　ジュウゴフン」
AM「時」:「分」または「時」:「分」AM（「時」は0～12、「分」は00～59） 例：AM5:05 → 「ゴゼン　ゴジ　ゴフン」
PM「時」:「分」または「時」:「分」PM（「時」は0～12、「分」は00～59） 例：5:05PM → 「ゴゴ　ゴジ　ゴフン」

■日付

●数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。また、日付の前に「M」、「T」、「S」、「H」（M、T、S、Hは大文字のみ）を挿入すると年を元号として読み上げます。

「年」/「月」/「日」または「年」.「月」.「日」（「年」は0～9999、「月」は1～12、「日」は1～31）
例：2004/5/5 2004/05/05 2004.5.5 2004.05.05 ―「ニセンヨネン　ゴガツ　イツカ」
「M」「年」/「月」/「日」または「M」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　M10/04/20 →「メイジ　ジュウネン　シガツ　ハツカ」
「T」「年」/「月」/「日」または「T」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　T8.10.15 →「タイショウ　ハチネン　ジュウガツ　ジュウゴニチ」
「S」「年」/「月」/「日」または「S」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　S50.3.6 →「ショウワ　ゴジュウネン　サンガツ　ムイカ」
「H」「年」/「月」/「日」または「H」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　H15.7.24 →「ヘイセイ　ジュウゴネン　シチガツ　ニジュウヨッカ」

・数字、金額、電話番号、時刻、日付においてすべてのパターンは全角文字にも対応しています。
・金額、電話番号、時刻、日付を読み上げるとき、その文字列の直前あるいは直後に以下の文字がある場合には正確に読み上げないことがあります。金額、電話番号、時刻、日付を正確に読み上げたい場合は、その文字列の前後にスペースなどの区切り文字を置くことをおすすめします。
「0～9」「A～Z（大文字）」、「:」、「¥」、「/」、「.」、「-」（半角・全角）

■記号

●下記の記号を読み上げることができます。（数字と組み合わせると以下のように読み上げます）

$（ドル）	%（パーセント）	¥（エン）	°（ド）
℃（ド）	¥（エン）	$（ドル）	%（パーセント）
㍉（ミリ）	㌔（キロ）	㌢（センチ）	㍍（メートル）
㌘（グラム）	㌧（トン）	㌃（アール）	㌶（ヘクタール）
㍑（リットル）	㍗（ワット）	㌍（カロリー）	㌦（ドル）
㌣（セント）	㌫（パーセント）	㍊（ミリバール）	㌻（ページ）
mm（ミリメートル）	cm（センチメートル）	km（キロメートル）	mg（ミリグラム）
kg（キログラム）	cc（シーシー）	m^2（ヘイホウメートル）	

■その他

●英字はアルファベット読みで読み上げますが、組み合わせによってはアルファベット読みしない場合があります。

●文章の内容や、記載内容（特に地名や固有名詞など）により、読み上げをしなかったり、読み方を誤る場合があります。

●読み上げの音声は自然音声と異なります。聞きづらい発音やアクセントになる場合があります。

●句読点（「、」、「。」）、ピリオド（「.」）、改行、スペースなどがある場合は、その位置で読み上げを区切ります。ただし、「.」「,」の前後が数字の場合は、区切りません。区切りがない場合は、文章を自動的に区切って読み上げます。

文章によっては声が出るまでに時間がかかる場合があります。漢字を使用した場合は、正しく読み上げができない場合があります。文章の内容をより正確に読み上げたい場合は、よくメールをやり取りする相手の方に以下のことをお願いすることをおすすめします。
・名詞、特に地名、人名といった固有名詞はカタカナで作成してください。
・句読点などを用いた文章でメールを作成してください。

メール機能の設定を初期状態に戻す <メール設定リセット>

メール設定画面で ➡ P.296

1 **[メニュー]▶[8]「メール設定リセット」▶端末暗証番号を入力し、[●]▶[YES]を選択し、[●]を押す**

端末暗証番号について→P.142

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

●以下のような場合はチャットを起動することができません。
- ・メール選択受信を「ON」に設定しているとき
- ・受信BOXに保存されているメールが満杯のとき
- ・PIMロックされているとき

●複数の相手にチャットメールを送信した場合の通信料は、同報メールの送信の場合と同じです。

●チャットメールに着信音を設定することができます。同時に複数のメールを受信した場合でチャットメールが含まれているときは、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

チャットメンバーを設定する＜チャットメンバー設定＞

チャットメールをやり取りする相手を設定します。

⦿［MAIL］▶5「チャットメール」▶⦿［機能］▶3「チャットメンバー」

「チャットメンバー設定画面」が表示されます。
チャット画面の機能メニューについて→P.304

チャットメンバー設定画面

チャットメンバー設定画面の機能メニューを使う

チャットメンバーは自分を含めて6人まで登録できます。

チャットメンバー設定画面で ➡ P.302

⦿［機能］▶以下の項目から選択

チャットメンバー設定画面の機能メニュー画面

チャットメンバー設定画面の機能メニュー画面

項目		説明
1 編集		自分以外のチャットメンバーのメールアドレスを入力して登録します。 「文字を入力する」→P.522
2 メンバー参照入力		■ アドレスが登録されていない場合 ▶以下の項目から選択 ■ アドレスが登録されている場合 ▶「YES」を選択し、⦿▶以下の項目から選択 電話帳や履歴を参照してチャットメンバーのメールアドレスを入力します。
	1 電話帳	電話帳からメールアドレスを入力します。 「電話帳から電話をかける」→P.98
	2 送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
	3 受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
3 メンバー入れ替え		「チャットメンバーを入れ替える」→P.303

④ 詳細設定確認	チャットメンバーの設定の詳細を確認します。
⑤ 削除	▶「YES」を選択し、◉を押す 自分以外の選択したチャットメンバーを1名削除します。
⑥ 全削除	▶「YES」を選択し、◉を押す 自分以外のすべてのチャットメンバーを削除します。

おしらせ

<編集>
- すでに登録されているチャットメンバーと同じメールアドレスは登録できません。
- 登録したメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、メンバー名が表示されます。チャットグループに登録されていない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。

<メンバー参照入力（電話帳）>
- 登録済みのチャットメンバーのメールアドレスを電話帳を参照して入力した場合は、メンバー名と画像も変更されます。

<詳細設定確認>
- ユーザ（自分）の詳細設定確認を表示した場合は、メールアドレスは表示されません。

<削除><全削除>
- ユーザ（自分）は削除できません。

● チャットメンバーを入れ替える

チャットメンバー設定画面の機能メニュー画面で ➡ P.302

3 DEF「メンバー入れ替え」▶以下の項目から選択

① チャットグループ	▶以下の項目から選択 入れ替えるメンバーをグループ一覧またはメンバー一覧から選択します。	
	① グループ一覧	▶入れ替えたいチャットグループを選択し、◉を押す
	② メンバー一覧	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］
② メールメンバー	▶メールメンバーを選択し、◉を押す	

おしらせ

- すでにチャットメンバーが登録されていた場合は、チャットメンバーをすべて入れ替えるかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、チャットメンバーを入れ替えます。「NO」を選択すると、入れ替えを中止します。
- チャットメンバーから削除されたメンバー宛てのチャットメールを受信した場合は、チャット画面に表示されません。チャットメールを削除しないでチャットを終了しても、次回チャットを起動したときには、チャット画面には表示されませんが、iモードメールとして保存されています。

チャットメールを作成して送信する

チャットメールを新規に作成して送信します。

◉［MAIL］▶5 JKL「チャットメール」

「チャット画面」が表示されます。

チャット画面

メール

次ページにつづく

2 ⦿▶発言を入力し、⦿▶⦿［送信］

チャット画面から送信できる文字数は全角で250文字、半角で500文字までです。
送信が完了するとチャットお知らせ音が鳴り、最新発言エリアに自分の発言が表示されます。
続けて送信するには、操作2を繰り返します。

■送信に失敗した場合

最新発言エリアの発言がグレー表示になり、文字編集エリアの発言は削除されないので、送信に失敗したチャットメールだけを再送信することができます。

■チャットメールを終了する場合

チャットメールの終了について→P.304

おしらせ

- メールメニューの「受信BOX」、「送信BOX」や「チャット」フォルダ、チャットメールが保存されているフォルダに「メールセキュリティ」が設定されている場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。
- 受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は、チャットを起動できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護解除をしてから再度操作してください。
- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。再送信する場合は、「チャット」フォルダから送信してください。
- 送信したチャットメールの題名は「チャットメール」（半角）となります。
- チャット画面で受信したチャットメールは、「チャット」フォルダにおいて既読となります。
- 発言を入力せずに送信しようとした場合は、確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、本文なしのチャットメールを送信します。「NO」を選択すると、チャットメールの送信を中止します。
- チャットを起動中に通常のiモードメールを受信した場合、チャット画面の表示が優先され、受信結果画面は表示されません。

チャット画面の機能メニューを使う

チャット画面で ➡ P.303

⦿［機能］▶以下の項目から選択

チャット画面の機能メニュー画面

チャット画面の機能メニュー画面1/2

項目	内容
1 送信	チャットメールを送信します。
2 送信先選択	▶送信するチャットメンバーを選択し、⦿▶⦿［完了］
3 チャットメンバー	「チャットメンバーを設定する」→P.302
4 同報宛先確認	「同報メールの宛先を参照してチャットメンバーに追加する」→P.305
5 更新	iモードセンターに保管されているチャットメールを受信します。
6 先頭表示	最新発言エリアに最新の発言を表示します。
7 最終表示	最新発言エリアに一番古い発言を表示します。

チャット画面の機能メニュー画面2/2

項目	内容
1 既読削除	▶「YES」を選択し、⦿を押す 保護されていない既読の送受信チャットメールを削除します。
2 チャット終了	▶「YES」を選択し、⦿を押す 保護されていない既読の送受信チャットメールを削除してチャットを終了します。

メール

おしらせ

＜同報宛先確認＞
- チャットメンバーを6人以上設定することはできません。

＜更新＞
- チャットメール以外のメールを受信した場合は、チャット画面は更新されません。

＜既読削除＞
- 送信に失敗したチャットメールも削除されます。
- 保護されているチャットメールは削除されません。

＜チャット終了＞
- チャットメールを削除しないでチャットを終了するときは、「チャット終了」を選択した後に「NO」を選択します。
- 削除しないで終了した場合は、送受信したチャットメールはそれぞれ、送信BOX一覧画面および受信BOX一覧画面の「チャット」フォルダに保存されます。ただし、全件振り分け設定をしているときは、設定したフォルダに保存されます。

● 同報メールの宛先を参照してチャットメンバーに追加する

- 本機能は、同報メールの宛先がチャットメールに対応したFOMA端末の場合のみ利用することができます。

チャット画面の機能メニュー画面で ➡ P.304

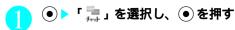
4「同報宛先確認」▶「YES」を選択し、◉▶◈で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］

■ 宛先がすべてチャットメンバーの場合
4「同報宛先確認」▶「OK」を選択し、◉を押す

チャットメールを受信する＜チャットメール受信＞

チャットを起動していないときにチャットメールを受信すると、待受画面に「チャット」が表示されます。アイコンを選択するとチャットが起動し、チャットをはじめることができます。

- チャットメールの表示可能文字数は全角250文字（半角500文字）です。
- 受信したチャットメールに添付ファイルが付いていた場合、チャットメール画面では本文のみ表示されます。
- 前回のチャット終了時にチャットメールを削除しなかった場合は、次回のチャット起動時にチャット画面の発言履歴エリアに日付が新しい順に表示されます。
- チャットメール画面終了時に、チャットメールを一括削除することができます。この場合、iモードメール一覧画面からもメールが削除されます。
- 「チャット」を選択した場合や、受信メールの詳細画面で機能メニューから「チャット起動」を選択した場合は、以下の条件でチャットメンバーや送信先が変更されます。
  - ・送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されているときは、前回チャット終了時のチャットメンバーがそのまま設定されます。ただし、受信メールの詳細画面から起動した場合は、送信先一覧の、送信元以外のメンバーは送信の対象から外れます。「チャット」を選択した場合は、「送信先選択」の設定に従い、送信元のメールアドレスが送信の対象から外れているときは、送信先に追加されます。
  - ・送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されていなくて、チャットグループに登録されているときは、送信元のメンバーが登録されているチャットグループのメンバーすべてが、チャットメンバーに設定されます。ただし、送信先一覧の、送信元以外のメンバーは送信の対象から外れます。
  - ・送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されていなくて、チャットグループにも登録されていないときは、送信元のメールアドレスだけが、チャットメンバーに設定されます。

次ページにつづく

1 ◉▶「チャット」を選択し、◉を押す

待受画面

■ **送信者がチャットメンバーに登録されていない場合**

「YES」を選択し、◉を押す

チャットメンバーを削除してチャットを起動するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、現在設定されているチャットメンバーの設定を変更してチャットを起動します。

■ **現在設定されているチャットメンバーを変更しない場合**

「NO」を選択し、◉を押す

現在設定されているチャットメンバーの設定をそのままにして、メールメニュー画面が表示されます。

2 チャットをはじめる

受信したチャットメールが最新発言エリアに表示されます。削除していないチャットメールがある場合は、発言履歴エリアに日付・時刻の新しい順に表示されます。

おしらせ

- FOMA端末は、以下の条件が一致するかどうかでチャットメールを識別します。
  - 題名に「チャットメール」(すべて全角またはすべて半角)が含まれていること
  - 送信元や宛先のメールアドレスがチャットメンバーまたはチャットグループに登録されていること
  - メール連動型iアプリのメールではないこと
  - デコメールではないこと
  - SMSではないこと
- 受信メールの詳細画面からもチャットを起動することができます。
- チャットメール画面では、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。

チャットグループにメンバーを登録する

チャットグループにあらかじめメンバーを登録しておくことにより、簡単な操作でチャットメンバーに登録することができます。

- 1件のチャットグループにメンバーを5人まで登録できます。自分を登録する必要はありません。
- チャットグループは5件まで登録できます。
- 1人のメンバーを別々のチャットグループに重複して登録することはできません。
- チャットグループにメンバーを登録すると、メンバー名を編集したり、画像を設定することができます。

1 menu▶ユーザ設定を選択し、◉▶5「チャットグループ」

「チャットグループ一覧画面」が表示されます。

チャットグループ一覧画面

メール

2 チャットグループを選択し、◉を押す

「グループメンバー一覧画面」が表示されます。

グループメンバー一覧画面

3 「＜未登録＞」を選択し、◉［編集］▶メールアドレスを入力し、◉を押す

メールアドレスに入力できる文字数は半角50文字までです。
メールアドレスを追加登録するときは、操作2～3を繰り返します。
「文字を入力する」→P.522

■ 電話帳を引用してメールアドレスを入力する場合

アドレス入力画面で機能メニューから「電話帳引用」を選択します。検索する方法を選択し、引用するメールアドレスを選択します。
「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.538

4 CLRを押す

おしらせ

- iモードメールアドレスをチャットメンバーに登録する場合は、メールアドレスに「@docomo.ne.jp」まで入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。
- 登録したメールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名として設定されます。登録したメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。電話帳に画像も登録されている場合は、画像も設定されます。
- ほかのチャットグループに同じメールアドレスのメンバーが登録されていた場合は、確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録されているメンバーを削除して新たに登録します。「NO」を選択すると、操作を中止します。
- 「PIMロック」設定中は、メンバーを登録することができません。

チャットグループ一覧画面の機能メニューを使う

チャットグループ一覧画面で ➡ P.306

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

項目	説明
1 チャット起動	チャットグループのメンバーをチャットメンバーに設定して、チャットを起動します。
2 グループ名編集	▶グループ名を編集し、◉を押す グループ名を編集します。全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
3 グループ名初期化	▶「YES」を選択し、◉を押す グループ名をお買い上げのときの状態にします。

グループメンバー一覧画面の機能メニューを使う

グループメンバー一覧画面で ➡ P.307

◉［機能］▶以下の項目から選択

グループメンバー一覧画面の機能メニュー画面

グループメンバー一覧画面の機能メニュー

1 編集	▶メールアドレスを入力し、◉を押す メールアドレスを編集します。半角で50文字まで入力できます。 「文字を入力する」→P.522	
2 メンバー参照入力	■アドレスが登録されていない場合 ▶以下の項目から選択 ■アドレスが登録されている場合 ▶「YES」を選択し、◉▶以下の項目から選択 電話帳や履歴を参照してグループメンバーのメールアドレスを入力します。	
	1 電話帳	電話帳からメールアドレスを入力します。電話帳に登録されている登録名と静止画が登録されます。 「電話帳から電話をかける」→P.98
	2 送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
	3 受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
3 メンバー入れ替え	■メンバーが登録されていない場合 ▶1「メールメンバー」▶メールメンバーを選択し、◉を押す ■メンバーが登録されている場合 ▶1「メールメンバー」▶「YES」を選択し、◉▶メールメンバーを選択し、◉を押す	
4 メンバー詳細設定	「メンバーの詳細を設定する」→P.308	
5 削除	▶「YES」を選択し、◉を押す	
6 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 選択されているグループメンバー内のすべてのメンバーを削除します。 端末暗証番号について→P.142	

おしらせ

<メンバー入れ替え>
- すでにグループメンバーが登録されていた場合は、グループメンバーをすべて入れ替えるかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、グループメンバーを入れ替えます。「NO」を選択すると、入れ替えを中止します。
- ほかのチャットグループに同じメールアドレスのメンバーが登録されていた場合は、確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録されているメンバーを削除して新たに登録します。「NO」を選択すると、操作を中止します。

●メンバーの詳細を設定する

グループメンバー一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.308

4「メンバー詳細設定」▶以下の項目から選択

1 メンバー名編集	▶メンバー名を入力し、◉を押す メンバー名を編集します。全角で4文字、半角で8文字まで入力できます。 「文字を入力する」→P.522	
2 画像設定	▶以下の項目から選択 チャット画面で表示する各メンバーの画像を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	1 INBOX	INBOXに保存されている画像を選択します。
	2 カメラ	FOMA端末で撮影した静止画を選択します。
	3 プリインストール	FOMA端末に内蔵されている画像を選択します。
3 音声設定	▶以下の項目から選択 チャット画面で読み上げる各メンバーの声を選択します。	
	1 女性ボイス1 （お買い上げ時）	女性ボイス1の声でチャットメールを読み上げます。
	2 女性ボイス2	女性ボイス2の声でチャットメールを読み上げます。
	3 男性ボイス1	男性ボイス1の声でチャットメールを読み上げます。
	4 男性ボイス2	男性ボイス2の声でチャットメールを読み上げます。
	5 ロボット調ボイス	ロボット調ボイスの声でチャットメールを読み上げます。

おしらせ

<**メンバー名編集**>
- メンバー名に何も入力しない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名になります。

<**画像設定**>
- 背景色は変更できません。

チャットの各種設定をする

メール設定画面で ➡ P.296

1 ◉▶3「チャット設定」

「チャット設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

チャット設定画面

チャット設定画面

1 お知らせ音設定	▶以下の項目から選択 新しいチャットメールを受信したときやチャットメールを送信したときにチャット画面で鳴るお知らせ音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディからお知らせ音を選択します。
	2 プリインストール	あらかじめ登録されている着信音やメロディからお知らせ音を選択します。
	3 おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている着信音やメロディからお知らせ音を選択します。
	4 OFF	お知らせ音を鳴らしません。

次ページにつづく

2 チャットメール画像設定	▶以下の項目から選択 チャット画面の最新発言エリアに画像を表示するかしないかを設定します。 1 有効（お買い上げ時） ｜ チャット画面の最新発言エリアに画像を表示します。 2 無効 ｜ チャット画面の最新発言エリアに画像を表示しません。
3 チャット読み上げ設定	▶以下の項目から選択 チャット画面でチャットメールを読み上げるか読み上げないかを設定します。 1 有効 ｜ チャットメールを読み上げます。 2 無効（お買い上げ時） ｜ チャットメールを読み上げません。
4 ユーザ詳細設定	「ユーザの詳細を設定する」→P.310

おしらせ

<お知らせ音設定>
●チャットメンバーに登録されていないメンバーからチャットメールを受信した場合は、お知らせ音は鳴りません。

●ユーザの詳細を設定する

チャット設定画面で ➡ P.309

1 「ユーザ詳細設定」▶以下の項目から選択

1 ユーザ名	▶ユーザ名を入力し、◉を押す ユーザ名を入力します。全角で4文字、半角で8文字まで入力できます。 「文字を入力する」→P.522
2 画像	▶以下の項目から選択 チャット画面で表示する自分の画像を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 1 INBOX ｜ INBOXに保存されている画像を選択します。 2 カメラ ｜ FOMA端末で撮影した静止画を選択します。 3 プリインストール ｜ FOMA端末に内蔵されている画像を選択します。
3 音声	▶以下の項目から選択 チャット画面で読み上げる自分の声を選択します。 1 女性ボイス1（お買い上げ時） ｜ 女性ボイス1の声でチャットメールを読み上げます。 2 女性ボイス2 ｜ 女性ボイス2の声でチャットメールを読み上げます。 3 男性ボイス1 ｜ 男性ボイス1の声でチャットメールを読み上げます。 4 男性ボイス2 ｜ 男性ボイス2の声でチャットメールを読み上げます。 5 ロボット調ボイス ｜ ロボット調ボイスの声でチャットメールを読み上げます。

おしらせ

●背景色は変更できません。

<ユーザ名>
●ユーザ名に何も入力しなかったり、空白のみを入力した場合は、「自分」になります。

SMSを作成して送信する

● ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

SMSを作成して送信する

1 ⦿［MAIL］▶ 6「SMS作成」

「新規SMS画面」が表示されます。

新規SMS画面

2 「To」を選択し、⦿を押す

「SMS宛先入力画面」が表示されます。

SMSの宛先は1件のみ入力できます。

「To」を選択して⦿［機能］を押すと、宛先参照入力ができます。→P.312

3 宛先の電話番号を入力し、⦿を押す

「宛先入力／題名入力画面の機能メニューを使う」→P.252

■宛先がドコモ以外の海外事業者の場合

＋（0を1秒以上押す）－国番号－相手先の携帯電話番号の順に入力する

携帯電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力してください。

■入力した宛先を変更する場合

新規SMS画面で宛先を選択して電話番号を入力し直す

新規SMS画面の機能メニューから「宛先参照入力」を選択して宛先を変更（上書き）することもできます。

以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。

・宛先に数字、「＊」、「＃」以外の文字が含まれているとき

・宛先の先頭以外に「＋」が含まれているとき

宛先の先頭に「184」／「186」／「＃31＃」／「＊31＃」を入力して送信しようとしたときは、発番号設定を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、「184」／「186」／「＃31＃」／「＊31＃」を削除してSMSを送信します。

4 「本文」を選択し、⦿を押す

「SMS本文入力画面」が表示されます。

次ページにつづく

5 本文を入力し、◉を押す

本文編集画面に入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」（P.313）の設定に従います。「日本語入力」に設定されている場合は、すべての全角／半角文字を70文字まで、「半角英数入力」に設定されている場合は、半角の英数字や記号（。「」{} [] ｜、・-゛゜^ ` ~ を除く）を160文字まで入力できます。
スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
本文入力中は「宛先入力」の機能メニュー（P.252）が使えます。

6 ◉［送信］を押す

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。「OK」を押すとメールメニュー画面に戻ります。
送信済み、未送信のSMSを再編集するには→P.293

おしらせ

- FOMA端末に保存されている送信メール（SMSとiモードメールの合計）が最大保存件数（P.277）を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に削除されます。ただし、保護されている送信メールは削除されません。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
- 送信を行わずに、新規SMS画面で CLR または ☎ を押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、それまで入力した文字は消去されます。入力した文字を消去したくないときは、「NO」を選択すると元の画面に戻ります。
- 本文編集中に改行することができます。改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。
- スペース（空白）も文字と同じように文字数にカウントされます。

SMS送達通知について<SMS送達通知表示>

「SMS送達通知設定」（P.312）を「要求する」に設定した場合、SMS送信後にSMS送達通知が送られてきます。SMS送達通知は受信BOXに保存されますが、送信したSMSにもSMS送達通知が保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。
SMS送達通知（📄）があるSMSを表示し、機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択します。
SMS送達通知は、受信メール一覧画面でSMS送達通知を選択しても表示できます。SMS送達通知は題名に「✉SMS送達通知」と表示されます。

新規SMS画面の機能メニューを使う

新規SMS画面で ➡ P.311

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

新規SMS画面の機能メニュー 1/2

項目	説明	
1 送信	SMSを送信します。	
2 送信プレビュー	送信する前にSMSの宛先や内容を確認します。	
3 保存	編集中のSMSを保存BOXに保存します。iモードメールと合わせて20件まで保存できます。	
4 宛先参照入力	▶以下の項目から選択 電話帳や履歴を参照して宛先を入力します。	
	1 電話帳	電話帳を検索して電話番号を入力します。 「電話帳から電話をかける」→P.98
	2 送信アドレス一覧	送信アドレス一覧から電話番号を入力します。
	3 受信アドレス一覧	受信アドレス一覧から電話番号を入力します。
5 SMS送達通知設定	▶以下の項目から選択 SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。	
	1 要求する	SMSの送信後にSMS送達通知が届きます。
	2 要求しない（お買い上げ時）	SMSを送信してもSMS送達通知は届きません。

6 SMS有効期間設定	▶以下の項目から選択 送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。	
	1 0日	SMSセンターに保管しません。
	2 1日	SMSセンターに1日保管します。
	3 2日	SMSセンターに2日保管します。
	4 3日（お買い上げ時）	SMSセンターに3日保管します。
7 SMS本文入力設定	▶以下の項目から選択 SMSの本文の入力方法を設定します。	
	1 日本語入力 （お買い上げ時）	すべての全角文字および半角文字を70文字まで入力できます。
	2 半角英数入力	半角の英数字を160文字まで入力できます。

新規SMS画面の機能メニュー 2/2

1 本文消去	▶「YES」を選択し、●を押す 本文だけを消去します。
2 SMS削除	▶「YES」を選択し、●を押す 編集中のSMS を削除します。

おしらせ

＜SMS 本文入力設定＞

● メール設定画面で SMS 本文入力設定を設定した場合は、電源を切った後でも設定は保持されますが、機能メニューでSMS本文入力設定を設定した場合は、SMS1件に限り有効です。

〈SMS受信〉

SMSを受信したときは

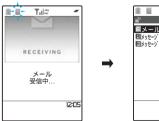
FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

● 受信したSMSは、FOMA端末にiモードメールと合わせて最大で1,000件まで保存できます。
● メールを受信したときの着信音を「着信音選択」（P.112）でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」（P.133）で変更したりできます。
● movaサービスのiモード端末から送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。

SMSを受信すると、「（青色）」のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

受信が終わると、受信結果画面に受信したSMS、iモードメール、メッセージリクエストやメッセージフリーの件数が表示されます。
「メール」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。
何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」（P.116）の設定によって変わります。
着信音の音量は「着信音量」（P.66）の「メール」で設定した音量になります。

次ページにつづく

おしらせ

- FOMA端末に保存されている受信メール（iモードメールとSMSの合計）が1,000件または保存容量を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.288
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メール（iモードメールとSMSの合計）が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信することができず、「（赤色）」が表示されます。SMSを受信できるようにするには、「（赤色）」が消えるまでFOMA端末に保存されている受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護解除をして、「SMS問い合わせ」をしてください。
- SMSを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ① 電話帳便利機能のメール着信音、メールイルミネーション→P.107
  ② グループ便利機能のメール着信音、メールイルミネーション→P.108
  ③「着信音選択」、「着信イルミネーション」→P.112、133
- 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件で、着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。
- movaサービスのiモード端末からショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、送信元の電話番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。
- 待受画面以外を表示しているときに SMS を受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときにSMSを受信した場合は、イルミネーション・ウィンドウに表示されます。
- iモーションの再生中にSMSを受信した場合は、映像や音声が途切れることがあります。

新着SMSを表示する

- 受信したSMSは、受信メール一覧画面の題名には本文の先頭が表示されます。
- 受信した SMS 送達通知の題名は「SMS 送達通知」と表示されます。留守番着信通知の場合は、「留守番　着信通知」と表示されます。

「メール」を選択し、

受信したSMSを選択し、◉を押す

おしらせ

- 受信したSMSに半角の英数字や記号（。「」{} [] |、・ - ゛゜^ ` ~を除く）以外のロシア文字、ギリシャ文字、記号、または区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合はスペース（空白）で表示されます。
- 表示したSMSの送信元の電話番号は反転表示されます。反転した状態で◉を押すと、表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話をかけられます（Phone To／AV Phone To機能）。また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同じ操作で電話をかけられます。
- 「SMS送達通知設定」（P.297）でSMS送達通知を要求するように設定した場合のみ、SMS送達通知が送られてきます。また、送信メール詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」（P.293）を選択しても確認することができます。

受信したSMSに返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送できます。

●題名の入力はできません。
「新たに本文を入力して返信する」→P.273

おしらせ

● SMSでは引用返信、参照返信はできません。
● 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
● SMS送達通知は返信／転送することはできません。
● FOMAカード内のSMSを返信／転送した場合、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「」／「」のアイコンは表示されず「」のアイコンの表示のままとなります。

〈SMS問い合わせ〉

SMSがあるかどうかを問い合わせる

● SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のとき、セルフモード設定中、受信BOXが満杯のときなどで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
●「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。

[MAIL] ▶ 9 「SMS問い合わせ」

問い合わせ中は、「問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わると問い合わせを行ったというメッセージが表示されるので、を押します。
センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。
問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

■ 問い合わせを中止する場合

CLRを1秒以上押す
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりSMSを受信することがあります。

おしらせ

●「(赤色)」「(赤色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやSMSを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除（P.288）してください。読んだり、保護を解除したメールは、受信時に古いものから順に上書きされます。
● 本機能でiモードメール、メッセージリクエストやメッセージフリーを受信することはできません。iモードメール、メッセージリクエストやメッセージフリーを受信するには、「iモード問い合わせ」をして受信してください。

〈SMS設定〉
SMSの設定を行う

SMSセンターについて設定する

※通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時	ドコモ

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

<例：他社のSMSセンターを利用する場合>

1 menu▶(各種設定)を選択し、●▶8「アプリケーション通信設定」▶「SMS center設定」を選択し、●▶以下の項目から選択

1 ドコモ	ドコモのSMSセンターを利用します。
2 ユーザ設定	▶SMSセンターのアドレスを入力し、●▶1「International」または2「Unknown」 他社のSMSセンターを利用します。
3 リセット	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

<ユーザ設定>
- 入力したSMSセンターのアドレスに「*」や「#」が含まれていた場合は、「1 International」を選択することはできません。

SMS受信拒否設定

お買い上げ時	拒否しない

SMSの受信拒否の設定をします。以下のいずれかの方法により、受信するSMSを制限することができます。
- 「SMS一括拒否」：通知・非通知にかかわらず、SMSの受信を拒否することが可能です。
- 「非通知SMS拒否」：movaサービスのiモード端末や、PHS、一般電話などから発信者番号が非通知で送信されるSMSの受信を拒否することが可能です。

1 *2018 4 ☎を押す

SMSセンターへ接続します。

■ iMenu画面より、SMSセンターへ接続する場合

iMenu画面→8オプション設定→1メール設定→メール受信設定の「その他設定」→「SMS拒否設定／確認」→SMSセンター 「＊20184」を選択し、●を押す

2 ガイダンスを聞く▶以下の項目から選択

1、2、9、*（終了）を押したときや誤ったボタンを3回押したときは通話が切れます。

1	すべてのSMSを拒否します。
2	非通知のSMSのみを拒否します。
9	拒否設定を解除します。

※迷惑SMSを防ぐためにSMS一括拒否、または非通知SMS拒否設定のご利用が効果的です。

おしらせ

- ドコモが提供するサービス「moperaメール着信通知」、「ビジュアルネットの会議開催通知」および「FOMA着信通知機能」として送信されるSMSは拒否対象外です。
- 拒否設定したいFOMA端末からのみ設定が可能です。mova端末からの発信やデュアルネットワークサービスでmova端末利用時にはSMSセンターに接続できません。
- 設定に係わる通話料、パケット料金は無料です。

〈FOMAカード操作〉

SMSをFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードに移動したり、コピーして保存できます。また、FOMAカードに保存されているSMSを本体に移動またはコピーできます。

- FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存できます。

SMSをFOMAカードに移動またはコピーする

＜例：受信フォルダ内のSMSをFOMAカードに移動する場合＞

1 ◎［MAIL］▶ 1「受信BOX」▶ フォルダを選択し、◉ ▶ SMSを選択 ▶ ◎［機能］▶ ◎ ▶ 5「FOMAカード操作」▶ 以下の項目から選択

1 FOMAカードへ移動	▶「YES」を選択し、◉を押す FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動します。
2 FOMAカードへコピー	▶「YES」を選択し、◉を押す FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードにコピーします。

おしらせ

- 受信SMS／送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、SMSは受信BOXフォルダ／送信BOXフォルダ内に表示されます。
- 受信メール詳細画面、送信メール一覧画面、送信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選択してもSMSを移動またはコピーできます。
- FOMAカードのSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。
- FOMAカード内にすでにSMSを20件保存している場合は、「▣(赤色)」、「▣(青色)」または「▣(赤色)」のアイコンが表示され、FOMAカードへの移動またはコピーはできません。
- 電池パックを外すと、FOMAカードの送信SMSの日付・時刻が消去され、一覧の最後に表示されます。ただし、SMS送達通知が一緒に保存されている送信SMSの場合、日付・時刻は消去されません。

FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動またはコピーする

＜例：FOMAカード内のSMSを受信フォルダに移動する場合＞

1 ◎［MAIL］▶ 1「受信BOX」▶ フォルダを選択し、◉ ▶ SMSを選択 ▶ ◎［機能］▶ ◎ ▶ 5「FOMAカード操作」▶ 以下の項目から選択

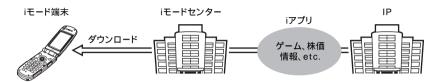
3 FOMAカードから移動	▶「YES」を選択し、◉を押す FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動します。
4 FOMAカードからコピー	▶「YES」を選択し、◉を押す FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）にコピーします。

おしらせ

- 受信メール詳細画面、送信メール一覧画面、送信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選択してもSMSを移動またはコピーできます。

iアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードする（取り込む）ことにより、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）を便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のiアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックできます。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などマルチメディアと連動できるiアプリもあります。

●iアプリをダウンロードするには→P.321
●iアプリを起動するには→P.324
●iアプリを自動起動するには→P.330

おしらせ

● ソフトによってはiモード端末の携帯電話製造番号（FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号など）を利用する場合があります。
● ソフトによっては起動時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存

●iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳のデータなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。→P.329

登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・電話帳参照
・最新のリダイヤル参照
・最新の着信履歴参照
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・メールメニューの利用
・iモードメール作成画面利用
・最新の未読メール参照
・受信BOX／送信BOX／保存BOX参照
・着信音変更（電話、テレビ電話、メール、メッセージ、チャットメール）
・画面設定の変更（待受画面、電話発着信、テレビ電話着信、メール送受信、メッセージリクエスト受信、メッセージフリー受信）
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・iモーション保存
・メロディ保存
・スケジュール登録

おしらせ

- iアプリ DX では、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず自動的に通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリ DXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→P.44

● メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリはiアプリ DXの一種で、iモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。
・メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

● こんなこともできます

■ iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P.333
・iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P.330

■ カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。→P.160
・カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより幅広い使いかたができます。→P.412
・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。→P.418
・赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

iアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動できます。

- ダウンロードしたソフトは最大100件まで（メール連動型iアプリは5件まで）保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量により10～100件と変動します。
- メール連動型iアプリをダウンロードした場合、送信フォルダおよび受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型iアプリ名がつき、変更できません。
- メール連動型iアプリ専用のフォルダが5件ある場合、すでに保存されているメール連動型iアプリ専用のフォルダを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。
- 同じ受信フォルダ、送信フォルダを利用するメール連動型iアプリがすでに保存されている場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。
- 「メールセキュリティ」設定中は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。
- メール連動型iアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型iアプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で移動することもできます。
- フォルダを残して削除したメール連動型iアプリをもう一度ダウンロードした場合は、残していたフォルダを利用できます。また、残していたフォルダを削除して新規のフォルダを作成することもできます。残していたフォルダを利用せずに、また新規のフォルダも作成していない場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。

● 保存件数やメモリに空きがある場合

ソフトを選択し、ダウンロードする

ダウンロードが完了すると、「完了しました」というメッセージが表示されます。◉を押すとソフトを起動するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、サイトからすぐに起動するソフト（P.323）の場合は「完了しました」というメッセージは表示されずにソフトが起動します。

■ ダウンロードを中止する場合
◉を押す

「YES」を選択し、◉を押す

ソフトを起動すると画面下に「」が表示されます。iアプリDXを起動したときは、「」が表示されます。

■ ソフトを起動しない場合
「NO」を選択し、◉を押す

■ ソフトの起動を中止する場合
ソフトの起動中に◉を押す

おしらせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- iアプリのソフトによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で設定が必要です。
- ダウンロード中はタスクの切り替えができません。
- iアプリDXや登録データまたは携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するiアプリをダウンロードする場合は、登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用することを通知するメッセージが表示されます。
- SSL対応のサイトからソフトの情報やソフトをダウンロードする場合は、「」が表示されます。→P.208
- お買い上げのときは「ソフト情報表示設定」は「表示しない」に設定されています。「表示する」に設定した場合は、ダウンロードする前にソフトの情報を確認することができます。◉を押すとダウンロードするかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択するとダウンロードを開始します。
- ダウンロード時に、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信するかどうかの確認メッセージが表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードを開始します。このとき、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。中止する場合は「NO」を選択します。
- 通信して利用するソフトや待受画面に設定できるソフトをダウンロードした場合は、ソフト設定画面が表示されます。ダウンロードしたソフトに応じて設定した後、◉［完了］またはⓒCLRを押してください。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合は、ソフトを上書きするかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択するとダウンロードを開始します。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトは削除されます。
- 「iアプリメール」とは、メール連動型iアプリで送信、保存したメールや、メール連動型iアプリ用として送られてきたメールのことです。iアプリメールには、iアプリメール用フォルダに自動的に保存されるようにiアプリ利用データが設定されています。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、iアプリで立体画像を表示できます。
  ※：多角形を組み合わせることにより、立体的で奥行きのある画像を表現します。

● 保存されているソフトがいっぱいの場合

すでにソフトが100件保存されている場合やメモリの空きが不足している場合は、ソフトがいっぱいであることを通知するメッセージが表示されます。すでに保存されているソフトを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。

1 「YES」を選択し、◉を押す

■ ソフトを削除しない場合

「NO」を選択し、◉を押す

2 ◎を押して□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］

ソフトを削除してメモリに空きがある場合

ソフトを選択するごとに「不足容量」とバーの目盛りが減ります。「不足容量」とバーの目盛りが0になるまで削除するソフトを選択してください。

3 「YES」を選択し、◉を押す

ダウンロードが再開されます。

ダウンロード時にiアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時	表示しない

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定できます。

1 menu▶[各種設定]を選択し、◉▶9「iアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」を選択し、◉▶以下の項目から選択

項目	説明
1 表示する	ダウンロード時にソフト情報画面が表示されます。
2 表示しない	ダウンロード時にソフト情報画面が表示されません。

サイトからすぐに起動するiアプリについて

通常のiアプリのソフトとは異なり、サイトからすぐに起動するiアプリのソフトがあります。

- サイトからダウンロードしてもFOMA端末には保存されていません。ソフト一覧画面にも表示されません。
- ソフト起動中に、通信するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- iアプリ待受画面として起動することはできません。
- ソフト終了後、保存するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- FOMA端末に保存した後は、通常のソフトと同様に起動することができます。

iアプリを起動する

iアプリを起動する

1 **◉[imode]を1秒以上押す**

「ソフト一覧画面」が表示されます。

2 **起動するソフトを選択し、◉を押す**

■ ソフトの起動を中止する場合

ソフトの起動中に◉を押す

ソフト一覧画面

iアプリを終了する

1 **[PWR HLD]▶「YES」を選択し、◉を押す**

■ ソフトを作成される方へ

iアプリのソフトを作成して正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。
[menu]▶[iアプリ]を選択し、◉▶[3]「iアプリ実行情報」▶[4]「トレース情報」の順に操作します。ソフトのトレース情報が、発生した順に表示されます。機能メニューから「情報コピー」を選択すると、トレース情報をコピーできます。機能メニューから「情報削除」を選択すると、トレース情報を削除できます。

おしらせ

- iアプリの終了は、以下の手順でも行えます。
  - ・[CLR]（1秒以上）→「YES」を選択し、◉を押す
- iアプリDXを起動するには、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
- 「自動起動設定」を「許可する」に設定し、「自動起動時刻設定」を設定すると、ソフトを自動で起動できます。→P.330
- ソフトの起動中にiモードメール、メッセージリクエストやメッセージフリーを受信した場合は、「[✉]」、「[R]」、「[F]」が表示されます。受信したメール、メッセージリクエストやメッセージフリーを表示するには、ソフトを終了するか、またはマルチタスク機能をご利用ください。
- ソフトの起動中に再生されるメロディは、「着信音量」で設定した音量で再生されます。ただし、通話中は再生されません。
- iアプリのソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
- ソフトの起動中に電話がかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終わるとソフトの画面に戻ります。
- ソフトによっては、iアプリからPhone To／AV Phone To機能やWeb To機能を利用することができます。ただし、iアプリ待受画面からWeb To機能はご利用になれません。
- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ソフトの起動中は電池パックを外さないでください。それまでのデータや情報が保存されません。
- iアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：iアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のiアプリからカメラを起動して撮影した画像、iアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、iアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、iアプリがデータBOXから取得した画像を指します。
- iアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はiアプリの一部として保存、利用されます。
- iアプリからカメラを起動した場合、ソフトによって画像サイズや画質、フレームなどが設定されることがあります。
- iアプリからバーコードリーダーを起動してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取ったデータはソフトで利用されます。
- トレース情報がない場合は、「トレース情報」は表示されません。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。

ソフト一覧画面の機能メニューを使う

ソフト一覧画面で ➡ P.324

ソフト一覧画面の
機能メニュー画面

1 ● ［機能］▶以下の項目から選択

ソフト一覧画面の機能メニュー 1/2

項目			内容
1 iアプリTo設定			「iアプリToで起動するかどうかを設定する」→P.331
2 自動起動時刻設定			「起動日時を設定する」→P.330
3 ソフト設定			▶**以下の項目から選択** ソフトの各種設定を行います。
	1 待受画面設定		「iアプリ待受画面を設定する」→P.333
	2 通信設定		▶**以下の項目から選択** iアプリを起動するときに通信するかしないかを設定します。
		1 通信する	iアプリ起動中に自動で通信します。
		2 通信しない	iアプリ起動中に通信しません。
		3 起動ごとに確認	iアプリを起動するたびに通信するかしないかを選択します。
	3 待受画面通信		▶**以下の項目から選択** 待受画面に設定したiアプリが通信するかしないかを設定します。
		1 通信する	iアプリ待受画面で自動で通信します。
		2 通信しない	iアプリ待受画面で通信しません。
	4 アイコン情報		▶**以下の項目から選択** iアプリを起動するときに未読のメール、メッセージのアイコン情報の通知を許可するかしないかを設定します。
		1 利用する	アイコン情報の通知を許可します。
		2 利用しない	アイコン情報の通知を許可しません。
	5 着信音／画像変更		▶**以下の項目から選択** iアプリDXを起動するときに電話やメール、メッセージの着信音および待受画面やメール送受信時などの画像の変更を許可するかしないかを設定します。
		1 許可する	着信音や画面の変更を許可します。
		2 許可しない	着信音や画面の変更を許可しません。
		3 変更ごとに確認	iアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択します。
	6 電話帳／履歴参照		▶**以下の項目から選択** iアプリDXを起動するときに電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールの参照を許可するかしないかを設定します。
		1 許可する	電話帳や発信履歴、着信履歴の参照を許可します。
		2 許可しない	電話帳や発信履歴、着信履歴の参照を許可しません。
4 ソフト情報			「iアプリの情報を確認する」→P.326
5 バージョンアップ			「iアプリをバージョンアップする」→P.334
6 デスクトップ貼付			▶**「YES」を選択し、●を押す** 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
7 削除			「iアプリを削除する」→P.335

次ページにつづく

ソフト一覧画面の機能メニュー 2/2

1 **選択削除**	「iアプリを削除する」→P.335
2 **全削除**	「iアプリを削除する」→P.335

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>

● 「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

● セルフモード設定中またはデュアルネットワークサービスでmovaを有効にしている場合には、通信を行うソフトを起動できないことがあります。

<ソフト設定（アイコン情報）>

● iアプリ待受画面に設定されているソフトの本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

● 本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトなどソフトによっては動作しないことがあります。

iアプリの情報を確認する

ソフト一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.325

4 「ソフト情報」▶ソフト情報を確認

おしらせ

● 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。

● ソフト一覧画面では以下のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。

：iアプリDXであることを示しています。→P.320

：メール連動型iアプリであることを示しています。

：「iアプリ待受画面設定」（P.333）を設定できるソフトであることを示しています。

：「自動起動時刻設定」が設定されていることを示しています。→P.330

：「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。

：「自動起動時刻設定」が設定され、「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。

：SSL対応ページからダウンロードしたソフトであることを示しています。

照明やバイブレータの設定をする

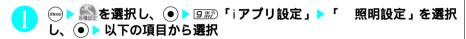
お買い上げ時	すべてシステム依存

iアプリ起動中にバックライト、バイブレータ、イルミネーション・ウィンドウの動作をFOMA端末の設定（システム依存）に従わせるか、ソフトの設定（ソフト依存）に従わせるかを設定します。

動作箇所	iアプリ設定項目	動作内容	
		システム依存	ソフト依存
バックライト	α照明設定	「照明設定」→P.126	iアプリの設定に依存します。
バイブレータ	αバイブレータ	動作しません※	
イルミネーション・ウィンドウ	αイルミネーション・ウィンドウ	「イルミネーション・ウィンドウ」→P.125	

※：「αバイブレータ」をシステム依存に設定した場合は、「バイブレータ」（P.114）の設定にかかわらず動作しません。

<例：バックライトの動作を設定する場合>

1 menu ▶ 各種設定を選択し、● ▶ 9「iアプリ設定」▶「α照明設定」を選択し、● ▶ 以下の項目から選択

1 システム依存	バックライトの動作をFOMA端末の設定に従わせます。
2 ソフト依存	バックライトの動作をソフトの設定に従わせます。

おしらせ

- ソフトによってはバックライトの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行すると動作しませんので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

セキュリティエラー履歴を確認する

iアプリやiアプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは、セキュリティエラーが発生して、その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

1 menu ▶ (iアプリ)を選択し、● ▶ 3「iアプリ実行情報」▶ 2「セキュリティエラー履歴」

「セキュリティエラー履歴画面」が表示されます。

2 セキュリティエラーの内容を確認する

セキュリティエラー履歴画面

セキュリティエラー履歴画面の機能メニューを使う

セキュリティエラー履歴画面で ➡ P.328

1 ●［機能］▶ 以下の項目から選択

セキュリティエラー履歴画面の機能メニュー

1 情報コピー	セキュリティエラーの内容をコピーします。
2 情報削除	▶「YES」を選択し、●を押す セキュリティエラーの内容を削除します。

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動することができます。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することができます。

- ほかのソフトを起動することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- 起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ソフトを選択する項目を選択し、● ▶「YES」を選択し、●を押す

2 起動するソフトを選択し、● ▶ ソフトを起動する項目を選択し、● ▶「YES」を選択し、●を押す

おしらせ

- ソフトを起動する項目に起動先のソフトのURLが指定されている場合は、起動先のソフトを起動するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、起動中のソフトが終了して起動先のソフトが起動します。起動中のソフトに戻るときは、「NO」を選択します。

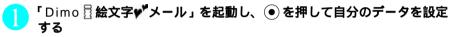
お買い上げ時に登録されているソフト

本FOMA端末には「Dimo 絵文字メール」「ぷよぷよフィーバー N」「Gガイド番組表リモコン」のソフトがあらかじめ登録されています。

- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。
- FOMA 端末にあらかじめ登録されている i アプリのソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。
  「みんなNらんど」への接続のしかた→P.205
  ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用しているときは、FOMAカード制限機能がかかります。→P.37

● Dimo 絵文字メールを楽しむ

メール内の絵文字に反応して、キャラクター達が愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。
また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクター達が電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA端末の未読メール情報などを伝えてくれます。

1 「Dimo 絵文字メール」を起動し、◉を押して自分のデータを設定する

ソフトを起動する→P.324

ⒸBVIG

2 メニューから項目を選択する

おしらせ

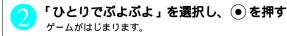
- 詳しい使いかたは、『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

● ぷよぷよフィーバー Nを楽しむ

アーケードゲーム、家庭用ゲーム機で大好評の「ぷよぷよ」シリーズのiアプリ版です。シンプルで奥の深い世界を楽しめます。

1 「ぷよぷよフィーバー N」を起動し、◉または◉［スタート］を押す

ソフトを起動する→P.324

ⒸSEGA

次ページにつづく

2 「ひとりでぷよぷよ」を選択し、◉を押す

ゲームがはじまります。

● Gガイド番組表リモコンを利用する

「Gガイド番組表リモコン」は、テレビ番組表とテレビリモコン機能が一つになった月額利用料が無料の便利アプリです。いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。お住まいの地域に応じたテレビ局の番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®を知ることができます。気になった番組情報があったら、すぐにお友達に番組のタイトル、番組の放送スケジュールなどをメールでお知らせできる「おすすめメール」機能があります。また、お使いのテレビのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。ご利用には別途パケット通信料がかかります。
「Gガイド番組表リモコン」については「赤外線リモコン機能を利用する」（P.418）を参照してください。

iアプリを自動起動する

ソフトを自動起動させることができます。自動起動させたい日付や時刻、曜日の指定を設定することができます。

●「時計設定」（P.44）で日付・時刻を設定していない場合は、自動起動時刻を設定できません。

自動起動するかどうかを設定する<自動起動設定>

お買い上げ時	許可しない

1 menu ▶ iアプリ を選択し、◉ ▶ 2 「自動起動設定」 ▶ 1 「許可する」または 2 「許可しない」

起動日時を設定する<自動起動時刻設定>

お買い上げ時	すべてOFF

ソフトが自動起動する日時を設定します。

●以下のような場合、ソフトは自動起動しません。

・電源を切っている場合
・日付・時刻が設定されていない場合
・ほかの機能が起動している場合
・通話中
・「オールロック」設定中
・「PIMロック」設定中
・iアプリメニューが起動している場合
・めざまし時計、スケジュール、ToDoの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
・ソフトウェア更新の予約時刻が自動起動の時刻と同じ場合

ソフト一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.325

1 2 「自動起動時刻設定」 ▶ 設定する項目を選択し、◉を押す

■ ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合

「時間間隔設定」のチェックボックスを選択し、◉を押す

■ 起動日時を設定する場合

「起動時刻設定」のチェックボックスを選択し、◉を押す

iアプリ

2 ◉［完了］▶起動日時を設定

■ 起動日時を設定する場合

日時を選択し、◉▶起動日時を入力し、◉を押す

■ 自動起動の繰り返しを設定する場合

繰り返し設定を選択し、◉▶「毎日」または「曜日指定」を選択し、◉を押す

「曜日指定」を選択したときは、◎を押して□（チェックボックス）を選択して◉を押し、◉［完了］を押します。

3 ◉［完了］を押す

おしらせ

- 同じソフトに時間間隔設定と起動時刻設定を設定し、それぞれの設定で起動する時刻が10分以内に重なった場合は先の起動時刻に自動起動し、次の起動時刻には自動起動しません。

iアプリが自動起動したかどうかを確認する

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認できます。

1 MENU▶（iアプリ）を選択し、◉▶3「iアプリ実行情報」▶3「自動起動情報」

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。

おしらせ

- 自動起動できなかった場合は、待受画面に「（ソフト）」（未起動ソフトあり）というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。ソフトを選択し、◉を押すと、ソフトを起動することができます。デスクトップアイコンについて→P.135
- iモード中やほかのソフトを実行していて自動起動できなかった場合も記憶されます。

〈iアプリTo機能〉

サイトやメールからiアプリを起動する

サイトやメールなど、iアプリ以外の機能からiアプリを起動できます。

iアプリToで起動するかどうかを設定する<iアプリTo設定>

お買い上げ時	すべて起動する

サイトやメール、赤外線通信機能、バーコードリーダーからiアプリのソフトを起動するかどうかを設定することができます。

- ソフトごとに設定することができます。

ソフト一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.325

1 1「iアプリTo設定」▶以下の項目から選択

サイトからiアプリTo	▶チェックボックスを選択し、◉▶◉［完了］ サイトのページからソフトを起動することができます。

次ページにつづく

メールからiアプリTo	▶チェックボックスを選択し、◉▶◉［完了］ iモードメールからソフトを起動することができます。
赤外線からiアプリTo	▶チェックボックスを選択し、◉▶◉［完了］ 赤外線通信機能からソフトを起動することができます。
バーコードからiアプリTo	▶チェックボックスを選択し、◉▶◉［完了］ バーコードリーダーからソフトを起動することができます。

サイトからiアプリを起動する

サイトにiアプリのソフトの起動指定が表示されている場合は、サイトからソフトを起動することができます。

●一部ご利用になれないサイトがあります。

サイト画面で ➡ P.205

1 ソフトを起動する項目を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

●複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

メールからiアプリを起動する

受信したiモードメールにiアプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合は、iモードメールからソフトを起動することができます。

受信メール詳細画面で ➡ P.281

1 ソフトを選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

●複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

●iモードメール本文に、iアプリの起動指定がある場合、引用返信や転送をしてもiアプリの起動指定は引用できません。また、赤外線通信機能やデータリンクソフトを利用してメールを転送したときも、iアプリの起動指定は転送できません。

赤外線通信機能からiアプリを起動する

赤外線通信中にiアプリ起動の信号を受信するとiアプリのソフトを起動することができます。

1 menu 7 9 ▶ 1「受信」▶iアプリ起動の信号を受信

バーコードリーダーからiアプリを起動する

バーコードリーダーで読み取ったバーコードにiアプリの起動指定が含まれている場合は、バーコードリーダーからソフトを起動することができます。

1 menu ▶ ツール を選択し、◉▶◉▶ 5「バーコードリーダー」▶ 1「新規読取」▶バーコードを読み取る

2 「iアプリ起動」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

〈iアプリ待受画面設定〉

iアプリ待受画面を設定する

選択したiアプリのソフトを待受画面として設定します。iアプリ待受画面の表示中は、画面下に「」または、「」が表示されます。

●iアプリ待受画面に設定できるiアプリは1件のみです。
●iアプリ待受画面からWeb To機能（P.225）は利用できません。
●待受画面に設定できないソフトもあります。

ソフト一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.325

[3]「ソフト設定」▶[1]「待受画面設定」▶[1]「設定する」▶[●][完了]

おしらせ

- 待受画面に設定したソフトには「」が表示されます。
- 通信するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- 「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- iアプリ待受画面が設定されている場合、「画面表示設定」（P.120）の「待受画面」で設定した画像は待受画面に表示されません。
- メニュー機能の動作中に待受画面を表示したときには、iアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- iアプリ待受画面を設定している状態で電源を入れ直した場合、iアプリ待受画面を起動するかどうかのメッセージが表示されます。
- iアプリ待受画面表示中に「オールロック」または「PIMロック」を設定すると、iアプリ待受画面は終了し、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示されます。「オールロック」または「PIMロック」を解除すると、iアプリ待受画面が表示されます。

iアプリ待受画面をアプリモードに切り替える

iアプリ待受画面に設定したソフトを起動します。

1 **iアプリ待受画面表示中に[CLR]を押す**

iアプリが起動し、画面下の「」または「」が「」または「」の点滅表示に変わります。

おしらせ

- ソフトによっては、iアプリ待受画面表示中にボタン操作によりアプリモードからiアプリ待受画面に戻すことができるものもあります。ただし、ほかのメニュー機能が動作中はiアプリ待受画面に戻すことはできません。

iアプリ待受画面を解除する<iアプリ待受画面解除>

●iアプリ待受画面の起動中に解除する

1 **iアプリ待受画面の起動中に[CLR]（1秒以上）または[PWR HLD]▶以下の項目から選択**

[1] キャンセル	iアプリ待受画面の解除をキャンセルします。
[2] 終了する	iアプリ待受画面を解除せずに終了してiアプリ待受画面を再度表示します。
[3] 解除する	▶「YES」を選択し、[●]を押す

iアプリ

●iアプリ待受画面の表示中に解除する

1 menu ▶ [各種設定]を選択し、● ▶ 9「iアプリ設定」▶「待受画面終了」を選択し、● ▶ 以下の項目から選択

1 終了	iアプリ待受画面を解除せずに終了してiアプリ待受画面を再度表示します。
2 設定解除	▶「YES」を選択し、●を押す

おしらせ

●iアプリ待受画面を解除すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が待受画面に表示されます。

iアプリ待受画面の終了情報を確認する

iアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

1 menu ▶ [iアプリ]を選択し、● ▶ 3「iアプリ実行情報」▶ 1「待受画面終了情報」

ソフト名、エラーの発生日時と発生理由が表示されます。

おしらせ

●iアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。
●画面の右下に「機能」と表示されている場合は、●[機能]を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーできます。「情報削除」を選択し「YES」を選択すると情報が削除されます。

iアプリを管理する

iアプリをバージョンアップする<バージョンアップ>

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

●以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型iアプリをバージョンアップできません。
・「メールセキュリティ」設定中
・フォルダの「メールセキュリティ」設定中
・バージョンアップするメール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダの使用中

ソフト一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.325

1 5「バージョンアップ」▶「YES」を選択し、●を押す

おしらせ

- メモリの空きが不足しているときは、不要なソフトを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。→P.323
- ソフトが更新されていない場合は、ソフト情報を取得した後に現在のソフトが最新であることを通知するメッセージが表示されます。
- SSL対応ページの場合は、SSL通信を開始することを通知するメッセージが表示されます。
- バージョンアップの前に、電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用することを通知するメッセージが表示される場合があります。
- ソフトによっては、ソフトの起動中に自動的にバージョンアップするものがあります。その場合、バージョンアップするかどうかのメッセージが表示されます。

iアプリを削除する<iアプリ削除>

保存されているソフトを1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

ソフト一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.325

⦿［機能］▶以下の項目から選択

機能メニュー 1/2	
7 削除	▶「YES」を選択し、⦿を押す
機能メニュー 2/2	
1 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、⦿▶⦿［完了］▶「YES」を選択し、⦿を押す
2 全削除	▶端末暗証番号を入力し、⦿▶「YES」を選択し、⦿を押す 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

- iアプリ待受画面に設定されているソフト（「」のついているソフト）や自動起動するように設定されているソフトを削除しようとすると、ソフトの設定状態と削除するかどうかのメッセージが表示されます。
- メール連動型iアプリを削除する場合は、対応するメール連動型iアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。メール連動型iアプリのみを削除する場合は「NO」を選択します。メール連動型iアプリと対応するメール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダおよびフォルダ内のすべてのメールを削除する場合は「YES」を選択します。ただし、メール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、保護メールがある場合はメール連動型iアプリも専用の送信／受信フォルダも削除できません。
- メール連動型iアプリを削除すると、削除するソフトを選択している間に受信したiアプリに対応している新着メールが削除されることがあります。
- 以下の場合は、iアプリメール用フォルダを削除することができません。
  - ・フォルダ内のメール一覧／詳細画面表示中
  - ・「メールセキュリティ」設定中
  - ・フォルダの「メールセキュリティ」設定中
  - ・フォルダに保護メールが含まれているとき

iモーション

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込みます。また、iモーションを着信音に設定することもできます（着モーション）。

iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがありますが、本FOMA端末は標準タイプのiモーションにのみ対応しています（ストリーミングタイプのiモーションを取り込むことはできません）。

■ 標準タイプ

FOMA端末に最大500Kバイトまで保存することができ、以下の2つの形式があります。
iモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

①取り込んだ後に再生可能な形式

②取り込みながら再生可能な形式

■ ストリーミングタイプ（本FOMA端末では非対応）

FOMA端末に保存することはできません。データを取り込みながら同時に再生するタイプで、最大2Mバイトまで再生できます。再生し終わったデータは破棄されるため、再生させるたびにデータを取り込みます。

おしらせ

●取り込むことができるiモーションのファイル形式はMP4（Mobile MP4）形式です。

〈iモーション取り込み〉

iモーションを取り込む

サイトからiモーションを取り込んで再生する

1 ●［iMode］▶1「iMenu」▶3「メニューリスト」▶サイトの項目を選択し、●を押す

2 iモーションを選択し、●を押す

データの取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。「iモーション自動再生設定」が「自動再生する」に設定されているときは、iモーションが自動的に再生されます。ただし、iモーションによっては自動再生されない場合があります。

■ 中止する場合

●［中止］を押す

3 「再生」を選択し、◉を押す

取り込んだiモーションを再生します。
iモーション再生中の操作について→P.369

データ取得完了画面

おしらせ

- タイトルが付いていないiモーションは、データ取得完了画面で「無題」と表示されます。
- 接続するサイトやiモーションによっては、取り込みまたはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- 「iモーション自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取り込んだ後に自動再生はされません。
- 「iモーション自動再生設定」が「自動再生しない」に設定されている場合は、取り込み完了後にiモーションは自動再生されず、データ取得完了画面が表示されます。
- 再生回数、再生期間、再生期限に制限があるiモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているiモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているiモーションについては、再生することができません。
- 取り込んだiモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
- iモーションを取り込みながら再生している場合(初回再生時のみ)は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。
- 回線速度、回線状況、電波状況により、データ取得を中断した場合や、最大サイズを超えてデータを取得した場合は、データ取得完了画面の「再生」、「保存」、「情報表示」のいずれかが表示可能であれば、データを取得できなかったことを示すメッセージを表示した後、データ取得完了画面が表示されます。
- 回線速度、回線状況、電波状況により、データ取得中の再生が途中でとまったり、画像が乱れたりする可能性があります。
- ASF形式のiモーションを取り込むことはできません。

データ取得完了画面の機能メニューを使う

データ取得完了画面で ➡ P.339

◉［機能］▶以下の項目から選択

データ取得完了画面の機能メニュー

1 画面メモ保存	表示中のデータ取得完了画面を画面メモに保存します。「画面メモを保存する」→P.218

おしらせ

<画面メモ保存>
- iモーションは、データ取得完了画面を「画面メモ」(P.218)として保存し、画面メモから再生することもできます。ただし、以下のiモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
  - 再生制限のあるiモーション
  - データが不完全なiモーション
- 画面メモに保存したiモーションは、データBOXにあるiモーションのフォルダ内の一覧には含まれません。そのため、プログラム再生や待受画面設定などの機能は利用できません。

iモーションを保存する

データ取得完了画面で「保存」を選択できるiモーションは、FOMA端末に保存できます。
- iモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- iモーションはカメラで撮影した動画と合わせて100件まで保存できます。iモーションの保存可能件数は、iモーションのデータ量によって3～100件に変動します。
- iモーションのフォルダについて→P.368

次ページにつづく

データ取得完了画面で ➡ P.339

1 「保存」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

■ **保存を中止する場合**
「NO」を選択する
保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

■ **保存されているiモーションがいっぱいの場合**
不要なiモーションを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。
保存するときは「YES」を選択し、削除するiモーションを選択します。保存を中止するときは「NO」を選択します。「NO」を選択すると保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

2 保存するフォルダを選択し、◉を押す

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- タイトルが付いていないiモーションは一覧で「movie」と表示されます。
- サイトなどから取得したiモーションなどを待受画面に設定することができます。→P.123
  iモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- 待受画面に設定したiモーションの再生画面からPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用することはできません。

iモーションの詳細情報を表示する

iモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認できます。

データ取得完了画面で ➡ P.339

1 「情報表示」を選択し、◉を押す

iモーション情報表示画面が表示されます。「iモーション情報について」→P.374
◎を押して画面をスクロールし、情報を確認します。情報を確認したらCLRを押します。

〈iモーション自動再生設定〉

iモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時	自動再生する

サイト画面や受信メール画面からWeb To機能でiモーションを取り込んだときやiモーションを含んでいる画面メモを表示したときに、iモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。
● 500Kバイトまでダウンロードが可能です。

iモード設定画面で ➡ P.226

1 4「iモーション自動再生設定」▶以下の項目から選択

1 自動再生する	iモーションを取り込んだ後、自動再生します。一部のiモーションは、データを取り込みながら再生します。
2 自動再生しない	iモーションを取り込んでも、自動再生せずにiモーション取得完了画面を表示します。

おしらせ

- 「自動再生しない」に設定すると、サイトからiモーションを取り込んだ後や画面メモ一覧画面でiモーションを選択した場合は、自動再生をしないでデータ取得完了画面を表示します。

●データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダが用意されており、内蔵カメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトなどから取り込んだデータなどが、種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

- FOMA端末のマイピクチャには最大360件まで、iモーションには最大100件まで、メロディには最大200件まで、キャラ電には内蔵されているキャラ電と合わせて最大10件まで保存できます。
- マイピクチャ、iモーション、メロディには、それぞれ20個までフォルダを追加することができます。
- マイピクチャ、iモーション、メロディに保存されているデータをその項目内のほかのフォルダに移動することができます（プリインストールフォルダのデータは移動できません）。

項目	フォルダ		ファイル形式	データの内容
マイピクチャ	INBOX		JPEG、GIF、SWF※1	すべての画像の保存先として選択できます。miniSDメモリーカードからインポートした画像、赤外線などから転送された画像はINBOXフォルダに保存されます。キャラ電撮影した静止画はカメラフォルダに保存されます。
	カメラ			
	デコメールピクチャ			内蔵されているデコメール用の画像 INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
	プリインストール			内蔵されている待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーション
	（ユーザ作成フォルダ1～20）			INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
	自作アニメ		－	連続撮影で登録したアニメーションおよび自作したアニメーション
	miniSD	ピクチャ※2	JPEG	撮影した静止画やFOMA端末からエクスポートした画像、パソコンなどからminiSDメモリーカードに保存した画像
		イメージボックス※2	JPEG、GIF	パソコンなどからminiSDメモリーカードに保存したJPEG形式（Exif形式※3でないもの）の画像、GIF形式の画像、アニメーション→P.399
	フレーム		IFM	内蔵されているフレーム ダウンロードしたフレームが保存されます。
	スタンプ		IFM	内蔵されているマーカースタンプ ダウンロードしたスタンプが保存されます。
	フェイススタンプ		FSD	内蔵されているフェイススタンプ ダウンロードしたフェイススタンプが保存されます。
iモーション	INBOX		MP4	すべての動画やiモーションの保存先として選択できます。 miniSDメモリーカードからインポートした動画や、赤外線などから転送された動画はINBOXフォルダに保存されます。 キャラ電撮影した動画はカメラフォルダに保存されます。
	カメラ			
	プリインストール			内蔵されているiモーション
	（ユーザ作成フォルダ1～20）			INBOX、カメラフォルダと同様に、動画やiモーションの保存先として選択できます。
	miniSD		MP4、ASF※4	撮影した動画やFOMA端末からエクスポートした動画、パソコンなどからminiSDメモリーカードに保存した動画
	プログラム※5		－	－

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

項目	フォルダ	ファイル形式	データの内容
メロディ	INBOX	SMF、MFi	すべてのメロディの保存先として選択できます。 赤外線などから転送されたメロディ、バーコードリーダーで読み取ったメロディはINBOXフォルダに保存されます。
	プリインストール	MFi	内蔵されているメロディや効果音
	（ユーザ作成フォルダ1～20）	SMF、MFi	INBOXフォルダと同様に、メロディの保存先として選択できます。
	おしゃべり	—	おしゃべり機能で録音した音声
	プログラム※5	—	—
キャラ電		AFD	内蔵されているキャラ電 ダウンロードしたキャラ電が保存されます。

※1：SWFとはFlash画像のファイル形式です。
※2：miniSDメモリーカードの「DCIMフォルダ」が「ピクチャ」として、「STILLフォルダ」が「イメージボックス」として表示されます。「miniSDメモリーカードのフォルダ構成」→P.396
※3：Exif形式はデジタルカメラ用画像フォーマットです。「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。
※4：ASF形式は再生のみ可能です。
※5：プログラムフォルダは、プログラム再生に利用するためのフォルダです。データ保存やフォルダ削除などはできません。

■ お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、データBOXに保存したデータの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えデータBOXに保存したデータの内容は、miniSDメモリーカード（P.394）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、データBOXに保存したデータの内容をパソコンに保管することもできます。

データBOXで表示されるアイコンについて

■ データ種別アイコン

アイコン	内容
JPG（水色）／JPG（青色）／JPG（紺色）	JPEG形式の画像「通常メールとして添付可／大容量メールとして添付可／メール添付不可（メール用サイズ変更することで添付可）」※1
GIF（水色）／GIF（青色）／GIF（紺色）	GIF形式の画像「通常メールとして添付可／メール添付不可（10,001バイト～100Kバイト）／メール添付不可（横640×縦480ドット以上または100Kバイト以上）」※1
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ※1
	FSD形式のフェイススタンプ
	SWF形式のFlash画像※1
	MP4またはASF形式の動画、iモーション※1
	MP4またはASF形式の音響効果ありのiモーション※2
	MP4またはASF形式の再生制限ありのiモーション※3
	AFD形式のキャラ電
	MFi形式のメロディ
	SMF形式のメロディ
	FOMAカード動作制限に該当しているデータ

※1 ：ファイル制限が設定されているデータのアイコンには「」がつきます。メールや赤外線通信機能などでデータを送信することはできません。ただし、本FOMA端末で撮影した静止画でファイル制限を設定した場合を除きます。
※2 ：「」（青色の音符）は音響効果のあるiモーションを示します。このとき、赤色の音符はminiSDメモリーカードにのみ保存可能なiモーションを示します。
※3 ：再生期限を過ぎたiモーションは「」が「」になります。

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

■取得方法アイコン

(アイコンなし)	プリインストールデータ
	サイトやメールなどからダウンロードしたり、iアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やminiSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	キャラ電撮影したデータ
	フレーム･マーカースタンプ・フェイススタンプ※

※：フレーム・マーカースタンプ・フェイススタンプは、取得方法にかかわらず共通のアイコンが表示されます。

■設定できる項目アイコン

/ /	iモードメールに添付できるデータ（10,000バイト以下／10,001バイト～500Kバイト／500Kバイト超過） 500Kバイト超過の場合、メールに送信できる容量に処理する必要があります。 「メールに添付できるサイズに変更する」→P.354 「動画をメールに添付できるサイズに切り出す」→P.382
	デコメールに貼り付けできるデータ デコメールに貼り付けるには、デコメールピクチャフォルダに保存する必要があります。
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	赤外線送信可能なデータ
	miniSDメモリーカードにエクスポート可能なデータ

■タイトル、ファイル名について

内蔵カメラまたはキャラ電で撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名がつきます。
　タイトル（静止画、動画共通）：yyyy/mm/dd　hh:mm（保存した年／月／日　時刻）
　ファイル名（静止画）：yyyymmddhhmmxxx（保存した年月日時刻＋xxx：3桁の数字）
　ファイル名（動画）：yyyymmddhhmm（保存した年月日時刻）
ダウンロードしたiモーションやメロディ、キャラ電にはオリジナルのタイトルがつきます。
ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルがつきます。
タイトルはFOMA端末のデータ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるデータの名前です。
ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。
日付・時刻が設定されていないときや、ファイル名に含まれる情報がないときのファイル名は「imagexxx」、「moviexxx」、「melodyxxx」（xxx：3桁のシリアル番号）になります。

■データの種別や取得元などを示すアイコンについて

フォルダ	アイコン	データ	編集可能／不可能
マイピクチャ	JPG（水色）／JPG（青色）／JPG（紺色）	JPEG形式の画像※1	編集可能
		キャラ電で撮影した静止画※2	
	JPG（水色）／JPG（青色）／JPG（紺色）	ファイル制限が設定されているJPEG形式の画像※3	編集不可
	GIF（水色）／GIF（青色）／GIF（紺色）	GIF形式の画像	
	GIF（水色）／GIF（青色）／GIF（紺色）	ファイル制限が設定されているGIF形式の画像	
		フレーム、マーカースタンプ	
		フェイススタンプ	

データ表示／編集／管理

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

フォルダ	アイコン	データ	編集可能／不可能
マイピクチャ		Flash画像	編集不可
		FOMAカード動作制限に該当している画像	
iモーション		内蔵カメラで撮影した動画※3	編集可能
		赤外線通信などで取得した動画	
		キャラ電で撮影した動画※2	
		サイトなどから取り込んだiモーション	編集不可

※1 ： 横1616×縦1212ドットより大きな静止画は編集できません。
※2 ： 撮影後ファイル制限が「あり」のキャラ電を撮影した静止画や動画は編集できません。
※3 ： 内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、ファイル制限が「あり」の場合でも編集できます。

〈マイピクチャ〉

保存した画像を表示する

撮影した静止画やダウンロードした画像、miniSDメモリーカードに保存されている画像は、データBOXのマイピクチャで表示します。

●以下の画像や、ファイルサイズが600Kバイトを超える画像は表示できません。
・横1616×縦1212ドットを超えるJPEG形式の画像
・横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるGIF形式の画像
・横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像

1 menu ▶ データBOX を選択し、● ▶ 1 「マイピクチャ」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択し、●を押す

「画像一覧画面」（ピクチャ一覧）が表示されます。
画像一覧画面の見かたについて→P.346

画像一覧画面
（ピクチャ一覧）

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

3 画像を選択し、◉を押す

「マイピクチャ画面」が表示されます。
◎で前または次の画像を表示することができます。

マイピクチャ画面

■ 等倍表示をする場合

横240×縦270ドットより大きく、横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドット以下の静止画を等倍表示することができます。
◉を押す
◎で画像をスクロールできます。
通常の表示に戻るときは、◉を押します。

おしらせ

- デスクトップアイコンの「 」を選択し、◉▶4「マイピクチャ」を押しても「フォルダ一覧画面」が表示されます。
- 等倍表示をしているとき、◎を押して前または次の画像の切り替え、機能メニューの表示はできません。
- GIF形式のアニメーション、Flash画像は等倍表示できません。
- 本体、miniSDメモリーカード内のデータが多い場合、表示に時間がかかる場合があります。
- ファイルによっては表示できない場合があります。
- Flash画像を再生するときの音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。音量を「消去」または「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。

miniSDメモリーカードに保存されている画像を表示する

フォルダ一覧画面で ➡ P.345

1 「miniSD」を選択し、◉▶1［ピクチャ］または2［イメージボックス］

「miniSDフォルダ一覧画面」が表示されます。

2 フォルダを選択し、◉▶画像を選択し、◉を押す

miniSDフォルダ一覧画面

ピクチャ一覧／タイトル名一覧の見かた

■ピクチャ一覧

本体に保存されている画像は9件ずつ、miniSDメモリーカードに保存されている画像は4件ずつプレビュー画像で表示され、選択されている画像のタイトルが吹き出しに表示されます。また、データ種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

■タイトル名一覧

画像のタイトルが9件ずつ表示され、データ種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

画像一覧の表示のしかたを設定する＜ピクチャ表示設定＞

●自作アニメやminiSDメモリーカード（イメージボックス）は常にタイトル名一覧表示です。

MENU ▶ 各種設定を選択し、● ▶ 4 「ディスプレイ」 ▶ 「ピクチャ表示設定」を選択し、● ▶ 以下の項目から選択

1 ピクチャ一覧（お買い上げ時）	ピクチャ一覧に切り替えます。
2 タイトル名一覧	タイトル名一覧に切り替えます。

画像一覧画面の機能メニューを使う

画像一覧画面の機能メニューは画像が保存されているフォルダによって変わります。

●INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面の機能メニュー→P.347
●デコメールピクチャフォルダの画像一覧画面の機能メニュー→P.349
●プリインストールフォルダの画像一覧画面の機能メニュー→P.351
●フレーム、スタンプ、フェイススタンプフォルダの画像一覧画面の機能メニュー→P.351
●miniSDメモリーカード（ピクチャ）の画像一覧画面の機能メニュー→P.352
●miniSDメモリーカード（イメージボックス）の画像一覧画面の機能メニュー→P.353

画像一覧画面（ピクチャ一覧）で ➡ P.345

● ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

例:画像一覧画面（INBOX）の機能メニュー画面

INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面の機能メニューを使う

画像一覧画面の機能メニュー 1/4

1 イメージ編集	「静止画を編集する」→P.362
2 タイトル編集	▶ **タイトルを編集し、●を押す** 選択している画像のタイトルを編集します。 全角で9文字、半角で18文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
3 イメージ表示	選択している画像（「マイピクチャ画面」）を表示します。
4 イメージ貼付	■ **待受画面、電話発信、電話着信などの画面に設定する場合** ▶ **項目を選択し、●を押す** ■ **テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合** ▶ **項目を選択し、● ▶ 画像を確認し、● ▶ 「YES」を選択し、●を押す** 選択している画像を待受画面などに設定します。
5 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353
6 iモードメール作成	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.353
7 赤外線送信	▶ **「YES」を選択し、●を押す**

次ページにつづく

画像一覧画面の機能メニュー 2/4

1 デスクトップ貼付	**▶「YES」を選択し、◉を押す** 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
2 エクスポート	「FOMA端末の画像をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.361
3 電話帳イメージ登録	選択している画像を電話帳に登録します。→P.93
4 メール用サイズ変更	「メールに添付できるサイズに変更する」→P.354
5 貼付表示位置	「画面に設定するときの位置を設定する」→P.355
6 切り出し範囲	「画面に設定するときの範囲を設定する」→P.356
7 ファイル名編集	**▶ファイル名を編集し、◉を押す** 選択している画像のファイル名を編集します。 半角の英字、数字で36文字まで入力できます。記号を入力することはできません。 「文字を入力する」→P.522

画像一覧画面の機能メニュー 3/4

1 ファイル制限	**▶以下の項目から選択** 選択している画像のファイル制限を設定します。	
	1 なし (お買い上げ時)	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
2 フォルダ移動	**▶移動先のフォルダを選択し、◉を押す** 選択している画像をほかのフォルダに移動します。	
3 1件削除	**▶「YES」を選択し、◉を押す**	
4 全削除	**▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す** 端末暗証番号について→P.142	
5 複数選択	「データを複数選択する」→P.410	
6 保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。	
7 ソート	**▶以下の項目から選択** 画像を並び替えます。	
	1 新しい順 (お買い上げ時)	取得した日時の新しい順に表示します。
	2 古い順	取得した日時の古い順に表示します。
	3 タイトル昇順	タイトルの昇順に表示します。
	4 タイトル降順	タイトルの降順に表示します。
	5 大きい順	ファイル容量の大きい順に表示します。
	6 小さい順	ファイル容量の小さい順に表示します。
	7 ファイル取得元順	取得方法の順に表示します。

画像一覧画面の機能メニュー 4/4

1 タイトル名一覧※1	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。
2 4枚画像合成	「4枚の画像を1枚の静止画に合成する」→P.356

※1 ： タイトル名一覧のときは「1ピクチャ一覧」になります。お買い上げのときはピクチャ一覧です。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

おしらせ

●画面などに設定できる画像、メールに添付できる画像、デコメールに貼り付けできる画像、赤外線通信機能で送信できる画像、miniSDメモリーカードに保存できる画像は、画像一覧画面のアイコンで確認できます。→P.344

＜タイトル編集＞

●FOMA端末の空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
●横1616×縦1212ドットより大きな画像はタイトル編集できません。

＜イメージ貼付＞

●以下の画像はイメージ貼付できません。
- 画像サイズが横640×縦480ドットより大きな画像
- ファイル容量が100Kバイトを超える画像

●画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
●画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

＜電話帳イメージ登録＞

●以下の画像は登録できません。
- 画像サイズが横640×縦480ドットより大きな画像
- ファイル容量が100Kバイトを超える画像
- JPEG形式、GIF形式以外の画像

●「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は操作できません。

＜ファイル名編集＞

●以下の画像はファイル名編集できません。
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像

●FOMA端末内の空きデータ容量が少ないときは、ファイル名編集できない場合があります。
●ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

＜ファイル制限＞

●以下の画像はファイル制限を設定できません。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画

＜1件削除＞＜全削除＞

●画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除しようとすると、設定中の画像を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
- 設定されていた画面はお買い上げのときの設定に戻ります。
- 自作アニメ、プログラムは解除されます。
- スケジュールのユーザアイコンは「」になります。

●メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

＜ソート＞

●「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
ダウンロードしたり、iアプリから取得した画像→カメラで撮影した静止画→赤外線通信やminiSDメモリーカードなどから取得した画像→キャラ電撮影した静止画

デコメールピクチャフォルダの画像一覧画面の機能メニューを使う

例:画像一覧画面(デコメールピクチャ)の機能メニュー画面

画像一覧画面の機能メニュー 1/2

機能	操作・説明
1 タイトル編集	▶**タイトルを編集し、●を押す** 選択している画像のタイトルを編集します。 全角で9文字、半角で18文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 イメージ表示	選択している画像（「マイピクチャ画面」）を表示します。
3 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353
4 デコメール作成	「デコメールを作成する」→P.354

次ページにつづく

5 ファイル名編集	▶ファイル名を編集し、⦿を押す 選択している画像のファイル名を編集します。 半角の英字、数字で36文字まで入力できます。記号を入力することはできません。 「文字を入力する」→P.522
6 ファイル制限	▶以下の項目から選択 選択している画像のファイル制限を設定します。 1 なし（お買い上げ時）：送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。 2 あり：送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
7 フォルダ移動	▶移動先のフォルダを選択し、⦿を押す 選択している画像をほかのフォルダに移動します。

画像一覧画面の機能メニュー 2/2

1 1件削除	▶「YES」を選択し、⦿を押す 内蔵されている画像は削除できません。
2 全削除	▶端末暗証番号を入力し、⦿▶「YES」を選択し、⦿を押す 内蔵されている画像は削除できません。 端末暗証番号について→P.142
3 複数選択	「データを複数選択する」→P.410
4 保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
5 ソート	▶以下の項目から選択 画像を並び替えます。 1 新しい順（お買い上げ時）：取得した日時の新しい順に表示します。 2 古い順：取得した日時の古い順に表示します。 3 タイトル昇順：タイトルの昇順に表示します。 4 タイトル降順：タイトルの降順に表示します。 5 大きい順：ファイル容量の大きい順に表示します。 6 小さい順：ファイル容量の小さい順に表示します。 7 ファイル取得元順：取得方法の順に表示します。
6 タイトル名一覧※1	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。

※1 ： タイトル名一覧のときは「1 ピクチャ一覧」になります。お買い上げのときはピクチャ一覧です。

おしらせ

<タイトル編集>
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。
- FOMA端末の空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
- 横1616×縦1212ドットより大きな画像はタイトル編集できません。

<ファイル名編集>
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - 内蔵されている画像
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- FOMA端末内の空きデータ容量が少ないときは、ファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

<ファイル制限>
- 以下の画像はファイル制限を設定できません。
  - JPEG形式、GIF形式以外の画像

<1件削除><全削除>
- メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

<ソート>
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
  ダウンロードしたり、iアプリから取得した画像→カメラで撮影した静止画→赤外線通信やminiSDメモリーカードなどから取得した画像→キャラ電撮影した静止画

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

プリインストールフォルダの画像一覧画面の機能メニューを使う

画像一覧画面の機能メニュー

項目	内容
1 イメージ表示	選択している画像（「マイピクチャ画面」）を表示します。
2 イメージ貼付	▶項目を選択し、●を押す 選択している画像を待受画面、ウェイクアップ表示に設定します。
3 タイトル名一覧※1	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。

※1 ： タイトル名一覧のときは「3 ピクチャ一覧」になります。お買い上げのときはピクチャ一覧です。

フレーム、スタンプ、フェイススタンプフォルダの画像一覧画面の機能メニューを使う

画像一覧画面の機能メニュー 1/2

項目	内容
1 タイトル編集	▶タイトルを編集し、●を押す 選択している画像のタイトルを編集します。 全角で9文字、半角で18文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 イメージ表示	選択している画像（「マイピクチャ画面」）を表示します。
3 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353
4 ファイル名編集	▶ファイル名を編集し、●を押す 選択している画像のファイル名を編集します。 半角の英字、数字で36文字まで入力できます。記号を入力することはできません。 「文字を入力する」→P.522
5 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す 内蔵されているフレーム、マーカースタンプ、フェイススタンプは削除できません。
6 全削除	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 内蔵されているフレーム、マーカースタンプ、フェイススタンプは削除できません。 端末暗証番号について→P.142
7 複数選択	「データを複数選択する」→P.410

画像一覧画面の機能メニュー 2/2

項目	内容
1 保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
2 タイトル名一覧※1	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。
3 フェイススタンプデモ※2	フェイススタンプの追従を確認します。デモ画面は正像表示されます。 追従できているときは「」、追従できていないときは「」が表示されます。

※1 ： タイトル名一覧のときは「2 ピクチャ一覧」になります。お買い上げのときはピクチャ一覧です。
※2 ： フェイススタンプフォルダのときのみ表示されます。

おしらせ

<タイトル編集>
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。
- FOMA端末の空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。

<ファイル名編集>
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - 内蔵されている画像
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- FOMA端末内の空きデータ容量が少ないときは、ファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

miniSDメモリーカード(ピクチャ)の画像一覧画面の機能メニューを使う

例:画像一覧画面(miniSDメモリーカード(ピクチャ))の機能メニュー画面

画像一覧画面の機能メニュー 1/2

1 タイトル編集	▶タイトルを編集し、◉を押す 選択している画像のタイトルを編集します。 全角で18文字、半角で36文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 イメージ表示	選択している画像(「マイピクチャ画面」)を表示します。
3 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353
4 iモードメール作成	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.353
5 インポート	「miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする」→P.362
6 メール用サイズ変更	「メールに添付できるサイズに変更する」→P.354
7 DPOF設定	▶以下の項目から選択 選択している画像のプリント指定をします。 1 プリント指定: ▶2桁の数字を入力し、◉を押す プリント枚数(01～99)を入力します。 2 プリント指定解除: 表示している画像に設定されているプリント指定を解除します。 3 プリント指定全解除: そのフォルダに保存されている画像すべてのプリント指定を解除します。

画像一覧画面の機能メニュー 2/2

1 コピー	▶コピー先のフォルダを選択し、◉を押す 選択している画像をほかのフォルダにコピーします。
2 移動	▶移動先のフォルダを選択し、◉を押す 選択している画像をほかのフォルダに移動します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
4 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142
5 複数選択	「データを複数選択する」→P.410
6 保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
7 タイトル名一覧※1	ピクチャ一覧/タイトル名一覧を切り替えます。

※1 : タイトル名一覧のときは「5ピクチャ一覧」になります。お買い上げのときはピクチャ一覧です。

おしらせ

<タイトル編集>
- miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。

<DPOF設定>
- DPOF(ディーポフ)とはDigital Print Order Formatの略称です。デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定方式です。FOMA端末で撮影した静止画の中からプリントしたい静止画と枚数を指定すると、その情報がメモリーカードに保存され、指定した情報にそってプリントできます。
- 999件まで設定することができます。
- 横1616×縦1212ドットより大きな画像および600Kバイトを超える画像には設定できません。
- パソコンなどで設定したDPOF設定は、枚数情報以外が無効となります。
- miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- 設定されているプリント枚数は「イメージ情報」で確認できます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

miniSDメモリーカード(イメージボックス)の画像一覧画面の機能メニューを使う

画像一覧画面の機能メニュー

1 イメージ表示	選択している画像（「マイピクチャ画面」）を表示します。
2 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353
3 インポート	「miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする」→P.362
4 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
5 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142
6 複数選択	「データを複数選択する」→P.410
7 保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。

● イメージ情報について

以下の情報が確認できます。

項 目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
フォーマット	ファイル形式を表示 Flash 画像のときは表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
故障時退避可否※1	故障時のファイルの移行の可／不可を表示 「可」と表示されるのは、移行を許可されたダウンロードした画像です。
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
取得元	ファイルの取得元を表示 内蔵されている画像のときは空白になります。
イメージ貼付※1	イメージ貼付の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。
DPOF設定※2	設定されているプリント枚数を表示 設定されていないときは「設定なし」、100 枚以上設定されているときは「＊＊」の表示になります。

※1 ： miniSDメモリーカード（ピクチャ、イメージボックス）のイメージ情報では表示されません。
※2 ： miniSDメモリーカード（ピクチャ）のイメージ情報のときのみ表示されます。

● 画像を添付したiモードメールを作成する

横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットより大きなJPEG形式の画像、またはファイル容量が500Kバイトを超えるJPEG形式の画像で「iモードメール作成」を選択した場合は、メールに添付できるようにサイズを変更します。
上記以外のJPEG形式の画像、GIF形式の画像の場合は、画像処理を行わずiモードメール作成画面が表示されます。

<例:INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダで横240×縦320ドットより大きな画像の場合>

画像一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.347

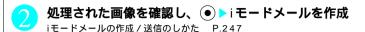
1 6「iモードメール作成」▶以下の項目から選択

1 そのまま添付	画像サイズはそのままでファイル容量を500Kバイト以下に変換します。
2 QVGA縮小添付	画像の縦横の比率を保持したまま横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドット以下のサイズに縮小します。ファイル容量が500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。

次ページにつづく

3 QVGA切り出し添付	画像の縦横の比率を保持したまま横または縦のどちらかが240または320ドットになるように縮小または拡大した後、中央を横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットに切り出します。ファイル容量が500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。

2 処理された画像を確認し、◉▶iモードメールを作成

iモードメールの作成／送信のしかた→ P.247

おしらせ

- 「QVGA切り出し添付」では切り出す位置を変更できません。中央部分を切り出します。
- 10,000バイトを超えて500Kバイト以下のJPEG形式の画像は大容量画像となります。大容量画像をFOMA端末に送信した場合、iショットセンターでiモード端末で受信するのに適したサイズに変換されます。
- 以下の場合はiモードメールを作成できません。
  - ・保存メールが20件あるとき
  - ・Flash画像のとき
  - ・9,000バイトを超えるGIF形式の画像のとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像

● メールに添付できるサイズに変更する

横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットより大きなJPEG形式の画像、またはファイル容量が500Kバイトを超えるJPEG形式の画像をiモードメールに添付できるようにします。
上記以外のJPEG形式の画像、GIF形式の画像の場合は、本機能を選択できません。

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面>

画像一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.347

1 ▶ 4 「メール用サイズ変更」▶以下の項目から選択

1 そのまま添付	画像サイズはそのままでファイル容量を500Kバイト以下に変換します。
2 QVGA縮小添付	画像の縦横の比率を保持したまま横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドット以下のサイズに縮小します。ファイル容量が500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。
3 QVGA切り出し添付	画像の縦横の比率を保持したまま横または縦のどちらかが240または320ドットになるように縮小または拡大した後、中央を横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットに切り出します。ファイル容量が500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。

2 処理された画像を確認し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

- サイズ変更した画像は、元の画像と同じフォルダに新規保存されます。
- 「QVGA切り出し添付」では切り出す位置を変更できません。中央部分を切り出します。
- 保存された画像のタイトル、ファイル名は以下のようになります。
  - ・タイトル：yyyy/mm/dd hh:mm（年／月／日　時刻）
  - ・ファイル名：yyyymmddhhmmxxx（年月日時刻、xxx：3桁の数字）
- 以下の画像はメール用サイズ変更できません。
  - ・FOMA端末外へ出力が禁止されている画像
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画

● デコメールを作成する

横128×縦96ドットまたは横96×縦128ドットより大きなJPEG形式の画像、またはファイル容量が9,000バイトを超えるJPEG形式の画像で「デコメール作成」を選択した場合は、メールに添付できるようにサイズを変更します。
上記以外のJPEG形式の画像、GIF形式の画像の場合は、画像処理を行わずデコメール作成画面が表示されます。

＜例：横128×縦96ドットより大きな画像の場合＞

画像一覧画面（デコメールピクチャ）の機能メニュー画面で ➡ P.349

1 4「デコメール作成」▶以下の項目から選択

1 そのまま添付	画像サイズはそのままでファイル容量を9,000バイト以下に変換します。
2 Sub-QCIF縮小添付	画像の縦横の比率を保持したまま横96×縦128ドットまたは横128×縦96ドット以下のサイズに縮小します。ファイル容量が9,000バイトを超える場合は、9,000バイト以下に変換します。
3 Sub-QCIF切り出し添付	画像の縦横の比率を保持したまま横または縦のどちらかが128または96ドットになるように縮小または拡大した後、中央を横128×縦96ドットまたは横128×縦96ドットに切り出します。ファイル容量が9,000バイトを超える場合は、9,000バイト以下に変換します。

2 処理された画像を確認し、◉▶デコメールを作成

デコメールの作成／送信のしかた→ P.256

おしらせ

- 「Sub-QCIF切り出し添付」では切り出す位置を変更できません。中央部分を切り出します。
- 以下の場合はデコメールを作成できません。
  - 保存メールが20件あるとき
  - 9,000バイトを超えるGIF形式の画像のとき

● 画面に設定するときの位置を設定する

イメージ表示エリアよりも小さな画像を設定するときに、画像を表示する位置を設定します。

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面＞

画像一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.347

1 ◎▶5「貼付表示位置」▶以下の項目から選択

1 中央に表示	イメージ表示エリアの中央に表示します。
2 上部に表示	イメージ表示エリアの上部に表示します。
3 下部に表示	イメージ表示エリアの下部に表示します。

＜例：待受画面の場合＞

中央に表示の場合

上部に表示の場合

下部に表示の場合

おしらせ

- 設定した表示位置は、待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した表示位置が機能しない場合があります。

● 画面に設定するときの範囲を設定する

イメージ表示エリアよりも大きな画像を設定するときに、画像を表示する範囲を設定します。

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面＞

画像一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.347

[メニュー] ▶ [6] 「切り出し範囲」 ▶ 以下の項目から選択

1 中央を表示	画像の中央を表示します。
2 上部を表示	画像の上部を表示します。
3 下部を表示	画像の下部を表示します。

＜例：電話着信の場合＞

中央を表示の場合

上部を表示の場合

下部を表示の場合

おしらせ

● 設定した切り出し範囲は、待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した切り出し範囲が機能しない場合があります。

● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

● 横640×縦480ドットより大きな画像は設定できません。

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面＞

画像一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.347

[メニュー] ▶ 「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択し、[●] ▶ フォルダを選択し、[●] ▶ 画像を選択し、[●] ▶ 操作を繰り返して4枚の画像を選択

■ 設定した画像を解除する場合

解除する画像を選択し、[●] ▶ フォルダの選択画面で「イメージ解除」を選択し、[●] を押す

3 [完了] ▶ [●] を押す

■ 4枚合成をし直す場合

[取消] を押す

おしらせ

● 合成した画像は、操作1で機能メニューを表示したときのフォルダに保存されます。
● 4枚画像合成に使用した元の画像はリサイズされません。

データ表示／編集／管理

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

マイピクチャ画面の機能メニューを使う

マイピクチャ画面の機能メニューは表示している画像が保存されているフォルダによって変わります。

●INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダのマイピクチャ画面の機能メニュー→P.357
●デコメールピクチャフォルダのマイピクチャ画面の機能メニュー→P.358
●プリインストールフォルダのマイピクチャ画面の機能メニュー→P.358
●フレーム、スタンプ、フェイススタンプフォルダのマイピクチャ画面の機能メニュー→P.359
●miniSDメモリーカード（ピクチャ）のマイピクチャ画面の機能メニュー→P.359
●miniSDメモリーカード（イメージボックス）のマイピクチャ画面の機能メニュー→P.360

マイピクチャ画面で ➡ P.346

● ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

例:マイピクチャ画面(INBOX)の機能メニュー画面

INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダのマイピクチャ画面の機能メニューを使う

マイピクチャ画面の機能メニュー 1/2

項目	内容
1 イメージ編集	「静止画を編集する」→P.362
2 イメージ貼付	▶ 項目を選択し、●を押す 表示している画像を待受画面などに設定します。
3 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353
4 iモードメール作成	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.353
5 赤外線送信	▶「YES」を選択し、●を押す
6 画像表示設定	▶ 以下の項目から選択 イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。 1 標準（お買い上げ時）：実際のサイズで表示します。 2 画面サイズで表示：画面のサイズに拡大して表示します。
7 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、●を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

マイピクチャ画面の機能メニュー 2/2

項目	内容
1 エクスポート	「FOMA端末の画像をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.361
2 電話帳イメージ登録	表示している画像を電話帳に登録します。→P.93
3 貼付表示位置	「画面に設定するときの位置を設定する」→P.355
4 切り出し範囲	「画面に設定するときの範囲を設定する」→P.356
5 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す
6 リトライ	アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションの最初から再生します。

次ページにつづく

おしらせ

●画面などに設定できる画像、メールに添付できる画像、デコメールに貼り付けできる画像、赤外線通信機能で送信できる画像、miniSDメモリーカードに保存できる画像は、画像一覧画面のアイコンで確認できます。→P.344

＜イメージ貼付＞
●以下の画像はイメージ貼付できません。
・画像サイズが横640×縦480ドットより大きな画像
・ファイル容量が100Kバイトを超える画像
●画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
●画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

＜電話帳イメージ登録＞
●以下の画像は登録できません。
・画像サイズが横640×縦480ドットより大きな画像
・ファイル容量が100Kバイトを超える画像
・JPEG形式、GIF形式以外の画像
●「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は操作できません。

＜削除＞
●画面表示や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除しようとすると、設定中の画像を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
・設定されていた画面はお買い上げのときの設定に戻ります。
・自作アニメ、プログラムは解除されます。
・電話帳に登録した画像も削除されます。
・スケジュールのユーザアイコンは「　」になります。
●メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

デコメールピクチャフォルダのマイピクチャ画面の機能メニューを使う

マイピクチャ画面の機能メニュー

1 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353	
2 デコメール作成	「デコメールを作成する」→P.354	
3 画像表示設定	▶以下の項目から選択 イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。	
	1 標準（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
4 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す 内蔵されている画像は削除できません。	
5 リトライ	アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションの最初から再生します。	

おしらせ

＜1件削除＞
●メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

プリインストールフォルダのマイピクチャ画面の機能メニューを使う

マイピクチャ画面の機能メニュー

1 イメージ貼付	▶項目を選択し、●を押す 表示している画像を待受画面、ウェイクアップ表示に設定します。	
2 画像表示設定	▶以下の項目から選択 イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。	
	1 標準（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
3 リトライ	アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションの最初から再生します。	

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

フレーム、スタンプ、フェイススタンプフォルダのマイピクチャ画面の機能メニューを使う

マイピクチャ画面の機能メニュー

1 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353	
2 画像表示設定	▶以下の項目から選択 イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。	
	1 標準（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す 内蔵されているフレーム、スタンプ、フェイススタンプは削除できません。	
4 フェイススタンプデモ※1	フェイススタンプの追従を確認します。 追従できているときは「」、追従できていないときは「」が表示されます。	

※1 ： フェイススタンプフォルダのときのみ表示されます。

miniSDメモリーカード（ピクチャ）のマイピクチャ画面の機能メニューを使う

マイピクチャ画面の機能メニュー

1 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353	
2 iモードメール作成	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.353	
3 画像表示設定	▶以下の項目から選択 イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。	
	1 標準（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
4 インポート	「miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする」→P.362	
5 DPOF設定	▶以下の項目から選択 表示している画像のプリント設定をします。	
	プリント指定	▶2桁の数字を入力し、◉を押す プリント枚数（01～99）を入力します。
	プリント指定解除	表示している画像に設定されているプリント指定を解除します。
	プリント指定全解除	そのフォルダに保存されている画像すべてのプリント指定を解除します。
6 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す	

おしらせ

<DPOF設定>
- 999件まで設定することができます。
- 横1616×縦1212ドットより大きな画像および600Kバイトを超える画像には設定できません。
- パソコンなどで設定したDPOF設定は、枚数情報以外が無効となります。
- miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- 設定されているプリント枚数は「イメージ情報」で確認できます。

miniSDメモリーカード（イメージボックス）のマイピクチャ画面の機能メニューを使う

マイピクチャ画面の機能メニュー

1 イメージ情報	「イメージ情報について」→P.353
2 画像表示設定	▶以下の項目から選択 イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。 1 標準（お買い上げ時）：実際のサイズで表示します。 2 画面サイズで表示：画面のサイズに拡大して表示します。
3 インポート	「miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする」→P.362
4 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す

アニメーションを作る＜自作アニメ＞

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作ることができます。

●20件まで作成できます。

1 menu▶ を選択し、◉▶ 1 「マイピクチャ」▶「自作アニメ」を選択し、◉を押す

「自作アニメ一覧画面」が表示されます。

自作アニメ一覧画面

2 「<未登録>」を選択し、◉を押す

3 設定するコマを選択し、◉▶フォルダを選択し、◉▶画像を選択し、◉▶操作を繰り返して画像を設定

■設定した画像を解除する場合

解除するフレームを選択し、◉▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」を選択し、◉を押す

4 ◉［完了］を押す

おしらせ

- 画像選択画面で◉［デモ］を押すと、選択している画像を確認することができます。
- 静止画が設定されていないコマがある場合、設定されているコマのみ順番に再生されます。
- 画像サイズが横640×縦480ドットを超える静止画は設定できません。

自作アニメ一覧画面の機能メニューを使う

自作アニメ一覧画面で ➡ P.360

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

1 タイトル編集	▶タイトルを編集し、◉を押す 選択している自作アニメのタイトルを編集します。 全角で9文字、半角で18文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522

データ表示／編集／管理

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

2 自作アニメ設定	「<未登録>」を選択しているときは、自作アニメを新規登録します。 作成した自作アニメを選択しているときは、その自作アニメを編集します。
3 イメージ表示	選択している自作アニメを再生します。「自作アニメ再生画面」を表示します。
4 イメージ貼付	▶項目を選択し、◉を押す 選択している自作アニメを待受画面などに設定します。
5 イメージ情報	自作アニメの設定先を確認します。 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。
6 自作アニメ解除	▶「YES」を選択し、◉を押す 選択している自作アニメを解除します。

自作アニメを表示する

自作アニメ一覧画面で ➡ P.360

自作アニメを選択し、◉を押す

「自作アニメ再生画面」が表示されます。
自作アニメが2件以上登録されているときは、◐で前または次の自作アニメを再生することができます。

自作アニメ再生画面

自作アニメ再生画面の機能メニューを使う

自作アニメ再生画面で ➡ P.361

◉［機能］▶以下の項目から選択

自作アニメ再生画面の機能メニュー

<table>
<tr><td>1 イメージ貼付</td><td colspan="2">▶項目を選択し、◉を押す
選択している画像を待受画面などに設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2 画像表示設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 標準
（お買い上げ時）</td><td>実際のサイズで表示します。</td></tr>
<tr><td>2 画面サイズで表示</td><td>画面のサイズに拡大して表示します。</td></tr>
<tr><td>3 リトライ</td><td colspan="2">アニメーションの最初から再生します。</td></tr>
</table>

FOMA端末の画像をminiSDメモリーカードにコピーする

フォルダに保存されているJPEG形式の画像をminiSDメモリーカードにエクスポート（コピー）することができます。
- エクスポートした画像は保存先フォルダ選択（P.411）で設定されているフォルダに保存されます。
- エクスポートできる画像は、画像一覧画面のアイコンで確認できます。

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面>

画像一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.347

◐▶2「エクスポート」

次ページにつづく

おしらせ

- エクスポート処理中はminiSDメモリーカードを取り外さないでください。
- 内蔵されている画像はエクスポートできません。
- 保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成してその中に保存します。
- エクスポート後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：NEC_mmmm（mmmm ＝ 0001～9999）
- 以下の場合はエクスポートできません。
  - JPEG形式の画像以外のとき
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像のとき
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画のとき
  - エクスポートするとファイル容量が600Kバイトを超える画像のとき
  - miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないとき
  - miniSDメモリーカードが挿入処理中のとき
  - miniSDメモリーカードにエラーが発生したとき
  - 対応miniSDメモリーカード以外のとき
- miniSDメモリーカードへエクスポートすると、画質が劣化したりファイル容量が大きくなる場合があります。
- 横640×縦480ドットを超えるJPEG形式の画像は、横640×縦480ドット以下に縮小される場合があります。

miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている画像をFOMA端末にインポート（コピー）することができます。

- インポートした画像は、マイピクチャのINBOXフォルダに保存されます。

＜例：miniSDメモリーカード（ピクチャ）の画像一覧画面＞

画像一覧画面（miniSDメモリーカード（ピクチャ））の機能メニュー画面で ➡ P.352

5「インポート」を押す

おしらせ

- インポート処理中はminiSDメモリーカードを取り外さないでください。
- Flash画像はインポートできません。
- 次の場合はインポートできません。
  - 横1616×縦1212ドットを超えるJPEG形式の画像のとき
  - 横640×縦480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像のとき
  - 600Kバイトを超える画像のとき（ただし、600Kバイト以内の画像でも登録できない場合があります）
- インポートした画像のタイトルは以下のようになります。
  - miniSDメモリーカード内で設定したタイトルになります。
  - miniSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合はファイル名がタイトルになります。
- インポートした画像のファイル名は「yyyymmddhhmmxxx」（年月日時刻、xxx：3桁の数字）になります。
  日付・時刻が設定されていない場合は「imagexxx」（xxx：3桁の数字）になります。
- 横640×縦480ドットを超えるJPEG形式の画像は、横640×縦480ドット以下に縮小される場合があります。

〈画像編集〉

静止画を編集する

撮影した静止画や赤外線通信で受信した画像、インポートした画像などを編集することができます。

- 編集できる種類は以下のとおりです。

編集項目	編集の内容	対応画像サイズ	参照ページ
フレーム合成	フレームつきの画像にします。	横352×縦288ドット 横288×縦352ドット 横345×縦240ドット 横240×縦345ドット 横320×縦240ドット 横240×縦320ドット 横176×縦144ドット 横144×縦176ドット 横128×縦96ドット 横96×縦128ドット	P.365

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

編集項目	編集の内容	対応画像サイズ	参照ページ
フォトレタッチ	セピア調の画像にするなど、画像に効果をつけます。	横352×縦288ドットまたは横288×縦352ドットまで	P.364
マーカースタンプ	ハートなどのマーカースタンプを画像に貼り付けます。	横1616×縦1212 ドット※1 横1280×縦960 ドット※1 横1160×縦870ドット※1 横640×縦480ドット 横480×縦640ドット 横352×縦288ドットまたは横288×縦352ドットまで	P.365
文字スタンプ	入力した文字のスタンプを画像に貼り付けます。		P.366
トリミング	お好みのサイズに画像を切り抜きます。		P.367
明るさ	画像の明るさを調節します。		P.364
回転	画像を左右90度または180度回転します。		P.364
サイズ変更	画像サイズを変更します。		P.364

※1：横640×縦480ドットに縮小してからの編集となります。

●編集できる画像について→P.344
●静止画確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」と「フォトレタッチ」のみです。

マイピクチャ画面の機能メニュー画面で ➡ P.357

「イメージ編集」を押す

「画像編集画面」が表示されます。

画像編集画面

おしらせ

●画像の編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。
●画像によっては、編集効果が表れにくい場合があります。
●編集した画像は、FOMA端末でカメラ撮影した画像として扱われます。
●横1616×縦1212ドット、横1280×縦960ドットまたは横1160×縦870ドットの画像の場合、自動的にサイズの縮小が行われ、横640×縦480ドットの画像として編集されます。
●編集項目によっては、画像サイズの関係で編集できない場合があります。

画像編集画面の機能メニューを使う

画像編集画面で ➡ P.363

［機能］▶以下の項目から選択

画像編集画面の
機能メニュー画面

次ページにつづく

画像編集画面の機能メニュー 1/2

項目		内容
1 フレーム合成		「フレームを重ねる」→P.365
2 フォトレタッチ		▶以下の項目から選択 画像に効果をつけます。
	1 シャープ	よりシャープな感じの画像にします。
	2 ソフト	よりソフトな感じの画像にします。
	3 セピア	セピア調の画像にします。
	4 浮き彫り	レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
	5 ネガ	ネガ画像にします。
	6 ミラー	左右を反転した画像にします。
3 マーカースタンプ		「マーカースタンプを貼り付ける」→P.365
4 文字スタンプ		「文字スタンプを貼り付ける」→P.366
5 トリミング		「トリミングする」→P.367
6 明るさ		▶◎を押して明るさを調節▶⊙を押す 画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。
7 回転		▶以下の項目から選択 画像を回転します。
	1 右90度	時計回りに90度回転します。
	2 左90度	反時計回りに90度回転します。
	3 180度	180度回転します。

画像編集画面の機能メニュー 2/2

項目		内容
1 サイズ変更		▶以下の項目から選択 縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小を行います。 設定項目1／2
	1 VGA（640×480）	横640×縦480ドット（VGA）に変更します。
	2 CIF（352×288）	横352×縦288ドット（CIF）に変更します。
	3 QVGA（320×240）	横320×縦240ドット（QVGA）に変更します。
	4 QCIF（176×144）	横176×縦144ドット（QCIF）に変更します。
	5 Sub-QCIF（128×96）	横128×縦96ドット（Sub-QCIF）に変更します。
	6 フルスクリーン（240×345）	横240×縦345ドット（フルスクリーン）に変更します。
	7 待受（240×320）	横240×縦320ドット（QVGA縦）に変更します。
	8 VGA縦（480×640）	横480×縦640ドット（VGA縦）に変更します。
	9 CIF縦（288×352）	横288×縦352ドット（CIF縦）に変更します。
	0 QCIF縦（144×176）	横144×縦176ドット（QCIF縦）に変更します。
	設定項目2／2	
	1 Sub-QCIF縦(96×128)	横96×縦128ドット(Sub-QCIF縦)に変更します。
2 iモードメール作成		「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.353 操作2、3を行う必要はありません。
3 保存		編集した画像を保存します。

2 編集した画像を確認し、⊙を押す

3 ⊙▶「YES」または「NO」を選択し、⊙を押す

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

フレームを重ねる

●内蔵されているフレーム（P.174）のほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。
●フレームは、サイトからダウンロードすることができます。

画像編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.363

1 **「フレーム合成」▶フレームを選択し、◉を押す**

フレームが重なった画像が表示されます。
◎を押して、ほかのフレームに変更することができます。

■ 設定したフレームを取り消す場合

◉［取消］を押す

おしらせ

● ダウンロードしたフレームには縦向きと横向きのものがあり、画像のサイズと向きが同じ場合のみフレーム合成できます。
● トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。このとき、サイズ変更してフレーム合成した画像は、画質が劣化する場合があります。

マーカースタンプを貼り付ける

●内蔵されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたマーカースタンプを利用することもできます。
●マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。
●マーカースタンプは、サイトからダウンロードすることができます。
●内蔵のマーカースタンプには以下のものがあります。

十字	＋	怒り	💢	バツ	✕
ハート1	♥	右	➡	人	🏃
ハート2	💔	下	⬇	車	🚗
チュッ	💋	左	⬅	スヤスヤ	zz
涙	💧	上	⬆	ハテナ	？
炎	🔥	ココ	ココ	ビックリ	！
稲妻	⚡	1番	①	キラキラ	✧
ゴメン	🏳	2番	②	渦	🌀
音符	♪	3番	③	パンチ	👊
花	✿	飲み会	🍺	鼻	👃
LOVE	LOVE LOVE	マル	○	ー	ー

画像編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.363

1 **3「マーカースタンプ」を押す▶マーカースタンプを選択し、◉を押す**

■ マーカースタンプを編集する場合

◉［機能］▶以下の項目から選択

1 右90度	マーカースタンプを時計回りに90度回転します。
2 左90度	マーカースタンプを反時計回りに90度回転します。
3 180度	マーカースタンプを180度回転します。
4 拡大	マーカースタンプを2倍のサイズに拡大します。
5 縮小	マーカースタンプを1／2のサイズに縮小します。

次ページにつづく

2 マーカースタンプの位置を決め、◉を押す

✥でマーカースタンプの位置を決めます。

■ ほかのマーカースタンプを押す場合

◉［追加］▶操作2～3を繰り返す

おしらせ
●ダウンロードして使用できるマーカースタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外は通常のGIF形式の画像として扱われます。 ●マーカースタンプの拡大や縮小は繰り返して操作できます。 ●編集する静止画よりマーカースタンプを拡大することはできません。また、1ドット以下に縮小することはできません。

● 文字スタンプを貼り付ける

お買い上げ時	文字色：黒　フォント：ゴシック体　文字サイズ：通常サイズ

●全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。ただし、入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
●文字スタンプの色、フォント、文字サイズを変更することができます。

画像編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.363

1 4「文字スタンプ」▶文字を入力し、◉を押す

■ 文字スタンプを編集する場合

◉［機能］▶以下の項目から選択

項目	操作・説明		
1 文字入力	▶文字を入力し、◉を押す 文字を入力し直します。		
2 文字色	▶✥で色を選択し、◉を押す 文字スタンプの色を設定します。 色パレットを切り替えるときは◉［切替］を押します。		
3 フォント	▶以下の項目から選択 文字スタンプのフォントを設定します。		
	1 ゴシック体	ゴシック体のフォントにします。	
	2 ポップ体	ポップ体のフォントにします。	
4 文字サイズ	▶以下の項目から選択 文字スタンプの大きさを設定します。		
	1 拡大サイズ	大きめの文字サイズにします。	
	2 通常サイズ	通常の文字サイズにします。	
	3 縮小サイズ	小さめの文字サイズにします。	

2 文字スタンプの位置を決め、◉を押す

✥で文字スタンプの位置を決めます。

■ 文字を編集する場合
◉［機能］▶ 1 「文字入力」▶ 文字を編集し、◉を押す

おしらせ

●フォントの太さは「フォント設定」で設定した太さになります。
●iショットS（横144ドット×縦144ドット）の画像の場合、縮小サイズにして文字が重ならないように配置すれば、全角で81文字、半角で162文字まで貼り付けられます。

● トリミングする

画像編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.363

1 「トリミング」▶ 以下の項目から選択

トリミングの設定項目1/2

1 CIF（352×288）	横352×縦288ドット（CIF）に切り抜きます。
2 QVGA（320×240）	横320×縦240ドット（QVGA）に切り抜きます。
3 QCIF（176×144）	横176×縦144ドット（QCIF）に切り抜きます。
4 Sub-QCIF（128×96）	横128×縦96ドット（Sub-QCIF）に切り抜きます。
5 フルスクリーン(240×345)	横240×縦345ドット（フルスクリーン）に切り抜きます。
6 待受（240×320）	横240×縦320ドット（QVGA縦）に切り抜きます。
7 CIF縦（288×352）	横288×縦352ドット（CIF縦）に切り抜きます。
8 QCIF縦（144×176）	横144×縦176ドット（QCIF縦）に切り抜きます。
9 Sub-QCIF縦（96×128）	横96×縦128ドット（Sub-QCIF縦）に切り抜きます。
0 背景イメージ（240×270）	メニュー背景用横240×縦270ドットに切り抜きます。

トリミングの設定項目2/2

1 メニューアイコン(64×63)	メニューアイコン用横64×縦63ドットに切り抜きます。
2 チャット（80×80）	チャット用横80×縦80ドットに切り抜きます。

2 切り抜き枠の位置を決め、◉を押す

✥で切り抜き枠の位置を決めます。

〈iモーション〉
撮影した動画／iモーションを再生する

撮影した動画、サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーション、miniSDメモリーカードに保存されている動画は、データBOXのiモーションで再生します。

● iモーションのFOMA端末への取り込みについて→P.338

menu ▶ (データBOX)を選択し、⦿ 「iモーション」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択し、⦿を押す

「動画一覧画面」（プレビュー表示）が表示されます。
動画一覧画面の見かたについて→P.369

動画一覧画面
（プレビュー表示）

3 動画を選択し、⦿を押す

「iモーション画面」が表示され、動画の再生がはじまります。
⦿で前または次の動画を再生することができます。
iモーション再生中の操作について→P.369

iモーション画面

再生が終わると、「iモーション停止画面」になります。

iモーション停止画面

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

おしらせ

- デスクトップアイコンの「」を選択し、◉▶ミュージック「iモーション」を押しても「フォルダ一覧画面」が表示されます。
- マナーモード設定中に音声のある動画またはiモーションを再生しようとしたときは、再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると音声つきで再生され、「NO」を選択すると音声なしで映像のみが再生されます。
- 動画やiモーションの再生中にメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーなどを受信した場合、映像や音声が途切れる場合があります。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA 端末で保持している日付・時刻の情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限や再生期間が決められているiモーションを再生することはできません。
- FOMA N700i以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- データ種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.343、344
- タイトル、ファイル名について→P.344

■ プレビュー表示

動画のタイトルが4件ずつ表示され、選択されている動画のプレビュー画像がタイトル一覧の下に表示されます。また、データ種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。
音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）など、映像がない場合はプレビュー画像が表示されません。

■ タイトル一覧

動画のタイトルが9件ずつ表示され、データ種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。

おしらせ

- プレビュー表示とタイトル一覧のときは、ニューロポインターが（白色）になり、ポインターを移動しても自動選択されません。◉を押すと選択状態になり、もう一度◉を押すと決定になります。

iモーション再生中の操作について

iモーション再生中には以下の操作を行うことができます。

再生中の場合

テロップ表示の場合

音量調節の場合

操作ボタン	動　作
◉	再生一時停止／再開
◉上（[ホーム]）、◉下（[メモ／確認]）	音量調節
◉上下	前後の動画やiモーションの再生※1
◉右	早送り再生
◉左	消音（ミュート）（音声や音楽がないときは無効になります）

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

操作ボタン	動　作
(◀)を1秒以上	スキップ戻し※2
(▶)を1秒以上	スキップ送り※2
(●)で再生一時停止後、(▶)	コマ送り（押すごとにコマが進みます）
(●)で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生
CLR	終了

※1：データ取得完了画面（P.339）から再生した場合は、操作できません。
※2：iモーションによっては利用できない場合があります。

おしらせ

● お買い上げのときのiモーションの音量はレベル4に設定されています。音量はレベル0～6まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
● iモーションで設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。
● シーク（スキップ戻し、スキップ送り）は、動画の再生中（スロー再生、早送り再生も含む）または一時停止中に実行できます。シーク（スキップ戻し、スキップ送り）中は無音です。
● 以下の場合はシーク（スキップ戻し、スキップ送り）ができません。
・ 停止中のとき
・ データを取得しながら再生できるiモーションを再生中のとき
・ シークポイントがないファイルのとき
・ シークポイントの間隔が広いファイルのとき
・ シークポイントが先頭にしかないファイルのとき
・ 音声のみのASFファイルでシーク情報がないファイルのとき
● シーク（スキップ戻し、スキップ送り）やコマ送り再生中にテロップは表示されません。

Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用する

再生が終わった後、画面に下線のついた電話番号やメールアドレス、URLが表示された場合は、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能（P.224）を利用できます。また、Phone To／AV Phone To機能やMail To機能を利用できる場合は、電話帳に登録できます。再生が終わった後、表示される画面で「電話帳登録」を選択し、「本体」または「FOMAカード」を選択します。

「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93
「FOMAカード電話帳に登録する」→P.95

Phone To／
AV Phone To機能の場合

Mail To機能の場合

Web To機能の場合

動画一覧画面の機能メニューを使う

動画一覧画面の機能メニューは動画が保存されているフォルダによって変わります。
● INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面の機能メニュー→P.371
● プリインストールフォルダの動画一覧画面の機能メニュー→P.373
● miniSDメモリーカードの動画一覧画面の機能メニュー→P.373
● 着信音設定を行うと、着信音選択の設定に反映されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

動画一覧画面（プレビュー表示）で ➡ P.368

 ◉［機能］▶以下の項目から選択

例:動画一覧画面（INBOX）の機能メニュー画面

INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面の機能メニューを使う

動画一覧画面の機能メニュー 1/3

1 iモーション編集	「動画を編集する」→P.379	
2 タイトル編集	▶タイトルを編集し、◉を押す 選択している動画のタイトルを編集します。 全角で9文字、半角で18文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522	
3 着信音設定	▶以下の項目から選択 選択している動画を着信音に設定します。	
	1 電話	音声電話の着信音に設定します。
	2 テレビ電話	テレビ電話の着信音に設定します。
	3 メール	メールの着信音に設定します。
	4 チャットメール	チャットメールの着信音に設定します。
	5 メッセージリクエスト	メッセージリクエストの着信音に設定します。
	6 メッセージフリー	メッセージフリーの着信音に設定します。
4 待受画面設定	▶「YES」を選択し、◉を押す 選択している動画を待受画面に設定します。	
5 iモーション情報	「iモーション情報について」→P.374	
6 iモードメール作成	選択している動画を添付したiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247	
7 赤外線送信	▶「YES」を選択し、◉を押す	

動画一覧画面の機能メニュー 2/3

1 エクスポート	「FOMA端末の動画をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.378	
2 フォルダ移動	▶移動先のフォルダを選択し、◉を押す 選択している動画をほかのフォルダに移動します。	
3 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135	
4 ファイル名編集	▶ファイル名を編集し、◉を押す 選択している画像のファイル名を編集します。 半角の英字、数字で36文字まで入力できます。記号を入力することはできません。 「文字を入力する」→P.522	
5 ファイル制限	▶以下の項目から選択 選択している動画のファイル制限を設定します。	
	1 なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
6 タイトル初期化	▶「YES」を選択し、◉を押す 変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。	
7 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す	

次ページにつづく

動画一覧画面の機能メニュー 3/3

<table>
<tr><td rowspan="2">1 全削除</td><td colspan="2">▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す
端末暗証番号について→P.142</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td>2 複数選択</td><td colspan="2">「データを複数選択する」→P.410</td></tr>
<tr><td>3 保存容量確認</td><td colspan="2">FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている動画の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">4 ソート</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
動画を並び替えます。</td></tr>
<tr><td>1 新しい順
（お買い上げ時）</td><td>取得した日時の新しい順に表示します。</td></tr>
<tr><td>2 古い順</td><td>取得した日時の古い順に表示します。</td></tr>
<tr><td>3 タイトル昇順</td><td>タイトルの昇順に表示します。</td></tr>
<tr><td>4 タイトル降順</td><td>タイトルの降順に表示します。</td></tr>
<tr><td>5 大きい順</td><td>ファイル容量の大きい順に表示します。</td></tr>
<tr><td>6 小さい順</td><td>ファイル容量の小さい順に表示します。</td></tr>
<tr><td>7 ファイル取得元順</td><td>取得方法の順に表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5 一覧表示切替</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
動画の一覧表示のしかたを設定します。</td></tr>
<tr><td>1 タイトル</td><td>タイトル一覧に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>2 タイトル＋画像
（お買い上げ時）</td><td>プレビュー表示に切り替えます。</td></tr>
</table>

おしらせ

＜着信音設定＞

●着信音設定が「可」の動画のみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「iモーション情報」で確認できます。

＜待受画面設定＞

●待受画面に設定されている動画を削除しようとすると、設定中の動画を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定していた項目はお買い上げのときの設定に戻ります。

●以下の場合は待受画面に設定できません。
- ・音声のみの動画やiモーション、テキストのみのiモーションのとき
- ・MP4形式以外の動画のとき
- ・再生制限のあるiモーションのとき
- ・FOMA端末に対応していない動画のとき

●動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。

●待受画面に設定した動画からPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。

＜iモードメール作成＞

●以下の場合はiモードメールを作成できません。
- ・ファイル容量が500Kバイトを超える動画のとき
- ・保存メールが20件あるとき
- ・再生制限のあるiモーションのとき
- ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
- ・FOMA端末外への出力が禁止されているiモーションのとき

●iモーションによってはファイル容量が増減したり、メールに添付できない場合があります。

●iモードメールに添付できるサイズに切り出すことができます。→P.382

＜ソート＞

●「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
ダウンロードしたり、iアプリから取得したiモーション→カメラで撮影した動画→赤外線通信やminiSDメモリーカードなどから取得した動画→キャラ電撮影した動画

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

プリインストールフォルダの動画一覧画面の機能メニューを使う

動画一覧画面の機能メニュー

<table>
<tr><td rowspan="7">1 着信音設定</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
選択している動画を着信音に設定します。</td></tr>
<tr><td>1 電話</td><td>音声電話の着信音に設定します。</td></tr>
<tr><td>2 テレビ電話</td><td>テレビ電話の着信音に設定します。</td></tr>
<tr><td>3 メール</td><td>メールの着信音に設定します。</td></tr>
<tr><td>4 チャットメール</td><td>チャットメールの着信音に設定します。</td></tr>
<tr><td>5 メッセージリクエスト</td><td>メッセージリクエストの着信音に設定します。</td></tr>
<tr><td>6 メッセージフリー</td><td>メッセージフリーの着信音に設定します。</td></tr>
<tr><td>2 待受画面設定</td><td colspan="2">▶「YES」を選択し、●を押す
選択している動画を待受画面に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3 一覧表示切替</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
動画の一覧表示のしかたを設定します。</td></tr>
<tr><td>1 タイトル</td><td>タイトル一覧に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>2 タイトル＋画像
(お買い上げ時)</td><td>プレビュー表示に切り替えます。</td></tr>
</table>

miniSDメモリーカードの動画一覧画面の機能メニューを使う

動画一覧画面の機能メニュー 1/2

1 タイトル編集	▶タイトルを編集し、●を押す 選択している動画のタイトルを編集します。 全角で18文字、半角で36文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 iモーション情報	「iモーション情報について」→P.374
3 インポート	「miniSDメモリーカードの動画をFOMA端末にコピーする」→P.378
4 コピー	▶コピー先のフォルダを選択し、●を押す 選択している動画をほかのフォルダにコピーします。
5 移動	▶移動先のフォルダを選択し、●を押す 選択している動画をほかのフォルダに移動します。
6 タイトル初期化	▶「YES」を選択し、●を押す 変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
7 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す

動画一覧画面の機能メニュー 2/2

<table>
<tr><td>1 全削除</td><td colspan="2">▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す
端末暗証番号について→P.142</td></tr>
<tr><td>2 複数選択</td><td colspan="2">「データを複数選択する」→P.410</td></tr>
<tr><td>3 保存容量確認</td><td colspan="2">FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている動画の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">4 一覧表示切替</td><td colspan="2">▶以下の項目から選択
動画の一覧表示のしかたを設定します。</td></tr>
<tr><td>1 名前※1</td><td>タイトル表示(またはファイル名表示)に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>2 名前＋画像※1
(お買い上げ時)</td><td>プレビュー表示に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>3 タイトル表示※2</td><td>タイトル表示に切り替えます。</td></tr>
</table>

※1 ： 名前は、ファイル名かタイトルのどちらかです。
※2 ： タイトル表示のときは「3 ファイル名表示」になります。

●iモーション情報について

以下の情報が確認できます。

項目	情報内容	
ファイル名	ファイル名を表示	
フォーマット	ファイル形式を表示	
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示	
作成者	ファイルの作成者情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。	
コピーライト	ファイルの著作権情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。	
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示	
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示	
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示	
取得元	ファイルの取得元を表示	
説明	ファイルの説明を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。	
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示	
再生制限	回数制限がある場合	「残り再生回数／全再生回数」を表示
	期限制限がある場合	「ファイル登録日時～再生期限日時」を表示
	期間制限がある場合	「再生開始可能日時～再生期限日時」を表示
	再生制限がない場合	「なし」と表示
ビデオ	映像の「あり／なし／再生不可」を表示	
オーディオ	音声の情報「AMR／ AAC／なし／再生可／再生不可（MP4）／再生不可（ASF)」を表示	
テキスト	テキストの「あり／なし／再生不可」を表示	
着信音設定	着信音設定の「可／不可」を表示、着信音に設定されているときは、設定先を表示	
着信画面設定	着信画面設定の「可／不可」を表示、着信画面に設定されているときは、設定先を表示	

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニューを使う

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニューは動画が保存されているフォルダによって変わります。

●INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダのiモーション停止(一時停止)画面の機能メニュー→P.374
●プリインストールフォルダのiモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー→P.376
●miniSDメモリーカードのiモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー→P.376

iモーション停止画面で ➡ P.368

⊙［機能］▶以下の項目から選択

INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダのiモーション停止(一時停止)画面の機能メニューを使う

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー 1/2

1 通常再生	通常の再生をします。一時停止した位置から再生を再開します。
2 スロー再生	スロー再生をします。 通常の再生に戻るときは、⊙［再生］を押します。
3 早送り再生	早送り再生をします。 通常の再生に戻るときは、⊙［再生］を押します。
4 停止	iモーションを終了して動画一覧画面に戻ります。
5 再生位置選択	**▶⊙を押して再生したい位置を選択し、⊙を押す** 位置を指定して再生をはじめます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

⑥ iモーション編集	「動画を編集する」→P.379
⑦ iモードメール作成	表示している動画を添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.247

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー 2/2

① 着信音設定	▶以下の項目から選択 表示している動画を着信音に設定します。	
	① 電話	音声電話の着信音に設定します。
	② テレビ電話	テレビ電話の着信音に設定します。
	③ メール	メールの着信音に設定します。
	④ チャットメール	チャットメールの着信音に設定します。
	⑤ メッセージリクエスト	メッセージリクエストの着信音に設定します。
	⑥ メッセージフリー	メッセージフリーの着信音に設定します。
② 待受画面設定	▶「YES」を選択し、◉を押す 表示している動画を待受画面に設定します。	
③ iモーション情報	「iモーション情報について」→P.374	
④ 赤外線送信	▶「YES」を選択し、◉を押す	
⑤ エクスポート	「FOMA端末の画像をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.361	
⑥ デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135	
⑦ 画像表示設定	▶以下の項目から選択 画像の表示方法を設定します。	
	① 等倍表示 （お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	② 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。

おしらせ

<スロー再生>
● スロー再生中は無音です。
● データを取得しながら再生しているiモーションは、スロー再生できません。

<早送り再生>
● 早送り再生中は無音です。
● データを取得しながら再生しているiモーションは、早送り再生できません。

<再生位置選択>
● 動画やiモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<着信音設定>
● 着信音設定が「可」の動画のみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「iモーション情報」で確認できます。
● 音声のみの動画を設定して着信があった場合は、「画面表示設定」で設定されている画像が表示されます。

<待受画面設定>
● 待受画面に設定されている動画を削除しようとすると、設定中の動画を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定していた項目はお買い上げのときの設定に戻ります。
● 以下の場合は待受画面に設定できません。
- 音声のみの動画やiモーション、テキストのみのiモーションのとき
- MP4形式以外の動画のとき
- 再生制限のあるiモーションのとき
- FOMA端末に対応していない動画のとき

● 動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
● 待受画面に設定した動画からPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。

<iモードメール作成>
● 以下の場合はiモードメールを作成できません。
- ファイル容量が500Kバイトを超える動画のとき
- 保存メールが20件あるとき
- 再生制限のあるiモーションのとき
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
- FOMA端末外への出力が禁止されているiモーションのとき

● iモードメールに添付できるサイズに切り出すことができます。→P.382

<画像表示設定>
● 動画一覧画面に戻ると、「等倍表示」になります。

プリインストールフォルダのiモーション停止（一時停止）画面の機能メニューを使う

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー 1/2

項目		説明
1 通常再生		通常の再生をします。一時停止した位置から再生を再開します。
2 スロー再生		スロー再生をします。 通常の再生に戻るときは、◉［再生］を押します。
3 早送り再生		早送り再生をします。 通常の再生に戻るときは、◉［再生］を押します。
4 停止		iモーションを終了して動画一覧画面に戻ります。
5 再生位置選択		▶ **◉で再生したい位置を選択し、◉を押す** 位置を指定して再生をはじめます。
6 着信音設定		▶ **以下の項目から選択** 表示している動画を着信音に設定します。
	1 電話	音声電話の着信音に設定します。
	2 テレビ電話	テレビ電話の着信音に設定します。
	3 メール	メールの着信音に設定します。
	4 チャットメール	チャットメールの着信音に設定します。
	5 メッセージリクエスト	メッセージリクエストの着信音に設定します。
	6 メッセージフリー	メッセージフリーの着信音に設定します。
7 待受画面設定		▶ **「YES」を選択し、◉を押す** 表示している動画を待受画面に設定します。

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー 2/2

項目		説明
1 画像表示設定		▶ **以下の項目から選択** 画像の表示方法を設定します。
	1 等倍表示 （お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。

miniSDメモリーカードのiモーション停止（一時停止）画面の機能メニューを使う

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー 1/2

項目	説明
1 通常再生	通常の再生をします。一時停止した位置から再生を再開します。
2 スロー再生	スロー再生をします。 通常の再生に戻るときは、◉［再生］を押します。
3 早送り再生	早送り再生をします。 通常の再生に戻るときは、◉［再生］を押します。
4 停止	iモーションを終了して動画一覧画面に戻ります。
5 再生位置選択	▶ **◉を押して再生したい位置を選択し、◉を押す** 位置を指定して再生をはじめます。
6 iモーション情報	「iモーション情報について」→P.374
7 インポート	「miniSDメモリーカードの動画をFOMA端末にコピーする」→P.378

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー 2/2

項目		説明
1 画像表示設定		▶ **以下の項目から選択** 画像の表示方法を設定します。
	1 等倍表示 （お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

iモーションの再生音に音響効果を加える<SRS_WOW設定>

お買い上げ時	OFF

音響効果ありのiモーションを再生したときに、スピーカから聞こえる再生音には「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が加わり、イヤホンから聞こえてくる再生音には「自然な立体音場感」、「豊かな低音」、「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。

● 音響効果ありのiモーションは、動画一覧画面のアイコンで確認できます。→P.343

1 ▶ 1「ON」または2「OFF」

プログラムフォルダの機能メニューを使う

フォルダ一覧画面で ➡ P.368

1 **プログラムフォルダを選択し、● [機能] ▶ 以下の項目から選択**

プログラムフォルダの機能メニュー画面

プログラムフォルダの機能メニュー

1 フォルダ追加	▶ タイトルを入力し、●を押す フォルダを追加します。 全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 フォルダ名編集	プログラムフォルダのフォルダ名は変更できません。
3 フォルダ削除	プログラムフォルダは削除できません。
4 プログラム編集	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。「動画を好きな順に再生する」→P.377
5 プログラム解除	▶「YES」を選択し、●を押す

● 動画を好きな順に再生する<動画プログラム再生>

プログラムフォルダの機能メニュー画面で ➡ P.377

1 **4「プログラム編集」▶ 登録する番号を選択し、● ▶ フォルダを選択し、● ▶ 動画を選択し、● ▶ 操作を繰り返して設定**

■ **設定した動画を解除する場合**
解除する動画を選択し、● ▶ フォルダ選択画面で「ムービー解除」を選択し、●を押す

2 **● [完了] ▶ ●を押す**
プログラム再生がはじまり、設定した動画が繰り返し再生されます。

おしらせ

● プログラムに設定されている動画を削除すると、プログラムは解除されます。

FOMA端末の動画をminiSDメモリーカードにコピーする

iモーションのINBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダに保存されている動画をminiSDメモリーカードにエクスポート（コピー）することができます。

●エクスポートした動画は保存先フォルダ選択（P.411）で設定されているフォルダに保存されます。

●ダウンロードした動画はファイル制限が設定されているとエクスポートできません。

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面>

動画一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.371

1 「エクスポート」

エクスポートが開始されます。

データ量によってはエクスポートに時間がかかる場合があります。エクスポートが終了するまではminiSDメモリーカードを抜かないでください。

おしらせ

●エクスポート処理中はminiSDメモリーカードを取り外さないでください。

●保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成してその中に保存します。

●エクスポート後のファイル名は以下のようになります。

・ファイル名：MOLxxx（xxx = 001～FFF：16進数）

●以下の場合はエクスポートできません。

・FOMA端末外への出力が禁止されている動画のとき
・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
・miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないとき
・miniSDメモリーカードが挿入処理中のとき
・miniSDメモリーカードにエラーが発生したとき
・対応miniSDメモリーカード以外のとき

miniSDメモリーカードの動画をFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている動画をFOMA端末にインポート（コピー）することができます。

●インポートした動画は、iモーションのINBOXフォルダに保存されます。

<例：miniSDメモリーカードの動画一覧画面>

動画一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.371

1 「インポート」を押す

インポートが開始されます。

データ量によってはインポートに時間がかかる場合があります。インポートが終了するまではminiSDメモリーカードを抜かないでください。

おしらせ

●インポート処理中はminiSDメモリーカードを取り外さないでください。

●以下の動画はインポートできません。

・MP4形式以外の動画のとき
・MP4形式で再生できない動画のとき

※上記の条件以外でも動画によってはインポートできない場合があります。

●800Kバイトを超える動画は、800Kバイト以下に切り出されます。ただし、音声コーデックがAACの動画で800Kバイトを超えるときはインポートできません。

●インポートした動画のタイトルは以下のようになります。

・miniSDメモリーカード内で設定したタイトルになります。
・miniSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合はファイル名がタイトルになります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

〈動画編集〉
動画を編集する

●動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
●編集できる動画について→P.344

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面＞

動画一覧画面（プレビュー表示）で ➡ P.368

●[機能]▶ 「iモーション編集」

「動画編集画面」が表示されます。

動画編集画面

おしらせ

●動画編集によって画質が劣化したり、ファイル容量が増減する場合があります。
●編集中に電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を折り畳んだ場合は、確定している編集内容で保存されます。ただし、保存されている動画がいっぱいのときは保存されません。
●動画編集中に表示されるファイル容量は目安です。

動画編集画面の機能メニューを使う

動画編集画面で ➡ P.379

●［機能］▶以下の項目から選択

動画編集画面の
機能メニュー画面

動画編集画面の機能メニュー

1 iモーション切り出し	「動画の一部を切り出す」→P.380	
2 イメージ切り出し	**▶●▶切り出したい場面で、●▶●[確定]▶「YES」を選択し、●▶フォルダを選択し、●を押す** お好みの1コマを静止画に切り出します。	
3 アフレコ編集	音声部分を消して新たに音声を録音できます。「アフレコで音声を録音する」→P.380	
4 テロップ編集	「動画にテロップを入れる」→P.380	
5 メールサイズ切り出し	「動画をメールに添付できるサイズに切り出す」→P.382	
6 iモードメール作成	編集した動画を添付したiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247	
7 ファイル制限	**▶以下の項目から選択** 編集した動画のファイル制限を設定します。	
	1 なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。

次ページにつづく

おしらせ

<iモードメール作成>
● 以下の場合はiモードメールを作成できません。
・ 編集した動画のファイル容量が500Kバイトを超えているとき
・ 保存メールが20件あるとき

● 動画の一部を切り出す

動画編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.379

1 **1「iモーション切り出し」▶ ◉［始点］を押して切り出しを開始**

■ **途中の場面から切り出す場合**
◉を押して切り出しをはじめたい場面まで再生し、◉▶◉［始点］

2 **切り出したい最後の場面で◉▶◉［終点］**
切り出した動画が再生され、再生が終わったら自動的に停止します。

■ **もう一度確認する場合**
◉［デモ］を押す

3 **◉▶◉▶「YES」を選択し、◉を押す**

おしらせ

● 切り出し中は、切り出したときのおおよそのファイル容量が表示されます。
● iモーション切り出しを行うと、再生時間が長くなる場合があります。

● アフレコで音声を録音する

動画編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.379

1 **3「アフレコ編集」▶ ◉［始点］を押して録音を開始**

■ **途中の場面から録音する場合**
◉を押して録音をはじめたい場面まで再生し、◉［始点］を押す

2 **録音が終わったら◉［終点］を押す**
動画の再生は続いています。操作1～2を繰り返して続けて録音することができます。

3 **アフレコ編集を終了するときは◉を押す**

■ **アフレコした動画を確認する場合**
◉［デモ］を押す

4 **◉▶◉▶「YES」を選択し、◉を押す**

おしらせ

● テロップのある動画にアフレコ編集を行うと、テロップが削除されます。

● 動画にテロップを入れる

お買い上げ時	文字色：黒、背景色：白、文字サイズ：標準、文字位置：左寄せ、点滅／下線／スクロール：OFF

動画に新しくテロップを追加したり、編集することができます。
● 1つの動画につき、5件のテロップを編集できます。1件につき全角で20文字まで入力できます。
● 文字を入力する→P.522

動画編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.379

1 4「テロップ編集」▶ 1「新規作成」

2 ◉［始点］▶ テロップの文字を入力し、◉を押す

■ 途中の場面からテロップを入れる場合

◉▶ テロップを入れたい場面で◉を押し、◉［始点］を押す

3 テロップの効果を設定する

1 文字色	▶ ◎で色を選択し、◉を押す 文字の色を設定します。 色パレットを切り替えるときは◉［切替］を押します。
2 背景色	▶ ◎で色を選択し、◉を押す 背景の色を設定します。 色パレットを切り替えるときは◉［切替］を押します。
3 文字サイズ	▶ 1「標準」または2「拡大」 文字の大きさを設定します。
4 文字位置	▶ 以下の項目から選択 文字を表示する位置を設定します。 スクロールを「OFF」以外に設定したとき、この設定は無効になります。 1 左寄せ：画面の左端に表示します。 2 センタリング：画面の中央に表示します。 3 右寄せ：画面の右端に表示します。
5 点滅	▶ 1「ON」または2「OFF」 文字の点滅を設定します。
6 下線	▶ 1「ON」または2「OFF」 文字の下線を設定します。
7 スクロール	▶ 以下の項目から選択 スクロールのしかたを設定します。 1 OFF：スクロールを解除します。 2 スクロールイン／3 スクロールアウト／4 スクロールイン･アウト：▶ スクロールする方向を「右から左へ／左から右へ／下から上へ／上から下へ」から選択し、◉を押す
8 設定完了	テロップ効果の設定を終了します。

4 設定が終わったら8「設定完了」を押す

5 ◉▶ テロップ表示を終了する場面で◉▶ ◉［終点］

テロップ追加を選択した場合、再生中にすでに登録されている別のテロップの始点の位置になったときは、その位置を編集中のテロップの終点にするかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して◉を押すとテロップが新規登録されます。「NO」を選択して◉を押すと、テロップの一覧画面に戻ります。
操作2～5を繰り返してテロップを続けて入れることができます。

■ テロップリストが表示された場合

◉［完了］を押す
テロップを入れた動画を確認するには◉［デモ］を押します。
修正する場合は◉［修正］を押します。
テロップの修正について→P.382
操作7に進みます。

次ページにつづく

6 テロップの編集が終わったら◉［機能］▶6「テロップ編集完了」

■ テロップを入れた動画を確認する場合
◉［デモ］を押す

■ テロップを修正する場合
◉［修正］を押す

テロップの修正について→P.382

7 ◉▶◉▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

- スクロールの速度は始点から終点までの時間に合わせて自動的に設定されます。
- 赤外線通信やデータ通信などで取得した動画でテロップが6つ以上登録されていた場合は、編集時に6つ目以降のテロップは削除されます。また、全角20文字を超えるテロップは全角21文字目以降が削除され、対応していない効果なども削除されます。
- テロップ編集を行うと、編集した動画は着信音に設定できません。
- FOMA N700iに未対応のテロップ効果は削除されたり、変更される場合があります。

● 登録されているテロップを修正する

- すでにテロップが登録されている動画の場合、テロップ情報が削除される可能性があることを通知するメッセージが表示されます。登録されているテロップを修正するときは「YES」を選択して◉を押します。

動画編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.379

1 4「テロップ編集」▶2「編集」

テロップリスト画面が表示されます。

■ テロップの詳細を確認する場合
テロップを選択し、◉▶詳細を確認し、CLRを押す

2 ◉［機能］▶以下の項目から選択

1 文字変更	テロップの文字を編集します。
2 効果変更	文字色、背景色、スクロールの方向などテロップの効果を変更します。
3 開始位置変更	テロップの始点を指定し直します。
4 終了位置変更	テロップの終点を指定し直します。
5 テロップ追加	▶「<追加可能>」を選択し、◉▶テロップを追加する
6 テロップ削除	▶「YES」を選択し、◉を押す

3 編集が終わったら◉［完了］を押す

おしらせ

- テロップが1つも登録されていない動画は、テロップ編集できません。

● 動画をメールに添付できるサイズに切り出す

動画編集画面の機能メニュー画面で ➡ P.379

1 5「メールサイズ切り出し」▶以下の項目から選択

1 メール大	490Kバイトを超える動画を、490Kバイト以下に切り出します。
2 メール小	290Kバイトを超える動画を、290Kバイト以下に切り出します。

2 ◉▶切り出しをはじめたい場面で◉▶◉［始点］を押して切り出しを開始

メールに添付できる最大サイズになると、自動的に再生が停止します。

■ 切り出した動画を確認する場合

◉［デモ］を押す

3 ◉▶◉▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

- 「メールサイズ切り出し」で切り出すことができる動画は、内蔵カメラで撮影した290Kバイト以上の動画です。
- テロップが登録されている動画の場合、テロップがついた状態での切り出しはできません。
- 切り出し中は、切り出したときのおおよそのファイル容量が表示されます。

キャラ電とは

キャラ電を表示して動きを確認したり、キャラ電撮影を行うことができます。キャラ電は、テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりに代替画像として送ることができます。

キャラ電を表示する

お買い上げ時	画像表示設定：画面サイズで表示　代替画像設定：ブンブン（Dimo）

●キャラ電をダウンロードする→P.222

●内蔵されているキャラ電は以下のとおりです。

ブンブン（Dimo）

© BVIG

コット（Cotto）

ナタリ（Natali）

1 menu▶データBOXを選択し、◉▶4「キャラ電」

「キャラ電一覧画面」が表示されます。

キャラ電一覧画面

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

2 キャラ電を選択し、◉を押す

「キャラ電画面」が表示されます。

キャラ電画面

キャラ電一覧の見かた

- データ種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.343、344
- タイトル、ファイル名について→P.344

キャラ電のタイトルが9件ずつ表示され、データ種別（キャラ電）とその取得方法、そのキャラ電が設定できる項目がアイコンで確認できます。

キャラ電を操作する

用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

キャラ電画面で ➡ P.384

✱ ▶ アクション一覧を確認

一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。
アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することができます。

■ アクションの詳細を確認する場合

アクションを選択し、◉［詳細］▶詳細を確認し、◉［閉］

2 キャラ電を操作する

■ アクションモードを切り替える場合

◉［機能］▶ 6 「アクション切替」

（パーツアクションアイコン）が表示されているときはパーツアクションモードに、（全体アクションアイコン）が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。

（全体アクション）：
感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。

（パーツアクション）：
頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

■ キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合

キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」　：アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字（1～9）または#1～#9を押す

「パーツアクション」：アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（11～99）を押す

<例：全体アクション「怒る」を選択する場合>
※キャラ電は、正像表示です。

2を押す

<例：パーツアクション「右側の手を上げる」を選択する場合>

33を押す

■ 音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化をつける場合

キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。

機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

キャラ電一覧画面の機能メニューを使う

キャラ電一覧画面で ➡ P.383

● ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

キャラ電一覧画面の機能メニュー 1/2

1 キャラ電発信	▶ **電話番号を入力し、📹を押す** 選択しているキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
2 代替画像設定	選択しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
3 キャラ電撮影	「キャラ電を静止画／動画として保存する」→P.387
4 タイトル編集	▶ **タイトルを編集し、●を押す** 選択しているキャラ電のタイトルを編集します。 全角で18文字、半角で36文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522

次ページにつづく

5 キャラ電情報	「キャラ電情報について」→P.387
6 保存容量表示	キャラ電の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
7 デスクトップ貼付	**▶「YES」を選択し、● を押す** 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

キャラ電一覧画面の機能メニュー 2/2

1 1件削除	**▶「YES」を選択し、● を押す**
2 全削除	**▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、● を押す** 端末暗証番号について→P.142
3 複数選択	「データを複数選択する」→P.410
4 画像表示設定	**▶以下の項目から選択** 画像の表示方法を設定します。 **1 等倍表示**：実際のサイズで表示します。 **2 画面サイズで表示**（お買い上げ時）：画面のサイズに拡大して表示します。
5 タイトル初期化	**▶「YES」を選択し、● を押す** 変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

おしらせ

＜キャラ電情報＞
- 「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影した静止画、動画のメール添付やminiSDメモリーカードへのエクスポート、編集などを制限するかしないかを表したものです。

＜保存容量表示＞
- 表示される容量はおおよその目安です。

＜削除＞＜全削除＞
- テレビ電話の代替画像に設定されているキャラ電を削除しようとすると、設定中のキャラ電を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、内蔵されている代替画像を送信します。
- 電話帳に登録されているキャラ電を削除しようとすると、登録されているキャラ電を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると削除されます。電話帳に登録されているキャラ電は解除されます。

キャラ電画面の機能メニューを使う

キャラ電画面で ➡ P.384

● ［機能］▶以下の項目から選択

キャラ電画面の機能メニュー画面

キャラ電画面の機能メニュー 1/2

1 キャラ電発信	**▶電話番号を入力し、📹 を押す** 表示しているキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
2 代替画像設定	表示しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
3 キャラ電撮影	「キャラ電を静止画／動画として保存する」→P.387
4 デスクトップ貼付	**▶「YES」を選択し、● を押す** 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
5 アクション一覧	アクション一覧を表示します。
6 アクション切替	アクションモードを切り替えます。→P.384
7 キャラ電情報	「キャラ電情報について」→P.387

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

キャラ電画面の機能メニュー 2/2

1 画像表示設定	▶以下の項目から選択 画像の表示方法を設定します。	
	1 等倍表示	実際のサイズで表示します。
	2 画面サイズで表示（お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。

●キャラ電情報について

以下の情報が確認できます。

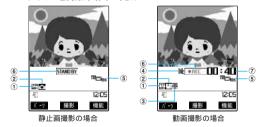
項 目	情報内容
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
撮影後ファイル制限	撮影後ファイル制限の「あり／なし」を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
取得元	ファイルの取得元を表示 内蔵されているキャラ電のときは空白になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
代替画像設定	代替画像の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

おしらせ

●「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影した静止画や動画のメール添付、miniSDメモリーカードへのエクスポート、編集などができるかどうかを示すものです。
●ファイル制限が「なし」のキャラ電でも、ダウンロードするとファイル制限が「あり」になります。

キャラ電を静止画／動画として保存する<キャラ電撮影>

■ キャラ電撮影画面の見かた

静止画撮影の場合　　動画撮影の場合

①現在選択されているアクションモードを示します。
: 全体アクション
: パーツアクション

②撮影モードを示します。
: 静止画撮影
: 動画撮影

③「動画保存設定」の設定を示します。
: 標準
: 画質優先
: 時間優先
: 動き優先

④「撮影種別設定」の設定を示します。
: 映像＋音声
: 映像のみ

⑤「画像サイズ選択」に設定しているサイズを示します。
: 176×144（QCIF）
: 117×96

⑥撮影の状態を示します。
STAND BY : スタンバイ
●REC : 撮影中

⑦残り撮影時間が「分：秒」で表示されます（撮影前は非表示）。

● 静止画を撮影する

キャラ電画面の機能メニュー画面で ➡ P.386

キャラ電撮影画面(静止画)

1 [3] 「キャラ電撮影」を押す

「キャラ電撮影画面(静止画)」が表示されます。

2 アクションを操作 ▶ ◉ を押す

アクションの操作について→P.384

■ パーツアクションにする場合

◉［パーツ］を押す

■ 撮影し直す場合

[CLR] を押す

3 ◉ を押す

撮影した静止画は、マイピクチャのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

● キャラ電撮影時には、着信ランプは点灯しません。また、以下の場合は撮影確認音も鳴りません。
- 着信音量の「電話」が「消去」のとき
- マナーモード/スーパーサイレントのとき
- オリジナルマナーで「電話着信音量」が「消去」のとき

キャラ電撮影画面の機能メニューを使う

キャラ電撮影画面(静止画・動画)で ➡ P.388、389

1 ◉［機能］▶ 以下の機能メニュー項目から選択

キャラ電撮影画面の機能メニュー 1/2

項目	説明		
1 キャラ電切替	▶ キャラ電を選択し、◉ を押す 撮影するキャラ電を切り替えます。		
2 代替画像設定	表示しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。		
3 アクション一覧	アクション一覧を表示します。		
4 アクション切替	アクションモードを切り替えます。→P.384		
5 画像表示設定	▶ 以下の項目から選択 画像の表示方法を設定します。		
	1 等倍表示	実際のサイズで表示します。	
	2 画面サイズで表示(お買い上げ時)	画面のサイズに拡大して表示します。	
6 ムービーモード※1	フォトモード(お買い上げ時)/ムービーモードを切り替えます。		
7 画像サイズ選択※2	▶ 以下の項目から選択 撮影する画像サイズを設定します。		
	1 QCIF(176×144)(お買い上げ時)	横176×縦144ドット(QCIF)に設定します。	
	2 縮小サイズ(117×96)	横117×縦96ドットに設定します。	

※1 : ムービーモードのときは「6 フォトモード」になります。
※2 : ムービーモードでは設定できません。

キャラ電撮影画面の機能メニュー 2/2

項目	内容	
1 撮影種別設定※1	▶ 以下の項目から選択 動画を撮影する方法を設定します。	
	1 映像＋音声（お買い上げ時）	映像と音声両方の動画を撮影します。
	2 映像のみ	映像のみの動画を撮影します。
2 動画保存設定※1	▶ 以下の項目から選択 動画を撮影するときの画質、撮影時間を設定します。	
	1 標準（お買い上げ時）	標準の画質、撮影時間で撮影します。
	2 画質優先	よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
	3 時間優先	撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
	4 動き優先	よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。

※1 ： フォトモードでは設定できません。

おしらせ

＜キャラ電切替＞
● キャラ電を切り替えると、アクションモードは全体アクションモードになります。

● 動画を撮影する

キャラ電画面の機能メニュー画面で ➡ P.386

1 **3「キャラ電撮影」▶ ⦿[機能] ▶ 6「ムービーモード」**

「キャラ電撮影画面（動画）」が表示されます。

キャラ電撮影画面(動画)

2 **⦿ ▶ アクションを操作 ▶ ⦿を押す**

アクションの操作について→P.384

■ **撮影した動画を確認する場合**
⦿［機能］▶ 2「再生確認」

■ **撮影し直す場合**
CLR を押す

3 **⦿を押す**

撮影した動画は、iモーションのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

● 撮影中にアクション操作をすると、ボタン操作音が録音される場合があります。
● 画像サイズは、QCIF（176×144）のみです。画像サイズは変更できません。
● キャラ電撮影時には、着信ランプは点滅しません。また、以下の場合は撮影確認音も鳴りません。
・ 着信音量の「電話」が「消去」のとき
・ マナーモード／スーパーサイレントのとき
・ オリジナルマナーで「電話着信音量」が「消去」のとき
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、イヤホンマイクから音声が録音されます。

〈メロディ〉

メロディを再生する

内蔵メロディや効果音、サイトなどから取り込んだメロディは、データBOXのメロディで再生できます。
● 本FOMA端末には同時発音数50、ADPCM対応の音源を搭載しています。

次ページにつづく

1 menu 1 6 を押す

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択し、◉を押す

「メロディ一覧画面」が表示されます。

メロディ一覧画面の見かたについて→P.390

メロディ一覧画面

3 メロディを選択し、◉を押す

「メロディ画面」が表示され、メロディの再生がはじまります。

で前または次のメロディを再生することができます。

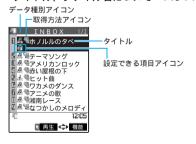
「メロディ再生中の操作について」→P.391

メロディ画面

おしらせ

- 再生中の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」または「ステップ」に設定されているときはレベル2で再生します。
- マナーモード設定中に再生しようとしたときは、再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると再生されます。

メロディ一覧の見かた

- データ種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.343、344
- タイトル、ファイル名について→P.344

メロディのタイトルが9件ずつ表示され、データ種別とその取得方法、そのメロディが設定できる項目がアイコンで確認できます。

おしらせ

- タイトルの前に「♩」、「♩」がついているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。また、これらのメロディもファイル名やタイトルの変更を行うことができます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動　作
◎	前後の曲の再生
◎（[ホーム]）、◎（[メモ／確認]）	音量調節
0～9、*、#、☎、▣、◉、◉	再生の停止
CLR	終了

- 音量を調節した後、◉を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
- 再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面の機能メニューを使う

メロディ一覧画面の機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

- INBOX、ユーザ作成フォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー→P.391
- プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー→P.392
- 着信音設定を行うと、着信音選択の設定に反映されます。

メロディ一覧画面で ➡ **P.390**

◉［機能］▶以下の項目から選択

■INBOX、ユーザ作成フォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー

メロディ一覧画面の機能メニュー 1/2

1 タイトル編集	▶タイトルを編集し、◉を押す 選択しているメロディのタイトルを編集します。 全角で25文字、半角で50文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522	
2 ファイル名編集	▶ファイル名を編集し、◉を押す 選択しているメロディのファイル名を編集します。 半角の英字、数字で36文字まで入力できます。記号を入力することはできません。 「文字を入力する」→P.522	
3 メロディ再生	選択しているメロディを再生します。 メロディ画面を表示します。	
4 着信音設定	▶項目を選択し、◉を押す 選択しているメロディを着信音に設定します。	
5 ファイル制限	▶以下の項目から選択 選択しているメロディのファイル制限を設定します。	
	1 なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	2 あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
6 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135	
7 iモードメール作成	選択しているメロディを添付したiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247	

メロディ一覧画面の機能メニュー 2/2

1 赤外線送信	▶「YES」を選択し、◉を押す
2 メロディ情報	「メロディ情報について」→P.393

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

3 保存容量確認	メロディの保存データ容量と空きデータ容量を確認します。	
4 タイトル初期化	▶「YES」を選択し、◉を押す 変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。	
5 削除	▶以下の項目から選択 そのフォルダに保存されているメロディを削除します。	
	1 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
	2 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す
	3 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142
6 ソート	▶以下の項目から選択 メロディを並び替えます。	
	1 新しい順	取得した日時の新しい順に表示します。
	2 古い順	取得した日時の古い順に表示します。
	3 タイトル昇順	タイトルの昇順に表示します。
	4 タイトル降順	タイトルの降順に表示します。
	5 大きい順	ファイル容量の大きい順に表示します。
	6 小さい順	ファイル容量の小さい順に表示します。
	7 ファイル取得元順	取得方法の順に表示します。
7 フォルダ移動	▶移動先のフォルダを選択し、◉▶◎を押して□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す 選択しているメロディをほかのフォルダに移動します。	

おしらせ

<ファイル名編集>
- ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やOBEXで受信したメロディはファイル名編集できます。
- ファイル名編集は、拡張子以外の部分が編集可能です。拡張子は、ファイル形式に適した拡張子が自動的に追加されます。

<iモードメール作成>
- タイトルの前に「」、「」がついているメロディは、取得方法、ファイル制限のあり／なしにかかわらず添付することはできません。
- ファイル容量が10,000バイトを超えるメロディは添付することができません。

<メロディ情報>
- メロディ情報の「ファイル制限」が「なし」になっていても、iモードメールに添付できない場合があります。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

<削除>
- 着信音やアラーム音などに設定されているメロディを削除しようとすると、設定中のメロディを削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると削除されます。
- 着信音やアラーム音などに設定されているメロディを削除すると、設定していた項目はお買い上げのときの設定に戻ります。

<ソート>
- ソート表示をしてメロディ一覧画面を終了し、再度メロディ一覧画面を表示したときは「新しい順」に戻ります。
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
  ダウンロードしたり、iアプリから取得したメロディ→赤外線通信で取得したメロディ

■ プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー

メロディ一覧画面の機能メニュー

1 メロディ再生	選択しているメロディを再生します。
2 着信音設定	▶項目を選択し、◉を押す 選択しているメロディを着信音に設定します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

メロディ画面の機能メニューを使う

メロディ画面で ➡ P.390

1 ●［機能］▶以下の項目から選択

メロディ画面の機能メニュー

1 着信音設定	▶項目を選択し、●を押す 再生しているメロディを着信音に設定します。
2 デスクトップ貼付※1	▶「YES」を選択し、●を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135
3 iモードメール作成※1	再生しているメロディを添付したiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.247
4 メロディ情報※1	「メロディ情報について」→P.393

※1 ： プリインストール、おしゃべりフォルダでは表示されません。

●メロディ情報について

以下の情報が確認できます。

項 目	情報内容
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
ファイル種別	メロディのファイル種別「MFi／SMF」を表示
故障時退避可否	故障時のファイルの移行の可／不可を表示 「可」と表示されるのは、移行を許可されたダウンロードしたメロディです。
取得元	ファイルの取得元を表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
バイブレータ連動	バイブレータ連動の「あり／なし」を表示
着信イルミネーション連動	着信イルミネーション連動の「あり／なし」を表示
着信音設定	着信音設定の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

プログラムフォルダの機能メニューを使う

フォルダ一覧画面で ➡ P.390

1 プログラムフォルダを選択し、●［機能］▶以下の項目から選択

プログラムフォルダの機能メニュー画面

プログラムフォルダの機能メニュー

1 フォルダ追加	▶フォルダ名を入力し、●を押す フォルダを追加します。 全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 フォルダ名編集	プログラムフォルダのフォルダ名は変更できません。

次ページにつづく

③ **フォルダ削除**	プログラムフォルダは削除できません。
④ **プログラム編集**	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。「メロディを好きな順に再生する」→P.394
⑤ **プログラム解除**	▶ **「YES」を選択し、◉を押す** プログラムを解除します。

● メロディを好きな順に再生する＜プログラム再生＞

プログラムフォルダの機能メニュー画面で ➡ **P.393**

1 **4「プログラム編集」▶登録する番号を選択し、◉▶フォルダを選択し、◉▶メロディを選択し、◉▶操作を繰り返して設定**

■ 設定したメロディを解除する場合

解除するメロディを選択し、◉▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」を選択し、◉を押す

2 **◉［完了］▶◉を押す**

プログラム再生がはじまり、設定したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ

● プログラムに設定されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更すると、プログラムは解除されます。

miniSDメモリーカードについて

SDメモリーカードをさらに小型化した“miniSDメモリーカード”を、FOMA端末内に挿入し、外部メモリとして利用できます。さらにminiSDメモリーカードは、miniSDメモリーカードアダプタに装着して、SDメモリーカードに対応したパソコンなどでも利用できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
本FOMA端末では、128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。（2005年2月現在）

● FOMA端末で撮影した静止画や動画、電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードにエクスポートしたり、miniSDメモリーカードに保存されているデータをFOMA端末にインポートしたり、上書きすることができます。また、miniSDメモリーカードに保存されている画像や動画のデータなどをFOMA端末で再生することもできます。
● miniSDメモリーカード装着時には「SD」が表示されます。
● miniSDメモリーカード内のデータを操作したり、データをエクスポート／インポートするときなどには着信ランプが緑色で点滅します。
● ほかの機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
● 対応miniSDメモリーカードの最新情報は下記のサイトをご覧ください。
iモード　　：　「iMenu」−「メニューリスト」−「ケータイ電話メーカー」−「みんなNらんど」
パソコンなど：　NECモバイルホームページ　http://www.n-keitai.com

取扱い上のご注意

フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。
→P.405

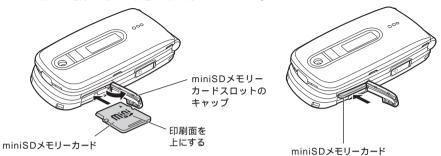
miniSDメモリーカードを取扱う場合のご注意は、以下のとおりです。
● miniSDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のカードスロットに差し込んで使います。

●取り付けかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付けてください。

1 **miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける**

2 **miniSDメモリーカードスロットにminiSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む**

miniSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりと差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。

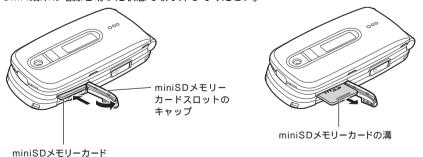
3 **miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる**

miniSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、ディスプレイに「SD」が表示されます。

おしらせ

●miniSDメモリーカードに不具合のある場合や、正常にフォーマットできなかった場合には「SD」が表示されます。

●取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り外してください。

1 **miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける**

2 **miniSDメモリーカードを軽く押し込む**

miniSDメモリーカードを押し込んで手を離すと、miniSDメモリーカードが少し出てきます。
このとき、miniSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

次ページにつづく

3 miniSDメモリーカードをゆっくりと引き抜いて取り外す

miniSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜いてください。

4 miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

おしらせ

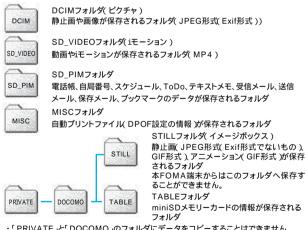
- FOMA 端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。miniSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- miniSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、miniSDメモリーカードが飛び出すことがありますので注意してください。
- miniSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります）。
- miniSDメモリーカードのデータは、選択や表示に時間がかかる場合があります。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

エクスポート／インポートや上書きできるデータは、以下のとおりです。

- 電話帳
- スケジュール
- 受信メール
- 制限なしの静止画
- 自局番号表示のデータ
- ToDo
- 保存メール
- 制限なしの動画
- テキストメモ
- 送信メール
- ブックマーク

パソコンなどで表示したときのフォルダの構成について

miniSDメモリーカードの構成は以下のとおりです。

・「PRIVATE」と「DOCOMO」のフォルダにデータをコピーすることはできません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

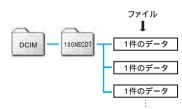
おしらせ

- FOMA端末から静止画や画像をエクスポートすると自動で「Exif形式」へ変換されDCIMフォルダへ保存されます。「Exif Ver2.2」、「PIM Ⅱ（PRINT Image Matching Ⅱ）」に対応しています。
- FOMA端末からGIF形式の画像をエクスポートすることはできません。パソコンなどからのみ保存できます。
- DCIMフォルダ、STILLフォルダは、マイピクチャでそれぞれ「ピクチャ」および「イメージボックス」のフォルダとして表示されます。→P.346
- STILLフォルダは、パソコンなどで作成する必要があります。STILLフォルダを作成すると、イメージボックスにSDイメージフォルダが自動的に作成されます。
- SD_VIDEOフォルダは、FOMA端末のiモーションに相当します。
- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンなどで編集したファイルをminiSDメモリーカードに保存するとき、「作成されるファイルについて」（P.397）で示すフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、FOMA N700iでは正しく表示、再生できない場合があります。
- 電源OFF、miniSDチェックディスク、miniSDフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最も新しいフォルダに設定されます。設定が変更された場合は、「保存先フォルダ選択」（P.411）で設定し直してください。
- miniSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで作成、編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、「保存先フォルダ選択」（P.411）で設定し直してください。
- miniSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。FOMA N700iでminiSDメモリーカードが読めなくなる場合があります。
- FOMA N700iに対応していないデータをminiSDメモリーカードに保存しても、FOMA N700iでは認識できません。
- ほかの機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。
- miniSDメモリーカード用USBリーダライタおよびPCカードリーダアダプタについては、miniSDメモリーカードの動作を各メーカにご確認の上お買い求めください。
- FOMA N700i以外の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

作成されるファイルについて

「ファイル」とは、1件または複数のデータを1つにまとめて保存したデータのことです。ファイルをコピーすると、データの種類によって保存するフォルダが自動的に選択され、自動的にフォルダ名、ファイル名がつけられてminiSDメモリーカードに保存されます。各フォルダに保存されるファイルは以下のようになります。

■ DCIMフォルダ

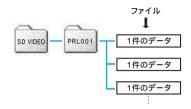
はじめて静止画をエクスポートするときに自動的に作成されるフォルダで、フォルダ内にデータが保存されます。
静止画データ1件ごとに1件のファイルとなります。
作成されるフォルダ名とファイル名は以下のとおりです。
・フォルダ名：nnnNECDT（nnn ＝ 100～999）
・ファイル名：NEC_mmmm（mmmm ＝ 0001～9999）

おしらせ

- パソコンなどからDCIMフォルダにフォルダを追加するときも、フォルダ名の「nnn」を100～999の3桁の半角数字にします。「NECDT」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。
- ファイルを保存するときも、ファイル名の「mmmm」を0001～9999の4桁の半角数字にします。「NEC」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

■ SD_VIDEOフォルダ

はじめて動画をエクスポートするときに自動的に作成されるフォルダで、フォルダ内のPRL001フォルダにデータが保存されます。
動画データ1件ごとに1件のファイルとなります。
作成されるフォルダ名とファイル名は以下のとおりです。
・フォルダ名：PRLxxx（xxx = 001～FFF：16進数）
・ファイル名：MOLxxx（xxx = 001～FFF：16進数）

おしらせ

●パソコンなどからSD_VIDEOフォルダにフォルダを追加したり、ファイルを保存するときも、フォルダ名およびファイル名の「xxx」を0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いて001～FFFの16進数の文字にします。フォルダ名の「PRL」とファイル名の「MOL」はそのまま「PRL」、「MOL」としてください。
●動画ファイルは、拡張子が「3GP」、「SDV」、「MP4」のMP4ファイル、拡張子が「ASF」のASFファイルの動画のみFOMA端末で再生することができます。

■ SD_PIMフォルダ

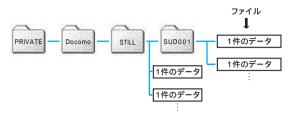
はじめてデータをエクスポートするときに自動作成されるフォルダです。
1件エクスポートしたデータも、全件エクスポートしたデータも、1件のファイルで保存されます。
たとえば、受信メールを全件エクスポートすると、作成されたファイルには受信メールのすべてのデータがまとめて保存されます。
作成されるファイル名は以下のとおりです。
・ファイル名：PIMnnnnn（nnnnn＝00001～65535）
作成されるタイトル名は以下のとおりです。
・1つの場合：ファイル名を自動付与
・複数の場合：yyyy/mm/dd hh:mm（年／月／日　時刻）を自動付与

おしらせ

●パソコンなどで編集した電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのファイルを SD_PIMフォルダに保存するときも、ファイル名の「nnnnn」は00001～65535の5桁の半角数字にして保存します。「PIM」の部分はそのまま「PIM」としてください。
●各ファイルの形式は以下のとおりです。
・VCF ：電話帳ファイル（vCardファイル）
・VCS ：スケジュール、ToDoファイル（vCalendarファイル）
・VMG：メールファイル（vMessageファイル）
・VNT ：テキストメモファイル（vNoteファイル）
・VBM：ブックマークファイル（vBookmarkファイル）

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

■ STILLフォルダ

画像を保存するためには、まず最初にSTILLフォルダを作成します。
パソコンなどから保存するときは、以下のようなファイル名、フォルダ名にしてください。
・フォルダ名：SUDkkk（kkk = 001～999）
・ファイル名：STILhhhh（hhhh = 0001～9999）

おしらせ

● パソコンなどからSTILLフォルダにフォルダを追加するときも、フォルダ名の「kkk」を001～999の3桁の半角数字にします。「SUD」の部分はそのまま「SUD」としてください。
● ファイルを保存するときも、ファイル名の「hhhh」を0001～9999の4桁の半角数字にします。「STIL」の部分はそのまま「STIL」としてください。

miniSDメモリーカードに保存できる件数について

miniSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるminiSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。フォルダを追加して、エクスポートする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件
STILL	999件	9,999件

miniSDメモリーカードの空きデータ容量と保存データ容量は「分類一覧表示画面の機能メニューを使う」（P.406）で確認できますが、表示される空きデータ容量と保存データ容量の合計は、ご使用のminiSDメモリーカードに記載されているメモリ容量より少なくなります。
・miniSDメモリーカードの空きデータ容量が不足している場合、電話帳、自局番号表示、スケジュール、ToDo、テキストメモ、メール、ブックマークをエクスポートしようとすると、容量不足でエクスポートできないというメッセージが表示されます。また、静止画、動画のときは機能メニューの「エクスポート」がグレー表示となります。このようなときは、ほかのminiSDメモリーカードに交換するか、不要なデータを削除してからエクスポートし直してください。
・エクスポート先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは以下のようになります。
  ・静止画や動画をエクスポートする場合、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。
  ・電話帳などSD_PIMにエクスポートする場合、件数がいっぱいというメッセージが表示され、miniSDメモリーカードにエクスポートできません。
・miniSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画、動画のフォルダ追加やタイトル編集、コピー／移動などはできません。不要なデータを削除してから操作を行ってください。

エクスポートとインポートについて

FOMA端末に登録されているデータをminiSDメモリーカードにエクスポート（コピー）したり、miniSDメモリーカードからFOMA端末にデータをインポート（コピー）することができます。また、miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末のデータに上書きすることもできます。

■ 静止画、動画のエクスポート／インポート

	内容	参照ページ
エクスポート	選択した静止画や動画のデータ1件をminiSDメモリーカードのDCIMフォルダまたはSD_VIDEOフォルダに保存します。	P.361、378
インポート	miniSDメモリーカードに保存されている画像や動画の1件のデータをFOMA端末のINBOXフォルダに保存します。	P.362、378

■ 電話帳、自局番号表示、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのエクスポート／インポート

	内容	参照ページ
1件エクスポート	選択したデータ1件をminiSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存します。	P.402
全件エクスポート	選択した項目のすべてのデータをminiSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存します。	P.402
追加1件インポート	miniSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存されている1件のデータをFOMA端末に追加登録します。	P.404
追加全件インポート、追加インポート	miniSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存されている1件のファイルの全データをFOMA端末に追加登録します。	P.404
上書全件インポート、上書インポート	FOMA端末のデータを削除してminiSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存されている1件のファイルの全データをFOMA端末に上書き登録します。	P.404

おしらせ

● データの件数によっては、エクスポート／インポートに時間がかかる場合があります。

エクスポート／インポートするデータについて

静止画、動画のデータ

機能名	形式	データ
マイピクチャ	JPEG、GIF	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のデータ（GIFはインポートのみ）
iモーション	MP4	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のデータ

電話帳のデータ

件数		データ
全件	1件	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、シークレット属性、グループ番号、グループ名、メモ、住所、誕生日、静止画
		上記に加え、メモリダイヤル番号も転送されます。

・シークレット属性とは、シークレットデータとして登録されているかどうかを示すものです。

おしらせ

●「1件エクスポート」する場合には、シークレットデータであっても、シークレット属性は「なし」として転送されます。
●「全件エクスポート」する場合には、自局番号表示のデータも電話帳のデータとしてエクスポートします。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

自局番号表示のデータ

表示方法	データ
全データ表示前	名前、フリガナ、自局番号、1件目に登録されているメールアドレス
全データ表示後	全データ表示前のデータと共に2～4件目に登録されている電話番号、2～3件目に登録されているメールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画も転送されます。

スケジュールのデータ

件数		データ
全件	1件	開始日時、終了日時、要約、内容、シークレット属性、分類、アラーム設定、繰り返し設定
		1件のデータと同じ

・シークレット属性とは、シークレットデータとして登録されているかどうかを示すものです。
・分類とは、スケジュールの内容で設定したアイコンです。

おしらせ

●「1件エクスポート」する場合には、シークレットデータであっても、シークレット属性は「なし」として転送されます。
●ユーザアイコンに設定したスケジュールをエクスポートした場合、「分類」の情報は「なし」で転送されます。

ToDoのデータ

件数		データ
全件	1件	内容、分類、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
		1件のデータと同じ

・分類には、ToDoで設定したカテゴリーの情報が転送されます。

テキストメモのデータ

件数		データ
全件	1件	作成日時、最終更新日時、分類、内容
		1件のデータと同じ

受信メール、送信メール、保存メール、SMSのデータ

件数		データ
全件	1件	未読／既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付データ
		受信メール、送信メールの全件エクスポートでは、1件のデータと共にフォルダ（フォルダ名）も転送されます。

・1件のエクスポート／インポートでは、受信メール、送信メールの保護は解除されます。
・ファイル制限が「あり」のメロディ（赤外線通信やOBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータを除く）が添付または貼り付けられているメール、iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、メロディおよびiアプリの起動指定を削除してエクスポートします。

ブックマークのデータ

件数		データ
全件	1件	URL、タイトル
		ブックマークの全件エクスポートでは、1件のデータと共にフォルダ（フォルダ名）も転送されます。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピーする

FOMA端末に登録されているデータ1件または全件をminiSDメモリーカードにエクスポート（コピー）します。
FOMA端末に登録されているデータをminiSDメモリーカードにエクスポートする方法には「1件エクスポート」と「全件エクスポート」があります。

- 静止画および動画の1件エクスポートについてはP.361、378を参照してください。
- 静止画および動画のデータを全件エクスポートすることはできません。

■ FOMA端末のデータを1件エクスポートする場合

エクスポートしたいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「1件エクスポート」または「エクスポート」を選択します。

＜例：電話帳のデータを1件エクスポートする場合＞

「電話帳一覧画面の機能メニューを使う」電話帳一覧画面の機能メニュー「2 1件エクスポート」➡P.100

■ FOMA端末のデータを全件エクスポートする場合

「分類一覧表示画面の機能メニューを使う」分類一覧表示画面の機能メニュー「2 本体からエクスポート」➡P.406

おしらせ

- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールをエクスポートした場合、そのメール内のiアプリ起動に関する情報は削除されます。
- シークレットで登録されているデータを1件エクスポートした場合、通常のデータとして保存されます。
- データを全件エクスポートした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- 電話帳データを全件エクスポートした場合、「自局番号表示」の内容も保存されます。
- メールをエクスポートしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。
- 電話帳などSD-PIMデータのエクスポート中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。

〈SD-PIM〉

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

miniSDメモリーカードに保存されているデータを表示して、確認できます。

- 画像および動画の表示について→P.345、368

▶を選択し、▶▶6「SD-PIM」

「分類一覧表示画面」が表示されます。

分類一覧表示画面

データ表示／編集／管理

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

2 項目を選択し、◉を押す

「ファイル一覧画面」が表示されます。

ファイル一覧画面

3 ファイルを選択し、◉を押す

「データ一覧画面」が表示されます。

データ一覧画面

4 データを選択し、◉を押す

「データ詳細画面」が表示されます。

データ詳細画面

おしらせ

- 「PIMロック」設定中は、miniSDメモリーカード内のデータを表示することはできません。また、各機能からのエクスポートもできません。
- miniSDメモリーカード内のデコメールの表示は、FOMA端末での表示と異なる場合があります。

ファイル一覧画面の機能メニューを使う

ファイル一覧画面で ➡ P.403

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

ファイル一覧画面の機能メニュー

1 タイトル編集	▶タイトルを編集し、◉を押す 選択しているファイルのタイトルを編集します。 全角で15文字、半角で31文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 追加インポート	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 選択しているファイルに登録されているデータをFOMA端末に追加インポートします。 端末暗証番号について→P.142
3 上書インポート	■電話帳の場合 ▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

次ページにつづく

3 上書インポート	■スケジュール、受信BOX、送信BOX、保存BOX、テキストメモ、Bookmarkの場合 ▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●▶「YES」を選択し、●を押す 選択しているファイルに登録されているデータをFOMA端末に上書きインポートします。 端末暗証番号について→P.142
4 本体からエクスポート	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す その項目のデータをFOMA端末から全件エクスポートします。 端末暗証番号について→P.142
5 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す 選択しているファイルを削除します。
6 全削除	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す その項目に保存されているすべてのファイルを削除します。 端末暗証番号について→P.142
7 miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

おしらせ

<1件削除><全削除>
●パソコンなどで読み取り専用に設定されている場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

データ一覧画面の機能メニューを使う

データ一覧画面で ➡ P.403

● ［機能］▶以下の項目から選択

データ一覧画面の機能メニュー

1 追加1件インポート	▶「YES」を選択し、●を押す 選択しているデータをFOMA端末に追加インポートします。
2 追加全件インポート	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す ファイル内のすべてのデータをFOMA端末に追加インポートします。 端末暗証番号について→P.142
3 上書全件インポート	■電話帳の場合 ▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●▶「YES」を選択し、●▶「YES」を選択し、●を押す ■スケジュール、受信BOX、送信BOX、保存BOX、テキストメモ、Bookmarkの場合 ▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●▶「YES」を選択し、●を押す ファイル内のすべてのデータをFOMA端末に上書きインポートします。 端末暗証番号について→P.142
4 miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

データ詳細画面の機能メニューを使う

データ詳細画面で ➡ P.403

● ［機能］▶以下の項目から選択

データ詳細画面の機能メニュー

1 追加1件インポート	▶「YES」を選択し、●を押す 表示しているデータをFOMA端末に追加インポートします。
2 miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

miniSDメモリーカードに保存されているデータを、FOMA端末に追加インポート（コピー）したり、上書きインポートすることができます。
追加インポートには、1件のファイルのデータすべてを追加する「追加インポート」、選択した1 件のデータを追加する「追加1件インポート」、すべてのデータを追加する「追加全件インポート」があります。
上書インポートには1件のファイルのデータすべてを上書きする「上書インポート」と「上書全件インポート」があります。
●画像、動画のデータを全件インポートすることはできません。

■ 1件のファイルに保存されているデータを追加する場合

「ファイル一覧画面の機能メニューを使う」ファイル一覧画面の機能メニュー「2 追加インポート」➡P.403

■ 選択した1件のデータを追加する場合

「データ一覧画面の機能メニューを使う」データ一覧画面の機能メニュー「1 追加1件インポート」➡P.404

「データ詳細画面の機能メニューを使う」データ詳細画面の機能メニュー「1 追加1件インポート」➡P.404

■ すべてのデータを追加する場合

「データ一覧画面の機能メニューを使う」データ一覧画面の機能メニュー「2 追加全件インポート」➡P.404

■ 1件のファイルのデータすべてを上書きする場合

「ファイル一覧画面の機能メニューを使う」ファイル一覧画面の機能メニュー「3 上書インポート」➡P.403

「データ一覧画面の機能メニューを使う」データ一覧画面の機能メニュー「3 上書全件インポート」➡P.404

おしらせ

- 上書インポート、上書全件インポートは、インポートする項目のFOMA端末のデータが削除されてインポートしたデータに入れ替わります。上書きする前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
- 取り込み中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でインポートが中断されます。取り込み済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加インポートするとき、miniSDファイルに登録されているグループ番号とグループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号、グループ名と異なる場合、電話帳はグループ00に登録されます。
- 受信BOXがいっぱいのとき、受信メールを1件インポートすると、保護されていない最も古い既読メールに上書きされます。
- 送信BOXがいっぱいのとき、送信メールを1件インポートすると、保護されていない最も古いメールに上書きされます。
- 大容量のファイル(10,000 バイトを超える静止画、動画) が添付されている受信／送信メールをインポートする場合、大容量のファイルはデータBOXに保存されメールと関連付けされます。データBOXに登録できる空き容量がない場合は、添付ファイルが削除されて登録されます。
- 追加全件インポートをした場合、以下のデータはインポートされません。
  - アラーム通知が同時刻に設定され、繰り返し設定が同じスケジュール
  - 同じURLのブックマーク
- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話帳の「追加インポート」、「上書インポート」、「上書全件インポート」はできません。
- miniSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- インポート中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません（静止画や動画のインポート中を除く)。

miniSDメモリーカードの管理について

miniSDメモリーカードのフォーマットなど、miniSDメモリーカードを管理します。

miniSDメモリーカードをフォーマットする

次ページにつづく

フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

miniSDメモリーカードをフォーマットして、FOMA端末で使用できるようにします。

- miniSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。
- miniSDメモリーカードが書き込み保護がかけられていたり、不具合のある場合には、miniSDのフォーマットを行うことはできません。

「分類一覧表示画面の機能メニューを使う」分類一覧表示画面の機能メニュー「3miniSDフォーマット」➡P.406

おしらせ

- フォーマット中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
- フォーマットを中止したminiSDメモリーカードに保存されたデータの保証はいたしかねます。
- フォーマット中は着信ランプが緑色で点滅します。
- フォーマット中に◉［中止］や☎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットが中止され、「SD」が表示されます。そのときは、もう一度フォーマットしてください。

分類一覧表示画面の機能メニューを使う

分類一覧表示画面で ➡ P.402

1 ◎でデータを選択し、◉［機能］▶以下の項目から選択

分類一覧表示画面の機能メニュー

1 **miniSD情報表示**	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。
2 **本体からエクスポート**	▶**端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す** 選択している項目のデータをminiSDメモリーカードに全件エクスポートします。 端末暗証番号について→P.142
3 **miniSDフォーマット**	▶**端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す** miniSDメモリーカードをフォーマットします。 端末暗証番号について→P.142
4 **miniSDチェックディスク**	▶**「YES」を選択し、◉を押す** miniSDメモリーカードをチェックします。 チェックすることによってminiSDメモリーカードの不具合を修復できる場合もあります。

おしらせ

<miniSDチェックディスク>

- miniSDチェックディスク中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
- フォーマットされていないminiSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはminiSDチェックディスクできません。
- miniSDメモリーカードのminiSDチェックディスクを行った場合、miniSDメモリーカードの状態によっては正常に修復できなかったり、miniSDチェックディスクする前に存在していたデータが削除されたり、カード全体が初期化される場合があります。
- miniSDチェックディスク中は着信ランプが緑色で点滅します。
- miniSDチェックディスク中に◉［中止］や☎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はminiSDチェックディスクが中止され、「SD」が表示されます。そのときは、もう一度チェックディスクを行ってください。
- miniSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- miniSDメモリーカード内のデータ量によっては、miniSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
- miniSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

miniSDリーダライタとして使う

miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、miniSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

USBモード設定	内容
通信モード	外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、データの送受信（OBEX）用に使います。
miniSDモード	外部接続端子をminiSDメモリーカードのリードライト用に使います。FOMA端末からminiSDメモリーカードへのエクスポート／インポート、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません。

●FOMA端末をminiSDリーダライタとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル（別売）
パソコン	FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）

■お願い

●FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
●FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
●パソコンからFOMA端末へデータをコピー中で着信／充電ランプが点滅している状態では、FOMA USB接続ケーブル（別売）を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

FOMA端末をminiSDリーダライタとして使う

1 menu▶（各種設定）を選択し、●▶◎▶1「その他」▶「USBモード設定」を選択し、●▶2「miniSDモード」

2 **FOMA端末とパソコンを、FOMA USB接続ケーブルで接続する**

miniSDモード中にminiSDメモリーカードが挿入され、FOMA USB接続ケーブルが接続されている場合は、アイコンとアイコンが表示されます。
パソコンのマイ コンピュータに、miniSDメモリーカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータの送受信中には、パソコンにリーダライタとして認識されません。
取り付け方法→P.479

■「miniSDモード」を解除する場合

FOMA USB接続ケーブルを外してから、「通信モード」に切り替えてください。
取り外し方法→P.479

次ページにつづく

おしらせ

- パソコンと miniSDメモリーカード間で miniSDメモリーカード内のデータの読み込み／書き込み中に本機能を設定することはできません（「設定リセット」によるリセットもされません）。
- FOMA 端末と miniSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中にパソコンから miniSDメモリーカードにアクセスすることはできません。
- パソコンと miniSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中に FOMA 端末から miniSDメモリーカードにアクセスすることはできません。

フォルダとデータを操作する

マイピクチャ、iモーション、メロディのフォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。また、マイピクチャとiモーションのminiSDフォルダ一覧画面にフォルダを追加することもできます。

フォルダを作成／編集／削除する

「フォルダ一覧画面の機能メニューを使う」➡ P.408

フォルダ一覧画面の機能メニューを使う

- iモーション、メロディのプログラムフォルダを選択しているときの機能メニューについて→ P.377、393

＜例：マイピクチャにフォルダを追加する場合＞

➡ P.345、368、390

1 ◉［機能］▶以下の項目から選択

例：フォルダ一覧画面（マイピクチャ）の機能メニュー

1 フォルダ追加	▶フォルダ名を入力し、◉を押す フォルダを追加します。 フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。 すでにあるフォルダと同じフォルダ名をつけることができます。 フォルダ名が1文字も入力されていないときは、フォルダを追加することができません。 「文字を入力する」→P.522
2 フォルダ名編集	▶フォルダ名を編集し、◉を押す 追加したフォルダのフォルダ名を編集します。 全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
3 フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す データが保存されているフォルダも削除できます。 端末暗証番号について→P.142
4 画像全削除※1	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す お客様が保存したすべての画像と自作アニメを削除します。 端末暗証番号について→P.142

※1 ： iモーション、メロディのフォルダ一覧画面では表示されません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

おしらせ

＜フォルダ名編集＞
- ユーザ作成フォルダのみフォルダ名編集ができます。

＜フォルダ削除＞＜画像全削除＞
- ユーザ作成フォルダのみフォルダ削除ができます。
- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」で削除しようとしたときや、着信音、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」で削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - ・設定されていた画面はお買い上げのときの設定に戻ります。
  - ・自作アニメ、プログラムは解除されます。
  - ・ランダムメロディを着信音に設定しているときは、お買い上げのときの設定に戻ります。
  - ・スケジュールのユーザアイコンは「 」になります。
- メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。
- メールに添付した動画を削除した場合、メールに添付されている動画も削除されます。

miniSDフォルダ一覧画面の機能メニューを使う

miniSDフォルダ一覧画面で ➡ P.346

● ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

miniSDフォルダ一覧画面の機能メニュー画面

miniSDフォルダ一覧画面の機能メニュー

1 フォルダタイトル編集※1	**▶ タイトルを編集し、●を押す** フォルダのタイトルを編集します。 全角で31文字、半角で63文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
2 フォルダ作成※1	**▶ タイトルを入力し、●を押す** フォルダを作成します。 フォルダ名は全角で31文字、半角で63文字まで入力することができます。 すでにあるフォルダと同じフォルダ名をつけることができます。 フォルダ名が1文字も入力されていないときは、フォルダを追加することができません。 「文字を入力する」→P.522
3 フォルダ削除	**▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、●を押す** 端末暗証番号について→P.142
4 保存先フォルダ選択※1	**▶「YES」を選択し、●を押す** データを保存するフォルダに設定します。 「miniSDメモリーカードの保存先フォルダを指定する」→P.411

※1 ： イメージボックスでは表示されません。

おしらせ

＜フォルダ作成＞
- 「イメージボックス」内のフォルダは、フォルダ作成できません（パソコンなどで作成可能です）。
- miniSDメモリーカードの「ピクチャ」内のフォルダが900件のとき、「イメージボックス」内のフォルダが999件のとき、「iモーション」内のフォルダが4095件のとき、フォルダ作成はできません。

＜フォルダ削除＞
- 以下のフォルダを削除しようとすると、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。
  - ・読み取り専用に設定されているフォルダ
  - ・保存先フォルダに設定されているフォルダ
  - ・読み取り専用のファイルが含まれているフォルダ
  - ・ファイルが含まれているフォルダ
- 保存先フォルダを削除した場合、保存先フォルダはFOMA端末で作成された最も新しいフォルダになります。

データを複数選択する

複数選択した画像または動画のデータをまとめて削除したり、その項目内のほかのフォルダに移動することができます。miniSDメモリーカードに保存されている画像、動画をほかのフォルダにコピーしたり、静止画像にプリント設定をすることもできます。

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面>

画像一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.347

▶▶5「複数選択」

「複数選択画面」が表示されます。

複数選択画面

2

で画像を選択し、▶操作を繰り返して画像を選択

タイトル名一覧のときはで□（チェックボックス）を選択し、を押します。

「複数選択画面の機能メニューを使う」→P.410
「複数選択画面（miniSDメモリーカード）の機能メニューを使う」→P.410

複数選択画面の機能メニューを使う

複数選択画面で ➡ P.410

［機能］▶以下の項目から選択

複数選択画面の機能メニュー

1 **タイトル名一覧**※1※2	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。
2 **削除**	▶**「YES」を選択し、を押す** 選択した画像を削除します。
3 **移動**※2	▶**移動先のフォルダを選択し、を押す** 選択した画像をほかのフォルダに移動します。
4 **全選択**※2	すべての画像が選択されます。
5 **全選択解除**※2	すべての選択を解除します。

※1 ： タイトル名一覧のときは「1ピクチャ一覧」になります。お買い上げのときはピクチャ一覧です。
※2 ： キャラ電のときは表示されません。

複数選択画面（miniSDメモリーカード）の機能メニューを使う

複数選択画面で ➡ P.410

［機能］▶以下の項目から選択

複数選択画面（miniSDメモリーカード）の機能メニュー

1 **タイトル名一覧**※1	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。
2 **削除**	▶**「YES」を選択し、を押す** 複数選択した画像を削除します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

③ DPOF設定	▶以下の項目から選択 複数選択した画像のプリント指定をします。	
	① プリント指定	▶2桁の数字を入力し、◉を押す 複数選択した画像のプリント枚数（01～99）を入力します。
	② プリント指定解除	複数選択した画像のプリント指定を解除します。
	③ プリント指定全解除	そのフォルダに保存されている画像すべてのプリント指定を解除します。
④ コピー	▶コピー先のフォルダを選択し、◉を押す 複数選択した画像をほかのフォルダにコピーします。	
⑤ 移動	▶移動先のフォルダを選択し、◉を押す 複数選択した画像をほかのフォルダに移動します。	
⑥ 全選択解除	すべての複数選択を解除します。	

※1 ：タイトル名一覧のときは「①ピクチャ一覧」になります。お買い上げのときはピクチャ一覧です。

おしらせ

<DPOF設定>
- 999件まで設定することができます。
- 横1616×縦1212ドットより大きな画像および600Kバイトを超える画像には設定できません。
- パソコンなどで設定したDPOF設定は、枚数情報以外が無効となります。
- miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- 設定されているプリント枚数は、miniSDメモリーカード（ピクチャ）の画像一覧画面またはマイピクチャ画面の機能メニューの「イメージ情報」で確認できます。

miniSDメモリーカードの保存先フォルダを指定する

お買い上げ時	最も新しく作成されたフォルダ

miniSDメモリーカードに画像や動画を保存するときのフォルダを設定します。マイピクチャのminiSDおよびiモーションのminiSD内にあるそれぞれのフォルダに設定できます。
- 保存先フォルダは「★」の表示になります。
- miniSDメモリーカードにエクスポートする画像、動画もそれぞれの保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末の電源を切ったり、miniSDメモリーカードを取り外し／取り付けしたり、miniSDメモリーカードのフォーマット、miniSDメモリーカードのチェックを行うと保存先フォルダの設定は解除され、保存先フォルダは最も新しく作成されたフォルダになります。

miniSDフォルダ一覧画面の機能メニュー画面で ➡ P.409

4「保存先フォルダ選択」▶「YES」を選択し、◉を押す

おしらせ

- 「イメージボックス」内のフォルダは、保存先フォルダ選択できません。
- miniSDメモリーカードのフォルダをパソコンで作成したり編集すると、保存先フォルダが変更されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画を本体に保存しようとしたときや、サイトなどから画像やメロディ、iモーション、キャラ電を保存しようとしたとき、登録するためのメモリ容量が不足しているときや保存件数がいっぱいのときは、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

確認メッセージで、「YES」を選択し、◉を押す

■ **削除して保存しない場合**

「NO」を選択し、◉を押す

次ページにつづく

2 ◉を押し、削除するデータを複数選択する

複数選択のしかた→P.34

3 ◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで◉［完了］は有効になりません。

おしらせ

●画面などに設定されている画像や、着信音に設定されているメロディを削除しようとしたときは、設定中の画像またはメロディを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた画面や着信音などはお買い上げのときの設定になります。

〈電話帳画像転送〉

電話帳の画像を転送しないように設定する

お買い上げ時	する

赤外線通信機能やminiSDメモリーカードへのエクスポート、データの送受信（OBEX）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

1 menu▶ツールを選択し、◉▶◉▶3「電話帳画像転送」▶1「する」または2「しない」

〈赤外線通信機能〉

赤外線通信について

「赤外線通信機能」を搭載したほかのFOMA端末やパソコンなどと、電話帳や受信メールなどのデータを送受信できます。

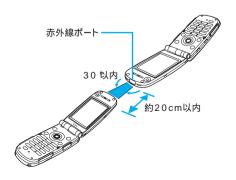
●メールや電話帳などに入力されている絵文字や特殊記号も正しく送受信することができます。

●FOMA N700i以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく送受信されないことがあります。また、半角カタカナや絵文字、一部の全角記号は、受信側で正しく表示されない場合があります。

赤外線通信をするときは

赤外線通信をするときには、以下のことにご注意ください。

・受信側のFOMA端末を先に受信状態にして、送信側のFOMA端末を約20cm以内に近づけます。
・机などの安定した台の上に、赤外線ポートが平行に向き合うように置いてください。
・通信中はFOMA端末を動かさないでください。
・直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

赤外線通信利用にあたってのご注意

こんなときは赤外線通信ができません。またデータ登録もできません

・FOMA端末の「赤外線通信機能」はIrMC1.1に準拠しています。IrMC1.1に準拠していない端末との赤外線通信はできない場合があります。また相手の機種によっては、IrMC1.1に準拠していても送受信できないデータがあります。
・「オールロック」、「PIMロック」、セルフモード設定中は、すべてのデータの送受信ができません。
・FOMAカードの電話帳、SMSは送受信できません。
・赤外線通信中、以下のようなときは通信が中断されて、続けるかどうかのメッセージが表示されます。
  ・受信側で約30秒以内にデータの受信がないとき
  ・送信側で受信側の端末を検出できないとき

「YES」を選択すると、もう一度通信をやり直すことができます。通信をやめるときは、「NO」を選択します。このとき、約30秒以内に操作しないと、自動的に赤外線通信を終了します。
・以下の場合は、1件受信したデータが登録できないことを通知するメッセージが表示されます。
  ・同じURLのブックマークを受信したとき
  ・100Kバイトを超えるメロディを受信したとき
  ・横1616×縦1212ドットを超えるJPEG形式の画像を受信したとき
  ・横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるGIF形式の画像を受信したとき
  ・横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像を受信したとき
  プログレッシブJPEG形式の画像→P.221
  ・600Kバイト※を超える静止画を受信したとき
  ※：ただし、600Kバイト以内の静止画でも登録できない場合があります。
  ・JPEG形式、GIF形式以外の静止画を受信したとき
  ・800Kバイトを超える動画やiモーションを受信したとき
  ・MP4形式以外の動画を受信したとき
  ・同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュールのデータを受信したとき
  ・時計設定が行われていないときに、スケジュールまたはToDoのデータを受信したとき
  ・送信／受信／保存メールに添付された大容量のファイルを受信する場合、大容量のファイル（10,000バイトを超える静止画、動画）はデータBOXに保存されメールと関連付けされます。データBOXに登録できる空き容量がない場合は、添付ファイルが削除されて登録されます。

赤外線通信中には、こんなことができません

・受信レベルが表示されていても、赤外線通信起動中（「Ir」表示中）はほかの通信を行うことができません。
・音声通話中やテレビ電話中、iモード中、パケット通信中、64Kデータ通信中は本機能を利用できません。→P.556
・「赤外線通信機能」起動中は圏外となります。音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメール、パケット通信などはできません。

データを1件ずつ送受信する

FOMA端末内のデータを、ほかのFOMA端末と赤外線で1件ずつ送受信します。
●送受信できるデータは、以下のとおりです。

・電話帳
・ToDo
・保存メール
・制限なしのメロディ
・制限なしの画像
・自局番号表示のデータ
・送信メール
・テキストメモ
・静止画
・制限なしのiモーション
・スケジュール
・受信メール
・ブックマーク
・動画

次ページにつづく

おしらせ

- 赤外線通信機能で受信した静止画、動画は、マイピクチャおよびiモーションそれぞれのINBOXフォルダに保存されます。
- 画像、動画のタイトルは、全角で9文字、半角で18文字まで送受信されます。
- メロディのタイトルは、全角で25文字、半角で50文字まで送受信されます。
- データが容量を超えるときなどは、警告画面が表示されて送信（受信）できない場合があります。
- 赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため電話がかかってきても着信せず、かけてきた相手には「電波が届かないか電源が入っていない」旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス・転送でんわサービスを「開始」に設定していると、留守番電話サービスセンター・転送先に転送されます。
- データの大きさによっては、転送に時間がかかる場合があります。また、受信できないこともあります。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続されている場合、赤外線通信ができない場合があります。

受信できる電話帳のデータ

・名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、誕生日、静止画の各データおよびアイコンの情報です。
・受信した「自局番号表示」のデータは電話帳として登録されます。

電話帳の1件送受信について

・電話帳に登録される電話番号は、メモリ番号「010」〜「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」〜「699」がすべて登録されているときは、「000」〜「009」（「ツータッチダイヤル」（P.109））の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
・電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときや700件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。
・電話帳に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときも、すべてのデータが送受信されます。
・「ダイヤル発信制限」設定中は、電話帳のデータの送受信はできません。
・「自局番号表示」のデータは「指定発信制限」設定中でも送信できます。
・「指定発信制限」設定中は、電話帳のデータの受信はできません。
・「シークレットモード」（P.148）、「シークレット専用モード」（P.149）でシークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」が解除されて送受信されます。
・電話帳のシークレットコードは送受信できません。

赤外線通信に時間がかかるときは

・電話帳の送受信を行うと、登録されている静止画も転送されるため、送受信に時間がかかることがあります。送受信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送」（P.412）を、「しない」に設定し、電話帳の静止画を転送しないようにすることができます。

データを1件送信する<赤外線送信>

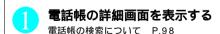
送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。

<例：電話帳のデータ1件を送信する場合>

1 電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索について→P.98

2

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

3 赤外線ポートを相手側に向け、「YES」を選択し、◉を押す

相手の端末を受信状態にしておきます。
データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
「NO」を選択し、◉を押す

■ 送信中に中止する場合
⊙［中止］を押す

おしらせ

- 保護されている送受信メールを送信すると、受信側では保護が解除されて通常のデータとして保存されます。
- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。
- メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、添付されているのが内蔵カメラで撮影した静止画や動画のときや、OBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- ファイル制限が「あり」の画像、動画やiモーション、メロディのデータは送信できません。ただし、内蔵カメラで撮影した静止画や動画、miniSDメモリーカードからインポートしたデータ、OBEXで受信したデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信できます。

データを1件受信する<赤外線受信>

1 menu 7 9 を押す

「赤外線受信画面」が表示されます。

赤外線受信画面

2 1「受信」を押す

3 赤外線ポートを相手に向け、相手のFOMA端末からデータを受信する

データの受信がはじまります。
通信相手がFOMA端末ではないときは、通信状況を示すバーが表示されない場合があります。

■ 受信中に中止する場合
⊙［中止］を押す

4 「YES」を選択し、◉を押す

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信したデータを登録しない場合
「NO」を選択し、◉を押す

おしらせ

- 赤外線通信終了後、しばらく「圏外」の表示になる場合があります。
- 受信BOXフォルダの空き容量がないときは、ゴミ箱フォルダ内のメールを削除して受信BOXフォルダに登録されます。受信したメールが空き容量より大きいときは、保護されていない既読の受信メールの最も古いものに上書きされます。
- 送信メールは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- 受信したブックマークは、「Bookmark」フォルダに保存されます。
- 1件受信でも赤外線全件受信できることがあります。その場合は、全件受信の操作になります。

データを全件送受信する

FOMA端末内の全件のデータを、ほかのFOMA端末と赤外線で送受信できます。
●送受信できるデータは、以下のとおりです。

・電話帳 ・自局番号表示のデータ ・スケジュール ・ToDo
・送信メール ・受信メール ・保存メール ・テキストメモ
・ブックマーク

「全件転送」をする前に必ずお読みください

■全件転送について

・全件受信をすると、受信したデータにより上書きされ、登録されていたデータは保護メールやシークレットデータも含めてすべて削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。

■「電話帳」の「全件転送」について

・「電話帳」のデータは、メモリ番号順に送受信されます。
・送受信される「電話帳」のデータは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、誕生日、静止画、グループ名およびアイコンの情報です。
・送信側の「自局番号表示」のデータは、自局番号以外がすべて転送され、受信側に上書きされます。メールアドレスも送信側のメールアドレスに上書きされますので、転送後に受信側のメールアドレスに変更してください。
・「電話帳」に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときもすべてのデータが送受信されます。
・シークレットデータとして登録されている電話帳は、シークレットデータとして受信されます。
・電話帳のシークレットコードは送受信できません。

おしらせ

●通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

認証パスワードについて

「全件転送」では、送信側と受信側のFOMA端末を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

データを全件送信する<赤外線全件送信>

全件送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全件送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを全件送信する場合>

1 電話帳の一覧画面を表示する

電話帳の検索について→P.98

2 ● ［機能］▶ 4 「赤外線全件送信」

3 端末暗証番号を入力し、● ▶ 認証パスワードを入力

端末暗証番号について→P.142
認証パスワードについて→P.416

4 赤外線ポートを相手側に向け、「YES」を選択し、◉を押す

相手の端末を全件受信状態にしておきます。→P.417
データの全件送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全件送信を中止する場合
「NO」を選択し、◉を押す

■ 送信中に中止する場合
◉［中止］を押す

おしらせ

- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。
- メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、添付されているのが内蔵カメラで撮影した静止画や動画のときや、OBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- 受信側がFOMA N700iの場合、全件送信したブックマークの一覧は、受信側でも送信元と同じ順に表示されます。

データを全件受信する<赤外線全件受信>

赤外線受信画面で ➡ P.415

1 [2]「全件受信」を押す

2 端末暗証番号を入力し、◉▶認証パスワードを入力

端末暗証番号について→P.142
認証パスワードについて→P.416

3 赤外線ポートを相手側に向け、「YES」を選択し、◉を押す

■ 全件受信を中止する場合
「NO」を選択し、◉を押す

4 相手のFOMA端末からデータを全件受信する

データの全件受信がはじまります。

■ 受信中に中止する場合
◉［中止］を押す

5 上書き確認画面で、「YES」を選択し、◉を押す

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■ 上書きしない場合
「NO」を選択し、◉を押す

おしらせ

- 赤外線通信終了後、しばらく「圏外」の表示になる場合があります。
- 送受信メールやブックマークを全件受信した場合、相手の機種によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

赤外線通信モードにする

iアプリ起動機能を持っている赤外線通信機器からiアプリ起動データを受信してソフトを起動することができます。

●指定されているソフトをあらかじめサイトなどからダウンロードしておきます。→P.321

赤外線受信画面で ➡ P.415

1 「受信」▶赤外線通信機器からiアプリ起動データを受信

iアプリ起動データを受信すると、ソフトが起動します。
起動後の操作はソフトによって異なります。

■受信を中止する場合
PWR/HLDまたはCLRを押す

おしらせ

●該当するソフトがない場合は、指定されたソフトがないことを通知するメッセージが表示されます。

赤外線受信画面の機能メニューを使う

赤外線受信画面で ➡ P.415

1 ［機能］▶以下の項目から選択

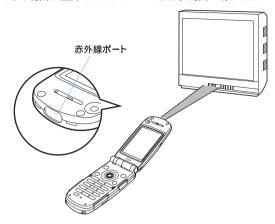
赤外線受信画面の機能メニュー

1 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、●を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

赤外線リモコン機能を利用する

●ご使用になりたい製品に該当するソフトをダウンロードしてください。ただし、該当するソフトでもその製品には対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。
●FOMA端末で利用できるリモコンのソフトは、iMenu内のサイトからダウンロードすることができます。
●セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

- FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面でおおよそ4mですが、周囲の明るさによって変わります。

「Gガイド番組表リモコン」を利用する

Gガイド番組表リモコンは、テレビ番組表とテレビリモコン機能が一つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。お住まいの地域に応じたテレビ局の番組タイトル・番組内容・開始/終了時間・Gコード®を知ることができます。
気になった番組情報があったら、すぐにお友達に番組のタイトル、番組の放送スケジュールなどをメールでお知らせできる「おすすめメール」機能があります。
また、お使いのテレビのリモコン操作ができます。（一部対応していない機能もあります）

- 電子番組表（EPG）に対応しているので番組選びが容易にできます。
- はじめて G ガイド番組表リモコンを使うときは、初期設定をして利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

● 初期設定をする

「Gガイド番組表リモコン」を実行 ▶ 自分のデータを設定

iアプリを起動する→P.324
郵便番号は7桁の数字で正しく入力してください。設定した郵便番号の地域の番組表を表示します。

視聴地域の郵便番号、生まれた年、性別を設定

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

2 「TV登録」を選択し、●▶操作する機器のメーカを選択し、●［設定］▶●を押す

メーカを選択しているときに を押すと、機器の電源をON／OFFしてリモコンのテストができます。
同様の操作で、ほかの機器のメーカを設定します。

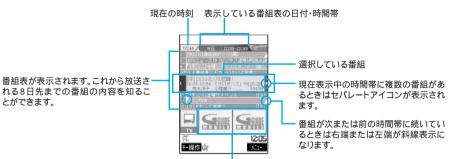
3 ●［設定］▶「利用規約を読む」を選択し、●▶利用規約を読み、●［戻る］▶「はい」を選択し、●または●［同意］を押す

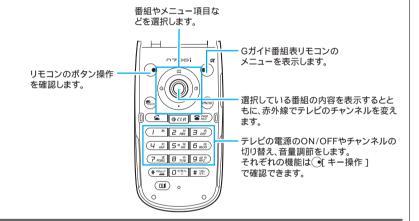
4 ●▶番組表に表示したいチャンネルを選択▶●［完了］▶●［設定］

チェックをつけたチャンネルが番組表に表示されます。

5 チャンネルに割り当てるリモコンのチャンネル番号をテキストボックスに入力▶●［設定］

メーカが設定されていない場合、この画面は表示されません。

● Gガイド番組表リモコンの基本画面

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
　お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

● Gガイド番組表リモコンの基本操作

おしらせ

● 広告を選択して◉を押すと、Web To機能で広告に関連したサイトに接続します。また、Phone To機能、Mail To機能を利用する広告もあります。

Gガイド番組表リモコンのメニューを利用する

Gガイド番組表リモコンの基本画面で ➡ P.421

◉［メニュー］▶ 以下の項目から選択

番組詳細	選択している番組の詳細情報を通信により取得して表示します。詳細情報がある場合のみ取得できます。
おすすめメール	番組の情報が本文に入力されたiモードメールを作成します。
HELP	Gガイド番組表リモコンの使いかたを表示します。
最新に更新	番組表を最新のものに更新します。
バージョン情報	Gガイド番組表リモコンのバージョンを確認します。 最新バージョンがある場合には、◉［更新］を押すとGガイド番組表リモコンをバージョンアップできます。
視聴チャンネル	番組表に表示する放送局を設定します。

次ページにつづく

リモコン登録	Gガイド番組表リモコンで操作する機器のメーカを設定します。
初期化	▶⊙［初期化］ Gガイド番組表リモコンを初期化します。
リモコンチャンネル設定	放送局に割り当てるリモコンのチャンネルを設定します。

〈OBEX〉

FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

■お願い

● FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。また、N700i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P.480
● FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
● パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

データの送受信利用にあたってのご注意

こんなときはデータの送受信や、登録ができません

・通信中（音声通話やテレビ電話、データ通信）にデータの送受信はできません。また、データの送受信中にはほかの通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信は中止されます。
・FOMAカードの電話帳、SMSは本データ通信で送受信できません。
・「オールロック」、「PIMロック」、セルフモード設定中は、すべてのデータの送受信はできません。
・「ダイヤル発信制限」設定中は、電話帳データの送受信はできません。
・「指定発信制限」設定中は、電話帳データの受信はできません。
・データの大きさによってはFOMA端末で受信、登録できない場合があります。
  ・横1616×縦1212ドットを超えるJPEG形式の画像を受信したとき
  ・横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるGIF形式の画像を受信したとき
  ・横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像を受信したとき
  プログレッシブJPEG形式の画像→P.221
  ・600Kバイトを超える画像（ただし、600Kバイト以内の画像でも登録できない場合があります）
  ・800Kバイトを超える動画やiモーション
・受信／送信メールに添付された大容量のファイル(10,000バイトを超える静止画、動画)を受信する場合、大容量のファイルはデータBOXに保存されメールと関連付けされます。データBOXに登録できる空き容量がない場合は、添付ファイルが削除されて登録されます。
・データの送受信を行う前に「時計設定」（P.44）で日付・時刻が設定されていることを確認してください。「時計設定」の設定が行われていないときは、受信したスケジュール、ToDoのデータを登録することはできません。
・受信したスケジュールと同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュールが登録されている場合には、受信したデータを登録することはできません。
・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ、画像やiモーションはパソコンに送信できない場合があります。
・別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、画像、動画やiモーションは送信できません。

電話帳の送受信について

・電話帳のシークレットコードは送受信できません。
・「指定発信制限」設定中は、受信はできませんが、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、「自局番号表示」のデータを送信できます。
・「全件転送」を行うと「自局番号表示」のデータは電話帳と一緒に送信されます。
・電話帳を全件受信すると、「自局番号表示」のデータ（電話番号を除く）も上書きされます。
・静止画を「全件書き込み」すると、電話帳に登録されている静止画がすべて削除されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

・電話帳のデータを受信する場合、「1件受信」のときはメモリ番号「010」から、全件受信のときはメモリ番号の情報に従って登録します。
・電話帳はメモリ番号順に送信されます。
・データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。
・電話帳の送受信を行うと、登録されている静止画も転送されるため、送受信に時間がかかることがあります。FOMA端末からパソコンに送信する場合は、送信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送」（P.412）を「しない」に設定し、電話帳の静止画を転送しないようにできます。
・電話帳のデータを1件ずつ受信するとき（パソコンからFOMA端末（本体）へ送信するとき）は電話帳のメモリ番号「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」（「ツータッチダイヤル」（P.109））の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
・電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときや700件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

こんなことにもご注意ください

・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータはパソコンに送信できない場合がありますが、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画、OBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータは、ファイル制限が「あり」に設定されていても送信されます。
・データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、iモードやiモードメール、パケット通信などはできません。
・データの送受信終了後、しばらく「圏外」と表示される場合があります。
・本データ通信はマルチタスク機能が使えません。ほかの機能をすべて終了させてから操作を行ってください。
・静止画およびメロディ、動画やiモーションのデータ送受信は、IrMC規格外となるため、FOMA N700iに対応したデータ転送用のソフトが必要です。静止画、メロディ、動画やiモーションはすべてINBOXに保存されます。
・iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信されます。
・フレームのデータやFlash画像は転送できません。
・メール連動型iアプリの受信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダに登録されます。

データを1件送信する（1件書き込み）

1 パソコンでデータ通信用のソフトを使って、「1件書き込み」の操作をする

データ送信のしかたについては、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコンからデータを送信する

データのサイズによっては通信状況を表すバー表示の進み具合が遅くなることがあります。

3 「YES」を選択し、◉を押す

受信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。FOMA端末で受信が終わり、約30秒以内に操作をしないと、受信したデータを破棄して画面を終了します。

データを全件送受信する（全件書き込み／全件読み出し）

<例：FOMA端末からパソコンへデータを全件送信する場合>

1 データを送信（全件送受信）する

データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書をご覧ください。
パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で端末暗証番号を入力し、◉を押す

端末暗証番号について→P.142

次ページにつづく

3 FOMA端末で認証パスワードを入力する

認証パスワードについて→P.416

4 データを送信する

送信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- パソコンからFOMA端末への「全件書き込み」を行うとFOMA端末のデータはすべて書き換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されるのでご注意ください。「シークレットモード」「シークレット専用モード」で登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。ただし、フレームやFlash画像は消去されません。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、以下の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール	いずれか1回線
パソコンをつないだパケット通信	
SMS	1回線

おしらせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。
- テレビ電話中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの受信のみ同時に使用できます。
- 64Kデータ通信中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの送受信のみ同時に使用できます。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のiモードメール受信

「受信表示設定」を「操作優先」に設定している場合、音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 MULTIを1秒以上押す

iモードメールの受信結果画面に切り替わります。

■ タスクメニューから切り替える場合

タスクメニューの切り替えについて→P.430

➡

2 iモードメールを見る

iモードメールの見かた→P.277

3 MULTIを1秒以上押す

音声通話中画面に切り替わります。

おしらせ

- 音声通話中にiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーを受信した場合、着信音は鳴らずに受信した種別のアイコンが点滅・点灯して受信をお知らせします。
- 「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合、音声通話中にiモードメールを受信すると、「✉」が点滅し、iモードメールの受信中画面に切り替わります。

●iモード中／パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信中、パケット通信によるデータ通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

●iモード中にテレビ電話を受けることはできません。

を押す

音声通話中画面に切り替わり通話ができます。

■音声電話に出ないでiモード画面に戻る場合

を１秒以上押す

相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら を押す

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合

を１秒以上押す

➡

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。

●マルチアクセス中に画面を切り替えるには、 を１秒以上押すか、タスクメニューから表示したい機能を選択します。→P.430

● 音声通話中のiモード接続

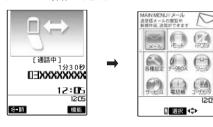
音声通話中に を押して、メインメニューのiモードメニューからiモードに接続できます。→P.204

● 音声通話中のiモードメール送信

音声通話中に を押して、メインメニューのメールメニューからiモードメールを作成して送信できます。

次ページにつづく

1 音声通話中に menu を押してメールメニューを選択する

メニューの操作のしかた→P.32

2 iモードメールを作成して送信する

iモードメールの作成／送信のしかた→P.247

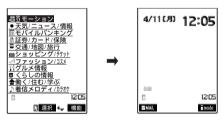
3 MULTI を1秒以上押す

音声通話中画面に戻ります。

●iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 iモード中に menu を1秒以上押す

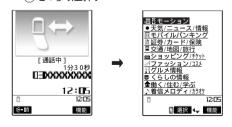
待受画面が表示されます。

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.48

3 通話が終了したら PWR HLD を押す

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合

MULTI を1秒以上押す

おしらせ

- iモード中にテレビ電話をかけた場合は、「iモード通信終了」というメッセージが表示され、その後テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、iモード画面に戻ります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。メインメニューにある以下のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます。

グループ	大項目（タスク）
メールグループ	メール
iモードグループ	iモード、iアプリ
設定グループ	各種設定、サービス
ツールグループ	データBOX、電話帳、ツール、ユーザデータ

●音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。

タスク（機能）の呼び出しかた

1 **タスクを起動中に(menu)を1秒以上押す**
待受画面が表示されます。

2 **起動していないグループのタスクを選択する**

■ **メインメニューから呼び出す場合**
(menu)を押してからタスクを選択する→P.32

■ **メニュー番号から呼び出す場合**
(menu)を押してから呼び出したいタスクのメニュー番号を入力する→P.548

■ **メールメニューを呼び出す場合**
(●)［MAIL］を押す→P.246

■ **iモードメニューを呼び出す場合**
(●)［imode］を押す→P.204
タスクの起動状況はアイコンで確認できます。
（アイコン）：複数のタスクを起動していることを示します。
（アイコン）：タスクを1つだけ起動していることを示します。
アイコンなし：タスクは起動していません。

おしらせ

●同じグループのタスクを呼び出そうとすると、タスクを切り替えるかどうかのメッセージが表示される場合と、自動的に切り替わる場合（メールメニュー表示中やiモードメニュー表示中など）があります。切り替えるかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選択すると新しく呼び出したタスクに切り替わります。
●3つのタスクを同時に起動しているときに、4つめのタスクを起動しようとすると、これ以上起動できないことを通知するメッセージが表示されます。
●処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。
●以下の場合はメールの閲覧をしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。すでにタスクが3つ起動されている場合に以下の操作を行うと、起動できないことを通知するメッセージが表示されます。起動されているメールグループ以外のタスクを1つ終了してから操作を行ってください。「タスクを終了する」→P.430
・ 新規メール作成
・ SMS作成
・ メール閲覧中に機能メニューで返信／引用返信／転送
●以下の機能を使用しているときは、ほかの機能を利用できません。
・ テレビ電話　・FOMAカード（UIM）操作　・カメラ（長時間ムービー）　・動画やiモーションの編集
・ iアプリのソフトのダウンロード　・赤外線通信　・miniSDメモリーカードとのデータのインポート／エクスポート
・ データの送受信（OBEX）機能　・ソフトウェア更新
●機能によってはほかの機能が起動しているときに操作できないものがあります。

タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えるには、(MULTI)を押してタスクメニューを表示させ、そこから操作するタスクを選択する方法と、(MULTI)を1秒以上押して1つずつタスクを切り替える方法があります。また、待受画面表示中にニューロポインターでタスクアイコン／時計表示エリアのタスクアイコンを選択すると、タスクを切り替えることができます。

●タスクメニューでタスクを切り替える

1 (MULTI)を押す

タスクメニューが一覧で表示されます。

2 使用したいタスクを選択し、(●)を押す

選択したタスクが画面に表示されます。

●タスクを1つずつ切り替える

(MULTI)を1秒以上押すと、タスクメニューに表示される順にタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えても、動作中のタスクが終了したり、音声電話が切れたりすることはありません。

●メインメニュー表示中は、(MULTI)を1秒以上押してもタスクは切り替わりません。

●タスクを終了する

タスクを終了する方法は以下のとおりです。

・終了したいタスクに切り替えて(PWR HLD)を押す
・タスクメニュー表示中に終了したいタスクを反転表示して(PWR HLD)を押す
・すべてのタスクを終了するには、タスクメニュー表示中に(・)［END ALL］を押し、「YES」を選択して(●)を押す

おしらせ

●FOMA端末の電源を切ると、すべてのタスクが終了します。
●ほかのメニュー機能が動作中にFOMAカード操作、配色パターンなどのメニュー機能を呼び出す操作をすると、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。この場合、ほかのメニュー機能を終了してから、メニュー機能を呼び出す操作をしてください。

〈アラーム通知設定〉
アラーム通知のしかたを設定する

お買い上げ時	通知優先

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定できます。

1 menu ▶ を選択し、● ▶ 6 「時計」 ▶ 「アラーム通知設定」を選択し、● ▶ 1 「操作優先」または 2 「通知優先」

■ **操作優先に設定した場合**
待受画面表示中のときのみアラームを通知します。

■ **通知優先に設定した場合**
FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアラーム通知の設定を示すアイコンが表示されます。設定した時刻になると、それぞれの機能に応じてアラームを通知します。

● アラーム通知を設定すると

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

■ **当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合**
「 」が表示されます。

■ **明日以降の設定がある場合**
「 」が表示されます。

● 設定した時刻になると

各機能ごとに以下のような動作でアラームを通知します。

めざまし時計の場合

スケジュールの場合※1

ToDoの場合※1

状態	機能名	
	めざまし時計	スケジュール、ToDo
待受画面表示中	「スヌーズ通知しない」に設定している場合は、アラーム音が設定された鳴動時間（01～10分）繰り返し鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。

次ページにつづく

<table>
<tr><th rowspan="2">状態</th><th colspan="2">機能名</th></tr>
<tr><th>めざまし時計</th><th>スケジュール、ToDo</th></tr>
<tr><td>電源が切れているとき</td><td>「自動電源ON」を「電源ONする」に設定している場合は自動的に電源が入りアラームを通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源は入らずアラームを通知しません。電源を入れた後も「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。</td><td>設定した時刻になってもアラームを通知しません。ただし設定はそのまま残ります。</td></tr>
<tr><td>通話中※2</td><td colspan="2">受話口から時刻アラーム音（ピッピピ…）が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。</td></tr>
<tr><td>電話の発信中／着信中※2</td><td colspan="2">「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。着信中のときは、電話に出たときに「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。</td></tr>
<tr><td>iモード中／メール送受信中※2</td><td colspan="2">「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。</td></tr>
<tr><td>赤外線通信機能またはSD-PIM機能の操作中、OBEXによるデータ送受信中</td><td colspan="2">設定した時刻になってもアラームを通知しません。データ通信終了後、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.433</td></tr>
<tr><td>イヤホンマイク接続中（「イヤホン切替」を「イヤホン」に設定している場合）</td><td colspan="2">イヤホンからアラーム音が約20秒間鳴ります。約20秒たつとアラーム音がイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。</td></tr>
<tr><td>PIN1コード入力設定が「ON」に設定されていて、電源を入れた後のPIN1コード入力画面を表示しているとき</td><td>「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム通知の画面表示を消すと、PIN1コード入力画面に戻ります。</td><td>正しいPIN1コードを入力した後にアラームを通知します。</td></tr>
<tr><td>「オールロック」設定中／「PIMロック」設定中</td><td>「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。「オールロック」／「PIMロック」解除後、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.433
電源を切っている場合は設定した時刻になっても電源は入らず、「オールロック」／「PIMロック」解除後も「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。</td><td>「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。「オールロック」／「PIMロック」解除後、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.433</td></tr>
</table>

※1：スケジュールやToDoのアラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。
※2：「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定したときの動作です。「操作優先」に設定しているときは設定した時刻になってもアラームは通知されず、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。

おしらせ

- 「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①めざまし時計
  ②ToDo
  ③スケジュール
  アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。ただし、電源を切っている場合は、「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。
- 「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- マナーモード設定中のアラーム音の音量は、「マナーモード選択」で設定した音量になります。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、アラーム音と振動でお知らせします。
- 「時計表示設定」の「表示方法」を「OFF」に設定しているときや、スケジュールやToDoの「アラーム通知」を「通知しない」に設定したときは、「　」や「　」は表示されません。

● アラーム音をとめるには

■ めざまし時計のアラーム音

「スヌーズ通知しない」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になります。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

「スヌーズ通知する」に設定している場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示されます。「スヌーズ中・・・」の表示中は約5分たつと再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に PWR/HLD を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■ スケジュール、ToDoのアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態でサイドボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■ アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「めざまし時計」のスヌーズも解除されます。

おしらせ

- 以下のようなときは、スヌーズが解除されます。
  - ・音声電話やテレビ電話がかかってきたとき
  - ・「受信表示設定」が「通知優先」の場合にiモードメールやSMSなどを受信したとき
  - ・「アラーム通知設定」が「通知優先」の場合にめざまし時計、スケジュール、ToDoのアラームが通知されたとき
- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は、スヌーズ通知の解除音は鳴りません。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。

待受画面で ● を押して「 」を選択し、● を押す

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」の未通知アラーム情報が表示されます。

■「 」のデスクトップアイコンを消す場合
CLR を1秒以上押す
「 」のデスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。情報を通知するデスクトップアイコンが表示されていた場合は、それらのアイコンも消えます。

2 内容を確認したら CLR を押す

待受画面に戻り、「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは消えます。

おしらせ

- 「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されていてアラームを通知できなかった場合は、それぞれの未通知アラーム情報が表示されます。

〈めざまし時計〉

めざまし時計として利用する

お買い上げ時	OFF

めざまし時計を設定する

めざまし時計画面

1 menu 4 4 を押す

「めざまし時計画面」が表示されます。
以前にめざまし時計を設定したことがある場合は、前回の設定内容が表示されます。

2 1～3 ▶ ● ［編集］

3 それぞれの項目を設定する

項目	操作・説明	
時刻入力	▶時刻を入力し、●を押す アラームを鳴らす時刻を入力します。	
繰り返し	▶以下の項目から選択 めざまし時計の繰り返しを設定します。	
	1 設定なし	1回だけアラームを鳴らします。
	2 毎日（D）	毎日アラームを鳴らします。
	3 曜日指定（W）	▶で□（チェックボックス）を選択し、●▶●［完了］ 設定した曜日にアラームを鳴らします。
アラーム音選択	▶以下の項目から選択 アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 「プリインストール」のフォルダから「時刻アラーム音」が選択できます。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112	
	1 INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディからアラーム音を選択します。
	2 プリインストール	あらかじめ登録されている着信音やメロディからアラーム音を選択します。
	3 おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。
	4 OFF	アラーム音を鳴らしません。
めざまし音量	▶またはを押して音量を調節し、●を押す アラーム音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.66	
スヌーズ選択	▶以下の項目から選択 スヌーズ（繰り返し）で通知するか設定します。	
	1 スヌーズ通知する	アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。
	2 スヌーズ通知しない	▶鳴動時間（01～10分）を入力する アラーム音が鳴動時間で設定した時間で鳴り続けます。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
自動電源ON	▶ 1「電源ONする」または 2「電源ONしない」 アラーム時刻に自動で電源を入れるか設定します。	

［完了］を押す

おしらせ

- 「PIMロック」設定中はめざまし時計の登録、編集はできません。
- 自動的に電源をONにしてめざましを通知する場合、「プリインストール」以外のアラーム音が選択されているとFOMAカード動作制限機能により「時刻アラーム音」で鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

めざまし時計画面の機能メニューを使う

めざまし時計画面で ➡ P.434

［機能］▶以下の項目から選択

めざまし時計画面の機能メニュー

1 編集	めざまし時計を編集します。
2 詳細表示	一覧表示のときに詳細表示にします。
3 1件OFF	▶「YES」を選択し、●を押す
4 全件OFF	▶「YES」を選択し、●を押す

〈スケジュール〉

スケジュールや休日、記念日を登録する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーでひとめで確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールの件数や用件が表示されます。定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録しておいたり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定したり、1日に複数のスケジュールを登録したりなど、いろいろな方法でスケジュールを管理できます。

- スケジュール、休日、記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げのときに登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- スケジュールは1日に複数の件数を登録できます。休日、記念日は1日に1件のみ登録できます。
- あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
- スケジュールのアラーム通知について→P.431

menu 4 5 を押す

「スケジュール画面」が表示されます。

スケジュール画面

スケジュール画面の機能メニューを使う

スケジュール画面で ➡ P.435

◉［機能］▶以下の項目から選択

スケジュール画面の機能メニュー画面

スケジュール画面の機能メニュー 1/2

項目	内容
1 新規登録	「スケジュールを登録する」→P.438
2 1週間表示※	「スケジュールの表示を切り替える」→P.437
3 アイコン別表示	**▶アイコンを選択し、◉を押す** スケジュールをアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件の項目として表示されます。
4 ユーザアイコン設定	「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.439
5 登録件数確認	スケジュール登録件数、休日登録件数、記念日登録件数、シークレットで登録された件数を確認することができます。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件としてカウントされます。
6 赤外線全件送信	スケジュールをすべて赤外線送信します。「データを全件送信する」→P.416
7 前日まで削除	**▶以下の項目から選択** 選択した日付より前の項目をすべて削除します。 1 スケジュール：**▶「YES」を選択し、◉を押す** スケジュールを前日まで削除します。 2 休日：**▶「YES」を選択し、◉を押す** 休日を前日まで削除します。 3 記念日：**▶「YES」を選択し、◉を押す** 記念日を前日まで削除します。 4 すべて：**▶「YES」を選択し、◉を押す** スケジュール、休日、記念日のすべてを前日まで削除します。

※： 1週間表示のときは「2 1ヶ月表示」になります。お買い上げのときは1ヶ月表示です。

スケジュール画面の機能メニュー 2/2

項目	内容
1 全削除	**▶端末暗証番号を入力し、◉▶以下の項目から選択** 端末暗証番号について→P.142 1 スケジュール：**▶「YES」を選択し、◉を押す** 2 休日：**▶「YES」を選択し、◉を押す** 3 記念日：**▶「YES」を選択し、◉を押す** 4 すべて：**▶「YES」を選択し、◉を押す** スケジュール、休日、記念日をすべて削除します。
2 祝日リセット	**▶「YES」を選択し、◉を押す** あらかじめ登録されている国民の祝日の状態に戻します。

おしらせ

- 「全削除」で休日をすべて削除した場合、祝日はお買い上げのときの登録内容に戻ります。

● スケジュールの表示を切り替える

スケジュールには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。Ⓞを押して確認したい日付を反転表示させると、その日付に登録されているスケジュールの件数やアイコンを確認できます。

当日の午前と午後に登録されているスケジュールの件数とアイコンを表示します。

当日の午前と午後に設定されているスケジュールの件数、アイコン、スケジュール内容を表示します。

青色の日付：土曜日を示します。
赤色の日付：日曜日・祝日・休日を示します。
◯：記念日を示します。
＿：当日を示します。
□：午前のスケジュールが登録されていることを示します。
■：午後のスケジュールが登録されていることを示します。

おしらせ

● 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています（2005年2月現在）。

休日や記念日を登録する

＜例：休日を設定する場合＞

MENU 4 5 ▶ Ⓞ［新規］▶ 2「休日」

■ 記念日を登録する場合

3「記念日」を押す

2 それぞれの項目を設定する

項目	操作	
年月日設定	▶ **年月日を入力し、Ⓞを押す** 休日、記念日を登録する年月日を入力します。	
繰り返し	▶ **以下の項目から選択** 休日、記念日の繰り返しを設定します。	
	1 **設定なし**	登録した休日、記念日をその年のみ設定します。
	2 **毎年**（Y）	登録した休日、記念日を毎年の休日、記念日として設定します。
メッセージ	▶ **メッセージを入力し、Ⓞを押す** 休日、記念日の内容を入力します。メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522	

3 Ⓞ［完了］を押す

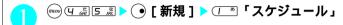
おしらせ

● 設定した年月日にすでに休日、記念日が登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

スケジュールを登録する

旅行や約束などの用件をスケジュールとして登録しておくと、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

- 設定した日時を過ぎてもスケジュールは自動的に削除されません。101件目のスケジュールを登録しようとした場合は、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。不要なスケジュールを削除して登録し直してください。
- 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していない場合はスケジュールの登録ができません。

1
［新規］▶「スケジュール」

2 **それぞれの項目を設定する**

項目		設定内容
開始日時設定		▶ **年月日、時刻を入力し、●を押す** スケジュールの開始時刻を設定します。
終了日時設定		▶ **年月日、時刻を入力し、●を押す** スケジュールの終了時刻を設定します。
繰り返し		▶ **以下の項目から選択** スケジュールの繰り返しを設定します。
	1 **設定なし**	設定した時刻のみの設定になります。
	2 **毎日（D）**	毎日の繰り返し設定になります。
	3 **曜日指定（W）**	▶ **で□（チェックボックス）を選択し、●▶● ［完了］** 選択した曜日の繰り返し設定になります。
アラーム通知		▶ **以下の項目から選択** 開始時刻になったときのアラームの通知について設定します。
	1 **通知する**	開始時刻にアラーム通知します。
	2 **事前通知する**	▶ **事前通知時間（01～99分）を入力** 開始時刻の何分前にアラーム通知するか設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
	3 **通知しない**	開始時刻になってもアラーム通知しません。
アラーム音選択		▶ **以下の項目から選択** アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 「プリインストール」のフォルダから「時刻アラーム音」が選択できます。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	1 **INBOX**	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディからアラーム音を選択します。
	2 **プリインストール**	あらかじめ登録されている着信音やメロディからアラーム音を選択します。
	3 **おしゃべり**	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。
	4 **OFF**	アラーム音を鳴らしません。
要約		▶ **メッセージを入力し、●を押す** スケジュールの要約を入力します。要約は全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。 入力した要約は通知時に画面に表示されます。「文字を入力する」→P.522
内容		▶ **メッセージを入力し、●▶アイコンを選択し、●を押す** スケジュールの内容を入力します。内容は全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522 「要約」を設定していないときは、内容が通知時の画面に表示されます。また、「要約」と内容の両方を設定した場合は「要約」が表示されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

3 ◉［完了］を押す

おしらせ

- 「PIMロック」設定中はスケジュールの登録、編集はできません。
- 待受画面にカレンダーを設定しているときは、カレンダーからスケジュールの設定ができます。→P.124
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（スケジュールの01～99分前）のみです。スケジュールを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。
- 同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを登録しようとした場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- 同じ日付の同じ時刻に登録できるのは「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
- 開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。
- 音声通話中にスケジュールを登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。
- シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと表示されません。→P.148

■お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.394）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、スケジュールの内容をパソコンに保管することもできます。

お好みの画像をユーザアイコンとして設定する

マイピクチャに保存されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定できます。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「![]」～「![]」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。また、イルミネーション・ウィンドウには「★」が表示されます。

- ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

スケジュール画面の機能メニュー画面で ➡ P.436

1 4「ユーザアイコン設定」▶「＜未登録＞」を選択し、◉を押す

■すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合

すでに設定されている項目を選択し、◉を押す

■ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合

「全解除」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

すでにユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

2 画像が保存されているフォルダを選択する

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選択することもできます。

画像の選択のしかた→P.345

■スケジュールに登録されているユーザアイコンを解除する場合

「ユーザアイコン解除」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

■スケジュールに登録されていないユーザアイコンを解除する場合

「ユーザアイコン解除」を選択し、◉を押す

3 設定したい画像を選択し、◉を押す

■プレビュー表示する場合
表示したい項目を反転表示して◉［デモ］を押す

おしらせ

● スケジュールで使用されているユーザアイコンを変更または解除しようとしたときは、解除するかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを変更または解除すると、そのユーザアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「🕒」に変わります。

スケジュールの内容を確認する

詳細画面を表示して登録したスケジュールの内容を確認できます。

スケジュール画面で ➡ P.435

1 内容を確認したいスケジュールが登録されている日付を選択し、◉を押す

「スケジュール一覧画面」が表示されます。
一覧表示では以下のようなアイコンが表示されます。

- 🕒：設定したスケジュールアイコンが表示され、スケジュールが登録されていることを示します。
- H：休日が登録されていることを示します。
- 記念日アイコン：記念日が登録されていることを示します。
- アラームアイコン：アラーム通知が設定されていることを示します。
- D：毎日繰り返しが設定されていることを示します。
- W：曜日指定繰り返しが設定されていることを示します。
- Y：毎年繰り返しが設定されていることを示します。

2005/ 4/11(月)
9:00 定例会議
12:30 食事会
19:00 テニス
12:05
編集 選択 機能

スケジュール一覧画面

2 内容を確認したい項目を選択し、◉を押す

スケジュールの詳細画面

休日の詳細画面

記念日の詳細画面

スケジュール一覧画面の機能メニューを使う

スケジュール一覧画面で ➡ P.440

1 ◉［機能］▶ 以下の項目から選択

スケジュール一覧画面の機能メニュー 1/2

1 新規登録	「スケジュールを登録する」→P.438
2 編集	スケジュールを編集します。
3 コピー	スケジュールをコピーします。コピー元のスケジュールに繰り返しの設定があっても、コピー先では解除されます。
4 アイコン別表示	▶**アイコンを選択し、●を押す** スケジュールをアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件の項目として表示されます。
5 ユーザアイコン設定	「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.439
6 シークレット解除	シークレットデータのスケジュールを解除します。「シークレットデータを通常のデータに戻す」→P.149
7 iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.247

スケジュール一覧画面の機能メニュー 2/2

1 赤外線送信	▶**「YES」を選択し、●を押す**	
2 赤外線全件送信	スケジュールをすべて赤外線送信します。「データを全件送信する」→P.416	
3 1件エクスポート	▶**「YES」を選択し、●を押す**	
4 1件削除	▶**「YES」を選択し、●を押す**	
5 前日まで削除	▶**以下の項目から選択** 選択した日付より前の項目をすべて削除します。	
	1 スケジュール	▶**「YES」を選択し、●を押す** スケジュールを前日まで削除します。
	2 休日	▶**「YES」を選択し、●を押す** 休日を前日まで削除します。
	3 記念日	▶**「YES」を選択し、●を押す** 記念日を前日まで削除します。
	4 すべて	▶**「YES」を選択し、●を押す** スケジュール、休日、記念日のすべてを前日まで削除します。
6 選択削除	▶**◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶⊙［完了］▶「YES」を選択し、●を押す**	

おしらせ

- 「前日まで削除」では、お買い上げのときに登録されている祝日は削除されません。
- 繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールを削除または選択削除しようとした場合、繰り返しの予定を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択し、●を押すと繰り返しのスケジュールがすべて削除されます。
- 「前日まで削除」を行った場合、繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールは、選択した前日までのスケジュールが削除され、選択した日以降のスケジュールは残ります。
- スケジュールをアイコン別に表示した場合、機能メニューから「選択削除」を選択すると、アイコン別表示を行う前の画面で選択していた日付の一覧画面での選択削除画面を表示します。アイコン別表示での選択削除はできません。

〈ToDo〉

ToDoリストを登録する

ToDoに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでお知らせするように登録することもできます。

- ToDoには100件まで用件を登録できます。
- ToDoのアラーム通知について→P.431

用件を確認する

1 **[menu][9][5]を押す**

「ToDo画面」が表示されます。

ToDo画面

2 **確認したい用件を選択し、●を押す**

「ToDo内容確認画面」が表示されます。

■ **用件を編集する場合**

◉［編集］を押す

「用件を登録／編集する」→ P.443

ToDo内容確認画面

ToDo画面の機能メニューを使う

ToDo画面／ToDo内容確認画面で ➡ P.442

◉［機能］▶ 以下の項目から選択

ToDo画面／ToDo内容確認画面の機能メニュー 1/2

項目			説明
1 新規登録	「用件を登録／編集する」→P.443		
2 編集	「用件を登録／編集する」→P.443		
3 状態	▶ **以下の項目から選択** 用件の状態を設定します。 設定項目1/2		
	1 予定	予定に設定します。	
	2 承諾	承諾に設定します。	
	3 依頼	依頼に設定します。	
	4 暫定	暫定に設定します。	
	5 確認	確認に設定します。	
	6 拒否	拒否に設定します。	
	7 完了	▶ **以下の項目から選択** 完了に設定します。	
		1 直接入力	▶ **年月日を入力し、●を押す** 直接入力します。
		2 カレンダーから入力	▶ **カレンダーから選択し、●を押す** カレンダーで年月日を選択します。
		3 なし	完了日を設定しません。
	設定項目2/2		
	1 代理	代理に設定します。	

④ カテゴリー別表示	▶以下の項目から選択 用件をカテゴリー別に表示します。	
	① すべて	すべての用件を表示します。
	② なし	カテゴリーが設定されていない用件を表示します。
	③ プライベート	プライベートに設定されている用件を表示します。
	④ 休日	休日に設定されている用件を表示します。
	⑤ 旅行	旅行に設定されている用件を表示します。
	⑥ 仕事	仕事に設定されている用件を表示します。
	⑦ 会議	会議に設定されている用件を表示します。
⑤ ソート／フィルタ	▶以下の項目から選択 用件を並び替えたり、特定の状態の用件のみを表示します。 設定項目1/2	
	① 期日順	期日の古い用件から順に並び替えます。
	② 完了日順	完了日の古い用件から順に並び替えます。
	③ 登録順	登録した順に並び替えます。
	④ 予定のみ表示	予定のみを表示します。
	⑤ 承諾のみ表示	承諾のみを表示します。
	⑥ 依頼のみ表示	依頼のみを表示します。
	⑦ 暫定のみ表示	暫定のみを表示します。
	設定項目2/2	
	① 確認のみ表示	確認のみを表示します。
	② 拒否のみ表示	拒否のみを表示します。
	③ 完了のみ表示	完了のみを表示します。
	④ 代理のみ表示	代理のみを表示します。
⑥ デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135	
⑦ 赤外線送信	▶「YES」を選択し、◉を押す	

ToDo画面／ToDo内容確認画面の機能メニュー 2/2

① 赤外線全件送信	用件をすべて赤外線送信します。「データを全件送信する」→P.416
② 1件エクスポート	▶「YES」を選択し、◉を押す
③ 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
④ 選択削除	▶Ⓞで□（チェックボックス）を選択し、◉▶◉［完了］▶「YES」を選択し、◉を押す
⑤ 完了済み削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
⑥ 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

用件を登録／編集する

●「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していない場合はToDoの登録ができません。
●すでに登録されている用件を編集する場合は操作2から行ってください。

1 menu 9 5 ▶◉［新規］

■ すでに用件が登録されている場合
機能メニューから「新規登録」を選択

その他の便利な機能

次ページにつづく

2 それぞれの項目を設定する

<table>
<tr><td>内容</td><td colspan="2">▶ 用件の内容を入力し、◉を押す
用件の内容を入力します。内容は全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
「文字を入力する」→P.522</td></tr>
<tr><td rowspan="4">期日</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
用件の期日を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 直接入力</td><td>▶ 年月日、時刻を入力し、◉を押す
直接入力します。</td></tr>
<tr><td>2 カレンダーから入力</td><td>▶ カレンダーから選択し、◉ ▶ 時刻を入力し、◉を押す
カレンダーで年月日を選択します。</td></tr>
<tr><td>3 なし</td><td>期日を設定しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">優先度</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
用件の優先度を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 高</td><td>優先度を高に設定します。</td></tr>
<tr><td>2 低</td><td>優先度を低に設定します。</td></tr>
<tr><td>3 なし</td><td>優先度を設定しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">カテゴリー</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
用件のカテゴリーを設定します。</td></tr>
<tr><td>1 なし</td><td>カテゴリーを設定しません。</td></tr>
<tr><td>2 プライベート</td><td>プライベートに設定します。</td></tr>
<tr><td>3 休日</td><td>休日に設定します。</td></tr>
<tr><td>4 旅行</td><td>旅行に設定します。</td></tr>
<tr><td>5 仕事</td><td>仕事に設定します。</td></tr>
<tr><td>6 会議</td><td>会議に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">アラーム通知</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
設定した期日になったときのアラームの通知について設定します。</td></tr>
<tr><td>1 通知する</td><td>期日にアラーム通知します。</td></tr>
<tr><td>2 事前通知する</td><td>▶ 事前通知時間（01～99分）を入力
期日の何分前にアラーム通知するか設定します。
時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。</td></tr>
<tr><td>3 通知しない</td><td>期日になってもアラーム通知しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">アラーム音選択</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。「プリインストール」のフォルダから「時刻アラーム音」が選択できます。
「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112</td></tr>
<tr><td>1 INBOX</td><td>サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディからアラーム音を選択します。</td></tr>
<tr><td>2 プリインストール</td><td>あらかじめ登録されている着信音やメロディからアラーム音を選択します。</td></tr>
<tr><td>3 おしゃべり</td><td>「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。</td></tr>
<tr><td>4 OFF</td><td>アラーム音を鳴らしません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">完了日※</td><td colspan="2">▶ 以下の項目から選択
用件の完了日を設定します。</td></tr>
<tr><td>1 直接入力</td><td>▶ 年月日を入力し、◉を押す
直接入力します。</td></tr>
<tr><td>2 カレンダーから入力</td><td>▶ カレンダーから選択し、◉を押す
カレンダーで年月日を選択します。</td></tr>
<tr><td>3 なし</td><td>完了日を設定しません。</td></tr>
</table>

※： 登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときにのみ表示されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

［完了］を押す

おしらせ

- 「PIMロック」設定中はToDoの登録、編集はできません。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（ToDoの01～99分前）のみです。ToDoを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。
- 音声通話中に用件を登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。

■お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したToDoリストの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したToDoリストの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.394）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、ToDoリストの内容をパソコンに保管することもできます。

〈自局番号表示〉

自分の名前や画像を登録する

お買い上げ時	自局番号のみ

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録できます。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外の項目はFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外の項目は登録した内容が表示されます。

個人データを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。端末暗証番号を入力するとすべてのデータが表示できるようになります。

 menu 0わをん を押す

「自局番号表示画面」が表示されます。

自局番号表示画面

自局番号表示画面の機能メニューを使う

自局番号表示画面で ➡ P.445

 ［機能］▶以下の項目から選択

自局番号表示画面の機能メニュー 1/2

1 個人データ編集	個人データを編集します。「個人データを登録する」→P.446
2 全データ表示	▶端末暗証番号を入力し、●▶◎で内容を確認 端末暗証番号について→P.142

次ページにつづく

③ 名前コピー	個人データに登録されている名前をコピーします。 コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540
④ 電話番号コピー※1	個人データに登録されている電話番号をコピーします。 コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540
⑤ 赤外線送信	▶「YES」を選択し、●を押す
⑥ 1件エクスポート	▶「YES」を選択し、●を押す 個人データに登録されている内容をminiSDメモリーカードに1件エクスポートします。
⑦ 電話番号削除※2	▶「YES」を選択し、●を押す 個人データに登録されている電話番号を削除します。

※1：選択している項目によって以下のようになります。
- メールアドレスを選択しているときは「④メールアドレスコピー」になります。
- 住所を選択しているときは「④住所コピー」になります。
- 誕生日を選択しているときは「④誕生日コピー」になります。
- メモを選択しているときは「④メモコピー」になります。

※2：選択している項目によって以下のようになります。
- メールアドレスを選択しているときは「⑦メールアドレス削除」になります。
- 住所を選択しているときは「⑦住所削除」になります。
- 誕生日を選択しているときは「⑦誕生日削除」になります。
- メモを選択しているときは「⑦メモ削除」になります。
- 静止画を選択しているときは「⑦静止画削除」になります。

自局番号表示画面の機能メニュー 2/2

① 個人データ初期化	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 自局番号以外の個人データを初期化（削除）して、お買い上げのときの状態に戻します。 「全データ表示」で個人データを表示している場合は、端末暗証番号を入力する必要はありません。 端末暗証番号について→P.142

個人データを登録する

1 menu 0わをん ▶ ●［編集］▶ 端末暗証番号を入力し、●を押す

端末暗証番号について→P.142

2 それぞれの項目を設定する

名前	▶名前を入力し、●を押す お客様の名前を入力します。名前は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
フリガナ	▶フリガナを入力し、●を押す お客様の名前のフリガナを入力します。「名前」を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。フリガナ名前は半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力でき、半角で32文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
電話番号	▶電話番号を入力し、●▶アイコンを選択し、●を押す 自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。 個人データの編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。
メールアドレス	▶メールアドレスを入力し、●▶アイコンを選択し、●を押す メールアドレスを入力してアイコンを選択します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。 1件目のメールアドレスを登録すると、個人データの編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。 「文字を入力する」→P.522

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

項目	操作・説明
住所	▶郵便番号を入力し、◉▶住所を入力し、◉を押す 郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
誕生日	▶誕生日を入力し、◉を押す 誕生日（西暦・月日）を入力します。 設定できる西暦は、1800年から2099年までです。
メモ	▶メモを入力し、◉を押す メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。「文字を入力する」→P.522
静止画	▶以下の項目から選択 個人データで表示される静止画を選択します。 1 **静止画選択**：静止画を選択します。 2 **静止画解除**：静止画を解除します。

3 ◉［完了］を押す

おしらせ

● 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録しても、本機能のメールアドレスは自動的に変更されませんので、本機能のメールアドレスも変更してください。

〈通話中音声メモ／待受中音声メモ〉

相手の声や自分の声を録音する

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。

● 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
● 録音できる時間は約20秒です。
● 録音した音声メモの再生、消去について→P.72

通話中に相手の声を録音する

音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できます。ボタン操作1回で必要な用件をすばやく録音できます。

通話中に▼［メモ／確認］を1秒以上押す

音声通話中の
音声メモ録音中画面

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

■録音を途中でやめる場合

◉、☎PWR HLD を押すか▼［メモ／確認］を1秒以上押す
音声電話の場合は、CLR を押しても録音が終了します。
☎PWR HLD を押した場合は、通話も終了します。

おしらせ

● 録音中に電話がかかってきたときや「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。
● 機能メニューの各項目の操作中、通話の保留中などは録音することはできません。

待受中に自分の声を録音する

menu 4 3 ▶「YES」を選択し、● ▶ 音声メモを録音

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「ツール」の一覧画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合

●、CLR、PWR のいずれかのボタンを押す
PWR を押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

〈おしゃべり機能〉

アラーム音や応答保留音を録音／再生する

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定できます。
●録音できる音声は「おしゃべり1」、「おしゃべり2」の2件です。
●録音できる時間は約15秒です。
●本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
・着信音
・非通知着信設定の着信音
・応答保留音
・通話中保留音
・伝言メモの応答メッセージ
・めざまし時計のアラーム通知音
・スケジュールのアラーム通知音
・ToDoのアラーム通知音

音声を録音する

menu 9 1 ▶ 録音したい項目を選択し、● を押す

1「録音」▶ 音声を録音

送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合

●、CLR、PWR のいずれかのボタンを押す
PWR を押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

●録音済みの音声がある場合は、すでに録音されていることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選択し、● を押して新しく音声を録音すると元の音声は上書きされます。
●録音中に電話がかかってきたときや「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生／消去する

1 menu 9 1 ▶ 再生したい項目を選択し、◉を押す

2 以下の項目から選択

1 録音	「音声を録音する」→P.448
2 再生	録音した音声を再生します。
3 消去	▶「YES」を選択し、◉を押す

■ 再生を途中でやめる場合

◉、CLR、PWR/HLD のいずれかのボタンを押す

〈通話時間／料金〉

通話時間・料金を確認する

音声電話やテレビ電話などの積算通話時間や積算通話料金、前回通話時間や前回通話料金を確認することができます。

●通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。

●通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先に通話した場合は、「￥0」が表示されます。

●通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月より蓄積開始）が表示されます。積算料金が上限値に達すると、カウントがとまりそれ以上増えません。

※：901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません（FOMAカードには蓄積されています）。

●表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。

●表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

1 menu 6 1 を押す

前回通話時間：直前の通話時間の目安を表示します。発信、着信どちらの通話でも通話時間を表示します。
前回通話料金：直前の通話の通話料金の目安を表示します。
積算通話時間：前回リセットしたとき（「0秒」に戻したとき）から現在までの積算時間を表示します。「音声通話」は音声電話の積算通話時間を表示します。「デジタル」はテレビ電話と64Kデータ通信の積算通話時間を表示します。
積算通話料金：前回リセットしたときから現在までの積算通話料金の目安を表示します。
時間リセット日時：前回に積算時間リセットをした日時を表示します。
料金リセット日時：前回に積算通話料金リセットした日時を表示します。

次ページにつづく

おしらせ

- 前回の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- 積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法につきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 「時計設定」が設定されていない場合や、「時計設定」設定後、「積算リセット」を 1 回も行っていない場合は、時間リセット日時や料金リセット日時は表示されません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「¥＊＊」になります。
- 電源を切っても、積算通話時間、積算通話料金の情報は残ります。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする<積算リセット>

「通話時間／料金」に表示される積算通話時間および積算通話料金をゼロに戻すことができます。

menu 6 0 ▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶ 以下の項目から選択

端末暗証番号について→P.142

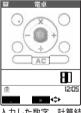
1 積算時間リセット	▶「YES」を選択し、● を押す
2 積算通話料金リセット	▶「YES」を選択し、● ▶ PIN2コードを入力し、● を押す

〈電卓〉

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行うことができます。

- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

menu 8 5 ▶ 計算

入力した数字、計算結果が表示されます。

■「23＋57」を計算する場合

2 3 ＋ 5 7 ＝

■ 負の数を計算する場合

先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

－ 2 3 ＋ 5 7 ＝

おしらせ

- CLR（AC または C）を押すと、計算結果または数字が消えます。＋、－、×、÷、＝を押した後は AC、数字や小数点の入力中は C の表示になります。

その他の便利な機能

〈テキストメモ〉

テキストメモを作成する

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成できます。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。

- テキストメモは10件まで登録できます。
- テキストメモは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。

テキストメモを登録する

1 menu 4 2 を押す

「テキストメモ画面」が表示されます。

テキストメモ画面

2 「<未登録>」を選択し、● ［編集］を押す

■ **すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合**

変更する項目を選択し、● ［編集］を押す

3 内容を入力する

文字を入力する→P.522

■ **お願い**

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したテキストメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したテキストメモの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.394）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、テキストメモの内容をパソコンに保管することもできます。

テキストメモの内容を確認する

1 menu 4 2 ▶ 内容を確認したい項目を選択し、● ▶ 内容を確認

テキストメモ画面の機能メニューを使う

テキストメモ画面で ➡ P.451

● ［機能］ ▶ 以下の項目から選択

テキストメモ画面の機能メニュー 1/2

1 編集	用件を編集します。
2 iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.247
3 スケジュール作成	「スケジュールを登録する」→P.438
4 赤外線送信	▶「YES」を選択し、●を押す
5 赤外線全件送信	「データを全件送信する」→P.416
6 1件エクスポート	▶「YES」を選択し、●を押す
7 テキストメモ情報	作成日時や分類を確認します。

テキストメモ画面の機能メニュー 2/2

1 分類	▶以下の項目から選択 テキストメモを分類します。	
	1 なし	分類しません。
	2 プライベート	プライベートに分類します。
	3 休日	休日に分類します。
	4 旅行	旅行に分類します。
	5 仕事	仕事に分類します。
	6 会議	会議に分類します。
2 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す	
3 選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択し、●▶● ［完了］ ▶「YES」を選択し、●を押す	
4 全削除	▶端末暗証番号を入力し、●▶「YES」を選択し、●を押す 端末暗証番号について→P.142	

〈辞典〉

辞典を利用する

辞典を起動する

1 menu ▶ ツール を選択し、●▶●▶ 7 ［辞典］

「辞典画面」が表示されます。

辞典画面

2 検索方法を選択する ▶ 以下の項目から選択

1 直接入力	▶単語を入力し、●を押す 単語を入力します。全角で32文字、半角で64文字まで入力できます。 「文字を入力する」→P.522

その他の便利な機能

2 アクセスリーダー	▶ 1 「辞典（日本語）」または 2 「辞典（英語）」 アクセスリーダーから単語を入力します。「文字を読み取る」→P.189
3 検索履歴	以前検索した単語の履歴から検索することができます。「検索履歴を使う」→P.453

3 辞典の種類を選択し、◉を押す

「検索結果画面（一覧）」が表示されます。

■ 前後の一覧を表示させたい場合
一覧表示中に◎を押す

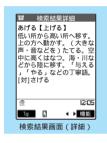
➡

検索結果画面（一覧）

4 検索結果の一覧から単語を選択し、◉を押す

「検索結果画面（詳細）」が表示されます。

■ 前後の単語を表示させたい場合
詳細表示中に◎を押す

検索結果画面（詳細）

辞典画面の機能メニューを使う

辞典画面で ➡ P.452

1 ◉［機能］▶ 以下の項目から選択

辞典画面の機能メニュー

1 デスクトップ貼付	▶「YES」を選択し、◉を押す 「デスクトップアイコンを利用する」→P.135

検索履歴を使う

辞典画面で ➡ P.452

1 3 「検索履歴」を押す

「検索履歴画面」が表示されます。

検索履歴画面

2 単語を選択し、◉を押す

検索履歴画面の機能メニューを使う

検索履歴画面で ➡ P.453

 ●［機能］▶以下の項目から選択

検索履歴画面の機能メニュー

1 1件削除	▶「YES」を選択し、●を押す
2 全削除	▶「YES」を選択し、●を押す

検索結果画面（一覧）の機能メニューを使う

検索結果画面（一覧）で ➡ P.453

 ●［機能］▶以下の項目から選択

検索結果画面（一覧）の機能メニュー

1 コピー	選択している辞典の検索結果の【　】内の文字をコピーします。 コピーした単語は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540
2 別の辞典で検索	検索した単語を別の辞典で検索します。

検索結果画面（詳細）の機能メニューを使う

検索結果画面（詳細）で ➡ P.453

 ●［機能］▶以下の項目から選択

検索結果画面（詳細）の機能メニュー

1 コピー	**▶コピーする先頭の文字にカーソルを合わせて●▶コピーする終わりの文字にカーソルを合わせて●を押す** 辞典の検索結果（詳細）の文字をコピーします。 コピーした単語は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.540
2 結果詳細から検索	「検索結果の詳細画面から更に検索する」→P.454
3 別の辞典で検索	検索した単語を別の辞典で検索します。
4 参照編集※	検索結果を見ながら文字編集をすることができます。 「操作する画面を切り替える」→P.545

※： 文字編集画面から辞典を呼び出したときに表示されます。

検索結果の詳細画面から更に検索する

検索結果画面（詳細）で ➡ P.453

1 ●［機能］▶ 2 「結果詳細から検索」

2 ✥を押して検索したい文字のはじめの位置で●を押す

3 ✥を押して検索したい文字の終わりの位置まで反転表示し、●を押す

4 辞典の種類を選択し、◉を押す

5 検索結果の一覧から単語を選択し、◉を押す

その他の機能から辞典を利用する

以下のそれぞれの画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。
- 文字編集画面を表示中
- 送信メール、受信メールの詳細画面または新規メール作成の本文入力画面を表示中
- サイトのページまたは画面メモを表示中

■文字編集画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、文字編集画面から調べたい単語を範囲選択することができます。

■送信メールまたは受信メールの詳細画面、新規メール作成の本文入力画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、送信メールまたは受信メールの本文、新規メール作成中のメールから調べたい単語を範囲選択することができます。

■サイトのページまたは画面メモから辞典を起動すると

「直接入力」「サイト参照入力」「検索履歴」から選択することができます。
「サイト参照入力」を選択すると、サイトのページや画面メモを見ながら調べたい単語を入力することができます。

●辞典の参照画面について

「参照編集」または「サイト参照入力」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。
機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。

■検索結果詳細画面から参照編集を選択した場合

①辞典の詳細画面を表示します。
②文字編集画面を表示します。
③区切り線を表示します。
辞典を終了するときは、①の画面に切り替えて◉［終了］を押します。

■サイトのページまたは画面メモからサイト参照入力を選択した場合

①サイトのページや画面メモの画面を表示します。
②検索語入力画面を表示します。
③区切り線を表示します。
検索語を入力したら◉を押します。検索語が入力された辞典選択の画面になります。

〈スイッチ付イヤホンマイク〉

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）をFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P.24

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

- 着信音が鳴っているときにイヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻きつけないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。

スイッチを使って電話を受ける

●FOMA端末を折り畳んだ状態でも、利用できます。
●「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。

1 電話がかかってきたら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

■ 音声電話の場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。

■ テレビ電話の場合

「ピッ」という音が鳴り、代替画像でテレビ電話に出ます。(カメラ)を押すとカメラ映像に切り替えることができます。

2 お話しが終わったら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

■ FOMA端末で電話を切る場合

(電源/保留)を押す

おしらせ

●「イヤホン切替」でスイッチ付イヤホンマイクを接続しているときにスピーカから音が鳴らないように設定できます。
●「オート着信」を「ON」に設定すると、かかってきた電話をスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。→P.456
●「着信音量」の「電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、着信音は鳴りません。ただし、マナーモードが「オリジナルマナー」で「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は着信音が鳴ります。
●通話中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押してもハンズフリーにはなりません。スイッチを1秒以上押すと通話が切れますのでご注意ください。
●「キャッチホン」(P.467)をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
●スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

〈オート着信〉

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	オート着信:OFF　呼出開始:6秒

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるように設定できます。
●64Kデータ通信中は自動で電話を受けません。

(menu)(9)(4)▶以下の項目から選択

1 ON	▶**呼出時間(001〜120秒)を入力する** オート着信を有効にします。着信から呼出時間が経過すると自動で電話を受けます。 時間は3桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは(●)を押します。
2 OFF	オート着信を無効にします。

その他の便利な機能

おしらせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。テレビ電話中に ⊡ を押すと、代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。
- オート着信の呼出時間は「伝言メモ」の呼出時間や「遠隔監視設定」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。
- 「留守番電話サービス」（P.464）や「転送でんわサービス」（P.468）を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間がオート着信の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず、オート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信の呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

〈PLMN設定〉
利用する通信事業者を設定する

ドコモをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時	DoCoMo

FOMAサービスを提供するPLMN（通信事業者名）を設定できます。

- 2005年2月現在、DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。

menu ▶ 各種設定を選択し、● ▶ ◎ ▶ 1「その他」▶「PLMN設定」を選択し、● ▶ 1「ネットワーク手動選択」▶ PLMN（通信事業者名）を選択し、● を押す

〈設定リセット〉
各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能の設定をお買い上げのときの設定内容に戻すことができます。

- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げのときの設定内容に戻りません。
- iモード機能の設定をお買い上げのときの状態に戻すには、「iモード設定リセット」を行ってください。→P.227
- ラストURLを初期化するには「ラストURL初期化」を行ってください。→P.227
- メール機能の設定をお買い上げのときの状態に戻すには、「メール設定リセット」を行ってください。→P.301

menu 2 3 ▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、● を押す

端末暗証番号について→P.142

■ リセットしない場合

「NO」を選択し、● を押す

次ページにつづく

設定リセットされる機能一覧

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	着信	着信音量	電話：レベル4 テレビ電話：レベル4 メール：レベル4 チャットメール：レベル4 メッセージリクエスト：レベル4 メッセージフリー：レベル4
		着信音選択	電話：着信音1 テレビ電話：着信音1 メール：着信音2 チャットメール：着信音2 メッセージリクエスト：着信音3 メッセージフリー：着信音3
		SRS_WOW設定	OFF
		バイブレータ	電話：OFF テレビ電話：OFF メール：OFF チャットメール：OFF メッセージリクエスト：OFF メッセージフリー：OFF
		着信イルミネーション	電話：色5 テレビ電話：色5 メール：色1 チャットメール：色3 メッセージリクエスト：色1 メッセージフリー：色1 パターン設定：固定パターン カラー名：色1～12 カラー調節：初期値
		マナーモード選択	マナーモード （オリジナルマナーの設定→P.118）
		電話帳画像着信設定	ON
		着信アンサー設定	エニーキーアンサー
		クローズ動作設定	終話
		メール／メッセージ鳴動	メール：ON 　鳴動時間設定：5秒 チャットメール：ON 　鳴動時間設定：5秒 メッセージリクエスト：ON 　鳴動時間設定：5秒 メッセージフリー：ON 　鳴動時間設定：5秒
		呼出時間表示設定	無音時間設定：0秒 時間内不在着信表示：表示する
		確認機能設定	日本語表示の時：電子音 英語表示の時：ON
	通話	ノイズキャンセラ	ON
		通話品質アラーム	アラーム高音
		再接続機能	アラームなし
		通話中イルミネーション	OFF
		保留音設定	応答保留音：応答保留音1 通話中保留音：エリーゼのために

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	テレビ電話	画像品質設定	標準
		発信時自画像送信	ON
		画像選択	応答保留選択：内蔵 通話保留選択：内蔵 代替画像選択：キャラ電 伝言メモ選択：内蔵 伝言メモ準備選択：内蔵 音声メモ選択：内蔵
		音声自動再発信	OFF
		遠隔監視設定	対局番号登録：設定なし 応答時間設定：５秒 設定：OFF
		テレビ電話画面設定	親画面表示：親画面対局表示 画面サイズ設定：画面サイズで表示
	ディスプレイ	画面表示設定	待受画面：海 ウェイクアップ表示：サイコロ ウェイクアップメッセージ：未入力状態に戻す 電話発信：スタンダード 電話着信：スタンダード テレビ電話発信：スタンダード テレビ電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード
		照明設定	通常時：ON（点灯）＋省電（待ち時間５分） 充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン 明るさ：レベル２
		画面デザイン	配色パターン：スタンダード 背景パターン１：OFF 背景パターン２：背景色１
		イルミネーション・ウィンドウ	文字・情報表示 　時計種類：デジタル時計１ 　着信番号表示：ON 　メール表示：OFF 　通信中表示：ON＋バックライトOFF （時計固定表示の設定→P.125）
		フォント設定	文字パターン：フォント１ 太さ：中太字
		デスクトップ	カメラ
		オリジナルメニュー登録	自局番号表示 iモード問い合わせ 着信音量 バイブレータ めざまし時計 端末暗証番号変更
		メニュー画面設定	ガイダンス表示：絵と文 メニュー表示：詳細表示 テーマ：ライク・スイーツ
		ピクチャ表示設定	ピクチャ一覧
		オート表示	OFF
	時間／料金	通話中時間表示	ON
	時計	時計表示設定	表示方法：「バイリンガル」の設定に従う 表示サイズ：大きく表示
		アラーム通知設定	通知優先

次ページにつづく

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	ロック／セキュリティ	セルフモード	解除
		ダイヤル発信制限	解除
		登録外着信拒否	許可
		非通知着信設定	すべて許可／通常着信音と同じ
		スキャン機能	スキャン機能設定：ON
		遠隔オールロック	OFF 許可番号：未登録状態に戻す 監視時間：３分 着信回数：５回
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	60秒間
		iモード問い合わせ設定	メール：ON メッセージリクエスト：ON メッセージフリー：ON
		接続先選択	iモード ユーザ指定接続先：未登録状態に戻す
		SMS center設定	ドコモ ユーザ設定：未登録状態に戻す
		証明書	すべて有効
		証明書センター接続設定	ドコモ ユーザ指定接続先：未登録状態に戻す
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	表示しない
		α照明設定	システム依存
		αバイブレータ	システム依存
		αイルミネーション・ウィンドウ	システム依存
	外部オプション	イヤホン切替	イヤホン＋スピーカ
		オート着信	OFF 呼出時間：６秒
	その他	ボタン確認音	ON
		充電確認音	ON
		サイドボタン操作	閉じた時有効
		文字入力方式	入力モード：すべて有効 優先入力方式：モード１（かな方式） ワード予測：ON ガイダンス表示：ON T9変換モード：T9漢字変換モード
		履歴表示設定	着信履歴：ON リダイヤル／発信履歴：ON
		サブアドレス設定	ON
		プレフィックス設定	「WORLD CALL」（009130010） ユーザ設定：未登録状態に戻す
		国際ダイヤル設定	自動付加設定：自動付加 国際電話設定：「WORLD CALL」（009130010） 国番号設定：「アメリカ」（国番号：1） ユーザ設定：未登録状態に戻す
		ニューロポインター設定	ポインター表示：ON 簡易設定：速度（標準）
		表示アイコン選択設定	ON
		USBモード設定	通信モード

機能名		お買い上げ時の設定
ツール	カメラ	フォトモード 　カメラ設定：外側カメラ 　画像サイズ選択：CIF（352×288） 　画像保存設定：ファイン 　画質調整 　　自動補正：ON 　　色調切替：通常 　　撮影モード選択：ポートレート 　　画像チューニング：自動 　フレーム選択：OFF ムービーモード 　カメラ設定：外側カメラ 　画像サイズ選択：サイズ大（176×144） 　動画容量設定：メール（小） 　動画保存設定：標準 　画質調整 　　明るさ調節：0 　　ホワイトバランス設定：オート 　　色調切替：通常 　　撮影モード選択：ポートレート 　　画像チューニング：自動 　撮影種別設定：通常 フォトモード／ムービーモード共通 　シャッター音選択：シャッター音1 　セルフタイマー設定：OFF（時間：10秒） 　自動保存設定：OFF 　ファイル制限：なし 　表示サイズ設定：等倍表示
	スケジュール	1ヶ月表示 ユーザアイコン：未登録状態に戻す
	めざまし時計	すべてOFF
	伝言メモ	OFF 応答メッセージ：標準 呼出時間：8秒
	電話帳画像転送	する
サービス	着信動作選択	通常着信
電話帳	電話帳便利機能	すべて解除
	電話帳指定設定	すべて解除
ユーザデータ	定型文	固定定型文初期化 （フォルダ名はフォルダ1、2）
データBOX	マイピクチャ	画像表示設定：標準
	iモーション	一覧表示切替：タイトル＋画像（miniSDフォルダ以外）、ファイル名＋画像（miniSDフォルダ） 画像表示設定：等倍表示
	キャラ電	キャラ電撮影：フォトモード 代替画像設定：ブンブン（Dimo） 画像表示設定：画面サイズで表示 画像サイズ選択：QCIF（176×144） 撮影種別設定：映像＋音声 動画保存設定：標準
その他の機能	受話音量	レベル4
	マナーモード	解除
	ドライブモード	解除
	テレビ電話のテレビ電話設定	明るさ調節：0 照明設定：常時点灯
	電話帳検索のラストワン機能※1	フリガナ検索
	デスクトップアイコンのラストワン機能※1	1ページの左端

※1：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選択していた機能が、次の操作のときにあらかじめ選択されている機能です。

おしらせ

● 以下の場合はリセットできません。
・ほかの機能が動作しているとき
・「オールロック」設定中
・「PIMロック」設定中

〈端末初期化〉
FOMA端末をお買い上げのときの状態に戻す

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。
- 内蔵されているデータは削除されません。また、お買い上げのときに登録されているiアプリのソフトやキャラ電を削除していても、端末初期化を行うとお買い上げのときの状態に戻ります。
- お買い上げのときの状態に戻る設定については、「設定リセット」（P.457）を参照してください。
- 「設定リセット」の対象となる機能と次の機能はお買い上げのときの状態に戻ります。
  - メールのデータ
  - チャットメンバー
  - ラストURL
  - iアプリのソフト
  - 通話時間／料金
  - シークレット専用モード
  - メロディ
  - ToDo
  - おしゃべり機能
  - 追加サービス
  - 自局番号表示
  - 送信アドレス一覧
  - ユーザ辞書
  - メールのフォルダ
  - メール設定
  - Internet
  - ソフト設定
  - 時計設定
  - ポーズダイヤル
  - キャラ電
  - テキストメモ
  - アクセスリーダー
  - マルチナンバー
  - 着信履歴
  - メールメンバー
  - ダウンロード辞書
  - テンプレート
  - Bookmark
  - メッセージ
  - 自動起動設定
  - 端末暗証番号変更
  - マイピクチャ
  - スケジュール
  - 伝言メモ
  - バーコードリーダー
  - 電話帳
  - リダイヤル／発信履歴
  - チャットグループ
  - カラーパレット
  - 画面メモ
  - iモード設定
  - iアプリ実行情報
  - シークレットモード
  - iモーション
  - めざまし時計
  - 音声メモ
  - 辞典
  - グループ設定
  - 受信アドレス一覧
  - 定型文
- お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げのときの状態に戻ります。
- 保護されているデータも削除されます。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話やテレビ電話の着信やメールの受信などもできません。

▶[各種設定]を選択し、◉▶◎▶[1]「その他」▶「端末初期化」を選択し、◉▶端末暗証番号を入力し、◉を押す

端末暗証番号について→P.142

2 「YES」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

➡

➡

端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動します。

■ 端末初期化が正常に終了しなかった場合

電源が入った後に「OK」を選択し、◉を押します。再度初期化が実行されます。

おしらせ

- ほかの機能が動作しているときは、初期化できません。
- FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- 削除するデータが多い場合は端末初期化に時間がかかる場合があります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

ネットワークサービス

「留守番電話サービス」､「キャッチホン」､「転送でんわサービス」､「迷惑電話ストップサービス」､「デュアルネットワークサービス」､「ｉモード」は､お申し込みが必要なサービスです。ネットワークサービスについてご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください（番号をよくお確かめの上、おかけください）。

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「iモード」はドコモｅサイトにてお申し込みいただけます。詳しくは、取扱説明書裏面をご覧ください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、便利なドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法は以下のようになります。

サービス名称	内容	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	お客様に代わって伝言をお預かりします。	必要	有料	P.464
転送でんわサービス	あらかじめ登録したほかの電話に転送します。	必要	無料	P.468
キャッチホン	お客様が通話中でも、新たに別の相手からかかってきた電話を受けることができます。	必要	有料	P.467
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの着信を自動的にストップします。	必要	有料	P.470
発信者番号通知サービス	電話をかけたときにお客様のFOMA端末の電話番号を相手にお知らせします。	不要	無料	P.45
番号通知お願いサービス	番号を通知しないで電話をかけてきた相手に、電話番号を通知してかけ直すようお願いするガイダンスで応答します。	不要	無料	P.471
ドライブモード	電話をかけてきた相手に運転中で電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。	不要	無料	P.68
デュアルネットワークサービス	ひとつの電話番号をFOMA端末とmova端末で共用できます。	必要	有料	P.471
英語ガイダンス	発着信時の音声ガイダンス、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを英語に設定できます。	不要	無料	P.472
ショートメッセージサービス（SMS）	短い文字メッセージを手軽に送受信できます。	不要	無料	P.311
iモード	サイト（番組）接続やiモードメールなどを利用できます。	必要	有料	P.198

● ネットワークサービスセンターに接続して操作するネットワークサービスの場合は、「圏外」が表示されているところでは操作できません。
● ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、新しいサービスをメニューに登録できます。→P.475
● ネットワークサービスの詳細については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービス（有料）

お申し込み	必要

留守番電話サービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどに音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
伝言メッセージは、日本全国のどこからでも確認できます。

● 「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から留守番電話サービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」（P.475）で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」（P.142）を利用して留守番電話サービスの操作ができます。
● 留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。

留守番電話サービスについて

● 伝言メッセージの録音時間は1件あたり最長3分、最大20件まで録音できます。
● 伝言メッセージは最大72時間保存されます。
● 相手からテレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを「開始」に設定していても、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
● 留守番電話サービスは、「転送でんわサービス」（P.468）を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
● 「番号通知お願いサービス」（P.471）を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合は、番号通知お願いサービスの応答ガイダンスが流れ、伝言メッセージはお預かりできません。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

⬇

お客様のFOMA端末に音声電話がかかる

⬇

音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

⬇

相手が伝言メッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときにを押すと、すぐに録音できる状態になります。

⬇

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

⬇

伝言メッセージを再生する

おしらせ

- 音声電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。「留守番サービス設定」で設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定していても音声電話をかけたり、受けたりできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話は留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 通話中にかかってきた音声電話も留守番電話サービスセンターに接続できます。→P.475

留守番電話サービスを開始する

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 3「留守番電話」 ▶ 2「留守番電話サービス開始」 ▶「YES」を選択し、●を押す

2「YES」を選択し、● ▶ 呼出時間（000～120秒）を入力し、●を押す

0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

■呼出時間のみ変更する場合
4「留守番呼出時間設定」 ▶ 呼出時間（000～120秒）を入力し、●を押す

■留守番電話サービスを停止する場合
3「留守番サービス停止」 ▶「YES」を選択し、●を押す

おしらせ

- 「伝言メモ」を同時に設定しているときに留守番電話サービスを優先させるには、留守番電話サービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間が留守番電話サービスの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず、留守番電話サービスに移行します。呼出動作を行ってから留守番電話サービスに移行させるには、留守番電話サービスの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。

留守番電話サービスの設定を確認する

留守番電話サービスの設定内容をセンターに問い合わせて確認できます。また、確認中に設定内容を変更することもできます。

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 3「留守番電話」 ▶ 5「留守番設定確認」

「留守番設定確認画面」が表示されます。
現在の留守番電話サービスの設定内容が確認できます。

留守番設定確認画面

留守番設定確認画面の機能メニューを使う

留守番設定確認画面で ➡ P.465

1 ●［機能］ ▶ 以下の項目から選択

ネットワークサービス

次ページにつづく

留守番設定確認画面の機能メニュー

1 留守番サービス開始	留守番電話サービスを開始します。
2 留守番サービス停止	留守番電話サービスを停止します。
3 呼出時間設定	呼出時間を変更します。

音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更する

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 3「留守番電話」▶ 6「留守番サービス設定」▶「YES」を選択し、● を押す

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

おしらせ

- 通話中は操作できません。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0 ～ 9、*、#）を行った場合、PWR を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度 PWR を押してください。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るように設定する<件数増加鳴動設定>

留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージが増えたとき、着信音を鳴らすことができます。

- 件数が増えたときは、「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。
- 待受画面を表示している時のみ鳴らすことができます。

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 3「留守番電話」▶ 7「件数増加鳴動設定」▶「YES」を選択し、● を押す

伝言メッセージがあるかどうか確認する<サービス問い合わせ>

1 menu 2 5 を押す

問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、待受画面に「☎」（留守番電話アイコン）と「留守」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）が表示されます。留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「1」、「2」、「3」…「+」（10件以上）と表示が変わります。

おしらせ

- 表示される伝言メッセージの件数は、新しくお預かりした伝言メッセージの件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- サービス問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

伝言メッセージを再生する

- 通話中は操作できません。

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 3「留守番電話」▶ 1「留守番メッセージ再生」▶「YES」を選択し、● を押す

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

おしらせ

- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0 ～ 9、*、#）を行った場合、PWR を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度 PWR を押してください。

留守番電話アイコンを消去する

待受画面に表示された「☎」（留守番電話アイコン）を消去します。

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 3「留守番電話」▶ 8「留守番アイコン消去」▶「YES」を選択し、● を押す

おしらせ

- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。サービス問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

着信通知を開始する

着信通知とはFOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに音声電話の着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を再び電源を入れたときや圏内になったときにSMS（P.313）でお知らせするサービスです。

- 「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、本機能を設定できます。

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 3「留守番電話」▶ 9「着信通知開始」▶ 以下の項目から選択

1 全着信通知	▶「YES」を選択し、● を押す すべての着信を通知します。
2 番号通知ありのみ通知	▶「YES」を選択し、● を押す 番号を通知している着信のみ通知します。

■着信通知を停止する場合
0「着信通知停止」▶「YES」を選択し、●を押す

■着信通知を確認する場合
○▶1「着信通知設定確認」

キャッチホン（有料）

お申し込み	必要

キャッチホンとは、音声通話中にかかってきた音声電話を受けることができるサービスです。また、通話中の音声電話を保留にして、新たに別の相手へ音声電話をかけることもできます。

- 「圏外」が表示されているところで、FOMA端末からキャッチホンの操作はできません。
- キャッチホンを使用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」（P.473）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- 「番号通知お願いサービス」（P.471）を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合、番号通知お願いサービスの応答ガイダンスが流れ、キャッチホンは動作しません。
- 以下のような場合、キャッチホンは動作しません。
  - ・110番、119番、118番、117番※、104番などの3桁の電話番号と通話しているとき
  - ・ダイヤル中および相手を呼び出し中のとき
  - ・1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
  - ・「留守番電話サービス」をご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間

  ※：117番と通話中に音声電話を着信した場合、「ププ...ププ...」という音が聞こえますが、電話に出ることはできません。

キャッチホンを開始する

1 MENU▶サービスを選択し、●▶4「キャッチホン」▶1「キャッチホンサービス開始」▶「YES」を選択し、●を押す

■キャッチホンを停止する場合
2「キャッチホンサービス停止」▶「YES」を選択し、●を押す

■キャッチホンの設定を確認する場合
3「キャッチホンサービス設定確認」を押す

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら☎または●を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■あとからかかってきた相手との通話を終了する場合
PWR/HLDを押した後、☎または●を押す
あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合
☎を押す
あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
☎を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■保留中の音声電話を終了する場合
●［機能］▶1「保留呼切断」

おしらせ

- 通話中保留のときも電話をかけた方の料金は加算され続けます。
- 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話中の音声電話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。保留中の音声電話を終了するには、●を押し、機能メニューから「保留呼切断」を選択し、☎または●を押します。通話中の音声電話を終了するには、●を押し、PWR/HLDを押した後、☎または●を押します。

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたらPWR/HLDを押す

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。着信音にiモーションを設定している場合は、「着信音1」が鳴ります。

2 ☎または●を押す

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルして[発信]を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳を検索することもできます。
電話帳の検索のしかた→P.98

2 最初の相手との通話に切り替える

■新しくかけた相手との通話を終了する場合

[終話]を押した後、[発信]または⦿を押す
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■新しくかけた相手との通話を保留にする場合

[発信]を押す
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
[発信]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

おしらせ

●通話中保留のときも電話をかけた方の料金は加算され続けます。

転送でんわサービス（無料）

お申し込み	必要

転送でんわサービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどにかかってきた音声電話やテレビ電話を、ご家庭やオフィスなど、あらかじめ登録しておいた転送先に転送するサービスです。

●「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から転送でんわサービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」（P.475）で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」（P.142）を利用して転送でんわサービスの操作ができます。

転送でんわサービスについて

●転送先は1件登録できます。
●相手からテレビ電話がかかってきたときは、転送先が3G-324M（P.76）に準拠したテレビ電話対応端末のときのみ転送します。
●転送先へ転送されるまで発信者に「転送致しますのでお待ち下さい」のメッセージが表示されます。
●転送でんわサービスは、「留守番電話サービス」を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
●「番号通知お願いサービス」（P.471）を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない電話がかかってきた場合は、番号通知お願いサービスの応答ガイダンスが流れ、転送されません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
⬇
転送でんわサービスを開始に設定する
⬇
お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる
⬇
音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者 ➡ 転送でんわサービスのご契約者 ➡ 転送先

発信者に通話料がかかります。
転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

・転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止、呼出時間設定の通信料は無料です。
・転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、本機能の通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。
たとえば、転送先として東京の会社の電話番号を登録し、大阪出張の時に大阪で本機能を開始に設定。その後FOMA端末の電源を切ったままにしておくと、転送されるお客様負担分は大阪から東京の会社までとなります。
お出かけ先から戻ってきたら、電源を入れ直してください。位置登録が自動的に行われます。

おしらせ

- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりできます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話やテレビ電話は転送先に転送します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- サービスエリア外や電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
- 通話中にかかってきた電話も転送できます。→P.475
- 転送先からの申し出があり、必要なときには、お客様に代わって転送を中止することがありますのでご了承ください。
- 転送でんわサービスを開始（転送中）にしている場合、コレクトコール（料金着信払電話）での着信はできません。

転送でんわサービスを開始する

1 **menu ▶ サービス を選択し、● ▶ 5 「転送でんわ」 ▶ 1 「転送サービス開始」**

転送でんわ
1 転送サービス開始
2 転送サービス停止
3 転送先変更
4 転送先通話中時設定
5 転送サービス設定確認

■サービスを停止する場合

2「転送サービス停止」▶「YES」を選択し、●を押す

■転送先のみを変更する場合

3「転送先変更」▶転送先の電話番号を入力し、●▶転送でんわサービスを「開始」にしている場合は2「転送先変更」、「停止」にしている場合は1「転送先変更＋転送開始」

■サービスの設定を確認する場合

5「転送サービス設定確認」を押す

2 **転送先と呼出時間を設定する**

■転送先を設定する場合

1「転送先設定」▶転送先の電話番号を入力し、●を押す

設定すると1「転送先設定」に「★」がつきます。

◎を押すと電話帳を検索して入力できます。

電話帳の検索のしかた→P.98

■呼出時間を設定する場合

2「呼出時間設定」▶呼出時間（000～120秒）を入力し、●を押す

設定すると2「呼出時間設定」に「★」がつきます。

0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

3 **3「開始」▶「YES」を選択し、●を押す**

おしらせ

- 転送でんわサービスを「開始」に設定しても、転送先を3G-324M（P.76）に準拠したテレビ電話に対応した機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話を転送している間、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません（電話をかけた側が本FOMA端末の場合は、転送中のメッセージが画面に表示されます）。
- 転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
- 社内専用電話（PBX）、クイックキャスト*、FAXを転送先としたとき、かけてきた相手に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- すでに転送先が設定されている場合は、「転送先設定」、「呼出時間設定」の操作を省略することができます。
- 「伝言メモ」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
- 「遠隔監視設定」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視設定」の呼出時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間が転送でんわサービスの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず、転送でんわサービスに移行します。呼出動作を行ってから転送でんわサービスに移行させるには、転送でんわサービスの呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。

*2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

転送先が通話中のときに留守番電話サービスセンターに接続する<転送先通話中時設定>

転送先が通話中のときに、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続することができます。

●「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

1 menu ▶ [サービス] を選択し、● ▶ 5「転送でんわ」▶ 4「転送先通話中時設定」▶「YES」を選択し、● を押す

迷惑電話ストップサービス（有料）

お申し込み	必要

迷惑電話ストップサービスとは、いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話を着信しないように登録できるサービスです。登録後はその相手からの着信をネットワーク上で自動的に拒否し、相手には着信拒否ガイダンスで応答します。

●「圏外」が表示されているところで、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。
●拒否登録した相手からテレビ電話がかかってきた場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに電話を切ります。
●最大30件まで拒否登録できます。
●迷惑電話ストップサービスと各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信動作は以下のようになります。

ネットワークサービス名	着信動作
留守番電話サービス	相手に着信拒否ガイダンスを流します。伝言メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	相手に着信拒否ガイダンスを流します。転送先には転送しません。
キャッチホン	相手に着信拒否ガイダンスを流します。
番号通知お願いサービス	相手に着信拒否ガイダンスを流します。番号通知お願いガイダンスは流しません。
ドライブモード	相手に着信拒否ガイダンスを流します。運転中のガイダンスは流しません。

●迷惑電話ストップサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

最後に着信した迷惑電話を拒否登録する<迷惑電話着信拒否登録>

最後に通話した相手の電話番号を拒否登録できます。

●相手が電話番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
●国際電話を拒否登録することはできません。
●拒否登録した電話番号の確認や問い合わせはできません。拒否登録した電話番号はメモなどを取っておくことをおすすめします。

1 menu ▶ [サービス] を選択し、● ▶ 6「迷惑電話ストップ」▶ 1「迷惑電話着信拒否登録」▶「YES」を選択し、● ▶ ● を押す

■すでに30件登録済みの場合
最も古い番号を削除して登録するかどうかのメッセージが表示されます。
新しく登録する場合は、メッセージに従って最も古い番号を削除してから、最後に着信した迷惑電話を拒否登録してください。

迷惑電話ストップ
1 迷惑電話着信拒否登録
2 迷惑電話１登録削除
3 迷惑電話全登録削除

おしらせ

●着信しても応答しなかった通話やお客様からの発信は登録できません。
●本機能によって着信しなかった場合は、「着信履歴」に記憶されません。
●迷惑電話着信拒否登録に登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否ガイダンスは流れず、テレビ電話は切断されます。
●ボタン操作によって電話番号を指定して拒否登録することもできます。この場合は、待受画面から直接「144」に音声電話をかけて、音声ガイダンスの指示に従って登録してください。

拒否登録した迷惑電話を削除する

1 menu ▶ [サービス] を選択し、● ▶ 6「迷惑電話ストップ」

2 拒否登録した電話番号を削除する

■最後に拒否登録した電話番号を削除する場合
2「迷惑電話１登録削除」▶「YES」を選択し、● ▶ ● を押す
削除できるのは最後に拒否登録をした電話番号のみです。
削除の操作を繰り返しても、それ以前に拒否登録した電話番号は削除できません。

■拒否登録した電話番号をすべて削除する場合
3「迷惑電話全登録削除」▶「YES」を選択し、● ▶ ● を押す

番号通知お願いサービス（無料）

お申し込み	不要

番号通知お願いサービスとは、電話番号を通知してこない音声電話に対してはガイダンス、テレビ電話に対してはメッセージの案内により「接続できませんでした」を表示し、自動的に電話を切るサービスです。相手がわからないことなどによるトラブルを防ぎ、FOMA端末を安心して活用できます。

- 「圏外」が表示されているところで、番号通知お願いサービスの操作はできません。
- 非通知の理由が、発信者の意志により電話番号を通知しない「非通知設定」のときだけ働きます。「公衆電話」、「通知不可能」は対象外です。
- 番号通知お願いサービスの開始／停止の通信料は無料です。
- ガイダンスにかかわる通話については、発信者に通話料金がかかります。
- 「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」、「ドライブモード」の各ネットワークサービスと番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、番号通知お願いサービスが優先され、かかってきた電話を切ります。
- 「迷惑電話ストップサービス」と番号通知お願いサービスを同時に設定している場合は、「迷惑電話ストップサービス」が優先され、着信を拒否します。
- 「非通知着信設定」（P.155）と番号通知お願いサービスを同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先されます。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを開始する

1 menu ▶ サービス を選択し、● ▶ 7「番号通知お願いサービス」▶ 1「番号通知お願い開始」▶「YES」を選択し、● ▶ ● を押す

■ **番号通知をお願いしない場合**

2「番号通知お願い停止」▶「YES」を選択し、● ▶ ● を押す

■ **番号通知お願いサービスの設定を確認する場合**

3「番号通知お願い確認」を押す

番号通知お願いサービス
1 番号通知お願い開始
2 番号通知お願い停止
3 番号通知お願い確認

おしらせ

- 以下のような場合には、番号通知お願いガイダンスは流れません。
  - ・NTT公衆電話や海外からの着信などは、電話番号の通知ができないためガイダンスは流れません。
  - ・発信者が「度数表示サービス」や「料金メーター」をご利用の場合や64Kデータ通信は、番号通知お願いガイダンスは流れずに接続します。
  - ・テレビ電話は、番号通知お願いガイダンスは流れず、発信者の画面に「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。

デュアルネットワークサービス（有料）

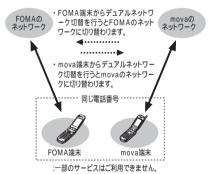
お申し込み	必要

デュアルネットワークサービスとは、高品質な通信サービスのFOMA端末と広範囲なサービスエリアのmova端末とを、同じ電話番号で使い分けることができるサービスです。

- 「圏外」が表示されているところで、デュアルネットワークの操作はできません。
- mova端末からの操作についてなど、詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスについて

- デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

※:一部のサービスはご利用できません。

- FOMA端末とmova端末の両方を同時にネットワークに接続することはできません。

mova端末からFOMA端末へ切り替える

1 menu ▶ サービス を選択し、● ▶ ● ▶ 1「デュアルネットワーク」▶ 1「デュアルネットワーク切替」

ネットワークサービス

次ページにつづく

2「YES」を選択し、● ▶ ネットワーク暗証番号を入力し、●を押す

ネットワーク暗証番号について→P.142

■FOMA端末が利用可能状態であるか確認する場合
2「デュアルネットワーク状態確認」▶●を押す

おしらせ

- ネットワークの切り替え操作は、利用可能状態の端末の通信を終了してから行ってください。
- 利用可能状態の端末から切り替え操作を行うと、すでに利用可能状態であることが通知されます。
- mova端末を利用できるように切り替えるには、mova端末から操作を行ってください。FOMA端末からは、mova端末への切り替え操作はできません。

英語ガイダンス（無料）

お申し込み	不要

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」など各種ネットワークサービスの設定時の案内や、圏外時などの音声ガイダンスを英語に設定できます。また、「番号通知お願いサービス」など、お客様へ電話をかけてきた相手へのガイダンスを英語に設定することもできます。ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。
設定できる言語は以下のとおりです。

	設定	ガイダンスの言語
発信時	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ ◎ ▶ 2「英語ガイダンス」▶ 1「ガイダンス設定」

■ガイダンスの設定を確認する場合
2「ガイダンス設定確認」を押す

1 発信時＋着信時	▶以下の項目から選択 発信時と着信時の言語を設定します。 発信時、着信時の順に設定します。		
	1 日本語	▶以下の項目から選択 発信時のガイダンスを日本語に設定します。	
		1 日本語	▶「YES」を選択し、●を押す 発信時のガイダンスを日本語、着信時のガイダンスを日本語に設定します。
		2 日本語＋英語	▶「YES」を選択し、●を押す 発信時のガイダンスを日本語、着信時のガイダンスを日本語＋英語に設定します。
		3 英語＋日本語	▶「YES」を選択し、●を押す 発信時のガイダンスを日本語、着信時のガイダンスを英語＋日本語に設定します。

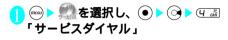
1 発信時＋着信時	2 英語		▶以下の項目から選択 発信時のガイダンスを英語に設定します。
		1 日本語	▶「YES」を選択し、●を押す 発信時のガイダンスを英語、着信時のガイダンスを日本語に設定します。
		2 日本語＋英語	▶「YES」を選択し、●を押す 発信時のガイダンスを英語、着信時のガイダンスを日本語＋英語に設定します。
		3 英語＋日本語	▶「YES」を選択し、●を押す 発信時のガイダンスを英語、着信時のガイダンスを英語＋日本語に設定します。
2 発信時	▶以下の項目から選択 発信時の言語のみ設定します。		
	1 日本語	▶「YES」を選択し、●を押す ガイダンスを日本語に設定します。	
	2 英語	▶「YES」を選択し、●を押す ガイダンスを英語に設定します。	
3 着信時	▶以下の項目から選択 着信時の言語のみ設定します。		
	1 日本語	▶「YES」を選択し、●を押す ガイダンスを日本語に設定します。	
	2 日本語＋英語	▶「YES」を選択し、●を押す ガイダンスを日本語＋英語に設定します。	
	3 英語＋日本語	▶「YES」を選択し、●を押す ガイダンスを英語＋日本語に設定します。	

おしらせ

- 本機能の設定、確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、ほかの携帯電話からの遠隔操作はできません。なお、本機能の設定、確認の操作には通話料金はかかりません。

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ簡単に電話をかけることができます。

1 MENU ▶ [サービス] を選択し、● ▶ ◎ ▶ 4「サービスダイヤル」

1 ドコモ故障問合せ	▶●を押す 故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。
2 ドコモ総合案内・受付	▶●を押す 総合案内・受付へ電話をかけることができます。

おしらせ

- FOMAカードに総合お問い合わせ先や故障のお問い合わせ先が登録されていない場合は、本機能はご利用になれません。
- 表示される画面や発信する番号は、FOMAカードにより異なる場合があります。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。「キャッチホン」をご契約されていない場合に利用すると便利です。

- 「留守番電話サービス」および「転送でんわサービス」を未契約の場合は、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターや転送先に接続できません。

通話中の着信動作を選択する<着信動作選択>

お買い上げ時	通常着信

1 MENU ▶ [サービス] を選択し、● ▶ 8「着信動作選択」▶ 以下の項目から選択

1 留守番電話	「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
2 転送でんわ	「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を転送先へ転送します。

次ページにつづく

③ 着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。
④ 通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の動作となります。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ・ 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ・ 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。→P.475 ・ 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

おしらせ

● 通話中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合、「留守番電話」や「転送でんわ」に設定していても、着信画面が表示されてから留守番電話サービスセンターに接続、または転送先に転送されることがあります。

通話中の着信を設定する＜通話中着信設定＞

●「圏外」が表示されているところで、通話中着信設定の操作はできません。

1 menu ▶ サービス を選択し、● ▶ 9「通話中着信設定」▶ 以下の項目から選択

① 通話中着信設定開始	▶「YES」を選択し、●を押す
② 通話中着信設定停止	▶「YES」を選択し、●を押す
③ 通話中着信設定確認	▶「YES」を選択し、●を押す

おしらせ

● 本機能の設定、確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、ほかの携帯電話からの遠隔操作はできません。なお、本機能の設定、確認の操作には通話料金はかかりません。

●「留守番電話サービス」および「転送でんわサービス」をご契約いただくと、本機能は「開始」に設定されます。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して、かかってきた音声電話に出る

● 通話中と着信が同じ種類の場合

<例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら PWR/HLD を押す

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合

通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます

● ▶ PWR/HLD を押す

2 通話 または ● を押す

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合

パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声電話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

<例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、メッセージ※が表示されたら ● を押す

※ :通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。

2 MULTI ▶「テレビ電話通信」を選択し、● ▶ PWR/HLD を押す

3 通話 または ● を押す

おしらせ

●「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されていて、「ププ…ププ…」という音が聞こえているうちに呼出時間を経過すると、留守番電話サービスセンターや転送先に接続されます。

ネットワークサービス

手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスに接続したり、着信拒否したりする

<例：「通話中着信設定開始」、着信動作選択が「通常着信」の場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、● ［機能］を押す

2 かかってきた電話の対応方法を選択する

■かかってきた電話を着信拒否する場合
1 「着信拒否」を押す

■かかってきた電話を転送先へ転送する場合
2 「転送でんわ」を押す

■かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合
3 「留守番電話」を押す
いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

〈遠隔操作設定〉
遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の操作を、公衆電話などの遠隔地から行うことができます。

遠隔操作ができるようにする

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ 0「遠隔操作設定」▶ 1「遠隔操作開始」▶「YES」を選択し、●を押す

■遠隔操作を停止する場合
2「遠隔操作停止」▶「YES」を選択し、●を押す

■遠隔操作の設定を確認する場合
3「遠隔操作設定確認」▶●を押す

おしらせ

- 本機能の設定、確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、ほかの携帯電話からの遠隔操作はできません。なお、本機能の設定、確認の操作には通話料金はかかりません。
- 「留守番電話サービス」および「転送でんわサービス」のご契約時には、本機能は「停止」に設定されています。

- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

マルチナンバー（2005年2月現在、未提供サービス）

2005年2月現在、本サービスは開始しておりません。

〈追加サービス〉
サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたとき、FOMA端末に新しいネットワークサービスを登録できます。
新しいネットワークサービスが提供されると、そのネットワークサービスを利用するための「特番」または「サービスコード」が通知されます。FOMA端末に「特番」または「サービスコード」とサービス名を登録してください。

- 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。
- 「サービスコード」は追加サービス登録画面の「USSD」という項目に入力します。

新しいサービスを登録する

1 menu ▶ サービスを選択し、● ▶ ● ▶ 3「追加サービス」▶ 1「追加サービス」

「追加サービス画面」が表示されます。

追加サービス画面

2「<未登録>」を選択

3 ● ［機能］▶ 1「設定追加」

■設定を変更する場合
●［機能］▶ 2「設定変更」

4 サービス名を入力し、●を押す

サービス名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字を入力する→P.522

ネットワークサービス

次ページにつづく

5 接続方法を選択する

1 特番	▶番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、●を押す 特番で接続します。番号は20桁まで入力できます。
2 USSD	▶番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、●を押す サービスコードで接続します。番号は40桁まで入力できます。

おしらせ

● サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認、入力が必要です。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

登録したサービスを利用する

1 MENU ▶ サービス を選択し、● ▶ ○ ▶ 3「追加サービス」▶ 1「追加サービス」

2 サービスを選択し、●を押す

追加サービス画面の機能メニューを使う

追加サービス画面で ➡ P.475

1 ［機能］▶以下の項目から選択

追加サービス画面の機能メニュー

1 設定追加	設定を追加します。
2 設定変更	設定を変更します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、● ▶ ●を押す
4 全削除	▶「YES」を選択し、● ▶ ●を押す

応答メッセージを登録する

登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録できます。

● 応答メッセージは最大 10 件まで登録できます。

1 MENU ▶ サービス を選択し、● ▶ ○ ▶ 3「追加サービス」▶ 2「応答メッセージ設定」

「応答メッセージ設定画面」が表示されます。

応答メッセージ設定画面

2「<未登録>」を選択

3 ○［機能］▶ 1「設定追加」

■設定を変更する場合
○［機能］▶ 2「設定変更」

4 コマンドを入力し、●を押す

コマンドは20桁まで入力できます。

5 応答メッセージを入力し、● ▶「YES」を選択し、●を押す

応答メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字を入力する→P.522

応答メッセージ設定画面の機能メニューを使う

応答メッセージ設定画面で ➡ P.476

1 ○［機能］▶以下の項目から選択

応答メッセージ設定画面の機能メニュー

1 設定追加	設定を追加します。
2 設定変更	設定を変更します。
3 1件削除	▶「YES」を選択し、● ▶ ●を押す
4 全削除	▶「YES」を選択し、● ▶ ●を押す

●データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信について

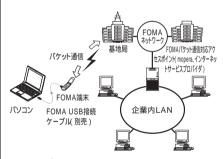
パケット通信と64Kデータ通信

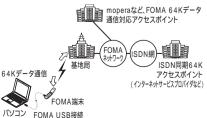
FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

● パケット通信
パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。

● 64Kデータ通信
64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。

■ パケット通信をするには

パケット通信はFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

■ 64Kデータ通信をするには

64Kデータ通信は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
・DoPaのアクセスポイントには接続できません。
・PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合があります。その場合は、同梱のCD-ROMからFirstPassPCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM 内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項 目	説 明
パソコン本体	・PC-AT 互換機で CD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ・ディスプレイ解像度 800 × 600 ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS	・Windows 98※1、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ	・Windows 98、Windows Me：32Mバイト以上※2 ・Windows 2000：64Mバイト以上※2 ・Windows XP：128Mバイト以上※2
ハードディスク容量	・5Mバイト以上の空き容量※2

※1：FirstPass PC ソフトは、Windows 98 に対応しておりません。
※2：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

● FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」や「musea」と接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion II」や「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

・FOMA USB接続ケーブル（別売）
・添付CD-ROM「FOMA N700i用CD-ROM」

おしらせ

● USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

取り付け方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

3 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

FOMA USB接続ケーブルを接続するとFOMA端末に「[アイコン]」が表示されます。

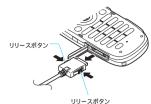
おしらせ

● FOMA端末に表示される「[アイコン]」は、パケット通信または64Kデータ通信の通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。通信設定ファイルのインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「[アイコン]」も表示されません。

取り外し方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り外し方法について説明します。

● パソコンとの取り外しについては、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

次ページにつづく

1 FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く

2 パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

3 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

●FOMA USB接続ケーブルの取り付け・取り外しは、連続して行わないでください。一度、取り付け・取り外しを行った場合は間隔をおいてから再び行ってください。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■添付の「FOMA N700i用CD-ROM」について

●通信設定ファイル(ドライバ)、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。

●N700i通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送(OBEX)を行うときに必要なソフトウェア(ドライバ)です。N700i通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

●FirstPassPCソフトを使うと、FirstPass(ユーザ証明書)を簡単に設定でき、パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時の認証に便利です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。
「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

設定完了までの流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

パソコンとの接続/N700i通信設定ファイル(ドライバ)のインストール

・パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続します。→P.479
・N700i通信設定ファイルをインストールします。→P.481

<FOMA PC設定ソフトを使って接続先の設定をする場合>

FOMA PC設定ソフトのインストール

・FOMA PC設定ソフトを使えるようにします。「FOMA PC設定ソフトをインストールする」(P.484)を参照してください。

<パケット通信をする場合>

設定する

・mopera※→P.486
・そのほかのプロバイダ→P.487

接続と切断

・接続します。→P.490
・切断します。→P.491

<64Kデータ通信をする場合>

設定する

・mopera※→P.489
・そのほかのプロバイダ→P.489

<FOMA PC設定ソフトを使わない場合>

設定する

・FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をします。→P.495

接続と切断

・接続します。→P.506
・切断します。→P.507

※:「mopera」はお申し込み手続き不要のドコモのインターネット接続サービスです。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、「mopera」での通信の設定をおすすめします。

パソコンの設定をする

ここでは、パソコンとの接続から、N700i通信設定ファイル(ドライバ)をインストールするまでの手順を説明します。

FOMA端末とパソコンを接続する

1 **FOMA USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する**

2 **Windows を起動して、「FOMA N700i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

3 **「終了」をクリックして、「FOMA N700iご利用にあたって」画面を終了させる**

この画面は、「FOMA N700i用CD-ROM」をパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。その場合は、そのまま操作4へ進みます。
N700i通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「終了」をクリックします。

4 **FOMA端末の電源を入れて、パソコンと接続したFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続する**

Windows 98、Windows Meの場合
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される

Windows 2000、Windows XPの場合
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示される

N700i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- Windows 2000またはWindows XPでN700i通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- N700i通信設定ファイルのインストール手順は、OSによって異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明を参照してください。
Windows 98、Windows Meの場合は下記を参照してください。
Windows 2000の場合はP.482へ、Windows XPの場合はP.482へ進みます。

● Windows 98／Windows Meの場合

1 **FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する**

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.481）の操作4でFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続すると、自動的に「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

Windows 98の場合
「次へ」をクリックする

2 **「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックする**

Windows 98の場合
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

3 **「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」をチェックし、「参照」をクリックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする**

フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>：¥USB Driver¥Win98」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。
ドライバはWindows 98と共通です。

Windows 98の場合
「検索場所の指定」をチェックしてフォルダを指定し、「次へ」をクリックする
「更新されたドライバ（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 **ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする**

ここでは「FOMA N700i」と表示されます。

次ページにつづく

5 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックする

Windows 98の場合
「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。

6 引き続き、操作1～5を参考にして、残りの6つのN700i通信設定ファイル（ドライバ）（P.483）をすべてインストールする

操作5の終了後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.483）に進みます。

● Windows 2000の場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.481）の操作4でFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続すると、自動的に下の画面が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

3 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする

5 検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする

フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>：¥USB Driver¥Win2000」を指定します。CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

6 ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA N700i」と表示されます。

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

8 引き続き、操作1～7を参考にして、残りの3つのN700i通信設定ファイル（ドライバ）（P.483）をすべてインストールする

操作7の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.483）に進みます。

● Windows XPの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.481）の操作4でFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続すると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

2 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2000」を指定します。CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。この画面ではCD-ROMドライブ名が「E」です。
ドライバはWindows 2000と共通です。

4 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

5 引き続き、操作1～4を参考にして、残りの3つのN700i通信設定ファイル（ドライバ）(P.483）をすべてインストールする

操作4の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなればドライバのインストールは終了です。
すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というメッセージが数秒間表示されます。「インストールしたドライバを確認する」（P.483）に進みます。

インストールしたドライバを確認する

N700i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsのコントロールパネルを開く

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合
「スタート」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システム」を開く

Windows Meの場合
コントロールパネルに「システム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックする

Windows XPの場合
「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 デバイスマネージャを開く

Windows 98、Windows Meの場合
「デバイスマネージャ」タブをクリックする

Windows 2000、Windows XPの場合
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT)」、「ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラ」、「モデム」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。
ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」（P.484）へ進みます。

（Windows XP）

デバイス名	ドライバ名
ポート（COM／LPT）	・ FOMA N700i Command Port ・ FOMA N700i OBEX Port
モデム	・ FOMA N700i
ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラ、またはUSB (Universal Serial Bus) コントローラ	・ FOMA N700i ・ FOMA N700i Command※ ・ FOMA N700i Modem※ ・ FOMA N700i OBEX※

※：Windows 98/Meのみ

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合や、間違って違うOS用の通信設定ファイルをインストールした場合は、アンインストール（P.483）の手順に従ってN700i通信設定ファイルをいったん削除してから、再度インストールしてください。

N700i通信設定ファイルをアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（Windowsをバージョンアップした場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

次ページにつづく

2 Windows を起動して、「FOMA N700i用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「終了」をクリックして、「FOMA N700iご利用にあたって」画面を終了させる

この画面は「FOMA N700i用CD-ROM」をパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。その場合は、そのまま操作4に進みます。

4 アンインストールプログラムを検索して実行する

「スタート」→「マイコンピュータ」を開き、CD- ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択して、CD- ROM内の「USB Driver」フォルダを開く
「UnInst」フォルダを開く

5 「n700i_un.exe」をダブルクリックして、アンインストールプログラムを実行する

お使いのパソコンの設定によって「n700i_un」と表示されることがあります。

6 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

7 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。→P.495
- FOMA端末のモデムポートがCOM20より大きい番号として認識されている場合は、「FOMA PC設定ソフト」は動作しません。

FOMA端末とパソコンとの接続については、P.479を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。moperaについてはAPN: mopera.ne.jpがcidの1番に登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
cid [Context Identifier]…パケット通信の接続先（APN）に対応した番号のこと。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- インストールする前に動作環境を確認してください。→P.479
- Windows 2000、Windows XPで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。
- パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 **添付のCD-ROMをパソコンにセットし、「FOMA PC設定ソフトのインストール」をクリックする**

「FOMA N700iご利用にあたって」画面が自動的に表示されます。何らかの原因によりCD-ROMが自動再生されない場合は、「マイコンピュータ」からCD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択し、「start. exe」をダブルクリックします。次に「FOMA PC設定ソフトのインストール」をクリックします。

2 **「次へ」をクリックする**

セットアップをはじめる前に、現在使用中または常駐しているほかのプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合は、P.485を参照してください。

3 **「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする**

「いいえ」をクリックすると、インストールは中止されます。

4 **「次へ」をクリックする**

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」常駐の可否を選択できます。
「W-TCP通信」の最適化の設定･解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
とくに問題がない場合は「タスクトレイに常駐する」を☑にしたまま「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」、「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
(参考)：「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

デスクトップ右下のタスクトレイに表示されます。

5 **インストール先を確認し、「次へ」をクリックする**

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。
ハードディスクスペースの問題などで、違うドライブにインストールすることもできますが、そのままお進みください。

6 **プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする**

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックしてください。

7 **「完了」をクリックする**

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

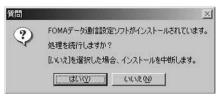
FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

<「旧W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合>

・「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から「旧W-TCP設定ソフト」を削除してください。

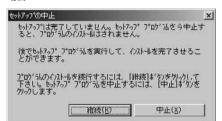
データ通信

次ページにつづく

<「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合>

・「はい」をクリックすると、「旧APN設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

<「FOMA PC設定ソフト」がすでにインストールされている場合>

・「はい」をクリックすると、FOMA PC設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールし直されます。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>

・インストールを継続する場合は「継続」を、意図的に中止する場合は、「中止」をクリックしてください。

各種設定の方法

通信設定をする前に、FOMA 端末が FOMA USB接続ケーブル（別売）によりご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上に通信設定ファイルが正しく認識されている必要があります。

1 「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows XPの場合
「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

FOMA PC設定ソフトを起動すると下図の操作画面が表示されます。

かんたん設定「moperaを利用したパケット通信設定方法」

●最大384kbpsのパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmoperaを利用します。
パケット通信：受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。

●「パケット通信」を利用して画像を含むホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「mopera接続」を選択し、「次へ」をクリックする

moperaYK以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.487を参照してください。

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力し、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄に入力してください。
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。

❻ ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

mopera接続の場合は、ユーザー名・パスワード入力が省略できます。

（Windows 2000、Windows XP）

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
どちらのユーザーを選択してよいか分からない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（お買い上げのときの設定）。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

❼ 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

❽ 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

❾ 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P.490

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

❶ 「かんたん設定」をクリックする

❷ 「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

❸ 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

❹ 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

❺ パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。
「接続先（APN）の選択」欄には標準でmoperaに接続するためのAPN:mopera.ne.jpが設定されています。

次ページにつづく

❻「接続先(APN)設定」をクリックする

番号(cid)の1番にはあらかじめ「mopera.ne.jp」が設定されています。
「追加」をクリックして表示される「接続先(APN)の追加」画面で、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先(APN)を正しく入力し、「OK」をクリックしてください。「接続先(APN)設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。
cidは10番目まで登録できます。

❼高度な設定(TCP/IPの設定)をする

「パケット通信設定」において、「詳細情報の設定」をクリックすると、「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

❽接続先を選択し、「OK」をクリックする

操作5の画面に戻ります。
「接続先(APN)の選択」には、操作6で設定した接続先(APN)が表示されます。

❾「接続先(APN)の選択」で接続先(APN)を確認し、「次へ」をクリックする

❿ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
どちらのユーザーを選択してよいか分からない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください(お買い上げのときの設定)。

(Windows 2000、Windows XP)

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

⓫「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作12に進みます。

⓬設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

⓭「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P.490

かんたん設定「moperaを利用した64K通信設定方法」

- 通信速度64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmoperaを利用します。
- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスが実現できます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「mopera接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.489を参照してください。

4 接続名の入力とモデムを選択し、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信設定」画面になります。現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄に入力してください。
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使う場合、モデム名は「FOMA N700i」を選択します。

5 ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

mopera接続の場合は、ユーザー名・パスワード入力が省略できます。

（Windows 2000、Windows XP）

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
どちらのユーザーを選択してよいか分からない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（お買い上げのときの設定）。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.490

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64K通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

4 ダイヤルアップ情報を入力し、「次へ」をクリックする

mopera以外のISDN同期64Kアクセスポイントを持つサービスプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、以下の項目を登録します。
・接続名（任意）
・モデムの選択（FOMA N700i）
・電話番号
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。

プロバイダ情報を元に正しく入力してください。電話番号は、大文字・小文字等に注意し、半角文字で正確に入力してください。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

5 高度な設定（TCP／IPの設定）をする

「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

6 ユーザー名･パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
どちらのユーザーを選択してよいか分からない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（お買い上げのときの設定）。

（Windows 2000、Windows XP）

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

7 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

8 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.490

設定した通信を実行する

● FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ通信をする場合、ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。
したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要となります。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows 98／Windows Meの場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」を開き、接続先を開く

Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開き、接続先を開く

Windows XPの場合
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開き、接続先を開く

2 「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

moperaを選択した場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、「ダイヤル」をクリックしてください。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックしてください。
「パスワードを保存する」をチェックすると、次回からは入力の必要がなくなります。

3 接続されたことを確認し、「OK」をクリックする

通常の状態で、ダイヤルアップを接続すると、以下のような接続画面が表示されます。
以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にしてあると、この画面は表示されません。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

(通信中、データ送信中)
(通信中、データ受信中)
(通信中、データ送受信なし)
(発信中、または切断中)
(着信中、または切断中)

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「」が表示されます。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA N700i」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.479）を満たしているかを確認してください。 ・N700i通信設定ファイルがインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・USBモード設定（P.407）が「通信モード」になっているか確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

FOMA PC設定ソフトのアンインストール手順を説明します。

● Windows 2000またはWindows XPで「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

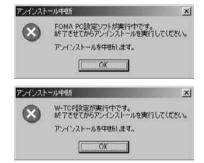
右クリック

(1) タスクトレイに常駐している「W-TCP設定」を常駐させないようにする

デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」を右クリックして「常駐させない」をクリックする

クリック

(2) 起動中のプログラムを終了させる

「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を起動する

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックする

Windows 98、Windows Meの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックする

3 「FOMA PC設定ソフト」を選択して「変更と削除」をクリックする

NTT DoCoMo
「FOMA PC設定ソフト」を
選択して

ここをクリック

4 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

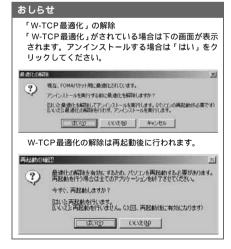
アンインストールが開始されます。

5 「OK」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

●「W-TCP最適化」の解除
「W-TCP最適化」がされている場合は下の画面が表示されます。アンインストールする場合は「はい」をクリックしてください。

W-TCP最適化の解除は再起動後に行われます。

W-TCPの設定

「W-TCP設定」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP／IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

＜Windows XPの場合＞
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合

デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

左クリック

2 以下の操作を行う

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。システム設定は、再起動した後、最適化が有効になります。

(1) システム設定が最適化されていない場合

「最適化を行う」をクリックする
「W-TCP（ダイヤルアップ）設定」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択して「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

次ページにつづく

(2) システム設定が最適化されている場合

「W-TCP(ダイヤルアップ)設定」画面が表示されます。
内容の変更等がある場合は設定を行ってください。

(3) 最適化を解除する場合

「システム設定」をクリックする
「W-TCP設定」画面が表示されます。
「最適化を解除する」をクリックしてください。

<Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合>

1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合

デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

2 以下の操作を行う

(1) 最適化されていない場合

「W-TCP設定」画面で「最適化を行う」をクリックし、現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、再起動を実行する

(2) 最適化されている場合

「W-TCP設定」画面で「現在、最適化されています。」と表示されます。
FOMA端末以外での通信等の理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックしてください。現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定でき、cid（登録番号）の1～10に登録して管理します。

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- PC上のAPNを継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。
- 初期状態ではAPN1にmoperaが設定されています。

データ通信

❶「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

❷ FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。
FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

❸ 接続先（APN）の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「削除」をクリックする
  番号（cid）の1に登録されている接続先（APN）は削除できません。

ファイルへの保存
FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み
保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み
「接続先（APN）設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能
「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。接続先（APN）への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。moperaの場合は不要です。
ユーザー名とパスワードを入力して（Windows 2000、Windows XPの場合は使用可能ユーザーの選択をして）「OK」をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックしてください。
設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、N700i通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA N700i」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.498）で使用します。

接続先について<APN/cid>

- パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPN（P.498）を設定して接続します。

次ページにつづく

● APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。※1

● APNは「cid（1〜10までの管理番号)」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊<cid番号>＃」とするとcid番号の接続先に接続します。

● cid番号の1番には、moperaに接続するためのAPN:mopera.ne.jpがあらかじめ登録されているので、接続先番号を「＊99＊＊＊1＃」とすると、簡単にmoperaを利用することができます。※2

● APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		—	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○（FOMA PC設定ソフトなどを使用）	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から探してかける
		—	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。

※2：ほかのインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cid番号の2番以降に登録してください。APNの設定と登録方法について→P.498

● Windows 98/MeでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「モデム」を開く

コントロールパネルに「モデム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

3 「FOMA N700i」がセットアップされていることを確認し、「検出結果」タブをクリックする

4 「FOMA N700i」が設定されているCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.498）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

●Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

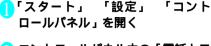
3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N700i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.498）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

●Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N700i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.498）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

次ページにつづく

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp cid2～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号cid1～cid10（P.495）を付けて管理します。
- cid1には、すでにドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ設定されていますので、cidを設定するときは、2～10の番号に設定することをおすすめします。
- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- P.499の操作6以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが見えないことがあります。このようなときは、
  ATE1 ↵
  と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA端末と　FOMA USB接続ケーブルを接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows 98の場合

「ハイパーターミナル」を開いた後、「Hypertrm.exe」をダブルクリックする

Windows Me、Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

4 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

5 「接続方法」から「FOMA N700i」を選択し、「OK」をクリックする

「FOMA N700i」のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする

ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N700i」のCOMポート番号は、P.495の「COMポートを確認する」を参照して確認してください。

「FOMA N700i」のCOMポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

（1）「ファイル」→「プロパティ」を選択

（2）「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N700i」を選択

（3）「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す

（4）「OK」をクリックする

6 接続先（APN）を入力し、↵を押す

AT+CGDCONT=＜cid＞,“PPP”,“APN”の形式で入力する

＜cid＞：2～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

“APN”：接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。

“PPP”：そのまま“PPP”と入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"↵と入力します。

7 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「セッションsampleを保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合

・リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定のみ「mopera.ne.jp」（初期値）に戻り、cid=2～10の設定は未登録となります。

＜入力方法＞

AT＋CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）

AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合

・現在の設定内容を表示させます。

＜入力方法＞

AT＋CGDCONT?↵

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合

＜入力方法＞

ATE1↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

お買い上げ時	通知

● パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

● 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。

● 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.509）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1↵

と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2↵

と入力する

次ページにつづく

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

おしらせ

● ドコモのインターネット接続サービスmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップの設定を行う

Windows 98、Windows Meでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」の順に開く

2 「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

この画面はダイヤルアップネットワークをはじめて起動したときのみ表示されます。「次へ」をクリックして操作4に進んでください。
2回目以降は、この画面は表示されず、操作3の「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ダイヤルアップネットワーク内の「新しい接続」をダブルクリックする

4 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

「モデムの選択」欄が「FOMA N700i」になっていることを確認します。「FOMA N700i」になっていない場合は、「FOMA N700i」を選択します。

5 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

「市外局番」欄には何も入力しません。

6 接続名（任意の名前）を確認し、「完了」をクリックする

7 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」を開く

8 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

9 「全般」タブで「電話番号」および「接続方法」を確認する

「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外す

「接続方法」欄が「FOMA N700i」になっていることを確認します。「FOMA N700i」になっていない場合は、「FOMA N700i」を選択します。

10 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」を選択する

使用できるネットワークプロトコル欄は「インターネットプロトコル（TCP／IP）」のみをチェックします。

Windows 98の場合

「サーバーの種類」タブをクリックして各種設定を行う
「ダイヤルアップサーバーの種類」欄には「PPP：インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を選択してください。
使用できるネットワークプロトコル欄は「インターネットプロトコル（TCP／IP）」のみをチェックします。

データ通信

次ページにつづく

11 「セキュリティ」タブをクリックして、ユーザー名とパスワードを入力せずに「OK」をクリックする

moperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。
mopera以外のプロバイダに接続する場合は、下の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

Windows 98の場合
「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。
2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA N700i」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

「FOMA N700i」になっていない場合は、「FOMA N700i」を選択する

「FOMA N700i」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

⑪「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

⑫「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

⑬操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

⑭「ユーザー名」、「パスワード」欄に何も入力せずに、「次へ」をクリックする

ユーザー名、パスワードを空白のままにしておくかどうかの確認画面が続けて表示されるので、画面ごとに「はい」をクリックします。
moperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。
mopera以外のプロバイダに接続する場合は、下の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

⑮「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

⑯「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

⑰「今すぐインターネットに接続するにはここを選び［完了］をクリックしてください」のチェックを外し、「完了」をクリックする

⑱作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックする

次ページにつづく

⑲「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N700i」にチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付ける

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

⑳「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP／IP）」のみをチェックします。

㉑「設定」をクリックする

㉒すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

㉓操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

❶「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

❷「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

❸「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

❹「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

❺「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

❻「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N700i（COMx）」を選択し、「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
（COMx）は、「COMポートを確認する」（P.495）で表示されるCOMポートの番号です。

❼「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

❽「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

電話番号はmoperaへ接続する場合の例です。実際にはお客様がお使いになる接続先番号を入力します。

❾「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄には何も入力せずに、「次へ」をクリックする

moperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。
mopera以外のプロバイダに接続する場合は、下の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

❿「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

⓫「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

⓬作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

⓭「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－ FOMA N700i」にチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付ける
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

データ通信

次ページにつづく

⑭「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

⑮「設定」をクリックする

⑯すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

⑰操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

<例：Windows Meの場合>

①FOMA USB接続ケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

取り付け方法→P.479

②「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択し、「ダイヤルアップネットワーク」を開く

③接続先のアイコンを選択し、「接続」を開く

④各項目を確認し、「接続」をクリックする

「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」、「パスワード」の入力は不要です。
mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>
この間にユーザー名、パスワードの確認やログオン処理が行われます。

データ通信

<接続の完了>
ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、e-mailなどを利用できます。
この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

<例：Windows XPの場合>

1 **「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く**

2 **接続先を開く**

P.505の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して、「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックする

3 **内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする**

以下の画面はmoperaに接続する場合の例です。moperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>
この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

<接続の完了>
接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、下のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、e-mailなどを利用できます。
この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。
通信状態については、P.491を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows Meを例に説明します。

1 **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする**

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 **「切断」をクリックする**

おしらせ

- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

●ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[&F]　：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W]　：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N700i（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n = 0：CDは常にON n = 1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	n = 0：ERの状態を無視する（常にONとみなします） n = 1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる n = 2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&En	接続時の速度表示の仕様を選びます。	n = 0：無線区間通信速度を表示する n = 1：DTE シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n = 0 のみ指定可能（省略可）	オンラインコマンドモード時 AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行） オフライン時 AT&F OK AT&F? ERROR AT&F=? ERROR
AT&Sn [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n = 0：DRは常にON（初期値） n = 1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK
AT&Wn	現在の設定値を記憶します。	n = 0 のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	＊DANTE：n n=0：FOMA端末の電波受信レベルが圏外 n=1：FOMA端末の電波受信レベルが1本 n=2：FOMA端末の電波受信レベルが2本 n=3：FOMA端末の電波受信レベルが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE＝? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=n	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n = 0： 着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） n = 1： 着信拒否設定を有効にする n = 2： 着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=n[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n = 0： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する n = 1： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL =0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL =1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=n [,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n = 0 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する n = 1 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL =0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL =1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=n	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。 →P.499	n = 0： APNをそのまま使用する（初期値） n = 1： APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） n = 2： APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR =0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	―	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.520）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	→P.517	→P.517
AT+CGEQMIN	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］（P.517） AT+CGEQMIN=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQMIN? ：現在の設定値を表示する	→P.517
AT+CGEQREQ	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ ＝［パラメータ］（P.518） AT+CGEQREQ=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQREQ? ：現在の設定値を表示する	→P.518

次ページにつづく

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR XXXXXXXXXXXXXXX OK (XXXXにはFOMA端末のバージョンが表示されます)
AT+CGREG=n [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n＝0：通知なし（初期値） n＝1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG: <n>,<stat> n ：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK (通知ありに設定) AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK (圏外) AT+CGREG=? +CGREG:(0,1) OK (圏外から圏内に移動した場合) +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN XXXXXXXXXXXXXXX OK (XXXXにはFOMA端末の製造番号が表示されます)
AT+CLIP=n	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n＝0：リザルトを出さない（初期値） n＝1：リザルトを出す m＝0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m＝1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 m＝2：不明 AT+CLIP=？の結果 +CLIP：(n,m)	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0,1) OK (+CLIP=1設定時に着信) RING +CLIP: "090XXXXXXXX",177,"123",136
AT+CLIR=n	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n＝0：「発信者番号通知」の設定に従う n＝1：通話相手に番号発信しない n＝2：通話相手に番号発信する（初期値） AT+CLIR？の結果 +CLIR：(n,m) m＝0：CLIRは起動していない（常時通知） m＝1：CLIRは起動している（常時非通知） m＝2：不明 m＝3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m＝4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） ※＃31＃、＊31＃が付加されていない場合はCLIR設定が優先されます。	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CMEE=n [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n = 0： 通常のERRORリザルトを用いる（初期値） n = 1： +CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる n = 2 ：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記はAT+CNUMを実行した際のエラーポート例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1 ：no connection to phone 10 ：SIM not inserted 15 ：SIM wrong 16 ：incorrect password 100：unknown ※SIMとは、FOMAカード（UIM）のことを表しています。	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR ：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR ：SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	n+CNUM：＜number＞,＜type＞ number：電話番号 type：129または145 129：国際アクセスコード＋を含まない 145：国際アクセスコード＋を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK (XXXXには自局電話番号が表示されます)

次ページにつづく

ATコマンド	概要	パラメータ / 説明	コマンド実行例
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ： AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態（PIN1ロック解除コード入力可） +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態（PIN2ロック解除コード入力可） 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PIN2が応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: PUKが応答される状態:PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=n [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n = 0： 表示しない（初期値） n = 1： 表示する serv: GPRS ：パケット通信 SYNC ：64Kデータ通信 AV64K：AV64K通信 AV32K：AV32K通信 AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD ＊99 ＊＊＊1# +CR：GPRS CONNECT （＊99 ＊＊＊1# はmoperaのパケット通信例です）
AT+CRC=n [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n = 0： +CRING を使用しない（初期値） n = 1： +CRING：<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおり ：+CRING：SYNC +CRING：AV64K +CRING：GPRS “PPP”,,, “<APN>” AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK （64K通信着信時） +CRING：SYNC （AV64K 着信時） +CRING：AV64K （パケット通信着信時） +CRING：GPRS “PPP”,,, ”〈APN〉”

ATコマンド	概要	パラメータ / 説明	コマンド実行例
AT+CREG=n [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 ● OSによっては設定できない場合があります。	n = 0 ： 通知なし（初期値） n = 1 ： 通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ： <n>,<stat> n ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+GMI	メーカー名（NEC）を表示します。	－	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMA N700i）を表示します。	－	AT+GMM FOMA N700i OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	n ：DCE by DTE m ：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m =2.2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2),(0,1,2) OK
AT+WS46=n [&F] [&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	n = 22：W- CDMA（Wideband CDMA）のみ指定可能（初期値）	AT+WS46=22 OK
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	－	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥Vn [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	n = 0 ：拡張リザルトコードを使用しない（初期値） n = 1 ：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT

次ページにつづく

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATD	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid>　1〜10：＋CGDCONT設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD<電話番号>　：64K通信 AT+CBST=131,1,0設定時 ATD<電話番号>　：AV32K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD<電話番号>　：AV64K通信	<パケット通信> ATD＊99＊＊＊1# CONNECT <64K通信> AT+CBST=116,1,0 OK ATDXXXXXXXXXXX CONNECT <AV32K通信> AT+CBST=131,1,0 OK ATDXXXXXXXXXXX CONNECT <AV64K通信> AT+CBST=134,1,0 OK ATDXXXXXXXXXXX CONNECT （XXXは接続先電話番号を表します）
ATEn [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n＝0 ：エコーバックなし n＝1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn	FOMA端末に対して回線の切断動作を行います。	n＝0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER
ATIn	認識コードを表示します。	n＝0：「NTT DoCoMo」を表示する n＝1：製品名を表示する（+GMMと同じ） n＝2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ）	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA N700i OK
ATOn	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n＝0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n＝0 ：リザルトコードを表示する（初期値） n＝1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=n [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n＝0 ：自動受信しない（初期値） n＝1-255：指定したリング回数で自動受信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n＝43 ：初期値 n＝127：エスケープ処理は無効 ATS2? ：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n＝13 ：初期値（n=13のみ指定可） ATS3? ：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n＝10 ：初期値（n=10のみ指定可） ATS4? ：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK

ATコマンド	概要	パラメータ / 説明	コマンド実行例
ATS5=n [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n＝8　：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=n [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS7=n [&F] [&W]	発信時、設定時間以内に接続できなければ、回線を切断します。	n＝1～120（初期値は60）（単位：秒） 121～255の指定は120とみなす ATS7?：現在の設定値を表示する	ATS7=60 OK ATS7? 060 OK
ATS8=n [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=n [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=n	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	n＝0：不活動タイマオフ（初期値） n＝0～255	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR
ATS103=n	着サブアドレスキャラクタを設定します。	n＝0：＊ n＝1：/（初期値） n＝2：￥（￥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR
ATS104=n	発サブアドレスキャラクタを設定します。	n＝0：# n＝1：%（初期値） n＝2：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATVn [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n＝0：リザルトコードを数値で返送する n＝1：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATXn [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n = 0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし n = 1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり n = 2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり n = 3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり n = 4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり （初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	―	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	―	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。

・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※　：1～10
<APN>※　：任意

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが初期値として登録されていますが、書き換えは可能です。<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGDCONT=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。

+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。

+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが3の場合）

AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"
OK

■コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>：1～10

<Maximum bitrate UL>※：なし（初期値）または64

<Maximum bitrate DL>※：なし（初期値）または384

※：<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。FOMA端末から基地局への通信方向が上り（UL）を、基地局からFOMA端末への通信方向が下り（DL）を表します。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。

（1）上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）

AT+CGEQMIN=2
OK

次ページにつづく

(2) 上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384
OK
(3) 上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64
OK
(4) 上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384
OK

■コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・概要
パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式
+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明
<cid>※：1～10

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。

・パラメータを省略した場合の動作
+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例
以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK

■モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.499）、AT+CGEQMIN ／ AT ＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、[&W]がついているコマンドについては、設定後に

AT&W

と入力することにより保存できます。このとき、[&W]がついているほかの設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、

ATZ

と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
121	CONNECT 32000	FOMA端末－基地局間速度32,000bpsで接続しました。
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64K通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）[32K]で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

おしらせ

●ATVnコマンド（P.515）がn＝1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
●従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
●「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ATX0が設定されている場合

AT¥Vnコマンド（P.513）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例 ： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT
数字表示例 ： ATD＊99＊＊＊1#
1

■ATX1が設定されている場合

・AT¥V0（初期値）が設定されている場合
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。
文字表示例 ： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800
数字表示例 ： ATD＊99＊＊＊1#
1 21

・AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>
PACKET <接続先APN> / <上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度> / <下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大64kbps、受信最大384kbpsで接続したことを表します。
文字表示例 ： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800
PACKET mopera.ne.jp
/64/384
数字表示例 ： ATD＊99＊＊＊1#
1 21 5

※：ATX1、AT¥V1 を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。ATX1に設定したときは、AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

リクエストの内容に関する切断理由は、以下のとおりです。

■パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■64Kデータ通信

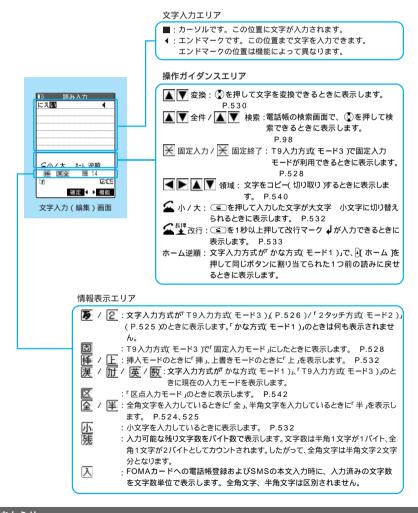
値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

文字入力

文字を入力する

FOMA端末ではダイヤルボタンのほかに、アクセスリーダー、バーコードリーダー、辞典を呼び出して文字を入力できます。

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアで構成されています。文字入力エリアには入力中の文字やカーソル、エンドマークなどが表示されます。操作ガイダンスエリアには漢字変換や検索、範囲指定など、そのときに操作できる内容が表示されます。情報表示エリアには文字入力方式や入力モード、入力可能な残り文字数などの情報が表示されます。

おしらせ

●iモードメールの本文を入力するときは、ダイヤルボタンを押すと文字入力（編集）画面が表示され、区点入力、ワード予測、入力モード切替などの機能が使用できます。

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則にしたがってカウントされます。各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

- 文字数は、半角１文字が１バイト、全角１文字が２バイトとしてカウントされます。
- 全角文字は、半角文字２文字分になります。

全角：あいうえお　５文字（カウントは10バイト）
半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ　10文字（カウントは10バイト）

■文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。
<例>「ﾄﾞｺﾓ」を半角カナ入力モードで、「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄﾞｺﾓの携帯電話（画面に表示される文字数が９文字）
１１１１２２２２２（カウントは１４バイト、半角文字１４文字分）

- 半角文字の濁点「ﾞ」半濁点「ﾟ」は、１文字分としてカウントされます。
また、全角文字は、半角文字２文字分としてカウントされます。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、で行単位、［ホーム］またはで［メモ／確認］でページ単位のスクロールができます。
漢字変換の候補リスト表示画面では、で行単位、またはで［ホーム］またはで［メモ／確認］でページ単位のスクロールができます。

文字入力方式を選択する

文字入力方式には、次の３種類の方式があります。

- モード１（かな方式）→P.524
１つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が替わる方式
- モード２（２タッチ方式）→P.525
２つの数字の組み合わせで文字を入力する方式
- モード３（T9入力方式）→P.526
１つのボタンを押すごとに、そのボタンに割り当てられた文字の候補が表示され、その中から選択する方式

1 **menu 3 5 1「入力モード」▶ で□（チェックボックス）を選択し、● ▶ ［完了］**

少なくとも２つのモードを選択してください。

2 **優先的に使うモードを選択し、●を押す**

操作１で選択しなかったモードは、ここでは選択できません。

● 文字の入力中に文字入力方式を切り替える

文字入力（編集）画面が表示されたときは、優先的に使用する文字入力方式が設定されています。文字入力（編集）画面でほかの文字入力方式に切り替えるには２つの方法があります。
文字入力方式の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、優先的に使用する文字入力方式に戻ります。

- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

■機能メニューから切り替える

「文字入力（編集）画面の機能メニューを使う」文字入力（編集）画面の機能メニュー 3/4「6 入力モード切替」➡ P.537

■ ［文字］を１秒以上押す

［文字］を１秒以上押すごとに「かな方式（モード１）」→「２タッチ方式（モード２）」→「T9入力方式（モード３）」の順で文字入力方式が切り替わります。

文字入力

モード1（かな方式）での入力について

●入力モードを切り替える

文字入力（編集）画面で ➡ P.522

⊙［文字］を押す

⊙［文字］を押すたびに「漢字ひらがな（漢全）」→「カタカナ（ｶﾅ半）」→「英字（英半）」→「数字（数半）」の順に入力モードが切り替わります。

●全角／半角を切り替える

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

[3]「半角切替」／「全角切替」を押す

「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。
「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

■モード1で入力できる文字

<例>「う」を入力するには、「漢字ひらがな入力モード」にして[1]を3回押します。
「B」を入力するには、「英字入力モード」にして[2]を2回押します。

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
[1]	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	？!—/¥&＊（）#゛゜ ♥☎※1	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
[4]	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO mno	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
[8]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
[0]	わをんーゎ	ワヲンーヮ※2	―	0+※7
[＊]	―※3	―	.ne.jp .co.jp .ac.jp ※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp	＊.ne.jp .co.jp .ac.jp ※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp
[#]	゛゜、。・！？※5	゛゜、。・！？※5	.@/!?(),−_:'~※6& \	#.@/!?(),−_:'~※6& \

※1：SMS本文入力時のみ有効です。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「♥」「☎」は入力できます。また、記号は半角文字として表示されますが、「♥」「☎」は常に全角文字として表示されます。
※2：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。
※3：「漢字ひらがな入力モード」で[＊]を押すと「区点入力モード」に切り替わります。
※4：全角に切り替えた場合は表示されません（数字入力モードの「＊」は除く）。
※5：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、その前の文字に「゛」「゜」をつけることができるときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「・」「！」「？」は入力できません。

※6：「全角入力モード」のときは「 ̄」となります。
※7：「＋」は、SMS宛先入力時に1秒以上押して入力できます。
　：小文字は以下の2つの方法で入力できます。
・大文字で入力した後に[CLR]を押して小文字に変換
・機能メニューで「小文字切替」を行った後に入力

モード2（2タッチ方式）での入力について

●入力モードを切り替える

文字入力（編集）画面で ➡ P.522

◉［文字］を押す

◉［文字］を押すたびに「全角（全）」と「半角（半）」が切り替わります。

●全角／半角を切り替える

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

[3]「半角切替」／「全角切替」を押す

「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。

■ モード2で入力できる文字

＜例＞「う」を入力するには、「全角入力モード」にして[1][3]と押します。
全角の「B」を入力するには、「全角入力モード」にして[1][7]と押します。
半角の「B」を入力するには、「半角入力モード」にして[1][7]と押します。

全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	—	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※2 ☎	
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃		※2 ♥	※1
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ ゎ	を	ん	※3 ゛ 、	※3 ゜ 。	6	7	8	9	0

半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	\	&		※2 ☎	
	8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※2 ♥	※1
	9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
	0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：[8][0]を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に[CLR]を押して小文字に切り替えることもできます。

文字入力

次ページにつづく

※2：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時は、「絵文字入力」はできません。「☎」「♥」は入力できます。
※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」をつけることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。
　：スペースが入力されます。

おしらせ

● 一部、モード2の入力が利用できない場合があります。その場合はモード1で入力してください。

モード3（T9入力方式）での入力について

このモードを利用すると、少ないボタン操作で文字の入力ができます。
たとえば“あした”という読みを入力するとき、モード1（かな方式）では［1］を1回、［3］を2回、［4］を1回押して入力しますが、モード3（T9入力方式）では、［1］［3］［4］と入力したい行のボタンをそれぞれ1回押します。
1つのボタンに行の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに読み候補が表示され、その中から読み候補を選択して入力します。
モード3での入力を手助けする機能に、「読み編集」と「固定入力」があります。
「読み編集」は入力した読み候補を編集するときに使います。「固定入力」は入力したい読みをダイレクトに入力するときに使います。また、モード3（T9入力方式）とワード予測（P.529）を連動させると入力の手間が省けます。

● 入力モードを切り替える

文字入力（編集）画面で ➡ P.522

［文字］を押す

［文字］を押すたびに「漢字ひらがな（漢全）」→「カタカナ（カナ半）」→「英字（英半）」→「数字（数半）」の順に入力モードが切り替わりますが、モード3（T9入力方式）が働くのは「漢字ひらがな（漢全）」と「カタカナ（カナ全）」モードのみです。「英字（英半）」と「数字（数半）」モードでは自動的にモード1となります。

■ モード3で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1	あ行、1	ア行、1
2	か行、2	カ行、2
3	さ行、3	サ行、3
4	た行、4	タ行、4
5	な行、5	ナ行、5
6	は行、6	ハ行、6
7	ま行、7	マ行、7
8	や行、8	ヤ行、8
9	ら行、9	ラ行、9
0	わ を ん ゎ ー、0	ワ ヲ ン ヮ※3 ー、0
#	※1、※2	※1、※2

・「英字入力モード」、「数字入力モード」の文字割当ては「かな方式（モード1）」の文字割当てを参照してください。
・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。

※1：読み入力中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）がついた変換候補の切り替えを行います。
※2：読みおよび文字の確定後は、かな方式（モード1）と同じように「゛」「゜」「、」「。」「・」「！」「？」が表示されます。ただし、「゛」「゜」（濁点、半濁点）は、その前の文字につけることができるときだけ表示されます。
※3：「ワ」の小文字は全角入力のみ入力できます。

● 文字を入力する

＜例：T9漢字変換モードで「戸田」と入力する場合＞

［文字］を押して「漢字ひらがな入力モード」にする

2 変換したい文字を入力する

4(た行)、4(た行)、#(濁点)

「ただ」から予測できる変換候補が表示されます。

■ ボタンを押し間違えた場合

CLR を押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

■ 入力した文字が候補として認識できない場合

認識できない文字がグレーで表示されるので、を押して変換候補の範囲を変更する

■ 変換候補の表示（漢字／かな）を切り替える場合

を押す

■ ワード予測の変換候補を表示する場合

を1秒以上押す

CLR を押すとを1秒以上押す前の画面に戻ります。

3 を押して変換候補を選択し、を押す

文字入力エリアに選んだ変換候補が表示されます。

■ 変換したい文字の入力に戻る場合

CLR を押す

■ 表示された変換候補以外の文字に直接変換したい場合

［変換］▶を押して候補を選択し、を押す

● 変換候補を編集する

<例：「らわらわた」と入力したときに「爛々と」と変換したい場合>

1 変換したい文字を入力する

9(ら行)、0(わ行)、9(ら行)、0(わ行)、4(た行)

「らわらわた」から予測できる変換候補が表示されます。この場合「らんらんと」という候補は表示されません。

2 ［読み］を押す

候補編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。変換候補の表示エリアには、「ら行」の文字が表示されます。

次ページにつづく

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合 1 （ら）を押します。
文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して変換候補を修正します。

■ 変換候補を修正しない場合
を押して次に修正する文字にカーソルを移動させる

■ 途中で編集を終了する場合
［戻る］を押す
終了するまでに修正した文字が変換候補として表示されます。

4 を押して「爛々と」を選択し、を押す

次回から、「らわらわた」と入力すると、「爛々と」が変換候補の先頭に表示されます。

● 固定入力で変換候補を入力する

＜例：「はためく」という読みを入力する場合＞

1 （固定入力）を押す

固定入力モードになり、情報表示エリアの「」が「固」に変わります。

2 入力したい文字が割り当てられている行のボタンを押す

この場合 6 を押します。変換候補の表示エリアには、「は行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合 1 （は）を押します。
同じように操作して読みを入力します。

(固定終了)を押す

(固定終了)を押すと変換候補が表示され、を押してを[変換]を押すと漢字、カタカナなどに変換できます。

● T9変換モードを設定する

T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。

 menu 3 5 ▶ 4「T9変換モード」▶以下の項目から選択

1 T9漢字変換モード	入力した文字を漢字に変換します。
2 T9かな変換モード	入力した文字をかなに変換します。

ワード予測を使う

ワード予測とは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、その後同じ読みの文字を入力したときに、記憶した文字列や定型文の候補の中から選択できる機能です。

 menu 3 5 ▶ 2「ワード予測」▶ 1「ON」または 2「OFF」

● ワード予測を利用して文字を入力する

ワード予測とは、過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示する機能です。

 読みを入力する

予測候補がガイダンスエリアに表示されます。

2 を１秒以上押す、または（ニューロポインター）をスライド

ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。

■ 読みの入力に戻る場合
CLR を押す

■ 予測候補が表示されない、または入力したい文字が予測候補にない場合
そのまま読みを入力する

3 予測候補を選択し、を押す

文字を確定すると、その文字に続く履歴候補が表示されます。

4 履歴候補を選択し、を押す

■ 履歴候補が表示されない、または入力したい文字が履歴候補にない場合
そのまま次の文字を入力する

ガイダンスを表示する

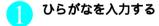
文字入力（編集）画面のガイダンス（P.522）を表示するかどうかを設定します。

1 MENU 3 5 ▶ 3「ガイダンス表示」▶ 1「ON」または 2「OFF」

文字を入力する

<例：「戸田俊司」と入力する場合>

文字入力（編集）画面で ➡ P.522

1 ひらがなを入力する

■ ボタンを押し間違えた場合
CLR を押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

■ ボタンを押す回数を間違えた場合
［ホーム］を押す
同じボタンに割り当てられた１つ前の読みに戻ります。

■ 続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合
を押す、またはそのボタンを１秒以上押す
カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

■ ひらがなで確定する場合
を押す

＜モード１のとき＞

[4]を５回、[→]を１回、[4]を１回、[#]を１回、[3]を２回、
（と）（1文字移動）（た）（゛(濁点)）（し）

[8]を２回、[小文字変換キー]を１回、[0]を３回、[3]を２回、[#]を１回
（ゆ）（小文字変換）（ん）（し）（゛(濁点)）

＜モード２のとき＞

[4][5]（と）　[4][1]（た）　[0][4]（(濁点)）　[3][2]（し）　[8][0]（小文字入力モード）

[8][3]（ゆ）　[8][0]（大文字入力モード）　[0][3]（ん）　[3][2]（し）　[0][4]（(濁点)）

モード２の場合、１桁のみ入力して確定してもその文字は消去されます。
２桁で入力してください。

＜モード３のとき＞

モード３の場合、目安の文字が候補に出るよう選択範囲を[←→]で反転させたり、[*]を押して読み編集に切り替えたりします。

2 [↓]を押して漢字に変換する

最初の文節の漢字候補が反転表示され、残りの文節の漢字候補はアンダーライン（__）で表示されます。

■ 漢字候補が目的の漢字の場合

[●]を押す

漢字が確定され、次の文節が反転表示されます。

■ 変換範囲を変更する場合

[←]または[→]を押して変換範囲を変更する

変換した範囲に応じて漢字候補も変更されます。その範囲で変換できる漢字がない場合はひらがなが表示されます。

3 [↑]または[↓]を押して変換候補を表示する

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

■ 変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合

数字も変換候補として表示されます。

4 入力したい漢字を選択し、[●]を押す

おしらせ

- 漢字に変換できる読み（ひらがな）は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
- 希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。
- 一度に変換できない２文字以上の漢字は、１文字ずつ変換してください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.542
- 複雑な漢字は一部を変型もしくは省略しています。
- 変換後の文字が入力可能な文字数を超えた場合は、入力可能な文字数までを確定するかどうかの確認画面が表示されます。

●小文字／大文字を切り替える

小文字／大文字を切り替えるには、2つの方法があります。

■ [電話キー]を押す

文字入力（編集）画面で ➡ P.522

切り替えたい文字にカーソルを合わせて、[電話キー]を押す

押すたびに、小文字と大文字が切り替わります。操作ガイダンスに「[電話]小／大」が表示されている場合のみ操作できます。

■ 機能メニューから選択する

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

[2]「小文字切替」／「大文字切替」を押す

「小文字」に切り替えると情報表示エリアに「[小]」が表示されます。「大文字」の場合は何も表示されません。

●挿入モード／上書きモードを切り替える

「挿入モード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字と文字の間に新たに入力した文字を挿入します。「上書きモード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字に新たに入力した文字を上書きします。

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

[メニュー]▶[6]「上書きモード」／「挿入モード」

「挿入モード」に切り替えると情報表示エリアに「[挿]」が、「上書きモード」に切り替えると「[上]」が表示されます。
文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

●文字を挿入する

「挿入モード」にしてから[方向キー]を押して挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、文字はカーソルの位置に挿入されます。

➡

● 文字を上書きする

「上書きモード」にしてから を押して上書きしたい文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、カーソル上の文字が上書きされます。

● スペース（空白）を挿入する

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

▶「スペース入力」

全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入されます。

おしらせ

● スペース（空白）は、全角（半角）1文字分として文字数にカウントされます。

● 文章を改行する

改行マーク「↲」を入力して、文章を改行できます。改行マーク「↲」を入力するには、2つの方法があります。

■ を1秒以上押す

文字入力（編集）画面で ➡ P.522

改行したい位置にカーソルを合わせて、 を1秒以上押す

改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

■ 機能メニューから入力する

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

▶「改行入力」

改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

おしらせ

● 改行マークは文字と同じように削除したり上書きできます。
● 改行マークは、全角1文字分として文字数にカウントされます。
● iモードのテキストボックスでは、改行マークを入力できない場合があります。

●記号を入力する

カッコやギリシャ数字、単位などの記号を入力できます。
メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

1 ▶「記号入力」▶入力する記号を選択し、を押す

記号・特殊文字一覧→P.550

おしらせ

●半角のみ入力できるときには、半角記号のみが表示されます。

●文字変換で記号や顔文字を入力する

「漢字ひらがな入力モード」で記号や顔文字の読みを入力して変換すると、その読みに該当する記号や顔文字が入力できます。

■記号の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「きごう」と入力して変換すると、記号の候補が表示されます。また「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換しても、記号を入力できます。
「変換記号」→P.550

■顔文字の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、顔文字の候補が表示されます。また、「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力して変換しても、顔文字を入力できます。
「顔文字」→P.551

●絵文字を入力する

iモードメールの本文やテキストメモ、定型文などの文字入力（編集）画面で顔や天気、動物などの絵文字を入力できます。

●絵文字1と絵文字2のそれぞれで、過去に入力した絵文字が12個まで記憶されます。記憶された絵文字は、絵文字1と絵文字2のそれぞれの画面の先頭の行に表示されます。「絵文字記号連続入力」で入力したときも記憶されます。

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

1 ▶「絵文字入力」▶絵文字を選択し、を押す

絵文字一覧→P.551

●記号や絵文字を連続入力する

記号や絵文字の候補画面を表示して、候補画面を消すまで記号や絵文字を連続で入力できます。

●入力できる記号について→P.550
●絵文字について→P.551

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

1 「絵文字記号連続入力」を押す

絵文字1の候補がガイダンスエリアに表示されます。ガイダンスエリアの右上には「現在のページ／全体のページ数」が表示されます。

2 ◉［絵記］を押して候補画面を切り替える

◉［絵記］を押すたびに「絵文字１入力」→「絵文字２入力」→「全角記号入力」→「特殊記号入力」→「半角記号入力」の順に切り替わります。

3 記号・絵文字を選択し、◉を押す

選択した記号・絵文字が入力されます。そのまま続けてほかの記号や絵文字を入力できます。

4 入力が終わったら CLR を押す

絵文字・記号の連続入力が終了します。

● 文字を削除する

✥を押して削除したい文字にカーソルを合わせ、CLR を短く（1秒未満）押します。カーソル上の文字が削除されます。

■ **カーソル上に文字がない場合**

カーソルの左側の１文字が削除されます。

■ **CLR を１秒以上押した場合**

カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

■ **カーソルより右側に文字がないときに CLR を１秒以上押した場合**

すべての文字が削除されます。

●入力中、編集中のデータを守ります

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■ 電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について→P.95

■ [PWR HLD] を押した場合

文字の入力中に[PWR HLD]を押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

＜入力中の内容を保存しないで終わる場合＞

「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。

[PWR HLD]を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

＜文字の入力を続ける場合＞

「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。

[CLR]を押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■ 音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。音声通話中の場合は、[MULTI]を押してタスクメニューを表示させて、通話しながら文字入力（編集）画面に戻ることもできます。→P.430

文字入力（編集）画面の機能メニューを使う

文字入力（編集）画面で ➡ **P.522**

文字入力(編集)画面の機能メニュー画面

文字入力（編集）画面の機能メニュー 1/4

1 絵文字記号連続入力	「記号や絵文字を連続入力する」→P.534
2 小文字切替※1	「小文字／大文字を切り替える」→P.532
3 半角切替※2	「全角／半角を切り替える」→P.524
4 コピー	「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540
5 切り取り	「文字をコピー（または切り取り）する」→P.540
6 貼り付け	「文字を貼り付ける」→P.541
7 定型文入力	「定型文を入力する」→P.537

※1：小文字切替のときは「2 大文字切替」になります。

※2：半角切替のときは「3 全角切替」になります。

文字入力（編集）画面の機能メニュー 2/4

1 スペース入力	「スペース（空白）を挿入する」→P.533
2 改行入力	「文章を改行する」→P.533
3 記号入力	「記号を入力する」→P.534
4 絵文字入力	「絵文字を入力する」→P.534

5 区点入力	「区点入力」→P.542
6 上書きモード※1	文字を入力したとき、カーソル上の文字を上書きするかカーソル位置に挿入するかを選択します。→P.532
7 電話帳引用	「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.538

※1：上書きモードのときは「6挿入モード」になります。

文字入力（編集）画面の機能メニュー 3/4

1 個人データ引用	「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.538	
2 アクセスリーダー	「アクセスリーダー」で取得した文字情報を貼り付けます。「文字を読み取る」→P.189	
3 バーコードリーダー	「バーコードリーダー」で取得した文字データを貼り付けます。「バーコードリーダーを利用する」→P.184	
4 辞典検索	辞典を起動します。「辞典を利用する」→P.452	
5 ワード予測OFF※1	過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用する／しないを設定します。	
6 入力モード切替	▶以下の項目から選択 入力モードを切り替えます。	
	1 モード1（かな方式）	文字入力方式を「かな方式」に切り替えます。
	2 モード2（2タッチ方式）	文字入力方式を「2タッチ方式」に切り替えます。
	3 モード3（T9入力方式）	文字入力方式を「T9入力方式」に切り替えます。
7 T9漢字変換モード※2	T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。「T9変換モード」が「T9漢字変換モード」に設定されている場合は「T9かな変換モード」が、「T9かな変換モード」に設定されている場合は、「T9漢字変換モード」が表示されます。また、文字入力中の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、「文字入力方式」で設定した状態に戻ります。	

※1：ワード予測OFFのときは「5ワード予測ON」になります。
※2：T9漢字変換モードのときは「7T9かな変換モード」になります。

文字入力（編集）画面の機能メニュー 4/4

1 JUMP	▶以下の項目から選択 カーソルを文頭または文末へ移動させます。	
	1 文頭へJUMP	カーソルを文章の文頭へすばやく移動させます。
	2 文末へJUMP	カーソルを文章の文末へすばやく移動させます。
2 ウィンドウ切替※1	各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているとき、操作する画面を切り替えます。「操作する画面を切り替える」→P.545	

※1：ウィンドウ切替が可能な文字編集画面のときのみ表示されます。

●定型文を入力する

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

1 7「定型文入力」▶フォルダを選択し、◉を押す

定型文一覧→P.540

2 定型文を選択し、◉▶◉を押す

文字入力

次ページにつづく

おしらせ

- 定型文は以下のような文字入力（編集）画面で呼び出して入力できます。
  - ・テキストメモ
  - ・定型文
  - ・定型文のフォルダ名
  - ・スケジュール
  - ・ToDo
  - ・ウェイクアップのメッセージ
  - ・iモードメールの題名
  - ・iモードメールの本文
  - ・iモードメールの冒頭文
  - ・iモードメールの署名
  - ・iモードメールの引用符
  - ・iモードメールの参照返信
  - ・自動振分け設定の題名入力
  - ・メール検索の題名入力
  - ・iモードのテキストボックスでの編集
  - ・iアプリでの文字編集
  - ・辞典
- 固定定型文は入力モードによって表示される内容（表現）が以下のように異なります。なお、変更した固定定型文および自作定型文は入力モードにかかわらず登録された内容（表現）で表示されます。
  - ・モード1、モード3：漢字ひらがな入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
漢字ひらがな入力モード以外のときは、半角カタカナで表示されます。
  - ・モード2　　　　　：全角入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
半角入力モードのときは、半角カタカナで表示されます。
- 定型文を入力したときに入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると定型文が入力され、入力可能な文字数を超えた文字が、定型文の文末より削除されます。

● 電話帳や個人データを引用して入力する

メールの本文や「テキストメモ」などの文字入力（編集）画面で、「電話帳」および「自局番号表示」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモを引用して入力できます。

● 一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

1 ▶ 7「電話帳引用」または ▶ 1「個人データ引用」

■「電話帳引用」を選択した場合

「グループ検索」または「行検索」を選択して引用したい電話帳を検索する

電話帳の検索のしかた→P.98

■「個人データ引用」を選択した場合

端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.142

2 引用したい項目を選択し、を押す

電話帳引用の場合

3 ［完了］を押す

おしらせ

- 「PIMロック」設定中は引用できません。
- 住所を引用する場合は、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。
- 文字入力（編集）画面の機能メニュー画面（P.536）から「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」、「辞典検索」を選択して、それぞれの機能からデータを引用して入力することができます。

定型文を修正／登録する

定型文をあらかじめ登録しておくと、文字入力（編集）画面で呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。フォルダ1〜2にはあらかじめ登録されている固定定型文がそれぞれ10件保存されています。固定定型文の内容は変更できます。フォルダ3〜5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。また、フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

新しい定型文を作成する

1 **menu 3 8 を押す**

「定型文フォルダ一覧画面」が表示されます。

定型文フォルダ一覧画面

2 **フォルダを選択し、◉を押す**

「定型文一覧画面」が表示されます。

3 **「＜未登録＞」を選択し、⊙［編集］▶定型文を入力し、◉を押す**

定型文一覧画面

おしらせ

- 定型文は全角で64文字、半角で128文字まで入力できます。
- メールの題名、本文、冒頭文、署名、引用符に使用する自作の定型文を作成するときは、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります（iモードメールどうしでは絵文字を使うことができます）。
- 固定定型文は、文字入力方式がモード1（かな方式）またはモード3（T9入力方式）の「漢字ひらがな入力モード」、モード2（2タッチ方式）の「全角入力モード」のときに「漢字ひらがな表現」で呼び出され、それ以外のときは「半角カタカナ表現」で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面の機能メニューを使う

定型文フォルダ一覧画面で ➡ P.539

⊙［機能］▶以下の項目から選択

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

項目	操作・説明
1 フォルダ名編集	▶フォルダ名を変更し、◉を押す 選択したフォルダ名を変更します。フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
2 フォルダ名初期化	▶「YES」を選択し、◉を押す お買い上げのときのフォルダ名に戻ります。

おしらせ

- フォルダ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げのときのフォルダ名になります。

定型文一覧画面の機能メニューを使う

定型文一覧画面で ➡ P.539

◉［機能］▶以下の項目から選択

定型文一覧画面の機能メニュー

1 編集	▶定型文を編集し、◉を押す 選択した定型文を編集します。
2 1件削除	▶「YES」を選択し、◉を押す
3 全削除	▶端末暗証番号を入力し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

●固定定型文を削除した場合は、お買い上げのときの内容に戻ります。

■ **フォルダ1（固定定型文）**

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■ **フォルダ2（固定定型文）**

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	iモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

文字のコピー／切り取り／貼り付け

●コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

4「コピー」または5「切り取り」を押す

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字にカーソルを合わせて、◉を押す

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動させて、◉を押す

選択した範囲の文字が記憶されます。全角で5,000文字、半角で10,000文字まで記憶できます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

■ 文字が入力されていない部分を選択した場合

半角スペースとして記憶されます。

文字を貼り付ける

コピーまたは切り取った文字は、ほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで何度でも貼り付けることができます。

文字入力（編集）画面の機能メニュー画面で ➡ P.536

1 6「貼り付け」を押す

■ 貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

おしらせ

● 貼り付けた文字が入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると文字が貼り付けられ、入力可能な文字数を超えた文字が、貼り付けた文字の文末より削除されます。「NO」を選択すると文字は貼り付けられずに元の画面に戻ります。

区点入力

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。
●区点コードおよび区点コードで入力できる文字について→P.552
●画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

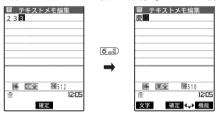
文字入力（編集）画面で ➡ **P.522**

＊を押す

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

■ 文字入力方式が「T9入力方式（モード3）」の場合
文字入力（編集）画面の機能メニュー画面▶◎▶5「区点入力」

2 区点コード2 3 3 6を入力する

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合
スペースが入力されます。

おしらせ

●文字入力方式が「かな方式（モード1）」または「2タッチ方式（モード2）」の場合でも、機能メニューから「区点入力」を選択して区点入力モードに切り替えることができます。

〈ユーザ辞書〉

よく使う単語をあらかじめ登録しておく

お買い上げ時	未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録しておくと、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換したときに登録した単語が表示されます。
●絵文字、改行、定型文は単語および読みに入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。
●読みに濁点、半濁点以外の記号（、。・！？）は登録できません。

新しい単語を登録する

1 menu 8 2 を押す

「ユーザ辞書画面」が表示されます。

2 「<新規登録>」を選択し、● ▶ 単語を入力し、● ▶ 読みを入力し、● を押す

ユーザ辞書画面

おしらせ

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

単語の内容を確認する

1 menu 8 2 を押す

2 確認したい単語を選択し、● を押す

■ **単語の内容を変更する場合**

変更したい単語を反転表示して ◉［編集］を押す

ユーザ辞書画面の機能メニューを使う

ユーザ辞書画面で ➡ P.543

1 ◉［機能］▶ 以下の項目から選択

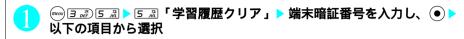
ユーザ辞書画面の機能メニュー

1 編集	登録した単語を編集します。
2 1件削除	▶「YES」を選択し、● を押す
3 選択削除	▶ ◈ で□（チェックボックス）を選択し、● ▶ ◉［完了］▶「YES」を選択し、● を押す
4 全削除	▶ 端末暗証番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、● を押す 端末暗証番号について→P.142

〈学習履歴クリア〉

学習履歴を初期状態に戻す

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げのときの初期状態に戻す）します。

1 **MENU 3 5 ▶ 5「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力し、● ▶以下の項目から選択**

1 T9 ／ワード予測／絵文字	「T9 入力方式(モード 3)」、「ワード予測」および「絵文字」で蓄積した学習履歴をクリアします。
2 かな漢字変換	かな漢字変換で蓄積した学習履歴をクリアします。

〈ダウンロード辞書〉

使用する辞書を設定する

お買い上げ時	未登録

iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を変換用辞書として設定できます。

- ●ダウンロード辞書は 5 件まで登録でき、そのうちの 2 件を有効にできます。
- ●辞書のダウンロードのしかたについて→P.223

1 **MENU ▶ LifeKit を選択し、● ▶ 8「ダウンロード辞書」**

「ダウンロード辞書画面」が表示されます。

ダウンロード辞書画面

2 **設定したい辞書を選択し、● を押す**

設定した辞書には「★」がつきます。

■ **設定されている辞書を解除する場合**

「★」がついている辞書を選択する

設定が解除されて「★」が消えます。

ダウンロード辞書画面の機能メニューを使う

➡ P.544

1 **● ［機能］▶以下の項目から選択**

ダウンロード辞書画面の機能メニュー

1 タイトル編集	▶**タイトルを変更し、● を押す** 選択したダウンロード辞書のタイトルを変更します。タイトルは全角で 10 文字、半角で 20 文字まで入力できます。
2 辞書ファイル設定	ダウンロード辞書を設定または設定を解除します。
3 辞書情報	選択したダウンロード辞書の情報を表示します。
4 1 件削除	▶**「YES」を選択し、● を押す**
5 全削除	▶**端末暗証番号を入力し、● ▶「YES」を選択し、● を押す** 端末暗証番号について→P.142

おしらせ

- ●ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。

操作する画面を切り替える

受信メールの参照返信など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

ｉモード画面からの
スケジュール参照登録

受信メールからの
参照返信

●以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
- ｉモードメールの参照返信
- ｉモードメールからのスケジュール参照登録
- ｉモード画面からのスケジュール参照登録
- ｉモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力
- チャットメールのチャット画面
- 文字編集から辞典検索を実行後の参照編集

操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、操作する画面を切り替えることができます。操作する画面を切り替えるには、以下の３つの方法があります。

■ ［ｉ］を１秒以上押す

［ｉ］を１秒以上押すたびに、操作する画面が切り替わります。

■機能メニューを選択する

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面が切り替わります。

■ポインターで操作する画面を選択する

ニューロポインターボタンをスライドしてポインターを表示させ、操作する画面を選択します。

おしらせ

●操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。
●読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。
●編集画面の表示中に受信メール、ｉモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。ただし、受信メールの場合のみ、コピー、文字サイズ設定も操作できます。
●チャットメールのチャット画面では、画面の切り替えはできません。

付録

メニュー機能一覧

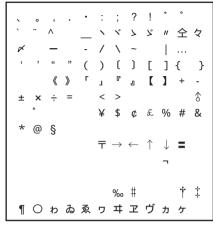
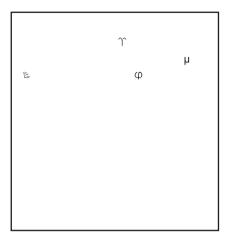
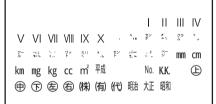
大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
メール			—	P.246
iモード			—	P.204
iアプリ			—	P.320
各種設定	着信	着信音量	menu 5 0	P.66
		着信音選択	menu 1 3	P.112
		SRS_WOW設定	menu 6 4	P.377
		バイブレータ	menu 5 4	P.114
		着信イルミネーション	menu 8 9	P.133
		マナーモード選択	menu 2 0	P.118
		電話帳画像着信設定	—	P.124
		着信アンサー設定	menu 5 8	P.61
		クローズ動作設定	menu 1 8	P.62
		メール／メッセージ鳴動	menu 6 8	P.116
		呼出時間表示設定	menu 9 0	P.156
		確認機能設定	menu 6 5	P.69
	通話	ノイズキャンセラ	menu 7 6	P.59
		通話品質アラーム	menu 7 5	P.116
		再接続機能	menu 7 7	P.59
		通話中イルミネーション	—	P.134
		保留音設定	—	P.67
	テレビ電話	画像品質設定	—	P.84
		発信時自画像送信	—	P.84
		画像選択	—	P.84
		音声自動再発信	—	P.84
		遠隔監視設定	—	P.88
		テレビ電話画面設定	—	P.86
	ディスプレイ	画面表示設定	menu 5 6	P.120
		照明設定	menu 7 0	P.126
		画面デザイン	menu 8 6	P.127
		イルミネーション・ウィンドウ	menu 9 3	P.125
		フォント設定	menu 6 6	P.134
		デスクトップ	menu 6 3	P.137
		バイリンガル	menu 1 5	P.135
		オリジナルメニュー登録	menu 5 2	P.130

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
各種設定	ディスプレイ	メニュー画面設定	menu 5 7	P.128
		ピクチャ表示設定	—	P.347
		オート表示	menu 4 7	P.110
		表示アイコン説明	menu 3 6	P.27
	時間／料金	通話時間／料金	menu 6 1	P.449
		積算リセット	menu 6 0	P.450
		通話中時間表示	menu 4 8	P.134
	時計	時計設定	menu 3 1	P.44
		時計表示設定	menu 3 9	P.135
		アラーム通知設定	—	P.431
	ロック／セキュリティ	オールロック	—	P.145
		PIMロック	—	P.150
		セルフモード	—	P.157
		ダイヤル発信制限	—	P.151
		登録外着信拒否	—	P.157
		非通知着信設定	menu 1 0	P.155
		端末暗証番号変更	menu 2 9	P.143
		PIN設定	—	P.143
		シークレットモード	menu 4 0	P.148
		シークレット専用モード	menu 4 1	P.149
		スキャン機能	—	P.577
		遠隔オールロック	menu 9 9	P.146
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	—	P.227
		iモード問い合わせ設定	—	P.299
		接続先選択	menu 8 1	P.228
		SMS center設定	—	P.316
		証明書	—	P.235
		証明書センター接続設定	—	P.237
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	—	P.323
		α照明設定	—	P.327
		αバイブレータ	—	P.327

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
各種設定	iアプリ設定	αイルミネーション・ウィンドウ	—	P.327
		待受画面終了	—	P.333
	外部オプション	イヤホン切替	menu 5 1	P.117
		オート着信	menu 9 4	P.456
	その他	ボタン確認音	menu 3 0	P.115
		充電確認音	—	P.115
		電池残量	menu 7 1	P.42
		サイドボタン操作	menu ＊ 長押し	P.151
		文字入力方式	menu 3 5	P.523
		履歴表示設定	—	P.152
		ポーズダイヤル	menu 8 4	P.53
		サブアドレス設定	—	P.58
		プレフィックス設定	—	P.54
		国際ダイヤル設定	—	P.57
		PLMN設定	—	P.457
		ニューロポインター設定	—	P.132
		表示アイコン選択設定	—	P.138
		USBモード設定	—	P.407
		設定リセット	menu 2 3	P.457
		端末初期化	—	P.462
		ソフトウェア更新	—	P.572
データBOX	マイピクチャ		menu 4 6	P.345
	iモーション		—	P.368
	メロディ		menu 1 6	P.389
	キャラ電		—	P.383
ツール	カメラ		—	P.166、176
	スケジュール		menu 4 5	P.435
	めざまし時計		menu 4 4	P.434
	ToDo		menu 9 5	P.441
	テキストメモ		menu 4 2	P.451
	電卓		menu 8 5	P.450
	メモの再生／消去		［メモ／確認］	P.72
	伝言メモ		menu 5 5	P.70
	待受中音声メモ		menu 4 3	P.447

大項目	中項目	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
ツール	通話中音声メモ	［メモ／確認］長押し	P.447
	おしゃべり機能	menu 9 1	P.448
	赤外線受信	menu 7 9	P.415、417
	FOMAカード（UIM）操作	—	P.103
	電話帳画像転送	—	P.412
	アクセスリーダー	—	P.189
	バーコードリーダー	—	P.184
	SD-PIM	—	P.402
	辞典	—	P.452
サービス	サービス問い合わせ	menu 2 5	P.466
	発信者番号通知	menu 1 7	P.45
	留守番電話	—	P.464
	キャッチホン	—	P.467
	転送でんわ	—	P.468
	迷惑電話ストップ	—	P.470
	番号通知お願いサービス	—	P.471
	着信動作選択	—	P.473
	通話中着信設定	—	P.474
	遠隔操作設定	—	P.475
	デュアルネットワーク	—	P.471
	英語ガイダンス	—	P.472
	追加サービス	—	P.475
	サービスダイヤル	—	P.473
	マルチナンバー	—	P.475
電話帳	電話帳登録	—	P.93
	電話帳検索	—	P.98
	電話帳登録件数	menu 2 2	P.106
	電話帳便利機能	menu 6 2	P.107
	電話帳指定設定	menu 1 2	P.154
	グループ設定	menu 2 6	P.97
ユーザデータ	自局番号表示	menu 0	P.46、445
	着信履歴	menu 2 4	P.62
	発信履歴	—	P.50
	メールメンバー	menu 9 7	P.267
	チャットグループ	—	P.306
	定型文	menu 3 8	P.539
	ユーザ辞書	menu 8 2	P.542
	ダウンロード辞書	—	P.544

記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

■ 特殊記号

■ 半角記号

■ 変換記号

「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示され、そこから記号を入力することができます。また、以下のような記号名をひらがなで入力して記号に変換することもできます。

記号名(入力文字)	記号
あっと、あっとまーく	@
いこーる	＝
えん	¥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	()〔〕[]{}〈〉《》「」『』【】‘ ’“ ”()〈〉[]{}「」

記号名(入力文字)	記号
から	〜
こめ	※
ころん	:
こんま	,
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	%
ひく	−

記号名(入力文字)	記号
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

付録

絵文字一覧

■ 絵文字1

■ 絵文字2

おしらせ

● メールの本文などに絵文字を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字が正しく表示されないことがあります。また、受信側がiモード端末であっても、絵文字2の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。

顔文字一覧

■ 顔文字

「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することができます。また、以下のような意味をひらがなで入力して顔文字に変換することもできます。

意味（入力文字）	顔文字
あせあせ	(;^_^A
あは	(o^o^o)
ありがと ありがとう	m(_ _)m
いかり	(｀´)
いたた	(>_<)
いっぷく	(^!^)y~
いっぷく	(^.^)y-~~~
ういんく	(^_-)
うん	(^_^)(._.)
え	(@_@;)
えーん	(;_;)
えへん	(￣^￣)
おーい	(^O^)／
がーん	(￣□￣;)!!
がんば	p(^^)c
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
きこえない	|(-_-)|

意味（入力文字）	顔文字
ぎゃはは	(^O^)/^
きらーん	(☆。☆)
こあら	(−Q−)
こそこそ	(･_･|
こまったもんだ	(￣～￣)ゞ
さよなら	(^_^)/~
さよなら	(T_T)/~
じーっ	(-_-)
しくしく	(T_T)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
どき	(◎-◎;)
ども	＼(^_^)(^_^)／
なぜ	(?_?)
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
ね	(^.^)b

意味（入力文字）	顔文字
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(~o~)／
はてな	(･･?)
ばんざい	＼(^O^)／
びくっ	(*_*)
ひやあせ	(^o^;
ぶい	(^^)v
ぶたー	)^o^(
ほし	☆彡
ぽりぽり	(^^ゞ
む	(−_−メ)
むか	(;-_-+
めがてん	(･･;)
めも	φ(..)
わーい	(^O^)
わくわく	o(^-^)c

付録

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点１～３桁目」の数字を入力してから、次に「区点４桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

付録

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

次ページにつづく

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る～れ									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせについて

新たに発生した通信 現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		iモードを利用	iアプリを利用	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信			送信	受信
音声通話中	△※1	△※2	×	△※3	○	×	○	○
テレビ電話中	×	△※3	−	△※3	×	×	×	×※4
iモード中	○	○	○※5	×	−	−	○	○
パケット通信中	○	○	×	×	×	△※6	×	×※4
64Kデータ通信中	×	△※3	×	△※3	×	×	×	×※4

新たに発生した通信 現在の通信状態	SMS		パケット通信		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信
音声通話中	○	○	○	○	×	△※3
テレビ電話中	×	○	×	×	×	△※3
iモード中	○	○	×	×	×	×
パケット通信中	○	○	−	−	×	×
64Kデータ通信中	○	○	×	×	×	△※3

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。　−：機能的に実現しない組み合わせです。

※1：「キャッチホン」をご契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信することができます。
※2：「キャッチホン」をご契約されていれば、現在の音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されていれば、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。
※3：「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」をご契約されていれば、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。
※4：iモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージリクエスト、メッセージフリーは通信終了後、「iモード問い合わせ」を行うと受信できます。
※5：iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※6：iアプリのソフトの通信はできません。

マルチタスクの組み合わせについて

利用する機能 現在の状態	メール	iモードメニュー	iアプリ	各種設定	データBOX	ツール	サービス	電話帳	ユーザデータ	オリジナルメニュー
メールグループ起動中	○※1	○	○	○※2	○	○※4	○	○※9	○	○
iモードグループ起動中	○	×	×	○※2	○	○※4	○	○※9	○	○
設定グループ起動中	○	○	○	×	○	○※4	×	○※9	○	○
ツールグループ起動中	○	○	○	○※2	×	×	○	×	×	○
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×※5	×	×	×	×
音声通話中	○	○	×	×※3	×	×※6	○※8	○※9	○※10	○
パソコンをつないでパケット通信中	○	○	○	○※2	○	○※4	○	○※9	○	○
64Kデータ通信中	○	○	×	×※3	×	×※7	○※8	○※9	○※10	○

○：起動できます。　×：起動できません。

※1　:「iモードメール作成」および「SMS作成」は同時に利用できません。
※2　: 機能によっては利用できません。
※3　:「時計設定」、「ボタン確認音」、「ポーズダイヤル」のみ利用できます。
※4　:「おしゃべり機能」、「赤外線受信」、「FOMAカード（UIM）操作」、「SD-PIM」は利用できません。
※5　:「通話中音声メモ」のみ利用できます。
※6　:「カメラ」、「スケジュール」、「ToDo」、「テキストメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は読取データ一覧およびその詳細までは表示できますが、新規に読み取ることはできません。また、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連写モード」のみとなります。
※7　:「カメラ」、「スケジュール」、「ToDo」、「テキストメモ」、「電卓」、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は読取データの一覧およびその詳細までは表示できますが、新規に読み取ることはできません。また、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連写モード」のみとなります。
※8　:「留守番電話」の再生はできません。また、特番（P.475）に発信する操作はできません（USSDを利用しての操作はできます）。
※9　:「電話帳指定設定」は利用できません。
※10:「定型文」、「ユーザ辞書」、「ダウンロード辞書」は利用できません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

おしらせ

● コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と 1 回の通話ごとの取扱手数料 90 円（税込94.5円）がかかります。（2005年2月現在）
● 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2005年2月現在）
● FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう移動せずに通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
● おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
● 一般電話の「転送電話」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも、発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
● 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用いただけませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用いただけます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・平型スイッチ付イヤホンマイクP01／P02
・平型ステレオイヤホンセットP01
・スイッチ付イヤホンマイクP001／P002※
・ステレオイヤホンセットP001※
・FOMA USB接続ケーブル
・FOMA ACアダプタ01
・FOMA DCアダプタ 01
・卓上ホルダN06
・電池パックN08
・リアカバーN06
・スタイルプラスN01
・車内ホルダN05
・キャリングケースN07
・データ通信アダプタN01
・FOMA海外兼用ACアダプタ01
※：FOMA N700iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA N700i データリンクソフト」を使って電話帳、スケジュール、メール、メロディ、静止画、動画やiモーションなどのデータをFOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。NECのインターネットホームページからFOMA N700i専用のデータリンクソフトをダウンロードしてご利用いただけます。

・NEC「ワイワイもばいる」
http://www.n-keitai.com/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

（FOMA端末のサイト機能ではダウンロードできません。ダウンロードするにはパソコンをお使いください。また使用料金は無料です。ダウンロード時に別途通信料が必要となります）

・動作環境および注意事項
パソコンとの接続には「FOMA USB接続ケーブル（別売）」が必要となります。赤外線通信では使用できません。その他の動作環境・対応OSについては、ダウンロードページの「ソフトウェアのご紹介」【動作環境】をご覧ください。
また、データリンクソフトは、データ転送にOBEX（Object Exchange）を使用しておりますので、「FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する（OBEX）」（P.422）も合わせて参照してください。
なお、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでもFOMA端末外に転送することができません。また、FOMA端末外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

■対応OS
Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
※上記OSが動作するPC/AT互換機

■ご使用にあたって

・日本電気株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に対し、許諾プログラムにおける一切の動作保証、使用目的への適合性の保証、使用結果に関わる的確性や信頼性の保証をせず、かついかなる内容の瑕疵担保義務も負いません。また、許諾プログラムに関し発生する問題はお客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
・弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償責任に基づく損害について一切責任を負いません。又、お客様は弊社に対し、何らの請求も行わないものとします。

データリンクソフトに関するお問い合わせ
NEC（NECモバイルターミナル営業本部）
0120-102-001
受付時間：平日 午前 9:00～12:00 午後 1:00～5:00
（土･日･祝日･NEC所定の休日を除く）
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく付けられていますか。 ● 電池切れになっていませんか。	P.38 P.42
右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている	● 電池が切れました。充電してください。 電池充電してください	P.40
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 圏外 4/11［月］ 12:05	P.43
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●「ダイヤル発信制限」設定中ではありませんか。 ●「指定発信制限」設定中ではありませんか。 ● セルフモード設定中ではありませんか。	P.151 P.153 P.157
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ● 市外局番を忘れていませんか。 ●「圏外」の表示が出ていませんか。 ●「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	P.48 P.48 P.43

付録

次ページにつづく

現象	チェックする箇所	参照ページ
着信できない 着信音が鳴っていないのに、着信履歴が記憶されている	● 以下の機能を設定していませんか。 電話帳指定設定 ・指定着信拒否　・指定着信許可 ・指定転送でんわ　・指定留守番電話 呼出時間表示設定 ・無音時間設定 登録外着信拒否 非通知着信設定 ・通知不可能拒否　・公衆電話拒否 ・非通知設定拒否 ● マナーモード設定中ではありませんか。 ● ドライブモード設定中ではありませんか。 ●「オールロック」設定中ではありませんか。 ● セルフモード設定中ではありませんか。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。 ● 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。 ● デュアルネットワークサービスでmova端末を有効にしていませんか。 ● 着信音量を「消去」に設定していませんか。	P.153 P.156 P.157 P.155 P.117 P.68 P.145 P.157 P.465 P.469 P.471 P.471 P.66
メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	P.156
リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧が勝手に消えてしまう	●「PIMロック」を設定しませんでしたか。 ●「ダイヤル発信制限」を設定しませんでしたか。	P.150 P.151
ニューロポインターの動きがにぶくなった	● スライド調整を行ってください。	P.132
電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合は、以下のような優先順位で着信音が鳴ります。①が最も優先順位が高くなります。 ① 電話帳便利機能の着信音 ② グループ便利機能の着信音 ③ 着信音選択	P.107 P.108 P.112
メールを受信したときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合は、以下のような優先順位で着信音が鳴ります。①が最も優先順位が高くなります。 ① 電話帳便利機能のメール着信音 ② グループ便利機能のメール着信音 ③ 着信音選択のメール	P.107 P.108 P.112
電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される	● 各機能の着信の設定が重なった場合は、以下のような優先順位で画像を表示します。①が最も優先順位が高くなります。 ① 電話帳便利機能の着信イメージ ② グループ便利機能の着信イメージ ③ 電話帳登録の静止画 ④ 着信音選択のiモーション ⑤ 画面表示設定 電話帳便利機能やグループ便利機能での優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。 ① 音声／テレビ電話着信音のiモーション ② 着信イメージのiモーション ③ 着信イメージのiモーション（映像のみ）、静止画	P.107 P.108 P.93 P.112 P.120 P.124 P.107 P.108
電話がかかってきたときに設定した色と違う色で着信ランプが動作する	● 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合は、以下のような優先順位で動作します。①が最も優先順位が高くなります。 ① 電話帳便利機能の着信イルミネーション ② グループ便利機能の着信イルミネーション ③ 着信イルミネーション設定	P.107 P.108 P.133
着信画面や着信音がお買い上げのときの設定で動作する	● 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げのときの設定で動作する場合があります。	ー

現象	チェックする箇所	参照ページ
メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● メールアドレスにメール着信音を設定している場合は、そのメールアドレスに設定された着信音が鳴ります。 ● グループにメール着信音を設定している場合は、そのグループに設定された着信音が鳴ります。 ● グループにもメールアドレスにもメール着信音を設定している場合は、メールアドレスに設定された着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信したとき、最後に受信したメールのメールアドレスにメール着信音を設定している場合は、そのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信したとき、チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信音を設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信音を設定していますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定された着信音が有効となります。	P.107 P.93 P.107 －
メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションの色と違う色で点滅する	● メールアドレスにメールイルミネーションを設定している場合は、そのメールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● グループにメールイルミネーションを設定している場合は、そのグループに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● グループにもメールアドレスにもメールイルミネーションを設定している場合は、メールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● 複数のメールを受信したとき、最後に受信したメールのメールアドレスにメールイルミネーションを設定している場合は、そのメールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● 複数のメールを受信したとき、チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されているイルミネーションが点滅します。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメールイルミネーションを設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメールイルミネーションを設定していますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたイルミネーションが有効となります。	P.107 P.93 P.107 －
メール着信音は鳴っているが、新着メールを受信していない	●「件数増加鳴動設定」を設定していませんか。留守番電話の件数が増えた場合、留守番電話の件数が増えたことをメール着信音でお知らせします。	P.466
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない）	● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● アダプタのプラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか）。	P.38 P.40 P.41
ボタン確認音が出ない	●「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。 ● マナーモード設定中ではありませんか。	P.115 P.117
エニーキーアンサーで音声電話／テレビ電話に出ることができない	●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	P.61
通話中、相手の声が聞こえにくい	● 受話口と耳の位置がずれていませんか。 ● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。 ●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.24 P.60 P.65
通話中、相手の声が大きすぎる	●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.65
相手に自分の声が伝わらない	● 送話口が何かでふさがれていませんか。	P.24

次ページにつづく

現象	チェックする箇所	参照ページ
「オールロック」と表示され、「」マークが点灯している	● 端末暗証番号を入力し、を押してオールロックを解除してください。	P.148
FOMA端末を折り畳んでいるときに、［メモ／確認］を押しても不在着信などの確認ができない	●「確認機能設定」を「OFF」に設定していませんか。 ●「サイドボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.69 P.151
曜日が英語で表示されている	●「バイリンガル」で英語表示を設定していませんか。 ● 時計表示を「英語」に設定していませんか。	P.135 P.135
ディスプレイがなんとなく暗い	● バックライトの明るさの設定を「レベル1」に設定していませんか。	P.126
ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない	● バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。 ● を1秒以上押してバックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。 メールの作成中などにも、を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。	P.126 P.26
テレビ電話中の画面の動きがなめらかでない	●「テレビ電話画面設定」の「画面サイズ設定」を「画面サイズで表示」に設定していませんか。 「等倍表示」に設定してください。	P.86
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう	● 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	−
を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	● 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	P.106
を押しても通話が終わらない	● 音声ガイダンスのボタン操作（〜、、）を行った場合、を押しても通話が終わらないことがあります。もう一度を押してください。	−
ディスプレイに何も表示されず、、が点滅する	● 省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。	P.126
着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を0秒以外に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われません。	P.156
積算通話料金が増えない	● 上限値に達していると増えません。積算リセットを行ってください。	P.450
SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない	● 電話帳の電話番号欄（）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。	P.93
メールが自動振り分けされない	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメイン名まですべて登録しないと振り分けされません。	P.285
メールを自動で受信しない	● メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。	P.297
N700i通信設定ファイル（ドライバ）のインストールやデータ通信ができない	● USBモード設定を「miniSDモード」に設定していませんか。「通信モード」に設定してください。	P.407
iモード、iモードメール、iアプリが使えない	●「PIMロック」設定中ではありませんか。	P.150
iモード、iモードメール、iアプリに接続できない	●「接続先選択」を「iモード」以外に設定していませんか。 ● iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.228 −
メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない	●「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。 ●「受信表示設定」を「操作優先」に設定していませんか。	P.116 P.297
送信したメールが送信BOXに残らない	● メール連動型iアプリのフォルダに「全件振分け」を設定していませんか。 メール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.278 P.285 P.321

現象	チェックする箇所	参照ページ
受信したメールが受信BOXに残らず、「 」が消えない	● 受信BOXの中のメール連動型iアプリのフォルダに「 」が表示されていませんか。またはメール連動型iアプリのフォルダに「全件振分け」を設定していませんか。 該当するメール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.278 P.285 P.321
メールに［添付ファイル削除］と表示される	● iモードメールに対応していない添付ファイルの受信はできません。 iモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。	P.244
パソコンなどから送信されたメールの添付ファイルが削除された	● FOMA端末以外から送信されたメールに添付された画像ファイルは、10,000バイトまでのJPEG形式の画像しか受信できません。	−
内蔵カメラで撮影すると画像がちらつく	● 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「画像チューニング」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減することができる場合があります。	P.180
内蔵カメラで撮影した静止画や動画が白っぽくなる	●「画像チューニング」の設定を「モード1（50Hz地域）」または「モード2（60Hz地域）」に変更したまま屋外などの明るい場所で撮影していませんか。「画像チューニング」の設定を「自動」に戻してください。	P.180
外側カメラで撮影した静止画や動画がぼやけてしまう	● 外側カメラで撮影する場合、レンズを自動またはマクロに切り替えられます。通常は自動、ごく近くにある被写体を撮影するときはマクロに切り替えてください。	P.161
画像表示しようとすると「 」が表示される デモやプレビューで「 」が表示される	● 画像データがこわれている場合は「 」が表示されることがあります。	−
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● miniSDリーダライタ機能で容量の大きいデータをやりとりしたときに起こる場合があります。	−
チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる	● チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。	−

こんな表示が出たら

● iモードエラーメッセージの中の（数字）については、iモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「FOMAカード(UIM)が異なるため起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているiアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。	P.37
「FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージリクエストまたはメッセージフリーを選択して実行しようとしたときに表示されます。	P.37
「FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているiアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.37
「FOMAカード(UIM)のSMSがいっぱいになりました」	● FOMAカードがいっぱいになり、これ以上FOMAカードにSMSを保存することができません。保存したいときは「 」が消えるまで、FOMAカード内の不要なSMSを削除してください。	P.288
「FOMAカード(UIM)読み込み中です　起動できません」	● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。	−
「FOMAカード(UIM)を挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.36
「iアプリTo設定されていません」	● サイト、メール、赤外線通信機能、バーコードリーダーからソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できません。	P.331

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「iモーション再生サイズを超えています」	● iモーションを取り込むときに､iモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取り込みができない場合に表示されます。	P.338
「iモーション再生サイズを超えました」	● iモーションを取り込むときに､iモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取り込みが完了しなかった場合に表示されます。	P.338
「iモード問い合わせがすべて無効に設定されています」	● 「iモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためiモード問い合わせができません。 「iモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。	P.299
「miniSDが挿入されていません」	● miniSDメモリーカードが FOMA 端末に取り付けられていないか、正しく取り付けられていない可能性があります。miniSDメモリーカードをFOMA端末に正しく取り付けてください。	P.395
「miniSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」	● miniSDメモリーカードのチェックディスクを行ってください。	P.406
「PIMロック設定中です」	● PIM ロック設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.150
「PIN1コードがロックされています」	● PIN1コードがロックされているときに､電源を入れると表示されます。⦿を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P.145
「PINロック解除コードがロックされています」	● PIN ロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。当社窓口までお問い合わせください。	P.143
「SSL通信が切断されました」	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。	−
「SSL通信が無効です」	● SSL 通信の認証中にエラーが発生して SSL 通信が切断されたときに表示されます。	−
「SSL通信が無効に設定されています」	● 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.235
「URL が長すぎて登録できません」	● URLが登録可能文字数を超えるため､ブックマークやホームURLへの登録ができません。	−
「URLが長すぎて貼り付けできません」	● URLが貼り付け可能文字数を超えるため、デスクトップアイコンの貼り付けやiモードメール作成ができません。	−
「URLに誤りがあります」	● URLが間違っているとき、または入力した文字数が許容される文字数を超えているときに表示されます。 ● URL入力や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき､「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。	P.214 P.227
「1件エクスポートできませんでした」	● 何らかの原因でエクスポートすることができませんでした。新しいminiSDメモリーカードと交換してエクスポートし直してください。	−
「空きメモリがないため登録できません」	● すでにFOMA端末（本体）の電話帳に電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。すでに登録されている電話帳の中で、不要なものを削除した後、登録し直してください。	P.103
「応答がありませんでした(408)」	● サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してみてください。	−
「該当するデータはありません」	● 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	P.98
「画像に誤りがあり正しく動作しません」	● 画像データに誤りがあるため、Flash 画像を表示できなくなったときに表示されます。	−
「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します」	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。	P.209

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「圏外です」	● サービスエリア外や電波が届かないところで、iモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。 ● 「Y.ıl」が表示されるところまで移動してiモードのサービスをご利用ください。	P.204
「このiモーションは再生可能回数が終了しました」	● 再生回数が終了したiモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「このiモーションは再生期限が切れました」	● 再生期間または再生期限が終了したiモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「このカードは使用できません」	● 本FOMA端末に対応していないminiSDメモリーカードです。対応しているminiSDメモリーカードを使用してください。	P.394
「このカードは認識できません」	● 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.36
「このサイトとのSSL通信は無効です」	● 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL通信できません。	－
「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」	● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	P.208
「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● 「時計設定」が行われていない場合にSSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。	P.208 P.44
「このスケジュールは登録できません」	● すでに設定されている日付、時刻に対するスケジュールと同じ日付、時刻のスケジュールを「追加1件インポート」したときに表示されます。	P.400
「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」	● 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● 「時計設定」が行われていない場合に、SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。 ● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。	P.208 P.44 P.208
「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」	● SSL証明書のCNが一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	P.208
「このタイプのiモーションは再生できません」	● ストリーミングタイプのiモーションを取り込もうとしたときに表示されます。本FOMA端末はストリーミングタイプのiモーションに対応していないため、取り込むことはできません。	－
「このデータは再生できない可能性があります」	● MP4（Mobile MP4）形式以外のiモーションを取り込んだときに表示されます。	－
「このデータを取得するためには時計設定をしてください」	● 「時計設定」が行われていないときに、再生期限制限または再生期間制限つきのiモーションのデータを取得しようとした場合に表示されます。「時計設定」を行ってください。	P.44
「サービス未契約です」	● iモードをご契約いただいていないため、iモードのサービスをご利用になれません。iモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。	－
「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」	● 再生回数が終了したiモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、そのiモーションは削除されます。	－
「再生可能期限が切れたため再生できません」	● iモーションの再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため再生できません。	－
「再生可能期限が切れました　削除しますか？」	● 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているiモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、そのiモーションは削除されます。	－
「再生可能日前です　再生できません」	● 再生期間が設定されているiモーションを、再生可能期間前に再生しようとしたときに表示されます。	－
「再生制限データに誤りがあるため取得できません」	● iモーションの再生制限データに誤りがあるために、このiモーションは取得できません。	－

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「最大サイズを超えたので中断しました」	● サイトやインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書、キャラ電を取り込み中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	－
「最大サイズを超えています　受信できません（452）」	● 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。	－
「サイトが移動しました（301）」	● サイトが移動したため、URLが変更されています。デスクトップアイコンやブックマーク、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。	P.135 P.215 P.227
「サイトに接続できませんでした（403）」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	－
「削除される添付ファイルがあります」	● 転送するiモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。⦿を押すと、ファイルが削除された状態でiモードメール編集画面が表示されます。	－
「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」	● 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。	－
「シークレットデータのため呼び出せません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータをメモリ番号検索しようとしたときに表示されます。 ● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようとしたときに表示されます。	P.148
「指定サイトがみつかりません（404）」	● サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。	－
「指定サイトに表示データがありません（204）」	● 接続したサイトなどに表示するデータがない場合に表示されます。	－
「指定されたiモーションがありません」	● 削除された動画や iモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定されたイメージがありません」	● 削除された画像のデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定されたキャラ電がありません」	● 削除されたキャラ電のデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定されたソフトがありません」	● 削除されたiアプリのソフトのデスクトップアイコンを選択して起動しようとしたときに表示されます。 ● メール、赤外線通信機能、バーコードリーダーからのiアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	－
「指定されたソフトが起動できません」	● 赤外線通信機能、バーコードリーダー、コンパクトデスクトップからソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	－
「指定されたソフトが起動できませんでした」	● サイト、メールからソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	－
「指定されたメロディがありません」	● 削除されたメロディのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定したサイトへは接続できませんでした（504）」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	－
「指定着信許可すでに20件設定されています」 「指定着信拒否すでに20件設定されています」 「指定転送でんわすでに20件設定されています」 「指定発信制限すでに20件設定されています」 「指定留守番電話すでに20件設定されています」	● すでにそれぞれの電話帳指定設定に電話帳が 20 件設定されているときに、新たに電話帳指定設定を設定しようとした場合に表示されます。不要になった電話帳の設定を解除してから設定し直してください。	P.153

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「指定の宛先には送信できません」	● 宛先に「,」やスペースが含まれているため送信できません。「,」やスペースを削除してください。 ● 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。 ● 宛先に数字、「＊」、「＃」以外の文字が含まれている場合や、先頭以外に「＋」が含まれている場合はSMSを送信できません。	─
「指定発信制限設定中です」	● 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.153
「しばらくお待ちください」	● 発信規制中です。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、iモードをご利用ください。	─
「すでに他の機能が起動中です起動できません」 「すでに他の機能が起動中です設定できません」	● ほかの機能が起動しているときに、利用できない操作をしようとしたときに表示されます。	─
「正常に動作できないためデータを削除します」	● 動作を実施しようとしたときに障害を引き起こすデータが含まれていることが発見されました。「OK」を選択すると問題のあるデータを削除します。問題のあるデータが保護されているデータの場合、メッセージが表示されますので「OK」を選択してください。	─
「正常に動作できない場合があります」	● 動作を実施しようとしたときに障害を引き起こすデータが含まれていることが発見されました。「OK」を選択すると動作を継続します。	─
「正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？」	● 動作を実施しようとしたときに障害を引き起こすデータが含まれていることが発見されました。「YES」を選択すると問題のあるデータを削除します。問題のあるデータが保護されているデータの場合、メッセージが表示されますので「OK」を選択してください。「NO」を選択すると動作を中止します。	─
「正常に動作できない場合があります　動作を中止しますか？」	● 動作を実施しようとしたときに障害を引き起こすデータが含まれていることが発見されました。「YES」を選択すると動作を中止します。「NO」を選択すると動作を継続します。	─
「正常に動作できない場合があるため終了します」	● 動作を実施しようとしたときに障害を引き起こすデータが含まれていることが発見されました。「OK」を選択すると動作を中止します。	─
「セキュリティエラーのためiアプリ待受画面を解除しました」 「セキュリティエラーのため終了しました」	● 許可されていない動作を起動しようとしたため、iアプリやiアプリ待受画面（iアプリDXを含む）が終了しました。	P.328 P.334
（赤外線通信中に） 「接続相手が見つかりません　続けますか？」	● 接続相手を発見／認識できません。赤外線ポートを平行に置いてください。「YES」を選択し、⦿を押すともう一度やり直すことができます。	P.412
「接続が中断されました」	● 電波が弱いため、iモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからiモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く「 」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	P.204 ─
「接続できません」	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。「アプリケーション通信設定」の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でiモードに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	P.228 ─
「接続されませんでした」	● テレビ電話発信時に相手が番号通知お願いサービスを設定しているため、接続できません。発信者番号を「通知する」に設定してかけ直してください。	P.45 P.471
「設定時間内に接続できませんでした」	● 「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。	P.227
「セルフモード設定中です」	● セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.157
「全件エクスポートできませんでした」	● 何らかの原因でエクスポートすることができませんでした。新しいminiSDメモリーカードと交換してエクスポートし直してください。	─

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「操作できませんでした」	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。「 」が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	－
「送信できない宛先があります」	● 複数の宛先にiモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。	－
「そのソフトは最新です」	● ソフトが更新されていないためバージョンアップができません。	－
「ソフトに誤りがあります」	● ソフトのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」	● ソフトのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」	● ソフト起動中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。	－
「対応機種ではありません」	● 取得しようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。	－
「対応していないコンテンツがあります」	● バーコードリーダーで読み取った情報に、本FOMA端末で対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。	－
「対応ソフトが削除されています フォルダ内表示を参照してください」	● 選択したメールフォルダに対応するメール連動型 iアプリが削除されているため、ソフトを起動できません。機能メニューからフォルダ内のメールを参照してください。	P.284
「ダイヤル発信制限設定中です」	● ダイヤル発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.151
「ダウンロードできませんでした」	● メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書をダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。	－
「端末暗証番号が違います」 「端末暗証番号は4～8桁です」	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末、ご利用中のFOMAカードおよびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になります。	P.143
「通信が許可されていません」	● 「通信設定」を「通信しない」に設定しているとき、ソフトの起動時に表示されます。「通信設定」を「起動ごとに確認」または「通信する」に設定してください。	P.325
「通話中です起動できません」 「通話中です操作できません」	● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。	P.429
「通話中です切り替えできません」	● 通話中にタスクメニューを表示させ、利用できない機能を選択したときに表示されます。	P.430
「データ取得できませんでした」	● iモーションを取り込もうとしたときに通信エラーが起きた場合などに表示されます。	－
「デスクトップがいっぱいです」	● すでに待受画面にデスクトップアイコンが 15 件貼り付けられているときに、デスクトップアイコンを貼り付けようとした場合に表示されます。不要なデスクトップアイコンを削除してから貼り付けを行ってください。	P.137
「転送先番号が未登録です」	● 転送でんわサービスを契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。	P.475
「添付ファイルが削除されます」	● 受信したiモードメールを引用返信しようとしたときに、元のiモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。⊙を押すと、添付ファイルが削除されます。	－
「添付ファイルを登録できません」	● 赤外線通信、OBEX通信で登録できない添付ファイルつきメールを受信したときに表示されます。	－
「時計設定を行ってください」	● 「時計設定」の設定が行われていないときに、「時計設定」が行われていないと利用できない操作をしようとしたときに表示されます。「時計設定」の設定後、操作してください。	P.44
「入力データまたはURLが長すぎます」	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。	P.210

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「入力データをご確認ください(205)」	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。◉を押すと入力した文字や設定が取り消されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。	P.210
「認証タイプに未対応です(401)」	● 認証できないときに表示されます。◉を押すと元のページに戻ります。	－
「認証を中止しました（401)」	● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。	－
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。ネットワーク暗証番号を万一お忘れになった場合は、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口まで持参していただくことが必要になります。	P.142
「パスワードをご確認ください(401)」	●「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選択します。	－
「非対応データのため取得できません」	● iモーション以外のデータや非対応のiモーションを取り込もうとしたときに表示されます。	－
「編集中のため削除できません」	● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。	－
「保存済みです」	● データ取得完了画面で iモーションを連続して保存しようとしたときに表示されます。	－
「保存メールがいっぱいです」	● 保存メールがすでに20件あるため新規メールや新規SMSを作成することができません。保存メールを編集して送信するか、削除してから作成し直してください。	P.266
「本機で使用できるフォーマットがされていません」	● miniSDメモリーカードがフォーマットされていないなどの異常です。miniSDメモリーカードをフォーマットし直してください。	P.405
「本文編集できません」	● 添付したファイルが全角5,000文字分のため本文の編集ができません。	P.264
「ムービーが大きすぎるため作成できません」	● 内蔵カメラの「ムービーモード」で撮影を行い、機能メニューで「iモードメール作成」を選択したとき、その動画がメールに添付できるサイズを超えている場合に表示されます。	P.264
「無効なデータを受信しました(XXX)」 「無効なデータを受信しました」	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。	－
「メールセキュリティ設定中のため削除できません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型iアプリで利用しているフォルダにセキュリティが設定されているため、メール連動型iアプリを削除できません。メール連動型iアプリを削除する場合には、メールセキュリティを解除してください。	P.152
「メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型iアプリで利用しているフォルダにセキュリティが設定されているため、メール連動型iアプリをバージョンアップできません。メール連動型iアプリをバージョンアップする場合には、メールセキュリティを解除してください。	P.152
「メモリ番号：XXX書き換えできません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● オート表示に設定されている電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。◉を押すと、再び電話帳編集画面に戻るので「No」を選択し、空いているメモリ番号を入力してから登録し直してください。	P.148 P.102
「メモリ不足です」	● メモリが不足したため、ソフトを起動できません。	－
「メモリ不足です　iモードメニューに戻ります」	● メモリが不足したため処理を中断します。◉を押すとiモードメニューに戻ります。	－
「メモリ不足です　メール作成画面に戻り　再編集してください」	● デコメールには最大10件の画像を挿入できますが、操作によっては画像を10件挿入できないことがあり、その場合に表示されます。「YES」を選択してメール作成画面を表示させてから再度本文編集を行ってください。	－
「文字数がオーバーします作成可能サイズまで本文を削除してください」	● 引用返信するiモードメールの本文と引用符の合計が全角5,000文字分を超えるため全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」	● 本文と署名の合計が全角 5,000 文字分を超えるため貼り付けできません。全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－
「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」	● 本文と冒頭文の合計が全角5,000文字分を超えるため貼り付けできません。全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－
「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」	● ユーザ証明書がダウンロードされていないため、FirstPass 対応サイトが表示できません。	P.235
「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」	● ユーザ証明書の有効期限が切れているため、FirstPass 対応サイトが表示できません。	P.235
「ユーザ証明書を送信します　よろしいですか？」	● ドコモCA証明書が無効化設定されているため、SSL対応サイトが表示できません。 ● CA証明書またはドコモCA証明書の有効期限が切れているため、SSL対応サイトが表示できません。	－
「容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません」	● 受信BOXがいっぱいで、iモードメールやSMSを受信できません。「(赤色)」が表示されなくなるまで不要になったメールを削除するか保護解除を行い、iモード問い合わせとSMS問い合わせを行ってください。	P.271 P.288 P.315
「容量不足です　エクスポートできません」 「容量不足のため保存できません」	● miniSDメモリーカード内のデータ容量がいっぱいです。miniSDメモリーカード内のデータを消去してからエクスポートまたは保存し直してください。	P.403 P.408
「読み込みできませんでした」	● 何らかの原因でインポートすることができませんでした。新しいminiSDメモリーカードと交換してインポートし直してください。	－
「履歴表示OFF設定中です」	● 「履歴表示設定」が「OFF」に設定されているため、着信履歴、リダイヤル／発信履歴、受信アドレス一覧または送信アドレス一覧を利用することができません。「履歴表示設定」を「ON」に設定すると利用できます。	P.152

おしらせ

● 送信される「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
● 送信するお客様の「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

保証とアフターサービス

保証について

● FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
● この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、電話帳などに登録した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録した電話帳などに登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコン（Windows 98、Windows Me 、Windows 2000、Windows XP）をお持ちの場合は、データリンクソフト（P.558）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、電話帳などの内容をパソコンに保管することもできます。また、FOMA端末の修理等を行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.394

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- ・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- ・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後 6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■お願い

● FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
- ・ 火災・けが・故障の原因となります。
- ・ FOMA 端末・FOMA カードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
- ・ 改造（部品の交換・改造・塗装等）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

● FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

● 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

● FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：ニューロポインターボタン、スピーカ、受話口部

● 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

● お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

● 携帯電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびiMenuの「お知らせ&ヘルプ」でご案内いたします。

- ●ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
- ●更新方法には「即時更新」と「予約更新」の2種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ●iモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ●ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ●ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：有効　設定方法は→P.235）
- ●ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ●ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ●「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の着信やメールの受信などが行われません。
- ●以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・FOMAカードの未挿入
  - ・FOMAカードの不正
  - ・PINロック設定中
  - ・PINロック解除コードロック中
  - ・日付・時刻の未設定
  - ・着信中
  - ・メール／SMS／メッセージ受信中
  - ・音声通話中
  - ・テレビ電話中
  - ・iモード通信中
  - ・64Kデータ通信中
  - ・パケット通信中
  - ・オールロック中
  - ・PIMロック設定中
  - ・セルフモード設定中
  - ・圏外
  - ・パケット発信規制中
  - ・デュアルネットワークサービスでmova端末利用中
  - ・miniSDリーダライタ利用中
  - ・その他機能を利用中
- ●ソフトウェア更新中は、ほかの機能を使用できません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。
- ●既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ●ソフトウェア更新後、表示されていたiモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ●ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ●ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。
- ●必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。
- ●ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

おしらせ

- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。「更新」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する

1 を選択し、▶▶「その他」▶「ソフトウェア更新」を選択し、▶端末暗証番号を入力し、を押す

端末暗証番号について→P.142

2 注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックする

このとき、携帯電話端末固有の情報をサーバに送信する必要があります。

3 チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

「今すぐ更新」または「予約」を選択し、を押す

すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.574

ソフトウェアを更新する日時を予約してあとから更新する場合は「予約」を選択します。→P.575

ソフトウェア更新
更新は必要ありません
このまま
ご利用ください
OK

■「更新は必要ありません」と表示された場合

を押す

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 **チェック結果画面（P.573）で「今すぐ更新」を選択し、◉▶「ダウンロードします」と表示されたら◉を押す**

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
◉を押さなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 **ダウンロードが終了し「ダウンロードしました　ソフトウェアを書換えます　書換えには時間がかかる場合があります」と表示されたら◉を押す**

ソフトウェアの更新を開始します。
◉を押さなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら◉を押します。これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- サーバが混みあっている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。

付録

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。
<例：4月12日（火）7：30に予約する場合>

チェック結果画面（P.573）で「予約」を選択し、◉▶希望日時を選択

■ **希望する日時がない場合**
「その他の日時」を選択する→P.576

2 選択した日時を確認▶「YES」を選択し、◉を押す

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ **希望日時を選択し直す場合**
「NO」を選択し、◉を押す

予約時刻になると左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新します」と同じです。

おしらせ

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ほかの機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- 電話がかかっているときやメールを受信しているときに予約時刻になった場合は、通話終了後やメール受信後にソフトウェア更新を起動します。
- 予約が完了した後に「端末初期化」（P.462）を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

●「その他の日時」を選択した場合

P.575の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

1 希望日を選択し、◉を押す

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

2 時間帯を選択し、◉を押す

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を確認する

選択した日時を確認して「YES」を選択し、◉を押すと再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

● 予約を確認する

＜例：予約を確認した後、予約を取り消す場合＞

1 menu ▶ 各種設定を選択し、◉ ▶ ◉ ▶ 1 「その他」▶「ソフトウェア更新」を選択し、◉ ▶ 端末暗証番号を入力し、◉を押す

端末暗証番号について→P.142

2 「取消」を選択し、◉を押す

■ **予約した日時でよい場合**
「OK」を選択し、◉を押す

■ **予約した日時を変更する場合**
「変更」を選択し、◉を押す
携帯電話端末固有の情報をサーバに送信した後、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.576

3 「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」を選択し、◉を押す

このとき携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）をサーバに送信します。
当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的に利用いたしません。
「予約を取消しました」と表示されたら◉を押します。これで予約の取り消しは完了です。

〈スキャン機能〉

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやiモードメールなど外部からFOMA 端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.578
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時	ON

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックし、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P.578

1 menu ▶ 各種設定を選択し、◉ ▶ 7 「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」を選択し、◉を押す

「スキャン機能画面」が表示されます。

スキャン機能画面

2 「スキャン機能設定」を選択し、◉ ▶「ON」を選択し、◉を押す

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合

「YES」を選択し、◉を押す

スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、５段階の警告レベルで表示されます。→P.578

パターンデータを更新する＜パターンデータ更新＞

スキャン機能画面で ➡ P.577

「パターンデータ更新」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉▶「YES」を選択し、◉を押す

パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。
10005件以上検出した場合は「他9999件」と表示します。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない場合があります OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか? YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか? YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細
警告画面が表示されます。	警告画面が表示され、動作を中止するか選択します。	警告音が鳴り、警告画面が表示され、動作は終了します。	警告音が鳴り、警告画面が表示され、対象のデータを削除するか選択します。	警告音が鳴り、警告画面が表示され、対象のデータを削除します。

パターンデータのバージョンを確認する＜バージョン表示＞

スキャン機能画面で ➡ P.577

「バージョン表示」を選択し、◉を押す

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA N700iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA N700iのSARの値は1.06W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/products
NECのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

付録

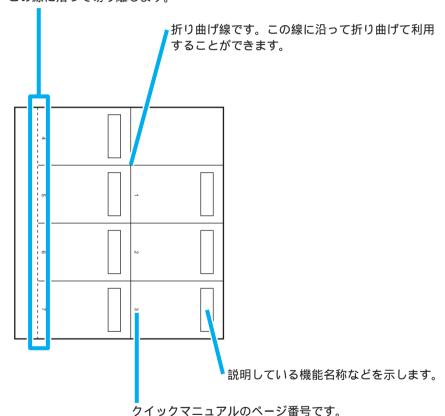
●索引／クイックマニュアル

索　引

サ

タ

■クイックマニュアルの使いかた

- クイックマニュアルでは、FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。
- 本書から切り離し、折り曲げたりして利用できます。
- 切り離すときは、ほかのページを切らないように1ページずつ切り離してください。また、ケガなどには十分にご注意ください。

FOMA® N700i
クイックマニュアル

○お問い合わせ先＜DoCoMo インフォメーションセンター＞

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

○調子が悪い場合

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

電話帳　電話帳を登録する

1　→「電話帳登録」
2　「本体」または「FOMAカード（UIM）」→名前の入力→名前のフリガナの入力
3　項目を選択してそれぞれ入力

- グループ番号を選択（00〜19）
- 電話番号を登録する（4件まで）
- メールアドレスを登録する（3件まで）
- 郵便番号と住所を登録する
- 誕生日を登録する
- メモを登録する
- 静止画を登録する
- キャラ電を登録する
- メモリ番号を登録する（000〜699）※

※：設定しない場合には自動的に登録されます。

4　[完了]
FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、電話番号、グループ、メールアドレスのみの登録になります。

着信履歴から登録する場合
→着信履歴を選択し、[機能]
→「電話帳登録」→手順2へ

リダイヤルから登録する場合
→リダイヤルを選択し、[機能]
→「電話帳登録」→手順2へ

電話帳　電話帳を検索する

→検索方法を選択して検索

フリガナ検索
フリガナを入力してまたはで検索します。

名前検索
名前を入力してまたはで検索します。

電話番号検索
電話番号を入力してまたはで検索します。

アドレス検索
メールアドレスを入力してまたはで検索します。

メモリ番号検索
メモリ番号（3桁）を入力して検索します。
FOMAカードの電話帳は検索できません。

グループ検索
目的のグループを選択してグループ別に検索します。
FOMAカードの電話帳は、FOMA端末（本体）の電話帳とは別のグループになります。

行検索
先頭文字の行（ア〜ワ行、英数文字）に対応するボタンを押して検索します。

電話帳　電話帳を修正・削除する

●電話帳を修正する

1　電話帳を検索して呼び出す→[編集]→必要な項目を修正→[完了]
2　本体の場合→「YES」
FOMAカードの場合→「上書き登録」または「追加登録」

●電話帳を削除する

電話帳を検索して呼び出す→[機能]→「電話帳削除」→「1件削除」

電話帳　便利な機能

●電話帳の指定設定をする

電話帳を検索して呼び出す→[機能]→「電話帳指定設定」→暗証番号を入力→設定したい機能を選択

設定した機能に「★」マークが付きます。

●FOMA端末を開くだけで電話番号を表示させるようにする

電話帳を検索して呼び出す→[機能]→「オート表示」

文字入力　入力方式と入力モード

●入力モードを切り替える

[文字]（押すたびに以下のように切り替え）

かな方式（モード1）
漢字ひらがな（「漢」）／カナ（「カ」）／英字（「英」）／数字（「数」）

2タッチ方式（モード2）
全角（「全」）／半角（「半」）

T9入力方式（モード3）
漢字ひらがな（「漢」）／カナ（「カ」）／英字（「英」）／数字（「数」）

※英字／数字モードでは「かな方式」で入力

●入力方式を切り替える

[文字]

かな方式（表示なし）／2タッチ方式（「2」）／T9入力方式（「T9」）

文字入力　入力方式と入力モード

●大文字／小文字を切り替える

- [機能]→「大文字切替」または「小文字切替」
- 切り替えたい文字にカーソルを合わせて

●半角（「半」）／全角（「全」）を切り替える

かな方式（モード1）
[機能]→「全角切替」または「半角切替」
※漢字ひらがなモード以外

2タッチ方式（モード2）
[文字]

T9入力方式（モード3）
[機能]→「全角切替」または「半角切替」
※漢字ひらがなモード以外

●挿入モード（「挿」）／上書きモード（「上」）を切り替える

[機能]→「挿入モード」または「上書きモード」

文字入力　文字を入力する

＜例：かな方式で「鈴木」と入力する＞

[文字]を押し、「漢字ひらがな入力モード」にする→

を3回（す）、、を3回（ず）、、を2回（き）

→を押す→またはを押して変換候補「鈴木」を選択し、を押す

＜例：2タッチ方式で「鈴木」と入力する＞

[文字]を押し、「全角入力モード」にする→

（す）、、（ず）、（き）

→を押す→またはを押して変換候補「鈴木」を選択し、を押す

＜例：T9入力方式（漢字変換モード）で「鈴木」と入力する＞

[文字]を押し、「漢字ひらがな入力モード」にする→、、、→を押すかニューロポインターで変換候補「鈴木」を選択し、を押す

文字入力　文字のコピー／切り取り／貼り付け

●文字をコピー／切り取りする

[機能]→「コピー」または「切り取り」→始点にカーソルを合わせて→終点にカーソルを合わせてを押す

●文字を貼り付ける

文字を貼り付けたい位置にカーソルを合わせる→[機能]→「貼り付け」

文字入力　記号／絵文字／顔文字の入力

●記号・絵文字を入力する

- [機能]→「記号入力」または「絵文字入力」→記号／絵文字を選択
- [機能]→「絵文字記号連続入力」→[絵記]（候補画面の切り替え）→候補から記号／絵文字を選択

●記号・顔文字を文字変換で入力する

- 「漢字ひらがな入力モード」で記号を入力する
「きごう」、または「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力→変換する
- 「漢字ひらがな入力モード」で顔文字を入力する
「かお」、「かおもじ」、または「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力→変換する

キリトリ線

カメラ　撮影時の機能

静止画撮影画面

A ●ズーム機能

●ライトの点灯／消灯

・[☼]

●明るさの調節

[機能]➜「画質調整」➜「明るさ調節」➜

B ●画像サイズの切り替え

[機能]➜「画像サイズ選択」➜撮影サイズを選択

●カメラの切り替え

[機能]➜「内側カメラ／外側カメラ」を選択

●空き容量の確認

[機能]➜「保存容量確認」を選択

●セルフタイマー撮影

[機能]➜「セルフタイマー設定」➜「ON」

➜作動時間（01～15秒）を設定➜撮影する

●ホワイトバランス設定（光源にあった色あいに設定）

[機能]➜「画質調整」➜「ホワイトバランス設定」➜最適な設定を選択

動画撮影画面

カメラ　静止画を撮影する

1 ➜「カメラ」➜「フォトモード」➜被写体を表示させ、またはー［📷］

2 （自動保存設定を「OFF」にしていた場合）➜「YES」➜「本体」または「miniSD」➜（本体の場合）フォルダを選択

撮影をやり直したい場合
　手順2でCLR➜「YES」を選択
　撮影直後に撮影処理中のメッセージが表示されたときは、FOMA端末を動かさないようにしてください。

カメラ　動画を撮影する

1 ➜「カメラ」➜「ムービーモード」➜被写体を表示させ、または［📷］➜または［📷］

2 （自動保存設定を「OFF」にしていた場合）➜「YES」➜必要であればタイトルを編集して➜「本体」または「miniSD」➜（本体の場合）フォルダを選択

保存前に動画を確認したい場合
　手順2で[機能]➜「再生」

撮影をやり直したい場合
　手順2でCLR➜「YES」を選択

※長時間撮影では自動的にminiSDメモリーカードへ保存します。

カメラ　撮影した静止画や動画を見る

➜「マイピクチャ」（静止画）または「iモーション」（動画）➜フォルダを選択➜静止画／動画を選択

●静止画表示中の操作

前後の静止画を表示　CLR 表示の終了

画像の表示方法を変更する場合
　[機能]➜「画像表示設定」➜表示方法を選択

●動画再生中の操作

再生の一時停止と再開

([ホーム])／([メモ／確認])　音量調節

前後の動画の再生　消音（ミュート）

長押 スキップ送り　長押 スキップ戻し

CLR 表示の終了　早送り再生

スロー再生／早送り再生をする場合
　（再生を一時停止）➜[機能]➜「スロー再生」または「早送り再生」

テレビ電話　テレビ電話をかける

相手の市外局番からダイヤルし、➜お話しが終わったら

一般電話 ： 市外局番 － 市内局番 － 電話番号
携帯電話 ： ０９０－XXXX－XXXXまたは０８０－XXXX－XXXX

●通話中の操作

ハンズフリーへの切り替えと解除

カメラの切り替え（内側カメラ／外側カメラ）

自分のカメラ映像の拡大／縮小

CLR 通話中保留
　保留中からカメラ映像で電話に出る場合
　保留中から代替画像で電話に出る場合

テレビ電話　テレビ電話を受ける

テレビ電話がかかってきたら➜お話しが終わったら

代替画像で出る場合
　または●を押す

着信を転送したい場合
　[機能]➜「転送でんわ」

※「転送でんわサービス」のご契約が必要です。（無料）

着信を拒否したい場合
　[機能]➜「着信拒否」

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話に出た場合や、オート着信を設定している場合は、代替画像で受けることになります（電話に出た後で切り替え可能）。

●通話中の操作

カメラ映像／代替画像の切り替え

こちらから相手に送るカメラ映像の拡大／縮小

●着信中の操作

応答保留
　応答保留中からカメラ映像で電話に出る場合
　応答保留中から代替画像で電話に出る場合
　または●を押す

テレビ電話　通話中の機能

親画面　子画面

●親画面／子画面の切り替え
[機能]➜「親画面表示切替」（選択するたびに4種類の表示方法で画面が切り替わる）

●明るさの調節
[機能]➜「テレビ電話設定」➜「明るさ調節」➜

●ホワイトバランス設定（光源にあった色あいに設定）
[機能]➜「テレビ電話設定」➜「ホワイトバランス設定」➜最適な設定を選択

メール　メールを送信する

1 [MAIL]➜「新規メール作成」➜[機能]➜「宛先参照入力」➜「電話帳」➜電話帳を検索して宛先のメールアドレスを選択

宛先を追加する場合
[機能]➜「宛先追加」

宛先は合計5件まで追加できます。
@docomo.ne.jpは省略可能です。

2 題名と本文を入力する

題名を入力して●を押す
本文を入力して●を押す

3 [送信]

●テンプレートを利用してデコメールを送る
手順1の後、[機能]➜「テンプレート」➜「テンプレート読込み」➜テンプレートを選択して手順2（本文の編集）へ

●本文を装飾する（デコメール）
本文入力中に[機能]➜「デコレーション」➜装飾方法を選択➜装飾したい文字を入力

装飾方法に「点滅」、「テロップ」、「スウィング」を選択した場合
　装飾したい文字を入力後、[機能]➜「デコレーション」➜先に選択した装飾方法を再度選択➜

メール　メールを受信する

●メールが届いているかどうか確認する
・[MAIL]➜「iモード問い合わせ」
・[MAIL] 長押

●受信したiモードメールを見る
[MAIL]➜「受信BOX」➜フォルダを選択➜表示したいメールを選択

前後のメールを表示したい場合
　受信メール詳細画面で

●受信メールを転送する
受信メール詳細画面で[機能]➜「転送」➜宛先を編集して送信する
・特に編集しない場合、題名は「Fw:（受信メールの題名）」の形式になります。

●受信メールに返信する
受信メール詳細画面で[返信]➜（受信メールに複数の宛先がある場合）「送信元へ」または「すべてへ」➜題名／本文を編集して送信する
・特に編集しない場合、題名は「Re:（受信メールの題名）」の形式になります。

キリトリ線

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	新規メール作成	
	チャットメール	
	SMS作成	
	iモード問い合わせ	
	メール選択受信	
	SMS問い合わせ	
	テンプレート	
	メール設定	
iモード	iMenu	
	Bookmark	
	画面メモ	
	ラストURL	
	Internet	
	メッセージ	
	iモード問い合わせ	
	ユーザ証明書操作	
	iモード設定	
iアプリ	ソフト一覧	
	自動起動設定	
	iアプリ実行情報	

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	着信	着信音量(menu 5 0)
		着信音選択(menu 1 3)
		SRS_WOW設定(menu 6 4)
		バイブレータ(menu 5 4)
		着信イルミネーション(menu 8 9)
		マナーモード選択(menu 2 0)
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定(menu 5 8)
		クローズ動作設定(menu 1 8)
		メール／メッセージ鳴動(menu 6 8)
		呼出時間表示設定(menu 9 0)
		確認機能設定(menu 6 5)
	通話	ノイズキャンセラ(menu 7 6)
		通話品質アラーム(menu 7 5)
		再接続機能(menu 7 7)
		通話中イルミネーション
		保留音設定
	テレビ電話	画像品質設定
		発信時自画像送信
		画像選択
		音声自動再発信

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	テレビ電話	遠隔監視設定
		テレビ電話画面設定
	ディスプレイ	画面表示設定(menu 5 6)
		照明設定(menu 7 0)
		画面デザイン(menu 8 6)
		イルミネーション・ウィンドウ(menu 9 3)
		フォント設定(menu 6 6)
		デスクトップ(menu 6 3)
		バイリンガル(menu 1 5)
		オリジナルメニュー登録(menu 5 2)
		メニュー画面設定(menu 5 7)
		ピクチャ表示設定
		オート表示(menu 4 7)
		表示アイコン説明(menu 3 6)
	時間／料金	通話時間／料金(menu 6 1)
		積算リセット(menu 6 0)
		通話中時間表示(menu 4 8)
	時計	時計設定(menu 3 1)
		時計表示設定(menu 3 9)
		アラーム通知設定
	ロック／セキュリティ	オールロック

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	ロック／セキュリティ	PIMロック
		セルフモード
		ダイヤル発信制限
		登録外着信拒否
		非通知着信設定(menu 1 0)
		端末暗証番号変更(menu 2 9)
		PIN設定
		シークレットモード(menu 4 0)
		シークレット専用モード(menu 4 1)
		スキャン機能
		遠隔オールロック(menu 9 9)
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定
		iモード問い合わせ設定
		接続先選択(menu 8 1)
		SMS center設定
		証明書
		証明書センター接続設定
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定
		α照明設定
		αバイブレータ
		αイルミネーション・ウィンドウ

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	iアプリ設定	待受画面終了
	外部オプション	イヤホン切替(menu 5 1)
		オート着信(menu 9 4)
	その他	ボタン確認音(menu 3 0)
		充電確認音
		電池残量(menu 7 1)
		サイドボタン操作(menu * 長押し)
		文字入力方式(menu 3 5)
		履歴表示設定
		ポーズダイヤル(menu 8 4)
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定
		国際ダイヤル設定
		PLMN設定
		ニューロポインター設定
		表示アイコン選択設定
		USBモード設定
		設定リセット(menu 2 3)
		端末初期化
		ソフトウェア更新

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
データBOX	マイピクチャ(menu 4 6)	
	iモーション	
	メロディ(menu 1 6)	
	キャラ電	
ツール	カメラ	
	スケジュール(menu 4 5)	
	めざまし時計(menu 4 4)	
	ToDo(menu 9 5)	
	テキストメモ(menu 4 2)	
	電卓(menu 8 5)	
	メモの再生／消去(▼[メモ／確認])	
	伝言メモ(menu 5 5)	
	待受中音声メモ(menu 4 3)	
	通話中音声メモ(▼[メモ／確認] 長押し)	
	おしゃべり機能(menu 9 1)	
	赤外線受信(menu 7 9)	
	FOMAカード(UIM)操作	
	電話帳画像転送	
	アクセスリーダー	
	バーコードリーダー	

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
ツール	SD-PIM	
	辞典	
サービス	サービス問い合わせ(menu 2 5)	
	発信者番号通知(menu 1 7)	
	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	迷惑電話ストップ	
	番号通知お願いサービス	
	着信動作選択	
	通話中着信設定	
	遠隔操作設定	
	デュアルネットワーク	
	英語ガイダンス	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	マルチナンバー	
電話帳	電話帳登録	
	電話帳検索	

メニュー　メニュー機能一覧

(menu)メニュー

大項目	中項目	小項目
電話帳	電話帳登録件数(menu 2 2)	
	電話帳便利機能(menu 6 2)	
	電話帳指定設定(menu 1 2)	
	グループ設定(menu 2 6)	
ユーザデータ	自局番号表示(menu 0)	
	着信履歴(menu 2 4)	
	発信履歴	
	メールメンバー(menu 9 7)	
	チャットグループ	
	定型文(menu 3 8)	
	ユーザ辞書(menu 8 2)	
	ダウンロード辞書	

<その他の機能>

- ●マナーモード　# 長押し(押すたびに設定／解除します)
- ●ドライブモード　* 長押し(押すたびに設定／解除します)
- ●サイドボタン操作無効　menu * 長押し(押すたびに設定／解除します)
- ●iモード問い合わせ　●[i] 長押し
- ●受話音量　待受中:(▲▼) 長押し
  通話中:▲[ホーム]または▼[メモ／確認]

キリトリ線

ネットワークサービス

●留守番電話サービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
1 (menu)➜ ➜「留守番電話」
2 メニューから行いたい操作を選択
伝言メッセージがあるかどうか確認する場合
(menu)➜ ➜「サービス問い合わせ」

●キャッチホン
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
1 (menu)➜ ➜「キャッチホン」
2 メニューから行いたい操作を選択
●キャッチホンを使用する
1 通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る
通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえる➜(☎)または(●)を押す
2 通話を切り替える
あとからかかってきた電話を切る場合
➜(☎)または(●)で元の相手との通話に戻る
あとからかかってきた電話を保留にする場合
(☎)(押すたびに通話相手を切り替え)
切り替えた相手との通話中に を押すとその通話が終了します。
(☎)または(●)でもう一方との通話に復帰します。

ネットワークサービス

●転送でんわサービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(無料)
1 (menu)➜ ➜「転送でんわ」
2 メニューから行いたい操作を選択

●迷惑電話ストップサービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
1 (menu)➜ ➜「迷惑電話ストップ」
2 メニューから行いたい操作を選択
「迷惑電話着信拒否登録」で最後に着信した迷惑電話を着信拒否する番号として登録します。
電話番号を指定して拒否登録する場合
(1)(4)(4)(☎)➜音声ガイダンスの指示に従う

●番号通知お願いサービス
お申し込みなしでご使用いただけるサービスです。(無料)
「番号通知お願いサービス」を設定すると、番号非通知でかかってきた電話に対して、ガイダンスで番号を通知するようにお願いし、着信しません。
1 (menu)➜ ➜「番号通知お願いサービス」
2 メニューから行いたい操作を選択

ネットワークサービス

●発信者番号通知サービス
お申し込みなしでご使用いただけるサービスです。(無料)
1 (menu)➜ ➜「発信者番号通知」
2 メニューから行いたい操作を選択

●デュアルネットワークサービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
FOMA端末とmova端末を同じ電話番号で切り替えて使用できるサービスです。
1 (menu)➜ ➜「デュアルネットワーク」
2 メニューから行いたい操作を選択

FOMA端末からご利用可能なサービス

コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)	(局番なし)104
※電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません	
電報の発信(有料) ※午前8時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

※おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

WORLD CALL(ドコモの国際電話サービス)

009130−010−国番号−市外局番−相手先電話番号の順にダイヤルして(☎)
※FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に合わせて「WORLD CALL」もご契約いただいております(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

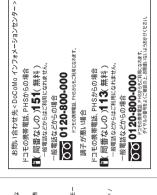
アイコン表示 お知らせ表示

- 電池残量表示
- 未読メールあり
- 電波の受信レベル表示
  サービスエリア外、または電波が届かない場所では「圏外」が表示されます。
- miniSDメモリーカード取り付け時に表示

以下の操作でそれぞれの機能を呼び出すことができます。
(●)➜アイコンを選択して(●)を押す

デスクトップアイコン	デスクトップアイコンとして登録したデータや機能を呼び出します。
チャットメールあり	チャット画面を表示します。
新着メールあり	受信メール一覧を表示します。
不在着信あり	不在着信履歴を表示します。
伝言メモあり	「メモの再生／消去」画面を表示します。
留守番電話あり	「留守番電話」画面を表示します。
未通知アラームあり	アラームの情報画面を表示します。
未起動ソフトあり	自動起動情報画面を表示します。
セキュリティエラー履歴	セキュリティエラー履歴を表示します。
ソフトウェア更新終了画面	更新結果の内容を表示します。

アイコン表示 設定中の表示

- オールロック設定中
- シークレットモード／シークレット専用モード設定中
- PIMロック設定中
- ダイヤル発信制限設定中
- ダイヤル発信制限+シークレットモード／シークレット専用モード設定中
- ダイヤル発信制限+PIMロック設定中

- バイブレータ設定中
- 着信音量を「消去」に設定中
- マナーモード設定中
- ドライブモード設定中
- アラーム通知機能設定中
- 伝言メモ設定中
- バックライトを「OFF」に設定中
- サイドボタン操作無効設定中

●アイコンの意味を確認する
(menu)(3)(6)➜アイコンを選択

アイコン表示 イルミネーション・ウィンドウ

●お知らせ表示
- 電池残量表示
- 未読メールあり
- 電波の受信レベル表示
  サービスエリア外、または電波が届かない場所では「圏外」が表示されます。
- miniSDメモリーカード取り付け時に表示

●設定中の表示
- オールロック設定中
- シークレットモード／シークレット専用モード設定中
- PIMロック設定中
- ダイヤル発信制限設定中
- ダイヤル発信制限+シークレットモード／シークレット専用モード設定中
- ダイヤル発信制限+PIMロック設定中
- サイドボタン操作無効設定中
- マナーモード設定中

○お問い合わせ先<DoCoMo インフォメーションセンター>
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)**151**(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

○調子が悪い場合
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)**113**(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　・病院内
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合
運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。また、オリジナルマナーモードでは伝言メモ機能やバイブレータ、着信音など、機能ごとに設定を変更できます。ただし、マナーモード／オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【ドライブモード】
電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

【バイブレータ】
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.464）、転送でんわサービス（P.468）などのオプションサービスが利用できます。

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、
「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」は
ドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●iモードはこちら　iMenu ▶ □料金＆お申込 ▶ ■ドコモeサイト　パケット通信料無料
●パソコンなどはこちら　http://www.nttdocomo.co.jp/ ▶ オンライン手続き/照会サービス ▶ ドコモeサイト
またはhttp://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※iモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

'05.3（2版）
MDT-000057-JAA0